

JILPT 調査シリーズ

No.191

2019年3月

若年者の離職状況と離職後のキャリア形成 II

(第2回若年者の能力開発と職場への定着に関する調査)

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



調査シリーズ No. 191

2019年3月

若年者の離職状況と離職後のキャリア形成Ⅱ

(第2回若年者の能力開発と職場への定着に関する調査)

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

近年、若者の長期的なキャリア形成に対する支援が、重要な政策課題として浮上している。労働政策研究・研修機構では、この課題に対して、若者の職場への定着と能力開発に焦点を絞り、若者を対象とする Web モニター調査「第2回若者の能力開発と職場への定着に関する調査」を実施した。本調査は、第4期プロジェクト研究「多様なニーズに対応した職業能力開発のあり方に関する調査研究」のサブテーマ「若者の職業への円滑な移行とキャリア形成に関する研究」における「若年者の雇用の質とキャリア形成のあり方に関する研究」の一環として実施したものであり、本報告はその調査結果の概要をとりまとめたものであり、若年者および求人企業に対する雇用支援政策のさらなる発展の手がかりとなれば幸いである。最後に、本研究にご協力頂いた、多くの若者の皆様方へ厚く御礼を申し上げます。

2019年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 樋口 美雄

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆箇所
岩脇 千裕 <small>いわわき ちひろ</small>	労働政策研究・研修機構 副主任研究員	序章・第一部
小杉 礼子 <small>こすぎ れいこ</small>	労働政策研究・研修機構 研究顧問	第二部
千葉 将希 <small>ちば まさき</small>	労働政策研究・研修機構 アシスタント・フェロー	付表

Web モニターアンケート調査

「第2回若年者の能力開発と職場への定着に関する調査」

調査の企画・実施（五十音順）

岩脇 千裕	労働政策研究・研修機構	副主任研究員
金崎 幸子	労働政策研究・研修機構	元所長
小杉 礼子	労働政策研究・研修機構	研究顧問
千葉 将希	労働政策研究・研修機構	アシスタント・フェロー
中山 明広	労働政策研究・研修機構	統括研究員

※執筆者・委員の所属先・役職等は平成30年4月1日現在のもの

目 次

序章	1
第1節 本研究の背景と目的	1
第2節 調査概要	2
第3節 データの特性	5
第4節 本報告の構成	14
第5節 用語の定義	15
第一部 「初めての正社員勤務先」を離職した若者の特徴	
第1章 個人属性と入職までのキャリア	17
第1節 最終学歴・専攻・入職までの経歴	17
第2節 学生生活・就職活動	26
第2章 「初めての正社員勤務先」の基本的特徴	43
第1節 企業規模・業種・職種	43
第2節 社風・企業体質	54
第3章 「初めての正社員勤務先」による雇用管理の状況	59
第1節 労働条件	59
第2節 入職後3ヶ月間の教育訓練・職場でのコミュニケーション	73
第3節 職場でのトラブル	80
第4章 「初めての正社員勤務先」における能力開発の状況	86
第1節 業務の変化からみる能力開発状況	86
第2節 職務遂行能力水準の変化からみる能力開発状況	93
第5章 「初めての正社員勤務先」を離職した理由と相談相手	104
第1節 離職理由	104
第2節 仕事や働くことについての相談相手	109
第6章 第一部のまとめ	113

第二部 離職後のキャリア形成状況

第7章	初めての正社員勤務先離職から現在までの状況	126
第1節	離職後の1年間の状況	126
第2節	離職時の求職活動と現在までの状況	134
第8章	再就職者の現在の就業状況	146
第1節	現在の勤務先と初めての正社員勤務先との諸属性の比較	146
第2節	現在の勤務先における労働時間、収入	159
第3節	現在の勤務先に対する評価	165
第9章	離職者（と勤続者）の現在の生活	171
第1節	現在の家庭状況	171
第2節	現在の生活全般に対する満足感	175
第10章	第二部のまとめ	179
付表	183
調査票	259

序章

第1節 本研究の背景と目的

本報告は、若者が卒業後に初めて正社員として勤務した会社（以下「初めての正社員勤務先」と略す）を離職する背景と、離職した後のキャリア形成の状況について明らかにすることを目的とし、労働政策研究・研修機構（以下「JILPT」と略す）第4期プロジェクト研究「多様なニーズに対応した職業能力開発のあり方に関する調査研究」のサブテーマ「若者の職業への円滑な移行とキャリア形成に関する研究」における「若年者の雇用の質とキャリア形成のあり方に関する研究」の一環として実施したWebモニター調査「第2回若者の能力開発と職場への定着に関する調査（以下「本調査」と略す）」の結果をまとめたものである。本調査はJILPTが2016年3月に実施した「若者の能力開発と職場への定着に関する調査（以下「2016年調査」と略す）」の後継である¹。

近年のわが国では、少子高齢化等による労働力不足を背景に、若者の職場への定着の促進が重要な政策課題として位置付けられている²。それをふまえて2016年調査では、離職の背景として、若者たちの学校生活、能力、就職活動、採用前に得た情報の正確さ、「初めての正社員勤務先」の企業属性・社風、労働時間、職場における教育訓練・コミュニケーション、職場トラブルの発生状況などについて検討を行った。さらに離職した若者について、「初めての正社員勤務先」を離職した後のキャリア形成状況を検討した。本調査では、近年の「キャリア教育」や「働き方」の見直しに対する関心の高まりを踏まえて、2016年調査の項目に加えて以下についても検討を行った。まず離職の背景として、給与、労働時間制度、労働時間・空間、職務の限定性などの項目を設定した。また離職後のキャリアについて、「正社員以外の働き方で働くことにした理由」や「今後の就業希望」「就業再開予定時期」などを追加した。

本報告では上記の事柄について、「初めての正社員勤務先」を辞めた「離職者」と働き続けている「勤続者」との違いを比較することで、若者の離職の背景を検討する。その際、新卒時の円滑な職業への移行の可否が、「初めての正社員勤務先」への定着にもたらす影響に着目する。さらに離職者については、「初めての正社員勤務先」での勤続期間の長短による、離職理由やその後のキャリア形成状況の違いを検討する。

なお、本調査のもう一つの目標は、ヒアリング調査の対象者（初めて正社員として勤務した会社等を3年以内で離職した若者）を抽出することにある。ヒアリング調査の結果については、後日改めて報告書としてとりまとめる予定である。

¹ 2016年調査の結果は、JILPT（2017）にとりまとめている。

² 2015年10月には「青少年の雇用の促進等に関する法律（若者雇用促進法）」が施行され、同法に基づき、若者の雇用機会の確保及び職場定着に関する新たな指針が適用された。

第2節 調査概要

1. 調査名

「第2回若者の能力開発と職場への定着に関する調査」

2. 調査期間

2018年8月

3. 調査方法

調査方法：ウェブモニター調査

パーソナル・コンピュータ、スマートフォン、タブレット等からの回答が可能。

調査対象者：調査会社に登録しているウェブ調査登録モニター

4. 調査対象者の範囲

調査対象者の範囲を生年月・職歴・最終学歴によって以下のとおり定め、これらの条件を全て満たした人のみが本調査へ進むようにスクリーニング調査を設計した。

- ①生年月：1984年4月～1998年3月生まれ（2018年4月2日時点で20～33歳）。
- ②職歴：正社員として勤務した経験が1回以上ある人。
- ③最終学歴³：高校、専修学校（専門課程）、短期大学、高等専門学校、大学、大学院修士課程を卒業・修了した人。

5. 回収目標数と回収結果

回収目標数の設定においては、「就業構造基本調査（総務省統計局 2012年10月1日実施）」の特別集計の結果（JILPT 2014）に基づき、性・年齢層・学歴ごとに割付を行った（図表序-1①）⁴。その上で、ウェブ調査登録モニターのうち、登録されている年齢（2018年4月2日時点）が20歳～33歳の人に調査を依頼するメールを配信した。

回収結果を図表序-1②に示した。回収目標数を達成できなかった属性群を網掛で示している。また、本調査はモニター調査であり無作為抽出による調査ではない。したがって本報

³ 高校卒には、専門学校、短期大学、高等専門学校、大学の中退者を、大学卒には大学院修士課程中退者を含む。

⁴ 就業構造基本調査の特別集計（JILPT 2014, pp.39-40）では、15～44歳の非在学者の卒業から調査時点までのキャリアを9つの類型に分類している。それらのうち、「正社員定着」「正社員転職」「正社員一時非典型」「他形態から正社員」「正社員から非典型」のいずれかに該当する人を「正社員として働いた経験が1回以上ある人」とみなし、性別・最終学歴・年齢層ごとの標本数を算出した。図表序-1①は、その標本数に、男女計が6000人程度になるようにウェイトをかけたものである。また、JILPT（前掲）では成人している若者の年齢範囲は20～34歳であり在学者を分析対象から外している。これに対し本調査では、調査対象者の年齢範囲は20～33歳で、在学者も調査対象に含む点が異なる。

告では、調査結果を示す際にウェイトバックは行わず、回収目標を達成できた属性群を中心に傾向を論ずることとする。

図表序－1 性・最終学歴・年齢層別回収目標と結果

①回収目標

男性	20-24歳	25-29歳	30-33歳	合計	女性	20-24歳	25-29歳	30-33歳	合計
高校卒	330	450	490	1,270	高校卒	200	220	220	640
専門学校卒	70	150	140	360	専門学校卒	110	160	130	400
短大高専卒	30	50	50	130	短大高専卒	120	160	170	450
大学卒	230	640	560	1,430	大学卒	230	500	280	1,010
大学院卒	9	130	120	259	大学院卒	2	30	20	52
計	669	1,420	1,360	3,449	計	662	1,070	820	2,552
					男女計				6,001

②回収結果

男性	20-24歳	25-29歳	30-33歳	合計	女性	20-24歳	25-29歳	30-33歳	合計
高校卒	161	326	490	977	高校卒	200	220	220	640
専門学校卒	43	150	140	333	専門学校卒	110	160	130	400
短大高専卒	22	43	50	115	短大高専卒	92	153	170	415
大学卒	230	640	560	1,430	大学卒	230	500	280	1,010
大学院卒	9	130	120	259	大学院卒	2	30	20	52
計	465	1,289	1,360	3,114	計	634	1,063	820	2,517
					男女計				5,631

※回収目標数に達しなかった場合を網掛した

※「高校卒」には、専門学校、短期大学、高等専門学校、大学の中退者を、「大学卒」には大学院修士中退者を含む。

6. 主な調査項目

先述のとおり本調査では、2016年調査を下敷きに新たな質問項目を追加したり、改変を加えたりしている。以下では、2016年調査では尋ねていたが本調査では削除された項目に二重取り消し線、本調査で追加された項目には下線を示し、本調査で改変された項目は太字で強調している。

1) スクリーニング調査

生年月、正社員経験の有無、**最終学歴の学校種**、**最終学歴卒業**~~一中退年月~~、性別、調査時現在の居住都道府県、正社員の仕事を離職した経験の有無

2) 本調査

2-1) 回答者全員

- 「初めての正社員勤務先」に入職する前の状況
最終学歴の学校の専攻、**入職までに経験した事柄、入職直前の状況、**
- 「初めての正社員勤務先」での経験（離職者・勤続者共通）
入職経路、入職を決めた理由、「初めての正社員勤務先」の志望度、**入職年月、離職有無、離職年月**、初任給、入職3ヶ月後の行動特性（コンピテンシー）、入職3ヶ月間の教育訓練・職場でのコミュニケーション・採用時の説明と実態が異なった事柄、担当業務の変化、**社風**、職業生活満足度
- 「初めての正社員勤務先」での経験（勤続者は調査時現・離職者は離職直前の状況）
行動特性（コンピテンシー）、週あたり実労働時間、平均的な月収、**従事している仕事内容（職業）**、適用されていた労働時間制度、労働時間・空間、職務の限定度合、職場トラブル、働くことに関する相談相手、理想とするキャリアコース
- 「初めての正社員勤務先」の基本属性（勤続者は調査時現・離職者は離職直前の状況）
本社所在地、従業員数、**産業**、従業員構成
- 現在の生活
生活全般への満足度、配偶者有無、**結婚年月**、**配偶者の就業状況**、子ども有無
第一子出生年月、世帯年収

2-2) 離職者全員

離職理由、**離職後1年間の就業状況**、離職後1年間の能力開発状況、離職後の就職活動の方法、離職後の正社員経験会社数、**現在の就業状況**、

2-3) 離職者かつ現在就業者のみ

- 現在の勤務先について

入職年月、従業員規模、**産業**、**従事している仕事内容（職業）**、週あたり実労働時間、平均的な月収、今後の転職希望有無および希望時期、職業生活満足度

2-3) 離職者かつ現在正社員以外の就業者のみ

正社員以外の働き方で働くことにした理由

2-4) 離職者かつ現在無業の人へのみ

今後の就業希望の有無と就業再開予定時期

3) ヒアリング調査への参加可否（離職者かつ現在関東圏在住者のみ）

ヒアリング調査への参加可否、参加可能な日時

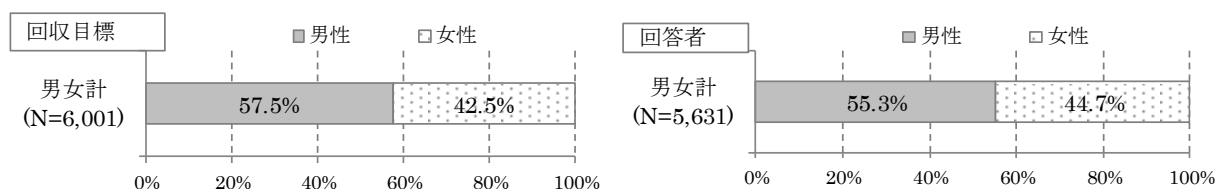
第3節 データの特性

1. 回答者の基本情報

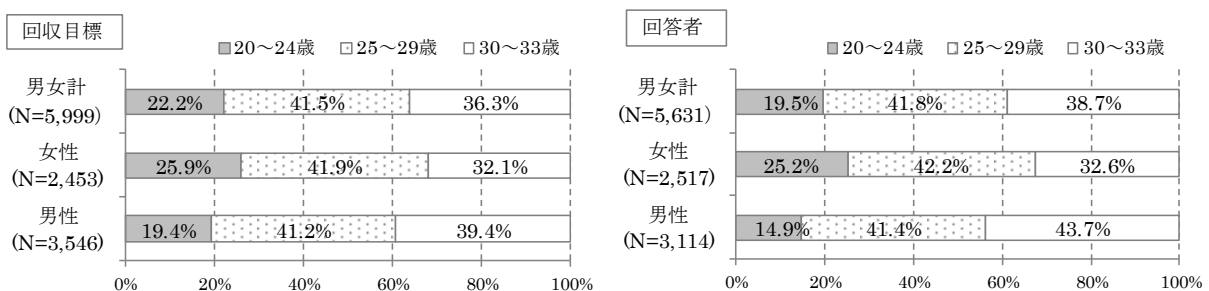
本調査では「就業構造基本調査（総務省統計局 2012年10月1日実施）」の特別集計の結果（JILPT 2014）を元に性別・年齢・学歴による回収目標数の割付を行ったが、一部の属性群については回収目標に達しなかった⁵。まずは、どの程度のズレが生じたのか回収目標と回答者の男女比、年齢構成、学歴構成を比較しよう（図表序-2①～③）。

図表序-2 回収目標と比べた場合の回答者の男女比・年齢構成・学歴構成

①男女比

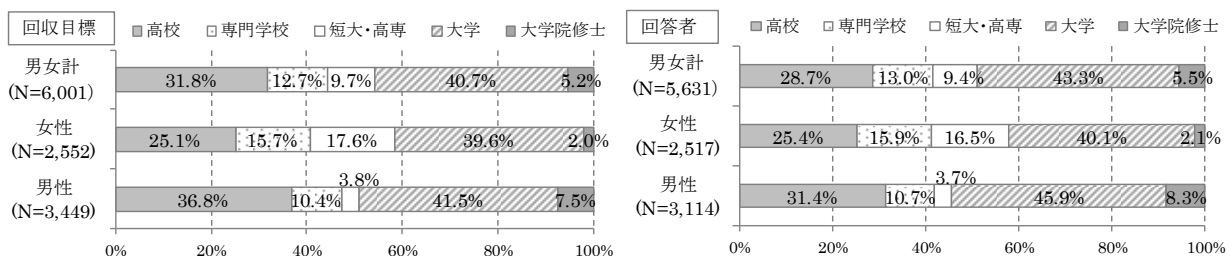


②年齢構成



※回答者は2018年4月2日時点の年齢を示している

③最終学歴構成



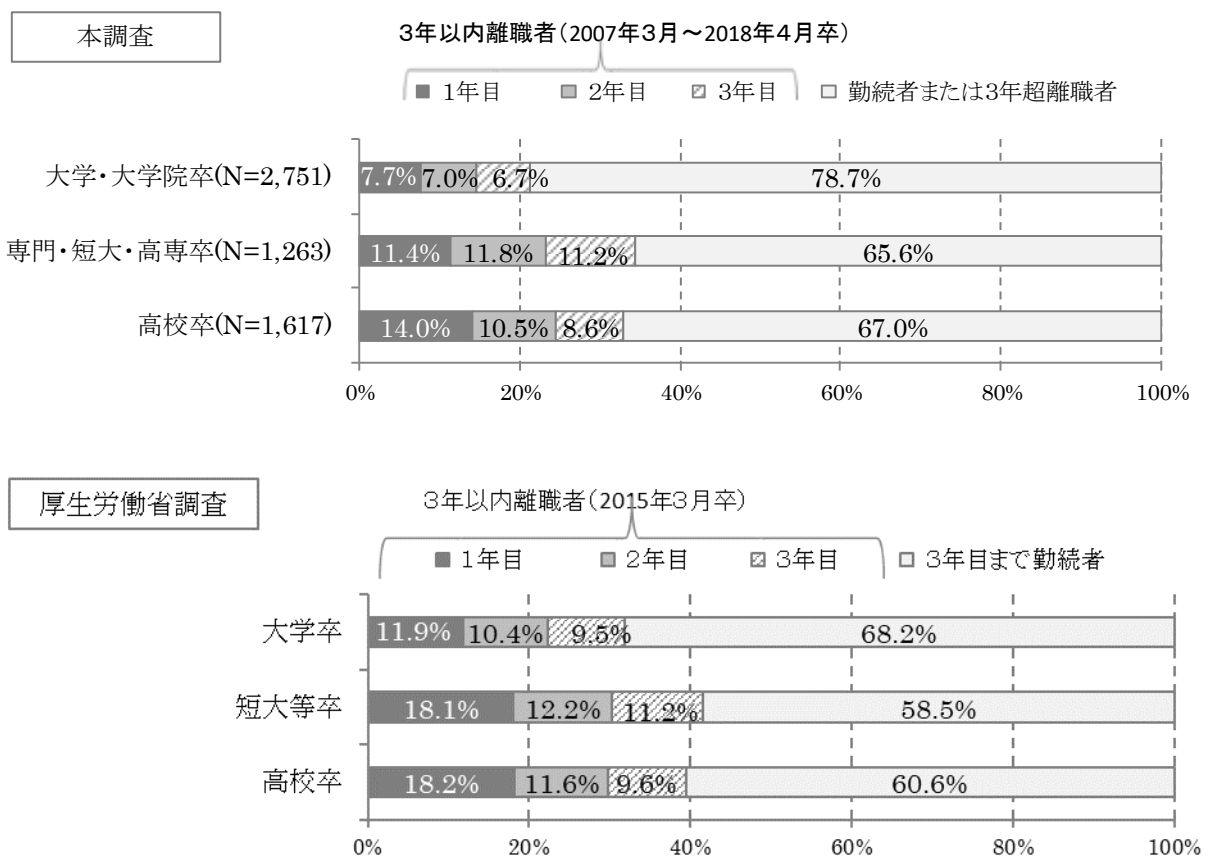
※専門学校卒は専修学校専門課程卒業業者である。

※専門学校、短大・高専、大学の中退者は高校卒、大学院修士課程の中退者は大学卒に含む。

⁵ なお、2016年調査では調査を委託した会社のモニターだけでは一部の属性群の回収数が大幅に不足したため、同社の提携企業3社のモニターにも調査を依頼した。それでもなお回収数が大幅に不足した属性群については、調査対象者層の親にあたる年齢層のモニターに対して子ども（調査対象者）と同席の上回答する「親代理調査」を依頼した。これに対して、本調査の回答者は全て同一会社のモニター本人であるためデータの精度が高い。

男女比は、回収目標と比べて回答者では女性の比率がやや高い（2.2ポイント差）。年齢構成は女性では大差ないが、男性は20～24歳の比率が回収目標より4.5ポイント低い。そのため他の年齢層の比率が相対的に高くなる。学歴構成は女性では大差ないが、男性は回収目標より高校卒の比率が5.4ポイント低く大学卒の比率が4.4ポイント高い。ただしこれらのズレは2016年調査と比べて大幅に改善している。本報告では原則として性・学歴別に分析結果を考察するが、その際には、実社会に生きる正社員経験をもつ若年男性の傾向よりも、25歳以上の比較的年齢が高い若者や大学卒の傾向が実際より強く現れることに留意する必要がある。

図表序－3 政府統計と比べた場合の学歴別「3年以内離職者」率



次に、回答者の離職傾向について政府統計と比較しよう。図表序－3へ、厚生労働省による2015年3月卒業者の学歴別の3年以内離職率⁶と、本調査の回答者全体に占める「初めての正社員勤務先」を3年以内に離職した人の割合とを示した。本調査では全体に厚生労働省の調査よりも3年以内に離職した人の割合が小さめに算出されている。これは、本調査の回

⁶ 厚生労働省報道発表資料（平成30年10月23日）。事業所からハローワークに対して、雇用保険の加入届が提出された新規被保険者資格取得者の生年月日、資格取得加入日等、資格取得理由から学歴ごとに新規学校卒業者と推定される就職者数を算出し、更にその離職日から離職者数・離職率を算出。

答者には卒業から時間が経過してから就職した人や、勤続期間が3年未満の人や4年以上の人も含められているためと考えられる。ただ、本調査の学歴別の3年以内離職者の割合は、厚生労働省の調査と同様に、専門・短大・高専卒、高校卒、大学・大学院卒の順に高い。本調査のデータは、離職傾向について学歴間の比較を行うことに問題のないものといえる。

図表序-4 回答者の「初めての正社員勤務先」就職時の経歴（性・学歴・勤続別）

単位：% 太字は実数

男性		離職者	勤続者	女性		離職者	勤続者
高卒 977人 (100.0%)	新卒就職者	261人 (26.7%)	409人 (41.9%)	高卒 640人 (100.0%)	新卒就職者	303人 (47.3%)	122人 (19.1%)
	既卒就職者	151人 (15.5%)	139人 (14.2%)		既卒就職者	146人 (22.8%)	60人 (9.4%)
	学び直し層	7人 (0.7%)	10人 (1.0%)		学び直し層	6人 (0.9%)	3人 (0.5%)
専門・短大 ・高専卒 448人 (100.0%)	新卒就職者	144人 (32.1%)	201人 (44.9%)	専門・短大 ・高専卒 815人 (100.0%)	新卒就職者	436人 (53.5%)	201人 (24.7%)
	既卒就職者	33人 (7.4%)	51人 (11.4%)		既卒就職者	84人 (10.3%)	61人 (7.5%)
	学び直し層	11人 (2.5%)	8人 (1.8%)		学び直し層	25人 (3.1%)	8人 (1.0%)
大学・ 大学院卒 1,689人 (100.0%)	新卒就職者	379人 (22.4%)	1,002人 (59.3%)	大学・ 大学院卒 1,062人 (100.0%)	新卒就職者	396人 (37.3%)	502人 (47.3%)
	既卒就職者	81人 (4.8%)	201人 (11.9%)		既卒就職者	77人 (7.3%)	73人 (6.9%)
	学び直し層	11人 (0.7%)	15人 (0.9%)		学び直し層	8人 (0.8%)	6人 (0.6%)
全学歴男性 3,114人 (100.0%)	新卒就職者	784人 (25.2%)	1,612人 (51.8%)	全学歴女性 2,517人 (100.0%)	新卒就職者	1,135人 (45.1%)	825人 (32.8%)
	既卒就職者	265人 (8.5%)	391人 (12.6%)		既卒就職者	307人 (12.2%)	194人 (7.7%)
	学び直し層	29人 (0.9%)	33人 (1.1%)		学び直し層	39人 (1.5%)	17人 (0.7%)

※「高校卒」には専門学校・短大高専・大学中退者を、「大学・大学院卒」には大学院修士中退者を含む

※各性・学歴の中で最も高い比率を占めるグループを網掛した

※「新卒就職者」=最終学歴の学校を卒業した月あるいはその翌月末までに「初めての正社員勤務先」へ正社員として入職

※「既卒就職者」=最終学歴の学校を卒業した翌月末より後に「初めての正社員勤務先」へ正社員として入職

※「学び直し層」=最終学歴の学校を卒業した月より前の月に「初めての正社員勤務先」へ正社員として入職

日本社会では未熟練の若者が正社員として雇用される機会是最終学歴修了時に集中しており、新卒時に円滑に正社員として就職できたか否かによって、その後のキャリア形成の状況は大きく異なる。本調査の回答者のうち、新卒時に正社員として就職し、かつ調査時点まで辞めることなく働き続けていた人はどのくらいいるのか、またそれ以外のキャリアを歩んでいる人はどのくらいいるのか、本格的な分析を始める前に全体像を把握しておこう。全ての回答者を、最終学歴の学校を卒業してから「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始

めるまでの期間と、調査時点にその会社等を離職していたか否かによって6グループに分割し、各グループが総人数に占める割合を性・最終学歴別に示した(図表序-4)。「新卒就職者」とは、最終学歴の学校を卒業した月またはその翌月に「初めての正社員勤務先」へ入職した人を指す。「既卒就職者」とは卒業した翌月末より後に「初めての正社員勤務先」へ正社員として入職した人を指す。また「学び直し層」とは、最終学歴の学校を卒業した月より前の月に「初めての正社員勤務先」へ正社員として入職した人であり、例えば正社員として働きながら学校へ通う勤労学生や、高校卒業時にいったん正社員就職したが、その後その会社等を離職して大学や専門学校へ入学したような人が含まれている。

集計結果をみてみよう。全学歴についてみると、回答者の8割弱(男性77.0%、女性77.9%)は新卒時に円滑に正社員就職した人であり、約2割が正社員就職するのに時間がかかった人たちである。学び直し層は約2%に過ぎない。性・学歴別にみると男女で異なる傾向がみられる。男性ではいずれの学歴においても、新卒就職者でかつ勤続している人々が最も多く、その割合は学歴が高いほど大きい。また第2位はいずれの学歴でも新卒就職者でかつ離職した人々である。第3位は学歴によって異なり、高校卒では正社員就職するのに時間を要したが離職した人々だが、専門・短大・高専卒や大学・大学院卒では、正社員就職するのに時間を要しかつ勤続している人の方が多い。一方で女性は、新卒就職者でかつ勤続者が最多数派を占めるのは大学・大学院卒のみであり、またその割合は47.3%と半数に満たない。高校卒や専門・短大・高専卒では新卒時に就職したが離職した人が最も多い。第2位は大学・大学院卒では新卒就職者かつ離職者、高校卒と専門・短大・高専卒では新卒就職者かつ勤続者である。第3位はいずれの学歴でも既卒就職者でかつ離職者である。まとめると、本調査の回答者の半数近くは新卒時に円滑に就職しかつ働き続けている安定的なキャリアを歩む人々だが、そうしたキャリアを歩んでいる人の割合は男性や高学歴層でより多く、女性や低学歴層では新卒時に就職できなかった人や、離職した人が比較的多く発生している。

2. 回答者の「初めての正社員勤務先」

回答者が初めて正社員として勤務した会社等の産業と従業員規模、本社所在地の構成をみてみよう(図表序-5)。まず従業員規模は、男女計では32.3%が100人未満、32.5%が100~999人、27.2%が1,000人以上の会社等に入職している。これらの比率は男性ではより規模の大きい方へ、女性では規模の小さい方へと偏る。特に1,000人以上の比率は男性と女性との間に9.0ポイントの差がある。また男性の方が官公庁・公営事業所の比率が4.7ポイント高い。以上は2016年調査と同様の傾向である。

図表序－５ 回答者の「初めての正社員勤務先」の産業・従業員規模・本社所在地

単位：％ 太字は実数

①会社全体の従業員規模				②産業			
	男性	女性	男女計		男性	女性	男女計
1～9人	4.4	8.3	6.2	鉱業、採石業、砂利採取業	0.5	0.1	0.4
10～29人	8.6	12.7	10.4	建設業	5.3	2.7	4.1
30～99人	14.4	17.4	15.7	製造業	26.7	10.5	19.4
100～299人	16.2	17.2	16.7	電気・ガス・熱供給・水道業	2.8	1.1	2.1
300～999人	15.1	16.8	15.8	情報通信業(マスコ除く)	7.5	3.5	5.7
1,000人以上	31.2	22.2	27.2	マスコミ(新聞・出版・テレビ・ラジオ等)	0.7	0.6	0.7
官公庁・公営事業所	10.1	5.4	8.0	運輸業、郵便業	5.9	1.9	4.1
N	3,114	2,517	5,631	卸売業	3.3	3.4	3.4
				小売業	4.7	8.7	6.5
				金融業・保険業	4.9	7.3	6.0
				不動産業、物品賃貸業	1.4	1.5	1.5
				学術研究、専門・技術サービス業 (コンサルティング・広告業除く)	1.5	1.8	1.7
				コンサルティング・広告業	0.7	0.8	0.7
				宿泊業、飲食サービス業	2.7	4.8	3.6
				生活関連サービス業、娯楽業 (理容、クリーニング、旅行など)	1.0	4.3	2.5
				教育、学習支援業	3.2	7.0	4.9
				医療、福祉	8.7	25.2	16.1
				複合サービス事業	0.4	0.7	0.5
				サービス業(他に分類されないもの)	8.4	9.2	8.8
				公務(学校・病院・福祉施設を除く)	9.1	4.3	6.9
				その他	0.3	0.5	0.4
				N	3,114	2,517	5,631

③本社所在地

	男性	女性	男女計
北海道	3.7	5.1	4.3
東北	5.6	6.1	5.8
北関東・甲信	4.0	4.9	4.4
南関東	40.7	33.2	37.3
北陸	3.4	3.7	3.6
東海	11.8	13.3	12.5
近畿	16.5	17.3	16.9
中国	5.1	5.8	5.4
四国	2.3	2.7	2.5
九州	6.6	7.6	7.1
海外	0.3	0.2	0.2
N	3,114	2,517	5,631

次に産業構成をみると、全体的に男性が第二次産業、女性が第三次産業に偏る傾向がみられた。特に、製造業（16.2ポイント差）は男性、医療福祉（16.5ポイント差）は女性に偏っている。この傾向も2016年調査と同様である。

本社所在地については、男性は南関東に偏る傾向がみられ、この偏りのほとんどは東京都によるものだ⁷。男性の勤務先の本社所在地が大都市圏に偏る傾向は、2016年調査と同様である⁸。

⁷ 東京都在住者の割合は男性31.3%、女性24.3%。

⁸ 2016年調査では本社所在地を尋ねる際の選択肢を都道府県ではなく都市規模（1. 東京23区内、2. 政令指定都市、3. 政令指定都市以外の県庁所在地、4. 1～3以外の市、5. 町村、6. 日本以外の国）としており、男性は女性より「東京23区内」に本社のある会社等へ勤務していた傾向が高かった。

7. 2016年調査との違い

先述のとおり、本調査は2016年調査とは調査対象者の範囲が以下の3点において異なる。

- ①最終学歴が「高校中退」である人を調査対象から除いた。
- ②対象年齢を21～33歳から20～33歳へ拡大した。
- ③「最終学歴を終えた時期」を割付の条件から外した。

これらのうち最も重要な変更点は③である。具体的には、2016年調査では「3年以内離職者」となるか否かが明確になった人のみを調査対象とするために、「最終学歴の学校を卒業・中退して3～9年が経過した（＝2007年3月～2013年3月に卒業または中退した）」ことを調査対象者の条件として設定した。そのため2016年調査では、学歴によって調査対象者の年齢層が異なることになった。本調査では、この「最終学歴を終えた時期」を調査対象者の条件から除いたため、2016年調査で叶わなかった以下の事柄を分析できるようになった。

第一に、2016年調査における、「最終学歴によって回答者の年齢層が異なる」というデータの制約が解消され（図表序－6①）、年齢（学歴）を統制して学歴（年齢）の効果を確かめる分析をより適切にできるようになった。

第二に、「最終学歴を終えて3年以内の若者」が調査対象に含まれることになった（図表序－6②）ため、2016年調査における「新卒就職者の勤続期間の範囲が、離職者と勤続者とで大幅に異なる」というデータの制約が解消され（図表序－6③）、勤続期間に影響を受ける事柄（給与額、能力の伸長、経験の幅など）を離職者と勤続者とで比較する際に、勤続期間を統制した分析を十分なケース数を用いてより適切にできるようになった⁹。

第三に、2016年調査における「勤続者の勤続期間の範囲が新卒就職者と既卒就職者とで大幅に異なる」というデータの制約が解消されたことで、新卒時に正社員就職できた「新卒就職者」と、卒業から就職までに時間のかかった「既卒就職者」との間で、離職に至った背景がどうことなるのか、より適切に比較できるようになった。

⁹ 本調査の対象年齢は20歳以上であるため、高校卒業者についてはできない。なお19歳以上で高校を卒業した人（7名）がいるため、図表序－2②では高校卒業者の卒業年月の上限が2018年4月となっている。

図表序－6 2016年調査と本調査の回答者構成の違い

①学歴別年齢構成

A) 2016年調査

B) 本調査

男女計	21-24歳	25-29歳	30-33歳	合計	男女計	20-24歳	25-29歳	30-33歳	合計
高校卒	458	603		1,061	高校卒	361	546	710	1,617
専門学校卒	69	415		484	専門学校卒	153	310	270	733
短大高専卒	74	268		342	短大高専卒	114	196	220	530
大学卒		1,498	1,385	2,883	大学卒	460	1,140	840	2,440
大学院卒		198	228	426	大学院卒	11	160	140	311
計	601	2,982	1,613	5,196	計	1,099	2,352	2,180	5,631

※両調査とも「高校卒」には専門学校・短大高専・大学中退者を、「大学卒」には大学院修士中退者を含む

※2016年調査の「高校卒」には高校中退者を含む

※2016年調査で調査対象としなかった年齢層・学歴の組み合わせを網掛した

②回答者の最終学歴を終えた時期（離学）時期の範囲

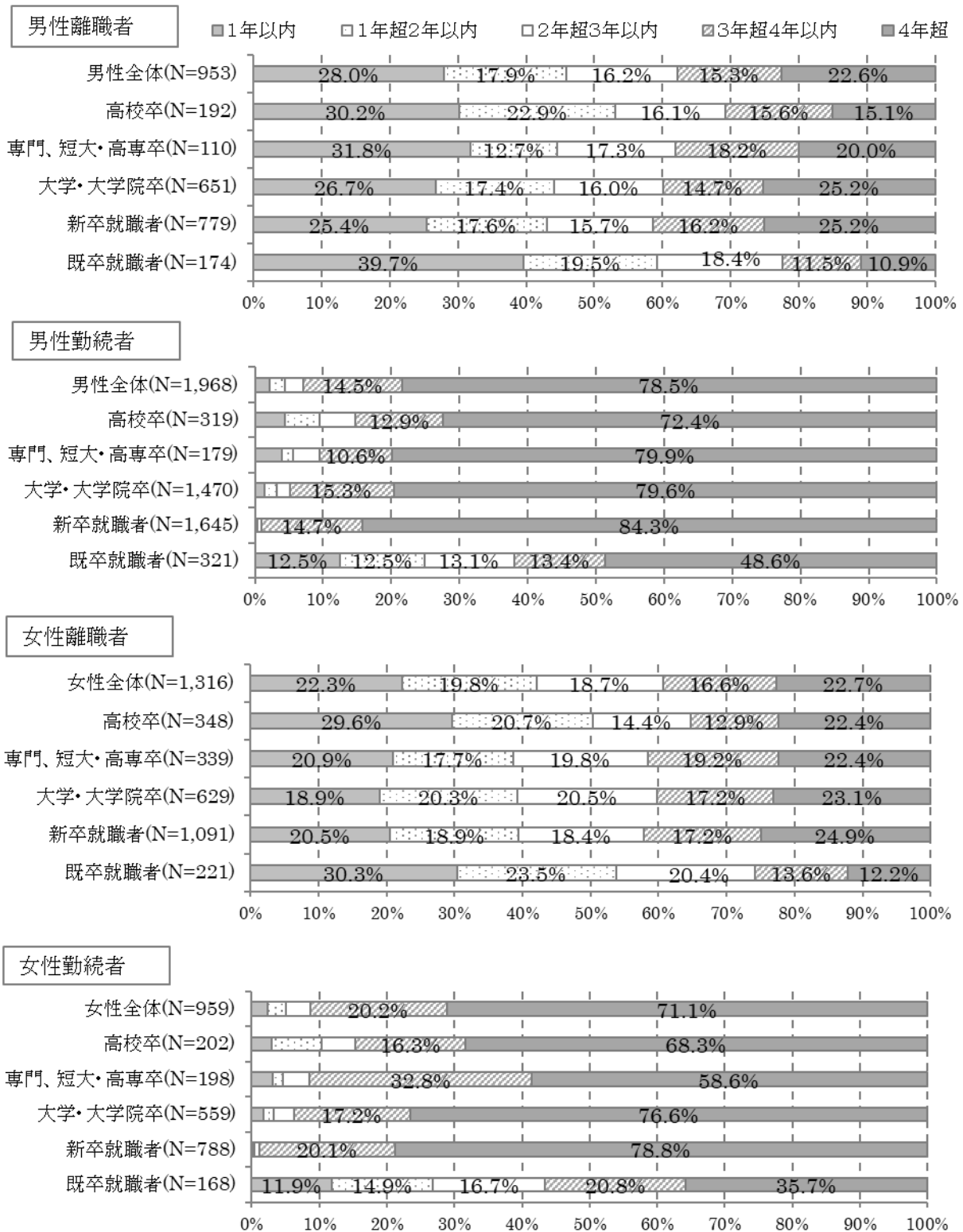
	2016年調査(2016年3月実施)	本調査(2018年8月実施)
高校卒	2007年3月 ～ 2012年12月	2003年2月 ～ 2018年4月
専門学校卒	2007年3月 ～ 2012年4月	2005年3月 ～ 2018年3月
短大高専卒	2007年3月 ～ 2012年4月	2005年3月 ～ 2018年3月
大学卒	2007年3月 ～ 2012年12月	2007年3月 ～ 2018年6月
大学院卒	2007年3月 ～ 2012年4月	2009年3月 ～ 2018年4月

※2016年調査の「高校卒」には高校中退者を含む。

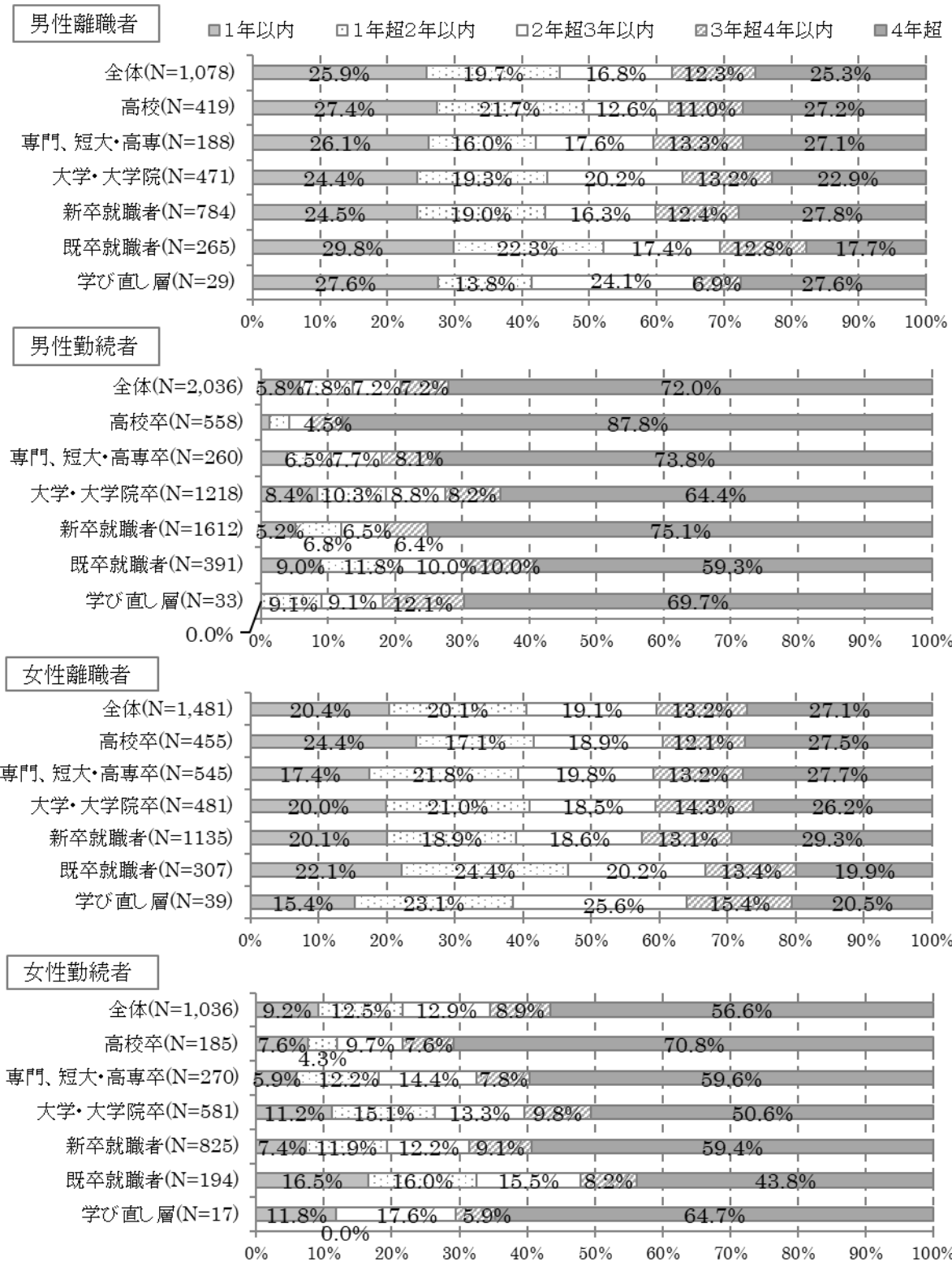
※2016年調査では通ったことのある最上位の学校を卒業・中退した年月を、本調査では卒業した年月を調査対象者の範囲設定に用いた。そのため専門学校・短大高専・大学中退者は2016年調査では当該の学校へ、本調査では「高校卒」へ含まれ、修士中退者は2016年調査では「大学院卒」へ、本調査では「大学卒」へ含まれる。

③ 「初めての正社員勤務先」での勤続期間分布（性・最終学歴・勤続別）

A) 2016年調査



B) 本調査



第4節 本報告の構成

本報告は二部構成となっている。第一部では、若者自身の特徴や、初めて正社員として勤務した会社等（初めての正社員勤務先）におけるどのような経験が、若年者の離職と関連しているのか明らかにすることを目標とした。その際の分析方法は、離職率（ある特徴を持つ者の何%が離職したか）を算出するのではなく、離職者と勤続者の各設問への回答の分布を比較する形で行った。

第1章から第3章では、新卒者とその他の若者とでは就職活動時に得られる支援や情報、応募可能な求人内容が異なることを考慮して、新卒就職者（卒業月または翌月に就職した人）と既卒就職者（卒業月の翌々月以降に就職した人）の経験の違いと、その違いが離職傾向にもたらす影響を検討した。具体的には、第1章では「初めての正社員勤務先」に入職する前の学生生活や就職活動、キャリア教育、応募経路、就業状況等について、第2章では「初めての正社員勤務先」の企業属性、社風（企業体質）について、第3章では「初めての正社員勤務先」における労働条件（労働時間・給与、労働時間制度、労働時間・空間、職務の限定性）、教育訓練、職場でのコミュニケーションやトラブルについて検討した。

第4章と第5章では、時間の経過とともに変化する事柄に焦点をあてるため分析対象者を勤続期間10年以内の若者に限定した上で、勤続期間を統制した分析を行った。まず第4章では、「初めての正社員勤務先」における担当業務および職務遂行能力の変化を離職者と勤続者とで比較した。さらに第5章では、第二部にむけての準備として離職者のみを分析対象とし、「初めての正社員勤務先」を辞めた理由と、仕事や働くことについての悩みを相談した相手について、早期に離職した人とある程度の経験を積んでから離職した人とを比較した。

第6章では、以上の第一部で得られた知見をまとめ、それらの知見から得られたインプリケーションと具体的な政策提言を行った。

第二部では、主に「初めての正社員勤務先」を離職した若者を分析対象として、彼・彼女らが離職した後のキャリア形成状況を、性別・学歴・「初めての正社員勤務先」における勤続期間等を分析軸として検討した。

第7章では、離職者全体を分析対象として、「初めての正社員勤務先」を離職した直後から調査時点現在までの状況について検討した。具体的には、離職後1年間の状況と、離職時の求職活動と現在までの状況、今後の就業見込みなどについて分析を行った。

第8章では、離職者のうち調査時点現在において就業している人の状況について検討した。具体的には、現在の勤務先と「初めての正社員勤務先」との諸属性の比較、現在の勤務先における労働時間・給与、現在の勤務先に対する評価について、性別、学歴、「初めての正社員勤務先」での勤続期間に加え、現在の就労形態ごとの違いについても分析を行った。

第9章では、離職者の現在の生活状況を一部において勤続者と比較しながら、現在の家庭状況および現在の生活全般に対する満足感について、離職後現在は正社員として働いている

者、正社員以外の雇用形態で働いている者、被雇用者以外の形で働いている者、現在はもっぱら就職活動をしている者、これらのいずれにも当てはまらない非労働力者に分けて分析を行った。

最後の第 10 章では、第二部で得られた知見をまとめ、それらの知見から得られたインプレーションと具体的な政策提言を行っている。

第 5 節 用語の定義

本調査の調査票における用語の定義をおおまかに以下に示す。詳細は本報告の巻末に掲載した調査票を参照のこと。

- 「初めての正社員勤務先」＝回答者が初めて正社員として勤務した会社等。
- 「正社員」＝官公庁・病院・学校等で「正職員」として雇用される労働者や、「短時間正社員」「地域限定正社員」、正社員に移行することを予定した「試用期間」中の労働者を含む。
- 「会社」＝病院や学校、公的団体など通常「会社」とはよばない勤め先も含む。
- 「最終学歴の学校」＝中途退学した場合には中途退学した学校の前に卒業した学校、在学中の場合は在学している学校に入る前に卒業した学校。大学・短大・高等専門学校を卒業後、専修学校（専門課程）に進んだ人は、大学・短大・高等専門学校を最終学歴としている。専修学校（一般課程）や各種学校（自動車教習所等）は除く。
- 「専門学校」＝専修学校専門課程。
- 「大学院卒」＝大学院修士課程修了。
- 「最終学歴における専攻」＝文部科学省「学校基本調査」の学科コードに準拠する。
- 「新卒就職者」＝最終学歴の学校を卒業した月あるいはその翌月末までに「初めての正社員勤務先」へ正社員として入職した人
- 「既卒就職者」＝最終学歴の学校を卒業した翌月末より後に「初めての正社員勤務先」へ正社員として入職した人
- 「学び直し層」＝最終学歴の学校を卒業した月より前の月に「初めての正社員勤務先」へ正社員として入職した人
- 「離職」＝同じ会社等の中で正社員から正社員以外の雇用形態に転換した場合を含む。2016年調査では、調査時点において「初めての正社員勤務先」を離職している、または「初めての正社員勤務先」で正社員以外の労働者として勤務している状態にあるか否かを尋ねたが、本調査では、過去に一度でも「初めての正社員勤務先」を離職した、または「初めての正社員勤務先」で正社員から正社員以外の労働者へ転換したことがあるか否かを尋ねている。したがって、いったん「初めての正社員勤務先」を離職または非正社員転換した後に、再度「初めての正社員勤務先」で正社員として復職した人は、2016年調査では「勤続

者」、本調査では「離職者」として扱われる。

- 「初任給」＝回答者が「初めての正社員勤務先」で「正社員」として働き始めてから初めて受け取った月あたりの給料（税込）。年俸制の場合は賞与を除く1ヶ月あたりの金額。千円以下切り下げ。
- 「月収」＝税込額。月ごとに異なる場合は平均的な金額。年俸制の場合は賞与を除く1ヶ月あたりの金額。千円以下切り下げ。「初めての正社員勤務先」を離職する直前および調査時点について回答。
- 「従業員規模」＝勤務している事業所だけでなく会社全体の従業員数。
- 「業種」＝日本標準産業分類（平成19年11月改定）の大分類（一部中分類）に準拠する。勤務先が複数の事業を行っていた（いる）場合は回答者の業務に最も関連しているもの
- 「職種」＝「主に」従事していた（いる）仕事内容。日本標準職業分類（平成21年12月統計基準設定）の大分類に準拠する。
- 「週あたりの労働時間」＝1週間あたりの平均的な労働時間。休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。30分単位切り上げ。
- 「初めての正社員勤務先に入社した時期」＝「正社員」として勤務し始めた時期。同じ会社の中で正社員以外の労働者から正社員へ転換した場合は正社員として働き始めた時期。学生時代のアルバイトや家業を卒業後も続けた場合や在学中に働き始めた場合は卒業後に正社員として働き始めた時期。試用期間があった場合は「試用期間」が始まった時期。
- 「現在の勤務先に入社した時期」＝同じ会社の中で雇用形態が変わった場合（例：正社員→アルバイト）は、現在の雇用形態で働き始めた時期
- 「結婚」＝事実婚を含む。
- 「配偶者」＝事実婚のパートナーを含む。
- 「子どもの有無」＝回答者・配偶者が妊娠中の場合も「子どもがいる」とみなす。
- 「世帯年収」＝税込み金額。臨時収入、副収入を含む。

<参考文献>

JILPT（2014）『若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状②—平成24年版「就業構造基本調査」より—』JILPT資料シリーズ No.144.

JILPT（2016）『若年者のキャリアと企業による雇用管理の現状：「平成25年若年者雇用実態調査」より』JILPT資料シリーズ No.171.

JILPT（2017）『若年者の離職状況と離職後のキャリア形成——「若年者の能力開発と職場への定着に関する調査」より』JILPT調査シリーズ No.164.

第一部 「初めての正社員勤務先」を離職した若者の特徴

第1章 個人属性と入職までのキャリア

本章では、若者が初めて正社員として勤務した会社等（以下「初めての正社員勤務先」）へ入職する前の行動や経験について、「初めての正社員勤務先」を離職した若者（以下「離職者」）と勤め続けている若者（以下「勤続者」）とを比較する。具体的には、最終学歴の学校種・専攻、「初めての正社員勤務先」へ入職する直前の就業状況、在学中の学生生活や職業教育・キャリア教育、就職活動の進め方、「初めての正社員勤務先」への応募経路、志望度、入職理由などが、離職者と勤続者とではどのように異なるのか、原則として性別・学歴ごとに比較する。また後述のとおり、新卒時に就職できたか否かによって、入職後の離職状況は異なる。そこで以下では必要に応じて、新卒就職者（卒業月またはその翌月に「初めての正社員勤務先」に就職）と既卒就職者（卒業翌月末より後に就職）の経験を比較した上で、両者の経験の違いが入職後の離職状況とどのような関係があるのか検討を行う。

分析対象は全回答者で、離職者¹が 2,559 人（男性 1,078 人、女性 1,481 人）、勤続者が 3,072 人（男性 2,036 人、女性 1,036 人）である。なお本章以降、最終学歴ごとの傾向を見る際には、中途退学（以下「中退」と略す）者を一つ下位の学校段階卒業者に含め（専門学校・短大・高専・大学中退者は高校卒、大学院修士中退者は大学卒に含めた）、状況に応じて、ケース数が少ない短大・高専卒は専門学校卒と、大学院卒は大学卒と合算した値を示した。

第1節 最終学歴・専攻・入職までの経歴

1. 最終学歴

図表 1-1 ①に、全回答者について性別に勤続者と離職者の最終学歴の分布を示した。男女とも、勤続者の方が高学歴に偏っている。男性では、離職者は高校卒と専門学校卒、勤続者は大学卒および大学院卒の比率が高い。女性では、離職者は高校卒、専門学校卒、短大・高専卒、勤続者は大学卒と大学院卒の比率が高い。2016年調査（図表 1-1 ②）では学歴ごとの目標回収数の達成度が大幅に異なり、回答者が大学卒と大学院卒に偏っていたため、離職者と勤続者の間の学歴構成の差があまり明確ではなかったが、本調査では実際の人口構成により近い構成で回収できたため、学歴の影響力がより明確に現れている。

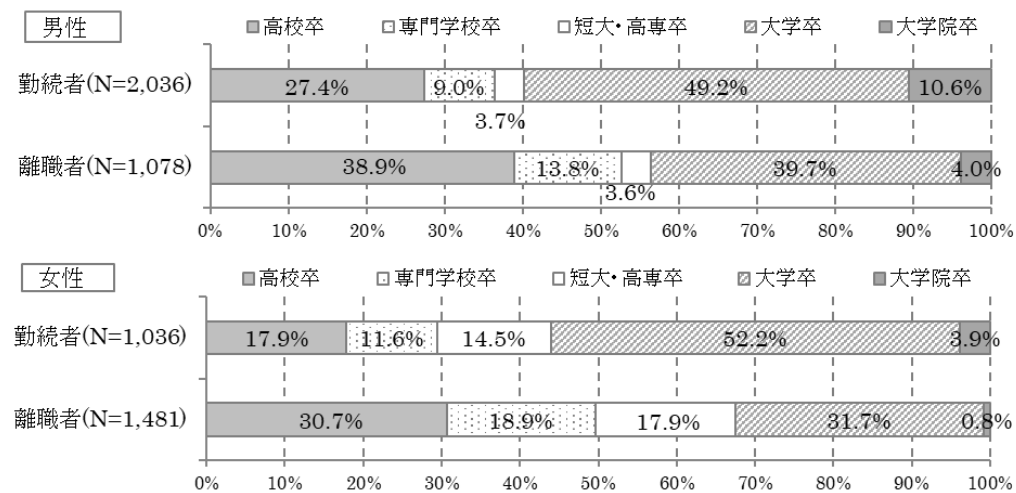
ただし、より若い年齢層の回収目標を達成できなかった、男性の高校卒、専門学校卒、短大・高専卒、女性の短大・高専卒では、回答者の年齢がより高い層に偏って分布している（図

¹ 「初めての正社員勤務先」で正社員から正社員以外の労働者へ転換した 76 人（男 25 人、女 51 人）を含む。

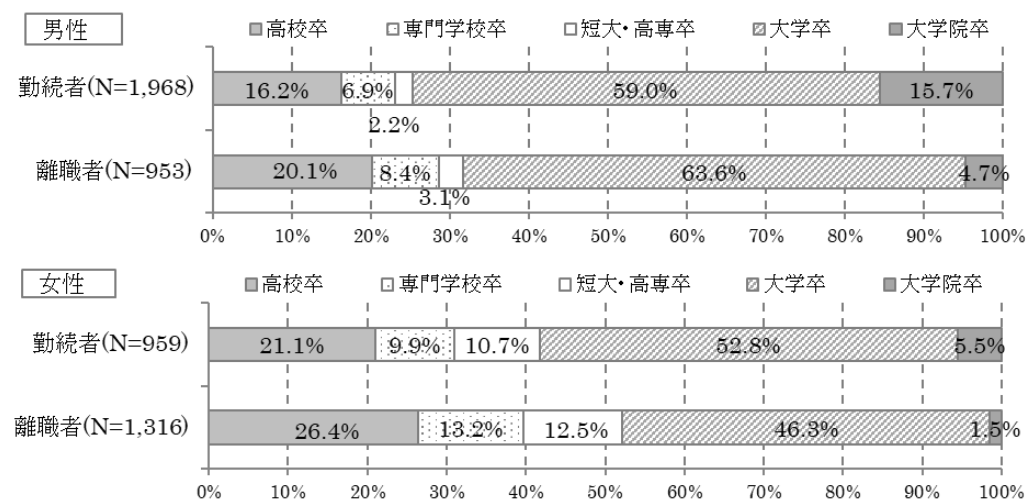
表序—1 ①②)。同じ学歴ならば年齢が高いほど「初めての正社員勤務先」に入職してから調査時点までの経過期間が長い人の割合が高くなり、したがって離職者の割合も高くなるため、上記の性・学歴層では離職者の割合が実際より高く現れている可能性がある。とはいえこの点についても、2016年調査と比べて大幅に改善されており²、回答者の年齢構成が大幅に高年齢層に偏っているのは男性の高校卒のみである。

図表 1-1 2016年調査と本調査の回答者の最終学歴（性・勤続別）

① 本調査



② 2016年調査



※「高校卒」には専門学校、短大・高専、大学の中退者を、「大学卒」には大学院修士中退者を含む。

² 2016年調査では男性の高校卒、専門学校卒、短大・高専卒、女性の専門学校卒、短大・高専卒、大学院卒において年齢が高い層にケース数が偏っている。

2. 最終学歴での専攻

最終学歴が同じ人たちの間で、離職した人と勤続している人とは、その学校で学んだ内容（専攻³）にどのような違いがあるだろうか。性別・学校種ごとに、離職者と勤続者との間で5ポイント以上の分布差がある専攻⁴を確認しよう（図表1-2）。ただし、男性の短大卒、女性の高等専門学校卒と大学院卒はケース数が少ないため検討を行わない。

高校卒では、男女とも普通科の割合は離職者でより高く、男性の工業科の割合は勤続者の方が12.9ポイントも高い。

専門学校卒では、男女とも衛生関係⁵の割合が離職者でより高く、特に女性では11.3ポイントもの差がある。さらに女性では医療関係⁶の割合が勤続者でより高く、13.2ポイントの差がある。以上の、専門学校卒女性における医療関係と衛生関係の対照的な傾向は2016年調査の結果と一致する。

高等専門学校卒の男性では、情報系の割合は離職者でより高く（14.3ポイント差）、機械材料系の割合は勤続者でより高い（16.2ポイント差）傾向がみられ、2016年調査の結果と一致する。さらに、電気、電子系やその他工業の割合は離職者で、化学・生物系は勤続者でより高い傾向もみられ、いずれも10ポイント以上の差がある。

短大卒の女性では、教育の割合が離職者で、社会⁷の割合が勤続者でより高い傾向がみられたが、2016年調査で確認された医療・保健・看護学の割合が勤続者でより高い傾向はみられなくなった。

大学卒は男女とも離職者と勤続者との間に専攻の違いがあまりみられない。唯一女性において人文科学の割合が離職者でより高い傾向が見られた。

大学院卒の男性では、工学と理学の割合が勤続者でより高い一方、社会科学や医療・保健・看護の割合は離職者でより高い傾向がみられた。

³ 調査票上では、短期大学の専攻のうち「人文」には「文学、史学、哲学、外国語」など、「社会」には「商学、経済学、社会学、心理学、社会福祉、ビジネス」など、「教養」には「国際教養、生活教養、文化教養、情報文化学、現代教養学、生活創造」など、「工業」には「機械、電気、建築、情報」などが含まれる旨の注記を示した。同様に高等専門学校の専攻のうち「その他工業」には「総合、複合等」が、大学・大学院の専攻のうち「社会科学」には「法学、経済学、商学、社会学、福祉」など、「人文科学」には「文学、哲学、史学、心理学、外国語」など、「工学」には「機械、電気、建築、情報」などを旨の注記を示した。

⁴ 専攻を尋ねた際に「その他」を選んだ人の自由記述の回答を「学校基本調査」の学科コード表に基づきアフターコーディングした。それでもなおプレコードに配分できなかったケースは「その他」とした。

⁵ 栄養、調理、理容、美容、製菓・製パンなど。

⁶ 看護、歯科衛生、臨床検査、はり・きゅう・あんま、柔道整復、理学・作業療法など。

⁷ 法学政治学、商学経済学、社会学、社会福祉などの社会事業など

図表 1-2 最終学歴の学校での専攻（性・学校種・勤続別）

単位：% 太字は実数

	高校卒				専門学校卒				
	男性		女性		男性		女性		
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	
普通科	48.7	40.9	46.4	41.1	工業関係	26.2	30.4	3.6	4.2
工業科	27.4	40.3	5.3	6.5	農業関係	0.7	1.1	0.4	0.8
商業科	11.2	10.4	27.0	29.2	医療関係	23.5	27.7	41.8	55.0
総合学科	4.3	3.8	7.9	10.3	衛生関係	10.7	3.3	22.1	10.8
農業学科	5.3	3.4	5.5	4.3	教育・社会福祉関係	11.4	8.7	7.5	3.3
看護・福祉学科	1.0	0.2	4.2	5.9	商業実務関係	14.8	14.1	6.1	10.8
家庭学科	0.5		1.5	1.1	服飾・家政関係	1.3	2.2	4.6	5.0
その他	1.7	1.1	2.2	1.6	文化・教養関係	10.7	12.0	13.9	10.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	その他	0.7	0.5		
N	419	558	455	185	総計	100.0	100.0	100.0	100.0
					N	149	184	280	120

	高等専門学校卒				短期大学卒				
	男性		女性		男性		女性		
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	
機械、材料系	15.4	31.6	12.5		人文	15.4	5.3	10.8	12.1
電気、電子系	34.6	26.3	12.5	19.2	社会	7.7	15.8	10.8	17.7
情報系	23.1	8.8	25.0	19.2	教養			5.2	5.6
化学・生物系		12.3	18.8	23.1	工業	38.5	21.1	2.4	2.4
建設、建築系	7.7	10.5	18.8	19.2	農業	7.7	15.8	0.4	0.8
その他工業	19.2	7.0	12.5	19.2	医療・保健・看護学	15.4	36.8	12.9	15.3
商船		3.5			家政			15.7	13.7
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	教育	7.7	5.3	36.5	27.4
N	26	57	16	26	芸術	7.7		4.8	4.8
					その他			0.4	
					総計	100.0	100.0	100.0	100.0
					N	13	19	249	124

	大学卒				大学院卒				
	男性		女性		男性		女性		
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	
社会科学	50.0	47.5	32.4	30.5	社会科学	16.3	8.3	16.7	15.0
人文科学	13.1	9.7	28.8	23.1	人文科学	2.3	2.3	16.7	15.0
教育	4.2	4.6	7.9	11.5	教育		3.2	25.0	5.0
工学	22.2	21.6	2.8	4.6	工学	46.5	51.9	16.7	22.5
農学	2.3	3.4	3.6	3.0	農学	7.0	9.3	8.3	5.0
理学	2.3	4.4	2.8	3.5	理学	7.0	14.8	8.3	20.0
医療、保健、看護	4.4	7.6	13.9	16.5	医療、保健、看護	20.9	10.2	8.3	10.0
家政	0.2	0.3	4.5	4.3	家政				5.0
芸術	0.9	0.6	2.8	2.6	芸術				2.5
その他	0.2	0.4	0.6	0.6	その他				
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	総計	100.0	100.0	100.0	100.0
N	428	1,002	469	541	N	43	216	12	40

※回答がなかったセルは空欄とした

※「高校卒」には専門学校、短期・高専、大学の中退者を、「大学卒」には大学院修士中退者を含む。

※5ポイント以上の差で離職者>勤続者の場合は網掛、離職者<勤続者の場合は斜体+下線で示した

男性の高等専門学校卒では情報系、女性の専門学校卒では衛生関係（栄養、調理、理容、美容、製菓・製パン）の割合が離職者でより高いという傾向は、それらの専攻出身者が多く就職する産業（情報通信業、飲食・小売・サービス）が離職を生み出しやすい傾向を反映している。情報通信業で働く若い男性には、転職・独立を望ましいと考えかつ実際に転職を希望する「ジョブホッパー層」が多い（JILPT 2016, p.95）。また飲食・小売・サービスといった産業は、新卒就職者の3年以内離職率が高い業種でもある⁸。短大卒女性において医療・保健・看護学の割合が勤続者でより高い傾向がみられなくなった変化や、大学院卒男性において医療・保健・看護学の割合が離職者でより高い傾向が新たに現れたといった変化は、昨今の医療従事者の労働環境の過酷化を反映しているのかもしれない。

3. 「初めての正社員勤務先」に入職するまでの経歴

最終学歴の学校卒業後、短期間で正社員就職できたか否かによって、入職後の離職／定着状況は異なるのだろうか。図表1-3①に、離職者と勤続者の、最終学歴の学校を卒業してから「初めての正社員勤務先」に正社員として働き始めるまでに要した期間を、性・学歴ごとに示した。「新卒就職者」とは最終学歴の学校を卒業した月またはその翌月に「初めての正社員勤務先」へ入職した人を指す。「既卒就職者」とは卒業月の翌々月以降に「初めての正社員勤務先」へ入職した人を指す。「学び直し層」とは最終学歴の学校を卒業した月より前の月に「初めての正社員勤務先」へ入職した人を指す⁹。さらに「既卒就職者」を卒業から入職までの期間によって「卒業翌々月～1年以内」「卒業から1年を超えて3年以内」「卒業から3年超」の3グループに分けている。なお以下では、ケース数の少ない短大卒と高専卒とはひとまとめにして分析を行う。大学院卒は「学び直し層」が多いという特徴があるため大学卒とは別途分析するが、女性はケース数が少ないため検討を行わない。

はじめに全体の傾向を見よう。離職者・勤続者問わず男女とも、最も多いのは「新卒就職者」である。ただしその割合は学歴によって異なり、おおむね教育年数が長いほど、また離職者より勤続者でより高い。この傾向は2016年調査と同様である。また2016年調査では調査対象から外れていた「学び直し層」は、専門学校卒と大学院卒で多い。

次に、離職者と勤続者の間の分布差をみてみよう。2016年調査では、『「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始める直前（1ヶ月以内）に学校を卒業』したと回答した「新卒就職者」に該当する人の割合を離職者と勤続者との間で比較した結果、男女とも、またいずれの学歴においても大きな違いがみられなかった。これに対して本調査では、新卒就職者の割合が、男性の高校卒や大学院卒では勤続者でより高く、女性の短大・高専卒では離職者で

⁸ 厚生労働省報道発表資料（平成30年10月23日）「新規学卒者の離職状況（平成27年3月卒業者の状況）」。

⁹ 本調査では2016年調査と同様、高等教育機関（高等専門学校・短期大学・大学・大学院）を卒業後、専門学校（専門課程）に進学した場合は、専門学校ではなくより上位の学歴である上記の高等教育機関を「最終学歴」として答えるよう依頼している。

より高い傾向が見られた。この分析結果の違いは、2016年調査の回答者が男女とも大学卒に偏っていたのに対し、本調査では他の学歴についても分析に十分な数の回答者を集められたため生じたものと思われる。

図表1-3① 卒業から「初めての正社員勤務先」入職までに要した期間（性、学歴、勤続別）

単位：％ 太字は実数

入職時期	男性		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		全体											
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者										
新卒就職者： 卒業月または翌月	62.3	78.2	77.2	77.2	74.4	77.6	80.6	81.6	79.1	86.2	72.7	79.2												
既卒就職者： 卒業翌々月～1年以内	6.9	3.9	7.4	4.9	5.1	2.6	6.5	4.4	4.7	2.8	6.7	4.1												
卒業から1年を超えて3年以内	12.6	36.0	5.4	24.9	5.4	16.2	7.1	19.6	12.8	23.0	10.5	19.7	8.4	17.5	9.5	17.3	7.0	14.0	9.3	13.0	9.7	24.6	8.2	19.3
卒業から3年超	16.5	15.6	3.4	7.6	5.1	6.6	2.6	3.4	2.3	0.9	8.2	7.0												
学び直し層： 卒業月より前の月	1.7	1.8	6.7	3.3	2.6	2.6	1.9	1.1	7.0	1.9	2.7	1.6												
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0										
N	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216	1,078	2,036												
入職時期	女性		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		全体											
新卒就職者： 卒業月または翌月	66.6	65.9	78.9	74.2	81.1	74.7	82.5	87.1	75.0	77.5	76.6	79.6												
既卒就職者： 卒業翌々月～1年以内	5.9	2.2	5.7	9.2	3.4	6.7	7.2	3.0	16.7	7.6	5.8	4.2												
卒業から1年を超えて3年以内	12.3	32.0	9.7	32.4	7.5	14.3	7.5	23.4	9.8	16.6	7.3	22.0	6.6	15.9	6.1	12.2	16.7	7.6	17.5	9.0	20.7	7.1	18.6	
卒業から3年超	13.8	20.5	1.1	6.7	3.4	8.0	2.1	3.1	16.7	2.5	5.9	7.3												
学び直し層： 卒業月より前の月	1.3	1.6	6.8	2.5	2.3	3.3	1.5	0.7	8.3	5.0	2.6	1.6												
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0										
N	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40	1,481	1,036												

※回答がなかったセルは空欄とした
 ※5ポイント以上の差で離職者の方が高い場合を網掛け、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した
 ※高校卒には専門学校中退、短大・高専中退、大学中退を、大学卒には大学院中退を含む

以上をふまえ、離職者と勤続者の卒業から「初めての正社員勤務先」へ入職するまでの経歴を、性・学歴別に比べよう。まず男性について検討する。専門学校卒、短大・高専卒、大学卒の男性には目立った特徴がみられない。大学院卒の男性では、学び直し層の割合は離職者で、新卒就職者の割合は勤続者でより高い。高校卒の男性では、既卒就職者の割合は離職者で、新卒就職者の割合は勤続者でより高い。高校卒の男性は新卒時に正社員として就職できる人が少ないだけでなく、既卒者として就職した場合には職場に定着することも難しい。

次に女性について検討する。大学卒の女性には目立った特徴が見られない。一方、低学歴層の女性では、勤続者の方が卒業から入職までに時間を要した傾向がある。専門学校卒の女性では、既卒就職者の割合は勤続者でより高く、特に卒業から3年を超えてから就職した人の割合が高い。短大・高専卒の女性では、新卒就職者の割合は離職者で、既卒就職者の割合は勤続者でより高い。また高校卒の女性では、既卒就職者全体の割合は勤続者と離職者ととあまり差がないが、卒業から3年を超えてから就職した人の割合は、勤続者の方が離職者より6.7ポイント高く、その割合は20.5%と、他のどの学歴・経歴と比べても最も高い。

さらに、新卒就職者・既卒就職者・学び直し層の総人数のうち「初めての正社員勤務先」を調査時点までに離職した人が占める割合（離職率）を、性・学歴ごとに示した（図表1-

3②)。既卒就職者については、卒業から就職までに要した期間によって3つのグループに分割し、それぞれの離職率も示した。男女の各学歴全体の離職率より5ポイント以上高い場合を網掛け、低い場合を斜体と下線で示した。

図表1-3② 卒業から入職までに要した期間別「初めての正社員勤務先」離職率
(性、学歴別)

単位：% 太字は実数

就職に要した期間	男性		女性	
	離職率	N	離職率	N
高校卒 全体	42.9	977	71.1	640
新卒就職者	39.0	670	71.3	425
既卒就職者	52.1	290	70.9	206
卒業翌々月～1年以内	56.9	51	87.1	31
1年超～3年以内	63.9	83	75.7	74
3年超	44.2	156	62.4	101
学び直し層	41.2	17	—	9
専門・短大・高専卒 全体	42.0	448	66.9	815
新卒就職者	41.7	345	68.4	637
既卒就職者	39.3	84	57.9	145
卒業翌々月～1年以内	54.2	24	54.3	46
1年超～3年以内	38.2	34	70.1	67
3年超	26.9	26	37.5	32
学び直し層	57.9	19	75.8	33
大学・大学院卒 全体	27.9	1,689	45.3	1,062
新卒就職者	27.4	1,381	44.1	898
既卒就職者	28.7	282	51.3	150
卒業翌々月～1年以内	37.5	80	64.2	53
1年超～3年以内	25.3	154	46.3	67
3年超	25.0	48	40.0	30
学び直し層	42.3	26	57.1	14
全学歴 全体	34.6	3,114	58.8	2,517
新卒就職者	32.7	2,396	57.9	1,960
既卒就職者	40.4	656	61.3	501
卒業翌々月～1年以内	46.5	155	66.2	130
1年超～3年以内	38.7	271	64.4	208
3年超	38.3	230	53.4	163
学び直し層	46.8	62	69.6	56

※離職率＝離職者数÷各経歴総人数

※学歴全体の離職率より5ポイント以上の差で大きい場合を網掛、小さい場合を斜体と下線で示した

※Nが11に満たない場合は離職率を示さず「—」とした

※高校卒には専門学校中退、短大・高専中退、大学中退を、大学卒には大学院中退を含む

まず、学び直し層の離職率が高いのは、「初めての正社員勤務先」を離職してから学校に入り直した人たちが多数含まれるため当然である。次に、新卒就職者の離職率は、男女とも全学歴において全体の離職率とほぼ同程度である。これは回答者全体に占める新卒就職者の割

全体より高く、専門・短大・高専卒の女性では全体より低い傾向がみられた。さらに就職までに要した期間ごとの離職率をみると、専門・短大・高専卒の男性および全ての学歴の女性において卒業から3年を超えてから正社員として就職した人の離職率が低い傾向がみられた。

一般に、卒業から就職までに長い時間がかかった人は早期に就職できた人より職務遂行能力や職場への適応力が低いため離職率も高く現れやすいと思われがちである。しかし本調査の結果からは、高校卒の男性では卒業から3年以内に就職した人の方が3年を超えてから就職した人より大幅に離職率が高く、高校卒の女性、専門・短大・高専卒の男性、大学・大学院卒の男女では卒業から1年以内に就職した人の方が1年を超えてから就職した人より大幅に離職率が高い。既卒就職者の中では、卒業から比較的短期間で正社員の仕事を得られた人の方が、長い間無業や非正社員として働いてから正社員となった人より離職率が高いのはなぜだろうか。

図表1-4 既卒就職者の「初めての正社員勤務先」に入職する直前の状況（性・学歴別）

単位：％ 太字は実数

性別	高校				専門・短大・高専				大学・大学院				
	1年以内	1年超-3年以内	3年超	既卒全体	1年以内	1年超-3年以内	3年超	既卒全体	1年以内	1年超-3年以内	3年超	既卒全体	
男性	学校で学んでいた (学校を卒業してまもなく「初めての正社員勤務先」へ就職した)	43.1			7.6	41.7	20.6		20.2	37.5	29.9	10.4	28.7
	「初めての正社員勤務先」で、正社員以外の労働者として働いていた	9.8	21.7	23.7	20.7	16.7	17.6	23.1	19.0	13.8	17.5	22.9	17.4
	他の会社で契約社員として働いていた	7.8	6.0	11.5	9.3		17.6	23.1	14.3	3.8	10.4	8.3	8.2
	他の会社で派遣社員として働いていた	2.0	3.6	7.1	5.2		8.8	3.8	4.8	2.5	3.9	4.2	3.5
	他の会社でパート・アルバイトとして働いていた	13.7	49.4	36.5	36.2	8.3	11.8	30.8	16.7	10.0	14.9	16.7	13.8
	雇用以外の形態で働いていた (会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など)	3.9		3.2	2.4		2.9	3.8	2.4		1.3		0.7
	もっぱら就職活動をしていた	9.8	6.0	7.1	7.2	4.2	14.7	11.5	10.7	25.0	12.3	14.6	16.3
	もっぱら勉強をしていた(在学していた場合を除く)	2.0	8.4	3.8	4.8	16.7	2.9		6.0	6.3	6.5	12.5	7.4
	もっぱら家族の世話(家事・育児・介護)をしていた			1.3	0.7		2.9		1.2				
	もっぱら療養・休養していた	5.9	4.8	5.8	5.5	12.5		3.8	4.8	1.3	3.2	10.4	3.9
	その他	2.0			0.3								
	総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	N	51	83	156	290	24	34	26	84	80	154	48	282
女性	学校で学んでいた (学校を卒業してまもなく「初めての正社員勤務先」へ就職した)	29.0			4.4	37.0	19.4		20.7	22.6	37.3	10.0	26.7
	「初めての正社員勤務先」で、正社員以外の労働者として働いていた	16.1	18.9	19.8	18.9	17.4	14.9	43.8	22.1	18.9	10.4	23.3	16.0
	他の会社で契約社員として働いていた	3.2	12.2	12.9	11.2	4.3	13.4	12.5	10.3	1.9	10.4	23.3	10.0
	他の会社で派遣社員として働いていた	3.2	6.8	5.9	5.8	2.2	7.5	6.3	5.5		4.5	6.7	3.3
	他の会社でパート・アルバイトとして働いていた	25.8	40.5	50.5	43.2	23.9	25.4	25.0	24.8	20.8	19.4	20.0	20.0
	雇用以外の形態で働いていた (会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など)			2.0	1.0	2.2	3.0	6.3	3.4	3.8	1.5		2.0
	もっぱら就職活動をしていた	12.9	5.4	1.0	4.4	6.5	6.0	6.3	6.2	18.9	9.0	6.7	12.0
	もっぱら勉強をしていた(在学していた場合を除く)	6.5	6.8		3.4	4.3	1.5		2.1	7.5	6.0		5.3
	もっぱら家族の世話(家事・育児・介護)をしていた	3.2	5.4	3.0	3.9		7.5		3.4			6.7	1.3
	もっぱら療養・休養していた		4.1	5.0	3.9	2.2	1.5		1.4	5.7	1.5	3.3	3.3
	その他												
	総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	N	31	74	101	206	46	67	32	145	53	67	30	150

※回答が無いセルは空白で示した

※5ポイント以上の差で全学歴より大きい場合を網掛、小さい場合を斜体+下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

この課題について深く分析を行うには稿を改めたいが、一つの手がかりとして本報告では、既卒就職者が「初めての正社員勤務先」に入職する直前に何をしていたのかをみてみよう。

既卒就職者の「初めての正社員勤務先」に入職する直前の状況を、性・学歴、卒業から入職までに要した期間ごとに図表1-4へ示した。各状況を選択した人の割合が、学歴ごとの「既卒全体」の割合より5ポイント以上高い場合を網掛、低い場合を斜体と下線で示した。

まず当然だが、卒業から1年以内に入職した人は「学校で学んでいた」割合が高く¹⁰、就業していた人の割合が少ない。卒業から1年以内に就職した既卒者の就業経験や社会経験は新卒就職者とほとんど変わらないといえる。しかし先行研究（JILPT2012）によれば、既卒の若者を正社員採用する会社等は、新卒者のみを採用する会社等に比べて長期雇用・長期育成方針ではない会社が多く、そのことが卒業から間もない既卒就職者の離職率を高めている可能性がある。この点については本報告の第3章で改めて検討しよう。

一方、卒業から3年を超えてから入職した人は、大学・大学院卒の男女や専門・短大・高専卒の女性では『初めての正社員勤務先』で正社員以外の労働者として働いていた割合が、専門・短大・高専卒の男性や大学・大学院卒女性では「ほかの会社で契約社員として働いていた」割合が、高校卒の女性や専門・短大・高専卒の男性では「他の会社でパート・アルバイトとして働いていた」割合が高い。卒業から3年を超えてから正社員として就職した既卒就職者は、正社員以外の形で就業経験をある程度積んだ後に就職している。そのため、卒業から1年以内に就職した人よりも、入職時点において既に「働くということ」への理解が進んでおり、勤続する傾向が高いのかもしれない。

¹⁰高卒以外の学歴では卒業から1年超～3年以内や、3年を超えてから入職した人にも「学校で学んでいた」人がいるが、これらは卒業後に最終学歴の学校より下位の学校に進学した、あるいはより上位の学校に進学して中退したのちに就職した人たちと推察される。例えば、大学卒業後に専門学校へ進学し卒業してから就職したケースや、専門・短大・高専／大学を卒業後に大学／大学院に（編）入学したが中退して就職したケースなどが考えられる。

第2節 学生生活・就職活動

1. 学生生活・就職活動・キャリア教育

新卒時に円滑に就職できた若者と時間を要した若者とでは、「初めての正社員勤務先」に入職する前の学校生活や就職活動のあり方はどう異なるのだろうか。またこれらの相違点は入職後の職場への定着にどのような影響を及ぼしているのだろうか。本節ではこの課題について検討を行う。図表1-5①に、最終学歴の学校に在学中から「初めての正社員勤務先」へ入職するまでに経験した学生生活と就職活動・キャリア教育について5件法で尋ねた結果を、性・学歴、入職時の経歴別に示した¹¹。計10項目について「あてはまる」を5点、「ややあてはまる」を4点、「どちらでもない」を3点、「ややあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点とし、新卒就職者と既卒就職者の平均点の間に統計的に有意な差がある場合は「*」を示している。

高校卒についてみると、男女とも他の学歴より全体に得点が低い。また女性より男性でより得点が低い方へ分布が偏る。新卒就職者と既卒就職者を比べると、男女とも全体に新卒就職者の方が高得点である。男女とも新卒時に円滑に就職できた人は、将来の職業を考慮して入学する高校を決める傾向があり、学業成績が優秀で、就職活動に際しては学校等に個別に相談をしており、職場体験等の実務を伴う学習を経験した傾向がある。また男性は業界・職業についてよく調べた傾向や課外活動に熱心であった傾向が、女性は働くためのルールについて学んだ傾向が既卒就職者より高い。在学中のアルバイトのみ、男女とも既卒就職者の方が熱心であった傾向がみられる。

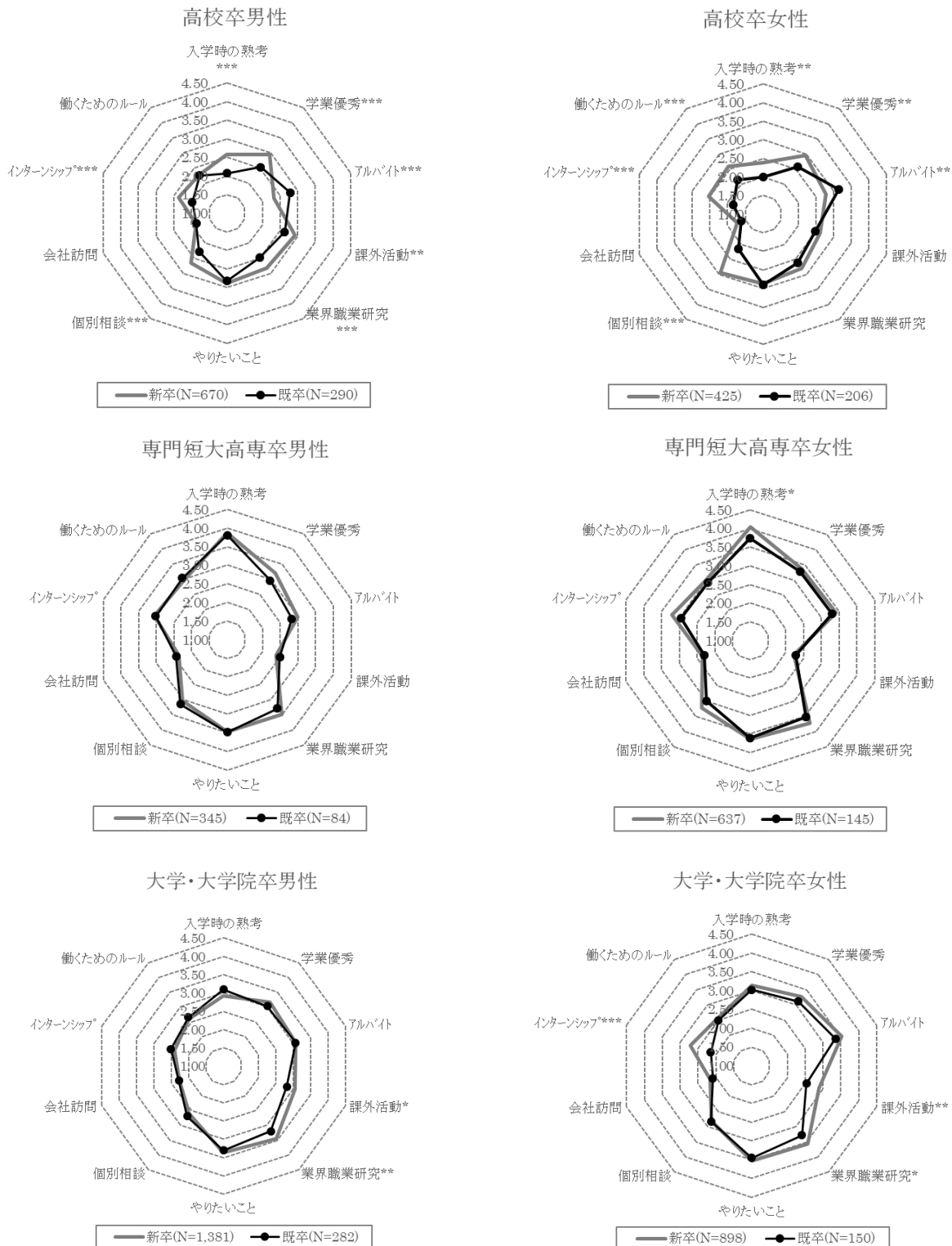
専門・短大・高専卒は、男女でよく似た分布を示している。職業に直結した学習をする教育機関であるため、男女とも他の学歴より入学時に将来の職業を考慮して学校を決めた傾向が著しく高く、女性については新卒就職者の方がその傾向がより高い。しかしその他の事柄については、男女とも新卒就職者と既卒就職者との間で有意な差が見られない。

大学・大学院卒は、他の学歴に比べて全体にバランスのとれた分布を示している。男女とも新卒就職者の方が課外活動に熱心で、業界や職業に就いてよく調べた傾向がみられる。女性については、インターンシップなどの実務を伴う学習を経験している傾向も高い。

¹¹ なお、2016年調査においても『「初めての正社員勤務先」に入職する前の経験』を尋ねたが、その内容は本調査とは大幅に異なり、本調査と共通の項目は「学校の先生・職員や公的機関（ハローワーク等）の職員に、個別に就職活動の相談をした」「職場での実務を伴う学習（インターンシップや職場体験など）を経験した」「働くためのルール（労働法など）について学んだ」の3項目のみである。また、2016年調査では「はい」か「いいえ」の二択で尋ねたため、該当する割合は低い。相談したことが最低でも1回はある層が、2016年調査では「はい」、本調査では「どちらでもない」や「ややあてはまらない」と回答することになる。したがって本設問では2016年調査との比較を行わない。

図表1-5① 最終学歴在学中から「初めての正社員勤務先」入職までの経験
(性・学歴・経歴別)

5点満点



独立したサンプルの差の検定: *** <.001 ** <.01 * <.05

※新卒就職者と既卒就職者の平均点(5点満点)に5%水準で有意な差がある場合に「*」を示した。

※図表1-5②に示した項目の文言を省略して時計回りに示した。

それでは、これらの学生生活や在学中の就職活動・キャリア教育の状況は、「初めての正社員勤務先」を離職する傾向にどのように関連しているのだろうか。図表1-5②に、新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて、離職者と勤続者の得点に統計的に有意な差があるといえるかどうか検討した結果を示した。

まず高校卒については、女性より男性、既卒就職者より新卒就職者で、より多くの事柄が勤続傾向を高める影響力を示している。高校を新卒時に正社員就職し、かつ勤続している男性は、同じく新卒時に正社員就職したが離職した男性と比べて、将来の職業を考慮して進学する高校を決めた傾向が高く、学業成績もよく、課外活動にも熱心で、就職活動時には自分の興味関心や「やりたいこと」について熟考し、業界・職業について調べた傾向が高く、アルバイトにあまり熱心ではなかった傾向がみられる。これに対して高校卒業から正社員になるまでに時間がかかった男性は、勤続している人の方が学生時代に課外活動に熱心であり、学校の先生やハローワーク等に個別に相談したり、就職したい会社へ個人的に話を聞きに行ったりした傾向がみられる。新卒でも既卒でもアルバイトを除き積極的な学生生活や就職活動をおくった人の方が入職後も勤続する傾向がある。一方、女性は既卒就職者については学校生活・就職活動と勤続／離職傾向との間に全く関連が見られない。新卒就職者については、勤続者の方が課外活動に熱心であった傾向と、離職者の方が就職したい会社に個人的に話を聞きにいった傾向がみられた。

次に専門・短大・高専卒については、男性の既卒就職者において、勤続者の方が学業成績がよい傾向が見られたほかは、男女とも新卒就職者と既卒就職者の双方において、学校生活・就職活動等と離職傾向との間には何の関連もみられなかった。専門・短大・高専卒の若者が「初めての正社員勤務先」を離職するか否かは、入職した後のできごとによって規定されていると推察される。

最後に大学・大学院卒については、男性と女性で良く似た傾向が見られた。大学・大学院を卒業してすぐに正社員として就職した場合、男女とも勤続している人は離職した人より、将来の職業を考慮して進学する大学・大学院を決めており、学業成績が優秀で、インターンシップなどの実務を伴う学習の経験がある傾向がみられる。また男性は勤続者の方が業界や職業について調べたり、就職したい会社へ個人的に話を聞きに行ったりした傾向がある。一方、正社員になるまでに時間がかかった人たちは男女とも、勤続者の方が業界や職業についてよく調べ、就職したい会社に個人的に話を聞きに行き、インターンシップなどの実務を伴う学習を経験した傾向がみられる。さらに男性は、勤続者の方が課外活動に熱心で、自分の興味関心や「やりたいこと」を熟考した傾向が、女性は、勤続者の方が学業成績優秀で、先生やハローワークなどに個別に相談した傾向や、働くためのルールを学んだ傾向がみられる。大学・大学院卒も高校卒と同様に、新卒就職者の方が積極的な学生生活や就職活動を行った傾向があり、かつ、これらの活動は新卒・既卒ともに職場定着を促進する可能性がある。

以上より、高校卒と大学・大学院卒の若者に対しては、学校生活を充実したものにするこ
とや、従来からの就職活動支援やキャリア教育を今後も推進していくことが、長期的なキャ
リア形成支援にも有効である可能性が示唆された。

**図表 1-5② 離職者と勤続者の、最終学歴在学中から「初めての正社員勤務先」入職まで
の経験（性・学歴・経歴別）** 5点満点 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒						
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者				
	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p			
卒業後につきたい仕事のことを考慮して、入学する学校を決めた	2.25	< 2.78 ***		1.95	2.20		3.80	3.93		3.79	3.82	2.77	< 2.97 *	2.84	3.20
学校での学業成績は優秀な方であった	2.66	< 3.12 ***		2.50	2.57		3.28	3.16		2.64	< 3.18 *	3.00	< 3.23 **	2.89	3.08
アルバイトに熱心であった	2.50	> 2.22 *		2.71	2.86		3.04	2.95		2.79	2.84	3.03	3.09	3.01	3.09
課外活動(部活・サークル・ボランティアなど)に熱心であった	2.59	< 3.15 ***		2.38	< 2.90 **		2.28	2.45		2.15	2.71	2.98	3.08	2.54	< 2.94 *
就職したい業界や職業について調べた	2.57	< 2.99 ***		2.39	2.58		3.51	3.48		3.12	3.39	3.26	< 3.52 ***	2.95	< 3.30 *
自分の興味関心や「やりたいこと」について深く考えた	2.71	< 3.00 **		2.74	2.90		3.45	3.49		3.39	3.55	3.28	3.39	3.05	< 3.40 *
学校の先生・職員や公的機関(ハローワーク等)の職員に、個別に就職活動の相談をした	2.55	2.73		2.11	< 2.44 *		3.03	3.03		3.15	3.14	2.63	2.58	2.57	2.74
就職したい会社の経営者や従業員に個人的に話を聞きに行った	1.89	1.88		1.64	< 2.11 ***		2.44	2.29		2.52	2.39	2.13	< 2.31 *	1.99	< 2.40 *
職場での実務を伴う学習(インターシップや職場体験など)を経験した	2.33	2.38		1.91	2.06		3.10	3.02		2.97	3.06	2.21	< 2.49 **	2.22	< 2.63 *
働くためのルール(労働法など)について学んだ	2.27	2.27		2.17	2.35		2.90	3.01		2.91	3.14	2.56	2.61	2.48	2.71
N	261	409		151	139		144	201		33	51	379	1,002	81	201

女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒						
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者				
	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p			
卒業後につきたい仕事のことを考慮して、入学する学校を決めた	2.37	2.41		2.03	1.97		4.11	3.93		3.57	3.98	3.02	< 3.23 *	3.00	3.04
学校での学業成績は優秀な方であった	2.96	2.93		2.60	2.55		3.32	3.46		3.27	3.30	3.15	< 3.36 **	2.83	< 3.41 **
アルバイトに熱心であった	2.80	2.71		3.18	3.08		3.44	3.37		3.30	3.30	3.52	3.54	3.31	3.38
課外活動(部活・サークル・ボランティアなど)に熱心であった	2.52	< 2.88 *		2.46	2.52		2.24	2.19		2.20	2.38	2.79	2.98	2.43	2.66
就職したい業界や職業について調べた	2.82	2.70		2.60	2.62		3.75	3.65		3.46	3.59	3.53	3.58	2.97	< 3.60 **
自分の興味関心や「やりたいこと」について深く考えた	2.86	2.87		2.84	3.05		3.66	3.56		3.45	3.80	3.52	3.56	3.35	3.56
学校の先生・職員や公的機関(ハローワーク等)の職員に、個別に就職活動の相談をした	2.92	3.03		2.08	2.28		3.21	3.23		2.83	3.23	2.89	2.79	2.55	< 3.14 *
就職したい会社の経営者や従業員に個人的に話を聞きに行った	1.79	> 1.55 *		1.58	1.70		2.37	2.31		2.11	2.54	2.14	2.16	1.69	< 2.51 ***
職場での実務を伴う学習(インターシップや職場体験など)を経験した	2.52	2.55		1.76	2.03		3.19	3.23		2.83	3.10	2.59	< 2.83 *	1.79	< 2.52 **
働くためのルール(労働法など)について学んだ	2.57	2.66		2.08	2.32		3.00	3.02		2.81	3.10	2.55	2.56	2.23	< 2.78 *
N	303	122		146	60		436	201		84	61	396	502	77	73

独立したサンプルの差の検定: ***<.001 **<.01 *<.05

※「あてはまる」=5点「ややあてはまる」=4点「どちらでもない」=3点「ややあてはまらない」=2点「あてはまらない」=1点とした平均値。5%水準で有意な事柄に「*」を示した。

※検定結果が5%水準で有意かつ離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体で下線で示した

※高校卒には専門学校中退、短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

2. 「初めての正社員勤務先」への応募経路

新卒時に円滑に職業へと移行できた若者と、卒業から時間が経過してから就職した若者とは、利用できる求人媒体が異なる。特に学校や教員による紹介を卒業後に利用することは難しい。また、高校新卒者に対する職業紹介は公共職業安定所と学校を経由することが一般的であるのに対して、大学新卒者の採用活動は基本的には自由市場である。こうした学歴・入職時の経歴ごとに異なる応募経路の特徴は、若者が入職前に得ることができる情報の内容

を左右し、その結果として離職傾向にも影響を及ぼすのではないだろうか。この点を確認するために、「初めての正社員勤務先」への応募経路を単一回答で尋ねた結果をみていこう。

図表 1-6① 「初めての正社員勤務先」への応募経路（性・学歴・経歴別）

単位：% 太字は実数

男性	高校		専門・短大・高専		大学・大学院	
	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
学校(先生、就職部、キャリアセンター)の紹介で	76.3	8.3	68.1	31.0	25.2	17.4
職業安定所(ハローワーク・インターネットサービスを含む)の紹介で	3.9	27.6	2.9	16.7	3.3	14.9
民間の職業紹介サービスを利用した	0.9	4.5	2.3	6.0	13.8	8.9
インターネット上の求人サイトを利用した	1.9	15.2	9.3	9.5	36.9	18.4
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	1.5	12.8	2.0	6.0	1.0	5.7
家族や親戚の紹介で	6.3	8.6	2.6	10.7	2.5	5.3
友人・知人の紹介で	2.8	12.1	4.6	8.3	2.6	9.2
希望する会社に直接問い合わせた(会社のサイトから直接応募したことも含む)	6.1	9.0	7.2	11.9	13.9	18.4
その他	0.3	2.1	0.9		0.7	1.8
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	670	290	345	84	1,381	282
女性	高校		専門・短大・高専		大学・大学院	
	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
学校(先生、就職部、キャリアセンター)の紹介で	83.8	7.8	63.9	24.8	26.2	16.0
職業安定所(ハローワーク・インターネットサービスを含む)の紹介で	3.5	22.3	5.3	22.8	4.1	17.3
民間の職業紹介サービスを利用した	0.2	3.4	2.2	2.8	10.0	7.3
インターネット上の求人サイトを利用した	1.9	22.8	9.3	13.8	36.5	23.3
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	1.4	14.6	2.8	5.5	1.4	10.0
家族や親戚の紹介で	3.5	7.3	2.0	7.6	1.7	3.3
友人・知人の紹介で	1.6	12.1	2.5	13.8	2.3	6.0
希望する会社に直接問い合わせた(会社のサイトから直接応募したことも含む)	3.5	7.3	9.7	7.6	16.4	16.0
その他	0.5	2.4	2.2	1.4	1.3	0.7
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	425	206	637	145	898	150

※回答がなかったセルは空欄とした

※5ポイント以上の差で離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

図表 1-6①に、「初めての正社員勤務先」への応募経路が新卒就職者と既卒就職者とどう異なるのか、性・学歴ごとに回答の分布を示した。どの学歴も男女で良く似た傾向がみられ、また新卒就職者と既卒就職者とでは大きく異なる。若者が利用できる応募経路は性別よりも学歴や新卒者であるか否かによって大きく規定されることが分かる。

それでは学歴別にみていこう。高校卒では男女とも新卒就職者では学校の紹介で就職した人が7～8割と圧倒的に多いのに対し、既卒就職者では1割に満たない。高校の既卒就職者

は男女とも、職業安定所、インターネット上の求人サイト、求人広告、友人・知人の紹介を利用する傾向がある。

専門・短大・高専卒の場合も、新卒就職者は6～7割が学校の紹介で就職している。既卒就職者も学校の紹介の割合が最も高い（男性31.0%、女性24.8%）点が、高校卒や大学・大学院卒とは大きく異なる点である。その他の専門・短大・高専の既卒就職者が新卒就職者より利用する傾向がある応募経路は、職業安定所、家族や親戚の紹介、友人・知人の紹介である。なお、希望する会社への直接問い合わせやインターネット上の求人サイトも1割前後が利用しているが、これらは新卒就職者にも比較的に利用されている応募経路である。

図表1-6② 「初めての正社員勤務先」への応募経路（MA¹²、性、学歴・経歴・勤続別）

単位：% 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
学校(先生、就職部、キャリアセンター)の紹介で	75.9	76.5	7.3	9.4	69.4	67.2	24.2	35.3	19.5	27.3	13.6	18.9
職業安定所(ハローワーク・インターネットサービスを含む)の紹介で	6.9	2.0	33.8	20.9	2.1	3.5	30.3	7.8	4.7	2.8	21.0	12.4
民間の職業紹介サービスを利用した	0.4	1.2	2.6	6.5	1.4	3.0		9.8	15.0	13.3	14.8	6.5
インターネット上の求人サイトを利用した	2.3	1.7	13.2	17.3	11.1	8.0	15.2	5.9	43.3	34.5	23.5	16.4
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	1.9	1.2	15.9	9.4	1.4	2.5	3.0	7.8	0.5	1.2	1.2	7.5
家族や親戚の紹介で	5.4	6.8	4.6	12.9	3.5	2.0	3.0	15.7	1.6	2.9	4.9	5.5
友人・知人の紹介で	1.9	3.4	10.6	13.7	3.5	5.5	6.1	9.8	2.9	2.5	11.1	8.5
希望する会社に直接問い合わせた(会社のサイトから直接応募したことも含む)	5.0	6.8	8.6	9.4	6.9	7.5	18.2	7.8	11.3	14.9	8.6	22.4
その他	0.4	0.2	3.3	0.7	0.7	1.0			1.1	0.6	1.2	2.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
学校(先生、就職部、キャリアセンター)の紹介で	81.8	88.5	9.6	3.3	62.8	66.2	27.4	21.3	25.3	26.9	13.0	19.2
職業安定所(ハローワーク・インターネットサービスを含む)の紹介で	4.0	2.5	21.9	23.3	5.3	5.5	27.4	16.4	5.3	3.2	15.6	19.2
民間の職業紹介サービスを利用した	0.3		2.1	6.7	1.8	3.0	2.4	3.3	10.9	9.4	7.8	6.8
インターネット上の求人サイトを利用した	2.6		22.6	23.3	9.9	8.0	13.1	14.8	37.9	35.5	28.6	17.8
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	1.3	1.6	17.1	8.3	3.0	2.5	6.0	4.9	1.3	1.6	14.3	5.5
家族や親戚の紹介で	3.3	4.1	4.1	15.0	2.5	1.0	4.8	11.5	1.0	2.2	1.3	5.5
友人・知人の紹介で	2.3		11.0	15.0	2.3	3.0	9.5	19.7	2.0	2.6	7.8	4.1
希望する会社に直接問い合わせた(会社のサイトから直接応募したことも含む)	3.6	3.3	8.9	3.3	9.9	9.5	7.1	8.2	15.4	17.1	11.7	20.5
その他	0.7		2.7	1.7	2.5	1.5	2.4		1.0	1.6		1.4
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※回答がなかったセルは空欄とした

※5ポイント以上の差で離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

¹² MA は複数回答 (multiple answer) を指す。以下同様。

最後に大学・大学院卒では、新卒就職者は男女とも、インターネット上の求人サイトを4割弱が、学校の紹介を四人に一人が利用しており、特に前者は既卒就職者との差が10ポイント以上ある。これに対して既卒就職者の応募経路は多様である。利用者の割合が比較的高いのはインターネット上の求人サイトと学校の紹介だが、新卒就職者よりは小さい。最も新卒就職者との差が大きいのは男女とも職業安定所で、既卒就職者では女性は14.9%、男性は17.3%が利用している。また、男性は友人・知人の紹介、女性は求人広告を利用した人の割合も、新卒就職者より5ポイント以上高い。また希望する会社に直接問い合わせた割合も2割弱にのぼるが、これは新卒就職者にも比較的に利用されている応募経路である。それでは、新卒就職者と既卒就職者とで利用する応募経路が異なることは、若者の離職傾向にどのような影響を及ぼしているのだろうか。図表1-6②は、新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて、「初めての正社員勤務先」を離職した人の使用した応募経路と、勤続している人の応募経路の分布を比較した表である。新卒就職者は男女とも多くの学歴において、離職者も勤続者も同じような応募経路を使用している。これに対して既卒就職者は、離職者と勤続者とで応募経路の分布が異なる。

既卒就職者の中で、勤続者より離職者の方が利用者の割合が5ポイント以上高い応募経路をみていこう。全ての学歴の男性、専門・短大・高専卒の女性において離職者の方が「職業安定所」を利用する傾向が見られた。特に専門・短大・高専の男性既卒者では22.5ポイントもの差がある。この結果は、職業安定所を利用することによって離職するというより、職業安定所はそもそも、離職率の高い中小企業を中心とする求人企業と、離職につながりやすい特徴を持つ求職者とが互いに集まる場所である¹³と解釈すべきだろう。その他の離職者の方が利用する傾向がある応募経路としては、高校の既卒の男女と大学・大学院の既卒女性では求人広告、専門・短大・高専の既卒男性と大学・大学院の既卒の男女ではインターネット上の求人サイト、専門・短大・高専の既卒男性と高校の既卒女性では希望する会社への直接問合せ、大学・大学院の既卒男性では民間の職業紹介サービスが該当する。

これらの離職者がより利用する傾向にある応募経路はいずれも、誰もが利用できるオープンな求職手段であり、多くの既卒就職者が利用している。これに対して勤続者はクローズドな応募経路を利用する傾向がある。すなわち、専門・短大・高専の既卒男性や大学・大学院の既卒の男女では学校の紹介、高校と専門・短大・高専の既卒の男女では家族や親戚の紹介、専門・短大・高専の既卒女性では友人・知人の紹介を利用した人の割合が勤続者で5ポイント以上高い。これらのクローズドな応募経路は利用者が比較的少ないものである¹⁴。

ただし「学校の紹介」による就職が既卒者にもたらす影響は男性と女性とで異なる。学校の紹介で就職した人の割合は、専門・短大・高専と大学・大学院の既卒男性では勤続者の方

¹³ 先行研究において、職業安定所の求人は中小企業のもので中心であることや（JILPT 2014）、就職活動が長期化した若者ほど職業安定所を利用すること（JILPT 2013）が明らかにされている。

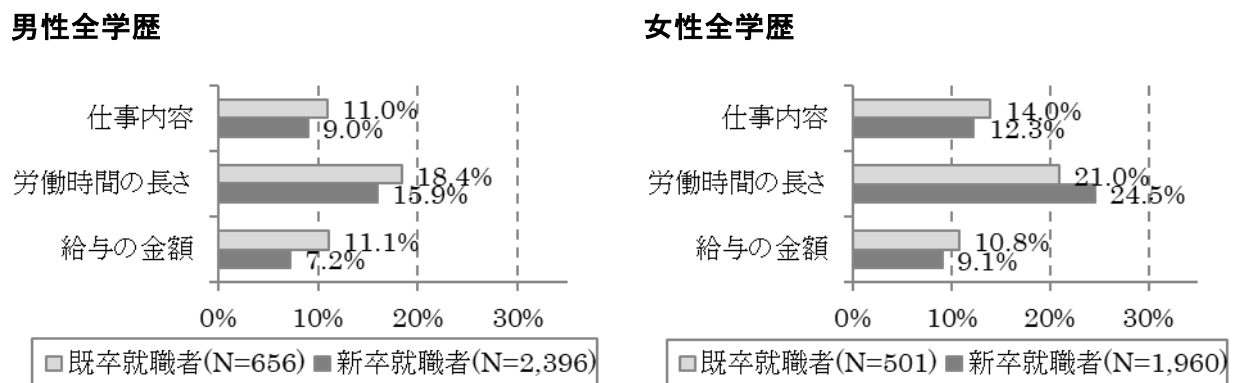
¹⁴ 以上の離職傾向と応募経路との関係は2016年調査の傾向と一致する。

が高いのに対して、高校と専門・短大・高専の既卒女性では離職者の方が高い。これは、学校に寄せられる求人の中で、男性（女性）がより応募する傾向がある求人の内容（産業・職種等）が、離職傾向の低さ（高さ）と関連するためと推察される。

3. 入職前に得た情報と実際の労働条件とのズレ

新卒時に円滑に就職できなかった若者は学校からの支援を受けることが難しくなるため、自立的に就職活動を行わねばならない。しかし前項の分析の結果、どの応募経路を使用するかによって、既卒者の職場への定着／離職傾向は大きく左右されることがわかった。既卒の若者が利用する応募経路にはどのような問題があるのだろうか。

図表 1-7① 入職前の情報と入職後3ヶ月間の労働条件が「異なっていた」割合
(性、経歴別 MA)



図表 1-7② 入職前の情報と入職後3ヶ月間の労働条件が「異なっていた」割合
(MA, 性、学歴、経歴、勤続別) 単位：% 太字は実数

性別	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
男性												
給与の金額	9.6	5.4	16.6	10.1	13.9	11.9	21.2	7.8	8.2	5.1	8.6	8.0
労働時間の長さ	19.2	10.0	26.5	12.2	29.9	15.4	27.3	13.7	27.4	11.3	28.4	12.4
仕事内容	13.0	8.1	17.2	9.4	13.9	7.5	15.2	5.9	14.2	6.0	18.5	5.0
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
女性												
給与の金額	10.2	11.5	8.9	13.3	12.4	7.5	17.9	11.5	8.3	6.2	10.4	4.1
労働時間の長さ	27.7	15.6	22.6	13.3	35.1	18.4	29.8	16.4	30.1	13.7	28.6	9.6
仕事内容	18.8	13.1	11.0	10.0	12.8	7.0	19.0	13.1	13.1	9.2	22.1	9.6
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※離職者と勤続者の差が5ポイント以上でかつ離職者の方が高い場合を網掛、低い場合を斜体と下線で示した
※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

図表1-7①は、新卒就職者と既卒就職者について、「初めての正社員勤務先」について入職前に得た情報と実際の労働条件とが異なっていた人の割合を性別に示したものである。男女とも新卒就職者より既卒就職者において、正確な情報を得られなかった人が多い。また「労働時間の長さ」についての情報は、「仕事内容」や「給与の金額」と比べて、より多くの人が事前情報と現実との違いを経験しており、特に女性では2割以上が経験している。

入職前に得られた情報と実際の労働条件との間にズレが存在すると、若者の離職傾向は高まる。図表1-7②へ、「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから3ヶ月後までの間に、入職前に聞いていた労働条件（給与・労働時間・仕事内容）と働き始めてからの現実とが異なっていた人の割合を、離職者と勤続者とで比較できるように示した。全体に離職者の方が「異なっていた」人の割合が大幅に高い。中でも労働時間の長さについての情報が「異なっていた」割合は、新卒時に就職できたか否かを問わず、男女ともほとんどの学歴において、離職者の方が10ポイント以上多い。これらは2016年調査と同じ傾向であり、入職前に労働時間の長さについての正確な情報を得られなかったことは離職傾向を高める重要な要因である可能性が再確認された。

それでは、どの応募経路から入職した場合にこうした情報のズレが生じやすいのだろうか。図表1-7③に、「初めての正社員勤務先」への応募経路ごとにみた入職前の情報と入職後3ヶ月間の労働条件が「異なっていた」人の割合を、性・学歴別に新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて示した。「異なっていた」人の割合が25%以上の場合を網掛した。

まずは新卒就職者についてみていこう。先述のとおり新卒就職者は、高校卒では7～8割、専門・短大・高専卒では6～7割が学校の紹介で就職しているが、学校の紹介を得ることによって必ずしも正確な情報が伝わっているとは限らず、特に女性は、労働時間の長さについて不正確な情報を得た割合が、高校卒では28.7%、専門・短大・高専卒では29.8%におよぶ。

他の応募経路でも女性は正確な情報を得ていない傾向がみられる。男性は、インターネット上の求人サイトを利用した高校卒の30.8%、友人・知人の紹介で就職した専門・短大・高専卒の31.3%、および求人広告を利用した大学・大学院卒の28.6%が労働時間の長さについて不正確な情報を得ていた。これに対して女性は、高校卒の場合、職業安定所利用者の33.3%、および家族や親戚の紹介で就職した人の26.7%が労働時間の長さについて、職業安定所利用者の26.7%が仕事内容について不正確な情報を得ていた。専門・短大・高専卒では、職業安定所、インターネット上の求人サイト、友人・知人の紹介、希望する会社への直接問合せをもって就職した人は、労働時間の長さについて不正確な情報を得た割合が25.0%～46.8%にもぼる。大学・大学院卒では、求人広告利用者の38.5%、友人・知人の紹介で就職した人の33.3%が労働時間の長さについて不正確な情報を得ていた。

図表1-7③ 「初めての正社員勤務先」への応募経路ごとにみた入職前の情報と入職後3ヶ月間の労働条件が「異なっていた」割合（MA、性、学歴・経歴別）

単位：％ 太字は実数

新卒就職者	高校				専門・短大・高専				大学・大学院			
	給与の金額	労働時間の長さ	仕事内容	N	給与の金額	労働時間の長さ	仕事内容	N	給与の金額	労働時間の長さ	仕事内容	N
男性 全体	7.0	13.6	10.0	670	12.8	21.4	10.1	345	5.9	15.7	8.3	1,381
学校の紹介	7.2	13.9	9.8	511	13.6	23.0	11.1	235	5.2	12.4	6.6	348
職業安定所の紹介	7.7	19.2	19.2	26	—	—	—	10	17.4	23.9	15.2	46
民間の職業紹介サービス	—	—	—	6	—	—	—	8	7.9	17.9	11.1	190
インターネット上の求人サイト	7.7	30.8	15.4	13	12.5	15.6	15.6	32	6.9	17.3	8.6	510
求人広告	—	—	—	10	—	—	—	7	7.1	28.6	7.1	14
家族や親戚の紹介	7.1	11.9	4.8	42	—	—	—	9	—	8.6	5.7	35
友人・知人の紹介	—	5.3	10.5	19	12.5	31.3	6.3	16	2.8	19.4	5.6	36
直接問い合わせ	7.3	7.3	9.8	41	4.0	12.0	12.0	25	2.1	13.5	6.8	192
その他	—	—	—	2	—	—	—	3	—	—	—	10
女性 全体	10.6	24.2	17.2	425	10.8	29.8	11.0	637	7.1	20.9	10.9	898
学校の紹介	10.7	25.3	18.5	356	10.8	28.7	10.3	407	8.5	20.0	9.8	235
職業安定所の紹介	6.7	33.3	26.7	15	8.8	41.2	17.6	34	13.5	16.2	13.5	37
民間の職業紹介サービス	—	—	—	1	—	21.4	7.1	14	4.4	18.9	7.8	90
インターネット上の求人サイト	—	—	—	8	15.3	30.5	15.3	59	7.0	23.5	13.4	328
求人広告	—	—	—	6	11.1	5.6	16.7	18	23.1	38.5	15.4	13
家族や親戚の紹介	—	26.7	13.3	15	—	7.7	—	13	6.7	13.3	6.7	15
友人・知人の紹介	—	—	—	7	18.8	25.0	12.5	16	9.5	33.3	19.0	21
直接問い合わせ	6.7	13.3	—	15	11.3	46.8	11.3	62	4.1	17.7	8.2	147
その他	—	—	—	2	7.1	21.4	—	14	—	8.3	—	12
既卒就職者	高校				専門・短大・高専				大学・大学院			
	給与の金額	労働時間の長さ	仕事内容	N	給与の金額	労働時間の長さ	仕事内容	N	給与の金額	労働時間の長さ	仕事内容	N
男性 全体	13.4	19.7	13.4	290	13.1	19.0	9.5	84	8.2	17.0	8.9	282
学校の紹介	4.2	25.0	8.3	24	7.7	11.5	11.5	26	12.2	14.3	4.1	49
職業安定所の紹介	25.0	27.5	18.8	80	42.9	50.0	21.4	14	7.1	33.3	23.8	42
民間の職業紹介サービス	15.4	15.4	7.7	13	—	—	—	5	16.0	36.0	12.0	25
インターネット上の求人サイト	9.1	20.5	11.4	44	—	—	—	8	9.6	17.3	3.8	52
求人広告	18.9	13.5	13.5	37	—	—	—	5	6.3	—	6.3	16
家族や親戚の紹介	—	4.0	8.0	25	—	—	—	9	13.3	13.3	20.0	15
友人・知人の紹介	8.6	25.7	17.1	35	—	—	—	7	—	—	3.8	26
直接問い合わせ	7.7	7.7	11.5	26	—	—	—	10	3.8	11.5	5.8	52
その他	—	—	—	6	—	—	—	5	—	—	—	5
女性 全体	10.2	19.9	10.7	206	15.2	24.1	16.6	145	7.3	19.3	16.0	150
学校の紹介	12.5	25.0	6.3	16	13.9	25.0	11.1	36	12.5	20.8	12.5	24
職業安定所の紹介	13.0	19.6	19.6	46	9.1	21.2	9.1	33	3.8	19.2	15.4	26
民間の職業紹介サービス	—	—	—	7	—	—	—	4	—	—	27.3	11
インターネット上の求人サイト	4.3	31.9	12.8	47	20.0	25.0	30.0	20	8.6	34.3	25.7	35
求人広告	3.3	16.7	3.3	30	—	—	—	8	13.3	6.7	13.3	15
家族や親戚の紹介	6.7	—	6.7	15	9.1	—	27.3	11	—	—	—	5
友人・知人の紹介	32.0	12.0	8.0	25	25.0	30.0	20.0	20	—	—	—	9
直接問い合わせ	—	13.3	6.7	15	27.3	54.5	18.2	11	—	12.5	4.2	24
その他	—	—	—	5	—	—	—	2	—	—	—	1

※回答がなかったセルは空欄とし、Nが10以下の応募経路については%を「—」とした

※図表1-6①に示した応募経路を省略して示した

※25%以上の場合を網掛した

※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

次に既卒就職者についてみていこう。男性は、高校卒は職業安定所の利用者や、家族や親戚、学校の紹介で就職した人は労働時間の長さについて、職業安定所利用者は給与の金額について、25%以上の若者が不正確な情報を得ていた。専門・短大・高専の既卒男性は総人数

が少ないため詳細な分析ができないが、職業安定所利用者の 42.9%が給与の金額について、50.0%が労働時間の長さについて不正確な情報を得ていた。大学・大学院卒では民間の職業紹介サービス利用者の 36.0%と職業安定所利用者の 33.3%が労働時間の長さについて不正確な情報を得ていた。

女性は、高校卒では学校の紹介で就職した人の 25.0%、およびインターネット上の求人サイト利用者の 31.9%が労働時間の長さについて、友人・知人の紹介で就職した人の 32.0%が給与の金額について不正確な情報を得ていた。専門・短大・高専卒では、友人・知人の紹介で就職した人の 25.0%、希望する会社に直接問い合わせた人の 27.3%が給与の金額について不正確な情報を得ており、学校の紹介またはインターネット上の求人サイトを利用した人の 25.0%、友人・知人の紹介で就職した人の 30.0%、希望する会社に直接問い合わせた人の 54.5%が労働時間の長さについて、インターネット上の求人サイト利用者の 30.0%と家族や親戚の紹介で就職した人の 27.3%が仕事内容について不正確な情報を得ていた。大学・大学院卒はインターネット上の求人サイト利用者の 34.3%が労働時間の長さについて、民間の職業紹介サービス利用者の 27.3%とインターネット上の求人サイト利用者の 25.7%が仕事内容について不正確な情報を得ていた。

以上の分析結果を考察する。男性は、新卒時に就職できた場合には入職前に比較的正確な情報を得られている。特に学校や家族・親戚といった近しい大人に紹介されて就職した場合には、不正確な情報をえる可能性はかなり低くなる。しかし卒業から時間が経過してからでも応募可能な求人には「新卒を採用できなかった会社」や「新卒採用をそもそも行わない会社」が多い（JILPT 2016）。既卒男性の多くが利用する職業安定所には、そういった、新卒にこだわらず広く人材を募集する中小企業の求人が集まる傾向があり（JILPT 2014）、中小企業は情報開示が遅れがちである。既卒男性が入職前に得た情報と実際の労働条件が異なる状況に置かれる背景には、新卒であるか否かによって分断された労働市場の存在がある。

一方、女性は新卒時に学校や家族・親戚に紹介されて就職しても、正確な情報が得られるとは限らない。特に高校や専門・短大・高専の女性でその傾向が見られ、既卒就職者では職業安定所を利用した人の方が不正確な情報を得た人の割合が大幅に低い。高校や専門・短大・高専卒の女性は新卒でも中小企業に就職する割合が男性や大学・大学院卒女性より大幅に高い（本報告第2章）。そのため情報開示が不十分な会社に就職する人も多いのだろう。また新卒・既卒ともに専門・短大・高専卒で不正確な情報を得る傾向がみられるのは、彼女たちの「初めての正社員勤務先」の産業や職種が、長時間労働や人材不足が問題となっている医療・福祉や教育・学習支援業の、専門・技術職（学校教諭、保育士、介護士、看護師など）に偏っていることと関連しているのかもしれない。この点については第2章で詳しく論じたい。

4. 「初めての正社員勤務先」に入職した理由と志望度

本調査では2016年調査にはない新規設問として『初めての正社員勤務先』への就職を決めた理由と「就職活動開始当初の『初めての正社員勤務先』への志望度」を尋ねている。日本企業の若年正社員の採用活動は新卒時に集中しているため、新卒就職者と既卒就職者とは応募可能な求人の量や質が大きく異なることが予想される。在学中の就職活動で内定先を見つけ卒業と同時に正社員として就職できた人々と、卒業後にも就職活動を続けたり、非正社員として働いたりした後に正社員となった人々とは、最終的に就職することになった会社等への期待や志望度合いも異なるだろう。そうした勤務先に対する動機付けの違いは、入職後の離職傾向にも影響を及ぼすのではないだろうか。以下に検討していこう。

図表1-8①は、「初めての正社員勤務先」への就職を決めた理由としてあてはまるものを全て回答してもらった結果を、新卒就職者と既卒就職者とで比較できるように性・学歴別に示したものである。両者の間で「あてはまる」と回答した人の割合（以下「回答率」）に5ポイント以上の差がみられた理由のパーセンテージを、新卒就職者の方が多い場合は実線、既卒就職者の方が多い場合は点線で囲った。その結果、既卒就職者の回答率が5ポイント以上高い理由は、専門・短大・高専卒の男性の「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「他に内定を得ることができなかつた」のみであった。そこで以下では、新卒就職者の回答率がより高かった理由を学歴ごとにみていくことにする。

高校卒では男女とも「会社の規模・知名度」に著しい差がみられ、新卒就職者の回答率は既卒就職者の、男性では2倍、女性では3倍におよぶ。さらに男性は「労働条件・休日・休暇の条件がよい」、女性は「仕事の内容・職種」「会社の将来性がある」の回答率も新卒就職者の方がより高い。

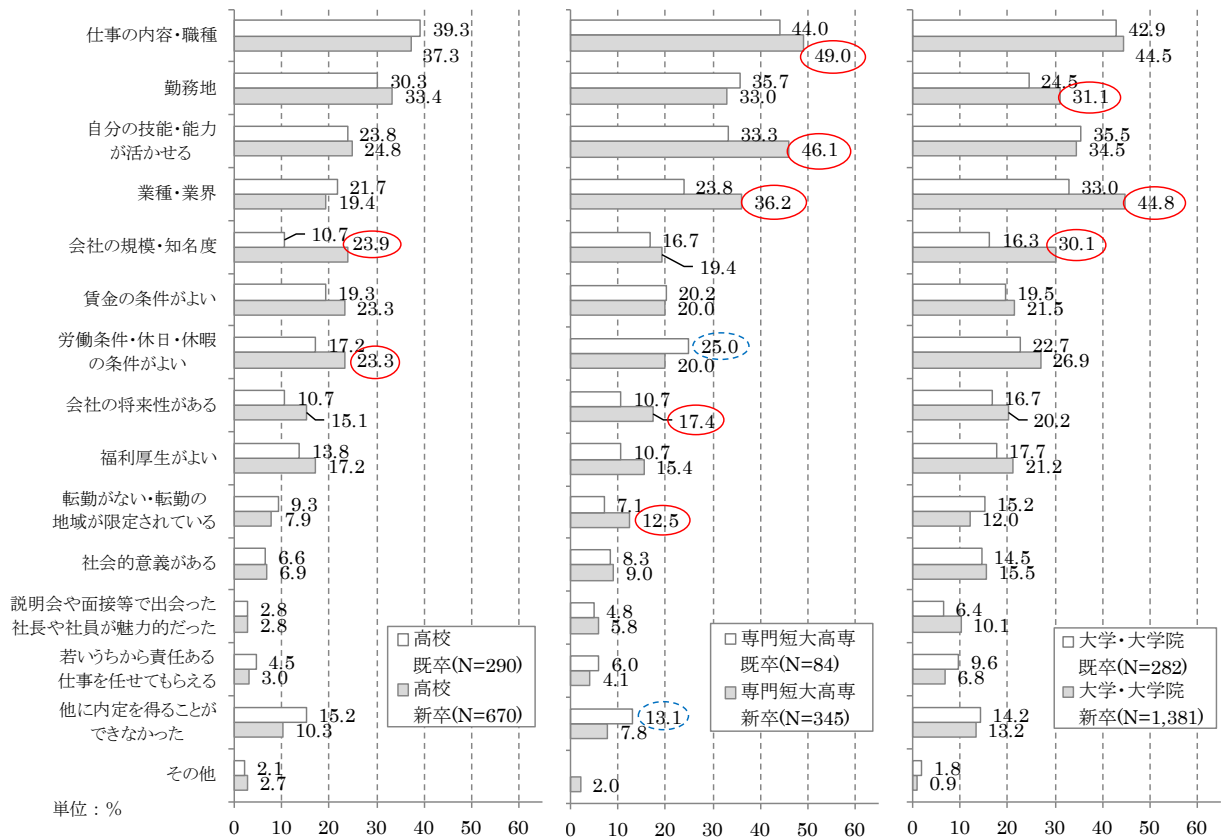
専門・短大・高専卒では男女とも「仕事の内容・職種」「業種・業界」に大きな差がみられた。さらに男性は「自分の技能・能力が活かせる」「会社の将来性がある」「転勤がない・転勤の地域が限定されている」、女性は「会社の規模・知名度」「説明会や面接等で出会った社長や社員が魅力的だった（以下「社長や社員の魅力」）」の回答率も新卒就職者でより高い。

大学・大学院卒では、男女とも新卒就職者の「会社の規模・知名度」の回答率は既卒就職者の約2倍におよぶ。また、男性は「勤務地」「業種・業界」、女性は「福利厚生がよい」「転勤がない・転勤の地域が限定されている」「社長や社員の魅力」の回答率も新卒就職者の方がより高い。

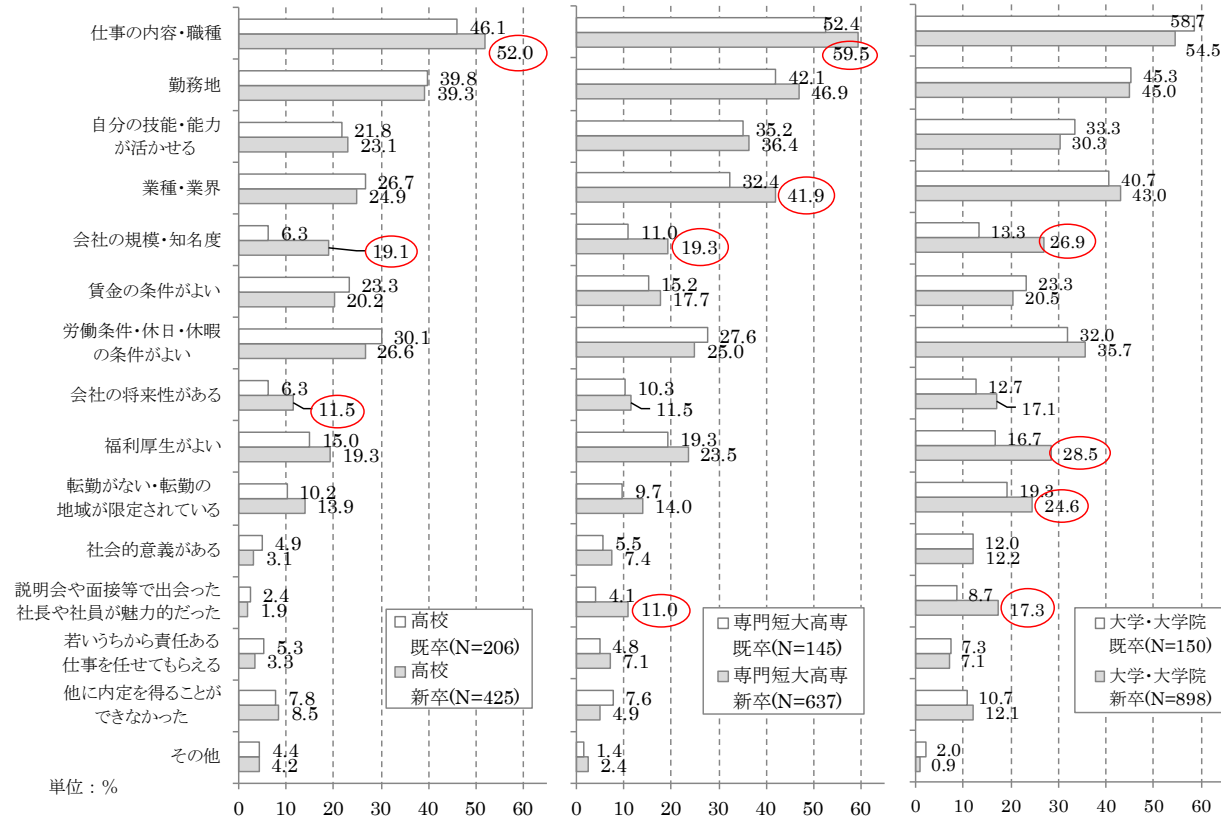
まとめると、大半の理由において、性別・学歴問わず新卒就職者の回答率がより高く、性別および新卒か否かを問わず高学歴者ほど回答率が高い。すなわち、労働市場での競争力が強い新卒就職者や高学歴層は、応募可能な求人の質が高く選択肢も多いため、より多くの条件を考慮して就職活動を進めることが可能なのだろう。

図表 1-8 ①「初めての正社員勤務先」への就職を決めた理由① (MA, 性・学歴・経歴別)

A) 男性



B) 女性



図表1-8②「初めての正社員勤務先」への就職を決めた理由（MA、性・学歴・経歴・勤続別）

単位：％ 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
自分の技能・能力が活かせる	21.8	26.7	22.5	25.2	43.8	47.8	33.3	33.3	32.2	35.3	30.9	37.3
業種・業界	15.7	21.8	21.9	21.6	36.1	36.3	30.3	19.6	40.6	46.4	25.9	35.8
仕事の内容・職種	35.2	38.6	39.1	39.6	44.4	52.2	48.5	41.2	44.9	44.4	34.6	46.3
会社の規模・知名度	16.9	28.4	9.3	12.2	17.4	20.9	27.3	9.8	22.7	32.8	19.8	14.9
会社の将来性がある	10.7	17.8	7.3	14.4	16.7	17.9	15.2	7.8	13.5	22.8	12.3	18.4
社会的意義がある	3.4	9.0	6.0	7.2	9.7	8.5	12.1	5.9	10.6	17.4	11.1	15.9
賃金の条件がよい	15.7	28.1	19.2	19.4	21.5	18.9	15.2	23.5	17.9	22.9	18.5	19.9
労働条件・休日・休暇の条件がよい	14.9	28.6	13.9	20.9	16.0	22.9	33.3	19.6	17.4	30.4	19.8	23.9
勤務地	31.8	34.5	31.1	29.5	36.1	30.8	42.4	31.4	30.1	31.5	23.5	24.9
転勤がない・転勤の地域が限定されている	8.0	7.8	8.6	10.1	10.4	13.9	3.0	9.8	9.0	13.2	11.1	16.9
福利厚生がよい	13.8	19.3	11.3	16.5	9.0	19.9	15.2	7.8	13.7	24.1	11.1	20.4
若いうちから責任ある仕事を任せてもらえる	2.3	3.4	5.3	3.6	3.5	4.5	12.1	2.0	4.2	7.8	11.1	9.0
説明会や面接等で出会った社長や社員が魅力的だった	3.4	2.4	2.0	3.6	4.9	6.5	3.0	5.9	9.0	10.6	3.7	7.5
他に内定を得ることができなかった	15.3	7.1	19.9	10.1	10.4	6.0	12.1	13.7	20.8	10.3	22.2	10.9
その他	2.7	2.7	2.6	1.4		2.0	3.0		1.3	0.8	3.7	1.0
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
自分の技能・能力が活かせる	24.4	19.7	23.3	18.3	37.8	33.3	33.3	37.7	28.0	32.1	20.8	46.6
業種・業界	26.4	21.3	30.1	18.3	43.3	38.8	28.6	37.7	42.9	43.0	32.5	49.3
仕事の内容・職種	53.1	49.2	47.9	41.7	61.7	54.7	50.0	55.7	53.0	55.6	54.5	63.0
会社の規模・知名度	18.2	21.3	6.2	6.7	16.5	25.4	8.3	14.8	24.0	29.3	10.4	16.4
会社の将来性がある	10.6	13.9	4.8	10.0	9.4	15.9	7.1	14.8	13.9	19.7	7.8	17.8
社会的意義がある	2.6	4.1	4.1	6.7	6.4	9.5	4.8	6.6	9.8	14.1	9.1	15.1
賃金の条件がよい	20.5	19.7	22.6	25.0	16.5	20.4	16.7	13.1	18.7	21.9	23.4	23.3
労働条件・休日・休暇の条件がよい	21.5	39.3	24.7	43.3	21.1	33.3	20.2	37.7	28.0	41.8	27.3	37.0
勤務地	38.3	41.8	38.4	43.3	46.6	47.8	44.0	39.3	42.9	46.6	55.8	34.2
転勤がない・転勤の地域が限定されている	11.9	18.9	8.9	13.3	12.4	17.4	8.3	11.5	22.7	26.1	27.3	11.0
福利厚生がよい	16.5	26.2	11.0	25.0	18.3	34.8	13.1	27.9	21.7	33.9	11.7	21.9
若いうちから責任ある仕事を任せてもらえる	3.3	3.3	5.5	5.0	7.1	7.0	6.0	3.3	8.3	6.2	6.5	8.2
説明会や面接等で出会った社長や社員が魅力的だった	2.6		2.7	1.7	9.6	13.9	2.4	6.6	18.4	16.3	7.8	9.6
他に内定を得ることができなかった	8.9	7.4	8.9	5.0	5.0	4.5	8.3	6.6	14.6	10.2	11.7	9.6
その他	4.0	4.9	4.1	5.0	3.0	1.0	2.4		0.5	1.2		4.1
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※回答がなかったセルは空欄とした

※5ポイント以上の差で離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

反対に、既卒就職者は新卒就職者と比べて選択の余地が少ないため、就職先を決めるときに多くの事柄を考慮することが難しい。こうした既卒就職者の「高望みしない」就職活動のあり方は、入職後の離職傾向にどのような影響を及ぼすだろうか。図表1-8②に、新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて、「初めての正社員勤務先」への就職を決めた理由として「あてはまる」と答えた人の割合を、離職者と勤続者とで比較できるように示した。離職者と勤続者の間で回答率に5ポイント以上の差がある理由について、離職者の方が高い場合は網掛、勤続者の方が高い場合は斜体と下線で示した。

まず男性について検討する。離職者の方が「他に内定を得ることができなかった」の回答率がより高い傾向が、専門・短大・高専の既卒者を除く全学歴・経歴の男性にみられた。特に高校卒と大学・大学院卒では、新卒・既卒ともに離職者の回答率は勤続者の約2倍である。同様の傾向が「就職活動開始当初の『初めての正社員勤務先』への志望度」についてもみられ（図表1-9）、男性のみ全学歴で新卒・既卒ともに、離職者は「当初は志望していなかった」、勤続者は「当初から第一志望だった」の回答率が大幅に高い。女性は、大学・大学院卒においてのみ男性と同様の傾向がみられた。

図表1-9 就職活動開始当初の「初めての正社員勤務先」への志望度
(性、学歴・経歴、勤続別)

単位：% 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
当初から第一志望だった	48.7	67.7	17.2	30.2	44.4	52.2	33.3	35.3	25.3	41.9	17.3	44.3
当初から志望していたが、第一志望ではなかった	18.4	14.7	19.9	18.0	22.9	27.9	15.2	19.6	37.2	36.8	27.2	20.4
当初は志望していなかった	33.0	17.6	62.9	51.8	32.6	19.9	51.5	45.1	37.5	21.3	55.6	35.3
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201

女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
当初から第一志望だった	54.5	58.2	36.3	18.3	55.7	60.2	39.3	32.8	38.6	44.0	32.5	31.5
当初から志望していたが、第一志望ではなかった	20.5	20.5	15.1	23.3	21.1	18.4	25.0	29.5	29.5	30.1	18.2	26.0
当初は志望していなかった	25.1	21.3	48.6	58.3	23.2	21.4	35.7	37.7	31.8	25.9	49.4	42.5
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※5%ポイント以上の差で離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

次に学歴別の傾向を検討する。高校卒の男性は新卒・既卒問わず、勤続者の「会社の将来性がある」「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「福利厚生がよい」の回答率がより高い。また新卒就職者においては「会社の規模・知名度」「社会的意義がある」「賃金の条件がよい」の回答率も勤続者でより高い。

大学・大学院卒の男性は、新卒・既卒ともに勤続者の「業種・業界」「会社の将来性があ

る」「福利厚生がよい」の回答率がより高い。また新卒就職者においては「会社の規模・知名度」「社会的意義がある」「賃金の条件がよい」「労働条件・休日・休暇の条件がよい」の、既卒就職者では「自分の技能・能力が活かせる」「仕事の内容・職種」「転勤がない・転勤の地域が限定されている」の回答率についても勤続者でより高い。

専門・短大・高専卒の男性は、新卒就職者では高校卒や大学・大学院卒の男性と同じように、勤続者の方が多くの理由について回答率がより高い。具体的には「仕事の内容・職種」「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「福利厚生がよい」の回答率は勤続者でより高く、「勤務地」のみ離職者の方がより高い回答率を示している。これに対して既卒就職者では、他の学歴の男性とは傾向が異なり、離職者の方が多くの理由を考慮して入職先を決定している。具体的には、「業種・業界」「仕事の内容・職種」「会社の規模・知名度」「会社の将来性がある」「社会的意義がある」「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「勤務地」「福利厚生がよい」「若いうちから責任ある仕事を任せてもらえる」の回答率は、既卒就職者では離職者の方が大幅に高く、勤続者の方が高い回答率を示した事柄は「賃金の条件がよい」「転勤がない・転勤の地域が限定されている」の二点のみである。

同様に、女性について検討する。高校の新卒女性は離職者の方が「業種・業界」の、勤続者の方が「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「転勤がない・転勤の地域が限定されている」「福利厚生がよい」の回答率が高い。これに対して高校の既卒女性は、離職者の方が「業種・業界」「自分の技能・能力が活かせる」「仕事の内容・職種」の、勤続者の方が「会社の将来性がある」「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「福利厚生がよい」の回答率がより高い。

専門・短大・高専の新卒女性は、勤続者の方が「会社の規模・知名度」「会社の将来性がある」「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「転勤がない・転勤の地域が限定されている」「福利厚生がよい」の回答率がより高く、離職者の方が「仕事の内容・職種」の回答率がより高い。既卒女性は新卒女性と同様に勤続者の方が「会社の規模・知名度」「会社の将来性がある」「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「福利厚生がよい」の回答率が高く、さらに「業種・業界」と「仕事の内容・職種」の回答率も勤続者の方がより高い。

大学・大学院卒女性は、新卒・既卒ともに「会社の規模・知名度」「会社の将来性がある」「労働条件・休日・休暇の条件がよい」「福利厚生がよい」の回答率が勤続者でより高い点が専門・短大・高専卒の女性と共通している。さらに大学・大学院の既卒女性では「自分の技能・能力が活かせる」「業種・業界」「仕事の内容・職種」「社会的意義がある」についても勤続者の回答率がより高い。一方、既卒就職者では離職者の「勤務地」「転勤がない・転勤の地域が限定されている」の回答率が勤続者より15～20ポイントも高い。

以上をまとめる。若者全般にとって雇用の安定性やワーク・ライフバランスに関連する事柄をよく考慮して入職を決めることは、離職を防ぐ一助になる可能性がある。男女とも、多くの学歴において、新卒か否かに関わらず、勤続者は会社の将来性や労働条件・休日・休暇、福祉厚生などを理由に入職した傾向がみられる。

また、実際に従事する職務内容に関連した事柄（「自分の技能・能力が活かせる」「仕事の内容・職種」「社会的意義がある」）を考慮することと離職傾向との関係は、性・学歴・経歴によって異なる。高校の既卒女性と専門・短大・高専の既卒男性・新卒女性では離職傾向と、大学・大学院の既卒の男女、専門・短大・高専の新卒男性と既卒女性では勤続傾向と関連する。既卒就職者は新卒就職者ほどには多くの事柄を考慮して入職先を決めることは難しい。しかし高学歴層では比較的選択肢が多いため、雇用の安定性やワーク・ライフバランスに関連する事柄だけでなく、職務の内容に関わる事柄も考慮することがある程度可能であり、そうした丁寧なマッチングをした結果、勤続が促された可能性がある。

一方で、専門・短大・高専の既卒男性は独特の傾向を示した。彼らは多くの事柄に配慮して入職した人ほど離職する傾向がある。専門・短大・高専の既卒男性の「初めての正社員勤務先」では、実際の労働条件や職務内容等と本人の期待との間に、ミスマッチが生じやすいのかもしれない。

最後に、男性や高学歴層では不本意就職が離職を招く可能性が示唆された。一方で、女性は、志望度と離職傾向との間に男性ほどの明確な関係は現れなかった。女性は結婚・出産や配偶者の転勤などの事情により、本人が勤続を志望していても離職せざるをえない状況に立たされやすいため、志望度と離職傾向との関係が見えにくくなっているであろう。

<参考文献>

JILPT（2013）『中小企業における若年者雇用支援施策の利用状況（若年社員ヒアリング調査報告）』JILPT 資料シリーズ No. 128.

JILPT（2014）『若年者雇用支援施策の利用状況に関する調査（ハローワーク求人企業アンケート調査）』JILPT 調査シリーズ No. 117

JILPT（2016）『若年者の初期キャリアと企業による雇用管理の現状：「平成 25 年若年者雇用実態調査」より』JILPT 資料シリーズ No.171.

JILPT（2017）『若年者の離職状況と離職後のキャリア形成（若年者の能力開発と職場への定着に関する調査）』JILPT 調査シリーズ No.164.

第2章 「初めての正社員勤務先」の基本的特徴

本章では、若者の離職傾向と彼・彼女らの「初めての正社員勤務先」の企業属性等との関係を検討する。具体的には、若者が初めて正社員として勤務した会社等の企業規模、業種、職種、社風（企業体質）が、その会社等を離職した人と勤続している人とでどう異なるのか比較する。分析対象は全回答者 5,631 人（離職者 2,559 人、勤続者 3,072 人）である。なお、社風については「初めての正社員勤務先」で働いていた全期間を通して、その他については、離職者は「初めての正社員勤務先」を離職する直前、勤続者は調査時点（2018年8月）の状況を尋ねた。また、若者が応募可能な求人は、その人が新卒者であるか否かによって大きく異なる。そこで性・学歴に加え、「初めての正社員勤務先」入職時の経歴（新卒者であったか否か）ごとにも分析を行う。

第1節 企業規模・業種・職種

1. 企業規模

図表2-1①に新卒就職者と既卒就職者の「初めての正社員勤務先」の企業規模の分布を、性・学歴別に示した。各規模段階の占める割合に新卒就職者と既卒就職者との間で5ポイント以上の差がみられ、かつ新卒就職者の方が高い場合は実線、既卒就職者の方が高い場合は点線でパーセンテージを囲った。

全体に、女性より男性で、非大卒より大学・大学院卒で、既卒就職者より新卒就職者で、規模の大きい方へと分布が偏っている。新卒と既卒の違いは、特に高校卒の男性と大学・大学院卒の男女で顕著に表れており、1000人以上の大企業へ就職した人の割合は、新卒就職者では3～4割に上るのに対して、既卒就職者ではいずれも10%台である。以上は2016年調査で見いだされた傾向とも一致する。

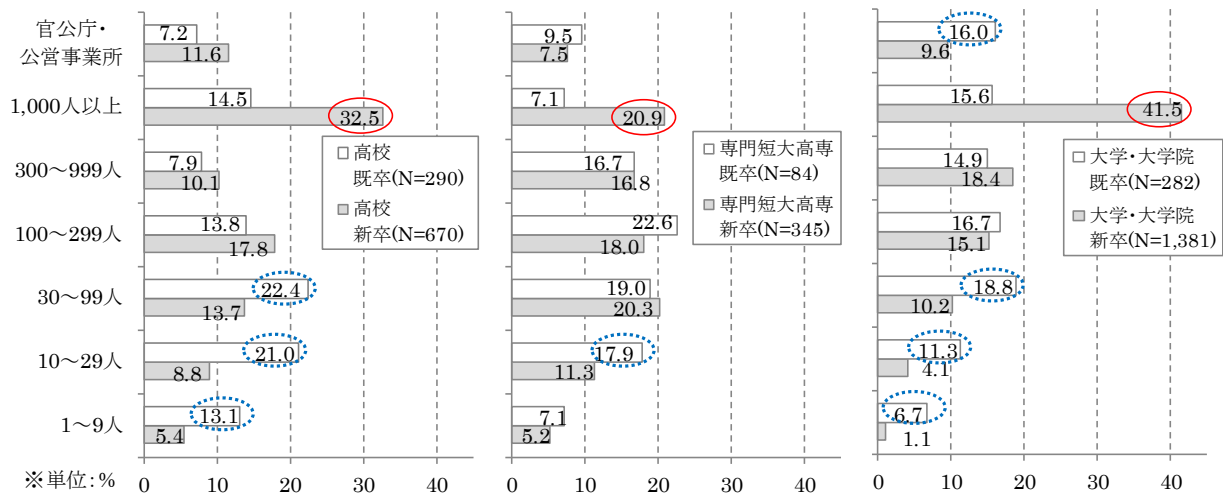
厚生労働省による新卒就職者の3年以内離職率は、いずれの学歴でも事業所規模と反比例しており、規模の小さい事業所で働くことは若者の離職傾向を促す可能性が高い¹。既卒の就職者についても同じ傾向が見られるのだろうか。図表2-1②へ、新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて、「初めての正社員勤務先」の企業規模の分布を、離職者と勤続者とで比較できるように示した。男女とも全ての学歴において、新卒・既卒ともに、勤続者の方が企業規模の大きい方へ偏って分布している。特に「1,000人以上」の割合は、高校の既卒男性以外のすべての学歴・経歴において勤続者の方が大幅に高い。また、高校と専門・短大・高

¹高校卒では1000人以上25.3%、500～999人32.9%、100～499人36.5%、30～99人46.3%、5～29人55.9%、5人未満64.3%。大学卒では1000人以上24.2%、500～999人29.6%、100～499人31.9%、30～99人39.0%、5～29人49.3%、5人未満57.0%（厚生労働省2018年10月23日発表「新規学卒就職者の離職状況（平成27年3月卒業者の状況）」）。

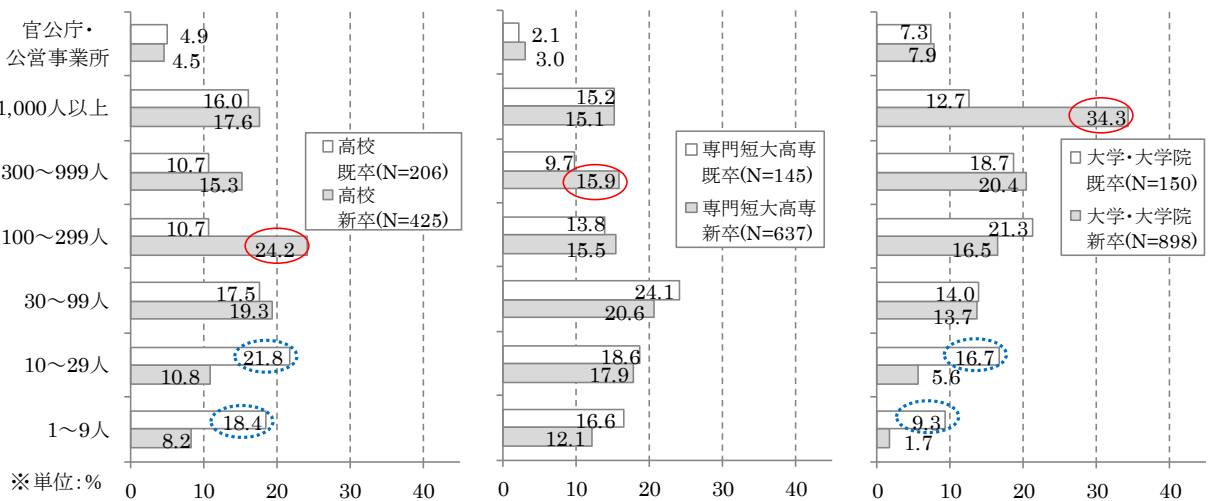
専の既卒女性を除くすべての学歴・経歴において、勤続者の方が「官公庁・公営事業所」で働いている傾向がある。既卒就職者も新卒就職者と同様に、従業員規模の小さい会社等で勤務すると大企業や公的セクターで働く場合より離職傾向が高まることが確認できた。

図表 2-1 ① 「初めての正社員勤務先」の企業規模（性・最終学歴・経歴別）

A) 男性



B) 女性



図表 2-1② 「初めての正社員勤務先」の企業規模（性・最終学歴・経歴・勤続別）

単位：％ 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
1～9人	8.8	3.2	13.9	12.2	7.6	3.5	9.1	5.9	2.1	0.7	14.8	3.5
10～29人	14.2	5.4	25.2	16.5	17.4	7.0	24.2	13.7	6.1	3.3	16.0	9.5
30～99人	21.1	9.0	23.2	21.6	20.8	19.9	21.2	17.6	13.5	9.0	21.0	17.9
100～299人	23.8	13.9	15.9	11.5	18.8	17.4	21.2	23.5	21.6	12.7	16.0	16.9
300～999人	9.6	10.5	5.3	10.8	16.7	16.9	15.2	17.6	23.0	16.7	14.8	14.9
1,000人以上	17.2	42.3	12.6	16.5	15.3	24.9	3.0	9.8	30.3	45.7	4.9	19.9
官公庁・公営事業所	5.4	15.6	4.0	10.8	3.5	10.4	6.1	11.8	3.4	12.0	12.3	17.4
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201

女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
1～9人	10.6	2.5	19.2	16.7	14.9	6.0	19.0	13.1	2.3	1.2	13.0	5.5
10～29人	10.9	10.7	24.7	15.0	20.2	12.9	22.6	13.1	7.3	4.2	22.1	11.0
30～99人	22.8	10.7	18.5	15.0	20.2	21.4	23.8	24.6	16.4	11.6	13.0	15.1
100～299人	22.4	28.7	11.0	10.0	16.3	13.9	14.3	13.1	19.4	14.1	19.5	23.3
300～999人	15.8	13.9	8.9	15.0	15.6	16.4	9.5	9.8	22.7	18.5	22.1	15.1
1,000人以上	14.9	24.6	13.7	21.7	11.5	22.9	9.5	23.0	27.5	39.6	7.8	17.8
官公庁・公営事業所	2.6	9.0	4.1	6.7	1.4	6.5	1.2	3.3	4.3	10.8	2.6	12.3
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※離職者は離職直前の、勤続者は調査時点現在についての回答

※5ポイント以上の差で離職者>勤続者の場合を網掛、離職者<勤続者の場合を斜体+下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

2. 産業

厚生労働省による産業別の新卒就職者の3年以内離職率²をみると、その比率が高い／低い産業には毎年あまり変化がなく、学歴による違いも少ない。新卒就職者の3年以内離職率が高い産業は宿泊業・飲食サービス業や生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、小売業、医療・福祉などであり、低い産業は、電気・ガス・熱供給・水道業、金融・保険業、

² 厚生労働省（2018年10月23日発表）によれば、3年以内離職率が高い上位5産業は、高校卒では「宿泊業・飲食サービス業（63.2%）」「生活関連サービス業・娯楽業（59.2%）」「教育・学習支援業（56.5%）」「小売業（48.8%）」「医療、福祉（47.0%）」、大学卒では「宿泊業・飲食サービス業（49.7%）」「教育・学習支援業（46.2%）」「生活関連サービス業・娯楽業（45.0%）」「医療、福祉（37.8%）」「小売業（37.7%）」である。反対に3年以内離職率が低い上位5産業は、高校卒では「電気・ガス・熱供給・水道業（7.9%）」「金融・保険業（25.7%）」「複合サービス事業（25.9%）」「鉱業・採石業・砂利採取業（26.7%）」「製造業（28.0%）」、大学卒では「電気・ガス・熱供給・水道業（10.8%）」「鉱業・採石業・砂利採取業（12.4%）」「製造業（19.5%）」「金融・保険業（21.7%）」「複合サービス事業（25.3%）」である「新規学卒就職者の離職状況（平成27年3月卒業者の状況）」。

複合サービス事業、鉱業・採石業・砂利採取業、製造業などである。こうした傾向は、既卒就職者にも同様にみられるのだろうか。

はじめに、新卒就職者と既卒就職者とで「初めての正社員勤務先」の産業分布がどう異なるのか、図表2-2①を検討しよう³。まず男性について検討する。高校卒の男性では、新卒就職者の半数近く（45.5%）が製造業で働いていた。既卒就職者でも製造業へ入職する人が最も多いが（24.1%）、新卒就職者との間に21.4ポイントの差がある。次に入職者が多いのはサービス業であり、その割合は15.9%と新卒就職者より9ポイント高い。

専門・短大・高専卒の男性では、新卒就職者が最も多く入職した産業は医療・福祉で、その割合は24.9%と既卒就職者より5.9ポイント高い。次に入職者が多いのは製造業とサービス業（ともに14.2%）だが、これらは既卒就職者も1割以上が入職している。一方、既卒就職者は医療・福祉に19.0%、製造業に16.7%、小売業に13.1%、サービス業に10.7%と入職先の産業が分散している。このうち小売業の割合は新卒就職者より10ポイント近く高い。

大学・大学院卒の男性では、新卒就職者が最も多く入職した産業は製造業で、その割合は24.0%と既卒就職者より7.7ポイント高い。次いで入職者が多いのはマスコミを除く情報通信業（10.9%）、金融業・保険業（9.1%）であり、金融業・保険業の割合は既卒就職者より6.6ポイント高い。既卒就職者も製造業への入職者が最も多いが16.3%にすぎない。新卒就職者より5ポイント以上高い割合を示すのは公務（13.8%）と教育・学習支援業（10.6%）である。

次に女性について検討する。高校卒の女性では、新卒就職者が最も多く入職した産業は製造業で、その割合は23.8%と既卒就職者より12.6ポイント高い。次いで入職者が多いのは小売業と医療・福祉（ともに11.5%）、サービス業（11.3%）である。一方、既卒就職者が最も多く入職した産業は医療・福祉で、その割合は18.4%と新卒就職者より6.9ポイント高い。次いで入職者が多いのは小売業（13.6%）、サービス業（12.6%）、製造業（11.2%）だが、新卒就職者より5ポイント以上高い割合を示したのはマスコミを除く情報通信業である（7.3%）。

専門・短大・高専卒の女性では、新卒就職者の入職先は医療・福祉に集中し、その割合は42.7%と既卒就職者より10.3ポイントも高い。次いで入職者が多いのは教育・学習支援業（11.5%）である。既卒就職者も医療・福祉に入職した人が最も多い（32.4%）。次いで入職者が多いのはサービス業で、その割合は13.8%と新卒就職者より5.5ポイント高い。また教育・学習支援業も比較的高いが、その割合は11.0%と新卒就職者とほぼ変わらない。

大学・大学院卒の女性では、新卒就職者が最も多く入職した産業は医療・福祉だが（20.5%）、次いで入職者が多い産業は金融・保険業で、その割合は12.8%と既卒就職者より7.5ポイン

³ 2016年調査では日本標準産業分類（2013年10月改定）の大分類に基づき産業名を示したが、本調査では先行研究（小林ほか2014）で大学新卒者の早期離職が多いと指摘された「マスコミ（新聞・出版・テレビ・ラジオ等）」を「情報通信」から、「コンサルティング・広告」を「学術研究、専門・技術サービス」から取り出し別途表示した。ただし本調査の分析結果では、これらの産業への入職者の割合は勤続者と離職者で大差は無かった。

ト高い。一方、既卒就職者が最も多く入職した産業は医療・福祉（16.7%）だが、次いで入職者が多いサービス業の割合は12.7%と、新卒就職者より6.4ポイント高い割合を示した。

男女とも全ての学歴において、新卒就職者の入職先は特定の産業に極端に偏っており、これらの産業は先行研究（JILPT 2016）において若者の職場定着が良好な産業が多い。一方、既卒就職者の入職先は多様で、先述の厚生労働省による調査で新卒就職者の3年以内離職率が高い産業が多い。既卒の若者は、新卒者を採用できない企業や、新卒者を採用できても辞めてしまう企業に入職している状況が反映された結果といえよう。

図表2-2① 「初めての正社員勤務先」の産業（性・最終学歴・経歴別）

単位：% 太字は実数

	男性						女性					
	高校		専門・短大・高専		大学・大学院		高校		専門・短大・高専		大学・大学院	
	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
鉱業、採石業、砂利採取業	0.1	0.3	0.3	1.2	0.5	1.8	0.2				0.0	
建設業	6.9	5.9	5.2	3.6	4.8	3.9	2.8	1.5	1.7	4.1	3.3	3.3
製造業	45.5	24.1	14.2	16.7	24.0	16.3	23.8	11.2	6.0	5.5	9.2	5.3
電気・ガス・熱供給・水道業	3.6	2.4	2.3	1.2	2.7	2.5	1.6	1.5	0.5	1.4	0.8	3.3
情報通信業(マスコミ除く)	2.5	3.8	9.3	4.8	10.9	6.0	1.4	7.3	0.9	0.7	6.0	4.0
マスコミ(新聞・出版・テレビ・ラジオ等)	0.1	0.7	0.3		1.0	1.8	0.2		0.5	0.7	1.1	0.7
運輸業、郵便業	9.3	10.7	5.8	3.6	4.0	2.1	3.3	3.4	0.8	1.4	1.4	4.7
卸売業	1.8	2.8	1.4	4.8	4.9	2.1	4.2	1.9	1.9	2.1	4.5	6.0
小売業	3.1	7.2	3.2	13.1	4.7	5.3	11.5	13.6	5.3	7.6	9.2	6.0
金融業・保険業	0.6	2.8	0.9	2.4	9.1	2.5	5.4	4.4	3.6	3.4	12.8	5.3
不動産業、物品賃貸業	0.7	1.0	0.6		2.0	2.8	0.7	2.9	0.9		2.0	3.3
学術研究、専門・技術サービス業 (コンサルティング・広告業除く)	0.6	0.7	1.7	3.6	1.5	3.2	1.9	1.5	1.4	2.1	1.4	5.3
コンサルティング・広告業	0.4			1.2	0.9	2.1	0.5	1.0	0.3	0.7	1.2	
宿泊業、飲食サービス業	3.0	5.9	4.9	3.6	1.2	3.9	8.7	6.3	5.2	3.4	2.3	6.0
生活関連サービス業、娯楽業 (理容、クリーニング、旅行など)	1.2	1.7	1.7	1.2	0.7	0.4	3.5	5.8	5.5	6.9	2.9	3.3
教育、学習支援業	0.1	1.0	1.7		4.1	10.6	0.9	1.0	11.5	11.0	7.7	6.7
医療、福祉	1.2	4.5	24.9	19.0	8.3	9.2	11.5	18.4	42.7	32.4	20.5	16.7
複合サービス事業 (郵便局・協同組合など)	0.4	0.3	0.6		0.4	0.4	0.7	1.0	0.2	0.7	1.0	0.7
サービス業(他に分類されないもの)	6.9	15.9	14.2	10.7	5.7	9.2	11.3	12.6	8.3	13.8	6.3	12.7
公務(学校・病院・福祉施設を除く)	11.3	6.9	6.7	8.3	8.4	13.8	4.5	4.4	2.4	1.4	5.7	6.7
その他	0.4	1.4		1.2	0.1		1.2	0.5	0.5	0.7	0.2	
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	670	290	345	84	1,381	282	425	206	637	145	898	150

※離職者は離職直前の、勤続者は調査時点現在についての回答

※回答が無いセルは空白で示した

※5ポイント以上の差で新卒>既卒の場合を網掛、新卒<既卒の場合を斜体+下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

それでは、新卒就職者にとって職場に定着しにくい産業は、既卒就職者においても離職を誘発するのだろうか。図表2-2②に、新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて、離職者と勤続者の「初めての正社員勤務先」の産業分布を比較できるように示した。勤続者と離職者との間で5ポイント以上の差がみられた産業を新卒・既卒それぞれについてみていこう。

図表2-2② 「初めての正社員勤務先」の産業（性・最終学歴・経歴・勤続別）

単位：％ 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒				
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	
鉱業、採石、砂利採取業		0.2		0.7		0.5		2.0		0.5		0.5	2.5
建設	10.0	4.9	6.6	5.0	5.6	5.0	3.0	3.9	6.6	4.1	4.9	3.5	
製造	40.6	48.7	24.5	23.7	9.7	17.4	21.2	13.7	20.8	25.2	16.0	16.4	
電気・ガス・熱供給・水道	3.8	3.4	3.3	1.4	1.4	3.0	3.0		2.4	2.8	2.5	2.5	
情報通信(マスコミ除く)	3.1	2.2	4.0	3.6	10.4	8.5	3.0	5.9	11.3	10.8	8.6	5.0	
マスコミ(新聞・出版・テレビ・ラジオ等)		0.2		1.3		0.5			1.3	0.9	4.9	0.5	
運輸、郵便	5.7	11.5	6.6	15.1	2.1	8.5		5.9	2.1	4.7	2.5	2.0	
卸売	1.9	1.7	2.0	3.6	1.4	1.5	6.1	3.9	5.8	4.6	2.5	2.0	
小売	3.8	2.7	6.6	7.9	2.8	3.5	12.1	13.7	7.4	3.7	8.6	4.0	
金融・保険	1.1	0.2	2.0	3.6	0.7	1.0	3.0	2.0	7.7	9.7	2.5	2.5	
不動産、物品賃貸	1.1	0.5	1.3	0.7	0.7	0.5			1.8	2.0	6.2	1.5	
学術研究、専門・技術サービス (コンサルティング・広告除く)	0.4	0.7	1.3		2.8	1.0	3.0	3.9	2.4	1.2	3.7	3.0	
コンサルティング・広告	0.4	0.5					3.0		1.6	0.7	2.5	2.0	
宿泊、飲食サービス	6.1	1.0	7.3	4.3	6.9	3.5	6.1	2.0	2.6	0.6	4.9	3.5	
生活関連サービス、娯楽	2.3	0.5	2.0	1.4	4.2			2.0	1.6	0.3		0.5	
教育、学習支援		0.2	1.3	0.7	2.1	1.5			5.3	3.6	6.2	12.4	
医療、福祉	1.9	0.7	6.0	2.9	24.3	25.4	18.2	19.6	8.7	8.2	7.4	10.0	
複合サービス事業	0.4	0.5	0.7		0.7	0.5			0.3	0.5		0.5	
その他のサービス	11.1	4.2	19.9	11.5	21.5	9.0	12.1	9.8	7.4	5.1	6.2	10.4	
公務(学校、病院・福祉施設除く)	5.0	15.4	3.3	10.8	2.8	9.5	6.1	9.8	2.4	10.7	9.9	15.4	
その他	1.1			2.9				2.0		0.2			
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201	

女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
鉱業、採石、砂利採取業		0.3								0.5		
建設	2.0	4.9	1.4	1.7	1.4	2.5	2.4	6.6	3.3	3.4	2.6	4.1
製造	18.5	36.9	11.0	11.7	4.4	9.5	6.0	4.9	7.3	10.8	5.2	5.5
電気・ガス・熱供給・水道	1.7	1.6	0.7	3.3	0.7			3.3	1.3	0.4	2.6	4.1
情報通信(マスコミ除く)	2.0		4.8	13.3	0.7	1.5	1.2		5.6	6.4	3.9	4.1
マスコミ(新聞・出版・テレビ・ラジオ等)	0.3				0.2	1.0	1.2		1.8	0.6		1.4
運輸、郵便	2.6	4.9	3.4	3.3	0.2	2.0		3.3	1.0	1.8	2.6	6.8
卸売	5.3	1.6	2.7		1.8	2.0	3.6		4.8	4.2	7.8	4.1
小売	12.9	8.2	15.8	8.3	5.7	4.5	4.8	11.5	13.9	5.6	9.1	2.7
金融・保険	5.9	4.1	2.7	8.3	2.3	6.5	2.4	4.9	11.1	14.1	6.5	4.1
不動産、物品賃貸	0.3	1.6	2.1	5.0	0.5	2.0			2.0	2.0		6.8
学術研究、専門・技術サービス (コンサルティング・広告除く)	2.3	0.8	0.7	3.3	1.1	2.0	3.6		1.0	1.8	5.2	5.5
コンサルティング・広告		1.6	0.7	1.7	0.2	0.5	1.2		1.8	0.8		
宿泊、飲食サービス	10.6	4.1	8.2	1.7	6.0	3.5	4.8	1.6	3.3	1.6	5.2	6.8
生活関連サービス、娯楽	4.6	0.8	6.2	5.0	6.4	3.5	9.5	3.3	3.3	2.6	3.9	2.7
教育、学習支援	0.3	2.5	1.4		14.2	5.5	9.5	13.1	6.1	9.0	6.5	6.8
医療、福祉	12.9	8.2	19.9	15.0	41.5	45.3	29.8	36.1	18.7	21.9	16.9	16.4
複合サービス事業	0.7	0.8	0.7	1.7	0.2		1.2		2.0	0.2	1.3	
その他のサービス	12.9	7.4	13.0	11.7	10.6	3.5	16.7	9.8	8.3	4.8	18.2	6.8
公務(学校、病院・福祉施設除く)	2.6	9.0	4.1	5.0	1.1	5.0	1.2	1.6	2.8	8.0	2.6	11.0
その他	1.3	0.8	0.7		0.7		1.2		0.3	0.2		
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※離職者は離職直前の、勤続者は調査時点現在についての回答

※図表2-2①に示した業種名称を省略して示した。回答が無いセルは空白で示した。

※5ポイント以上の差で離職者>勤続者の場合を網掛、離職者<勤続者の場合を斜線+下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

高校卒の男性では、新卒就職者も既卒就職者も勤続者の方が5ポイント以上高い割合を示した産業は、運輸業・郵便業（新卒 11.5%、既卒 15.1%）と公務（新卒 15.4%、既卒 10.8%）であり、反対に新卒・既卒ともに離職者の方が5ポイント以上高い割合を示した産業はその他サービス（新卒 11.1%、既卒 19.9%）である。そして新卒就職者でのみ、製造業は勤続者、宿泊・飲食サービスは離職者に占める割合がより高い。

専門・短大・高専卒の男性では、新卒・既卒ともに勤続者の方が5ポイント以上高い割合を示した産業は、運輸業・郵便業（新卒 8.5%、既卒 5.9%）のみであり、新卒就職者と既卒就職者とで異なる傾向を示す産業がいくつかあった。新卒就職者では、製造業や公務は勤続者、その他サービスは離職者に占める割合がより高く、既卒就職者では対照的に、製造業は離職者に占める割合がより高い。

大学・大学院卒の男性では、他の学歴ほどの明確な傾向はみられない。新卒・既卒ともに勤続者の方が5ポイント以上高い割合を示した産業は公務（新卒 10.7%、既卒 15.4%）のみであった。新卒就職者だけでみられる傾向はなく、既卒就職者では、教育・学習支援業は勤続者に占める割合がより高い傾向がみられた。

次に女性について検討する。高校卒の女性では、新卒就職者と既卒就職者と異なる傾向が多く見られた、新卒・既卒に共通の傾向を示した産業は宿泊・飲食サービス業のみで、ともに離職者の方が5ポイント以上高い割合を示した（新卒 10.6%、既卒 8.2%）。新卒就職者では、製造業や公務は勤続者、その他サービスは離職者に占める割合がより高く、特に勤続者に占める製造業の割合は 36.9%と突出している。一方、既卒就職者では、マスコミを除く情報通信業と金融業・保険業は勤続者、小売業と宿泊・飲食サービスは離職者に占める割合がより高い。

専門・短大・高専卒の女性では、新卒・既卒ともに離職者の方が5ポイント以上高い割合を示した産業はその他サービス（新卒 10.6%、既卒 16.7%）である。新卒就職者では、製造業が勤続者で、教育・学習支援は離職者に占める割合がより高い。既卒就職者では、医療・福祉と小売業は勤続者、生活関連サービス業・娯楽業は離職者に占める割合がより高い。

大学・大学院卒の女性では、新卒・既卒ともに勤続者の方が5ポイント以上高い割合を示した産業は公務（新卒 8.0%、既卒 11.0%）であり、離職者の方が5ポイント以上高い割合を示した産業は小売業（新卒 13.9%、既卒 9.1%）である。新卒就職者でのみ離職／勤続傾向と関連した産業はない。既卒就職者では不動産・物品賃貸は勤続者、その他サービスは離職者に占める割合がより高い。

以上をまとめる。「初めての正社員勤務先」の産業と離職／勤続傾向との関係には、新卒就職者と既卒就職者とで共通する傾向と異なる傾向とが見られた。新卒と既卒に共通して離職傾向と関係が見られた産業は、高校卒男性と専門・短大・高専女性におけるその他サービス、高校卒女性における宿泊・飲食サービス、大学・大学院卒における小売りである。反対に、新卒・既卒問わず勤続傾向と関係が見られた産業は、高校卒男性と大学・大学院卒の男

女における公務、高校卒と専門・短大・高専卒の男性における運輸・郵便である。これらは厚生労働省による新卒就職者の3年以内離職率の高い／低い産業とも一致する。

一方、同じ性別・学歴であっても、新卒就職者と既卒就職者とでは異なる傾向を示した産業は、専門・短大・高専卒の男性における製造業である。これは同じ製造業であっても、新卒者は大企業、既卒者は小企業など、異なる企業層へ就職しているためと考えられる。

また、大学・大学院卒の男性は新卒就職者と既卒就職者との分布差が小さく、さらに離職者と勤続者の分布差も小さい。これはすなわち、高学歴男性は新卒時に就職できなくても、新卒者と同じ産業へ就職できる可能性が比較的高いことや、卒業後時間が経過してから就職しても、産業の違いに起因するキャリアの安定性の格差はあまり変わらないことを意味する。対照的に、女性や高校卒や専門・短大・高専卒の若者は新卒時に円滑に正社員就職できなかった場合、自分と同じ学歴の新卒者が多数就職していく産業へ入職する機会が閉ざされがちであり、そのことが入職後の勤続・離職傾向にも影響している恐れがある。

3. 職種

新卒就職者と既卒就職者とは、「初めての正社員勤務先」で就く職種がどう異なるのか確認するため、図表2-3①に、職種の分布を性・学歴別に示した。新卒就職者と既卒就職者の間に5ポイント以上の差がある職種をみていこう。

まず男性について検討する。高校卒男性の新卒就職者は28.7%が「その他の専門・技術職（製造業の技術職等）」に、19.3%が「生産工程従事者」に就いており、他の職種に就いた人の割合はいずれも1割に満たない。対照的に、既卒就職者は多様な職種に就いている。最も多いのは「その他の専門・技術職」だが、その割合はわずか16.6%であり、営業・販売職（14.5%）やサービス職（14.8%）に就く割合とあまり変わらない。

専門・短大・高専卒男性の新卒就職者は、半分以上が専門・技術職に就いており、内訳をみると25.2%が医療・福祉分野の、25.8%がその他の専門・技術職である。これに対して既卒就職者は、最も多くの人が就く職業は専門・技術職（35.7%）ではあるが、事務職（14.3%）や営業・販売職（17.9%）に就いた人の割合も新卒就職者と比べると大幅に高い。

大学・大学院卒男性の新卒就職者は、41.0%が専門・技術職（その大半がその他の専門・技術職）、20.6%が営業職に就いており、これらで全体の6割以上を占める。これに対して既卒就職者は、37.2%が専門・技術職に就いているが、その他の専門・技術職は18.1%に過ぎず、教育分野の専門・技術職が9.9%を占めることが特徴である。また、新卒就職者より多様な職種に分散して分布している。

図表 2-3① 「初めての正社員勤務先」での職種（性・最終学歴・経歴別）

単位：％ 太字は実数

	男性						女性					
	高校		専門・短大・高専		大学・大学院		高校		専門・短大・高専		大学・大学院	
	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
専門・技術職	31.6	21.7	53.0	35.7	41.0	37.2	14.6	17.0	54.6	42.1	36.3	30.0
医療・福祉分野の専門・技術職	(2.2)	(4.1)	(25.2)	(19.0)	(8.0)	(9.2)	(6.1)	(9.2)	(39.2)	(25.5)	(19.3)	(14.0)
教育分野の専門・技術職	(0.7)	(1.0)	(2.0)	(1.2)	(4.4)	(9.9)	(0.2)	(1.5)	(8.3)	(9.7)	(5.9)	(6.0)
その他の専門・技術職	(28.7)	(16.6)	(25.8)	(15.5)	(28.6)	(18.1)	(8.2)	(6.3)	(7.1)	(6.9)	(11.1)	(10.0)
管理的職業	3.9	3.4	2.6	7.1	3.6	2.8	1.4	1.5	0.8	0.7	1.4	2.0
事務職	9.0	7.6	8.7	14.3	19.3	21.6	32.7	31.6	18.8	21.4	32.3	32.0
営業・販売職	5.8	14.5	4.9	17.9	23.5	17.7	17.2	22.3	8.8	15.2	21.9	16.0
営業職	(3.3)	(7.6)	(3.5)	(7.1)	(20.6)	(13.1)	(3.8)	(5.8)	(3.0)	(4.8)	(14.4)	(6.0)
販売職	(2.5)	(6.9)	(1.4)	(10.7)	(2.9)	(4.6)	(13.4)	(16.5)	(5.8)	(10.3)	(7.6)	(10.0)
サービス職	7.9	14.8	10.7	8.3	4.3	8.2	17.9	18.0	14.8	15.2	5.8	14.0
家事・介護・保健医療・福祉のサービス職	(0.1)	(1.7)	(0.9)		(0.2)	(1.4)	(2.4)	(2.4)	(2.0)	(2.1)	(0.7)	(1.3)
接客・給仕のサービス職	(2.2)	(7.6)	(2.6)	(4.8)	(2.2)	(2.8)	(10.8)	(8.3)	(3.0)	(6.2)	(3.5)	(6.0)
その他のサービス職	(5.5)	(5.5)	(7.2)	(3.6)	(1.9)	(3.9)	(4.7)	(7.3)	(9.7)	(6.9)	(1.7)	(6.7)
保安職	5.2	4.8	2.0	1.2	1.2	3.2	2.1		0.2	0.7	0.4	2.0
農林漁業従事者	0.6	2.4		1.2	0.1	0.4	0.5			0.7		
生産工程従事者	19.3	12.8	8.7	7.1	2.8	5.0	8.2	3.9	1.1	1.4	0.4	2.0
輸送・機械運転従事者	6.3	4.8	2.6	1.2	1.4	1.1	1.6	1.0			0.3	
建設・採掘従事者	6.0	4.8	4.6	1.2	1.8	1.1	0.7	1.0	0.3	0.7	0.3	
運搬・清掃・包装等従事者	4.0	7.9	1.7	4.8	1.0	1.8	2.6	3.9	0.5	1.4	0.3	1.3
その他	0.4	0.3	0.3		0.1		0.5		0.2	0.7	0.3	0.7
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	670	290	345	84	1,381	282	425	206	637	145	898	150

※離職者は離職直前の、勤続者は調査時点現在についての回答

※回答が無いセルは空白で示した。丸括弧内は内訳。

※5ポイント以上の差で新卒>既卒の場合を網掛、新卒<既卒の場合を斜体+下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

次に女性について検討する。高校卒の女性は新卒就職者と既卒就職者の間に大きな分布差があまりみられず、両者とも3割強が事務職に、2割弱がサービス職に、15%前後が専門・技術職に就く。唯一、営業・販売職の割合は新卒就職者が17.2%、既卒就職者は22.3%と5.1ポイントの差がある。

専門・短大・高専卒の女性は、新卒も既卒も事務職が2割前後、サービス職が約15%いる点で共通している。一方で異なる傾向がみられた職種もある。医療・福祉分野の専門・技術職に就いた人の割合は新卒就職者では39.2%であるのに対して、既卒就職者では25.5%と13.7ポイントもの差がある。また、営業・販売職の割合は、新卒就職者では8.8%であるのに対し、既卒就職者では15.2%と6.4ポイントの差がある。

大学・大学院卒の女性は、新卒も既卒も事務職に就く人が32%ほどいる。一方で、専門・技術職の割合は新卒就職者では36.3%、既卒就職者では30.0%と6.3ポイントの差がある。同様に営業職の割合も、新卒就職者では14.4%、既卒就職者では6.0%と8.4ポイントの差がある。対照的に、サービス職の割合は新卒就職者(5.8%)より既卒就職者(14.0%)の方が8.2ポイントの差で高い。

図表2-3② 「初めての正社員勤務先」での職種（性・最終学歴・経歴・勤続別）

単位：％ 太字は実数

男性	高校				専門・短大・高専				大学・大学院			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
専門・技術	26.1	35.2	17.1	26.6	46.5	57.7	30.3	39.2	37.7	42.2	33.3	38.8
医療・福祉分野	(2.3)	(2.2)	(4.0)	(4.3)	(22.9)	(26.9)	(15.2)	(21.6)	(7.9)	(8.0)	(4.9)	(10.9)
教育分野		(1.2)	(1.3)	(0.7)	(2.1)	(2.0)	(3.0)		4.7	(4.3)	(2.5)	(12.9)
その他の専門・技術	(23.8)	(31.8)	(11.9)	(21.6)	(21.5)	(28.9)	(12.1)	(17.6)	(25.1)	(29.9)	(25.9)	(14.9)
管理	3.8	3.9	1.3	5.8	2.1	3.0	9.1	5.9	1.6	4.4	3.7	2.5
事務	6.5	10.5	5.3	10.1	8.3	9.0	15.2	13.7	10.0	22.9	17.3	23.4
営業・販売	8.8	3.9	21.2	16.5	5.6	4.5	21.2	15.7	34.0	19.5	21.0	16.4
営業	(5.4)	(2.0)	(6.6)	(8.6)	(3.5)	(3.5)	(12.1)	(3.9)	(28.8)	(17.5)	(17.3)	(11.4)
販売	(3.4)	(2.0)	(6.0)	(7.9)	(2.1)	(1.0)	(9.1)	(11.8)	(5.3)	(2.0)	(3.7)	(5.0)
サービス	12.3	5.1	24.0	5.8	17.4	6.0	12.1	5.9	7.1	3.2	11.1	7.0
家事・介護・保健医療・福祉		(0.2)	(3.3)		(1.4)	(0.5)			(0.5)	(0.1)	(1.2)	(1.5)
接客・給仕	(3.1)	(1.7)	(12.6)	(2.2)	(2.1)	(3.0)	(9.1)	(2.0)	(4.7)	(1.2)	(3.7)	(2.5)
その他サービス	(9.2)	(3.2)	(7.3)	(3.6)	(13.9)	(2.5)	(3.0)	(3.9)	(1.8)	(1.9)	(6.2)	(3.0)
保安職	4.2	5.9	4.6	5.0		3.5		2.0	1.8	0.9	2.5	3.5
農林漁業	1.1	0.2	2.0	2.9				2.0		0.1	1.2	
生産工程	18.0	20.0	15.9	9.4	8.3	9.0	9.1	5.9	2.4	3.0	4.9	5.0
輸送・機械運転	4.6	7.3	4.0	5.8	2.1	3.0		2.0	1.1	1.5	1.2	1.0
建設・採掘	9.6	3.7	5.3	4.3	7.6	2.5	3.0		2.6	1.5	1.2	1.0
運搬・清掃・包装等	4.6	3.7	8.6	7.2	2.1	1.5		7.8	1.6	0.8	2.5	1.5
その他	0.4	0.5		0.7		0.5				0.1		
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
女性	高校				専門・短大・高専				大学・大学院			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
専門・技術	15.5	12.3	17.2	16.7	54.8	54.2	36.9	49.2	31.3	40.2	23.4	37.0
医療・福祉分野	(7.3)	(3.3)	(10.3)	(6.7)	(38.3)	(41.3)	(23.8)	(27.9)	(17.7)	(20.5)	(9.1)	(19.2)
教育分野	(0.3)		(1.4)	(1.7)	(9.9)	(5.0)	(8.3)	(11.5)	(4.5)	(7.0)	(5.2)	(6.8)
その他の専門・技術	(7.9)	(9.0)	(5.5)	(8.3)	(6.7)	(8.0)	(4.8)	(9.8)	(9.1)	(12.7)	(9.1)	(11.0)
管理	1.0	2.5	1.4	1.7	1.1		1.2		1.8	1.2	1.3	2.7
事務	29.0	41.8	28.1	40.0	16.1	24.9	20.2	23.0	26.8	36.7	31.2	32.9
営業・販売	19.5	11.5	12.6	25.0	9.2	8.0	17.9	11.5	28.8	16.5	18.2	13.7
営業	(4.0)	(3.3)	(3.4)	(11.7)	(2.3)	(4.5)	(3.6)	(6.6)	(18.4)	(11.2)	(9.1)	(2.7)
販売	(15.5)	(8.2)	(17.8)	(13.3)	(6.9)	(3.5)	(14.3)	(4.9)	(10.4)	(5.4)	(9.1)	(11.0)
サービス	22.1	7.4	23.2	3.3	17.0	10.0	19.0	9.8	9.8	2.6	16.9	11.0
家事・介護・保健医療・福祉	(3.0)	(0.8)	(2.7)	(1.7)	(1.6)	(3.0)	(3.6)		(0.8)	(0.6)	(1.3)	(1.4)
接客・給仕	(13.5)	(4.1)	(11.6)		(3.4)	(2.0)	(7.1)	(4.9)	(6.1)	(1.4)	(6.5)	(5.59)
その他サービス	(5.6)	(2.5)	(9.6)	(1.7)	(11.9)	(5.0)	(8.3)	(4.9)	(3.0)	(0.6)	(9.1)	(4.1)
保安職	1.0	4.9			0.2		1.2		0.3	0.6	2.6	1.4
農林漁業	0.7						1.2					
生産工程	5.6	14.8	2.1	8.3	0.9	1.5	1.2	1.6	0.3	0.6	2.6	1.4
輸送・機械運転	1.0	3.3	1.4							0.6		
建設・採掘	1.0		0.7	1.7		1.0	1.2		0.3	0.4		
運搬・清掃・包装等	3.0	1.6	4.1	3.3	0.5	0.5		3.3	0.5	0.2	2.6	
その他	0.7				0.2			1.6	0.3	0.4	1.3	
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※離職者は離職直前の、勤続者は調査時点現在についての回答

※回答が無いセルは空白で示した。丸括弧内は内訳。

※5ポイント以上の差で離職者>勤続者の場合を網掛、離職者<勤続者の場合を斜体+下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

※図表2-3①に示した職業名称を省略して示した。

こうした新卒就職者と既卒就職者の職種の違いは、入職後の離職傾向にどのような影響を及ぼすのだろうか。図表2-3②へ、新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて離職者と勤続者の「初めての正社員勤務先」における職種を比較できるように示した。離職者と勤続者の間で5ポイント以上の差がみられた職種を、性・学歴・入職時の経歴ごとにみていこう。

まずは男性について検討する。高校卒の男性では、新卒就職者と既卒就職者とで似た傾向が見られた。新卒・既卒ともに、その他の専門・技術職は勤続者、サービス職は離職者の方がより高い割合を占める。ただ、若干異なる点もある。建設・採掘は既卒就職者では離職者も勤続者も同程度の割合を占めるが、新卒就職者では離職者の方が5.9ポイント高い割合を示した。生産工程は、新卒就職者では離職者も勤続者も同程度の割合を占めるが、既卒就職者では離職者に占める割合が勤続者のそれより6.5ポイント高い。これは、同じ生産工程の仕事でも、既卒就職者の方が小規模の企業に就職する傾向が反映されていると思われる。

専門・短大・高専卒の男性は、高校卒の男性とよく似た傾向を示し、新卒・既卒ともにその他の専門・技術職は勤続者、サービス職は離職者の方がより高い割合を占める。また建設・採掘は新卒就職者でのみ離職者の割合がより高い傾向がみられた。高校卒と異なるのは、既卒就職者において、医療・福祉分野の技術職と運搬・清掃・包装等は勤続者、営業職は離職者に占める割合がより高いことである。

大学・大学院卒の男性は、他の学歴の男性とは異なる傾向を示した。新卒・既卒ともに事務職の割合は勤続者でより高く、営業職の割合は離職者でより高い。また、新卒就職者では医療・福祉、教育、その他の3種類の専門・技術職の割合が、すべて離職者と勤続者とあまり変わらない。対照的に既卒就職者では、医療・福祉分野や教育分野の専門・技術職は勤続者、その他の技術職は離職者に占める割合がより高い。

次に女性について検討する。高校卒の女性は、新卒・既卒ともに事務職と生産工程は勤続者、接客・給仕のサービス職は離職者に占める割合がより高い。さらに、新卒就職者では販売職は離職者に占める割合が高く、既卒就職者では営業職は勤続者に、その他のサービス職は離職者に占める割合が高い。

専門・短大・高専卒の女性は、新卒・既卒ともにサービス職は離職者に占める割合がより高い。新卒就職者ではその他のサービス職が離職者に、事務職が勤続者に占める割合がより高い。既卒就職者では、販売職が離職者に、その他の専門・技術職が勤続者に占める割合がより高い。

大学・大学院卒の女性は、新卒・既卒ともに、営業職とサービス職は離職者に、専門・技術職は勤続者に占める割合がより高い。新卒就職者では、販売職は離職者に、事務職は勤続者に占める割合がより高い。既卒就職者では、その他のサービス職は離職者に、医療・福祉分野の専門・技術職は勤続者に占める割合がより高い。

図表2-3①と②の結果を合わせて考察したい。全体に新卒就職者の方が就く傾向のある職種は、勤続者に占める割合が高い職種と一致する。これに対して、既卒就職者の方が就く

傾向のある職種は、離職者に占める割合が高い職種と一致する。具体的には、新卒者は専門・技術職に就く傾向が高く、かつ専門・技術職に就いた人は勤続者に占める割合が高い。これに対して既卒就職者は、専門・技術職に就く機会が少ない分、高校卒および専門・短大・高専卒の男女は営業・販売職、高校卒の男性と大学・大学院卒の女性はサービス職に就く割合が増大し、かつこれらの職種は離職傾向と関連する。例外的に大学・大学院卒の男女では、新卒就職者の方が営業職に就く人が多く、かつ離職者は営業職が多い傾向がみられた。

すなわち、新卒時に円滑に正社員になれなかった若者には、職場定着の状況が良好な職種に就く機会が大幅に不足しているといえる。

第2節 社風・企業体質

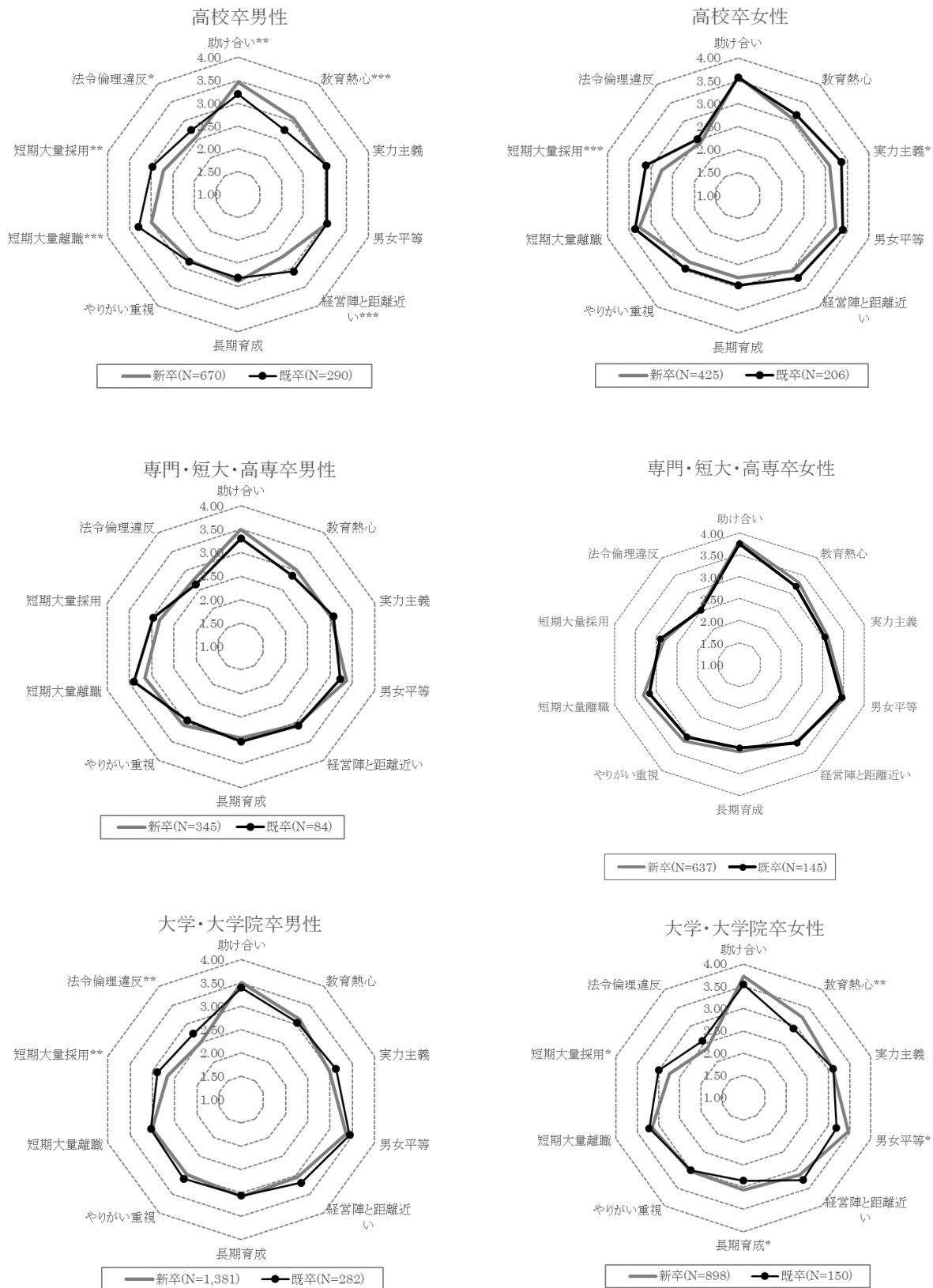
ここまで、企業規模、産業、職種といった勤務先の基本的属性と離職傾向との関連を見てきた。本節ではさらに、勤務先の質的な特徴と離職傾向との関連をみる。本調査では全ての回答者に「あなたの『初めての正社員勤務先』で送った職業生活全体を振り返ると、以下の事柄はどの程度あてはまりましたか」と尋ね、勤務先の社風や企業体質に関連する10の事柄について5件法で回答してもらった⁴。その回答を「あてはまる＝5点」「ややあてはまる＝4点」「どちらでもない＝3点」「ややあてはまらない＝2点」「あてはまらない＝1点」と得点化し、性・学歴・入職時の経歴ごとの平均点を算出した上で、新卒就職者と既卒就職者について対応のないグループ間の平均値の差の検定を行った。以下では、5%の水準で有意差がみられた事柄について図表2-4①を検討していこう。

まず、新卒就職者と既卒就職者の得点を性・学歴ごとに比較すると、専門・短大・高専卒については男女とも全ての事柄について新卒就職者と既卒就職者の得点に統計的に有意な差がみられなかった。そこで高校卒と大学・大学院卒についてのみ、新卒就職者と既卒就職者との間で平均値に有意な差がみられた事柄を性別に確認していこう。

まず高校卒について検討する。高校卒の男性では、新卒就職者の勤務先の方が「従業員同士がお互いに助け合って仕事をする（以下「助け合い）」」「『会社全体で、積極的に従業員を育てていこう』という雰囲気がある（以下「教育熱心）」」の得点が高く、既卒就職者の勤務先の方が「社長や役員と、一般従業員との距離が近い（以下「経営陣と距離が近い）」」「短期間に何人もの従業員が次々と辞めていく（以下「短期大量離職）」」「短期間に何人もの新しい従業員が採用される（以下「短期大量採用）」」「会社の業務の中で、法律や社会的倫理に反する行為が行われている（以下「法令倫理違反）」」の得点が高い。高校卒女性では新卒就職者の職場の方が高得点の事柄はなく、既卒就職者の職場の方が「実力があれば、年齢や勤続期間にかかわらず出世できる（以下「実力主義）」」「短期大量採用」の得点が高い。

⁴ 社風・企業体質の選定には、阿部（2007）、小林（2014）、JILPT（2010、2012、2016）などを参照した。

図表2-4① 「初めての正社員勤務先」の社風・企業体質（性・学歴・経歴別）



独立したサンプルの差の検定: *** < 0.001 ** < 0.01 * < 0.05

※図表2-4②に示した選択肢の文言を省略し、5%水準で有意な事柄に「*」を示した。

※「あてはまる」=5点「ややあてはまる」=4点「どちらでもない」=3点「ややあてはまらない」=2点「あてはまらない」=1点とした平均値。

次に大学・大学院卒についてみる。大学・大学院卒の男性では、新卒就職者の勤務先の方が高得点の事柄はなく、既卒就職者の職場の方が「短期大量採用」「法令倫理違反」の得点が高い。大学・大学院卒の女性では、新卒就職者の勤務先の方が「教育熱心」「男女の区別なく活躍できる（以下「男女平等）」『若いうちは失敗が多くても、将来的に会社の役にたてればいい』という雰囲気がある（以下「長期育成）」の得点が高く、既卒就職者の職場の方が「短期大量採用」の得点が高い。

なお『お金より自分の成長やお客様からの感謝にやりがいを求めるべきだ』という雰囲気がある（以下「やりがい重視）」については、全ての学歴において男女ともに、新卒就職者と既卒就職者の得点に有意な差はみられなかった。

図表 2-4② 「初めての正社員勤務先」の社風・企業体質（性・学歴・経歴・勤続別）

5点満点の平均値 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒								
	新卒就職者 離職者	勤続者	p	既卒就職者 勤続者	新卒就職者 離職者	勤続者	p	既卒就職者 勤続者	新卒就職者 離職者	勤続者	p	既卒就職者 勤続者	p				
従業員同士がお互いに助け合って仕事をする	3.18	< 3.64	***	3.03	< 3.39	**	3.22	< 3.69	***	3.09	3.45	3.16	< 3.64	***	2.85	< 3.62	***
「会社全体で、積極的に従業員を育てていこう」という雰囲気がある	2.76	< 3.25	***	2.55	< 2.94	**	2.69	< 3.24	***	2.82	2.90	2.78	< 3.25	***	2.57	< 3.23	***
実力があれば、年齢や勤続期間にかかわらず出世できる	2.87	< 3.14	**	2.95	3.14		2.99	3.05	3.12	3.06		2.95	3.00	2.98	3.19		
男女の区別なく活躍できる	2.83	< 3.19	***	3.07	3.03		3.40	3.35	3.03	3.35		3.08	< 3.47	***	3.12	< 3.57	**
社長や役員と、一般従業員との距離が近い	2.67	2.68		3.05	3.11		2.88	< 3.19	*	2.94	3.18	2.88	< 3.12	**	2.88	< 3.32	**
「若いうちは失敗が多くても、将来的に会社の役にたてればいい」という雰囲気がある	2.70	< 3.03	***	2.63	< 3.03	**	2.74	< 3.10	**	2.82	3.16	2.80	< 3.19	***	2.58	< 3.24	***
「お金より自分の成長やお客様からの感謝にやりがいを求めるべきだ」という雰囲気がある	2.61	< 2.89	**	2.71	2.94		3.03	3.11	2.79	3.04		2.76	< 3.07	***	2.64	< 3.28	***
短期間に何人もの従業員が次々と辞めていく	3.05	2.96		3.32	3.26		3.37	> 3.01	*	3.61	3.27	3.36	> 2.86	***	3.23	2.95	
短期間に何人もの新しい従業員が採用される	2.69	2.73		3.00	2.95		2.92	2.75	2.97	2.96		2.81	> 2.61	**	2.88	2.90	
会社の業務の中で、法律や社会的倫理に反する行為が行われている	2.64	2.51		2.85	2.62		2.93	> 2.60	*	2.73	2.59	2.71	> 2.42	***	2.81	2.72	
N	261	409		151	139		144	201	33	51		379	1,002	81	201		

女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒									
	新卒就職者 離職者	勤続者	p	既卒就職者 勤続者	新卒就職者 離職者	勤続者	p	既卒就職者 勤続者	新卒就職者 離職者	勤続者	p	既卒就職者 勤続者	p					
従業員同士がお互いに助け合って仕事をする	3.51	< 3.80	*	3.51	3.73		3.74	< 3.98	**	3.62	3.95	3.56	< 3.86	***	3.35	< 3.74	*	
「会社全体で、積極的に従業員を育てていこう」という雰囲気がある	3.01	3.12		3.02	< 3.50	*	3.22	< 3.51	**	2.95	< 3.54	**	3.04	< 3.40	***	2.55	< 3.30	***
実力があれば、年齢や勤続期間にかかわらず出世できる	3.10	3.10		3.30	3.50		3.12	3.09	2.88	3.30		3.12	3.10	2.88	< 3.36	*		
男女の区別なく活躍できる	3.19	3.37		3.40	3.37		3.49	3.55	3.23	< 3.75	*	3.33	< 3.57	**	3.06	3.32		
社長や役員と、一般従業員との距離が近い	3.05	2.96		3.16	3.35		3.17	3.24	3.13	3.33		3.05	3.21	3.22	3.33			
「若いうちは失敗が多くても、将来的に会社の役にたてればいい」という雰囲気がある	2.79	2.81		2.79	< 3.35	**	2.89	< 3.24	***	2.77	3.10	2.92	< 3.19	***	2.61	< 3.11	**	
「お金より自分の成長やお客様からの感謝にやりがいを求めるべきだ」という雰囲気がある	2.83	2.74		2.94	3.02		3.14	3.18	3.02	3.07		2.98	3.06	2.78	< 3.25	*		
短期間に何人もの従業員が次々と辞めていく	3.31	3.16		3.40	3.25		3.40	> 3.09	**	3.23	3.10	3.50	> 2.87	***	3.55	> 2.88	**	
短期間に何人もの新しい従業員が採用される	2.77	2.74		3.14	3.08		2.85	2.72	2.95	2.85		2.91	> 2.62	***	3.13	2.85		
会社の業務の中で、法律や社会的倫理に反する行為が行われている	2.43	2.37		2.46	2.67		2.58	2.50	2.62	2.38		2.55	> 2.25	***	2.66	2.48		
N	303	122		146	60		436	201	84	61		396	502	77	73			

独立したサンプルの差の検定: ***<.001 **<.01 *<.05

※「あてはまる=5点」「ややあてはまる=4点」「どちらでもない=3点」「ややあてはまらない=2点」「あてはまらない=1点」とした平均値

※検定結果が95%水準で有意かつ離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門学校中退、短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

このような勤務先の社風・企業体質の違いは、新卒就職者と既卒就職者の入職後の離職傾向とどのような関係があるのだろうか。図表2-4②に、勤務先の社風や企業体質に関する設問への回答を得点化した上で算出した、離職者と勤続者の平均点を、性・学歴・入職時の経歴別に示した。さらに離職者と勤続者の得点に統計的に有意な差があるといえるか独立したサンプルの差の検定を行った。離職者の方が有意に高得点である場合を網掛、勤続者の方が有意に高得点である場合を斜体と下線で示している。

まずは男性の結果を検討しよう。高校卒の男性は、新卒・既卒ともに、勤続者の職場の方が「助け合い」「教育熱心」「長期育成」の得点が高く、新卒就職者でのみ勤続者の職場の方が「実力主義」「男女平等」「やりがい重視」の得点が高い。

専門・短大・高専卒の男性では、既卒就職者には離職者と勤続者との間で有意な得点差がみられる事柄はまったくない。新卒就職者では、勤続者の方が「助け合い」「教育熱心」「経営陣と距離近い」「長期育成」の得点が高く、離職者の方が「短期大量離職」「法令倫理違反」の得点が高い。

大学・大学院卒の男性では、新卒・既卒ともに勤続者の方が「助け合い」「教育熱心」「男女平等」「経営陣と距離近い」「長期育成」「やりがい重視」の得点が高く、新卒就職者でのみ離職者の方が「短期大量離職」「短期大量採用」「法令倫理違反」の得点が高い。

次に女性の結果を見ていこう。高校卒の女性では、あまり多くの事柄について傾向がみられなかった。新卒就職者では勤続者の方が「助け合い」の得点が高く、既卒就職者では勤続者の方が「教育熱心」「長期育成」の得点が高い。

専門・短大・高専卒の女性では、新卒・既卒ともに勤続者の方が「教育熱心」の得点が高い。さらに新卒就職者では勤続者の方が「助け合い」「長期育成」の得点が高く、既卒就職者では勤続者の方が「男女平等」の得点が高い。一方、離職者の方が高い得点を示した事柄は、新卒就職者における「短期大量離職」である。

大学・大学院卒の女性では、新卒・既卒ともに勤続者の方が「助け合い」「教育熱心」「長期育成」の得点が高く、離職者の方が「短期大量離職」の得点が高い。さらに新卒就職者では、勤続者の方が「男女平等」の得点が高く、離職者の方が「短期大量採用」「法令倫理違反」の得点が高い。そして既卒就職者では、勤続者の方が「実力主義」「やりがい重視」の得点が高い。

以上の結果をまとめると、男女ともあらゆる学歴で、新卒・既卒問わず勤続者の勤務先には、「助け合い」「教育熱心」「長期育成」などの「若者を長い目で育成する方針」をとる傾向がみられる。対照的に離職者の勤務先には、従業員の出入りが激しい人材流動性の高い傾向や、法律や社会的倫理に反する行為が行われている傾向がみられ、この傾向は特に新卒就職者で明確である。以上の社風と離職傾向との関係は2016年調査の結果とも一致するが、2016年調査では女性において離職者の方が高得点であった「実力主義」が、本調査では大学・大学院卒女性の新卒就職者では勤続傾向と関連がみられた。2016年の大学・大学院卒の回答者

は25～33歳に限定されていたのに対して、本調査の大学・大学院卒の回答者はより若い20～24歳も含まれている。大学・大学院卒女性は卒業間もない頃には実力主義の会社で働くことに意欲があるが、年齢を重ねるごとに実力主義の会社で働き続けることが困難になっていくのかもしれない。

また全体に見て、既卒就職者より新卒就職者、女性より男性、非大卒より大学・大学院卒の方が、「初めての正社員勤務先」の社風・企業体質と勤続／離職傾向との関連が強い。既卒就職者の中には卒業後に正社員以外の形で就業経験を積んだ人も含まれる。一方、新卒就職者にとって「初めての正社員勤務先」は文字通り初めて本格的に働く職場である。また大学・大学院卒は既卒就職者の卒業から入職までの期間が他の学歴より短いため、既卒就職者であっても社会経験が少ない。そのため、新卒就職者や大学・大学院卒の若者は「初めての正社員勤務先」の社風や企業体質により影響を受けやすいのであろう。図表2-4①で見たように、高校卒や大学・大学院の既卒就職者の勤務先には、新卒就職者の離職傾向と関連する社風や企業体質がある傾向がみられるが、そのことが必ずしも既卒就職者の離職を促すとは限らないのは、彼・彼女らが入職前に正社員以外の形で働いてきた経験が、「初めての正社員勤務先」への適応を進めるのに役立っているからなのかもしれない。

<参考文献>

阿部真大（2007）『働きすぎる若者たち』日本放送出版協会。

小林徹・梅崎修・佐藤一磨・田澤実（2014）「大卒者の早期離職とその後の転職先——産業・企業規模間の違いに関する雇用システムからの考察」『大原社会問題研究所雑誌』671・672号合併号，pp.50-70。

JILPT（2010）『中小サービス業における人材育成・能力開発—企業・従業員アンケート調査』JILPT 調査シリーズ No.74。

JILPT（2012）『中小製造業（機械・金属関連産業）における人材育成・能力開発—アンケート・インタビュー調査結果』JILPT 調査シリーズ No.99。

JILPT（2016）『若年者の初期キャリアと企業による雇用管理の現状：「平成25年若年者雇用実態調査」より』JILPT 資料シリーズ No.171。

第3章 「初めての正社員勤務先」による雇用管理の状況

本章では、若者が初めて正社員として勤務した会社等（以下「初めての正社員勤務先」と略す）で経験した雇用管理と離職／勤続傾向との関係について検討する。分析対象者は全回答者 5,631 人（離職者 2,559 人、勤続者 3,072 人）である。第2章において、新卒就職者と既卒就職者とは、その勤務先の企業規模・産業や従事する職種・社風（企業体質）が異なることが明らかにされた。こうした企業の属性や特徴の違いは、入職後の雇用管理のあり方とも関連している可能性がある。そこで本章では、「初めての正社員勤務先」における雇用管理、すなわち労働条件や教育訓練、職場コミュニケーション、職場トラブルなどの経験が、性・学歴、入職時の経歴（新卒時の就職の可否）によってどう異なるのか、それらの違いは新卒就職者・既卒就職者の離職／勤続傾向にどのように影響しているのか検討する。

第1節 労働条件

1. 給与の金額

本節では、労働条件として、給与と労働時間、労働時間制度、労働時間・空間、職務内容の限定性について検討する。まずは「初めての正社員勤務先」で初めて受け取った給与（以下「初任給」）¹についてみていこう。図表3-1に、調査票上に示した初任給の金額区分の中央値を各区分の値に置き換えて算出した平均値を性・学歴別に示した。さらに離職者と勤続者、および新卒就職者と既卒就職者との間で平均値に統計的に有意な差があるといえるのか、独立したサンプル間の差の検定を行った。

離職者と勤続者とを比較した結果をみると、2016年調査では男女とも全学歴で有意差が見られなかったのに対し、本調査では高校卒の女性のみ離職者の方が初任給の額が高い傾向がみられた。一方、専門・短大・高専卒や大学・大学院卒の男女では、離職者と勤続者の間で初任給の平均額に全く差がみられない。

次に、新卒就職者と既卒就職者とを比較した結果を見ると、高校卒においては男女とも、新卒就職者より既卒就職者の方が高額である。高校の既卒就職者には男女とも卒業から3年を超えてから「初めての正社員勤務先」に入職した人が他の学歴より格段に多く含まれる（図表1-3①）。高校の既卒就職者に対しては、雇用主が、年齢や正社員以外の形で長く働いてきた経験を考慮して初任給を定めたため、新卒就職者より高額になったのかもしれない。一方、専門・短大・高専卒や大学・大学院卒の男女では、新卒就職者と既卒就職者の間で初任給の平均額に高校卒ほどには差がみられない。専門・短大・高専卒や大学・大学院の既卒就

¹ 年俸制の場合は賞与を除く1ヶ月あたりの税込額。千円以下切り上げ

職者は、卒業から3年以内の、法制上「新卒扱い」するべきとされる時期に正社員となった人が大半を占めており、そのため新卒就職者と同等の初任給が支払われていると推察される。

図表3-1 「初めての正社員勤務先」における月額初任給

単位：% 太字は実数

A) 離職者と勤続者の初任給(性・学歴別)

	高校卒		専門・短大・高専卒		大学・大学院卒		全学歴	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
男性	16.1	15.9	17.1	17.1	19.4	19.6	17.7 <	18.3
N	419	558	188	260	471	1,218	1,078	2,036
p								**
女性	14.4 >	13.4	16.2	16.3	18.6	18.6	16.4 <	17.1
N	455	185	545	270	481	581	1,481	1,036
p		***						***

B) 新卒就職者と既卒就職者の初任給(性・学歴別)

	高校卒		専門・短大・高専卒		大学・大学院卒		全学歴	
	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
男性	15.1 <	18.3	17.3	16.6	19.6	19.4	18.0 <	18.5
N	670	290	345	84	1,381	282	2,396	656
p		***						*
女性	13.5 <	15.4	16.4	16.0	18.6	18.1	16.8 <	16.4
N	425	206	637	145	898	150	1,960	501
p		***						*

独立したサンプルの差の検定: *** p<.001 ** p<.01 * p<.05

※「10万円未満」の中央値は9万円、「35万円以上」の中央値は35万円として計算した

※離職者の方が有意に高い場合を網掛、勤続者の方が有意に高い場合を斜体+下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

高校卒については初任給の段階では既卒就職者の方が高額な給与を受け取っていた。それでは、入職後の給与額の伸び具合は、新卒就職者と既卒就職者とでどう異なるのだろうか。また、給与の伸び具合の違いは離職傾向にどのような影響を及ぼすのだろうか。

本調査はパネル調査ではないので、厳密には給与額の伸び具合を調べることができない。次善の策として本報告では、勤続期間の長短と給与額（勤続者は調査時点、離職者は離職直前の金額）との関連を、新卒就職者と既卒就職者、離職者と勤続者との間で比較する。具体的には、勤続10年以内の回答者を勤続期間によって4つにグループ分けし、初任給と同様の手法で各グループの月給の平均額を算出した。その結果を性・学歴別に図表3-2①に示した上で、グラフを作成した²（図表3-2②）。

² N<11の場合、表示を省略した。

図表3-2① 「初めての正社員勤務先」における離職直前／調査時点の月給

(勤続10年以内の人について、性・学歴・経歴・勤続別) 単位：% 太字は実数

A) 離職者と勤続者

性別	高校卒					専門・短大・高専卒					大学・大学院卒				
	離職者	N	勤続者	N	p	離職者	N	勤続者	N	p	離職者	N	勤続者	N	p
男性															
1年以内	15.4	115	—	7	—	16.8	49	—	10	—	19.1	115	<u>21.0</u>	102	**
1年超～3年	18.0	144	<u>20.5</u>	36	*	18.6	63	18.1	37		22.3	186	22.7	232	
3年超～5年	19.2	82	20.4	56		19.4	44	21.6	42		23.7	92	24.3	212	
5年超～10年	21.3	64	<u>22.2</u>	171	***	23.5	31	23.1	107		26.6	76	<u>28.1</u>	552	*
女性															
1年以内	14.2	111	15.9	14		16.1	95	17.1	16		18.7	96	19.4	65	
1年超～3年	15.7	164	17.2	26		17.0	227	17.1	72		20.1	190	20.4	165	
3年超～5年	16.6	98	15.9	30		18.9	114	18.7	44		21.1	123	21.5	121	
5年超～10年	17.7	70	17.3	67		18.7	102	<u>20.0</u>	96	*	23.7	71	23.3	192	

B) 新卒就職者と既卒就職者

性別	高校卒					専門・短大・高専卒					大学・大学院卒				
	新卒	N	既卒	N	p	新卒	N	既卒	N	p	新卒	N	既卒	N	p
男性															
1年以内	14.7	77	<u>17.4</u>	44	*	16.7	41	16.6	13		20.1	158	19.8	57	
1年超～3年	17.4	94	<u>19.9</u>	82	**	18.6	70	18.1	27		22.1	327	<u>23.9</u>	81	*
3年超～5年	18.9	82	<u>21.2</u>	54	*	21.1	60	19.3	22		24.5	250	22.4	52	**
5年超～10年	21.0	162	<u>24.3</u>	71	**	23.3	114	22.5	19		28.1	529	26.6	89	
女性															
1年以内	14.0	75	15.0	49		16.4	87	15.8	20		19.0	127	18.8	31	
1年超～3年	15.5	111	<u>16.7</u>	77	*	17.6	218	15.5	65	***	20.5	295	18.4	56	**
3年超～5年	15.8	86	<u>17.8</u>	40	*	19.3	123	17.1	28		21.4	202	20.6	37	
5年超～10年	17.5	104	17.9	31		19.6	165	18.1	28		23.4	237	22.9	24	

独立したサンプルの差の検定: *** p<.001 ** p<.01 * p<.05

※「10万円未満」の中央値は9万円、「35万円以上」の中央値は35万円として計算した

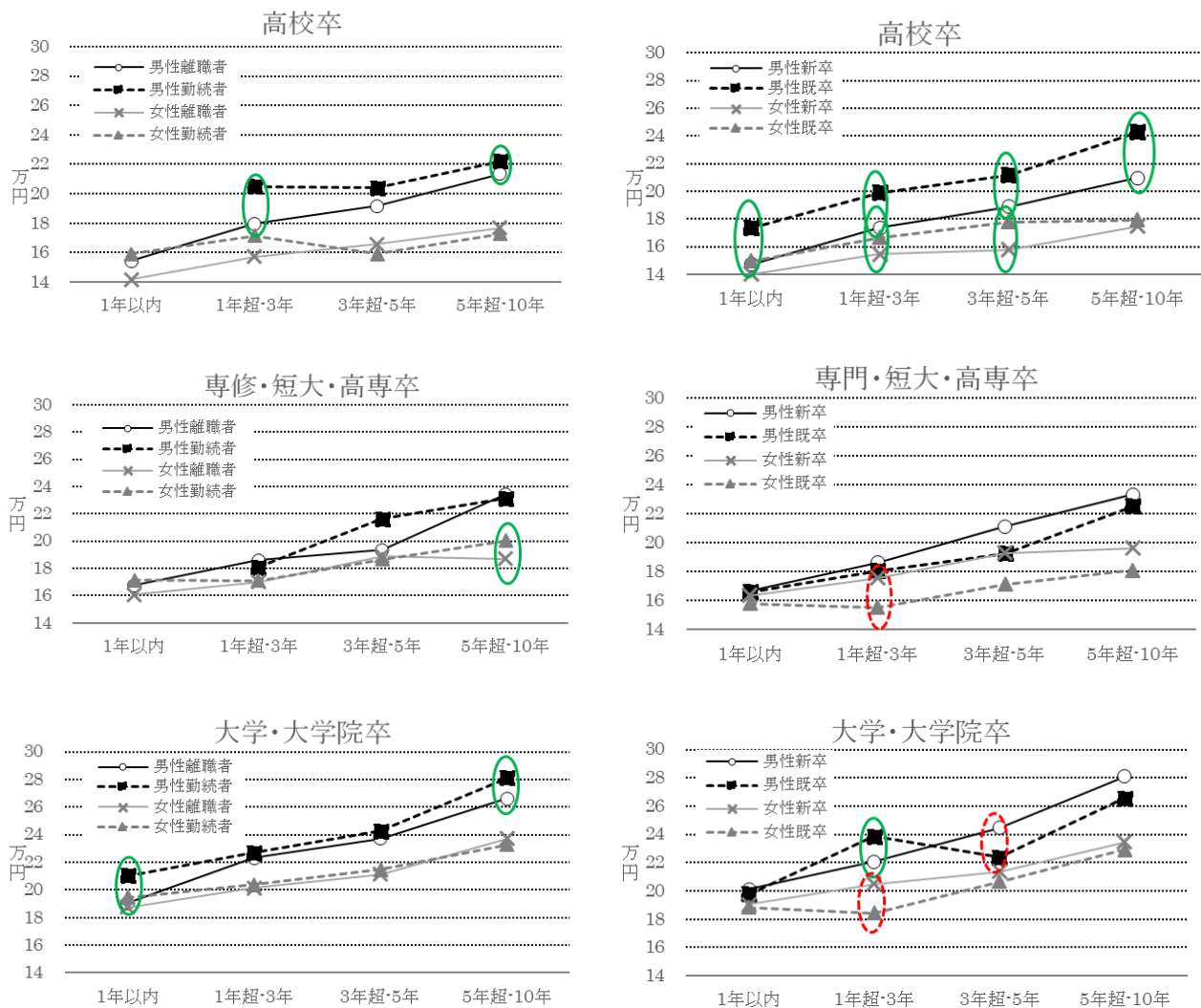
※離職者の方が有意に高い場合を網掛、勤続者の方が有意に高い場合を斜体+下線で示した

※高校卒には専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

はじめに、離職者と勤続者との間で給与の金額に差があるといえるのか検討しよう。勤続者の給与額が離職者より有意に高いのは、高校卒男性の1年超～3年以内と5年超～10年以内、大学・大学院卒男性の1年以内と5年超～10年以内、専門・短大・高専卒女性の5年超～10年以内であった。これらの若者たちにおいては、給与額の低さが離職傾向と関連がある可能性がある。

次に、新卒就職者と既卒就職者の間で給与の金額に差があるといえるのか検討しよう。高校卒は男女とも、既卒就職者の給与が高い傾向が、男性では全ての勤続期間グループで、女性では1年を超えて5年までにみられる。先述の通り、高校の既卒就職者は非正社員としての経験を比較的長く積んでから入職した人が多いため、同じ学歴の新卒就職者より初任給が高い。男性の給与額の上昇幅は新卒も既卒も同程度なので、スタート地点が高い既卒就職者の方がどの勤続期間段階でも高額となる。一方、女性はスタート地点の金額はほぼ同じで、勤続期間が1年を超えて5年以内までは既卒就職者の方が高額だが、5年を超えると既卒就職者の給与額の上昇がとまり、新卒就職者に追いつかれる。

図表3-2② 「初めての正社員勤務先」における離職直前／調査時点の月給
(勤続10年以内の人について、性・学歴・経歴別)



独立したサンプルの差の検定: *** p<.001 ** p<.01 * p<.05

※5%水準で有意差がある組み合わせを、新卒／勤続者の方が高額の場合は実線で、新卒／勤続者の方が高額な場合には点線で囲った。

※「10万円未満」の中央値は9万円、「35万円以上」の中央値は35万円として計算した

※N < 11の場合は表示を省略した

専門・短大・高専卒では、男性は給与額に有意差がみられない。女性は勤続期間が1年超～3年のグループでのみ、新卒就職者の給与額がより高額である傾向がみられる。

大学・大学院卒では、男性は勤続期間が1年超～3年のグループでは既卒就職者、3年超～10年のグループでは新卒就職者の給与額がより高額である。新卒就職者は給与額の上昇がスタート時点から継続的に少しずつみられるが、既卒就職者では1年以内から1年超3年以内にかけては上昇するが、3年超5年以内には下降し、5年超10年以内になると再度上昇する。正社員の給与が勤続に伴い下降することは珍しいので、これは同一の特徴をもつ集団内で給与額の下降・上昇が起きたと考えるよりも、勤続期間が1年超～3年、3年超～5年、

5年超～10年のそれぞれのグループを構成する人々が、それぞれ異なる特徴（例：勤務先の属性や職種など）を持っているためと考えるべきだろう。一方で、大学・大学院卒の女性は、1年超～3年目でのみ新卒就職者の給与額がより高い傾向がみられた。

以上より、入職時の経歴（新卒か否か）と給与額との関係は性別や学歴によって異なることが分かった。専門・短大・高専卒の女性や大学・大学院卒の男女では、新卒時に正社員に就職した人の方が入職から数年後の給与額が高くなり、さらに専門・短大・高専卒の女性と大学・大学院卒の男性では給与額が高いことは勤続傾向と関連する。対照的に高校卒の男女では、新卒で就職した人より、卒業後に時間が経過してから正社員となった人の方が高い給与を受け取り続ける傾向が、特に男性で見られる。その背景には、非正社員としての経験の豊富さや年齢の高さが給与額を押し上げた可能性もあるが、一方で給与額は、企業規模や産業、職種にも規定される。高校卒男性の「初めての正社員勤務先」の企業規模は、既卒就職者の方がむしろ小さいので、高校の既卒男性の給与が高いのは、勤務先の産業が製造業に偏らず多様であることや、営業・販売職が多いことと関連しているのかもしれない。

2. 離職直前／調査時点の労働時間

「初めての正社員勤務先」における労働時間³と離職／勤続傾向との関連を検討する。図表3-3①に、離職者については離職直前の、勤続者については調査時点の、週あたりの実労働時間の分布を示した。各労働時間段階を占める割合に離職者と勤続者との間で5ポイント以上の差がみられた場合、離職者の方が高ければ実線、勤続者の方が高ければ点線で囲った。

男女とも、また離職者・勤続者ともに、ピークは法定労働時間をやや超える40時間～45時間未満にある。しかし全体の分布をみると、明らかに離職者の労働時間は勤続者と比べて長い方に偏っている。以上は2016年調査と一致する結果である。さらに、「過労死等の防止のための対策に関する大綱⁴（平成30年7月24日改定）」において5%以下に抑えることが目標とされた、週に60時間以上働いていた人の割合を算出すると、男性は勤続者が11.1%、離職者が24.4%、女性は勤続者が6.9%、離職者が16.8%と、離職者の方が二倍以上にのぼる。ただし2016年調査と比べると、離職者における60時間以上働いていた人の割合は、特に男性で大幅に減少している⁵。一方で、極端に労働時間が長い80時間以上働いていた人の割合は、男性の勤続者で2.6%、離職者で9.3%と2016年調査より増加した⁶。

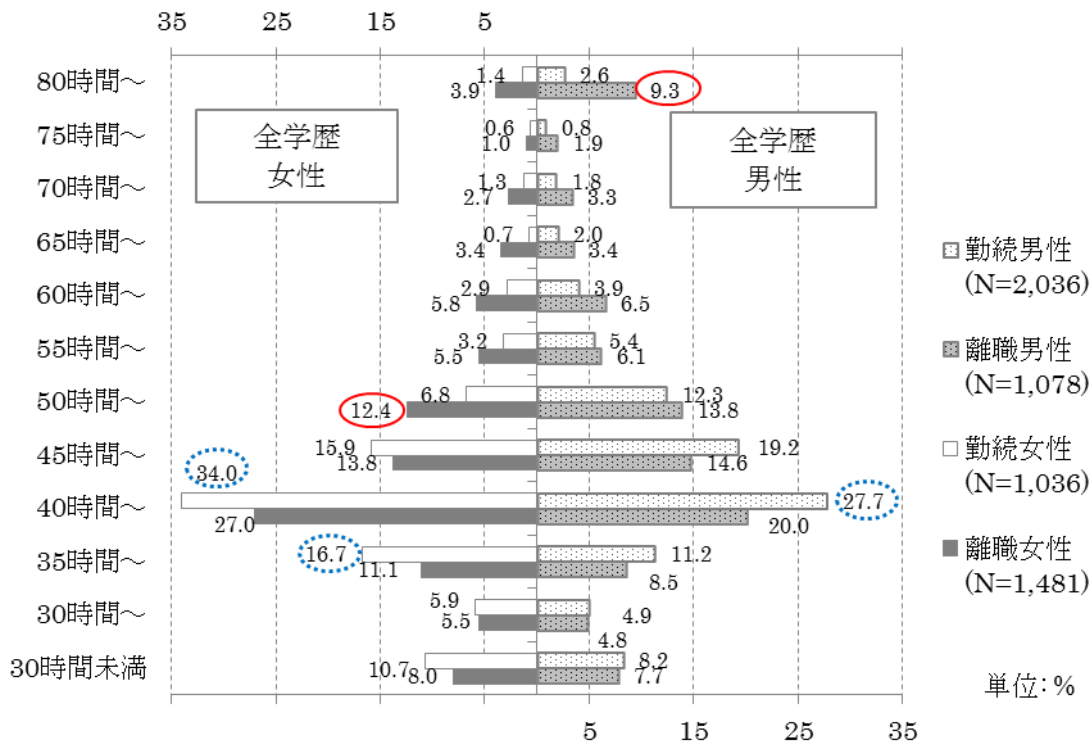
³ 1週間あたりの平均的な労働時間。休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。30分単位切り上げ

⁴ 平成30年7月24日閣議決定（同日の厚生労働省報道資料）。

⁵ 2016年調査では、週60時間以上働いていた人の割合は、男性は勤続者が12.9%、離職者が30.3%、女性は勤続者が5.9%、離職者が19.3%であった。

⁶ 2016年調査では、週80時間以上働いていた人の割合は、男性は勤続者が2.3%、離職者が8.1%、女性は勤続者が1.4%、離職者が3.1%であった。

図表 3-3① 「初めての正社員勤務先」における週あたり実労働時間の分布（性、勤続別）



※離職者は離職直前、勤続者は調査時点の、平均的な1週間あたりの実労働時間

次に、新卒就職者と既卒就職者の週あたり実労働時間を比較しよう。図表 3-3②へ、調査票上に示した労働時間区分の中央値を各区分の値に置き換えて算出した平均値を、性・学歴・入職時の経歴別に示した。新卒就職者と既卒就職者との間で平均値に統計的に有意な差があるといえるのか、独立したサンプル間の差の検定を行った。その結果、高校卒の男性において、既卒就職者は新卒就職者より長時間働いており、かつ高校既卒男性の平均的な週あたり実労働時間（49.2 時間）は、女性や他の学歴の男性、高校の新卒男性と比べて最も長い。一方、女性は専門・短大・高専卒において、新卒就職者は既卒就職者より長時間働いており、その平均的な週あたり実労働時間は 46.7 時間である。

このような労働時間の長さの違いは、新卒就職者と既卒就職者の離職傾向にどのような影響を及ぼしているのだろうか。同様の手法で性・学歴・入職時の経歴・離職の有無ごとに週あたり実労働時間の平均値を算出した（図表 3-3③）。全学歴の平均値を比べると、離職者（男性 50.5 時間、女性 47.2 時間）は勤続者（男性 45.9 時間、女性 42.8 時間）より約 5 時間長い。

図表 3-3② 「初めての正社員勤務先」における週あたり実労働時間の平均値
(性、学歴、経歴別) 単位：% 太字は実数

	高校		専門・短大・高専		大学・大学院		全学歴	
	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
男性	46.2	49.2	47.5	45.8	47.6	48.3	47.2	48.4
N	670	290	345	84	1,381	282	2,396	656
p	**						*	
女性	44.3	43.9	46.7	42.7	45.9	44.4	45.8	43.7
N	425	206	637	145	898	150	1,960	501
p			***				***	

独立したサンプルの差の検定: *** p<.001 ** p<.01 * p<.05

※5%水準で有意かつ新卒が長い場合を網掛、既卒が長い場合を斜体と下線で示した

※「30時間未満」の中央値は27時間、「80時間以上」の中央値は82時間として計算した

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

図表 3-3③ 「初めての正社員勤務先」における週あたり実労働時間の平均値
(性、学歴、経歴、勤続別) 単位：% 太字は実数

	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職	勤続	離職	勤続	離職	勤続	離職	勤続	離職	勤続	離職	勤続
男性	48.8	44.5	50.7	47.7	51.5	44.6	50.2	42.9	51.4	46.2	50.4	47.4
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
p	***				***		*		***			
女性	45.8	40.6	44.1	43.5	48.8	42.1	42.9	42.4	48.7	43.7	46.2	42.5
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73
p	***				***				***			

独立したサンプルの差の検定: *** p<.001 ** p<.01 * p<.05

※検定結果が5%水準で有意かつ離職者の方が長い場合を網掛、勤続者の方が長い場合を斜体と下線で示した

※「30時間未満」の中央値は27時間、「80時間以上」の中央値は82時間として計算した

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

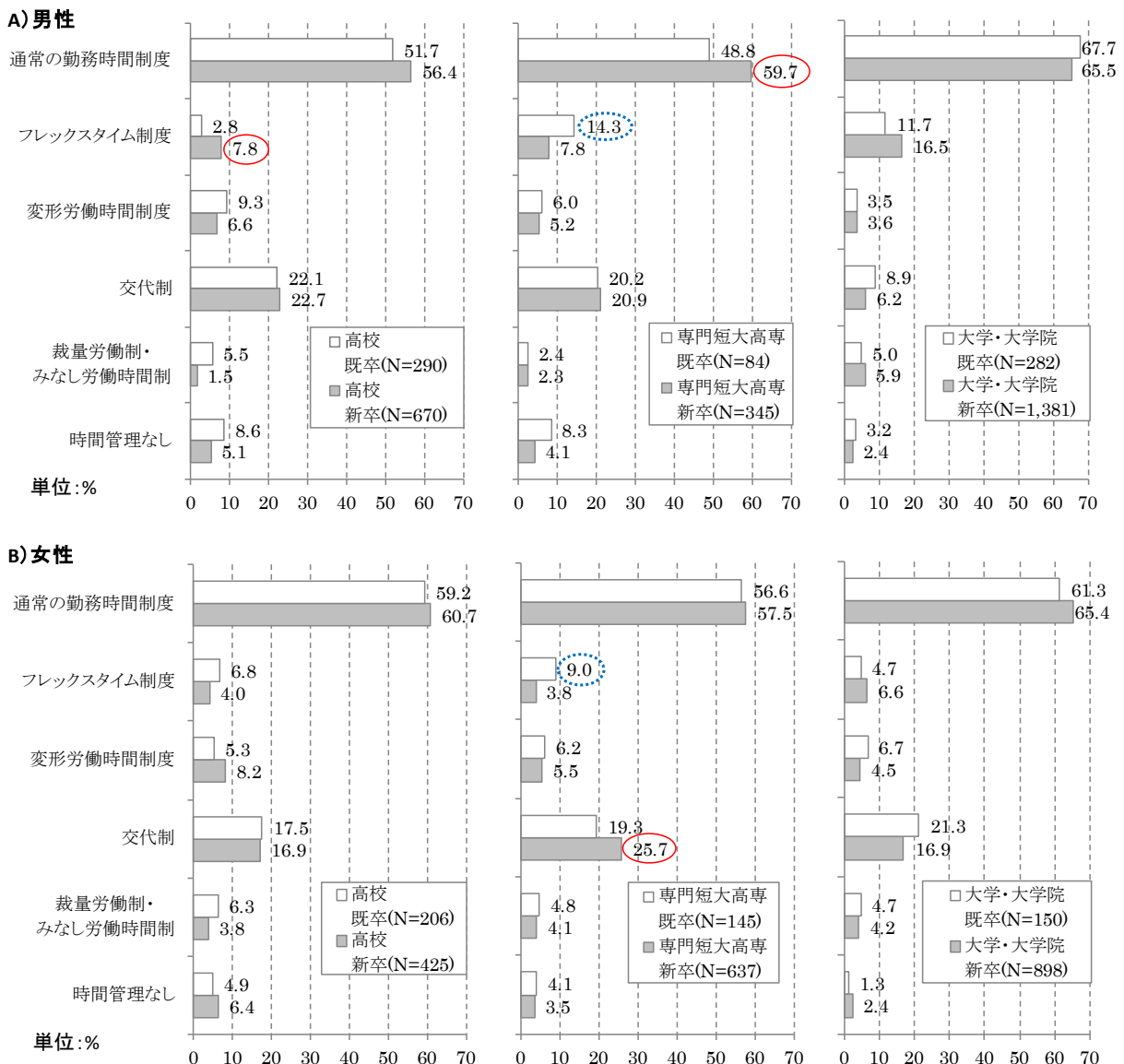
さらに離職者と勤続者との間で統計的に有意な差があるといえるのか、独立したサンプル間の差の検定を行った。男性は、高校の既卒就職者を除く全ての学歴と経歴において有意差があり、離職者の労働時間は勤続者より大幅に長く、その平均はいずれも50時間を超える。週あたりの労働時間が50時間を超えることは、労働者のメンタルヘルスを顕著に悪化させる恐れがある(黒田 2017)。

女性は、新卒就職者はすべての学歴において離職者の方が長時間働いている。特に、専門・短大・高専の新卒女性は離職者と勤続者の労働時間の差が6.7時間と大きい。専門・短大・高専の新卒女性の圧倒的多数が医療・福祉産業や教育・学習支援業で専門・技術職として働いていることから、幼稚園教諭、保育士、看護師、介護福祉士といった職業の労働環境の過酷さが伺い知れる。一方、女性の既卒就職者はいずれの学歴も離職者と勤続者の労働時間に有意差がない。また同じ女性離職者の間でも、既卒就職者の労働時間は新卒就職者より短い。長時間労働による離職は、女性の場合は新卒就職者に発生しやすいようだ。

3. 労働時間制度

本調査では2016年調査にはなかった新しい質問項目として、「初めての正社員勤務先」において適用されていた労働時間制度を単一回答で尋ねている（離職者は離職直前、勤続者は調査時点について回答）。労働時間管理のあり方は、新卒就職者と既卒就職者とでどのように異なるのだろうか。また両者の相違は離職傾向にどのような影響を及ぼしているのだろうか。図表3-4①へ、各労働時間制度を適用されていた人の割合を新卒就職者と既卒就職者とで比較できるように示した。両者の割合に5ポイント以上の差があり、かつ新卒就職者の方が大きい場合は実線で、既卒就職者の方が大きい場合は点線で囲っている。

図表3-4① 「初めての正社員勤務先」で適用された労働時間制度（性、学歴、経歴別）



はじめに全体の傾向をみると、男女とも全ての学歴・経歴において、最も多くの人に適用されていた制度は「通常の勤務時間制度」であった。次に適用されていた人の割合が高い制度は、大学・大学院卒の男性ではフレックスタイム制度、すべての女性と、高校および専門・短大・高専卒の男性では「交代制」である。

次に、新卒就職者と既卒就職者との間で、被適用者の割合に5ポイント以上の差がある労働時間制度をみていこう。まず、高校卒の女性および大学・大学院卒の男女では5ポイント以上の差が見られた労働時間制度は皆無であり、これらの属性では新卒就職者と既卒就職者との間で労働時間制度の適用状況があまり変わらないといえる。男性において差異が見られた労働時間制度は、高校卒では新卒就職者、専門・短大・高専卒では既卒就職者の方が「フレックスタイム制度」の割合が高いこと、および専門・短大・高専卒では新卒就職者の方が「通常の労働時間制度」の割合が高いことである。女性において差異がみられた労働時間制度は、専門・短大・高専卒では新卒就職者の方が「交代制」の割合が高く、既卒就職者の方が「フレックスタイム制度」の割合が高いことである。

柔軟な労働時間制度は、個々人の事情にあった働き方を実現する手段としても有効だが、企業経営を効率化するための手段でもある。個人の属性と適用されていた労働時間制度との間にあまり関連がないというこの分析結果は、どのような労働時間制度を適用されるかは個人の選択より、雇用主の方針によって決定される傾向があることを反映しているのかもしれない。

それでは、「初めての正社員勤務先」で適用された労働時間制度の違いは、若者の離職傾向にどのような影響を及ぼしているのだろうか。図表3-4②へ、離職者と勤続者の被適用者の割合を比較できるように性・学歴・入職時の経歴ごとに示した。両者の間で5ポイント以上の差がある労働時間制度をみていこう。

まず男性について検討する。全ての学歴において、「フレックスタイム制度」は新卒の勤続者、「時間管理なし」は既卒の離職者に適用されていた傾向がある。また、専門・短大・高専の既卒就職者、大学・大学院の新卒就職者では離職者に「裁量労働制・みなし労働時間制」が適用されていた傾向がみられる。さらに高校の新卒就職者では勤続者の方が「交代制」を、離職者の方が「通常の勤務時間制度」を適用されていた傾向がみられ、高校の既卒就職者では勤続者の方が「変形労働時間制度」を適用されていた傾向がみられた。

次に女性について検討する。全ての学歴・経歴において、「通常の勤務時間制度」は勤続者、「交代制」は離職者で適用されていた傾向がみられる。また新卒・既卒問わず高校卒女性では、「時間管理なし」は離職者に多い働き方であった。また高校の既卒女性では勤続者の方が「裁量労働制・みなし労働時間制」を適用されていた傾向もみられた。さらに「変形労働時間制度」は、専門・短大・高専の既卒就職者では離職者、大学・大学院の既卒就職者の女性では勤続者に適用されていた傾向がある。最後に大学・大学院の新卒就職者において「フレックスタイム制度」が勤続者に適用されていた傾向がみられた。

図表3-4② 「初めての正社員勤務先」で適用された労働時間制度（性、学歴、経歴、勤続別）

単位：％ 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	既卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	新卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	既卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	新卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	既卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者
通常の勤務時間制度 (以下のいずれにも該当しない場合)	60.2	54.0	51.0	52.5	61.8	58.2	48.5	49.0	62.0	66.8	65.4	68.7
フレックスタイム制度 (一定の時間内で、始業・終業時刻を自分で調整できる)	3.4	10.5	2.0	3.6	4.2	10.4	9.1	17.6	9.5	19.2	8.6	12.9
変形労働時間制度 (繁忙期など、一定の期間だけ勤務時間が異なる)	8.4	5.4	6.6	12.2	4.2	6.0	3.0	7.8	4.0	3.5	3.7	3.5
交代制(昼シフト、夜シフトなど)	18.8	25.2	21.9	22.3	20.1	21.4	21.2	19.6	9.5	4.9	7.4	9.5
裁量労働制・みなし労働時間制 (あらかじめ決められた時間を働いたと見なされる)	1.9	1.2	6.6	4.3	2.8	2.0	6.1		10.8	4.0	7.4	4.0
時間管理なし(裁量労働制・見なし労働時間制以外 で、管理・監督者などの場合)	7.3	3.7	11.9	5.0	6.9	2.0	12.1	5.9	4.2	1.7	7.4	1.5
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	既卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	新卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	既卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	新卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者	既卒就職者 離職者	既卒就職者 勤続者
通常の勤務時間制度 (以下のいずれにも該当しない場合)	56.8	70.5	55.5	68.3	53.9	65.2	50.0	65.6	60.4	69.3	55.8	67.1
フレックスタイム制度 (一定の時間内で、始業・終業時刻を自分で調整できる)	3.0	6.6	6.8	6.7	3.0	5.5	7.1	11.5	3.8	8.8	6.5	2.7
変形労働時間制度 (繁忙期など、一定の期間だけ勤務時間が異なる)	7.6	9.8	5.5	5.0	6.2	4.0	9.5	1.6	4.5	4.4	3.9	9.6
交代制(昼シフト、夜シフトなど)	19.8	9.8	20.5	10.0	28.2	20.4	25.0	11.5	21.7	13.1	26.0	16.4
裁量労働制・みなし労働時間制 (あらかじめ決められた時間を働いたと見なされる)	4.6	1.6	4.8	10.0	4.4	3.5	4.8	4.9	5.8	3.0	5.2	4.1
時間管理なし(裁量労働制・見なし労働時間制以外 で、管理・監督者などの場合)	8.3	1.6	6.8		4.4	1.5	3.6	4.9	3.8	1.4	2.6	
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※回答が無いセルは空白で示した

※5ポイント以上の差で離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

先述のとおり柔軟な労働時間制度は、個々人の事情にあった働き方を実現する手段としても有効だが、企業経営を効率化するための手段でもある。「フレックスタイム制度」があらゆる属性において勤続傾向と関連するのは、同制度の導入は労働者側が選択できる程度が大きいためだろう。反対に「時間管理なし」で働く人が離職者に多いのは、同労働時間制度はサービス業や小売業の店舗管理者に適用される場合が多く、それらの産業の離職傾向が高いことと関連するだろう。その他の労働時間制度は、性別によって異なる傾向がみられた。女性全般にとって離職傾向と関連する「交代制」は、高校の新卒男性では勤続者に多い働き方である。これは、「交代制」で働く女性は医療・福祉産業や教育・学習支援業のケア労働、小売店の販売職などが多いのに対して、高校新卒男性は工場生産工程に携わる場合が多いと思われる。労働時間制度は、企業規模や産業、職種と深い関連があるので、今後はそれらの企業属性の効果を統制した分析が必要である。

4. 労働時間・空間、職務の限定性

濱口（2013）によれば、日本企業の雇用管理は「人」を基準とする「メンバーシップ型」であり、正社員は、労働する時間や空間、職務内容などあらゆる雇用条件について使用者の命令に従う義務を負う。継続的な経済成長を見込むことができ、男性一人の稼ぎで家族全員を養うことができた時代には、このような「正社員」の働き方は、労働時間・空間、職務の「無」限定性と引き替えに雇用の安定や充実した福利厚生を得られる点で、労働者にとっても合理的なものであった。しかし、男性においても非正社員として働く人が増大し、共働き家庭が多数派を占める昨今では、こうした際限の無い働き方は、ワーク・ライフバランスの実現を妨げ、離職の一因になっているのではないだろうか。

図表3-5①に、「初めての正社員勤務先」における労働時間・空間（勤務地等）や職務が限定されていたか否かを複数回答で尋ね、「あてはまる」と答えた人の割合（回答率）を示した。新卒就職者と既卒就職者の回答率に5ポイント以上の差があり、かつ新卒就職者の方が高ければ実線、既卒就職者の方が高ければ点線で囲っている。男性はどの学歴も「いずれもあてはまらない」の回答率が最も高く、他の多くの項目において同じ学歴の女性より回答率が小さい。すなわち、男性は女性より、労働時間・空間が多様に変化し、また広範囲の職務を担う働き方をしている傾向がある。「いずれもあてはまらない」以外で回答率が高い事柄は、男女とも「職種が特定されている（以下「職種変更なし）」」「海外への転勤はないことになっている（以下「海外転勤なし）」」であり、女性はさらに「国内での転勤（転居を伴う勤務地の変更）はないことになっている（以下「国内転勤なし）」」や「夜勤はないことになっている（以下「夜勤なし）」」「宿泊を伴う出張はないことになっている（以下「宿泊伴う出張なし）」」の回答率も高い。以上を踏まえて、新卒就職者と既卒就職者との間で回答率に5ポイント以上の差がある事柄を検討していこう。

まず高校卒についてみると、男女とも既卒就職者の方が「職種変更なし」「海外転勤なし」の、新卒就職者の方が「いずれもあてはまらない」の回答率が高い。女性ではさらに、既卒就職者の方が「原則として管理職にはならないことになっている（以下「管理職にならない）」」「配置転換（所属部門の変更）はないことになっている（以下「配置転換なし）」」「国内転勤なし」「海外転勤なし」「宿泊伴う出張なし」「夜勤なし」の回答率が高い。

専門・短大・高専卒についてみると、男性は既卒就職者の方が「残業なし」「夜勤なし」の、新卒就職者の方が「職種変更なし」「国内転勤なし」「海外転勤なし」の回答率が高い。女性は、新卒就職者の方が「職種変更なし」「海外転勤なし」回答率が高い。

大学・大学院卒についてみると、男性は既卒就職者の方が「職種変更なし」「配置転換なし」「国内転勤なし」「海外転勤なし」の、新卒就職者の方が「いずれもあてはまらない」回答率が高い。女性は既卒就職者の方が「宿泊伴う出張なし」の、新卒就職者の方が「土曜・日曜・祝日は勤務しないことになっている（以下「土日祝日は勤務なし）」」の回答率が高い。

図表3-5① 「初めての正社員勤務先」での労働時間・空間、職務の限定性
(MA, 性・学歴、経歴別)



高校卒の男女と大学・大学院卒の男性では、新卒就職者は広い職務を負い、既卒就職者は職種や勤務地が限定された働き方をしている傾向がみられた。反対に、専門・短大・高専卒の男性では、新卒就職者の方が職種や勤務地が限定されている。大学・大学院卒と専門・短大・高専卒の女性は新卒・既卒間の違いが小さい。

図表 3-5② 「初めての正社員勤務先」での労働時間・空間、職務の限定性
(MA, 性・学歴・経歴・勤続別)

単位：％ 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
原則として管理職にはならないことになっている	9.6	12.7	11.9	10.8	9.7	10.4	12.1	11.8	6.3	6.7	7.4	9.5
職種が特定されている(職種が変わることはない)	21.8	23.2	31.8	33.1	29.2	35.3	36.4	11.8	18.7	20.9	23.5	33.3
配置転換(所属部門の変更)はないことになっている	10.3	7.1	10.6	8.6	11.8	10.0	18.2	5.9	7.4	6.9	9.9	12.9
国内での転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	16.1	16.4	19.9	17.3	19.4	21.9	12.1	9.8	14.5	12.7	13.6	22.4
海外への転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	18.8	19.3	24.5	28.8	23.6	28.9	18.2	21.6	17.9	18.0	12.3	27.9
残業はしないことになっている	6.5	2.2	7.3	9.4	4.2	2.0	12.1	5.9	4.7	4.5	16.0	3.5
土曜・日曜・祝日は勤務しないことになっている	5.4	8.1	8.6	5.8	6.9	6.0	15.2	7.8	16.6	22.6	16.0	15.9
宿泊を伴う出張はないことになっている	10.0	3.7	13.2	7.9	9.7	6.5	15.2	9.8	6.3	4.1	6.2	7.0
夜勤はないことになっている	14.9	11.5	15.2	18.0	16.7	12.9	27.3	19.6	20.6	21.7	17.3	17.4
いずれもあてはまらない	49.4	46.5	41.1	29.5	36.1	32.8	30.3	43.1	44.9	37.8	35.8	32.3
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
原則として管理職にはならないことになっている	8.6	18.0	16.4	16.7	11.0	8.5	11.9	9.8	9.8	9.0	16.9	8.2
職種が特定されている(職種が変わることはない)	25.4	30.3	42.5	36.7	51.6	44.8	42.9	44.3	35.9	35.5	46.8	27.4
配置転換(所属部門の変更)はないことになっている	7.6	10.7	20.5	10.0	13.8	13.4	17.9	13.1	10.6	8.0	13.0	12.3
国内での転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	21.5	26.2	32.9	30.0	30.5	29.9	22.6	29.5	23.7	32.1	33.8	27.4
海外への転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	28.4	41.0	43.8	45.0	37.6	41.3	29.8	39.3	36.9	36.7	45.5	26.0
残業はしないことになっている	5.9	4.9	6.2	11.7	4.6	4.0	10.7	6.6	3.5	6.8	2.6	8.2
土曜・日曜・祝日は勤務しないことになっている	9.2	16.4	10.3	11.7	7.1	16.9	13.1	11.5	18.4	26.9	11.7	17.8
宿泊を伴う出張はないことになっている	17.2	23.0	27.4	21.7	22.2	21.4	23.8	16.4	14.9	10.6	27.3	11.0
夜勤はないことになっている	26.4	38.5	38.4	33.3	33.5	38.3	31.0	39.3	35.4	36.5	41.6	34.2
いずれもあてはまらない	35.6	25.4	22.6	20.0	23.6	19.9	20.2	21.3	24.5	21.7	22.1	32.9
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※離職者と勤続者の差が5ポイント以上でかつ離職者の方が高い場合を網掛、低い場合を斜体+下線で示した

※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

さらに新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて、労働時間・空間、職務の限定性と離職傾向との関連を検討しよう。図表 3-5②に、離職者と勤続者の回答率を性・学歴・入職時の経歴別に示した。離職者と勤続者との間で5ポイント以上の差がある事柄を見ていこう。

まず男性について検討する。高校卒の男性では新卒・既卒ともに離職者の方が「宿泊伴う出張なし」の回答率が高く、既卒就職者では離職者の方が「いずれもあてはまらない」の回答率が高い。

専門・短大・高専卒の男性は、新卒就職者では勤続者の方が「職種変更なし」「海外転勤なし」の回答率が高いのに対し、既卒就職者では離職者の方が「職種変更なし」「配置転換なし」「残業なし」「土日祝日は勤務なし」「宿泊伴う出張なし」「夜勤なし」など多くの事柄について回答率が高く、むしろ勤続者の方が「いずれもあてはまらない」の回答率が高い。

大学・大学院卒の男性は、新卒就職者では勤続者の方が「土日祝日は勤務なし」の、離職者の方が「いずれもあてはまらない」の回答率が高い。既卒就職者では勤続者の方が「職種変更なし」「国内転勤なし」「海外転勤なし」の、離職者の方が「残業なし」の回答率が高い。

次に女性について検討する。高校卒の女性は、新卒就職者では勤続者の方が多くの事柄（「管理職にならない」「海外転勤なし」「土日祝日は勤務なし」「宿泊伴う出張なし」「夜勤なし」）について回答率がより高く、離職者の方が「いずれもあてはまらない」の回答率が高い。反対に、既卒就職者では離職者の方が多くの事柄（「職種変更なし」「配置転換なし」「宿泊伴う出張なし」「夜勤なし」）について回答率がより高く、勤続者の回答率が5ポイント以上高いのは「残業なし」のみである。

専門・短大・高専卒の女性は、新卒就職者では離職者の方が「職種変更なし」の、勤続者の方が「土日祝日の勤務なし」の回答率が高い。既卒就職者では離職者の方が「宿泊伴う出張なし」の、勤続者の方が「国内転勤なし」「海外転勤なし」「夜勤なし」の回答率が高い。

大学・大学院卒の女性では、新卒就職者では勤続者の方が「国内転勤なし」「土日祝日の勤務なし」の回答率が高く、既卒就職者では離職者の方が「管理職にならない」「職種変更なし」「国内転勤なし」「海外転勤なし」「宿泊伴う出張なし」「夜勤なし」の、勤続者の方が「残業なし」「土日祝日は勤務なし」「いずれもあてはまらない」の回答率が高い。

以上を整理しよう。本調査で尋ねた、限定されている事柄は以下の3つに分類できる。第一に、職務の限定（「管理職にならない」「職種変更なし」「配置転換なし」）である。第二に、労働空間の限定（「国内転勤なし」「海外転勤なし」「宿泊伴う出張なし」）である、第三に、労働時間の限定（「残業なし」「土日祝日の勤務なし」「夜勤なし」）である。

このうち、職務の限定は、専門・短大・高専の既卒男性、高校および大学・大学院の既卒女性、専門・短大・高専の新卒女性の離職傾向を高める可能性が示唆された。第1章でみたように、既卒就職者は新卒就職者が離職しがちな産業や中小企業、志望度の低い会社等に入職する傾向があり、消去法で選んだ仕事の内容に変化がないことが離職の誘因となっているのだろう。専門・短大・高専の新卒女性については、人材不足が深刻な医療・福祉産業および教育・学習支援産業の専門・技術職に就いている人が多いことや、入職前に得た情報と実際の労働条件が異なる傾向がみられることから、理想と現実のギャップによる職種変更希望者が発生しやすいのかもしれない。

次に、労働空間の限定のうち、宿泊を伴う出張がないことは主に既卒就職者の離職傾向を高める可能性が示唆された。宿泊を伴う出張が発生する会社は事業が全国単位で行われる会社であると推察できることから、上記の分析結果は企業規模の勤続／離職傾向への影響力を

媒介していると考えられる。一方、国内外への転勤がないことは勤続傾向を高める可能性が示唆された。唯一、大学・大学院の既卒女性では、「国内転勤なし」「海外転勤なし」の割合は離職者でより高い。大学・大学院の既卒女性は同じ学歴の新卒女性より専門・技術職に就く人が少なくサービス職に就く人が多い。また「管理職にはならない」の回答率が離職者でより高い。これらを考え合わせると、大学・大学院の既卒女性は、高い教育を受けたにもかかわらず、同じ学歴の男性や新卒時に就職できた女性と同じように幅広い活躍ができないことに不満を抱き、離職する傾向があるのかもしれない。

最後に、労働時間の限定のうち、残業や土日祝日の出勤がないことは女性の勤続を促す一方で、男性既卒者の離職傾向を高める可能性が示唆された。残業や土日祝日の出勤は、ワーク・ライフバランスの実現を難しくする一方で、所得の増大をもたらす一面もある。男性が稼得に責任を負い、女性が家事育児に責任を負うという性別役割分業意識が強い人が一定数存在することを想定すると、残業や土日祝日の出勤がないことが女性の勤続と男性の離職とに同時に関連することは納得のいく結果である。一方で、夜勤がないことは離職傾向と勤続傾向の両方と関連していた。この分析結果は、夜勤そのものが離職や勤続を促すというよりも、夜勤が発生する様々な産業や職業（夜間営業のある小売・サービス業、医療・福祉、保安、機械の管理・保守など）の中に、離職者が多く発生しがちな産業・職業と、労働者が定着しやすい産業・職業があるためと考えるべきだろう。

第2節 入職後3ヶ月間の教育訓練・職場でのコミュニケーション

本節では、若者が「初めての正社員勤務先」に入職した後の3ヶ月間に経験した教育訓練や職場でのコミュニケーションのあり方が、新卒就職者と既卒就職者とでどのように異なるのか、また、そうした入職直後の経験の違いが若者の離職／勤続傾向にどのような影響をもたらすのか、検討を行う。

1. 入職から3ヶ月後までの教育訓練

はじめに、入職から3ヶ月後まで、どのような教育訓練を受けた／受けられなかったのか複数回答で尋ねた結果を見ていこう。図表3-6①へ各項目に「あてはまる」と答えた人の割合（以下「回答率」）を性・学歴・入職時の経歴別に示した。

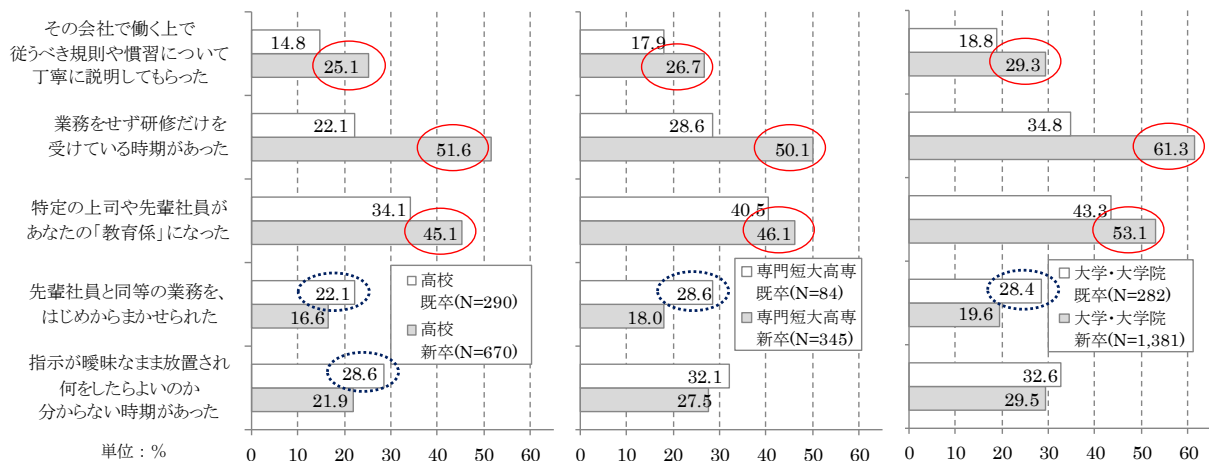
5つの項目のうち、「業務をせず研修だけを受けている時期があった（以下「Off-JTの実施）」の回答率は男性や高学歴層で高く、「その会社で働く上で従うべき規則や慣習について丁寧に説明してもらった（以下「規則・慣習の説明）」「先輩社員と同等の業務を、はじめからまかせられた（以下「即戦力扱い）」の回答率は女性で高い。入職直後の若年正社員に対する教育訓練は性別や学歴によって異なり、男性や高学歴層には業務の場を離れて教育訓練

のみに専念する Off-JT (Off the Job Training) の機会が用意されるが、女性や低学歴層に対しては業務を実際に行う中で指導する OJT (On the Job Training) が行われる傾向や、教育訓練そのものがあまり行われな傾向がみられる。これは女性や低学歴層の「初めての正社員勤務先」が中小企業に偏ることや、彼・彼女らが担当する業務が比較的難易度が低く、補助的な内容であるためと考えられ、2016年調査の結果とも一致する。

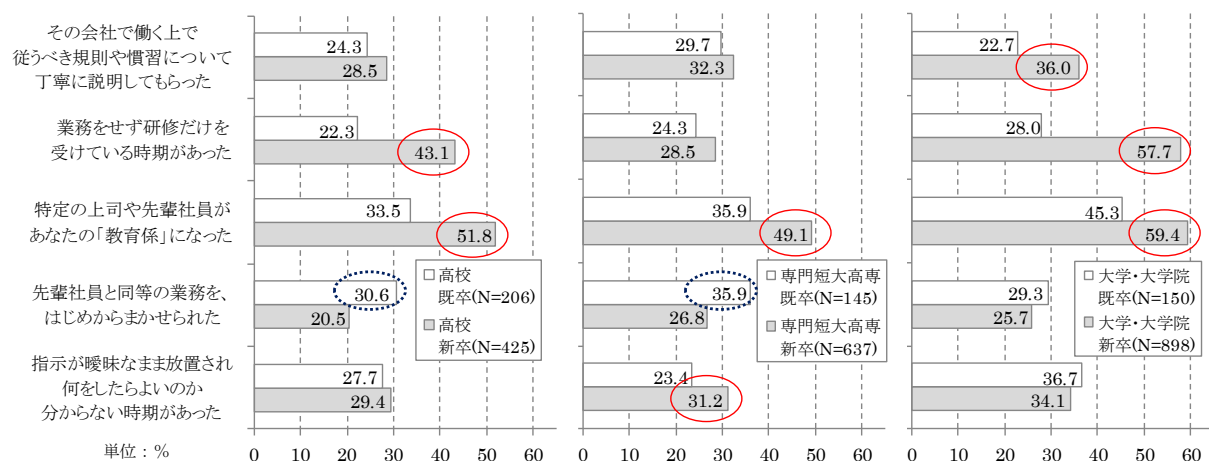
以上を踏まえて、新卒就職者と既卒就職者の回答率に5ポイント以上の差がある事柄を検討しよう。図表3-6①では、新卒就職者の方が高い場合を実線で、既卒就職者の方が高い場合を点線で囲っている。

図表3-6① 入職後3ヶ月間に受けた教育訓練 (MA, 性・学歴・経歴別)

A) 男性



B) 女性



あきらかに男女とも学歴を問わず、新卒就職者の方が多様な教育訓練を受けている。全ての学歴の男性と大学・大学院卒の女性においては、「特定の上司や先輩社員があなたの『教育係』になった (以下「教育係」)」「規則・慣習の説明」「Off-JT の実施」の回答率が新卒就職

者でより高く、特に「Off-JTの実施」は20ポイント以上の差がある。高校卒と専門・短大・高専卒の女性においても、回答率の差が5ポイントに満たない場合も含めれば、これら3項目の回答率は全て新卒就職者の方が高い。新卒就職者の回答率が5ポイント以上高い教育訓練は、高校卒女性では「Off-JTの実施（20.8ポイント差）」「教育係（18.3ポイント差）」、専門・短大・高専卒女性では「教育係（13.2ポイント差）」である。

対照的に、教育訓練を「受けられなかった」経験については、既卒就職者の回答率がより高い。全ての学歴の男性と、高校卒、専門・短大・高専卒の女性において、既卒就職者の方が「即戦力扱い」の回答率がより高く、高校卒男性ではさらに「指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいのか分からない時期があった（以下「指示曖昧放置）」の回答率も既卒就職者でより高い。唯一、専門・短大・高専卒の女性においては、新卒就職者の方が「指示曖昧放置」の回答率がより高い。

図表3-6② 入職後3ヶ月間に受けた教育訓練（MA, 性・学歴・経歴・勤続別）

単位：％ 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
その会社で働く上で従うべき規則や慣習について丁寧に説明してもらった	19.5	28.6	12.6	17.3	22.9	29.4	21.2	15.7	25.3	30.8	9.9	22.4
業務をせず研修だけを受けている時期があった	40.2	58.9	20.5	23.7	41.7	56.2	21.2	33.3	57.5	62.8	30.9	36.3
特定の上司や先輩社員があなたの「教育係」になった	44.1	45.7	36.4	31.7	45.8	46.3	45.5	37.3	53.3	53.0	48.1	41.3
先輩社員と同等の業務を、はじめからまかせられた	17.2	16.1	23.8	20.1	18.1	17.9	33.3	25.5	23.5	18.2	29.6	27.9
指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいのか分からない時期があった	22.2	21.8	32.5	24.5	37.5	20.4	27.3	35.3	34.6	27.6	30.9	33.3
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
その会社で働く上で従うべき規則や慣習について丁寧に説明してもらった	27.7	30.3	21.9	30.0	31.7	33.8	32.1	26.2	35.1	36.7	18.2	27.4
業務をせず研修だけを受けている時期があった	39.3	52.5	20.5	26.7	27.7	30.3	21.9	30.0	53.8	60.8	26.0	30.1
特定の上司や先輩社員があなたの「教育係」になった	51.8	51.6	35.6	28.3	48.4	50.7	35.7	36.1	58.8	59.8	46.8	43.8
先輩社員と同等の業務を、はじめからまかせられた	20.5	20.5	30.8	30.0	28.7	22.9	35.7	36.1	25.8	25.7	31.2	27.4
指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいのか分からない時期があった	29.0	30.3	30.8	20.0	32.1	29.4	23.8	23.0	37.6	31.3	40.3	32.9
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※離職者と勤続者の差が5ポイント以上でかつ離職者の方が高い場合を網掛、低い場合を斜体+下線で示した
 ※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

以上見てきたように、既卒就職者に対する教育訓練は新卒就職者ほどには充実していない。こうした状況は、若者の離職傾向にどのような影響を与えているのだろうか。図表3-6②へ、離職者と勤続者の回答率を性・学歴・入職時の経歴別に示した。離職者と勤続者との間

で5ポイント以上の差がある事柄を見ていこう。

はじめに、新卒就職者と既卒就職者に共通する傾向としては、業務を離れて教育訓練だけを受ける期間を設ける「Off-JTの実施」が勤続を促す可能性が示唆された。男女ともあらゆる学歴において、「Off-JTの実施」の回答率は勤続者でより高い。

次に、新卒就職者に独自の傾向としては、教育訓練を「行わない」ことの弊害が顕著に表れた。新卒就職者の「教育係」の回答率は、男女とも全学歴で離職者と勤続者の間に大差がない。また「規則・慣習の説明」の回答率は、女性では勤続者でより高い傾向があるが、男性では離職者と勤続者の間で大差がない。その一方で、新卒就職者の「指示曖昧放置」の回答率は、専門・短大・高専卒の男性と大学・大学院卒の男女において離職者でより高く、「即戦力扱い」の回答率は、専門・短大・高専卒の女性と大学・大学院卒の男性において離職者でより高い。社会に出たばかりの新卒就職者に上司や先輩が仕事を教えることは「当然のこと」であり、実施したからといって勤続傾向が高まるわけではない。一方、新卒者に曖昧な指示だけを与えて放置したり、即戦力扱いしたりすることは、離職につながる恐れがある。以上は、2016年調査で確認できた傾向とほぼ一致する。

これに対して、既卒就職者に対する教育訓練と離職／勤続傾向との関係はやや複雑である。既卒就職者の「教育係」の回答率は、高校卒の女性および専門・短大・高専卒と大学・大学院卒の男性において離職者でより高い。また、「規則・慣習の説明」の回答率は、大学・大学院卒の男女や高校卒の女性では勤続者でより高いが、専門・短大・高専卒の男女においては離職者でより高い。一方、既卒就職者の「指示曖昧放置」の回答率は、高校卒の男女と大学・大学院卒の女性では離職者でより高いが、専門・短大・高専卒の男性ではむしろ勤続者でより高い。専門・短大・高専卒の男性は、「即戦力扱い」の回答率も勤続者でより高い。

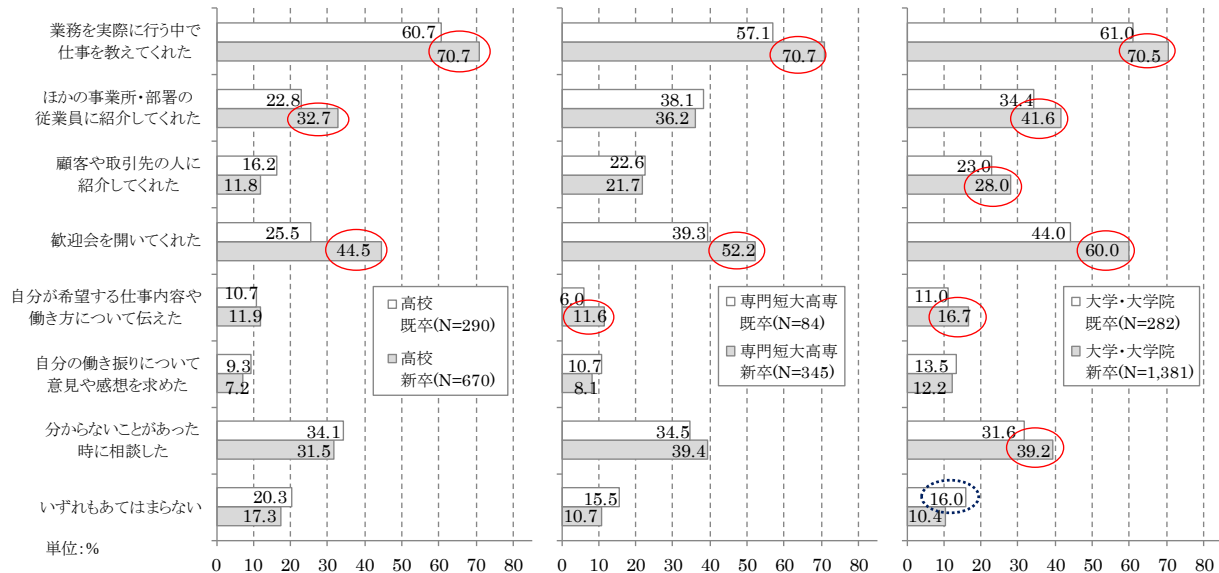
以上の、既卒就職者に対しては教育訓練の実施／非実施が勤続／離職に効果を持つとは必ずしもいえないという分析結果には、次の二通りの解釈がありえる。一つ目は、既卒就職者の中には教育訓練を望まない人たちがいるという解釈である。既卒就職者の中には、正社員以外の形で長く就労経験を積んできた人たちが含まれる。また、教育訓練の実施が離職傾向と関連しがちであった専門・短大・高専の既卒就職者は、3～4割が専門・技術職に就いており、専門知識・技能をある程度は学校で習得した上で入職していると推察される。「教育係」がつくことや、規則や慣習を丁寧に説明されることは、社会に出たばかりの新卒者には適切な行為に映るかもしれないが、社会経験や専門知識・技能があり、年齢も重ねた人にとっては、自分の能力や経験が正当に評価されていないと受け取られ、離職傾向に影響を及ぼすのかもしれない。二つ目は、教育訓練の実施が離職を促すのではなく、離職リスクの高い人にこそ教育訓練が行われるという解釈である。教育訓練は未経験の業務や難易度の高い業務に従事する場合にこそ行われるとすれば、就職活動に時間がかかった既卒就職者には、新しい環境に慣れたり難しい業務を習得したりすることが難しい人が多く、教育訓練を受けても離職しがちであるのかもしれない。

2. 入職から3ヶ月後までの職場でのコミュニケーション

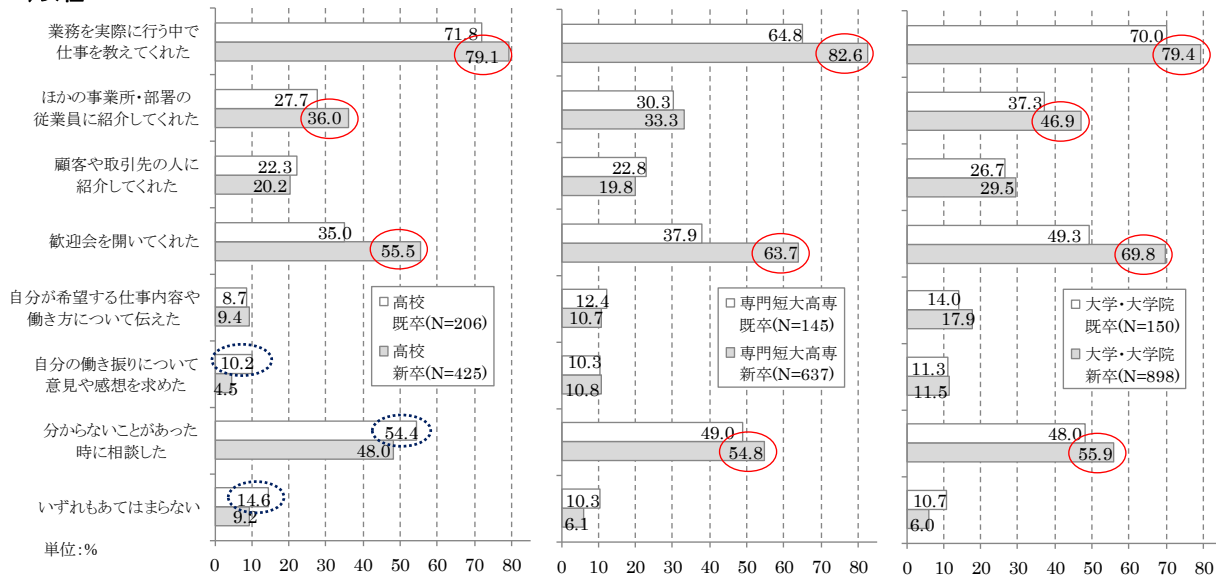
次に、「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから3ヶ月後までに経験した「会社の人との間で行われたやりとり」について複数回答で尋ねた結果を見ていこう。図表3-7①へ、各事柄を「あてはまる」と回答した人の割合（以下「回答率」）を性別・学歴・入職時の経歴ごとに示した。上部4項目は、会社の人（上司・先輩社員など）から若者に働きかけるコミュニケーションであり、下部3項目は、若者から会社の人（上司・先輩社員など）に働きかけるコミュニケーションである。

図表3-7① 入職後3ヶ月間に経験した職場でのコミュニケーション（MA、性・学歴・経歴別）

A) 男性



B) 女性



男女とも全学歴において最も回答率が高い事柄は「会社の人から、あなたに、業務を実際に行う中で仕事を教えてくれた（以下「OJTの実施」）」であり、男性の7～8割、女性の8～9割が経験している。OJT（On the Job Training）は若者全般が経験する基本的なコミュニケーションといえよう。これを踏まえて、新卒就職者と既卒就職者との間で5ポイント以上の差がみられる事柄を検討しよう。図表3-7①では各項目の回答率を、新卒就職者の方が高い場合は実線、既卒就職者の方が高い場合には点線で囲っている。

まず、一見してわかることは、新卒就職者の方が会社の人からの働きかけを経験していることだ。男女とも全ての学歴において、「OJTの実施」「歓迎会を開いてくれた（以下「歓迎会」）」の回答率は新卒就職者でより高い。さらに高校卒と大学・大学院卒の男女においては「ほかの事業所・部署の従業員に紹介してくれた（以下「社内に紹介」）」の、大学・大学院卒の男性においては「顧客や取引先の人に紹介してくれた（以下「社外に紹介」）」の回答率も新卒就職者でより高い。新卒就職者に対しては、会社側が業務や職場になじめるように配慮している傾向がみられる。

対照的に、若者から働きかけるコミュニケーションは、高校卒の女性では既卒就職者で、専門・短大・高専卒や大学・大学院卒の男女では新卒就職者で、より多くの人を実施した傾向がある。まず「自分が希望する仕事内容や働き方について伝えた（以下「自分の希望を伝えた」）」の回答率は、専門・短大・高専卒と大学・大学院卒の男性においては新卒就職者でより高い。次に「分からないことがあった時に相談した（以下「分からないことを相談」）」の回答率は、大学・大学院卒の男女と専門・短大・高専卒の女性においては新卒就職者でより高いが、高校卒の女性では既卒就職者でより高い。さらに「自分の働き振りについて意見や感想を求めた（以下「意見や感想を求めた」）」の回答率は、高校卒女性において既卒就職者でより高い。

以上みてきた新卒就職者と既卒就職者の経験の違いは、それぞれの離職／勤続傾向にどのような影響を及ぼしているのだろうか。図表3-7②に、新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて、各項目の回答率を離職者と勤続者とで比較できるように示した。離職者と勤続者との間で回答率に5ポイント以上の差が見られた事柄を検討していこう。離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を下線と斜体で示している。

まず、新卒就職者について検討する。会社の人から働きかける「OJTの実施」「社内に紹介」「歓迎会」の回答率は、男性では勤続者でより高い傾向があり、女性では離職者と勤続者とで大差がみられない。これらの働きかけは男性新卒就職者の勤続を促す効果が期待できる。ただし「社外への紹介」の回答率は高校と大学・大学院の新卒女性では離職者でより高い。この結果は、社外の人への紹介が離職を促すというより、離職傾向の高い職種では社外の人への紹介が行われがちと解釈すべきだろう。社外の人への紹介は、業務で顧客や取引先と関わる機会が多い営業・販売職やサービス職に就いた若者に必要なコミュニケーションであるが、これらの職種は高校と大学・大学院の新卒女性における離職傾向が高い。

一方、若者から働きかけるコミュニケーションとしては、高校卒の女性と専門・短大・高専卒の男女において「わからないことを相談」の回答率が離職者でより高い傾向がみられた。若者から働きかけるコミュニケーション（「自分の希望を伝えた」「分からないことを相談」「意見や感想を求めた」）は、若者の自主性の表れとも解釈できるし、若者から働きかけない限り何もしてくれなかったとも解釈できる。上記の分析結果は、就労経験が少ない新卒就職者の離職傾向と結びつく点から、後者の解釈を採用すべきだろう。

図表 3-7② 入職後3ヶ月間に経験した職場でのコミュニケーション（MA、性・学歴・経歴・勤続別）

単位：％ 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒				
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	
業務を実際に行う中で仕事を教えてくれた	66.7	73.3	68.9	51.8	65.3	74.6	63.6	52.9	67.5	71.7	55.6	63.2	
ほかの事業所・部署の従業員に紹介してくれた	25.7	37.2	22.5	23.0	31.9	39.3	45.5	33.3	37.5	43.2	33.3	34.8	
顧客や取引先の人に紹介してくれた	11.1	12.2	17.2	15.1	20.8	22.4	27.3	19.6	28.0	27.9	24.7	22.4	
歓迎会を開いてくれた	37.2	49.1	25.8	25.2	50.7	53.2	33.3	43.1	57.5	61.0	34.6	47.8	
自分が希望する仕事内容や働き方について伝えた	8.4	14.2	11.9	9.4	11.8	11.4	6.1	5.9	13.7	17.9	8.6	11.9	
自分の働き振りについて意見や感想を求めた	7.7	6.8	11.9	6.5	6.9	9.0	12.1	9.8	12.4	12.2	6.2	16.4	
分からないことがあった時に相談した	29.9	32.5	42.4	25.2	44.4	35.8	42.4	29.4	39.6	39.0	32.1	31.3	
いずれもあてはまらない	22.2	14.2	15.9	25.2	13.9	8.5	9.1	19.6	13.7	9.1	18.5	14.9	
	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201	
女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒				
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	
業務を実際に行う中で仕事を教えてくれた	78.9	79.5	76.7	60.0	83.3	81.1	61.9	68.9	78.0	80.5	74.0	65.8	
ほかの事業所・部署の従業員に紹介してくれた	34.7	39.3	27.4	28.3	33.3	33.3	33.3	26.2	47.5	46.4	36.4	38.4	
顧客や取引先の人に紹介してくれた	22.1	15.6	24.0	18.3	21.3	16.4	19.0	27.9	33.3	26.5	26.0	27.4	
歓迎会を開いてくれた	54.5	58.2	34.2	36.7	62.6	66.2	32.1	45.9	67.2	71.9	49.4	49.3	
自分が希望する仕事内容や働き方について伝えた	9.2	9.8	8.9	8.3	11.5	9.0	10.7	14.8	18.7	17.3	10.4	17.8	
自分の働き振りについて意見や感想を求めた	4.0	5.7	8.9	13.3	11.7	9.0	7.1	14.8	10.9	12.0	11.7	11.0	
分からないことがあった時に相談した	50.2	42.6	55.5	51.7	57.1	49.8	40.5	60.7	54.8	56.8	49.4	46.6	
いずれもあてはまらない	10.6	5.7	12.3	20.0	5.7	7.0	14.3	4.9	6.8	5.4	7.8	13.7	
	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73	

※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

※離職者と勤続者の差が5ポイント以上でかつ離職者の方が高い場合を網掛、低い場合を斜体+下線で示した

既卒就職者の傾向は性別や学歴によって異なる。高校の既卒就職者では男女ともに、「OJT」「社外に紹介」といった会社の人からの働きかけと、「意見や感想を求めた」「分からないことを相談」といった若者からの働きかけの両方の回答率が離職者でより高く、「いずれ

もあてはまらない」割合は勤続者の方が高い。先述の通り高校の既卒就職者の中には卒業後長い間正社員以外の形で就労経験を積んでから就職した人が比較的多く存在する。年齢が高く就労経験や知識・技能をすでにある程度備えている若者は、あまり構わないで仕事を任せてもらえるほうがのびのびと働けるのかもしれない。

専門・短大・高専の既卒就職者の傾向は男女で異なる。男性は「OJT」「社内に紹介」「社外に紹介」「わからないことを相談」の回答率が離職者でより高く、勤続者の回答率がより高い事柄は「歓迎会」のみであった。女性は「OJT」「社外に紹介」「歓迎会」「意見や感想を求めた」「分からないことを相談」の回答率が勤続者でより高く、離職者の回答率がより高い事柄は「社外に紹介」のみであった。男性は高校卒と同様に、あまり干渉せず仕事を任せられた方が勤続するのもかもしれない。女性は上司や先輩からの働きかけが勤続を促す可能性がある。

大学・大学院の既卒就職者は、男性は「OJT」「歓迎会」「意見や感想を求めた」の回答率が勤続者でより高く、離職者の回答率が大幅に高い事柄はない。女性は、「OJT」の回答率は離職者で、「自分の希望を伝えた」「いずれもあてはまらない」の回答率は勤続者でより高い。高学歴層の既卒就職者に対しては、男性は OJT や歓迎会により職場の一員としての意識を高め、上司や先輩が働きぶりにフィードバックを与えることが、女性は本人の希望する働き方を聞いた上である程度は仕事のやり方を任せることが、職場定着に有効かもしれない。

第3節 職場でのトラブル

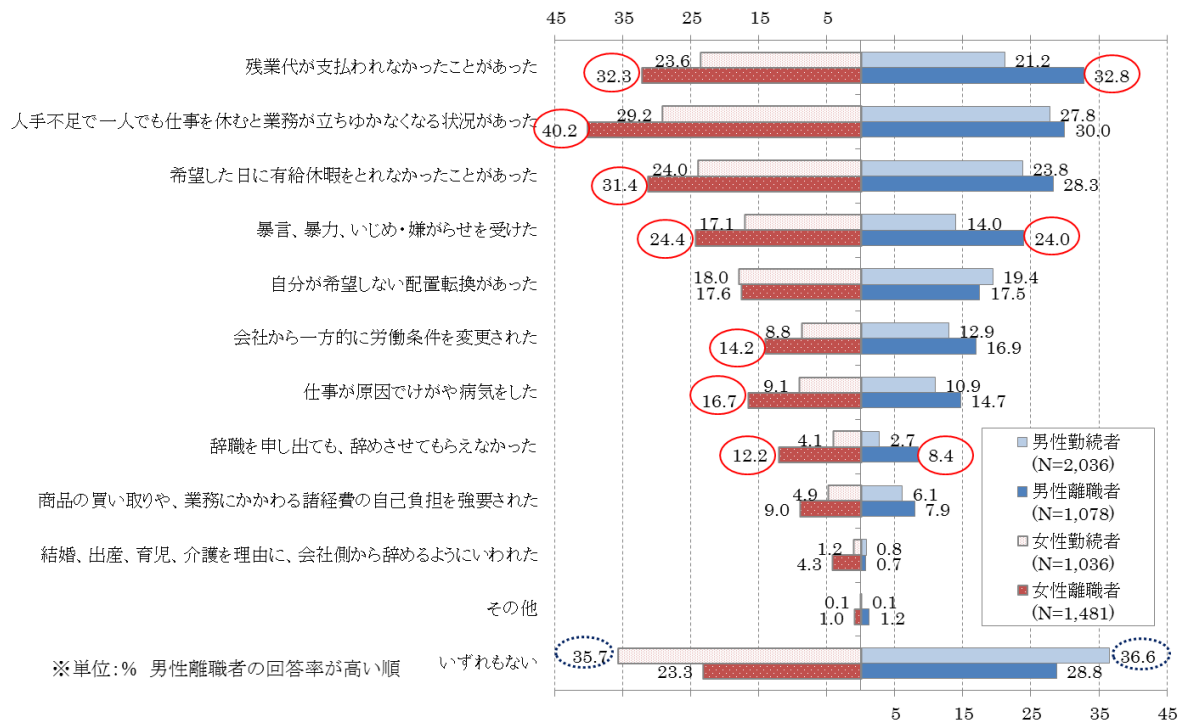
職場でのトラブルは、新卒就職者と既卒就職者の離職傾向にどのような影響をもつのだろうか。本調査では、「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから、離職者は離職直前まで、勤続者は調査時点までに経験した事柄をすべて答えてもらった。図表3-8①は、各トラブルを経験した人の割合（以下「回答率」）を離職者と勤続者とで比較できるように示したグラフである。回答率に5ポイント以上の差があり、かつ離職者の方が多い場合は実線、勤続者の方が多い場合は点線で囲っている。

全体にどの職場トラブルも男女の回答率には大差がなく、順位もほぼ同じである。男女ともまた、離職者の多くが経験したトラブルは勤続者の多くも経験している。さらに「自分が希望しない配置転換があった（以下「希望と異なる配置転換）」を除き、全てのトラブルにおいて回答率は離職者の方が高く⁷、「いずれもない」は勤続者の方が高い。特に回答率が高いのは「残業代が支払われないことがあった（以下「残業代不払い）」「人手不足で一人でも仕事を休むと業務が立ちゆかなくなる状況があった（以下「人手不足）」「希望した日に有給

⁷ 勤続者は離職者よりも「初めての正社員勤務先」における勤続期間が平均的に長い（序章参照）。したがって、複数回答で尋ねている本設問は、仮に同一期間にこれらの職場トラブルに遭遇する確率が離職者と勤続者とで同じならば、勤続期間が長い勤続者の方が、あらゆる職場トラブルの経験率が上がるはずである。にも関わらず、ほぼ全てのトラブルで離職者の経験率が高いということは、仮に勤続期間が同じ勤続者と離職者とを比べたとしたら、両者の差はさらに広がるのが予想される。

休暇をとれなかったことがあった（以下「有休がとれない」）」である。また、離職者と勤続者とで回答率に大差があるのは「残業代不払い」「暴言、暴力、いじめ・嫌がらせを受けた（以下「暴言、暴力、いじめ、嫌がらせ）」」「辞職を申し出ても、辞めさせてもらえなかった（以下「辞めさせてもらえなかった）」」である。以上は2016年調査の分析結果と一致する。

図表3-8① 「初めての正社員勤務先」で経験した職場トラブル（MA、性、勤続別）



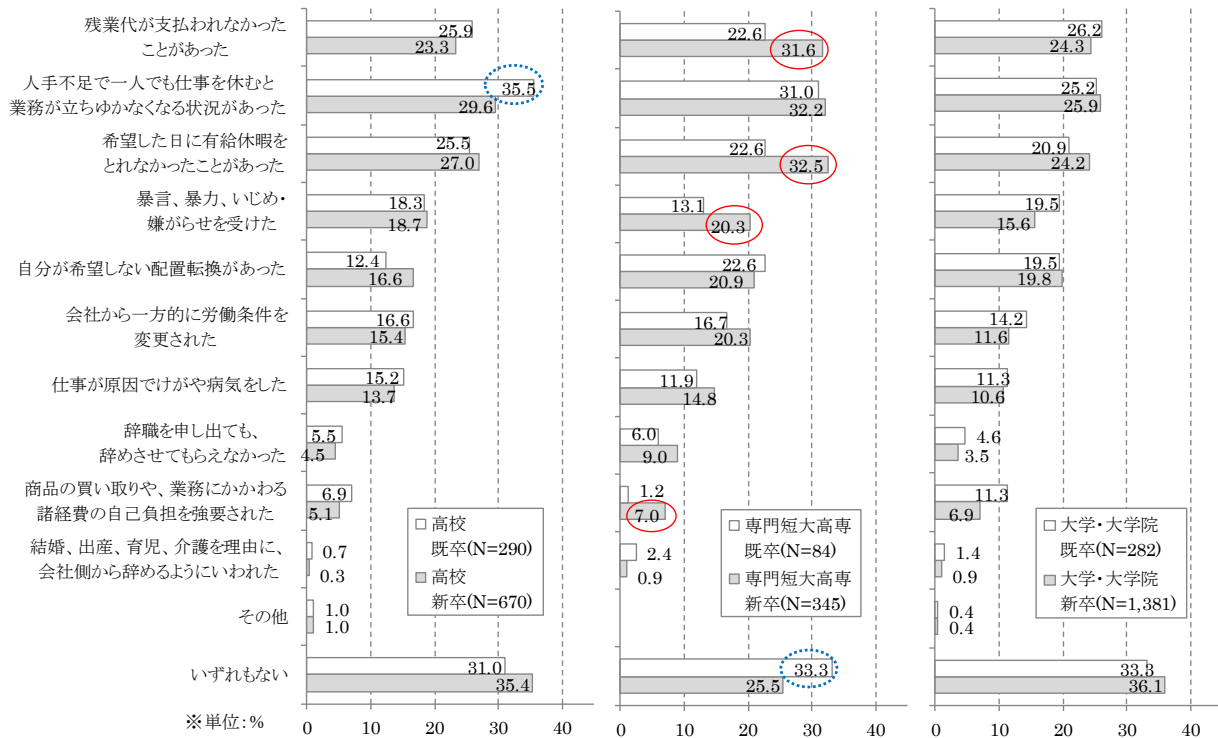
以上を踏まえて、新卒就職者と既卒就職者が経験した職場トラブルの状況を比べる。図表3-8②に各職場トラブルの回答率を新卒就職者と既卒就職者とで比較できるように、性・学歴別に示した。回答率に5ポイント以上の差がある職場トラブルを、新卒就職者の方が高い場合を実線、既卒就職者の方が高い場合を点線で囲っている。

はじめに男性について検討する。高校卒と大学・大学院卒の男性では、ほとんどの職場トラブルについて新卒就職者と既卒就職者の回答率が拮抗している。5ポイント以上の差がある職場トラブルは、高校卒における「人手不足」のみである（新卒29.6%、既卒35.5%）。

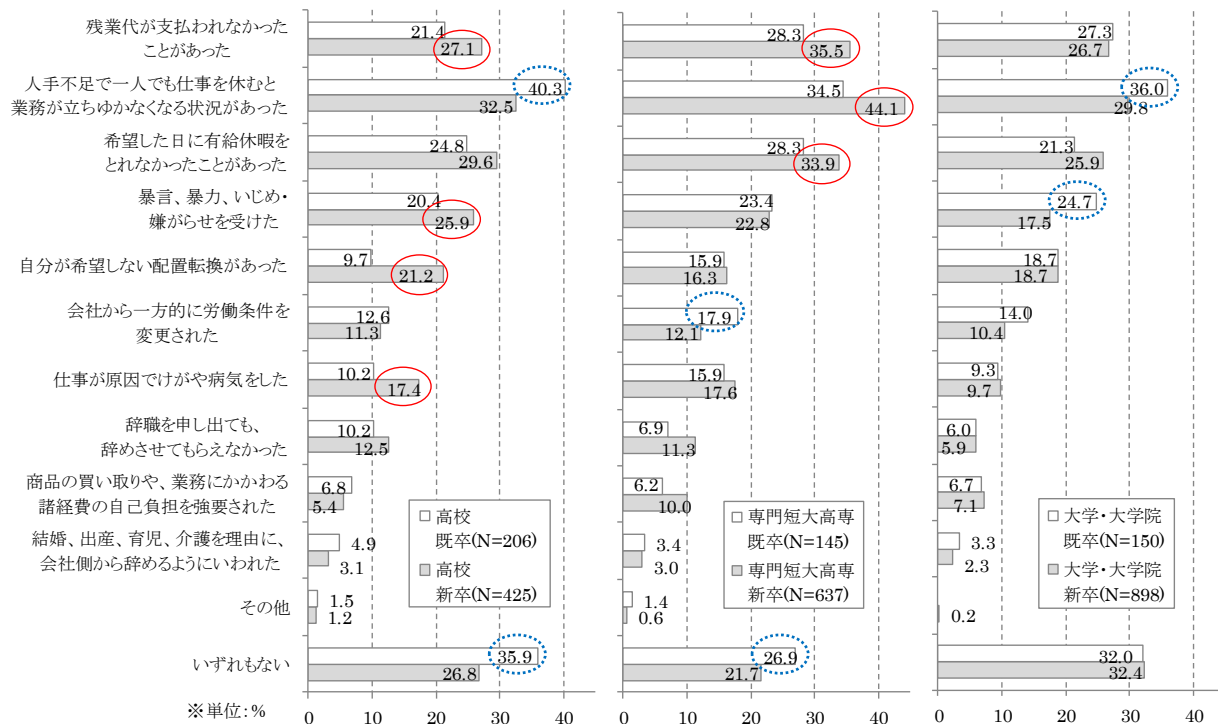
これに対して専門・短大・高専卒の男性では、新卒就職者の方が回答率の高い職場トラブルが多数ある。中でも「残業代不払い」「有休が取れない」「暴言、暴力、いじめ、嫌がらせ」「商品の買い取りや、業務にかかわる諸経費の自己負担を強要された（以下「商品買取・経費自己負担の強要）」」の回答率は、同じ学歴の既卒就職者だけでなく、他の学歴のどちらの経歴の男性と比べても高い。

図表3-8② 「初めての正社員勤務先」で経験した職場トラブル（MA、性・学歴・経歴別）

A) 男性



B) 女性



次に、女性について検討する。高校卒と専門・短大・高専卒の女性では、新卒就職者の方が様々な職場トラブルについて回答率が大幅に高い⁸。高校卒では、新卒就職者の方が「残業代未払い」「暴力、暴言、いじめ、嫌がらせ」「希望と異なる配置転換」「仕事が原因でけがや病気をした（以下「仕事が原因のけが・病気）」の回答率が大幅に高い。専門・短大・高専卒では、新卒就職者の方が「残業代不払い」「人手不足」「有休が取れない」の回答率が大幅に高い。特に専門・短大・高専の新卒就職者は、他の学歴のどちらの経歴の女性と比べても回答率が大幅に高い職場トラブルが多数ある。

一方、大学・大学院卒の女性では、様々な職場トラブルにおいて新卒就職者と既卒就職者の回答率が拮抗している。5ポイント以上の差がある職場トラブルは「人手不足（新卒 29.8%、既卒 36.0%）」「暴言、暴力、いじめ、嫌がらせ（新卒 17.5%、既卒 24.7%）」のみである。

以上の分析結果をまとめると、職場トラブルを経験した人の割合はおおむね、男性よりも女性で、既卒就職者より新卒就職者で、高校卒や大学・大学院卒より専門・短大・高専卒でより高い傾向がある。既卒就職者は年齢も多様で、正社員以外の形で就労経験を積んだ人も含まれるのに対して、新卒就職者は文字通り初めて社会に出て働く人がほとんどである。同じ出来事に対しても、社会経験が豊富な若者は「世の中はそういうものだ」と受容し、働くことに慣れていない若者はより敏感に反応するため、新卒就職者の方が職場トラブルを経験したと回答しがちなのかもしれない。

職場トラブルの経験は、新卒就職者と既卒就職者の離職／勤続傾向にどのような影響をもたらしているのだろうか。図表3-8②に、離職者と勤続者の各職場トラブルの回答率を比較できるように示した。離職者と勤続者の回答率に5ポイント以上の差がみられた職場トラブルについて、性・学歴・入職時の経歴ごとに検討しよう。

まず大前提として、高校の男性新卒就職者を除く全ての性・学歴・経歴において、勤続者の方が「いずれもない」の回答率が高い。反対に、「希望と異なる配置転換」を除くと、離職者と勤続者の回答率に大差がある職場トラブルのほとんどが、離職者の回答率の方が高い。おおかたの職場トラブルは離職を誘発する可能性があり、職場トラブルを発生させないことや早期解決することが、若い正社員の勤続を促すためには重要であるといえよう。なかでも、男女とも多くの学歴において新卒・既卒ともに離職者の回答率が大幅に高かった職場トラブルは、「残業代不払い」「有休がとれない」「暴力・暴言・いじめ・嫌がらせ」「辞めさせてもらえなかった」である。これらは、あらゆる属性の若者に共通して、離職を引き起こす可能性がある職場トラブルと言えよう。

⁸ 既卒就職者の回答率が大幅に高い職場トラブルは、専門・短大・高専卒における「会社から一方的に労働条件を変更された（以下「一方的な労働条件の変更）」（17.9%）」のみであった。

図表3-8③ 「初めての正社員勤務先」で経験した職場トラブル
(MA, 性・学歴・経歴・勤続別)

単位：％ 太字は実数

男性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
残業代が支払われなかったことがあった	27.6	20.5	31.8	19.4	38.2	26.9	30.3	17.6	36.9	19.6	25.9	26.4
人手不足で一人でも仕事を休むと業務が立ちゆかなくなる状況があった	23.4	33.5	37.7	33.1	36.1	29.4	30.3	31.4	29.3	24.6	30.9	22.9
希望した日に有給休暇をとれなかったことがあった	23.8	29.1	29.8	20.9	34.0	31.3	30.3	17.6	29.6	22.2	25.9	18.9
暴言、暴力、いじめ・嫌がらせを受けた	20.3	17.6	20.5	15.8	25.0	16.9	24.2	5.9	25.6	11.8	33.3	13.9
自分が希望しない配置転換があった	11.5	19.8	15.9	8.6	17.4	23.4	33.3	15.7	21.4	19.3	14.8	21.4
会社から一方的に労働条件を変更された	14.2	16.1	17.2	15.8	25.0	16.9	21.2	13.7	15.0	10.3	16.0	13.4
仕事が原因でけがや病気をした	13.8	13.7	15.2	15.1	18.1	12.4	21.2	5.9	15.3	8.8	9.9	11.9
辞職を申し出ても、辞めさせてもらえなかった	7.7	2.4	8.6	2.2	13.9	5.5	12.1	2.0	6.6	2.3	7.4	3.5
商品の買い取りや、業務にかかわる諸経費の自己負担を強要された	3.8	5.9	7.3	6.5	6.3	7.5	3.0		10.3	5.6	14.8	10.0
結婚、出産、育児、介護を理由に、会社側から辞めるようにいわれた			0.5	1.3	1.4	0.5	3.0	2.0	0.5	1.0	1.2	1.5
その他	1.5	0.7	2.0						1.3		1.2	
いずれもない	38.7	33.3	27.8	34.5	21.5	28.4	27.3	37.3	24.5	40.4	27.2	35.8
N	261	409	151	139	144	201	33	51	379	1,002	81	201
女性	高校卒				専門・短大・高専卒				大学・大学院卒			
	新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者		新卒就職者		既卒就職者	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
残業代が支払われなかったことがあった	30.7	18.0	23.3	16.7	39.0	27.9	33.3	21.3	29.5	24.5	31.2	23.3
人手不足で一人でも仕事を休むと業務が立ちゆかなくなる状況があった	32.7	32.0	42.5	35.0	47.9	35.8	35.7	32.8	35.6	25.3	48.1	23.3
希望した日に有給休暇をとれなかったことがあった	28.1	33.6	26.0	21.7	36.9	27.4	35.7	18.0	30.3	22.5	26.0	16.4
暴言、暴力、いじめ・嫌がらせを受けた	26.7	23.8	24.7	10.0	24.1	19.9	27.4	18.0	20.2	15.3	35.1	13.7
自分が希望しない配置転換があった	22.1	18.9	8.9	11.7	16.3	16.4	13.1	19.7	18.7	18.7	22.1	15.1
会社から一方的に労働条件を変更された	13.5	5.7	11.6	15.0	14.9	6.0	17.9	18.0	14.1	7.4	14.3	13.7
仕事が原因でけがや病気をした	18.8	13.9	11.6	6.7	19.7	12.9	17.9	13.1	14.4	6.0	11.7	6.8
辞職を申し出ても、辞めさせてもらえなかった	13.5	9.8	13.0	3.3	14.9	3.5	7.1	6.6	10.1	2.6	9.1	2.7
商品の買い取りや、業務にかかわる諸経費の自己負担を強要された	5.6	4.9	6.8	6.7	12.2	5.5	8.3	3.3	9.8	5.0	10.4	2.7
結婚、出産、育児、介護を理由に、会社側から辞めるようにいわれた	4.0	0.8	6.2	1.7	3.9	1.0	6.0		4.3	0.8	3.9	2.7
その他	1.7		2.1		0.9		2.4		0.3	0.2		
いずれもない	25.4	30.3	33.6	41.7	18.3	28.9	25.0	29.5	23.7	39.2	22.1	42.5
N	303	122	146	60	436	201	84	61	396	502	77	73

※離職者と勤続者の差が5ポイント以上でかつ離職者の方が高い場合を網掛、低い場合を斜体+下線で示した

※回答が無いセルは空白で示した

※高校卒には、専門学校・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

一方、高校の男性の新卒就職者においては、「人手不足」「有休がとれない」も勤続者の回答率が大幅に高い、高校新卒男性の週あたり実労働時間の平均値は 46.2 時間と、他の学歴の男性や高校既卒男性（49.2 時間）よりも短い。忙しさを感じる労働時間の長さには個人差があるが、高校新卒男性は比較的短い労働時間を多忙とを感じる一方で、その多忙さから充実感を得ているのかもしれない。

また全ての学歴の女性について、既卒就職者は「暴力・暴言・いじめ・嫌がらせ」、新卒就職者では「一方的な労働条件の変更」の回答率が勤続者で大変小さい。既卒女性には安心して働ける人間関係を整えることが、新卒女性には労働条件の安定的な適用が、勤続の促進に効果をもつ可能性が示唆されたといえよう。

<参考文献>

黒田祥子（2017）「長時間労働と健康、労働生産性の関係」『日本労働研究雑誌』No.679, pp.18-28.

濱口桂一郎（2013）『若者と労働：「入社」の仕組みから解きほぐす』中央公論新社.

第4章 「初めての正社員勤務先」における能力開発の状況

若者の、初めて正社員として勤務した会社等（以下「初めての正社員勤務先」と略す）における能力開発の状況と、彼・彼らの離職／勤続傾向とはどのような関係があるのだろうか。本報告では、「初めての正社員勤務先」における業務内容および職務遂行能力水準の変化を離職者と勤続者とで比較することで、この課題に取り組みたい。

分析に際しては、業務内容や職務遂行能力水準の「変化」は勤続期間の影響を受けることを考慮して、勤続期間が10年以内の若者に分析対象者を限定し、「3年以内」「3年を超えて5年以内」「5年を超えて10年以内」に区分することで勤続期間の効果を統制した分析を行う。分析対象者の内訳は、離職者が2,522人（男性1,061人、女性1,564人）、勤続者が2,472人（男性1,564人、女性908人）である。

第1節 業務の変化からみる能力開発状況

企業による労働者の能力開発は、業務を離れて研修等を行う Off-JT (Off the Job Training) よりも、業務を実際に行う中で新しい知識や技能を習得する OJT (On the Job Training) が中心である。労働者が担当する業務の量、種類、難易度、担当範囲を計画的に変化させること、責任や裁量を付与すること、他の労働者を指導・管理する立場に置くことなどを通じて実務に応じた職務遂行能力が習得され、成長を実感できれば、若者の職場定着を促すことになるだろう。しかし一方で、本人のキャパシティを超えた業務を担当させることは、離職につながる恐れがある。

本節では「初めての正社員勤務先」で経験した業務の変化を離職者と勤続者とで比較することで、どのような業務の変化が若者の離職や勤続を促す可能性があるのか検討する。調査では「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから、離職者は離職するまで、勤続者は調査時点までに、担当業務がどのように変化したか10の選択肢を示して複数回答で尋ねた。図表4-1①、4-2①は、離職者と勤続者それぞれに占める、各変化を経験した人の割合を性・勤続期間ごとに示したものである。

なお、大企業に比べて中小企業は事業規模や範囲が小さく、経験できる業務の広がりに限界がある。また、離職者の「初めての正社員勤務先」の企業規模は中小企業に偏る傾向がある。そこで企業規模の影響を統制するため、対象者を「初めての正社員勤務先」の従業員数（企業全体の数）が300人未満である人（男性：離職者639人、勤続者565人、女性：離職者934人、勤続者403人）と、300人以上および官公庁・公営事業所である人（男性：離職者422人、勤続者999人、女性：離職者527人、勤続者505人）に分けて分析を行った。

1. 企業規模 300 人未満の会社等における業務の変化

図表 4-1 ①に、従業員 300 人未満の会社等に勤続期間 10 年以内の若者について、勤務していた間に担当業務に生じた変化として、あてはまると答えた人の割合（以下「回答率」）を、性・勤続期間別に示したものである。

図表 4-1 ① 300 人未満企業における業務の変化

(MA, 性別・勤続期間別、勤続 10 年未満の人)

単位：% 太字は実数

男性	3年以内		3年超5年以内		5年超10年以内	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
業務の全体的な量が増えていった	51.0	58.3	64.6	58.6	61.7	61.9
業務の種類が増えていった	40.1	52.1	56.7	56.8	61.7	52.9
業務の内容が難しくなっていった	35.7	42.9	46.5	47.7	56.8	47.1
責任の重い業務を担当するようになっていった	24.4	39.9	47.2	39.6	49.4	44.3
正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった	9.3	8.0	16.5	17.1	11.1	19.2
自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった	13.5	25.8	22.0	27.9	38.3	29.2
非正社員を指導・管理する立場になっていった	6.0	9.2	16.5	11.7	18.5	10.0
部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった	6.7	13.5	22.8	17.1	24.7	24.1
そのほかの変化	1.6		0.0	0.0	1.2	
何も変化していない	27.1	18.4	11.8	11.7	12.3	13.1
N	431	163	127	111	81	291
女性	3年以内		3年超5年以内		5年超10年以内	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
業務の全体的な量が増えていった	57.7	67.3	74.1	72.3	75.0	70.3
業務の種類が増えていった	53.7	62.4	60.3	75.9	67.1	61.9
業務の内容が難しくなっていった	41.7	48.5	48.7	63.9	53.6	45.8
責任の重い業務を担当するようになっていった	38.7	41.2	51.3	61.4	50.7	54.8
正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった	8.8	8.5	10.1	19.3	9.3	14.2
自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった	20.3	27.9	28.6	44.6	36.4	43.2
非正社員を指導・管理する立場になっていった	8.8	7.3	13.8	19.3	22.9	15.5
部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった	16.5	12.7	32.8	44.6	44.3	40.0
そのほかの変化	0.5		0.5		0.7	1.3
何も変化していない	17.7	8.5	11.1	3.6	4.3	5.2
N	605	165	189	83	140	155

※5ポイント以上の差で離職者>勤続者の場合を網掛、離職者<勤続者の場合を下線・斜体で示した

※回答がなかったセルは空欄とした

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

1-1. 離職者と勤続者の比較

同一の性別・勤続期間段階の離職者と勤続者とで業務の変化の状況を比較する。まず男性について検討する。全体に、勤続期間が短いグループほど勤続者の、長いグループほど離職

者の方が業務の変化を経験した傾向がある。

勤続期間「3年以内」の男性では、勤続者の方が多くの事柄について回答率がより高い。特に「業務の種類が増えていった（以下「業務の種類増大）」「責任の重い業務を担当するようになっていった（以下「業務責任増大）」「自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった（以下「裁量性増大）」については10ポイント以上の差がある。ところが、勤続期間「3年超5年以内」の男性では、離職者の回答率が5ポイント以上高い事柄が「業務の全体的な量が増えていった（以下「業務量の増大）」「業務責任増大」「部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった（以下「部下・後輩の指導・管理）」の3点になり、勤続者の方が回答率がより高い事柄は「裁量性増大」のみである。さらに勤続期間「5年超10年以内」の男性では、離職者の回答率が5ポイント以上高い事柄が5つに増大した（「業務の種類増大」「業務の内容が難しくなっていった（以下「業務内容高度化）」「業務責任増大」「裁量性増大」「非正社員を指導・管理する立場になっていった（以下「非正社員の指導・管理）」）。一方、勤続者の方が回答率がより高い事柄は「正社員として働き始めた当初とは全く違う職種（業務内容）になった（以下「職種変更）」のみである。

次に女性について検討する。男性と同様、勤続期間が短いグループほど勤続者の、長いグループほど離職者の方が業務の変化を経験した傾向があるが、離職者の回答率が勤続者より高くなるタイミングが男性より遅い。勤続期間「3年以内」の女性では、勤続者の回答率が5ポイント以上高い事柄は「業務量の増大」「業務の種類増大」「業務内容高度化」「裁量性増大」の4つであったが、「3年超5年以内」の女性では、「業務の種類増大」「業務内容高度化」「業務責任増大」「職種変更」「裁量性増大」「非正社員の指導・管理」「部下・後輩の指導・管理」の7つに増大した。ところが勤続期間「5年超10年以内」の女性では、勤続者の回答率が5ポイント以上高い事柄は「裁量性増大」のみであり、離職者の回答率がより高い事柄が3つとなる（「業務の種類増大」「業務内容の高度化」「非正社員の指導・管理」）。

1-2. 勤続期間の異なる人との比較

次に、勤続期間の異なる人を比較することで業務の変化のタイミングと程度をみていこう。

男性では離職者も勤続者も、また多くの事柄について、勤続期間が長くなるほど「変化した」人の割合が増えていく。その一方で、離職者と勤続者とでは変化のスピードが異なる。それぞれの変化の回答率を、勤続期間の隣接する段階間で比較すると、多くの事柄について、勤続者より離職者の方が回答率に大きな差がある。勤続期間「3年以内」の離職者と「3年超5年以内」の離職者の回答率を比べると、後者の回答率が10ポイント以上高い事柄が6つみられた。特にその差が大きいのは、「業務責任増大（22.8ポイント差）」「業務の種類増大（16.6ポイント差）」「部下・後輩の指導・管理（16.1ポイント差）」である。

同様に勤続期間「3年超5年以内」の離職者と「5年超10年以内」の離職者の回答率を比べると、後者の回答率が10ポイント以上高い事柄は「裁量性増大（16.3ポイント差）」「業

務の種類増大（10.3ポイント差）」の2つであった。

女性は男性とは異なり、勤続期間が5年目までは勤続者の方が急激な変化を経験し、5年を超えると離職者の方が変化をより経験している傾向が見られる。勤続期間「3年以内」と「3年超5年以内」の回答率を比べると、後者の回答率がより高い傾向は、離職者より勤続者で顕著にみられる。「3年超5年以内」の回答率が10ポイント以上高い事柄は、離職者では「業務量の増大（16.4ポイント差）」「部下・後輩の指導・管理（16.3ポイント差）」「業務責任増大（12.6ポイント差）」の3点だが、勤続者では「部下・後輩の指導・管理（31.9ポイント差）」「業務責任増大（20.2ポイント差）」「裁量性増大（16.7ポイント差）」「業務内容高度化（15.4ポイント差）」「業務の種類増大（13.5ポイント差）」「非正社員の指導・管理（12.0ポイント差）」「職種変更（10.8ポイント差）」の7つに及ぶ。

次に「3年超5年以内」と「5年超10年以内」の回答率とを比べると、離職者では「5年超10年以内」、勤続者では「3年超5年以内」の方が高い傾向がみられる。「そのほかの変化」「何も変化していない」を除く8つの事柄のうち、離職者は6つについて「5年超10年以内」の回答率がより高く、特に「部下・後輩の指導・管理（11.5ポイント）」「非正社員の指導・管理（9.1ポイント）」で顕著である。一方の勤続者では、8つの変化すべてについて「3年超5年以内」の回答率がより高い。すなわち、中小企業で働く若い女性正社員は、急な業務の変化を経験した人たちが勤続5年目あたりから離職していくのだと解釈できる。

2. 企業規模300人以上の会社等および官公庁・公営事業所における業務の変化

次に、従業員300人以上の会社等および官公庁・公営事業所（以下「大企業・公的団体」）に勤務していた（いる）勤続期間10年以内の若者について、同様の分析を行う。

2-1. 離職者と勤続者の比較

はじめに、同一の性別・勤続期間段階の離職者と勤続者とで業務の変化の状況を比較する。

まずは、男性について検討する。全体に、勤続期間が短いほど勤続者の、長いほど離職者の方が業務の変化を経験する傾向は中小企業の場合と同じであるが、離職者の回答率がより高くなるタイミングが中小企業の「3年目」より遅く「5年目」が境目である。

勤続者の回答率が5ポイント以上高い事柄をみると、勤続期間「3年以内」の男性では5つの事柄（「業務量増大」「業務の種類増大」「業務内容高度化」「業務責任増大」「裁量性増大」）が、勤続期間「3年超5年以内」では6つの事柄（「業務量増大」「業務の種類増大」「業務責任増大」「職種変更」「裁量性増大」「部下・後輩の指導管理」）が該当する。ところが勤続期間「5年超10年以内」では離職者と勤続者の回答率の差が縮まり、むしろ離職者の回答率がより高い事柄の方が多くなる。5ポイント以上の差がある事柄をみると、離職者は「業務の種類増大」「非正社員の指導・管理」で、勤続者は「職種変更」の回答率がより高い。

図表4-1② 300人以上企業および官公庁・公的団体における業務の変化

(MA, 性別・勤続期間別、勤続10年未満の人) 単位: % 太字は実数

男性	3年以内		3年超5年以内		5年超10年以内	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
業務の全体的な量が増えていった	46.5	58.6	59.3	67.8	73.3	72.9
業務の種類が増えていった	41.9	55.9	49.5	59.3	71.1	62.5
業務の内容が難しくなっていった	40.7	50.2	57.1	61.8	63.3	62.5
責任の重い業務を担当するようになっていった	25.7	40.6	47.3	54.3	60.0	58.8
正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった	11.6	12.3	14.3	27.1	17.8	28.6
自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった	15.8	29.9	31.9	42.7	46.7	46.9
非正社員を指導・管理する立場になっていった	5.8	7.7	14.3	15.1	27.8	16.7
部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった	8.7	10.0	19.8	26.6	35.6	36.4
そのほかの変化		0.4				0.4
何も変化していない	24.5	14.9	14.3	8.5	7.8	7.2
N	241	261	91	199	90	539
女性	3年以内		3年超5年以内		5年超10年以内	
	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
業務の全体的な量が増えていった	63.7	71.5	74.7	70.5	84.5	73.0
業務の種類が増えていった	60.8	67.9	68.5	63.4	74.8	73.0
業務の内容が難しくなっていった	52.9	57.5	59.6	57.1	68.0	64.5
責任の重い業務を担当するようになっていった	42.8	47.7	59.6	51.8	68.0	61.5
正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった	9.0	13.0	7.5	17.9	13.6	23.0
自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった	24.8	42.5	43.2	39.3	55.3	49.5
非正社員を指導・管理する立場になっていった	15.1	7.8	24.7	16.1	28.2	19.5
部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった	21.2	18.7	38.4	34.8	51.5	46.0
そのほかの変化		0.5	0.7			1.0
何も変化していない	14.0	8.3	5.5	9.8	1.9	5.0
N	278	193	146	112	103	200

※5ポイント以上の差で離職者>勤続者の場合を網掛、離職者<勤続者の場合を下線・斜体で示した

※回答がなかったセルは空欄とした

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

次に、女性について検討する。全体に、勤続期間が短いほど勤続者の、長いほど離職者の方が業務の変化を経験した傾向は中小企業の場合と同じであるが、離職者の回答率が勤続者より高くなるタイミングは中小企業の「5年目」より早く「3年目」となる。

勤続期間「3年以内」の女性では全体に勤続者の回答率がより高い。5ポイント以上の差がある事柄は「業務量増大」「業務の種類増大」「裁量性増大」の3つで、特に「裁量性の増大」は17.7ポイントの差がある。これに対して離職者の回答率が5ポイント以上高い事柄は、唯一「非正社員の指導・管理」のみである。次に勤続期間「3年超5年以内」の女性では離

職者の回答率が5ポイント以上高い事柄が「非正社員の指導・管理」「業務の種類増大」「業務責任増大」の3つになり、勤続者の回答率が5ポイント以上高い事柄は「職種の変更」のみである。さらに勤続期間「5年超 10年以内」では、離職者の回答率が5ポイント以上高い事柄は「業務量増大」「業務責任増大」「裁量性増大」「非正社員の指導・管理」「部下・後輩の指導・管理」の5つに増大し、勤続者の回答率が5ポイント以上高い事柄は「職種変更」のみである。

2-2. 勤続期間の異なる人との比較

次に、勤続期間の異なるグループを比較することで、業務の変化のタイミングと程度をみていこう。

まず、男性について検討する。それぞれの変化の回答率を勤続期間の隣接する段階間で比較しよう。勤続期間「3年以内」と「3年超5年以内」の回答率を比べると、後者の回答率が10ポイント以上大きい事柄が離職者にも勤続者にもそれぞれ5つずつみられた¹。ただし、同じ事柄ならば離職者の方が回答率の差が大きい。

同様に勤続期間「3年超5年以内」と「5年超10年以内」の回答率を比べると、後者の回答率が10ポイント以上高い事柄は離職者でのみ5つみられた（「業務の種類増大（21.6ポイント差）」「部下・後輩の指導・管理（15.8ポイント差）」「裁量性増大（14.8ポイント差）」「非正社員の指導・管理（13.5ポイント差）」「業務責任増大（12.7ポイント差）」）。

中小企業の男性と同様に、大企業や公的団体に勤める男性も、離職者・勤続者ともに多くの事柄について、勤続期間が長い人ほど変化を経験した傾向があり、離職者の方がより急速な変化を経験している可能性が示唆された。

次に、女性について検討する。それぞれの変化の回答率を勤続期間の隣接する段階間で比較しよう。勤続期間「3年以内」と「3年超5年以内」の回答率を比べると、後者の回答率がより高い傾向は離職者で顕著にみられる。「3年超5年以内」の回答率が10ポイント以上高い事柄は、離職者では「裁量性増大（18.4ポイント差）」「部下・後輩の指導・管理（17.2ポイント差）」「業務責任の増大（16.8ポイント差）」「業務量増大（11.0ポイント差）」の4つ、勤続者では「部下・後輩の指導・管理（17.2ポイント差）」のみであった。

同様に「3年超5年以内」と「5年超10年以内」の回答率とを比べると、離職者と勤続者の変化の差にあまり違いがみられなくなる。「5年超10年以内」の回答率が10ポイント以上高い事柄は、離職者では「部下・後輩の指導・管理（13.1ポイント差）」「裁量性増大（12.1ポイント差）」の2つ、勤続者も同じく「部下・後輩の指導・管理（11.2ポイント差）」「裁量性増大（10.2ポイント差）」の2つである。

¹ 離職者では「業務責任増大（21.6ポイント差）」「業務内容高度化（16.4ポイント差）」「裁量性増大（16.1ポイント差）」「業務量増大（12.8ポイント差）」「部下・後輩の指導・管理（11.1ポイント差）」の5つであり、勤続者は「部下・後輩の指導・管理（16.6ポイント差）」「職種変更（14.8ポイント差）」「業務責任増大（13.7ポイント差）」「裁量性増大（12.8ポイント差）」「業務内容高度化（11.6ポイント差）」の5つである。

中小企業で働く女性と同様に、大企業や公的団体で働く若い女性においても、離職者の方が急激な変化を経験した傾向がみられた。ただし、中小企業で働く女性が5年を超えてからそうした傾向が表れるのに対して、大企業や公的団体で働く女性では3年目の時点で既に、離職者がより変化を経験した傾向がみられる。大企業や公的団体で働く若い女性正社員は、中小企業で働く若い女性正社員よりも早い段階で、急激な業務の変化を経験した人たちが離職していく様子がうかがい知れる。

3. 業務の変化と離職傾向との関連

以上の分析結果を考察する。業務の変化の内容と離職傾向との関連を検討した結果、男女とも、また中小企業でも大企業・公的団体でも、共通して長期にわたり勤続を促す可能性がある業務の変化は「職種の変更」である。特にその傾向は大企業・公的団体で顕著である。中小企業ではそもそも多様な職種が企業内にないことが離職の一因になっている可能性がある。また「裁量性の増大」も、中小企業で働く女性や大企業・公的団体で働く男性に対しては長期的に勤続を促す可能性がある。反対に勤続期間が短い段階で離職を促す可能性のある業務の変化は、性別や勤務先の規模によって異なり、中小企業の男性は業務量や責任の増大、部下や後輩の指導・管理を担うようになると離職する傾向があり、大企業・公的団体で働く女性は業務の種類・責任の増大、非正社員の指導・管理を担うようになると離職する傾向がある。また男女とも、勤務先規模にかかわらず、変化の急激さは離職を促す要因になりえる。

変化のタイミングと離職傾向との関連を検討した結果、中小企業に勤める男性にとって、勤続3年目までの業務の変化は勤続を、3年を超えてからの変化は離職を促している可能性がある。特に、責任の増大は3年目以降一貫して離職傾向と関連している。これに対して大企業や公的団体で働く男性には、中小企業で働く男性よりも長期にわたって業務の変化が勤続を促す方向に作用する可能性があり、業務の変化が離職を促す傾向が見られるのは5年目以降である。中小企業で働く女性にとって、勤続5年目までの業務の変化は勤続を、5年を超えてからの変化は離職を促している可能性がある。これに対して大企業や公的団体で働く女性に対しては、中小企業で働く女性よりも短期間（3年以内）のうちに、業務の変化が離職を促す方向に作用する可能性がある。ただし「部下・後輩正社員の指導・管理」については、そうした業務を担うようになったから離職することになったのか、何らかの理由で離職する際に後任者へ引き継ぎを行うことを「部下・後輩正社員の指導・管理」と回答者が解釈したのか、判断が難しい。ただし、女性は結婚や出産、配偶者の転勤など女性本人の意向だけでは何ともしがたい事情によって離職する人々が、勤続期間が長く（＝年齢が高く）なるほど増大する（本報告第5章参照）。したがって勤続期間が長い女性の場合は後任への引き継ぎ行為をした人が「部下・後輩正社員の指導・管理」を回答したと解釈すべきだろう。

第2節 職務遂行能力水準の変化からみる能力開発状況

労働者の職務遂行能力の変化と離職傾向との関連には、正反対の二つの仮説を立てることができる。第一に、企業側が期待する水準まで職務遂行能力を伸長させることができなかつた若者は、自信を無くして離職していくのではないだろうか。第二に、職務遂行能力が伸長した若者は、キャリアアップのために積極的に転職を考えるのではないだろうか。前者の仮説が正しければ、離職した若者ほど職務遂行能力の伸長度合が低いはずである。反対に後者の仮説が正しければ、離職した若者ほど職務遂行能力の伸長度合が高いはずである。

本節では上記の課題に取り組むため、「初めての正社員勤務先」における職務遂行能力水準の変化の状況を離職者と勤続者とで比較する。具体的には、「初めての正社員勤務先」に入職してから3ヶ月後時点²の職務遂行能力と、離職者については離職直前、勤続者については調査時点の職務遂行能力とを数値化して、入職3ヶ月後から離職直前／調査時点までの職務遂行能力の伸長幅を離職者と勤続者とで比較する。したがって3ヶ月後時点の職務遂行能力を扱う分析においては、調査時点において入職から3ヶ月が経過していない勤続者と、入職から3ヶ月が経過する前に離職または正社員以外の労働者へと転換した人を分析対象者から除く。また、職務遂行能力水準の「変化」は勤続期間の影響を受けることを考慮して、本節では分析対象者を勤続期間が10年以内の若者に限定し、さらに「3年以内³」「3年超5年以内」「5年超10年以内」に区分して集計を行う。

1. 職務遂行能力の指標と分析手順

本調査では2016年調査と同様に、「職務遂行能力」の指標として「行動特性（コンピテンシー）」の概念を用いた。調査の際には、岩脇（2008）が作成した「大学新卒者の採用面接において企業が評価する行動特性」のモデルから一部を抜粋し、若干の修正を加えたものを用いた⁴。具体的な計測方法は以下の通りである。

まず10種類の職務遂行に関わる行動を〔課題を見つけ出し、目標を持つ〕のように文章化して回答者に示し、その行動を「初めての正社員勤務先」に入職してから3ヶ月後の時点、

² 評価時点を入職から3ヶ月後とした意図は、職務遂行に関わる行動特性は、実際に仕事をしてみないと評価できないためである。

³ 入職3ヶ月後時点の職務遂行能力を分析に用いる際には「3ヶ月超3年以内」とする。

⁴ 岩脇（2008）はSpencer & Spencer（1993、訳書2001）によるコンピテンシー評価の定義に基づき31企業の採用担当者にヒアリングを行い、企業が大学新卒者を事務系正社員へ採用する際の面接において、学生が語るどのような過去の「行動事実」に関するエピソードからどのような「能力」を評価したのか尋ね、回答を類型化することで同モデルを作成した。さらに就職活動を終えた大学4年生を対象に上記モデルに基づく行動結果面接を行い、就職活動の結果に対する満足度が高い学生は低い学生より他者とのコミュニケーションに関する「行動特性」が有意に高いことを検証した。本調査では、岩脇（2008）が抽出した16項目の「行動特性」のうち、評価企業が多い上位7項目と、就職活動の結果に対する満足度が高い学生と低い学生との間に有意な得点差がみられた3項目の計10項目を抜粋し、各項目の定義を就業の場で観察できる表現（例：〔課題を見つけ出し、目標を持つ〕）に修正したものを調査票上に掲載した。

および離職直前／調査時点にどの程度とることができたか（できるか）、5件法で自己評価してもらった。

次に、回答者による行動特性の自己評価の結果を、「できた」を5点、「ややできた」を4点、「どちらともいえない」を3点、「ややできなかった」を2点、「できなかった」を1点として得点化した（以下「行動特性得点」とよぶ）。また、これら10項目の行動特性得点を合算した10～50点の「行動特性得点総計値」を算出し、全体的な行動特性の水準を測る指標とした。

本章ではまず、「初めての正社員勤務先」に入職してから3ヶ月後の時点から、現在（離職直後／調査時点）にかけて、職務遂行能力がどの程度伸長したか検討する。具体的には、勤続期間10年以内の勤続者と離職者それぞれについて、10項目の行動特性得点と行動特性得点総計値の平均値を性・勤続期間段階別に算出し⁵、入職3ヶ月後の値と離職直後／調査時点の値との間に統計的に有意な差があるといえるのか、対応のあるサンプルの差の検定を行った（図表4-2①、4-3①）。

次に同様の手法で、勤続者と離職者の、入職3ヶ月後時点および現在（離職直前／調査時点）の職務遂行能力には差があるといえるのか検討する。具体的には、10項目の行動特性得点および行動特性得点総計値について、離職者と勤続者それぞれの平均値を性・勤続期間段階別に算出し、両者の間に統計的に有意な差があるといえるのか、独立したサンプルの差の検定を行った（図表4-2②、4-3②）。さらに分析対象者を全ての回答者に広げた上で、現在（離職直後／調査時点）の行動特性得点および行動特性得点総計値についても、離職者と勤続者それぞれの平均値を性・勤続期間段階別に算出し、両者の間で有意差があるといえるのか、独立したサンプルの差の検定を行った（図表4-2③、4-3③）。

2. 男性の職務遂行能力の変化と離職傾向

2-2. 全体的な傾向

まずは男性について検討する。図表4-2①は、「初めての正社員勤務先」に入職して3ヶ月後の時点から現在（離職直後／調査時点）にかけて、男性のどのような職務遂行能力がどのタイミングでどの程度伸長したといえるか検討した結果である。入職3ヶ月後時点の平均値と現在（離職直後／調査時点）の平均値との間に、5%の水準で有意な差があるといえる場合には不等号でどちらが大きいかを示し、入職3ヶ月後の方が大きい場合にはその値を網掛、離職直前／調査時点の方が大きい場合には、その値を斜体+下線で示した。

⁵ 入職から3ヶ月後時点の行動および離職時の行動を尋ねる際には「できた」「ややできた」「どちらともいえない」「ややできなかった」「できなかった」、調査時点の行動を尋ねる際には「できる」「ややできる」「どちらともいえない」「ややできない」「できない」とした。

離職者・勤続者ともに、どの勤続期間のグループにおいても、入職3ヶ月後の時点より離職直前／調査時点の方が、あらゆる行動特性について有意に得点が高い、もしくは有意差がない。また、勤続期間が短いグループより長いグループの方が、より多様な行動特性について伸長がみられ、勤続期間が「5年超10年以内」のグループでは、勤続者においてすべての行動特性について伸長している。さらに、離職者・勤続者ともに、より勤続期間が短いグループで伸長が見られた行動特性は、必ずそれより勤続期間が高いグループにおいても伸長が見られる上に、離職直前／調査時点の得点はより勤続期間が長いグループほど高くなる。

図表4-2① 入職3ヶ月後時点と離職直前／調査時点の行動特性得点平均値の比較
(勤続期間・勤続別，勤続期間3ヶ月超10年以内の男性)

男性離職者	3ヶ月超3年以内			3年超5年以内			5年超10年以内		
	3ヶ月後	離職直前	p	3ヶ月後	離職直前	p	3ヶ月後	離職直前	p
課題を見つけ出し、目標を持つ	2.82	2.84		3.13	3.23		3.32	3.46	
具体的な方策を見つけて計画を立てる	2.76	2.83		3.02 <	<u>3.21</u>	**	3.20 <	<u>3.54</u>	***
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	2.96	2.98		3.30	3.36		3.49 <	<u>3.65</u>	*
最後までやりとげる	3.07	3.09		3.57	3.44		3.75	3.80	
受身ではなく自分から行動する	2.81 <	<u>2.90</u>	*	3.13 <	<u>3.39</u>	***	3.40 <	<u>3.62</u>	**
自分を客観的に認識する	2.86 <	<u>2.96</u>	**	3.14 <	<u>3.29</u>	*	3.29 <	<u>3.56</u>	***
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	2.64 <	<u>2.75</u>	**	2.91 <	<u>3.10</u>	*	3.27 <	<u>3.52</u>	**
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	2.69	2.76		2.97 <	<u>3.14</u>	*	3.18 <	<u>3.56</u>	***
他者を説得して動かす	2.39 <	<u>2.56</u>	***	2.56 <	<u>3.02</u>	***	2.92 <	<u>3.38</u>	***
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	2.75	2.76		3.01 <	<u>3.24</u>	**	3.40	3.53	
行動特性得点総計値	27.74 <	<u>28.44</u>	**	30.75 <	<u>32.43</u>	***	33.23 <	<u>35.61</u>	***
N	628			218			171		
男性勤続者	3ヶ月超3年以内			3年超5年以内			5年超10年以内		
	3ヶ月後	調査時点	p	3ヶ月後	調査時点	p	3ヶ月後	調査時点	p
課題を見つけ出し、目標を持つ	3.36 <	<u>3.56</u>	***	3.21 <	<u>3.56</u>	***	3.18 <	<u>3.67</u>	***
具体的な方策を見つけて計画を立てる	3.32 <	<u>3.50</u>	***	3.14 <	<u>3.50</u>	***	3.08 <	<u>3.67</u>	***
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	3.52	3.57		3.41 <	<u>3.63</u>	***	3.27 <	<u>3.73</u>	***
最後までやりとげる	3.68	3.75		3.60	3.64		3.61 <	<u>3.81</u>	***
受身ではなく自分から行動する	3.35 <	<u>3.57</u>	***	3.21 <	<u>3.49</u>	***	3.19 <	<u>3.67</u>	***
自分を客観的に認識する	3.33 <	<u>3.45</u>	**	3.16 <	<u>3.45</u>	***	3.13 <	<u>3.56</u>	***
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	3.21	3.29		2.99 <	<u>3.38</u>	***	2.94 <	<u>3.49</u>	***
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	3.15 <	<u>3.37</u>	***	3.12 <	<u>3.47</u>	***	3.03 <	<u>3.59</u>	***
他者を説得して動かす	2.88 <	<u>3.16</u>	***	2.81 <	<u>3.27</u>	***	2.77 <	<u>3.45</u>	***
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	3.40	3.45		3.31	3.41		3.32 <	<u>3.57</u>	***
行動特性得点総計値	33.20 <	<u>34.67</u>	***	31.95 <	<u>34.81</u>	***	31.53 <	<u>36.21</u>	***
N	420			310			830		

対応のあるサンプルの差の検定: *** <.001 ** <.01 * <.05

※検定結果が5%水準で有意かつ離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

本調査はパネル調査ではないので、それぞれの勤続期間グループを構成する人々は同一人物ではない。したがって上記の分析結果の解釈は二通り考えられる。まず、勤続期間が長い（短い）グループが示したのと同じ傾向が、より勤続期間が短い（長い）グループにも未来に（過去に）生じる（生じた）と仮定すれば、若者の職務遂行能力というものは、「初めての

正社員勤務先」を最終的には離職するとしても、長く勤め続ければ伸長していくものだ、と解釈できる。もう一つは、異なる勤続期間グループの過去／未来の傾向は他の勤続期間グループの現在の傾向とは関係ない（独立である）と仮定した場合の解釈である。この場合、調査時点である2018年8月に偶然このような分析結果が表れたにすぎず、過去や未来には、同じ勤続期間の人々であっても異なる結果が表れる可能性がある。

どちらの仮説がより有効か確かめるため、2016年調査で勤続期間が3年超5年以内の人に限定して同様の分析を行った結果を、本調査の「3年超5年以内」の結果と比べると、有意な伸長を示した行動特性はかなりの部分で一致する。また離職者について、「最後までやり遂げる」のみ「3ヶ月後」の方が高い点などの特徴も一致する。したがって本報告では、前者の仮説をとりたい。すなわち、若年男性正社員の職務遂行能力は、「初めての正社員勤務先」を最終的には離職する場合も勤続する場合も、長く勤め続けることで伸長すると考えられる。

2-2. 離職男性と勤続男性の違い

①離職者と勤続者の職務遂行能力伸長の速度の違い

各行動特性が入職後どれくらい勤続したタイミングでどの程度伸長したのか、離職者と勤続者とで比較することで、両者の職務遂行能力伸張速度の違いを検討しよう(図表4-2①)。

「3ヶ月超3年以内」のグループでは、離職者は4つ、勤続者は6つの行動特性について有意な伸長を示した。勤続者・離職者ともに伸長したのは「受身ではなく自分から行動する」「自分を客観的に認識する」「他者を説得して動かす」であり、これらは男性正社員全般が入社後間もなく習得する基本的な職務遂行能力といえるだろう。一方、離職者でのみ伸長したのは「目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける」であり、勤続者でのみ伸長したのは「課題を見つけ出し、目標を持つ」「具体的な方策を見つけて計画を立てる」「会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する」である。勤続者の方が離職者よりも早いタイミングで職務遂行能力を向上させているようだ。また離職者のみで有意な伸長が認められた「目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける」についても、勤続者の得点は3ヶ月時点ですでに離職者より高い。勤続者はそもそもの能力水準が高いために伸びしろが小さいだけであって、勤続者が離職者より劣っているわけではない。

「3年超5年以内」のグループでは、離職者は7つ、勤続者は8つの行動特性について有意な伸長を示した。個々の行動特性についてみると、両者とも「3ヶ月超3年以内」のグループで伸長が見られた諸特性はすべて「3年超5年以内」のグループでも伸長しており、さらに離職者は「具体的な方策を見つけて計画を立てる」「会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する」「他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する」について、勤続者は「考えるだけ、言うだけでなく、行動する」「目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける」についても伸長がみられた。これらは3年を超えて勤務することで伸長するやや難易度の高い行動特性と言えよう。

「5年超10年以内」のグループでは、離職者は7つ、勤続者は全ての行動特性について有意な伸長を示した。勤続者では、「3ヶ月超3年以内」のグループで伸長が見られた諸特性は「5年超10年以内」のグループでも伸長しており、さらに、「他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する」「最後までやりとげる」が伸長している。一方、離職者は「課題を見つけ出し、目標を持つ」「最後までやり遂げる」「他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する」については有意な伸長がみられなかった。これらの行動特性は、長期勤務することでやっと伸長する、かなり難易度の高い行動特性であると考えられる。また男性正社員にとって離職せず長期にわたり働き続けることそのものが「最後までやりとげる」という行動特性を習得できた実感をもたらす要因になっているとも考えられる。

②離職者と勤続者の職務遂行能力の水準の違い

離職者も勤続者も勤め続けることで職務遂行能力を伸ばしているとしても、その水準は離職者と勤続者とでは異なるのではないだろうか。図表4-2②は、「初めての正社員勤務先」における勤続期間が10年以内の男性の、入職3ヶ月後時点の行動特性得点および行動特性得点総計値の平均を、同じ勤続期間グループ内の離職者と勤続者とで比較し、独立したサンプル間の差の検定を行った結果である。離職者の平均値と勤続者の平均値との間に、5%の水準で有意な差があるといえる場合には不等号でどちらが大きいかを示し、離職者の方が大きい場合にはその値を網掛、勤続者の方が大きい場合には、その値を斜体+下線で示した。

「3ヶ月超3年以内」ではすべての行動特性について勤続者の方が高得点である。しかし「3年超5年以内」では勤続者の方が有意に高得点であるのは「他者を説得して動かす」「他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する」のみになり、「5年超10年以内」では、むしろ離職者の方が「考えるだけ、言うだけでなく、行動する」「受身ではなく自分から行動する」「目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける」といった行動特性で有意に高い得点を示しており、勤続者の方が有意に高い行動特性はない。

次章で述べるが、入職後短期間で離職する男性は、離職理由として仕事がうまくできず自信を失ったことを挙げる傾向がある。上記の分析結果には、入職3ヶ月後時点の能力水準が低かった人ほど早期に離職し、入職3ヶ月後時点の能力水準が高かった人ほど長期間にわたり働き続けるという、職務遂行能力による自然淘汰の過程が表れていると考えられる。さらに「5年超10年以内」という長期にわたり働いた人の中では離職者の方が勤続者より入職3ヶ月後の行動特性得点が高く現れる。これは、入職時の能力が高かった人は就職活動時に雇用主から高評価を受けた可能性が高く、転職についても前向きな期待を抱くことができるため、キャリアアップするべく離職する傾向を反映していると推察される。

図表4-2② 離職者と勤続者の入職3ヶ月後時点の行動特性得点平均値の比較
(勤続期間別・勤続期間3ヶ月超10年以内の男性)

男性	3ヶ月超3年以内			3年超5年以内			5年超10年以内		
	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p
課題を見つけ出し、目標を持つ	2.82	< <u>3.36</u>	***	3.13	3.21		3.32	3.18	
具体的な方策を見つけて計画を立てる	2.76	< <u>3.32</u>	***	3.02	3.14		3.20	3.08	
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	2.96	< <u>3.52</u>	***	3.30	3.41		3.49	> 3.27	*
最後までやりとげる	3.07	< <u>3.68</u>	***	3.57	3.60		3.75	3.61	
受身ではなく自分から行動する	2.81	< <u>3.35</u>	***	3.13	3.21		3.40	> 3.19	*
自分を客観的に認識する	2.86	< <u>3.33</u>	***	3.14	3.16		3.29	3.13	
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	2.64	< <u>3.21</u>	***	2.91	2.99		3.27	> 2.94	***
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	2.69	< <u>3.15</u>	***	2.97	3.12		3.18	3.03	
他者を説得して動かす	2.39	< <u>2.88</u>	***	2.56	< <u>2.81</u>	*	2.92	2.77	
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	2.75	< <u>3.40</u>	***	3.01	< <u>3.31</u>	**	3.40	3.32	
行動特性得点総計値	27.74	< <u>33.20</u>	***	30.75	31.95		33.23	> 31.53	*
N	628	420		218	310		171	830	

独立したサンプルの差の検定: *** <.001 ** <.01 * <.05

※検定結果が5%水準で有意かつ離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

図表4-2③ 離職者と勤続者の離職直前／調査時点の行動特性得点平均値の比較
(勤続期間別・勤続期間10年以内の男性)

男性	3年以内			3年超5年以内			5年超10年以内		
	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p
課題を見つけ出し、目標を持つ	2.82	< <u>3.56</u>	***	3.23	< <u>3.56</u>	***	3.46	< <u>3.67</u>	*
具体的な方策を見つけて計画を立てる	2.80	< <u>3.49</u>	***	3.21	< <u>3.50</u>	**	3.54	3.67	
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	2.96	< <u>3.56</u>	***	3.36	< <u>3.63</u>	**	3.65	3.73	
最後までやりとげる	3.06	< <u>3.74</u>	***	3.44	< <u>3.64</u>	*	3.80	3.81	
受身ではなく自分から行動する	2.88	< <u>3.57</u>	***	3.39	3.49		3.62	3.67	
自分を客観的に認識する	2.94	< <u>3.44</u>	***	3.29	3.45		3.56	3.56	
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	2.74	< <u>3.29</u>	***	3.10	< <u>3.38</u>	**	3.52	3.49	
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	2.74	< <u>3.37</u>	***	3.14	< <u>3.47</u>	***	3.56	3.59	
他者を説得して動かす	2.54	< <u>3.15</u>	***	3.02	< <u>3.27</u>	*	3.38	3.45	
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	2.73	< <u>3.45</u>	***	3.24	3.41		3.53	3.57	
行動特性得点総計値	28.21	< <u>34.61</u>	***	32.43	< <u>34.81</u>	**	35.61	36.21	
N	672	424		218	310		171	830	

独立したサンプルの差の検定: *** <.001 ** <.01 * <.05

※検定結果が5%水準で有意かつ離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

次に同様の手順で、全ての男性の現在（離職直前／調査時点）の行動特性得点および行動特性総計値について、離職者と勤続者の平均値を同じ勤続期間段階グループ内で比較し、独立したサンプル間の差の検定を行った（図表4-2③）。5%の水準で有意な差がある場合には不等号でどちらが大きいかを示し、離職者の方が大きい場合は網掛、勤続者の方が大きい場合は斜体＋下線で示した。

「3年以内」のグループでは勤続者の方があらゆる行動特性において大差をつけて有意に高い得点を示した。しかし「3年超5年以内」では「受け身ではなく自分から行動する」「自分を客観的に認識する」「他者と他者との間を取り持ちよい人間関係を構築する」について有意差が見られなくなり、「5年超10年以内」になると勤続者の方が有意に高得点である行動特性は「課題を見つけ出し、目標を持つ」のみとなる。すなわち、勤続期間が長くなるほど勤続者と離職者の能力水準の差が小さくなる。この分析結果は、若者が早期に離職する会社ほど十分に能力開発ができる環境がないとも解釈できるし、入職時点での能力水準が高く伸びしろが小さい若者ほど成長の実感が得られず早期に離職し、能力水準が伸長して自信がついた若者ほど勤続5年を超えた頃からキャリアアップのために離職し始めるとも解釈できる。

3. 女性の職務遂行能力の変化と離職傾向

3-1. 全体的な傾向

次に、女性について同様の分析を行った結果をみてみよう。図表4-3①は、入職3ヶ月後時点から現在（離職直前／調査時点）にかけて、どの職務遂行能力がどのタイミングでどの程度伸長したといえるのか検討した結果である。5%の水準で有意差がある場合には不等号でどちらが大きいかを示し、入職3ヶ月後の方が大きい場合には網掛、離職直前／調査時点の方が大きい場合には斜体+下線で示した。

離職者も勤続者も、全ての勤続期間段階グループにおいて、あらゆる行動特性得点について、入職3ヶ月後時点より離職直前／調査時点の得点がより高い、もしくは有意差がない。また、勤続期間が短いグループより長いグループの方がより多様な行動特性について有意な伸長がみられる。さらに、より勤続期間が短いグループで有意な伸長が見られた行動特性は、必ずそれより勤続期間が長いグループにおいても有意な伸長が見られる。

さらに「3年超5年以内」のグループの分析結果を2016年調査の同じ勤続期間のグループの分析結果と比べると、有意な伸長を示した行動特性はかなりの部分で一致する。また離職者では一部の行動特性のみ有意に伸長したのに対し、勤続者は全ての行動特性が有意に伸長した点も一致する。したがって女性についても男性と同様に、若年正社員の職務遂行能力は、「初めての正社員勤務先」を最終的には離職する場合も勤続する場合も、長く勤めるほど伸長すると考えられる。ただし、離職者の離職直前の様々な行動特性得点は勤続期間が長いグループでより高いのに対し、勤続者では3年超5年以内と5年超10年以内の調査時点の得点がほぼ同じであることから、行動特性得点の伸長には上限があり、その天井は3ヶ月後時点の行動特性がより高かった勤続者の方が早く訪れると考えられる。

図表4-3① 入職3ヶ月後時点と離職直前／調査時点の行動特性得点平均値の比較
(勤続期間・勤続別，勤続期間3ヶ月超10年以内の女性)

女性離職者	3ヶ月超3年以内			3年超5年以内			5年超10年以内		
	3ヶ月後	離職直前	p	3ヶ月後	離職直前	p	3ヶ月後	離職直前	p
課題を見つけ出し、目標を持つ	3.28	3.21		3.46	3.42		3.54	< <u>3.69</u>	*
具体的な方策を見つけて計画を立てる	3.18	3.22		3.36	3.45		3.44	< <u>3.79</u>	***
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	3.48	3.41		3.59	3.67		3.65	< <u>3.87</u>	***
最後までやりとげる	3.57	3.58		3.79	3.81		4.02	4.12	
受身ではなく自分から行動する	3.35	3.37		3.57	3.63		3.58	< <u>3.85</u>	***
自分を客観的に認識する	3.13	3.20		3.19	< <u>3.44</u>	***	3.37	< <u>3.67</u>	***
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	2.96	3.01		3.11	< <u>3.32</u>	**	3.23	< <u>3.65</u>	***
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	3.09	3.09		3.20	3.32		3.32	< <u>3.67</u>	***
他者を説得して動かす	2.49	< <u>2.70</u>	***	2.67	< <u>3.05</u>	***	2.79	< <u>3.41</u>	***
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	3.14	3.15		3.41	3.51		3.50	< <u>3.68</u>	*
行動特性得点総計値	31.68	< <u>31.94</u>	0.0	33.34	< <u>34.63</u>	**	34.43	< <u>37.41</u>	***
N	846			335			243		
女性勤続者	3ヶ月超3年以内			3年超5年以内			5年超10年以内		
	3ヶ月後	調査時点	p	3ヶ月後	調査時点	p	3ヶ月後	調査時点	p
課題を見つけ出し、目標を持つ	3.45	3.50		3.30	< <u>3.68</u>	***	3.36	< <u>3.62</u>	***
具体的な方策を見つけて計画を立てる	3.28	< <u>3.55</u>	***	3.23	< <u>3.68</u>	***	3.26	< <u>3.65</u>	***
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	3.58	< <u>3.69</u>	*	3.54	< <u>3.83</u>	***	3.47	< <u>3.76</u>	***
最後までやりとげる	3.82	< <u>3.97</u>	***	3.76	< <u>4.01</u>	***	3.86	< <u>4.05</u>	***
受身ではなく自分から行動する	3.44	< <u>3.64</u>	***	3.34	< <u>3.76</u>	***	3.43	< <u>3.72</u>	***
自分を客観的に認識する	3.35	< <u>3.59</u>	***	3.28	< <u>3.66</u>	***	3.19	< <u>3.59</u>	***
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	3.10	< <u>3.37</u>	***	3.14	< <u>3.56</u>	***	3.00	< <u>3.63</u>	***
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	3.15	< <u>3.39</u>	***	3.09	< <u>3.59</u>	***	3.08	< <u>3.57</u>	***
他者を説得して動かす	2.66	< <u>3.01</u>	***	2.67	< <u>3.27</u>	***	2.56	< <u>3.32</u>	***
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	3.39	< <u>3.61</u>	***	3.37	< <u>3.59</u>	**	3.18	< <u>3.64</u>	***
行動特性得点総計値	33.23	< <u>35.31</u>	***	32.72	< <u>36.63</u>	***	32.40	< <u>36.56</u>	***
N	355			195			355		

対応のあるサンプルの差の検定: *** < .001 ** < .01 * < .05

※検定結果が5%水準で有意かつ離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

3-2. 離職女性と勤続女性の違い

①離職者と勤続者の職務遂行能力伸長の速度の違い

女性の職務遂行能力の伸長速度が離職者と勤続者でどう異なるのか、以下に勤続期間の異なるグループごとに各行動特性が伸長したタイミングをみていこう（図表4-3①）。

女性勤続者は、勤続期間が「3ヶ月超3年以内」のグループでは「課題を見つけ出し、目標を持つ」以外の全ての行動特性に有意な伸長が見られ、「3年超5年以内」「5年超10年以内」のグループでは全ての行動特性が有意に伸長している。

これに対して女性離職者は、勤続期間が「3ヶ月超3年以内」のグループでは、有意な伸長がみられた行動特性は「他者を説得して動かす」のみであったが、「3年超5年以内」のグループでは「他者を説得して動かす」に加えて「自分を客観的に認識する」「目的達成のため

に周囲の人々や環境に働きかける」が有意な伸長を示した。「5年超10年以内」のグループでは、離職者も「最後までやりとげる」を除く全ての行動特性に有意な伸長がみられた。

各勤続期間段階グループで有意な伸長がみられた行動特性の項目数を男性離職者と女性離職者とで比べると、勤続期間「3ヶ月超3年以内」のグループでは男性が4つ、女性が1つ、「3年超5年以内」のグループでは男性が7つ、女性が3つである。しかしこの結果をもって、女性の離職者が男性の離職者より能力水準が低いとは言えない。というのも女性離職者は男性離職者より入職3ヶ月後時点の行動特性の得点が全般にかなり高い。この傾向は勤続期間が短いほど顕著である。女性の離職者は入職時点で既に能力水準が高かったため伸びしろが小さく、3年以内という短期間では離職直前までに有意差が現れるほどの伸長がみられなかったのだろう。女性は男性より労働市場で不利な立場にある。そんな中でも正社員の仕事を得られた人は能力水準が入職時点で既に高いのかもしれない。

また、女性において勤続者・離職者ともに「3ヶ月超3年以内」のグループで有意な伸長がみられた「他者を説得して動かす」は、男性においても勤続者・離職者ともに「3ヶ月超3年以内」のグループで有意な伸長がみられたものである。同様に、女性において「3年超5年以内」のグループで有意な伸長がみられた「自分を客観的に認識する」「目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける」は男性においても勤続者・離職者ともに「3年超5年以内」のグループで有意な伸長がみられたものである。これらの行動特性は性別やその後の勤続有無を問わず、若い正社員全般が入職後3年以内・5年以内に向上させる普遍性の高い職務遂行能力といえるだろう。

②離職者と勤続者の職務遂行能力の水準の違い

次に、離職者と勤続者の職務遂行能力の水準には差があるのか検討する。図表4-3②は、「初めての正社員勤務先」での勤続期間が10年以内の女性の、入職3ヶ月後時点の行動特性得点および行動特性得点総計値の平均を、同じ勤続期間グループ内の離職者と勤続者とで比較し、独立したサンプル間の差の検定を行った結果である。5%水準で有意差がある場合には不等号でどちらが大きいかを示し、離職者の方が大きい場合は網掛、勤続者の方が大きい場合は斜体+下線で示した。

勤続期間「3ヶ月超3年以内」のグループをみると、男性は全ての行動特性において勤続者がより高得点だったのに対して、女性は約半数の行動特性（「課題を見つけ出し、目標を持つ」「最後までやりとげる」「自分を客観的に認識する」「他者を説得して動かす」「他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する」）についてのみ勤続者の方が有意に高い得点を示した。先述のとおり女性離職者は特に勤続期間が短いグループにおいて入職3ヶ月後時点の行動特性得点が高いため、男性ほどには離職者と勤続者との間に差が生じないのだろう。

「3年超5年以内」のグループでは、唯一「受身ではなく自分から行動する」について離職者の方が高得点である。「5年超10年以内」のグループでは、男性と同様に離職者の方が高

得点の行動特性が増大した（「考えるだけ、言うだけでなく、行動する」「最後までやりとげる」「受身ではなく自分から行動する」「自分を客観的に認識する」「目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける」「会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する」「他者を説得して動かす」「他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する」）。これらの、勤続期間が長くなるほど離職者の方が高得点となる傾向は 2016 年調査でも確認されている。

図表 4-3② 離職者と勤続者の入職 3 ヶ月後時点の行動特性得点平均値の比較
(勤続期間別・勤続期間 3 ヶ月超 10 年以内の女性)

女性	3ヶ月超3年以内			3年超5年以内			5年超10年以内		
	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p
課題を見つけ出し、目標を持つ	3.28	< 3.45	*	3.46	3.30		3.54	3.36	
具体的な方策を見つけて計画を立てる	3.18	3.28		3.36	3.23		3.44	3.26	
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	3.48	3.58		3.59	3.54		3.65	> 3.47	*
最後までやりとげる	3.57	< 3.82	***	3.79	3.76		4.02	3.86	
受身ではなく自分から行動する	3.35	3.44		3.57	> 3.34	*	3.58	3.43	
自分を客観的に認識する	3.13	< 3.35	**	3.19	3.28		3.37	> 3.19	*
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	2.96	3.10		3.11	3.14		3.23	> 3.00	*
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	3.09	3.15		3.20	3.09		3.32	> 3.08	*
他者を説得して動かす	2.49	< 2.66	*	2.67	2.67		2.79	> 2.56	*
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	3.14	< 3.39	***	3.41	3.37		3.50	> 3.18	***
行動特性得点総計値	31.68	< 33.23	**	33.34	32.72		34.43	> 32.40	**
N	846	355		335	195		243	355	

独立したサンプルの差の検定: *** <.001 ** <.01 * <.05

※検定結果が5%水準で有意かつ離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

図表 4-3③ 離職者と勤続者の離職直前／調査時点の行動特性得点平均値の比較
(勤続期間別・勤続期間 10 年以内の女性)

女性	3年以内			3年超5年以内			5年超10年以内		
	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p	離職者	勤続者	p
課題を見つけ出し、目標を持つ	3.18	< 3.50	***	3.42	< 3.68	**	3.69	3.62	
具体的な方策を見つけて計画を立てる	3.19	< 3.55	***	3.45	< 3.68	*	3.79	3.65	
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	3.39	< 3.69	***	3.67	3.83		3.87	3.76	
最後までやりとげる	3.54	< 3.97	***	3.81	< 4.01	*	4.12	4.05	
受身ではなく自分から行動する	3.35	< 3.64	***	3.63	3.76		3.85	3.72	
自分を客観的に認識する	3.18	< 3.58	***	3.44	< 3.66	*	3.67	3.59	
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	2.99	< 3.37	***	3.32	< 3.56	*	3.65	3.63	
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	3.08	< 3.39	***	3.32	< 3.59	**	3.67	3.57	
他者を説得して動かす	2.68	< 3.01	***	3.05	< 3.27	*	3.41	3.32	
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	3.12	< 3.60	***	3.51	3.59		3.68	3.64	
行動特性得点総計値	31.69	< 35.31	***	34.63	< 36.63	**	37.41	36.56	
N	883	358		335	195		243	355	

独立したサンプルの差の検定: *** <.001 ** <.01 * <.05

※検定結果が5%水準で有意かつ離職者の方が高い場合を網掛、勤続者の方が高い場合を斜体と下線で示した

※高校卒には専門・短大・高専中退、大学中退を、大学・大学院卒には大学院中退を含む

次に同様の手順で、全ての女性の現在（離職直前／調査時点）の行動特性得点および行動特性総計値について、離職者と勤続者の平均値を同じ勤続期間段階グループ内で比較し、独立したサンプル間の差の検定を行った（図表4-3③）。5%の水準で有意な差がある場合には不等号でどちらが大きいかを示し、離職者の方が大きい場合は網掛、勤続者の方が大きい場合は斜体＋下線で示した。

勤続期間が「3年以内」のグループでは全ての行動特性について勤続者の方が有意に高得点を示すが、「3年超5年以内」では「考えるだけ、言うだけでなく、行動する」「受身ではなく自分から行動する」「他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する」について有意差が見られず、「5年超10年以内」では全ての行動特性について有意差がみられなくなる。

以上の分析結果を考察する。男性と同様に女性においても、入職3ヶ月後時点の能力水準が低かった人ほど早期に離職し、高かった人ほど長期間働いてから離職するという自然淘汰が起きているようだ。ただし淘汰のタイミング（離職者の方が勤続者より行動特性が有意に高得点となるタイミング）は、男性では入職から5年が過ぎた頃であるのに対して、女性では3年が過ぎた頃から既に始まっている。

また男性と同様に女性においても、勤続期間が長くなるほど勤続者より離職者の職務遂行能力が高くなるという分析結果は、若者が早期離職する会社は彼女たちの能力を十分に向上させられない会社であることを示唆するのかもしれないし、勤続期間が長くなるほど能力水準が向上した人がキャリアアップのため離職していくことを示唆するのかもしれない。

ただし、女性特有の背景も考えられる。離職女性を「結婚・出産」を理由に離職した人とそれ以外の理由のみを回答した人とに分けて、離職直前の各行動特性得点の平均値を算出し比較した。その結果、全ての勤続期間段階において多くの行動特性の得点が、「結婚・出産」を理由に離職した女性の方が高いことがわかった。そして、各勤続期間段階の女性全体に占める「結婚・出産」を理由に離職した人の割合は勤続期間が長いグループほど高く、「5年超10年以内」では約6割にも及ぶ⁶。したがって女性の場合、キャリアアップのための転職より、能力が伸長した女性が勤続5年ほどで家族形成のために離職している状況を反映している可能性がある。女性が長く働き続けられるよう、一層の環境整備が望まれる⁷。

<参考文献>

- 岩脇千裕（2008）「理想の人材像と若者の現実—大学新卒者採用における行動特性の能力指標としての妥当性」JILPT ディスカッション・ペーパーシリーズ No.6, pp.43-83.
- Spencer, L. & Spencer, S, 1993, *Competence at Work*, Wiley. 梅津祐良・成田攻・横山哲夫 訳、2001、『「コンピテンシー」・マネジメントの展開——導入・構築・活用』生産性出版。

⁶ 「結婚・出産」を理由に挙げた割合は、勤続期間が「3年以内」のグループでは22.9%、「3年超5年以内」のグループでは39.4%、「5年超10年以内」のグループでは58.0%であった。

⁷ 女性の能力水準の伸長と結婚との関係は2016年調査においても確認できた。

第5章 「初めての正社員勤務先」を離職した理由と相談相手

日本社会では、未熟練の若者が正社員として雇用される機会是最終学歴修了時に集中しているため、たとえ新卒時に正社員として就職できても、十分な職務経験を得ないまま早期に離職してしまうと、再び正社員の仕事を見つけることが難しい。本報告の第二部では、初めて正社員として勤務した会社等（以下「初めての正社員勤務先」と略す）における勤続期間の長さによって、離職後のキャリア形成状況がどう異なるのか検討する。その前哨として本章では、全ての離職者 2,559 人（男性 1,078 人、女性 1,481 人）を分析対象とし、「初めての正社員勤務先」を離職するに至るまでの状況がそこでの勤続期間の長さによってどう異なるのか明らかにする。具体的には、「初めての正社員勤務先」を辞めた理由と、「初めての正社員勤務先」で正社員として働いていた間に仕事や働くことについての悩みを相談した相手について検討する。

なお 2016 年調査でも同様の分析を行ったが、その際の分析は離職者全体と新卒 3 年以内離職者とを比較するものであった。本調査では十分な数の回答者を得ることができたため、勤続期間をより細かく「1 年以内」「1 年を超えて 3 年以内」「3 年を超えて 5 年以内」「5 年を超えて 10 年以内」の 4 段階に区分している。そのため、若者を正社員として雇用した場合に、どのタイミングでどういったケアが必要になるのか、詳細な分析を行うことが可能である。

第 1 節 離職理由

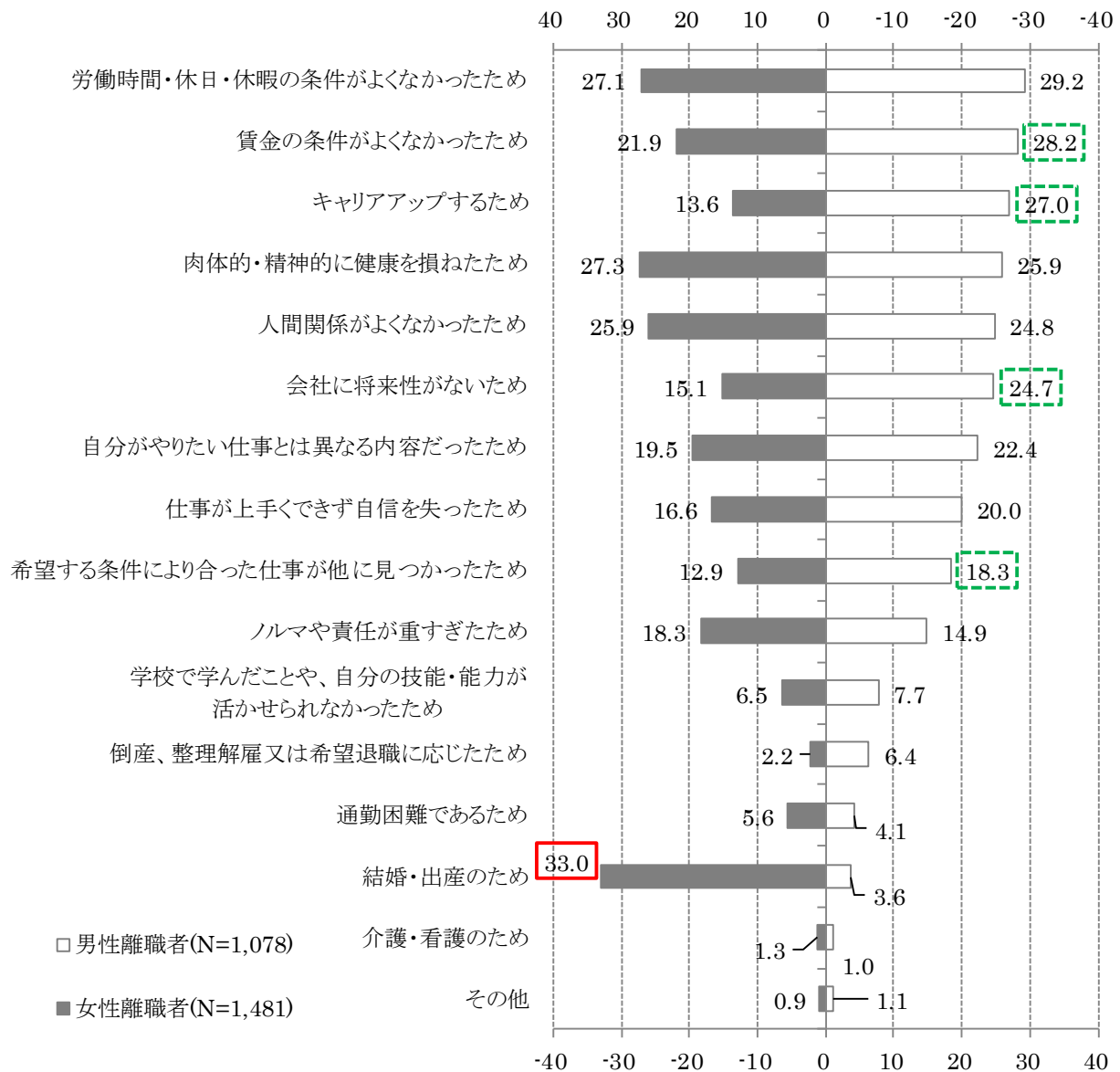
1. 離職者全体にみる「初めての正社員勤務先」を離職した理由

本調査では全ての離職者に、「初めての正社員勤務先」を離職した理由を複数回答で尋ねている。図表 5-1 は、男性離職者と女性離職者のそれぞれに占める、各理由で離職した人の割合（以下「回答率」）を、男性離職者の回答率が高い順に並べたグラフである。男性と女性との間に 5 ポイント以上の差がある理由のパーセンテージを、女性の方が高い場合は実線で、男性の方が高い場合は点線で囲っている。

男女の双方において、2 割以上の人挙げた理由は「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため」「賃金の条件がよくなかったため」「肉体的・精神的に健康を損ねたため」「人間関係がよくなかったため」であり、労働条件・待遇に対する不満や、心身の安寧が脅かされるような職場環境は、性別を問わず若者が離職を決意する主要な理由であることがわかる。一方、男女とも「倒産、整理解雇又は希望退職に応じたため」「介護・看護のため」「通勤困難なため」「学校で学んだことや自分の技能・能力を活かせられなかった」の回答率は小さい。

図表 5-1 「初めての正社員勤務先」を離職した理由（MA, 性別, 離職者全体）

単位：％ 男性離職者全体の回答率が高い順



男女の離職理由には大きな違いがみられ、女性は「結婚・出産のため（33.0%）」が突出している。その他の理由の回答率は男性より低いと同程度である。これに対して、男性の回答率が女性より大幅に高い理由は「賃金の条件がよくなかったため」「キャリアアップするため」「会社に将来性がないため」「希望する条件により合った仕事が見つかなかったため」など、比較的前向きで新しい雇用機会をすでに得た人が選ぶ理由である。なかでも「キャリアアップするため」は、女性とのポイント差が13.4もある。労働市場において男性は女性より恵まれた状況にあることを反映する結果であり、この傾向は2016年調査でも確認されている。

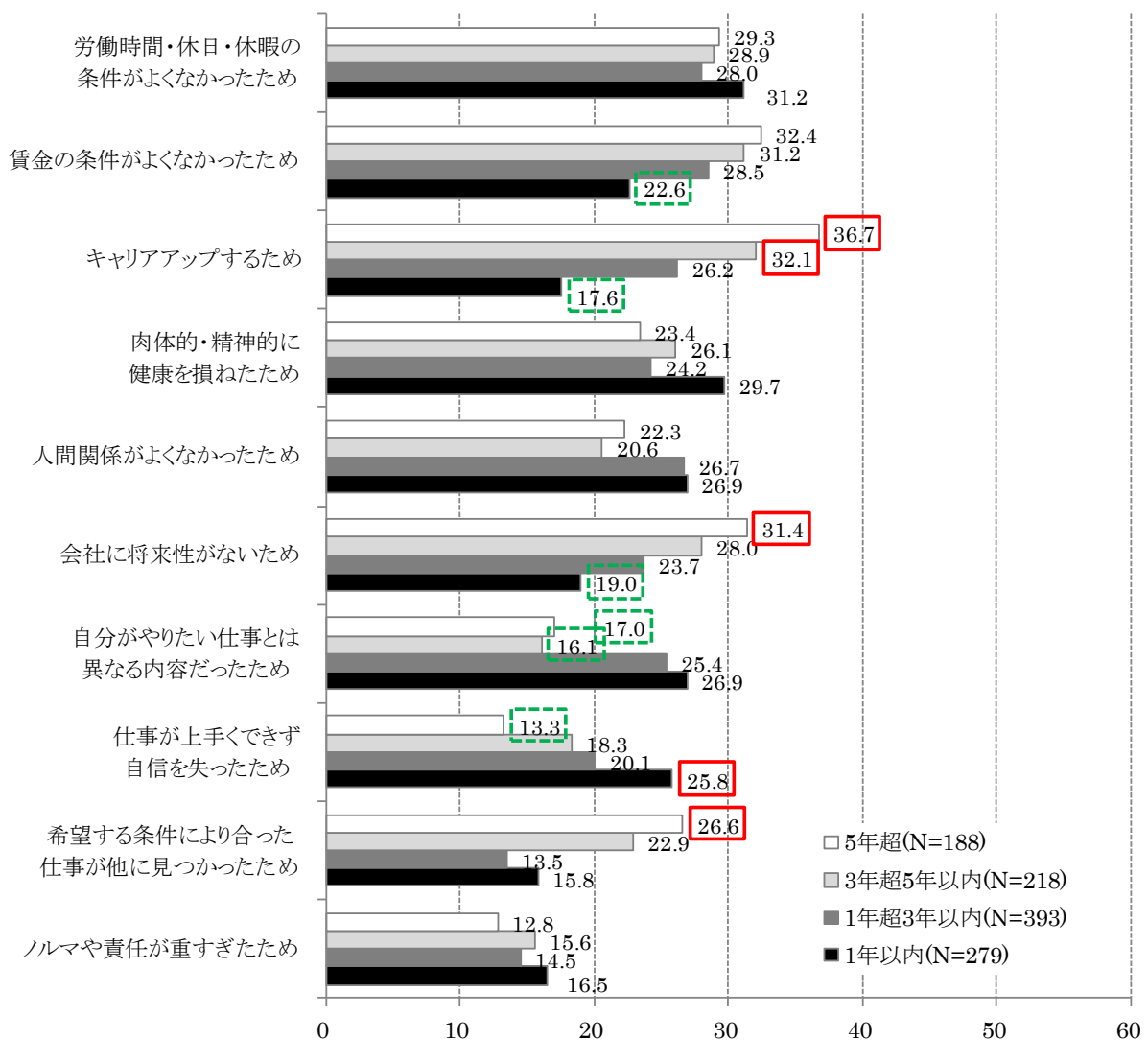
2. 男性の離職理由と勤続期間との関係

以上をふまえて、男性と女性のそれぞれについて、特に該当する人が多い離職理由に焦点を絞り、「初めての正社員勤務先」における勤続期間と離職理由との関連を見ていこう。

図表5-2①は、男性の離職理由を勤続期間の段階別に比較したグラフである。煩雑さを避けるため、16項目ある離職理由の中から、男性離職者全体の回答率が1割以上の10項目を取り出し、男性離職者全体の回答率が高い順に並べた。また、男性離職者全体と比べて各勤続期間グループの回答率が5ポイント以上高い場合を実線、低い場合を点線で囲った。

図表5-2① 男性の「初めての正社員勤務先」を離職した理由（MA、勤続期間別）

単位：％ 男性離職者全体の回答率が高い順



勤続期間が長いほど回答率が高くなる理由は、「賃金の条件がよくなかったため」「キャリアアップするため」「会社に将来性がないため」「希望する条件により合った仕事他に見つかったため」であり、いずれも勤続期間が「5年超 10年以内」の人では3～4人に1人が回答している。正社員として長く働いてから離職する男性は、就労経験を生かしてより条件のよい仕事へと転職していくようだ。反対に勤続期間が短いほど回答率が高くなる理由は、「自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため」「仕事が上手くできず自信を失ったため」であり、前者は勤続期間が5年以内の人が挙げる傾向があり、後者は勤続期間の長さとは反比例して徐々に回答率が高くなる。入職から5年間という期間は若い男性にとって、適職模索の期間となっているようだ。また、第4章でみたように勤続期間が短いうちに離職する人は入職時の職務遂行能力が比較的低い人が多く、そうした人たちが自信を失い離職していると推察できる。不本意な離職を防ぐためには、入職前に職務遂行能力を向上させる機会を充実させるとともに、採用時に正確な情報をもとに、若者が自分の個性と業務内容との相性を十分に見極められるよう支援することが必要だ。

3. 女性の離職理由と勤続期間との関係

同様の手順で、女性について「初めての正社員勤務先」における勤続期間と離職理由との関連を見ていこう。図表5-2②に、16項目ある離職理由の中から女性離職者全体の回答率が1割以上の11項目を取り出し、女性離職者全体の回答率が高い順に並べた。また、女性離職者全体と比べて各勤続期間グループの回答者の割合が5ポイント以上高い場合を実線、低い場合を点線で囲った。

勤続期間が長いほど回答率が高い理由は、「結婚・出産のため」のみである。勤続期間の長さとは比例して急激に回答率が高くなり、「5年超」では約6割にのぼる。

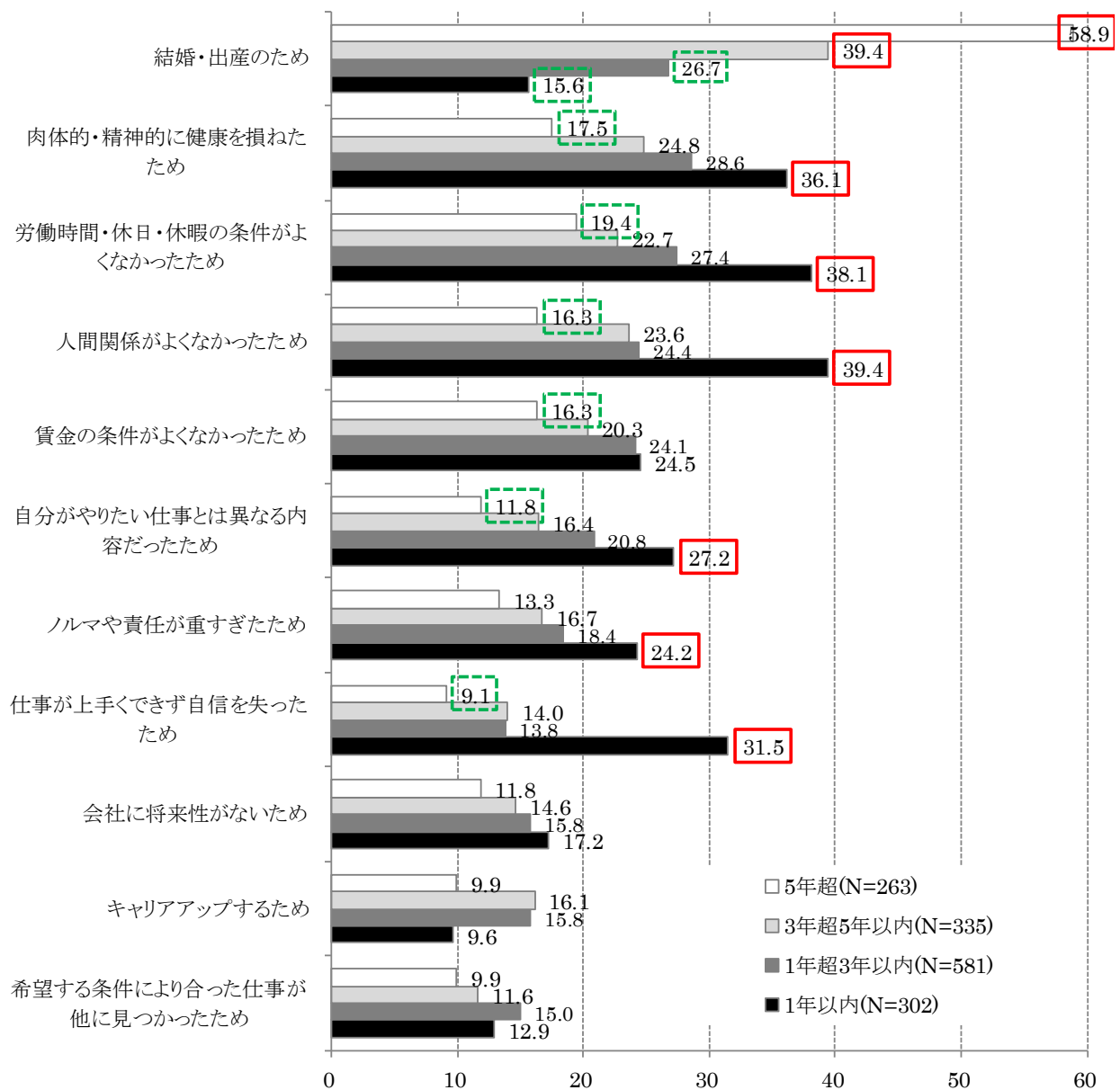
反対に、勤続期間が短いほど回答率が高い理由は、「肉体的・精神的に健康を損ねたため」「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため」「人間関係がよくなかったため」「賃金の条件がよくなかったため」「自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため」「ノルマや責任が重すぎたため」「仕事が上手くできず自信を失ったため」といった、心身の不調や能力不足、および勤務先の労働条件や職務・職場環境への不満といったネガティブな内容である。またこれらの大半において「1年以内」に離職した人の回答率が突出している。若い女性正社員の勤続を推進するためには、入職前の能力開発やマッチング精度の改善を推進するとともに、入職してから1年間の雇用管理や職場環境の整備が肝要である。

一方で、女性においては「キャリアアップするため」「希望する条件により合った仕事他に見つかったため」といった前向きな理由の回答率が男性より大幅に低い。そしてこれらの理由の回答率は勤続期間が「1年以内」「5年超 10年以内」の人より「1年超 3年以内」「3年超 5年以内」の人で比較的高い。女性は正社員としての転職機会に男性ほどには恵ま

れておらず、そうした機会は年齢が高くなるほど少なくなるため、ある程度経験を積んだら早い段階で転職を決断するのかもしれない。

図表5-2② 女性の「初めての正社員勤務先」を離職した理由（MA、勤続期間別）

単位：% 女性離職者全体の回答率が高い順



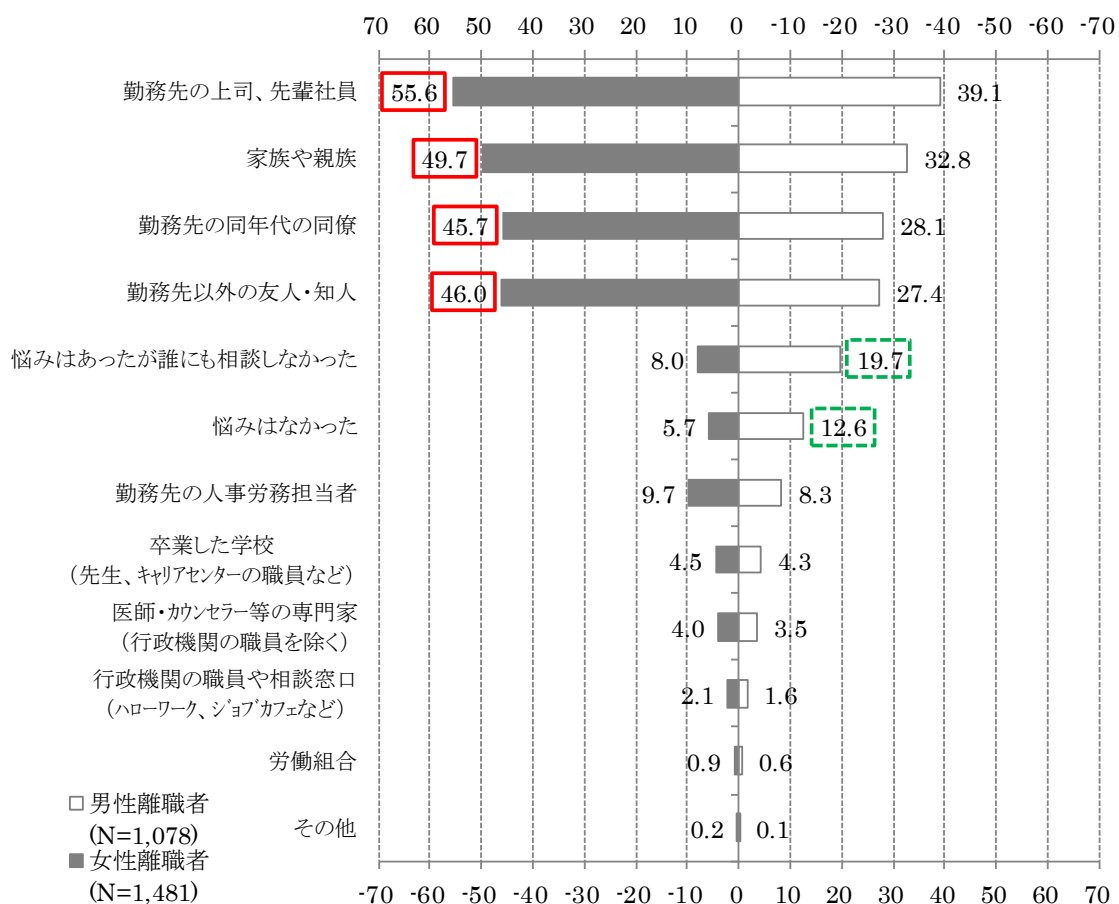
第2節 仕事や働くことについての相談相手

1. 男女で異なる相談相手

本調査ではすべての回答者に対して、「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから辞めるまで（勤続者は調査時点まで）の間に、仕事や働くことについての悩みを相談したことがある相手を複数回答で尋ねている。図表5-3は、離職者全体に占める、各選択肢の人物や団体に相談したことがある離職者の割合を性別に算出し、男性離職者の割合が高い順に並べたグラフである。男性と女性との間に5ポイント以上の差がある事柄のパーセンテージを、女性の方が高い場合を実線で、男性の方が高い場合を点線で囲っている。

図表5-3 仕事や働くことについて悩みを相談した相手（MA, 性別, 離職者全体）

単位：％ 男性離職者全体の回答率が高い順



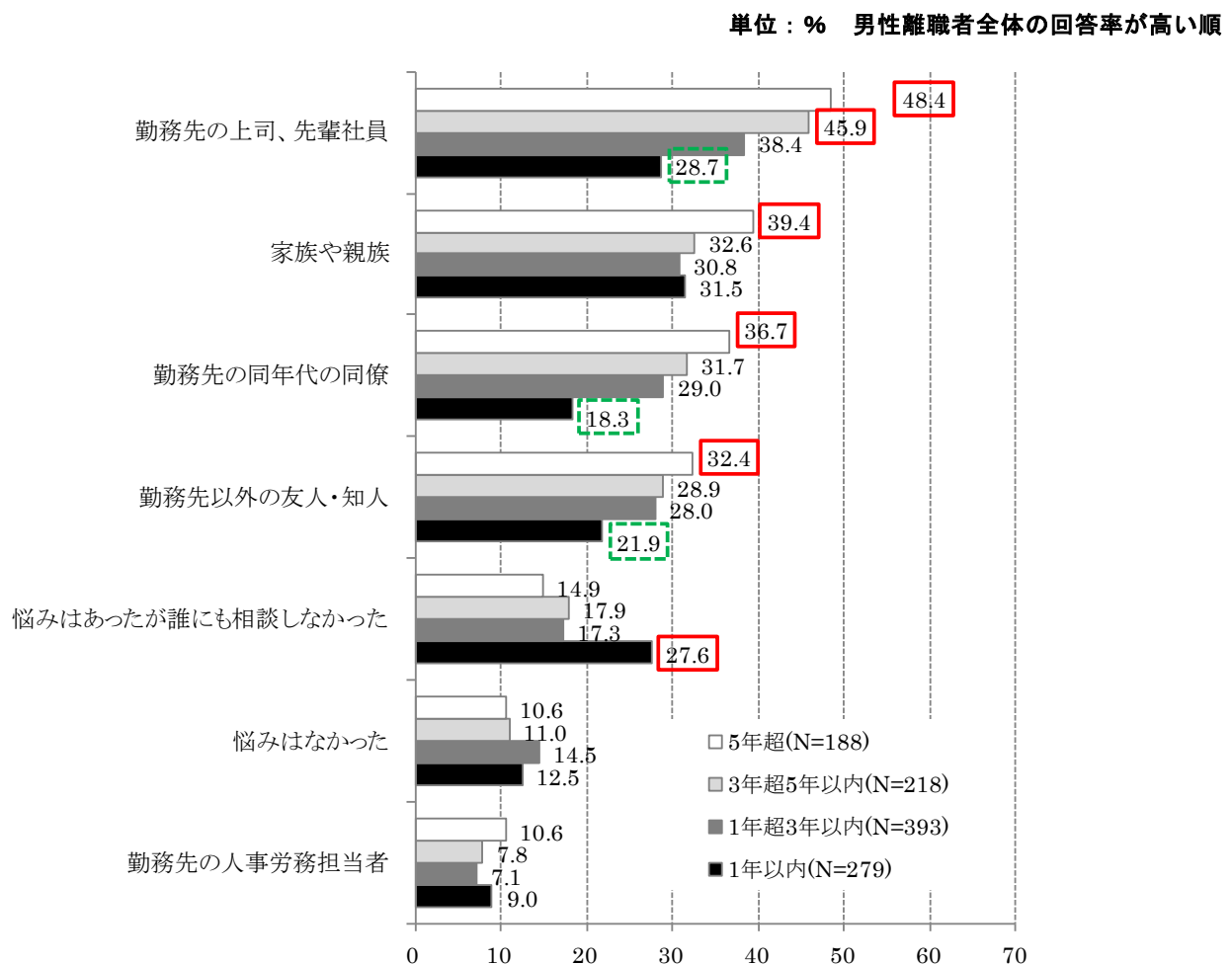
男女とも上位4項目は「勤務先の上司、先輩社員」「家族や親族」「勤務先の同年代の同僚」「勤務先以外の友人・知人」といった身近な人物で、男性の3割弱～4割、女性の4割強～6割弱の人が該当する。医師等の専門家、出身校や行政の相談窓口、労働組合に相談した人

は男女とも1割に満たない。男女の違いをみると、上位4項目の身近な人物への相談は女性の方が大幅に高く、16～19ポイントの差がある。反対に男性は「悩みはあったが誰にも相談しなかった（19.7%）」「悩みはなかった（12.6%）」の割合が女性（8.0%、5.7%）より大幅に高い。女性は悩みがあれば、一人だけでなく複数の身近な人物に相談できている。これに対して男性は、悩みが生じる傾向は女性より低い、悩みが生じた場合には周囲に相談せず抱え込む傾向がある。以上は2016年調査の結果と一致する。

2. 勤続期間別にみた男性離職者の相談相手

次に、離職者の相談相手を勤続期間ごとにみていこう。図表5-4①は、男性離職者に占める、各選択肢の人物・団体に相談したことがある離職者の割合を、勤続期間の異なるグループごとに算出し、男性離職者全体の回答率が高い順に並べたものである。煩雑さを避けるために、男性離職者全体の回答率が上位の7項目に限定している。また、各勤続期間段階の回答率が男性離職者全体より5ポイント以上高い場合を実線、低い場合を点線で囲っている。

図表5-4① 男性離職者の相談相手（MA、勤続期間別）



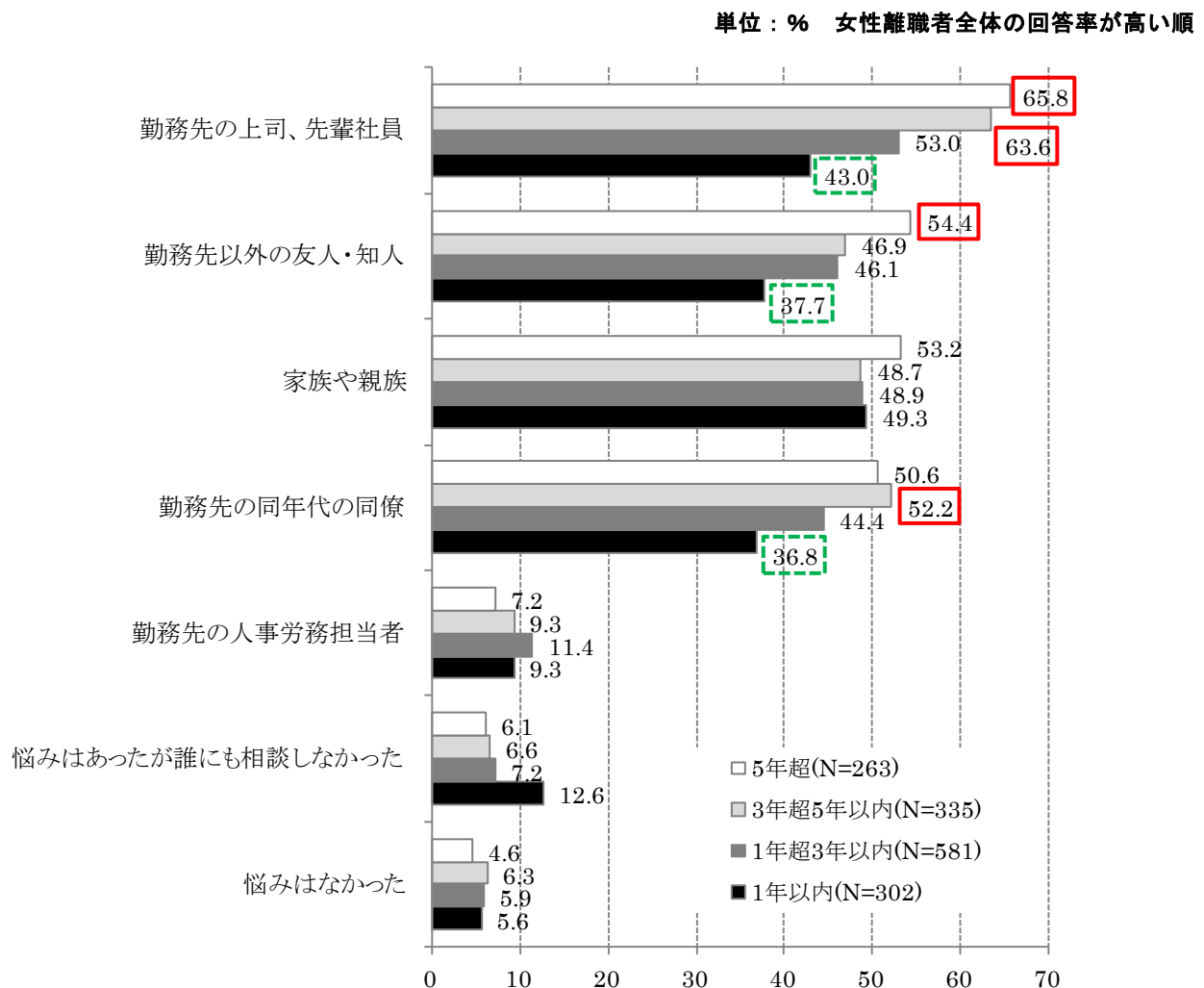
全体に、勤続期間が長いほど多くの相談相手がいる。反対に、勤続「1年以内」で離職した男性のおよそ3割が「悩みはあったが誰にも相談しなかった」と答えている。

勤続期間の長さとはほぼ比例して回答率が高くなる相談相手は「勤務先の上司、先輩社員」「勤務先の同年代の同僚」「勤務先以外の友人・知人」である。「勤務先の上司、先輩社員」は勤続期間が1年を超えた時と3年を超えた時に増大し、「勤務先の同年代の同僚」は1年を超えた時に増大する。

3. 勤続期間別にみた女性離職者の相談相手

同様の手順で、女性について勤続期間と相談相手との関連を見ていこう。図表5-4②に、女性離職者全体の回答率が上位の7項目を、女性離職者全体の回答率が高い順に並べた。女性離職者全体と比べて各勤続期間グループの回答率が5ポイント以上高い場合を実線、低い場合を点線で囲っている。

図表5-4② 女性離職者の相談相手（MA、勤続期間別）



女性も男性と同様に、勤続期間が長くなるほど相談相手が増える。また、「1年以内」に離職した人は「悩みはあったが誰にも相談しなかった」人の割合が高い。ただしその割合は12.6%と男性離職者に比べてはるかに小さい。

勤続期間の長さとはほぼ比例して回答率が高くなる相談相手は「勤務先の上司、先輩社員」「勤務先以外の友人・知人」である。男性と同様に「勤務先の上司、先輩社員」は勤続期間が1年を超えた時と3年を超えた時に増大する。ただし男性とは異なり、「1年以内」に辞めた人も4割強が「勤務先の上司、先輩社員」、4割弱が「勤務先の同年代の同僚」と、1年を超えずともかなりの人数が勤務先で相談できる相手を見つけている。

4. 入職初期段階における企業外相談体制の重要性

男性も女性も、勤務先の上司や先輩、同年代の同僚との間に、重要な相談をもちかけられることができるような人間関係を構築するには時間がかかる。特に勤続1年以内に離職した男性には、悩みがあっても誰にも相談せず抱え込んでしまった人が約3割もいる。若い正社員の職場定着を推進するためには、入職直後から相談できるような場を、職場の外に整備することが重要である。

また2016年調査や本調査の第3章で分析したように、離職者の「初めての正社員勤務先」は勤続者のそれよりも、会社の上司や先輩から若者に働きかけるコミュニケーションが大変不足している。職場のコミュニケーションを活性化し、若者が職場の一員としての帰属意識を早期にもつことができるよう、組織全体が努力することも必要だろう。

第6章 第一部のまとめ

本報告の第一部では、若者自身の特徴や初めて正社員として勤務した会社等（初めての正社員勤務先）におけるどのような経験が、若年者の離職と関連しているのか明らかにすることを試みた。以下に、得られた知見をまとめた上で、それらに基づく政策提言を行う¹。

第1節 新卒時の円滑な就職と離職傾向の関係

新卒時の就職の可否と離職傾向との関係は性別や学歴によって異なる。専門・短大・高専卒の女性は、新卒時に正社員として就職した人の離職率がより高く、高校卒の男性や大学・大学院卒の女性は、卒業から就職まで時間がかかった既卒者の離職率がより高い傾向がある。また全体に、既卒者の中でも卒業から1年以内に就職した人は、1年を超えてから就職した人より離職する傾向がみられる。このような入職時の経歴の違いが後の離職／勤続傾向と関連する事象は、新卒者と既卒者とでは就職活動時に得られる支援や情報、応募可能な求人の内容が異なることに起因すると考えられる。また、応募可能な求人の違いは、入職後の労働条件、待遇、教育訓練、職場環境などの違いにもつながり、ゆくゆくは若者たちの職場への定着・離職行動にも影響を及ぼすことになるのではないだろうか。

以上の問題意識から、本報告第一部の第1章から第3章では、「新卒時の就職の可否」がその後の離職／勤続傾向にもたらす影響を媒介する要因を探索した。具体的には、新卒就職者（卒業月または翌月に就職した人）と既卒就職者（卒業月の翌々月以降に就職した人）の「初めての正社員勤務先」における経験がどう異なるのか、またその経験の違いが離職傾向とどう関係しているのか分析した。

1-1. 「初めての正社員勤務先」に入職する前の状況

第1章では「初めての正社員勤務先」に入職する前の学生生活や就職活動、入職直前の就業状況と離職傾向との関連を、新卒就職者と既卒就職者のそれぞれについて検討した。

1-1-1. 学生生活・就職活動

高校卒の男女は、「職業を考慮して入学する高校を決めた」「学業成績優秀」、「個別の就職相談を利用」「職場体験等の実務学習経験あり」、男性は「課外活動」「業界・職業研究」、女性は「働くためのルール学習」によく取り組んだ人は、新卒時に正社員として就職した傾向がある。これらの活動は、新卒・既卒問わず高校卒の男性の勤続傾向を高める可能性がある

¹ 本報告は調査の概要を示すことが目的であるため、分析手法は多重クロス集計や平均値の比較にとどめた。したがって、以下に述べる分析結果の考察は、今後あらためて多変量解析を含む精査を行う必要がある。

が、高校卒の女性の勤続／離職傾向とはあまり関連が見られない。また高校在学中の過度なアルバイト活動は正社員として就職した後の離職傾向を高める可能性が示唆された。

専門・短大・高専卒の男女では、学生生活や就職活動への関与の度合いが新卒就職者と既卒就職者の間でほとんど変わらず、かつこれらの活動と離職／勤続傾向との関連もみられない。専門・短大・高専卒の若者の離職／勤続傾向は、入職後の経験に規定されているようだ。

大学・大学院卒の男女では、課外活動や業界・職業研究に熱心だった人が、さらに女性はインターンシップなどの実務学習に熱心であった人が、新卒時に就職した傾向がある。そして、学生生活や就職活動に精力的に取り組んだ人は、新卒時に就職できたか否かにかかわらず、勤続する傾向がみられる。勤続を促す可能性がある学生生活や就職活動の内容は、性別や入職時の経歴によって異なる。

1-1-2. 応募経路と得られた情報

若者が「初めての正社員勤務先」への応募に利用した経路は、新卒者であるか否かによって全く異なる。高校卒では、新卒就職者は学校経由の就職が圧倒的に多いのに対して、既卒就職者は職業安定所、インターネット上の求人サイト、求人広告、友人・知人の紹介で就職する人の割合が高い。専門・短大・高専卒では、新卒就職者は学校経由で就職する人が最も多いが、既卒就職者も2，3割が学校の紹介で就職している。既卒就職者はさらに、職業安定所、求人サイト、家族や友人の紹介、友人・知人の紹介も多い。大学・大学院卒では、新卒就職者は求人サイト、学校の紹介、希望する会社への直接問い合わせ、民間の職業紹介サービスが多く、既卒就職者はこれらに加えて、職業安定所、友人・知人の紹介、求人広告を利用する傾向がある。

新卒就職者は男女とも学歴問わず、学校の紹介で就職した人が勤続する傾向があるが、その他の応募経路と離職／勤続傾向との間には関連があまりない。既卒就職者は、高校卒や専門・短大・高専卒では家族・親戚や友人・知人に紹介された人や、会社に直接問い合わせた人が勤続する傾向がある。反対に、誰もが利用できるオープンな応募経路（職業安定所、求人広告、インターネットの求人サイトなど）を利用した人は離職傾向がみられる。さらに、既卒就職者が利用しがちなこれらのオープンな応募経路は、労働条件（特に労働時間の長さ）について、実際とは異なる情報を提供していた傾向がみられ、こうした情報のズレは若者の離職を促す傾向がある。

1-1-3. 入職直前の就業状況

既卒就職者の入職直前の状況は、卒業からの経過期間によって異なり、その期間が短いほど求職活動や勉強に専念していた傾向がみられる。反対に、卒業から正社員として就職するまでに時間がかかった人ほど、「初めての正社員勤務先」で正社員以外の形で働いていた人や、他の会社で契約社員やパート・アルバイトとして働いていた人の割合が高い。

1-1-4. 志望度合と入職理由

高校卒と専門・短大・高専卒の女性は志望度合の高低と離職傾向との間にあまり関連がないが、大学・大学院卒の女性と全ての学歴の男性は、新卒・既卒問わず、志望度が低い会社等に就職した「不本意就職者」は後に離職する傾向がみられる。

「初めての正社員勤務先」へ入職した理由と入職後の離職傾向との関連をみると、全体に、雇用の安定性やワーク・ライフバランスに関連する事柄（会社の将来性、労働時間、福祉厚生など）を考慮して入職を決めた人は勤続する傾向がある。一方、実際に従事する職務内容に関連する事柄（自分の技能・能力が活かせる、仕事の内容・職種、社会的意義がある等）を考慮した人の離職／勤続傾向は、性や学歴、入職時の経歴によって異なる。既卒就職者は応募可能な求人数が少ないため、多くの事柄を考慮して入職を決めることが難しい。しかし比較的選択肢の幅が広い大学・大学院の既卒者は、雇用の安定性やワーク・ライフバランスだけでなく、実際に従事する職務内容についても考慮することが勤続につながる傾向がある。また、専門・短大・高専の既卒男性では多くの事柄を考慮して入職した人が離職した傾向がみられた。

1-2. 「初めての正社員勤務先」の企業属性

第2章では、新卒就職者と既卒就職者の「初めての正社員勤務先」の特徴がどう異なるのか、それらの違いが離職傾向とどういった関連を持つのか検討した。

1-2-1. 企業規模・産業・職種

既卒就職者の「初めての正社員勤務先」は、厚生労働省による新卒就職者の3年以内離職率が高い産業（小売業、サービス業、医療福祉、教育学習支援など）や中小企業が多く、これらの企業へ就職した若者は離職する傾向がみられる。また新卒者の就く職種は、属性ごとに特定の職種に集中する（高校卒の男性は専門・技術職と生産工程、高校卒の女性は事務職、専門・短大・高専卒の男女は専門・技術職、大学・大学院卒の男女は専門・技術職と営業職、大学・大学院卒の女性は事務職など）。一方、既卒者はこれらに加え、販売職、サービス職など、同じ学歴の新卒者があまり就かない職種にも就く傾向がある。そして新卒者があまり就かない職種に就いた若者は、新卒・既卒問わず離職する傾向が見られる。

1-2-2. 社風（企業風土）

「初めての正社員勤務先」が「助け合い」「教育熱心」「長期育成」などの「若者を長い目で育成する方針」をとることは若者の勤続傾向を高める。反対に、「初めての正社員勤務先」の従業員の出入りが激しく人材流動性が高いことや、法令・社会的倫理違反が行われていることは、若者の離職傾向を高める傾向がある。そして、高校卒や大学・大学院卒の場合、新

卒就職の方が勤続を、既卒就職の方が離職を促す社風・企業風土の会社に入職した傾向がみられる。

ただし、既卒就職者は新卒就職者ほどには社風・企業体質の影響を受けない。新卒就職者や大学・大学院の既卒就職者（卒業からの経過期間が比較的短い人が多い）は、就労経験が少ないため影響を受けやすいのに対し、高校や専門・短大・高専の既卒就職者には正社員以外の形で長く働いてきた人が比較的多いため、そうした経験が、新しい職場環境への適応に役立っているのだと推察できる。

1-3. 「初めての正社員勤務先」による雇用管理

第3章では若年者の「初めての正社員勤務先」における労働条件（労働時間・給与、労働時間制度、労働時間・勤務地・職務の限定度合）と、教育訓練、職場でのコミュニケーション、職場トラブルの経験と離職／勤続傾向との関連について検討した。

1-3-1. 労働条件（給与・労働時間）

①給与

離職者と勤続者の現在（離職者は離職直前、勤続者は調査時点）の給与額を性・学歴・勤続期間ごとに比較すると、おおむね勤続者の方が高い傾向が見られた。低賃金は若者の離職を促す一要因である可能性がある。

さらに新卒就職者と既卒就職者の給与を比べると、高校卒では初任給も現在の給与も既卒就職者の方が高額である。高校の既卒就職者は入職時の年齢が高く、正社員以外の労働者としての就労経験がある人が多いため、その点を評価されて初任給が高くなるのだろう。また賃金カーブの傾斜も男性では新卒と既卒でほぼ同程度、女性では5年目までは既卒就職者の方が急傾斜であるため、現在の給与額も既卒就職者の方が高くなるのだろう。

専門・短大・高専卒は男女とも初任給には新卒と既卒の間に有意差がない。現在の給与額も男性は有意差がない。女性は新卒就職者の方が、現在の給与額がより高くかつ賃金カーブが右上がりになるタイミングも早い。

大学・大学院卒は男女とも初任給には新卒と既卒の間に有意差がない。現在の給与額は、男性は1年を超えて3年以内では既卒就職者、3年を超えて5年以内では新卒就職者の方が高い。女性は1年を超えて3年以内では新卒就職者の方が高いが、3年を超えると既卒就職者との間に差が見られなくなる。

②労働時間

現在（離職者は離職直前、勤続者は調査時点）の週あたり実労働時間の平均値は、離職者（男性 50.5 時間、女性 47.2 時間）は勤続者（男性 45.9 時間、女性 42.8 時間）より約5時

間長い。また週 60 時間以上働く人の割合も、離職者（男性 24.4%、女性 16.8%）は勤続者（男性 11.1%、女性 6.9%）の約 2 倍にのぼる。

学歴・入職時の経歴別の傾向をみると、男性では、高校の既卒就職者を除く全ての学歴と経歴において、離職者の労働時間は勤続者より有意に長く、その平均はいずれも 50 時間を超える。女性では、新卒就職者は全ての学歴において離職者の労働時間がより長い。特に専門・短大・高専の新卒女性は、どの学歴・経歴の女性と比べても労働時間が長く、かつ労働時間の長さが離職を促す傾向がある。これに対して、女性の既卒就職者はいずれの学歴も離職者と勤続者の労働時間に有意差がない。女性の長時間労働による離職は新卒就職者で発生しやすいようだ。

③労働時間制度

労働時間制度と離職／勤続傾向との関係は、「初めての正社員勤務先」の企業規模や産業、そこで就いた職業に特有の労働時間のあり方と、離職／勤続傾向との関係を反映しているため、若者の性・学歴・入職時の経歴によって異なる傾向を示す。

「通常の勤務時間制度」は高校の男性新卒就職者においては離職傾向と、全学歴・経歴の女性においては勤続傾向と関連がみられた。「フレックスタイム制度」は全学歴の男性新卒就職者および大学・大学院の女性新卒就職者の勤続傾向と関連がみられた。「変形労働時間制度」は高校の男性既卒就職者および大学・大学院の女性既卒就職者の勤続傾向との関連がみられたほか、専門・短大・高専の女性既卒就職者の離職傾向とも関連がみられた。「交代制」は全学歴・経歴の女性においては離職傾向と、高校の男性新卒就職者においては勤続傾向と関連がみられた。「裁量労働制・みなし労働時間制」は、高校の女性既卒就職者においては勤続傾向と、専門・短大・高専の男性既卒就職者および大学・大学院の男性新卒就職者においては離職傾向と関連がみられた。「時間管理なし」の働き方は全学歴の男性既卒就職者と、女性の高校新卒・既卒就職者の離職の離職傾向と関連がみられた。

1-3-2. 職務の限定性

「初めての正社員勤務先」で、離職者は離職直前、勤続者は調査時点に、職務や労働時間・勤務地等がどの様に限定されていたかを尋ねたところ、男性は特に新卒就職者において「いずれもあてはまらない」が約 4 割を占め、広い範囲の職務を負う人が多い。女性は職務や勤務地、労働時間のいずれかに何らかの制限がある人が多い。

労働時間・空間・職務の限定／無限定と、若者の離職／勤続傾向との関係をみると、職務の限定（「管理職にならない」「職種変更なし」「配置転換なし」）は高校と大学・大学院の既卒女性、専門・短大・高専の新卒女性および既卒男性の離職傾向と関連がある。労働空間の限定のうち「宿泊を伴う出張なし」は主に既卒就職者の離職傾向と関連がみられた。「国内転勤なし」「海外転勤なし」は多くの場合は勤続傾向と関連するが、大学・大学院の既卒女性に

においては離職傾向と関連している。労働時間の限定（「残業なし」「土日祝日の勤務なし」）は女性の勤続傾向と関連がある一方で、男性既卒者の離職傾向とも関連がある。「夜勤なし」と離職／勤続傾向との関連は性・学歴・入職時の経歴によって様々であった。

ただし労働時間・空間・職務の限定／無限定と離職／勤続傾向との関係は直接的なものではなく、上記のような限定が発生する／しない傾向のある産業や職種等の離職／勤続傾向との関係を反映しているものと推察できる。

1-3-3. 教育訓練

入職から3ヶ月後までに教育訓練（「規則や慣習の丁寧な説明」「Off-JT」「特定の教育係がついた」）を受けた人の割合は、男女とも全学歴において、新卒就職者の方が既卒就職者より高い。対照的に、先輩社員と同等の業務をはじめからまかせられた（「即戦力扱い」）、指示が曖昧なまま放置された、といった経験をした人の割合は既卒就職者の方が高い。

教育訓練のうち「Off-JT」はあらゆる若者の勤続傾向と関連があるが、「丁寧な説明」や「教育係」は既卒就職者の場合は離職傾向と関連する場合がある。また「即戦力扱い」「指示が曖昧なまま放置」は、おおむね若者全般の離職傾向と関連がみられるが、専門・短大・高専の既卒男性ではむしろ「指示が曖昧なまま放置」された人が勤続する傾向がみられる。

教育訓練は未経験の業務や難易度の高い業務に従事する場合に行われると仮定すると、既卒就職者には未経験業務や難しい業務を教わっても習得できず離職する人が多いのかもしれない。あるいは、既卒就職者の中には正社員以外の労働者として長く働いた経験のある人や比較的年齢が高い人が含まれているが、彼・彼女らにとって過度な教育訓練は、自分の能力や経験を正當に評価されていない証と受け取られるのかもしれない。

1-3-4. 職場でのコミュニケーション

「初めての正社員勤務先」へ入職後3ヶ月間に経験した職場でのコミュニケーションを新卒就職者と既卒就職者と比べると、会社の人（上司・先輩など）から若者に働きかけるコミュニケーション（OJTの実施、他事業所・部署に紹介、顧客や取引先に紹介、歓迎会）は、男女とも全学歴で新卒就職者の方が経験者の割合が高い。対照的に、若者から会社の人へ働きかけるコミュニケーション（「希望する仕事内容や働き方を伝えた」「働きぶりに意見・感想を求めた」「わからないことを相談」）は、専門・短大・高専卒や大学・大学院卒の男女では新卒就職者の方が、高校卒の女性では既卒就職者の方が経験している。

会社の人から若者への働きかけは、おおむね新卒就職者の勤続を促す傾向があるが、既卒就職者に対しては離職傾向と関連する場合もある。若者から会社の人への働きかけは、新卒就職者の離職傾向と関連するのに対して、専門・短大・高専卒や大学・大学院卒の既卒就職者では若者から会社の人への働きかけが勤続傾向と関連する場合がある。この結果は、就労経験が少ない新卒就職者の場合、若者から働きかけない限り上司や先輩が何もしてくれない

職場では離職が発生しやすいことを反映しているのだろう。一方、既卒就職者の場合は就労経験や知識・技能に個人差が大きいことから、それらが豊富な人は構われ過ぎず仕事を任せてもらえるほうがのびのび働けることを反映しているのかもしれない。

1-3-5. 職場トラブル

男女とも新卒・既卒ともに回答率が高い職場トラブルは「残業代不払い」「人手不足で業務が立ちゆかない」「希望日に有休をとれない」である。新卒就職者と既卒就職者に共通して、かつ男女とも離職者の回答率がより高いトラブルは「残業代不払い」「有休がとれない」「暴言、暴力、いじめ・嫌がらせ」「辞職を申し出ても、辞めさせてもらえなかった」である。これらは若者全般の不本意離職を防ぐために、発生させないことが特に重要なトラブルである。

新卒就職者と既卒就職者の各トラブルの回答率を比べると、高校卒の男性と大学・大学院卒の男女ではあまり違いがない、もしくは既卒就職者の方が回答率が高い。一方で、高校卒の女性と専門・短大・高専卒の男女では、新卒就職者の方が回答率が高いトラブルが多数ある。これは、就労経験の少ない新卒就職者は、年齢や就労経験が多様な既卒就職者より、同じ出来事に遭遇しても敏感に反応するためだろう。

あらゆるトラブルの経験は若者全般の離職傾向を高めるが、「希望とは異なる配置転換」は勤続傾向を高める場合が多数みられた。配置転換が若者自身も気づいていなかった本人の可能性を発掘した場合などが反映されているのだと推察される。

第2節 「初めての正社員勤務先」における能力開発状況

第4章では、「初めての正社員勤務先」における担当業務および職務遂行能力が、働き続けることによってどう変化するのか、またその変化が離職傾向とどう関連するのか検討した。

2-1. 業務の変化に見る能力開発状況

分析対象者を勤続期間10年以内の若者に限定した上で、中小企業に勤務していた人と、大企業または公的団体に勤務していた人に分けて、勤続期間を統制した分析を行った。

男女とも、勤務先の企業規模にかかわらず勤続の促進に効果が期待できる業務の変化は「職種の変更」であり、「裁量性の増大」も中小企業で働く女性や大企業・公的団体に働く男性に対して長期的に勤続を促す可能性がある。

業務の変化のタイミングと離職／勤続傾向との関連をみたところ、男女とも勤務先の企業規模にかかわらず、入職から3年以内の担当業務の変化は勤続傾向を高める可能性がある。また、中小企業で働く女性と大企業・公的団体に働く男性は、3年を超えて5年以内に業務の変化を経験しても勤続傾向を高める可能性がある。一方で、中小企業で働く男性は業務量

や責任の増大、部下や後輩の指導・管理、大企業・公的団体で働く女性は業務の種類・責任の増大、非正社員の指導・管理についての変化を経験すると、勤続期間が3年を超えたあたりから離職につながる可能性がある。また男女とも勤務先規模にかかわらず、変化の急激さは離職を促す要因になりえる。

2-2. 行動特性（コンピテンシー）の変化に見る能力開発状況

若者の「職務遂行能力」の指標として10種類の行動特性を得点化して用いた。入職3ヶ月後時点と現在（離職者は離職直前、勤続者は調査時点）の行動特性得点とを比較すると、男女問わず離職者も勤続者も、勤続期間の長さに関わらず現在の方が高得点である。将来離職するか否かにかかわらず、働き続けることそのものが若者全般の職務遂行能力の伸長に役立つことが分かった。ただし入職3ヶ月後の能力が高い人は伸びしろが小さいため、伸長の上限に早く達する傾向がある。

また、入職3ヶ月後時点の行動特性得点を離職者と勤続者と比べた結果、男女とも勤続期間が短いグループでは勤続者の方が、長いグループでは離職者の方が高得点であった。入職時点の職務遂行能力が低い人は自信を失い早期離職していく一方で、勤続期間が長くなると入職時の職務遂行能力が高かった人ほど自己評価が高く転職に前向きであるため、離職する傾向があるからだと考えられる。

離職者の離職直後の行動特性得点と、勤続者の調査時点の行動特性得点を比較すると、男女とも勤続期間が短い間は勤続者の方が多くの行動特性について高得点であった。これはそもそも、入職から3ヶ月後時点で既に、後に離職する人は勤続する人よりも行動特性得点が低いことが一因だろう。さらに、離職者が発生する職場は教育訓練やコミュニケーションに乏しい傾向があるため、働き続けることを通じて能力が開発される速度が勤続者より遅いとも考えられる。しかし勤続期間が長くなるにつれ、男女とも離職者と勤続者の間で有意な得点差がある行動特性が減少し、勤続期間が最も長いグループでは、勤続者の方が有意に高得点である行動特性は、男性は1項目、女性は皆無となった。この分析結果は、若者が早期に離職する会社ほど十分に能力開発ができる環境がないとも解釈できるし、能力水準の低い人ほど勤続期間が短いうちに自信を失い離職し、能力水準が求められる水準に達している人が職場に残るため、勤続期間が長くなるほど将来離職する人とならない人の能力水準が拮抗していくのだとも考えられる。

なお、女性は勤続期間が長くなるほど「結婚・出産」を理由に離職する人が増え、かつ「結婚・出産」を理由に辞めた女性は他の理由で辞めた女性より離職直前の行動特性得点が有意に高い。能力の高い女性が、仕事と家庭の両立困難を理由に離職している状況がうかがわれ、ワーク・ライフバランスの実現にむけてより一層の環境整備が望まれる。

第3節 「初めての正社員勤務先」を離職した理由と相談相手

第5章では、第二部にむけての準備として離職者のみを分析対象とし、「初めての正社員勤務先」を辞めた理由と、仕事や働くことについての悩みを相談した相手について、離職するまでの勤続期間が異なるグループ間の違いを検討した。

3-1. 離職理由

労働条件・待遇に対する不満や、心身の安寧が脅かされるような職場環境は、性別を問わず若者が離職を決意する主要な理由となることが分かった。一方で、会社都合の離職や介護離職、通勤困難、能力の有効活用を理由とする離職は男女とも少ない。また男性は、キャリアアップや自己実現のための離職、女性は結婚・出産のための離職が多い。以上は2016年調査の結果と一致する。

さらに、離職するまでの勤続期間と離職理由との関連を調べた。まず男性は、勤続期間が長いほど「賃金の条件がよくなかった」「キャリアアップ」「会社に将来性がない」「希望する条件により合った仕事が見つかった」ことを理由に離職する。正社員として比較的長く働いた後に離職する男性は、就労経験を生かしてより条件のよい仕事へと転職していくのだろう。反対に、勤続期間が短い男性ほど「やりたい仕事とは異なる内容だった」「仕事が上手くできず自信を失った」ことを理由に離職する。入職から3年間という期間は若い男性にとって、適職模索の期間となっている。不本意な離職を防ぐためには、入職前に十分な情報を得たり、職務遂行能力を向上させたりする機会を一層充実させるとともに、採用時に若者の個性と業務内容との相性を十分に見極めることが必要だ。

一方、女性は勤続期間が長いほど「結婚・出産」を理由に離職する人が増大し、その割合は勤続5年を超えると6割以上になる。反対に、勤続期間が短い女性は「健康を損ねた」「労働時間・休日・休暇の条件」「人間関係」「賃金の条件」「やりたい仕事とは異なる内容だった」「ノルマや責任が重すぎた」「仕事が上手くできず自信を失った」等の能力不足や勤務先の労働条件、職場環境への不満を理由に離職する傾向が、特に勤続「1年以内」に離職した女性で見られる。女性の勤続を推進するには、家庭生活との両立、入職前の情報提供および能力開発の推進とともに、雇用管理制度や職場環境を整備することが肝要である。

3-2. 仕事や働くことについての悩みを相談した相手

「初めての正社員勤務先」を離職した若者が、その会社等で勤務していた間に仕事や働くことについての悩みを相談した相手を、離職するまでの勤続期間別に調べた。

男女とも、多くの離職者が身近な人物（勤務先の上司・先輩、同年代の同僚、勤務先以外

の友人、家族)に相談しており、専門家や行政相談窓口・労働組合等に相談する人はごくわずかである。男女で明確に異なる点は、男性は悩みがあっても周囲の人に相談せず抱え込む傾向があるのに対して、女性は複数の相談相手をもつ傾向がみられる点である。以上は2016年調査と同様の結果である。

離職までの勤続期間別の傾向を述べる。男女とも、勤続期間が短い人ほど悩みがあっても相談しない傾向が高く、勤続期間が長い人ほど多くの相談相手がいる。特に男性や入職して1年以内の若者でこの傾向が著しい。また、勤務先の人物(上司や先輩、同年代の同僚)に相談する人が4割を超えるのは、男性では勤続期間が3年を過ぎてから、女性では1年を過ぎてからである。若者にとって「初めての正社員勤務先」で相談をできるような人間関係を作るには時間が必要だ。若者の職場定着の推進には、入職直後から相談できるような場を職場の外に整備するとともに、職場のコミュニケーションを組織全体で活性化する必要がある。

第4節 政策的インプリケーション

以上の知見を踏まえて、本調査の結果から得られたインプリケーションを述べる。

4-1. 既卒者の多様なキャリアをふまえた情報収集の強化

日本企業による正社員の採用は、未熟練の若者を卒業と同時に一括採用し企業内で訓練する新卒一括採用と、既に他の企業等で就労経験や知識・技能を身に着けた人材を即戦力として採用する中途採用とに分けて実施される傾向がある。これに対して、学校を卒業後も就職活動を継続している若者や、取り急ぎ正社員以外の形で働いてきた既卒者たちは、新卒者でも即戦力でもない、労働市場において曖昧な位置づけにある存在である。また既卒者は、その年齢や職務遂行能力、就労経験等に個人差が大きく、新卒者と同じような教育訓練やコミュニケーションの取り方が職場定着を促す場合もあれば、新卒と同様に扱うことでむしろ離職傾向を高めてしまう場合もある。

現状においては、新卒者については在学中の就職内定獲得状況、卒業後の状況(就職・進学状況、就職先の産業・職種)、新卒就職者の3年以内離職率が把握されている。しかし昨今は好景気においても、卒業後も就職活動を続けたり正社員以外の労働者となったりする若者や、新卒時に正社員として就職できても早期に離職してしまう若者が一定数存在する。さらにこうした既卒者たちはその多様性ゆえに、新卒者のような一律の雇用管理では能力開発や職場定着を促すことは難しい。彼・彼女らが自分にあった安定的な仕事に就き、働き続けられるよう適切な支援を提供するためには、まずは彼・彼女らの多様なキャリアを把握し、整理することが必要である。

既に厚生労働省では、不定期ではあるが事業所とその従業員を対象に「若年者雇用実態調

査」が行われており、既卒の若者の現状を知る重要な手がかりとなっている。今後はさらに、求職者や無業者も含む若者全般の状況を詳しく知るための調査を定期的・継続的に収集していくことが必要だろう。

4-2. 新卒者を対象とする支援の既卒者への拡大

本報告の第1章では、新卒時に円滑に正社員として就職した若者たちと、卒業後も就職活動を継続したり正社員以外の形で働いたりした後に正社員として就職した若者たちとは、その学校生活や、就職活動のプロセスが異なることが明らかになった。

特に顕著な違いが現れたのは、入職前に得られる情報の正確さである。新卒者の多くが学校の紹介で就職しており、学校経由の就職では就職活動中に得た情報と実際の労働条件とが異なるケースは比較的少ない。これに対して既卒の若者は学校の支援を受けることが難しく、自分で情報を収集しなくてはならない。既卒就職者が利用しがちな、誰もが利用できるオープンな応募経路は、あまり正確ではない情報が伝わる可能性が比較的高く、事前情報と現実の労働条件が異なった場合には離職につながる傾向がある。若者自身が多様な応募経路の特徴を見極め、自ら正確な情報を得るための行動をとれるよう支援することが必要だ。それと同時に、ハローワークだけでなく他のオープンな応募経路（民間の職業紹介サービス、インターネットの求人サイト、求人広告など）についても、提供情報の正確さを義務づけることで、ミスマッチを防ぐことが効果的だろう。

また、新卒者も既卒者も、初めて正社員として就職した会社で働き続けられるかどうかは、在学中の活動によって影響を受けることがわかった。学業や課外活動等の学校生活に生徒・学生が専念できるような就職活動スケジュールの調整、インターンシップなどの実務を伴う学習、働くためのルールの学習などは、学校だけでなく、求人企業や地域、行政が連携しなくては充実させることが難しい。より一層の連携を進めていくことが望まれる。

4-3. 企業による雇用管理の改善に対する支援

本報告の第2章、第3章では、新卒就職者と既卒就職者として「初めての正社員勤務先」の特徴（企業規模・産業、職種、社風など）や、そこで経験する労働条件や雇用管理のあり方（給与・労働時間、労働時間・空間・職務の限定性、教育訓練、職場でのコミュニケーション、職場トラブル等）が異なることが明らかになった。既卒就職者は新卒者を採用できなかった企業や、そもそも新卒採用を行わないような企業へ採用される傾向があるため、新卒就職者の3年以内離職率が高い産業（サービス業、小売業、医療・福祉、教育学習支援など）や中小企業で営業・販売やサービスの仕事に就く傾向がある。また、既卒就職者の「初めての正社員勤務先」は従業員の入替わりが激しく、法律・倫理違反が行われている傾向が高

く、労働時間も長い。教育訓練や上司・先輩から若者へのはたらきかけも不足しがちで、職場トラブルに遭遇する傾向も高い。

一方、既卒就職者の多様性（年齢や就労経験、知識・技術の水準）は、こうした問題を見えにくくする。卒業からの経過期間が1年以内の未成熟な既卒就職者は離職傾向が高い一方で、年齢が高く就労経験が豊富な既卒就職者は、不適切な雇用管理に対しても耐性が高い。そのため、不適切に取り扱われても、「職場トラブル」と捉えずに受け入れてしまう恐れがある。しかし、たとえ若者自身が受け入れたとしても、長時間労働や残業代不払い、有給休暇が取得できないといった不適切な事態が続くことは、若者自身の心身の健康を損なうだけでなく、長期的には従業員の疲弊により企業活動も負の影響を受けることになる。未成熟な若者を雇用する企業に対しては、第三者である行政が、適切な雇用管理を行うよう指導や助言を行う必要がある。それと同時に、既卒就職者自身に対する長期的な見守りと支援も必須である。

4-4. 早期離職の防止と前向きな転職の支援

第一部の第4章において、最終的には離職するかどうかに関わらず、働き続けることそのものが若者の職務遂行能力を向上させることが明らかになった。その一方で、入職時点における職務遂行能力の水準が低い若者は自信を失い（第5章「離職理由」参照）、早期に離職する傾向がある。こうした事態を「自然淘汰」と捉えて、新しい労働者を次々と雇用するのと並行して、多くの労働者が次々と辞めていくタイプの企業も存在する（本報告第2章参照）。しかし、人口減少時代に入った今日、そうした雇用管理では企業活動を長く維持し続けることはもはや不可能であろう。少なくとも、若者自身が不本意な想いで早期に離職するような事態は、防止することが望ましい。

そのための方策を考える上でヒントとなるのが、「初めての正社員勤務先」における担当業務の変化と離職傾向との関連である。勤務先の企業規模に関わらず、入職して数年後までは業務が変化した人ほど勤続するが、ある時期を過ぎると業務が変化した人ほど離職する傾向に転じる。そして、より多くの離職者が経験していた業務の変化は、「業務の種類増大」「業務責任増大」「非正社員の指導・管理」であった。一方で、第3章において「仕事内容の限定」も離職を促すことがわかった。したがって業務の変化そのものが離職を促すとは考えにくい。反対に、より多くの勤続者が経験していた変化は「職種変更」「裁量性増大」であった。また、離職者の職務遂行能力が勤続者より低いこと、離職者は長時間労働者や給与の低い人に多いことなどを考え合わせると、若者の離職の背景には、採用時に業務と若者の個性との相性を見極められていない、若者の能力不足、業務の負担が重すぎる、負担に見合った待遇を得られていない、などの問題があるのではないだろうか。

若者の早期離職を防ぐためには、上記のような問題が若者と業務との間に生じたときに、会社側が若者の意向を知ることがまず第一歩となる。第5章において、特に入職1年目の若者や男性は、悩みがあっても誰にも相談せずに抱え込んでしまう傾向が明らかにされた。また、勤務先の上司や先輩、同年代の同僚に相談できるような人間関係を構築するには1～3年という時間が必要であることもわかった。そうした信頼関係が構築されるまでの間、企業の外部に若者が気軽に相談できる場を設ける必要があるが、労働者が企業外の組織に相談することを雇用主側が妨げることがないようにルールを設ける必要があるだろう。その際に雇用主の協力を得るためには、若者からの相談を機に雇用管理が適正化されれば従業員全体の職場定着につながり、企業の事業経営にも役立つことを雇用主に啓発することが効果的であろう。

第二部 離職後のキャリア形成状況

第7章 初めての正社員勤務先離職から現在までの状況

本章では、「初めての正社員勤務先を離職した人」（以下、離職者と呼ぶ）の離職直後から現在までの状況について検討する。分析対象の離職者は 2,559 人（有効回収 5,631 人のうちの 45.4%）であり、うち男性は 1,078 人（同 34.6%）、女性は 1,481 人（同 58.8%）である。

離職後の就業等の状況をみていくにあたって、まず、性別、学歴別に検討し、次いで「初めての正社員勤続期間」別の検討を行う。就業形態や就業職種などは、性別や学歴別で大きく異なる傾向があるため、離職後の状況もこれらの属性によって異なることが予想される。さらに、ここでは離職が「早期」であったことがその後のキャリアにどう影響するのかに焦点を当てたい。2016 年に行われた「若年者の能力開発と職場への定着に関する調査」（以下、2016 年調査と呼ぶ）においても、最初の正社員勤続期間が短い場合には正社員就業者の割合が小さい傾向が見られた。分析課題の第 1 は、本調査データにおいても同様な傾向がみられるか否かの確認である。さらに、2016 年調査においては、データの制約から、勤続期間の影響について学歴を統制しての検討ができなかった。今回もデータの制約はあるが、できうる範囲でその検討を試みたい。

なお、分析に用いる学歴区分は、対象数の少ない大学院修士課程卒については大学卒と併せたカテゴリーとし、短期大学卒と高等専門学校卒もこれを合わせたカテゴリーとする。ケース数の問題から、専門学校卒もこれに含めた大きくりの区分とすることもあつる。また、初めての正社員勤続期間については、2016 年調査では特に 1 年以内での離職者の離職後のキャリア形成上の課題が大きいことが指摘されていることから、「1 年以内」「1 年超 3 年以内」「3 年超」の 3 カテゴリーを用いることとする。

第 1 節 離職後の 1 年間の状況

調査では、離職後の 1 年間の状況として、図表 7-1-1 に示す 11 の選択肢を用意し、複数回答の方式で回答をもとめた。1 年の間には異なる種類の経験をしている可能性があるためである。結果を見ると、男性の場合は「正社員として働いた」が半数以上を占め、「アルバイト・パートとして働いた」が約 2 割となっている。女性では、正社員とアルバイト・パートがともに 3 割程度であるが、契約社員などの経験も併せて正社員以外の雇用形態で働いた者を求めれば 44.4% に達する。このほか、女性では「家族の世話を挙げた者も約 2 割いる。これらは 2016 年調査とほぼ同じである。

図表 7-1-1 離職後の1年間の状況 (MA *1)

単位：%、太字は実数

	男性	女性	男女計
正社員として働いた	54.3	33.0	41.9
契約社員として働いた	10.1	9.9	10.0
派遣社員として働いた	5.2	8.8	7.3
アルバイト・パートとして働いた	18.8	29.4	25.0
雇用以外の形態（自営業・内職・家族従業等）で働いた	3.6	1.7	2.5
就職活動をした	15.4	9.9	12.2
学校（高校、専修学校、短大、高専、大学、大学院）に進学した （通信制含む）	2.1	1.3	1.6
学校には進学せず、勉強をした	6.0	4.4	5.1
家族の世話（家事・育児・介護など）をした	2.1	20.5	12.8
療養・休養していた	10.7	8.2	9.3
その他	0.2	0.7	0.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	1,078	1,481	2,559

注：*1 MAは複数回答を示す。以下の図表においてすべて同じ。

*2 複数回答のため、数値の合計ではなく、契約社員、派遣社員、アルバイト・パートの少なくとも一つを選択した者の割合。

次の図表 7-1-2 は、これを学歴別にみたものである。選択肢は少しまとめて示しているが、男性では、高学歴であるほど、正社員の割合が大きく正社員以外の雇用形態で働いた者の割合は小さい。女性では、大学・大学院卒、専門学校卒で正社員割合が4割に近く、高卒と短大・高専卒では3割程度とやや少ない。正社員以外の雇用形態は高卒で多く、次いで短大・高専卒となっている。短大・高専卒では「家族の世話」の割合がやや大きい。これを合わせて考えれば、男性ほど顕著ではないが、高学歴者の方が就業者における正社員の割合が大きい傾向があるといえよう。

図表 7-1-2 離職後の1年間の状況（性・学歴別、MA）

単位：%、太字は実数

	男性			女性			
	高校卒	専門・ 短大・ 高専卒	大学・ 大学院 卒	高校卒	専門学 校卒	短大・高 専卒	大学・ 大学院 卒
正社員として働いた	44.9	53.2	63.1	26.8	38.9	31.3	36.2
正社員以外の雇用形態で働いた*1	37.2	28.7	26.3	52.3	37.1	46.4	40.1
雇用以外の形態（自営等）で働いた*2	2.6	5.3	3.8	1.1	1.8	0.8	2.7
就職活動をした	14.8	12.8	17.0	9.9	10.0	10.9	9.4
家族の世話（家事・育児等）をした*2	2.1	3.7	1.5	17.8	20.7	23.8	21.2
療養・休養していた	11.0	16.0	8.3	7.3	8.6	9.1	8.5
その他（就学を含む）*3	5.5	9.6	10.2	3.7	5.4	7.9	8.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	419	188	471	455	280	265	481

注：*1 図表 7-1-1 の選択肢のうち、契約社員、派遣社員、アルバイト・パートの少なくとも一つを選択した者。

*2 図表 7-1-1 の選択肢の文面を簡略化して示している。

*3 図表 7-1-1 の選択肢のうち、学校進学、学校に進学せずに勉強、その他の少なくとも一つを選択した者。

これらの学歴別の特徴は 2016 年調査と変わらないが、全般に 2016 年調査に比べれば正社員経験者が多く正社員以外の雇用形態の経験者が少ない¹。近年は好況下での人手不足の方が問題となっており、正社員としての転職がしやすくなっていると推察される。

次の図表 7-1-3 は、初めての正社員勤続期間別に、この回答を整理してみたものである。男性では、初めての正社員勤続期間が短い人ほど「正社員として働いた」人は少なく、「正社員以外での雇用形態で働いた」人が多い。女性でも、勤続期間が短い人ほど「正社員以外での雇用形態で働いた」人が多い。ただし、「正社員として働いた」については「3年超」が最も少なく、勤続期間によるわかりやすい傾向はみられない。その一方で、勤続期間の長い場合ほど「家族の世話」を選択する人が多く、一定期間勤続後の離職には結婚や出産などの家族形成が影響していることが考えられる。これらの傾向もほぼ 2016 年調査結果と変わらない。

図表 7-1-3 初めての正社員勤続期間別 離職後の 1 年間の状況（性別、MA）

単位：％、太字は実数

	男性			女性		
	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超
正社員として働いた	39.1	53.4	65.5	32.1	36.8	29.6
正社員以外の雇用形態で働いた ^{*1}	46.2	29.5	21.9	54.6	43.5	40.1
雇用以外の形態（自営等）で働いた ^{*2}	1.4	4.8	3.9	1.0	1.5	2.2
就職活動をした	15.1	14.8	16.3	9.3	8.8	11.4
家族の世話（家事・育児等）をした ^{*2}	1.1	1.5	3.4	12.9	17.6	27.3
療養・休養していた	11.5	9.9	10.8	7.3	7.9	9.0
その他（就学を含む） ^{*3}	6.8	10.7	6.9	5.3	5.7	7.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	279	393	406	302	581	598

注：*1 図表 7-1-1 の選択肢のうち、契約社員、派遣社員、アルバイト・パートの少なくとも一つを選択した者。

*2 図表 7-1-1 の選択肢の文面を簡略化して示している。

*3 図表 7-1-1 の選択肢のうち、学校進学、学校に進学せずに勉強、その他の少なくとも一つを選択した者。

次の図表 7-1-4 は、これを学歴段階によって分けてみたものである。男性では、どの学歴でも勤続期間が短かった人ほど正社員以外の雇用形態での就業経験があることが多く、正社員経験者が少ない。少し詳しく見ると、高卒では「1年以内」と「1年超3年以内」の違いは小さく、「3年超」とは差が大きい。大学や専門学校などの高等教育卒業業者では「1年以内」と「1年超3年以内」・「3年超」との間の差が大きい。離職直後の1年のうちに正社員で再就職しているかどうかには、初めての正社員勤務先での勤

¹ 2016 年調査は、大学・大学院卒が多めのサンプルであったため、全体の結果に大学・大学院卒の傾向が強く出がちであった。全体で見ると正社員経験率は 2016 年調査と変わらないが、学歴別に検討すると正社員経験率が高まったのは、サンプルの学歴構成が今回と 2016 年調査では異なるためである。

続期間の短さと同時に、その年齢も関係しているのかもしれない。つまり、まだ10代の高卒の早期離職者は少し時間を要するのかもしれない。

女性では、男性ほど顕著な差ではないが、どの学歴でも勤続期間が短かった人ほど正社員以外の雇用形態での就業経験がある人が多い。正社員経験については、高卒の場合は勤続期間「1年以内」で少なく、「1年超3年以内」と「3年超」はあまり変わらない。これに対して専門学校や大学などの高等教育卒業者では「1年以内」と「1年超3年以内」があまり変わらず、「3年超」が少ない。同時に、高等教育卒業者の「3年超」では「家族の世話」を経験した人が多くなっており、男性とは違う意味で年齢の違いが関係している可能性が大きい。高等教育を卒業後に3年以上勤続してから辞めるケースでは、結婚や出産というライフイベントが絡んでいる可能性も高い。高卒女性の1年以内での離職とは、その後のキャリアへの影響は大きく異なるだろう。

図表7-1-4 初めての正社員勤続期間別 離職後の1年間の状況

(性・学歴別、MA)

単位：%、太字は実数

①男性

	高卒			専門・短大・高専卒			大学・大学院卒		
	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超
正社員として働いた	31.3	38.2	60.6	38.8	55.6	60.5	47.0	64.5	72.4
正社員以外の雇用形態で働いた ^{*1}	49.6	43.1	23.1	40.8	25.4	23.7	45.2	20.4	20.0
雇用以外の形態(自営等)で働いた ^{*2}	0.0	2.8	4.4	2.0	7.9	5.3	2.6	5.4	2.9
就職活動をした	13.9	11.1	18.8	10.2	19.0	9.2	18.3	16.1	17.1
家族の世話(家事・育児等)をした ^{*2}	1.7	0.7	3.8	0.0	4.8	5.3	0.9	1.1	2.4
療養・休養していた	13.0	9.0	11.3	16.3	15.9	15.8	7.8	8.6	8.2
その他(就学を含む) ^{*3}	4.3	9.0	3.1	8.2	9.5	10.5	8.7	12.4	8.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	115	144	160	49	63	76	115	186	170

②女性

	高卒			専門・短大・高専卒			大学・大学院卒		
	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超
正社員として働いた	21.6	28.7	28.3	37.9	40.5	28.7	38.5	39.5	31.8
正社員以外の雇用形態で働いた ^{*1}	63.1	51.2	46.7	53.7	41.0	37.2	45.8	40.0	37.4
雇用以外の形態(自営等)で働いた ^{*2}	0.9	0.0	2.2	1.1	1.8	0.9	1.0	2.6	3.6
就職活動をした	9.9	4.9	14.4	10.5	11.0	9.9	7.3	9.5	10.3
家族の世話(家事・育児等)をした ^{*2}	13.5	18.9	19.4	12.6	15.9	32.7	12.5	18.4	28.2
療養・休養していた	6.3	6.1	8.9	3.2	9.3	10.8	12.5	7.9	7.2
その他(就学を含む) ^{*3}	2.7	3.0	5.0	7.4	4.8	8.1	6.3	8.9	9.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	111	164	180	95	227	223	96	190	195

注：*1 図表7-1-1の選択肢のうち、契約社員、派遣社員、アルバイト・パートの少なくとも一つを選択した者。

*2 図表7-1-1の選択肢の文面を簡略化して示している。

*3 図表7-1-1の選択肢のうち、学校進学、学校に進学せずに勉強、その他の少なくとも一つを選択した者。

初めての正社員勤務先を辞めるまでの勤続年数が長くなると、離職後に、男性では正社員を経験することが多くなるが、女性では「家族の世話」が多くなり、正社員につながるとは限らないということであろう。

調査では、正社員以外の働き方で働くことにした理由も問うている。離職後の1年間の状況として、アルバイト等の非正規雇用や自営等の正社員以外の働き方で働いた人（1,040人）を対象に、その理由を複数回答の方式で尋ねた。次の図表7-1-5の12の選択肢を示したが、最も多くの人々が挙げた理由は、男性では「正社員として働きたかったが、採用されなかったから」（32.0%）であり、女性では「家庭生活（家事・育児・介護など）と両立しやすいから」（34.4%）で、正社員として採用されなかったことを理由に挙げた人は12.3%にとどまった。

図表7-1-5 離職後の1年間に正社員以外の働き方で働くことにした理由
(性別、MA)

単位：%、太字は実数

	男性	女性	男女計
正社員として働きたかったが、採用されなかったから	32.0	12.3	19.1
仕事の内容が希望に合っているから	20.1	29.5	26.3
専門的な資格や技能を活かせるから	11.0	7.5	8.8
より収入の多い仕事に従事したかったから	15.4	12.1	13.3
仕事が簡単で、大きな責任を負わなくてよいから	16.0	27.8	23.7
転勤（転居を伴う勤務地の変更）を命じられないから	7.7	8.6	8.3
家庭生活（家事・育児・介護など）と両立しやすいから	9.6	34.4	25.8
個人的な活動（趣味・学習・起業準備など）と両立しやすいから	19.8	14.8	16.5
税金や社会保険料を納める必要がない（＝被扶養者でいられる）範囲で働きたかったから	4.4	5.6	5.2
勤務日数や一日当たりの労働時間が短いから	8.0	16.2	13.4
自分の都合の良い時間に働けるから	20.7	27.0	24.8
その他	5.0	4.0	4.3
無回答	1.9	1.2	1.4
合計	100.0	100.0	100.0
N	363	677	1,040

これを学歴別にみると（図表7-1-6）、男性では、いずれの学歴でも第1位は「正社員として採用されなかった」ことが挙げられたが、女性では、大卒・大学院卒、短大・高専卒の場合は家庭との両立が第1位であったが、高卒では「仕事の内容が希望に合っている」が、専門学校卒では「自分の都合の良い時間に働ける」が最も多くなっている。高卒の場合は労働市場に出る年齢が若く、結婚・出産を理由に離職するケースが相対的に少ないからであろう。

さらに、最初の正社員勤続期間別にみると（図表7-1-7）、男性では、「1年以内」で離職した場合には、正社員になれなかったことを理由に挙げる人が41.4%と特に多い。早い離職が不本意での非正規就業につながる可能性は高いといえよう。

図表 7-1-6 離職後の1年間に正社員以外の働き方で働くことにした理由

(性・学歴別、MA)

単位：%、太字は実数

	男性			女性			
	高校卒	専門・ 短大・ 高専卒	大学・ 大学院 卒	高校卒	専門学 校卒	短大・ 高専卒	大学・ 大学院 卒
正社員として採用されなかった	29.1	33.3	34.8	10.8	9.3	8.1	18.1
仕事の内容が希望に合っている	21.2	15.9	20.7	31.5	24.1	30.6	29.4
専門的な資格や技能を活かせる	8.5	9.5	14.8	4.1	9.3	8.1	10.3
より収入の多い仕事に従事したかった	16.4	17.5	13.3	17.0	13.0	9.7	7.4
仕事が簡単、大きな責任を負いたくない	17.0	15.9	14.8	24.1	23.1	30.6	32.8
転勤を命じられない	6.1	9.5	8.9	5.4	6.5	7.3	14.2
家庭生活と両立しやすい	8.5	12.7	9.6	27.8	33.3	36.3	41.7
個人的な活動と両立しやすい	16.4	25.4	21.5	10.4	24.1	11.3	17.2
税金等を納めない範囲で働きたかった	2.4	7.9	5.2	3.7	8.3	7.3	5.4
勤務日数や労働時間が短い	9.1	9.5	5.9	12.4	17.6	17.7	19.1
自分の都合の良い時間に働ける	24.8	19.0	16.3	25.7	35.2	25.8	25.0
その他	6.7	4.8	3.0	4.1	7.4	2.4	2.9
無回答	1.2	3.2	2.2	0.4	1.9	2.4	1.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	165	63	135	241	108	124	204

注：表側は、図表 7-1-5 の選択肢の文面を簡略化して示している。

図表 7-1-7 離職後の1年間に正社員以外の働き方で働くことにした理由(性・勤

続期間別、MA)

単位：%、太字は実数

	男性			女性		
	1年以 内	1年超 3年以 内	3年超	1年以 内	1年超 3年以 内	3年超
正社員として採用されなかった	41.4	26.2	27.0	13.7	11.6	12.0
仕事の内容が希望に合っている	18.8	22.3	19.0	35.1	29.0	26.4
専門的な資格や技能を活かせる	6.0	12.3	16.0	6.5	10.0	5.6
より収入の多い仕事に従事したかった	12.0	16.9	18.0	15.5	14.7	7.2
仕事が簡単、大きな責任を負いたくない	16.5	17.7	13.0	30.4	27.0	26.8
転勤を命じられない	3.8	6.9	14.0	7.7	9.3	8.4
家庭生活と両立しやすい	7.5	11.5	10.0	20.8	31.3	46.8
個人的な活動と両立しやすい	16.5	15.4	30.0	17.3	14.7	13.2
税金等を納めない範囲で働きたかった	2.3	5.4	6.0	2.4	2.3	11.2
勤務日数や労働時間が短い	8.3	10.0	5.0	14.3	14.3	19.6
自分の都合の良い時間に働ける	18.8	20.0	24.0	32.1	24.3	26.4
その他	6.0	3.1	6.0	6.0	5.0	1.6
無回答	0.0	3.1	3.0	1.2	1.5	0.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	133	130	100	168	259	250

注：表側は、図表 7-1-5 の選択肢の文面を簡略化して示している。

女性では、勤続期間にかかわらず、正社員になれなかったことを理由に挙げる人は約1割にとどまっている。「家庭との両立」は「3年超」での離職者では多いが、「1年以内」離職者では少ない。多いのは、「仕事の内容が希望に合っている」「自分の都合の良い時間に働ける」「仕事が簡単で、大きな責任を負わなくてよい」といった理由である。正社員以外の働き方には、労働時間に選択の余地があり、責任が小さいという特徴を持つ働き方も少なくない。そうした働き方を望んでの選択であるとみることもできる。しかし、「1年以内」離職の女性の約4割が「肉体的・精神的に健康を損ねた」ことを離職理由の一つに挙げ²、さらに、「自分の都合の良い時間に働ける」「仕事が簡単で、大きな責任を負わなくてよい」という働き方選択の理由は、健康を損ねたことを離職理由にしたケースで多く選ばれている（図表7-1-8）。こうしたことを考え合わせると、むしろ初めての正社員勤務先での経験が、そうした働き方を選ばせているという面も強いのではないかと思われる。

図表7-1-8 離職理由に「肉体的・精神的に健康を損ねたため」を選択した人（該当）と選択しなかった人（非該当）の正社員以外の働き方を選んだ理由（MA）

単位：％、太字は実数

	離職者計		うち「1年以内」離職女性	
	該当	非該当	該当	非該当
正社員として採用されなかった	19.8	18.9	16.7	11.5
仕事の内容が希望に合っている	27.5	25.7	33.3	36.5
専門的な資格や技能を活かせる	8.3	8.9	2.8	9.4
より収入の多い仕事に従事したかった	11.1	14.2	13.9	16.7
仕事が簡単、大きな責任を負いたくない	34.6	18.7	44.4	19.8
転勤を命じられない	10.5	7.3	13.9	3.1
家庭生活と両立しやすい	21.0	27.9	23.6	18.8
個人的な活動と両立しやすい	21.9	14.1	23.6	12.5
税金等を納めない範囲で働きたかった	4.6	5.4	4.2	1.0
勤務日数や労働時間が短い	24.4	8.4	27.8	4.2
自分の都合の良い時間に働ける	31.8	21.6	38.9	27.1
その他	9.3	2.1	9.7	3.1
無回答	1.2	1.5	0.0	2.1
合計	100	100	100.0	100.0
N	324	716	72	96

注：表側は、図表7-1-5の選択肢の文面を簡略化して示している。

・背景に彩色した部分は、「肉体的・精神的に健康を損ねたため」を離職理由に挙げた「1年以内」女性に特に多い理由。

次に、離職から1年の間の能力開発の状況を検討する。調査での設問は、図表7-1

² 図表5-2②参照。

－ 9 に示した選択肢を示しての複数回答の形式である。

最も多いのは「いずれも行っていない」で、男性で約 6 割、女性では約 7 割である。離職直後に能力開発を行う人は、多くない。行った場合の能力開発の方法では「自宅で一人で勉強した」が最も多い。能力開発の費用にも課題があることが推測される。公共職業訓練機関や求職者支援制度を利用して学んだ人は合わせて 12% 程度であり、他の教育機関の利用よりはやや多い。これらの傾向は 2016 年調査と変わらない。

図表 7-1-9 離職後の 1 年間に行った能力開発（性別、MA） 単位：%、太字は実数

	男性	女性	男女計
通学制の学校（高校・大学・専門学校・英会話・パソコンスクール等）に通った	5.8	3.8	4.7
通信教育を受講した（インターネットを用いた学習を含む）	4.7	3.2	3.9
公共職業訓練機関で学んだ	5.8	5.6	5.7
求職者支援制度を利用した	6.6	5.3	5.9
自主的な勉強会・交流会に参加した	6.6	3.3	4.7
自宅で一人で勉強した	22.5	14.2	17.7
その他の方法で勉強した	0.6	0.3	0.5
いずれも行っていない	59.2	70.4	65.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	1,078	1,481	2,559

これを学歴別にみると（図表 7-1-10）、「いずれも行っていない」は、学歴が低いほど多くなっている。通学制の学校に通った人や一人で勉強をした人は、大学・大学院卒男女でやや多い。これに対して、公的な能力開発については、高卒の男性で公共職業訓練を利用した人が多い。2016 年調査では高卒男性には求職者支援制度の利用が多い傾向があったことを合わせて考えると、高卒の男性若年離職者は公的職業訓練を比較的良好に活用している可能性がある。

図表 7-1-11 では、初めての正社員勤務先での勤続期間別に検討した。男性の「1 年以内」での離職者でやや「いずれも行っていない」が多い。

図表 7-1-10 離職後の 1 年間に行った能力開発（性・学歴別、MA）

単位：%、太字は実数

	男性			女性			
	高校卒	専門・ 短大・ 高専卒	大学・ 大学院 卒	高校卒	専門学 校卒	短大・高 専卒	大学・ 大学院 卒
通学制の学校に通った	4.1	4.8	7.9	2.4	2.1	4.2	6.0
通信教育を受講した	3.8	4.8	5.5	1.8	2.9	4.2	4.4
公共職業訓練機関で学んだ	8.1	5.3	4.0	5.9	5.7	5.7	5.2
求職者支援制度を利用した	6.7	7.4	6.2	4.8	6.1	3.8	6.2
自主的な勉強会・交流会に参加した	3.8	11.2	7.2	2.9	2.9	2.3	4.6
自宅で一人で勉強した	13.1	27.7	28.9	10.3	12.1	14.0	19.3
その他の方法で勉強した	1.2	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.4
いずれも行っていない	66.8	53.7	54.6	76.7	71.8	69.4	64.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	419	188	471	455	280	265	481

注：表側は、図表 7-1-9 の選択肢の文面を簡略化して示している。

図表 7-1-11 離職後の1年間に行った能力開発（性・勤続期間別、MA）

単位：％、太字は実数

	男性			女性		
	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超
通学制の学校に通った	4.7	8.4	4.2	3.0	4.0	4.2
通信教育を受講した	3.9	4.3	5.7	3.0	3.4	3.2
公共職業訓練機関で学んだ	4.7	6.4	6.2	3.6	5.5	6.7
求職者支援制度を利用した	3.6	7.6	7.6	4.3	4.3	6.9
自主的な勉強会・交流会に参加した	4.7	6.1	8.4	3.6	2.8	3.7
自宅で一人で勉強した	19.4	24.2	23.2	13.6	15.5	13.4
その他の方法で勉強した	0.0	1.0	0.7	0.3	0.5	0.2
いずれも行っていない	65.9	55.7	57.9	72.8	70.1	69.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	279	393	406	302	581	598

注：表側は、図表 7-1-9 の選択肢の文面を簡略化して示している。

第2節 離職時の求職活動と現在までの状況

離職後の1年間に能力開発をした人は少なく、正社員や正社員以外の労働者として働き始めていた人が多かったが、求職活動はどのようにしたのであろうか。離職時に仕事を探した方法についても、調査では複数回答の形で質問している。図表 7-2-1 がその結果で、仕事を探さなかった人は 14.3%にとどまり、大半の人は仕事探しを行っている。最も多くの人が行ったのが、「職業安定所（ハローワーク・インターネットサービスを含む）の利用」（36.3%）で、さらにこれとほぼ並んで、「インターネット上の求人サイトの利用」（35.1%）もなされている³。男性ではこの順番は逆になってはいるものの、男女ともほぼ同程度の水準でこの2つの経路が活用されていた。2016年調査では、インターネット求人サイトの活用が男女とも4割以上と最も多かった。これは後に述べるように大卒でこの経路での求職活動が多く、かつ2016年調査のサンプル構成が大卒にやや偏っていたことの影響だと思われる。

仕事を探さなかった人の離職から1年間の状況を確認すると、男性の場合は「療養・休養していた」が多く（33.6%：仕事を探した人では8.0%）、女性の場合は「家族の世話をした」（57.5%：仕事を探した人では12.9%）「療養・休養していた」（13.8%：仕事を探した人では7.1%）が多い。また、能力開発については「いずれも行っていない」が多く（男性82.3%、女性88.2%）で、仕事を探さなかった人の大半はこの間に特に能力開発に取り組んだというわけではなかった。

³ 本調査は Web モニター調査であることから、「インターネット上の求人サイト利用」の割合が高くなっている可能性はある。

図表 7-2-1 離職時に行った求職活動（性別、MA）

単位：％、太字は実数

	男性	女性	男女計
卒業した学校の先生や職員に相談した	6.5	4.1	5.1
職業安定所（ハローワーク・インターネットサービスを含む）を利用した	35.6	36.8	36.3
民間の職業紹介サービスを利用した	13.6	10.1	11.6
インターネット上の求人サイトを利用した	36.7	34.0	35.1
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	11.4	16.2	14.2
家族や親戚に相談した	13.3	13.1	13.2
友人・知人に相談した	16.6	14.1	15.2
希望する会社に直接問い合わせた（会社のサイトから直接応募したことも含む）	7.6	6.8	7.2
その他の方法で仕事を探した	0.8	0.7	0.8
仕事は探さなかった	10.5	17.2	14.3
合計	100.0	100.0	100.0
N	1,078	1,481	2,559

離職時に行った求職活動を学歴別にみると（図表 7-2-2）、男性の場合は、大学・大学院卒では職業安定所の利用が 3 割程度とやや少なく、インターネット上の求人サイトや民間の職業紹介サービスの利用が多い。高卒では、職業安定所の利用が 4 割を超え多い。これらの利用について、2 つの学歴の中間あたりの利用状況であるのが専門・短大・高専卒である。女性の場合は、安定所の利用については学歴による差は小さい。大学・大学院卒では、インターネット上の求人サイトや民間の職業紹介サービスの利用が多く、高卒では、新聞、雑誌等の求人広告の利用が多い傾向がある。専門学校卒や短大・高専卒は男性同様これらの利用について、中間的な位置づけにある。男女とも 2016 年調査結果と大きな違いはない。

図表 7-2-2 離職時に行った求職活動（性・学歴別、MA）

単位：％、太字は実数

	男性			女性			
	高校卒	専門・ 短大・ 高専卒	大学・ 大学院 卒	高校卒	専門学 校卒	短大・ 高専卒	大学・ 大学院 卒
卒業した学校の先生や職員に相談	5.3	10.1	6.2	2.4	5.0	5.7	4.2
職業安定所を利用	42.0	38.3	28.9	36.5	35.7	40.0	36.0
民間の職業紹介サービスを利用	7.6	7.4	21.4	4.0	8.2	9.1	17.5
インターネット上の求人サイトを利用	30.1	33.5	43.9	29.0	33.2	30.6	41.0
新聞、雑誌等の求人広告を利用	17.9	11.7	5.5	23.7	17.5	13.6	9.8
家族や親戚に相談	11.7	17.0	13.2	10.8	11.8	14.3	15.4
友人・知人に相談	16.2	19.7	15.7	13.0	20.7	10.9	13.1
会社に直接問い合わせた	5.0	7.4	10.0	4.6	7.9	7.5	7.9
その他の方法で仕事を探した	0.5	2.1	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8
仕事は探さなかった	11.2	10.1	10.0	17.4	17.1	19.6	15.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	419	188	471	455	280	265	481

注：表側は、図表 7-2-1 の選択肢の文面を簡略化して示している。

次に、学歴別に「初めての正社員勤続期間」によって求職活動に違いがあるかを確認する（図表7-2-3）。

男性の場合、高卒では勤続期間に関わらず職業安定所を利用する割合は高い。勤続期間で違うのは、長い人はインターネット上の求人サイトや民間の職業紹介サービス利用が多くなり、新聞、雑誌等の求人広告の利用が少なくなることである。専門・短大・高専卒はケース数が少ないこともあり、傾向は捉えにくい。大学・大学院卒では、勤続期間が長くなると、安定所の利用が減り、インターネット上の求人サイトや民間の職業紹介サービス利用が多くなる傾向がある。一定程度勤続して核となるような知識・技能を身につけていれば、特定の範囲の職業情報を求める傾向が強くなるということかもしれない。逆に言えば、早期離職者ほどそうした核となるような技能・技術・知識がなく、方向を絞った求職活動にはなりにくい可能性がある。

女性についても、学歴ごとに勤続期間の長短による違いがみられるかを検討したが、一定の方向性を示唆するような傾向は見いだせなかった。結婚・出産などの職業キャリアを左右するライフイベントが起りやすい年齢であり、また、女性であることで家事などの家庭内での役割に収まりやすいこと等から、求職活動については特徴がつかめないのではないかと思われる。

なお、男性では「1年以内」離職者で「仕事は探さなかった」が多い傾向がみられるが、こうした人の場合、離職後1年間の状況として「療養・休養」を挙げた人が39.5%と多く、早期離職の背景に病気やけがなどの要因があることも少なくないと思われる。

図表7-2-3 離職時に行った求職活動（性・学歴・勤続期間別、MA）

単位：％、太字は実数

①男性

	高卒			専門・短大・高専卒			大学・大学院卒		
	1年以内	1年超 3年以内	3年超	1年以内	1年超 3年以内	3年超	1年以内	1年超 3年以内	3年超
卒業した学校の先生や職員に相談	2.6	5.6	6.9	12.2	11.1	7.9	12.2	4.8	3.5
職業安定所を利用	41.7	43.1	41.3	36.7	44.4	34.2	34.8	27.4	26.5
民間の職業紹介サービスを利用	2.6	9.0	10.0	4.1	9.5	7.9	12.2	20.4	28.8
インターネット上の求人サイトを利用	27.8	27.1	34.4	28.6	34.9	35.5	34.8	40.9	53.5
新聞、雑誌等の求人広告を利用	24.3	18.8	12.5	10.2	9.5	14.5	6.1	4.8	5.9
家族や親戚に相談	7.8	10.4	15.6	6.1	17.5	23.7	12.2	15.1	11.8
友人・知人に相談	14.8	16.0	17.5	10.2	22.2	23.7	13.9	14.0	18.8
会社に直接問い合わせた	5.2	4.9	5.0	4.1	6.3	10.5	13.0	9.7	8.2
その他の方法で仕事を探した	0.0	0.0	1.3	0.0	1.6	3.9	0.9	0.5	0.6
仕事は探さなかった	14.8	11.1	8.8	12.2	7.9	10.5	13.0	10.2	7.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	115	144	160	49	63	76	115	186	170

②女性

	高卒			専門・短大・高専卒			大学・大学院卒		
	1年以内	1年超 3年以内	3年超	1年以内	1年超 3年以内	3年超	1年以内	1年超 3年以内	3年超
卒業した学校の先生や職員に相談	2.7	2.4	2.2	8.4	4.0	5.4	5.2	4.7	3.1
職業安定所を利用	37.8	31.1	40.6	33.7	39.2	38.1	30.2	40.0	34.9
民間の職業紹介サービスを利用	2.7	1.2	7.2	5.3	8.4	10.3	13.5	22.6	14.4
インターネット上の求人サイトを利用	31.5	24.4	31.7	36.8	31.7	30.0	43.8	47.4	33.3
新聞、雑誌等の求人広告を利用	27.0	20.1	25.0	23.2	17.2	10.8	17.7	6.8	8.7
家族や親戚に相談	15.3	11.0	7.8	14.7	11.9	13.5	24.0	14.2	12.3
友人・知人に相談	17.1	12.2	11.1	17.9	15.9	15.2	17.7	14.7	9.2
会社に直接問い合わせた	4.5	6.7	2.8	11.6	6.6	7.2	7.3	8.9	7.2
その他の方法で仕事を探した	0.0	0.6	1.1	2.1	0.0	0.9	1.0	0.0	1.5
仕事は探さなかった	15.3	18.3	17.8	14.7	17.6	20.6	11.5	8.9	24.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
N	111	164	180	95	227	223	96	190	195

注：表側は図表7-2-1の表側の文面を簡略化して示している。

さて、求職活動の直接の結果であるとは限らないが、その後の状況として調査時点における就業状況を確認する。

離職者のうち調査時点において就業している人は、1,847人（離職者の72.2%、男性は同89.5%、女性は同59.6%）であり、図表7-2-4にみるとおり、男性の場合は正社員の割合が離職者の65.4%（調査時点での就業者の73.1%）、女性では23.2%（同39.0%）であった。離職後1年間の状況に比べると、正社員就業者は男性では増加し、女性では減少している可能性が高い⁴。また、2016年調査での調査時点の状況に比べると、男性では正社員がやや増え（2016年の62.9%→65.4%）、女性では正社員以外の雇用がやや増えて（2016年の32.2%→34.2%）、全体として雇用者の割合が高まった。近年の景気拡大の持続を背景に、再就職の機会が拡大していると考えられる。さらに、「もっぱら求職活動」を失業中とみなし、擬似的に失業率を計算すると2.9%（男性3.1%、女性2.6%）となり、調査時点である2018年8月の全国の24～35歳の完全失業率3.3%（男性3.5%、女性3.1%：総務省統計局「労働力調査」）よりも低い。2016年調査では本調査における離職者の疑似失業率の方が高かったのだが、今回は逆転しており、ここから最初正社員勤務先を辞めた後の再就職がしやすい環境になっていることがわかる。

⁴ 離職後の1年間の状況は複数回答の方式でこの間に経験したこと全てを選ぶ形なので、一時点の状況を問う設問より、どの項目も高くなる可能性がある。したがって、女性の正社員割合の減少については留保が必要ではある。

図表 7-2-4 離職者の現在の状況（性別）

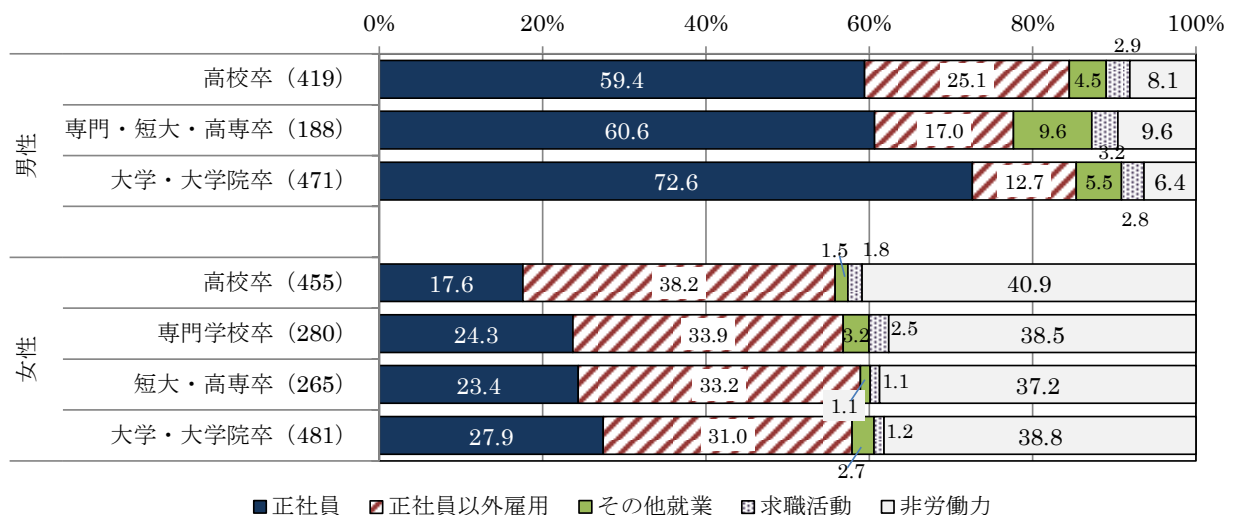
単位：％、太字は実数

	男性	女性	男女計
正社員として働いている	65.4	23.2	41.0
契約社員として働いている	6.4	5.5	5.9
派遣社員として働いている	2.8	4.3	3.7
パート・アルバイト・非常勤として働いている	9.1	24.3	17.9
雇用以外の形態で働いている（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業など）	5.8	2.2	3.7
もっぱら就職活動をしている	2.9	1.6	2.1
学校で（高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）学んでいる（通信制含む）	0.2	0.6	0.4
もっぱら勉強をしている（上記の学校に在学している場合を除く）	0.7	0.6	0.7
もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしている	1.0	33.6	19.9
もっぱら療養・休養をしている	5.7	4.1	4.7
合計	100.0	100.0	100.0
N	1,078	1,481	2,559

注：「その他」は掲載を省いた。

次の図表 7-2-5 は、これを学歴別にみたものである。男性についてみると、大学・大学院卒では正社員が 72.6% であるのに対して、高卒および専門・短大・高専卒ではほぼ 6 割となっており、大学・大学院卒とは差がある。正社員以外の雇用形態は高卒が多い。2016 年調査では高卒男性では正社員割合は 44.1% と低く、正社員以外の雇用形態の割合は 30.8% と高かった。さらに、「もっぱら就職活動」の割合も 7.7% と高かった。これと比べれば大幅に改善しており、高卒男性の再就職環境は高等教育卒業者よりは厳しいもののよくなっていると推測される⁵。

図表 7-2-5 離職者の現在の状況（性別・学歴別）



注：「正社員以外雇用」は、契約社員、派遣社員、アルバイト・パート・非常勤の合計、「その他就業」は「会社経営者・役員・自営・業務委託・内職・家族従業など」、「非労働力」は「学校で学んでいる」「もっぱら勉強」「もっぱら家族の世話」「もっぱら療養・休養」及び「その他」の合計である。

() 内は対象数 (N)。

⁵ ただし、2016 年調査の高卒者は 20 歳代のみであったが、今回調査では 33 歳まで含まれるので、単純には比較できない。

女性では、いずれの学歴でも4割程度が非労働力化している。就業者の中では、大学・大学院卒で最も正社員割合が大きく正社員以外の雇用形態の割合が小さい。高卒はその逆で正社員割合が小さく、正社員以外の雇用形態の割合が大きい。専門学校卒と短大・高専卒はその中間に位置する。女性においても、高学歴者ほど正社員割合が高い傾向がある。2016年調査では、短大・高専卒者を除けば同じような傾向がみられたが、短大・高専卒者の半数が非労働力化していたため、全体としてははっきりした傾向がつかめなかったものである。

次の図表7-2-6は、初めての正社員勤務先での勤続期間によって現在の就業状況に差異があるかを、学歴を統制したうえでみた結果である。2016年調査ではケース数の問題もあり、学歴を統制しての勤続期間の影響は検討できなかった。

まず男性についてみる。正社員割合と正社員以外の雇用形態割合に注目すると、大学・大学院卒では「1年以内」が特に正社員が少なく正社員以外が多い。高卒では大卒ほど差は際立っていないものの「1年以内」は「1年超3年以内」「3年超」に比べて正社員が少ない。また、正社員以外の雇用は「3年超」に比べれば多い。専門・短大・高専卒については、勤続期間による違いははっきりしない。専門・短大・高専卒が多い職種や業種の特性もあるのかもしれない。

2016年調査では、学歴を統制せずに勤続期間別の集計から、早期離職者ほど正社員になっている者が少ないことが指摘されたが、今回学歴を統制できたことで、前回の結果は学歴の偏りの影響を受けたものでないことが確かめられた。男性就業者の多くを占める高卒と大学・大学院卒で、学卒後1年以内などの特に早期の離職の場合、正社員での転職が円滑に進まない傾向があることは指摘できることである。

次に女性についてみよう。やはり正社員割合と正社員以外の雇用形態割合に注目すると、正社員割合は、どの学歴でも「1年以内」での離職のほうが「3年超」での離職より高い。正社員以外の雇用については、大学・大学院卒を除いて他は「1年以内」の方がわずかだが低い。これらは男性とは逆の傾向であり、また2016年調査結果とも逆である。

2016年調査とは期間の区分が異なるので、これを合わせてみたのが、図表7-2-7である。2016年調査では、女性も離職前の勤続期間が短いほど、正社員以外の雇用が多かった。今回は女性の学歴計ではこうした傾向ははっきりつかめない。ただし、大学・大学院卒についてみれば、勤続期間が短いほど正社員以外の雇用が多くなっており、この部分だけは2016年調査と整合していた。

すなわち、女性の場合、大学・大学院卒については離職前の勤続期間がその後の正社員雇用に一定の影響を及ぼすといえるが、それ以外の学歴の場合は、勤続期間の影響はあまりないということだろう。学歴自体は正社員割合との関連を示していたので(前出:図表7-2-5)、勤続期間より学歴の影響が大きいといえるだろう。

図表 7-2-6 離職者の現在の状況（性別・学歴別・勤続期間別）単位：％、太字は実数

	高卒			専門・短大・高専卒			大卒・大学院卒			学歴計			
	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超	1年以内	1年超3年以内	3年超	
男性	正社員	53.0	60.4	63.1	61.2	60.3	60.5	58.3	76.9	77.6	56.6	68.2	68.7
	正社員以外の雇用	27.8	27.1	21.3	18.4	15.9	17.1	25.2	9.7	7.6	25.1	17.0	14.8
	その他就業	4.3	6.3	3.1	8.2	11.1	9.2	7.0	5.9	4.1	6.1	6.9	4.7
	求職活動	3.5	1.4	3.8	4.1	3.2	2.6	5.2	1.6	2.4	4.3	1.8	3.0
	非労働力	11.3	4.9	8.8	8.2	9.5	10.5	4.3	5.9	8.2	7.9	6.1	8.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	N	115	144	160	49	63	76	115	186	170	279	393	406
女性	正社員	22.5	14.6	17.2	26.3	21.6	25.1	29.2	32.1	23.1	25.8	23.1	22.1
	正社員以外の雇用	36.0	39.6	38.3	31.6	36.1	31.8	35.4	29.5	30.3	34.4	34.9	33.3
	その他就業	0.9	1.2	2.2	2.1	2.2	2.2	3.1	1.1	4.1	2.0	1.5	2.8
	求職活動	0.0	0.6	3.9	2.1	1.8	1.8	0.0	0.5	2.6	0.7	1.0	2.7
	非労働力	40.5	43.9	38.3	37.9	38.3	39.0	32.3	36.8	40.0	37.1	39.4	39.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	N	111	164	180	95	227	223	96	190	195	302	581	598

注：「正社員以外の雇用」は、契約社員、派遣社員、アルバイト・パート・非常勤の合計、「その他就業」は「会社経営者・役員・自営・業務委託・内職・家族従業など」、「非労働力」は「もっぱら家族の世話」「もっぱら勉強」及び「その他」の合計である。

図表 7-2-7 離職者の現在の状況（2016年調査との比較）単位：％、太字は実数

		男性					女性				
		1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年以上	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年以上
2016年調査	正社員	54.5	57.3	67.1	68.1	70.8	23.8	25.2	27.3	28.1	14.0
	学歴計 正社員以外の雇用	24.9	26.1	13.0	14.1	11.5	38.3	31.8	31.8	27.2	30.8
	合計 (N)	253	157	146	135	209	290	258	245	217	299
今回調査	学歴計 正社員	56.6	66.0	70.7	66.9	69.6	25.8	23.8	22.3	27.0	19.7
	学歴計 正社員以外の雇用	25.1	19.8	13.8	15.8	14.3	34.4	35.6	34.3	31.6	34.1
	学歴計 合計 (N)	279	212	181	133	273	302	298	283	196	402
	高卒 正社員	53.0	62.6	56.6	63.0	63.2	22.5	19.2	10.5	21.8	15.2
	高卒 正社員以外の雇用	27.8	26.4	28.3	23.9	20.2	36.0	39.7	39.5	40.0	37.6
	高卒 合計 (N)	115	91	53	46	114	111	78	86	55	125
	専門・短大・高専卒 正社員	61.2	60.0	60.6	60.0	60.8	26.3	18.5	25.0	26.4	24.5
	専門・短大・高専卒 正社員以外の雇用	18.4	16.7	15.2	20.0	15.7	31.6	37.0	35.2	31.9	31.8
	専門・短大・高専卒 合計 (N)	49	30	33	25	51	95	119	108	72	151
	大学・大学院卒 正社員	58.3	71.4	82.1	72.6	80.6	29.2	33.7	30.3	31.9	18.3
大学・大学院卒 正社員以外の雇用	25.2	14.3	5.3	8.1	7.4	35.4	30.7	28.1	24.6	33.3	
大学・大学院卒 合計 (N)	115	91	95	62	108	96	101	89	69	126	

注：「正社員以外の雇用」は、契約社員、派遣社員、アルバイト・パート・非常勤の合計、「その他就業」、「非労働力」は掲載を省いた。なお、勤続期間が「4年以上」については、2016年調査においてはケースの年齢構成の偏りが大きいため、分析から外しているため、本表においてもそれを踏襲している。

・比較のため2016年調査（上段の背景がグレーの部分）結果も示した。今回調査結果で背景を彩色した部分は、本文での言及に相当するところである。

さて、今回調査では、初めての正社員勤務先を辞めてから現状までに経験した正社員

勤務先の数を問うている。図表7-2-8のとおり、現在正社員である男女では、ほぼ7割（男性67.7%、女性72.7%）は現職が転職先となっている。現職までに複数の会社での正社員を経験した人は3割程度である。一方、現在正社員以外の雇用形態である人、あるいは自営などの雇用以外の就業形態の人の場合、離職後、他の会社の正社員を経験した人は半数弱であった。現在は非労働力となっている女性でも、初めての正社員勤務先を離職後、4割の人は他社で正社員を経験していた。

図表7-2-8 離職者の現在の状況別経験した正社員勤務先数 単位：%、太字は実数

		正社員は「初めての正社員勤務先」のみ	1社	2社	3社	4社以上	合計	
							%	N
男性	正社員	0.0	67.7	16.7	9.5	6.1	100.0	705
	正社員以外の雇用	50.8	28.9	11.2	4.6	4.6	100.0	197
	その他就業	50.8	28.6	11.1	7.9	1.6	100.0	63
	求職活動	51.6	25.8	12.9	3.2	6.5	100.0	31
	非労働力	47.6	25.6	7.3	11.0	8.5	100.0	82
	合計	17.3	53.9	14.6	8.4	5.8	100.0	1,078
女性	正社員	0.3	72.7	17.7	6.4	2.9	100.0	344
	正社員以外の雇用	61.7	26.1	8.5	2.2	1.6	100.0	506
	その他就業	46.9	34.4	12.5	6.3	0.0	100.0	32
	求職活動	66.7	29.2	0.0	4.2	0.0	100.0	24
	非労働力	60.2	27.3	6.8	4.0	1.7	100.0	575
	合計	46.6	37.6	9.9	4.0	1.9	100.0	1,481

注：「正社員以外の雇用」は、契約社員、派遣社員、アルバイト・パート・非常勤の合計、「その他就業」は「会社経営者・役員・自営・業務委託・内職・家族従業など」、「非労働力」は「もっぱら家族の世話」「もっぱら勉強」及び「その他」の合計である。

現職が正社員であり、かつ「正社員は初めての正社員勤務先のみ」とするケースは、離職後、元の会社に正社員として再就職したものである。

合わせて初めての正社員勤務先を辞めてから現在の勤務先に入社するまでの期間についても見ておく。ここでの分析対象は離職者のうち現在就業している人（1,847 ケース）のみである。図表7-2-9は性別にその期間を見たものである。

男性の26.7%、女性の19.5%が離職した月か翌月に現在の勤務先に就職している。下段に斜体で示した数字は、それが正社員としての転職であった者だけに絞った時の割合である。男性の場合は離職者の23.5%が正社員として離職後ただちに再就職している。おそらく初めての正社員勤務先に在職中に転職先の内定を得ての計画的な転職だったと推測される。

女性の場合は、そうした間をおかない正社員での転職は11.6%と少ない。女性では現在の雇用形態が正社員以外であることが多いことも背景にあるだろうが、次の内定を得てから離職という行動をとる人は男性の半数程度にとどまる。男女のこうした離職から再就職までの期間にみられる特徴はほぼ2016年調査結果と同様だが、今回調査の方が

2016 調査より年齢構成が高いこともあって、現職入社まで 3 年以上の期間がある人は今回調査の方が多い。

**図表 7-2-9 初めての正社員勤務先離職から現在の勤務先に入社するまでの期間
(性別)**

単位：％、太字は実数

		同月、 翌月	3か月目～ 1年未満	1年～3年 未満	3年以上	不明	計 ％	計 N
男性	転職者計	26.7	16.2	21.0	35.6	0.4	100.0	965
	うち正社員	<i>23.5</i>	<i>11.5</i>	<i>14.2</i>	<i>23.7</i>	<i>0.1</i>	<i>73.1</i>	
女性	転職者計	19.5	21.2	25.5	33.6	0.2	100.0	882
	うち正社員	<i>11.6</i>	<i>7.7</i>	<i>10.2</i>	<i>9.5</i>	<i>0.0</i>	<i>39.0</i>	
男女計	転職者計	23.3	18.6	23.2	34.7	0.3	100.0	1,847
	うち正社員	<i>17.8</i>	<i>9.7</i>	<i>12.3</i>	<i>16.9</i>	<i>0.1</i>	<i>56.8</i>	

注：「うち正社員」は各区分の対象数（N）に対する正社員就職者の割合である。

離職者のうち現職が正社員である人（1,049 ケース）について、現職入社までの期間と現職までの正社員経験会社数とを組み合わせしてみたのが、次の図表 7-2-10 である。男女とも離職から 1 年未満の時期に再就職したケースではすべてが 1 社目の転職先となっている。これに対して、最初の正社員勤務先を離職してから 3 年以上たってから現職に入職しているケースでは、2 社目が 3～4 割、3 社目が 2～3 割、4 社以上経験が 1～2 割と、数度の転職を繰り返している。

**図表 7-2-10 初めての正社員勤務先離職から現在の勤務先に入社するまでの期間
別正社員経験会社数（性別）**

単位：％、太字は実数

		1 社	2 社	3 社	4 社以上	合計 ％	合計 N
男性	同月、翌月	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	227
	3か月目～1年未満	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	111
	1年～3年未満	56.2	35.0	5.8	2.9	100.0	137
	3年以上	26.6	30.6	25.8	17.0	100.0	229
	不明	-	-	-	-	100.0	1
	合計	67.7	16.7	9.5	6.1	100.0	705
女性	同月、翌月	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	102
	3か月目～1年未満	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	68
	1年～3年未満	60.0	33.3	4.4	1.1	100.0	90
	3年以上	31.0	36.9	21.4	10.7	100.0	84
	合計	72.7	17.7	6.4	2.9	100.0	344

注：「正社員は初めての正社員勤務先のみ」とするケースは元の会社への再就職であり掲載を省いた。

次の図表7-2-11では、これを初めての正社員勤務先への勤続期間別にみた。男性では早期離職者で複数社経験が多くなっている。こうした移動の多いキャリアの評価は難しいが、職業の安定という面から見れば、課題があるといえよう。

図表7-2-11 初めての正社員勤続期間別正社員経験会社数（性別）

単位：％、太字は実数

		1社	2社	3社	4社以上	合計	
						％	N
男性	1年以内	62.0	17.7	10.8	9.5	100.0	158
	1年超3年以内	64.6	17.9	10.1	7.5	100.0	268
	3年超	73.8	15.1	8.2	2.9	100.0	279
	合計	67.7	16.7	9.5	6.1	100.0	705
女性	1年以内	69.2	21.8	9.0	0.0	100.0	78
	1年超3年以内	70.9	15.7	9.0	4.5	100.0	134
	3年超	76.5	17.4	2.3	3.0	100.0	132
	合計	72.7	17.7	6.4	2.9	100.0	344

注：「正社員は初めての正社員勤務先のみ」とするケースは元の会社への再就職であり掲載を省いた。

図表7-2-12 初めての正社員勤務先離職から現在の勤務先に入社するまでの期間（性・学歴別）

単位：％、太字は実数

		同月、 翌月	3か月目～ 1年未満	1年～3年 未満	3年以上	不明	計		
							％	N	
男性	高校卒	転職者計	18.2	12.1	19.3	50.4	0.0	100.0	373
		うち正社員	15.0	8.0	11.3	32.4	0.0	66.8	
	専門・短大・高専卒	転職者計	20.7	17.1	23.8	36.6	1.8	100.0	164
		うち正社員	17.1	11.0	14.6	26.2	0.6	69.5	
女性	大学・大学院卒	転職者計	36.4	19.4	21.5	22.4	0.2	100.0	428
		うち正社員	33.4	14.7	16.6	15.2	0.0	79.9	
	高校卒	転職者計	13.0	17.6	23.8	45.2	0.4	100.0	261
		うち正社員	5.4	6.5	8.4	10.3	0.0	30.7	
女性	専門学校卒	転職者計	18.0	20.3	28.5	32.6	0.6	100.0	172
		うち正社員	11.0	5.8	12.8	9.9	0.0	39.5	
	短大・高専卒	転職者計	14.4	22.2	22.2	41.2	0.0	100.0	153
		うち正社員	7.8	10.5	9.2	13.1	0.0	40.5	
大学・大学院卒	転職者計	28.7	24.3	27.0	19.9	0.0	100.0	296	
	うち正社員	19.3	8.4	10.8	6.8	0.0	45.3		

注：「うち正社員」は各区分の対象数（N）に対する正社員就職者の割合である。

次に離職から現職入社までの期間の学歴別の相違を検討する（図表7-2-12）。同月か翌月に入職している人の割合は学歴によって異なり、高学歴者ほどその割合は大きい。特に大学・大学院卒でその割合は大きく、また、男性で顕著である。正社員での転

職に絞った下段の斜体の数字では、より違いが鮮明になる。離職から1年未満で現在の勤務先に正社員で入職している人の割合をみると、男女とも大学・大学院卒では再就職者の半数を超えるのに対して、高卒では3分の1以下である。これらの学歴別の特徴は2016年調査から変わらない。

次の図表7-2-13は、「初めての正社員勤続期間」別にみたものである。

これも男性では違いが明白である。勤続期間が長かった人ほど、離職から間を開けずに再就職している人が多い。「3年超」勤続後の離職者では、同月または翌月に再就職した割合は39.4%（正社員での再就職に限れば35.8%）と高い。逆に勤続期間が1年以内の離職者では、現在の勤務先に入職するまで3年以上の期間がある割合が約半数である。先にみたとおり、現職入職まで3年以上の期間がある場合は、現職までに数社を経験している人が多いのだが、早期離職者にこういう人が多いことから、早期離職であるほど不安定になりやすく、また不安定な期間が長引きやすいといえるだろう。

女性では、「3年超」勤続者で離職から1年未満で再就職したケースがやや多いものの、「同月、翌月」に入職した割合に限れば、むしろ「1年以内」勤続者のほうが多く、傾向的な特徴は捉えづらい。

男性の早期離職者においては、離職後に不安定な就業状況に陥りやすい傾向がみられる一方、女性においては早期離職の影響がはっきりは見られないという点は、2016年調査結果と共通している。

図表7-2-13 初めての正社員勤務先離職から現在の勤務先に入社するまでの期間
(性・初めての正社員勤続期間別) 単位：%、太字は実数

		同月、 翌月	3ヶ月目～ 1年未満	1年～3年 未満	3年以上	不明	計 %	N	
男 性	1年以内	転職者計	13.9	15.9	19.2	51.0	0.0	100.0	245
		うち正社員	11.4	9.4	11.8	31.8	0.0	64.5	
	1年超3年以内	転職者計	22.9	16.9	21.3	37.8	1.1	100.0	362
		うち正社員	19.6	13.0	14.1	27.1	0.3	74.0	
	3年超	転職者計	39.4	15.6	22.1	22.9	0.0	100.0	358
		うち正社員	35.8	11.5	15.9	14.8	0.0	77.9	
女 性	1年以内	転職者計	21.3	16.5	22.3	39.4	0.5	100.0	188
		うち正社員	12.8	4.8	11.2	12.8	0.0	41.5	
	1年超3年以内	転職者計	17.3	20.5	22.0	40.2	0.0	100.0	346
		うち正社員	11.3	7.8	8.4	11.3	0.0	38.7	
	3年超	転職者計	20.7	24.4	30.7	23.9	0.3	100.0	348
		うち正社員	11.2	9.2	11.5	6.0	0.0	37.9	

注：「うち正社員」は各区分の対象数（N）に対する正社員就職者の割合である。

本調査では、現在働いていない人については、就業希望とその時期を尋ねた。結果は図表7-2-14に示す通り、就職活動をしていない人でも「1年以内に働き始めたい」

という人は少なくない。「もっぱら家族の世話」をしている女性でも「再び働くことを考えていない」人は5.2%にとどまる。療養・休養中の人でも「働くことは考えていない」人は、男性2割、女性の1割で、いったん離職しても就業希望を持つ人が大半である。

図表7-2-14 現在の働いていない人の就業希望

単位：%、太字は実数

	1年以内に働き始めたい	1年を超えて3年以内に働き始めた	3年を超えて5年以内に働き始めた	5年を超えてから働き始めたい	再び働きたいが、いつからかわからない	再び働くことは考えていない	合計	
							%	N
男性								
もっぱら就職活動	77.4	6.5	0.0	0.0	12.9	3.2	100.0	31
学校で学んでいる,もっぱら勉強*	50.0	0.0	10.0	0.0	30.0	10.0	100.0	10
もっぱら家族の世話	45.5	0.0	9.1	0.0	36.4	9.1	100.0	11
もっぱら療養・休養	42.6	6.6	0.0	1.6	27.9	21.3	100.0	61
合計	53.1	5.3	1.8	0.9	24.8	14.2	100.0	113
女性								
もっぱら就職活動	87.5	4.2	0.0	0.0	8.3	0.0	100.0	24
学校で学んでいる,もっぱら勉強*	33.3	22.2	16.7	11.1	11.1	5.6	100.0	18
もっぱら家族の世話	25.6	28.0	13.9	2.2	25.2	5.2	100.0	497
もっぱら療養・休養	41.7	20.0	0.0	5.0	21.7	11.7	100.0	60
合計	29.9	26.0	12.0	2.7	23.7	5.7	100.0	599

注：「学校で学んでいる、もっぱら勉強」は、図表7-2-4の表側のうち、「学校（高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）で学んでいる」「もっぱら勉強をしている（上記の学校に在学している場合を除く）」の合計。また、「その他」は掲載を省いた。

第8章 再就職者の現在の就業状況

この章では、初めての正社員勤務先を離職した人のうち、現在就業している人の就業状況について明らかにする。該当する対象者は1,847人（調査対象全体の28.3%、うち男性965人、女性882人）である。

なお、正社員であるか正社員以外の雇用形態であるのかは、就業上の諸条件を大きく分ける事柄であるため、現在の勤務先の特徴を見る際にはまず、これを分ける必要がある。また、現在の就業状況は、「初めての正社員勤務先」の離職から連なったキャリアの展開であると考え、「初めての正社員勤務先」との関係の解明を分析の基本的な軸とする。これを主にキャリアを分ける変数である性別、学歴別に検討していく。内容によっては、「初めての正社員勤務先期間」も分析の軸に加える。

なお、再就職者の就業状況を初めての正社員勤務先に勤続し続けている人と比較する視点も重要だが、この点は今後の分析に譲りたい。

第1節 現在の勤務先と初めての正社員勤務先との諸属性の比較

この節では、現在の勤務先の基本的な属性（企業規模、業種、職種）について、初めての正社員勤務先との比較を軸に記述する。

まず、最初に企業規模について取り上げる。わが国では、賃金をはじめとする正社員の労働条件に、企業規模による差があることはよく指摘される場所である。正社員に焦点づけて、勤務先企業の規模の違いを確認しておこう。

図表8-1-1が勤務先企業規模の構成比を示したものだが、現在正社員である者については、現在の勤務先の企業規模と初めての正社員勤務先の企業規模（辞める直前のもの）を対比する形で掲載した。現在正社員以外の雇用形態の者についても、参考までに現在の勤務先企業規模を記載した。

さて、現在の勤務先と初めての正社員勤務先との間の違いに注目すると、男女とも、現在の勤務先企業のほうが1,000人以上規模や300～999人規模が少なく、1～9人規模が多い。すなわち、より小規模な企業に移動した人が多い。また、現在は官公庁や公営事業所の割合が、特に男性で高くなっている。官公庁などは、公募の形で30歳代前半程度までの年齢層を対象とした採用を行うことが多いので、再就職先となりやすいということであろう。これらの傾向はほぼ2016年調査結果と一致しているが、全体として、最初の勤務先と現在の勤務先の規模の差は小さくなっており、再就職先の規模があまり変わらない人やより大規模企業に移動した人が増えている可能性がある。

図表 8-1-1 現在の勤務先企業規模と初めての正社員勤務先企業の企業規模

単位：％、太字は実数

		1～9人	10～29人	30～99人	100～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁・公営事業所	計 %	N
男性	現在の勤務先（正社員）	7.7	11.2	18.0	18.9	14.9	19.1	9.9	100.0	705
	初めての正社員勤務先	6.1	11.9	17.4	21.0	17.4	21.6	4.5	100.0	705
	現在の勤務先（正社員以外）	5.1	15.2	15.7	16.8	15.2	28.9	1.5	100.0	197
女性	現在の勤務先（正社員）	10.2	15.4	21.5	14.8	14.5	18.3	5.2	100.0	344
	初めての正社員勤務先	9.3	14.5	16.9	15.4	19.8	20.9	3.2	100.0	344
	現在の勤務先（正社員以外）	10.1	14.4	20.4	17.0	14.0	19.6	2.8	100.0	506

注：「正社員以外」は、契約社員、派遣社員、アルバイト・パート・非常勤。

規模不明は掲載を省いた。

図表 8-1-2 はこれを学歴別に見たものである。初めての正社員勤務先に比べて現職のほうが小規模企業の割合が大きいのが、大卒の男女、高卒の女性である。他はその割合にあまり変化がなかったり、現職の方がより大規模企業が多かったりしている。学歴によって移動に特徴があることがうかがわれる。現職で官公庁・公営事業所が増えているのは大学・大学院卒男女で、こうした移動は高学歴者に特に多いと言える。この学歴別の特徴は 2016 年調査結果と大きく違わないが、大卒・大学院卒男性においては、移動によって大企業割合が減る傾向が弱くなっていた。

図表 8-1-2 現在正社員である者の現在の勤務先企業規模と初めての正社員勤務先企業の企業規模（性・学歴別）

単位：％、太字は実数

		1～9人	10～29人	30～99人	100～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁・公営事業所	計 %	N
男性	高卒									
	現在の勤務先	11.6	14.9	22.5	17.3	11.2	16.5	5.6	100.0	249
	初めての正社員勤務先	10.0	17.7	22.1	23.3	6.8	14.5	5.6	100.0	249
	専門・短大・高専卒									
	現在の勤務先	7.0	12.3	25.4	22.8	14.9	14.0	2.6	100.0	114
	初めての正社員勤務先	5.3	16.7	19.3	21.1	18.4	15.8	3.5	100.0	114
女性	大学・大学院卒									
	現在の勤務先	5.0	8.2	12.3	18.7	17.5	22.8	15.5	100.0	342
	初めての正社員勤務先	3.5	6.1	13.5	19.3	24.9	28.7	4.1	100.0	342
	高卒									
	現在の勤務先	18.8	17.5	22.5	18.8	10.0	11.3	1.3	100.0	80
	初めての正社員勤務先	7.5	15.0	27.5	13.8	15.0	17.5	3.8	100.0	80
女性	専門・短大・高専卒									
	現在の勤務先	11.5	15.4	25.4	14.6	19.2	12.3	1.5	100.0	130
	初めての正社員勤務先	16.9	21.5	18.5	15.4	17.7	9.2	0.8	100.0	130
	大学・大学院卒									
現在の勤務先	3.7	14.2	17.2	12.7	12.7	28.4	11.2	100.0	134	
初めての正社員勤務先	3.0	7.5	9.0	16.4	24.6	34.3	5.2	100.0	134	

注：規模不明は掲載を省いた。

図表 8-1-3 は、初めての正社員勤続期間による違いを見たものである。男性では「3年超」の場合に 1,000 人以上規模からより小規模の企業に異動する割合が高い。このことは 2016 年調査でも見られた傾向であった。

図表 8-1-3 現在正社員である者の現在の勤務先企業と初めての正社員勤務先企業のやめる直前の企業規模（性・初めての正社員勤続期間別） 単位：％、太字は実数

		1～9人	10～29人	30～99人	100～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁・公営事業所	計	N	
男性	1年以内	現在の勤務先	10.1	11.4	17.7	18.4	15.2	16.5	10.1	100.0	158
		初めての正社員勤務先	11.4	14.6	25.9	14.6	10.8	15.8	7.0	100.0	158
	1年超3年以内	現在の勤務先	8.2	10.1	17.2	19.0	13.4	20.1	11.6	100.0	268
		初めての正社員勤務先	5.2	13.4	13.8	23.5	20.9	19.0	4.1	100.0	268
	3年超	現在の勤務先	5.7	12.2	19.0	19.0	16.1	19.7	8.2	100.0	279
		初めての正社員勤務先	3.9	9.0	16.1	22.2	17.9	27.2	3.6	100.0	279
女性	1年以内	現在の勤務先	10.3	14.1	21.8	17.9	14.1	19.2	2.6	100.0	78
		初めての正社員勤務先	15.4	16.7	17.9	15.4	11.5	21.8	1.3	100.0	78
	1年超3年以内	現在の勤務先	9.0	19.4	17.9	13.4	14.9	17.9	7.5	100.0	134
		初めての正社員勤務先	9.3	14.5	16.9	15.4	19.8	20.9	3.2	100.0	134
	3年超	現在の勤務先	11.4	12.1	25.0	14.4	14.4	18.2	4.5	100.0	132
		初めての正社員勤務先	8.3	14.4	15.2	14.4	20.5	22.7	4.5	100.0	132

注：規模不明は掲載を省いた。

次に勤務先企業の業種について検討する。業種、並びに次に検討する職種については、初めての正社員勤務先の業種、職種との異同に焦点を当てる。業種、職種にはそれぞれ固有の知識や技能の集積があり、その経験は個人の職業能力形成に寄与するだろうし、それだからこそ同一の業種・職種内での移動はキャリアの一つの展開の形となる可能性があるだろう。これに正社員であるかどうかの視点を加えて、再就職状況をみる。

図表 8-1-4 の最も左の列の数字は、現在の勤務先の業種の構成比を示している（初めての正社員勤務先あるいは現在の勤務先のいずれもが 10 ケース未満の場合は掲載を省いている）。左から 3 番目の数字の列は初めての正社員勤務先の業種（辞める直前の時点での業種）の構成比である。どの業界からの離職者が多いかはこの数字でわかるが、男性では製造業からの離職者が最も多く、次いでサービス業（他に分類されないもの）からの離職者が多い。また、この 2 つを比べることで全体としての移動の方向性がわかるので、それをこの間の不等号で示している。すなわち、男性の場合、建設業、製造業、金融業・保険業、宿泊業・飲食サービス業、サービス業（他に分類されないもの）は離職した人の方が参入者より多く、運輸業・郵便業、小売業、医療・福祉、公務（学校・病院・福祉施設を除く）は参入した人のほうが多い。

図表 8-1-4 初めての正社員勤務先の業種と現在の勤務先の業種の構成比、および同業種内での転職・正社員での転職割合（性別）

①男性

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比		初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合		
	転職者	正社員 転職者		（ 転職者 N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者
建設業	5.6	4.8	7.3	(70	31.4	22.9)
製造業	21.8	17.4	23.5	(227	46.7	37.9)
電気・ガス・熱供給・水道業	2.8	2.1	2.7	(26	34.6	26.9)
情報通信業（マスコミ除く）	7.2	5.4	7.2	(69	46.4	37.7)
運輸業、郵便業	6.0	4.0	3.8	(37	51.4	29.7)
卸売業	2.4	2.0	3.3	(32	6.3	3.1)
小売業	7.5	3.7	6.0	(58	27.6	15.5)
金融業・保険業	1.1	0.9	3.6	(35	5.7	5.7)
不動産業、物品賃貸業	2.3	1.8	1.9	(18	33.3	33.3)
学術研究、専門・技術サービス業（コンサル・広告業除く）	2.0	1.3	1.9	(18	11.1	5.6)
宿泊業、飲食サービス業	3.7	2.4	5.2	(50	34.0	24.0)
生活関連サービス業、娯楽業（理容、クリーニング、旅行など）	1.8	0.8	2.1	(20	20.0	15.0)
教育、学習支援業	2.5	1.9	2.9	(28	35.7	25.0)
医療、福祉	11.7	9.2	9.5	(92	78.3	64.1)
マスコミ（新聞・出版・テレビ・ラジオ）	1.0	0.6	1.1	(11	27.3	9.1)
サービス業（他に分類されないもの）	10.7	6.2	12.3	(119	29.4	16.8)
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	6.4	6.2	4.0	(39	30.8	30.8)
その他	1.0	0.3	0.3	(3	—	—)
合計	100.0	73.1	100.0	(965	38.5	29.2)
N	965		965			

②女性

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比		初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合		
	転職者	正社員 転職者		（ 転職者 N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者
建設業	3.1	2.2	2.6	(23	13.0	0.0)
製造業	9.6	3.7	9.1	(80	37.5	13.0)
電気・ガス・熱供給・水道業	1.1	0.7	1.2	(11	36.4	17.5)
情報通信業（マスコミ除く）	4.2	1.7	2.9	(26	26.9	36.4)
運輸業、郵便業	3.2	0.9	1.7	(15	26.7	15.4)
卸売業	3.3	1.7	4.1	(36	22.2	0.0)
小売業	10.1	2.7	10.1	(89	32.6	13.9)
金融業・保険業	2.8	1.9	5.8	(51	17.6	6.7)
不動産業、物品賃貸業	2.3	0.9	0.9	(8	12.5	7.8)
学術研究、専門・技術サービス業（コンサル・広告業除く）	2.8	1.1	1.8	(16	25.0	12.5)
宿泊業、飲食サービス業	7.6	0.6	6.1	(54	29.6	0.0)
生活関連サービス業、娯楽業（理容、クリーニング、旅行など）	4.2	1.1	5.2	(46	30.4	1.9)
教育、学習支援業	5.3	1.9	6.5	(57	40.4	10.9)
医療、福祉	22.1	12.2	23.4	(206	66.5	17.5)
コンサルティング・広告業	1.7	0.8	1.0	(9	22.2	0.0)
サービス業（他に分類されないもの）	11.5	2.3	12.9	(114	35.1	0.0)
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	2.3	1.5	2.3	(20	10.0	6.1)
その他	1.5	0.6	0.7	(6	0.0	5.0)
合計	100.0	39.0	100.0	(882	38.1	16.3)
N	882		882			

注：《、》の記号は初めての正社員勤務先業種と現在の勤務先業種の割合で、1.5ポイント以上の差があるもの。初めての正社員勤務先業種、現在の勤務先業種のいずれもが10ケース未満の業種は掲載を省いた。また、初めての正社員勤務先での業種が「その他」である者は同業種であるかの判定から除いた。「正社員転職者」は各区分の対象数（N）に対する正社員で転職した者の割合である。

それが正社員としての参入であるかどうかは、左から2番目の斜体の数字でわかる。公務の場合はほとんどが正社員（正規の職員）としての参入であるが、小売業では半数程度が正社員以外の雇用形態での参入である。

さらに右のカッコでくくった数字は、初めての正社員勤務先の業種と現在の勤務先の業種が同じである比率、および、それがさらに正社員での雇用である比率を示している。男性の場合、医療・福祉業の企業を離職した92人の78.3%は同じ業界に再就職し、その多く（医療・福祉業離職者の64.1%）が正社員としての再就職であった。おそらく大半の人が職業資格を持ち、同じ業界で正社員として再就職しているということである。運輸業・郵便業や製造業も業界内での正社員での再就職が比較的多い。これに対して、金融・保険業、卸売業、学術研究・専門・技術サービス業などを離職した人は同業種への再就職は少ない。また、マスコミは同業種での再就職者はややいるもののその多くは正社員ではない。

女性についても同様に見ていくと、医療・福祉や小売業は離職者が多いが、同業界への参入者も多い。金融・保険業とサービス業（他に分類されないもの）からの離職者は参入者より多く、一方、運輸業・郵便業、宿泊業・飲食サービス業は参入者の方が多い。全体として参入者の多くは、正社員以外の雇用であり、正社員での参入者は4割に満たない。男性と同じく、医療・福祉業の企業からの離職者は同業種に再就職する人が66.5%と多い。ただし、それが正社員での再就職は少なく、医療・福祉業離職者のうち同業種に正社員として就職した人は17.5%にとどまっている。

2016年調査と比べると、医療・福祉業での業種内移動が多いこと、金融・保険業からは退出の方が一方的に多いことなど変わらない面もあるが、男性で製造業や建設業で離職に比べて参入が少なくなっていることなど異なる面も少なくない。その理由としては、今回調査サンプルの学歴構成が前回に比べて高卒者の割合が高くなっている（＝製造業就業者割合が高い）ことに加えて、それぞれの業種の置かれた環境（人手不足や技術革新など）の変化も考えられる。

そこで、これを学歴別に検討する。図表8-1-5である（初めての正社員勤務先あるいは現在の勤務先のいずれもが10ケース未満の場合は掲載を省いている）。男性の高卒者についてみれば、製造業からの離職者が多く、4割は同業種内で再就職しているが、同業種への参入者は全体としては離職者より少ない。参入者が多いのは運輸業・郵便業や小売業、医療・福祉業である。ただし、その3割～5割は正社員以外の雇用である。2016年調査時とほぼ同じ移動傾向だが、正社員で参入している人の割合が、全体として、2016年調査は57.7%だったものが今回は66.8%と高まっている。

男性の短期高等教育卒業者では、医療・福祉業とサービス業（他に分類されないもの）からの離職者が多い。医療・福祉業と製造業は離職者以上に参入者が多い。製造業、医療・福祉業への参入者は2016年も多かったので変わらない。また、医療・福祉業の離

職者が同業種内での正社員で再就職していることが多い点も変わらない。

男性の大学・大学院卒では、製造業は離職者が最も多いがそれ以上に参入者がいる。情報通信業や金融・保険業、建設業は離職者が多いのに対し参入者が少なく、特に金融・保険業は参入が少なく一方的な移動といえる。公務は参入が多く、また、正規雇用が大半である。医療・福祉や製造業からの離職者は同業種内での再就職が多く、大半が正社員である。同業種内での再就職が少ないのは、卸売業、金融・保険業、学術研究・専門・技術サービス業である。これらは2016年にもみられた傾向である。

女性の高卒者は、製造業やサービス業（他に分類されないもの）、小売業、医療・福祉業からの離職者が多いが、いずれも3～4割は同業種内の移動である。ただし、正社員での移動は製造業では約半数だが、小売は2割、医療・福祉では3割にとどまる。離職者に比べて参入が少ないのが製造業で、他の業種からの参入は少ない。金融・保険業はやはり離職に比べて参入がごく少ない。2016年には医療・福祉業は離職の方が多い業種であったが、今回は参入の方が多くなっており、他の業種からの参入が増えている。なお、全体として現在の勤務先で正社員として雇用されている者は30%程度で、この点は2016年調査と変わらない。

女性の専門学校卒の場合、医療・福祉業から離職する者が多いが、その7割が同業種に再就職しており、この点は2016年調査と変わらない。ただし、他業界から医療・福祉に参入する者は減っている。また、医療・福祉については2016年より正社員での参入が増えているが、他の業界では正社員以外が多く、全体としては正社員での再就職は約40%でこの割合は2016年調査と変わらない。

図表8-1-5 初めての正社員勤務先の業種と現在の勤務先の業種の構成比、および同業種内での転職・正社員での転職割合（性別・学歴別）

①男性、高卒

単位：%、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比			初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合			
	転職者	正社員 転職者			(N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者)
建設業	9.1	7.5		9.7	(36	38.9	27.8)
製造業	26.3	18.5	≪	33.2	(124	41.9	29.8)
電気・ガス・熱供給・水道業	3.8	2.4		4.0	(15	26.7	20.0)
情報通信業（マスコミ除く）	5.1	3.5	≫	2.9	(11	36.4	27.3)
運輸業、郵便業	10.5	7.0	≫	5.9	(22	50.0	27.3)
小売業	8.0	3.8	≫	5.1	(19	21.1	5.3)
宿泊業、飲食サービス業	3.5	1.9	≪	6.7	(25	20.0	12.0)
医療、福祉	6.4	4.3	≫	3.2	(12	75.0	50.0)
サービス業（他に分類されないもの）	13.1	8.0	≪	15.0	(56	30.4	17.9)
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	3.8	3.5		4.3	(16	25.0	25.0)
合計	100.0	66.8		100.0	(373	34.6	23.1)
N		373		373				

②男性、専門・短大・高専卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比			初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合		
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者
製造業	15.2	11.6	》	11.6	(19	47.4	36.8)
情報通信業（マスコミ除く）	9.1	7.3		9.1	(15	53.3	40.0)
宿泊業、飲食サービス業	7.3	5.5		7.3	(12	66.7	50.0)
医療、福祉	28.7	22.0	》	25.0	(41	87.8	68.3)
サービス業（他に分類されないもの）	12.8	6.7	《	20.7	(34	26.5	14.7)
合計	100.0	69.5		100.0	(164	49.4	36.6)
N	164			164			

③男性、大学・大学院卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比			初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合		
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者
建設業	3.7	3.3	《	6.8	(29	24.1	17.2)
製造業	20.3	18.7		19.6	(84	53.6	50.0)
電気・ガス・熱供給・水道業	2.3	2.1		1.9	(8	25.0	25.0)
情報通信業（マスコミ除く）	8.2	6.3	《	10.0	(43	46.5	39.5)
運輸業、郵便業	4.0	2.8		2.8	(12	50.0	33.3)
卸売業	3.5	3.5		4.9	(21	4.8	4.8)
小売業	7.7	4.2		7.5	(32	34.4	21.9)
金融業・保険業	1.6	1.4	《	6.8	(29	6.9	6.9)
不動産業、物品賃貸業	3.0	2.3		2.8	(12	41.7	41.7)
学術研究、専門・技術サービス業	1.9	1.2		2.6	(11	9.1	9.1)
宿泊業、飲食サービス業	2.6	1.6		3.0	(13	30.8	23.1)
教育、学習支援業	4.7	3.7		5.6	(24	37.5	25.0)
医療、福祉	9.8	8.6		9.1	(39	69.2	64.1)
サービス業（他に分類されないもの）	7.7	4.4		6.8	(29	31.0	17.2)
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	10.7	10.5	》	4.0	(17	41.2	41.2)
合計	100.0	79.9		100.0	(428	37.9	31.8)
N	428			428			

④女性、高卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比			初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合		
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者
建設業	5.0	3.8	》	1.5	(4	0.0	0.0)
製造業	12.6	5.7	《	16.5	(43	39.5	18.6)
情報通信業（マスコミ除く）	5.7	1.1	》	2.3	(6	33.3	16.7)
運輸業、郵便業	3.8	1.5		3.4	(9	22.2	0.0)
卸売業	3.1	1.5		4.2	(11	18.2	9.1)
小売業	14.9	3.8		14.6	(38	36.8	7.9)
金融業・保険業	1.9	1.1	《	5.7	(15	13.3	0.0)
宿泊業、飲食サービス業	8.8	0.8		9.2	(24	25.0	0.0)
生活関連サービス業、娯楽業	6.1	0.8	》	4.6	(12	25.0	0.0)
医療、福祉	13.4	5.0	》	11.5	(30	43.3	13.3)
サービス業（他に分類されないもの）	13.8	2.7	《	15.3	(40	32.5	7.5)
合計	100.0	30.7		100.0	(261	29.5	8.0)
N	261			261			

⑤女性、専門学校卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比			初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合		
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者
製造業	7.6	1.7	≫	4.1	(7	28.6	0.0)
小売業	8.7	1.2	≫	5.8	(10	50.0	10.0)
宿泊業、飲食サービス業	11.6	0.0	≫	6.4	(11	63.6	0.0)
生活関連サービス業、娯楽業	8.1	2.3	≪	11.6	(20	45.0	15.0)
医療、福祉	34.9	26.2	≪	43.6	(75	70.7	50.7)
サービス業（他に分類されないもの）	11.0	0.0	≪	16.3	(28	42.9	0.0)
合計	100.0	39.5		100.0	(172	52.9	25.6)
N	172			172			

⑥女性、短大・高専卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比			初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合		
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者
製造業	7.8	2.0		6.5	(10	20.0	0.0)
小売業	7.8	2.0	≫	3.9	(6	66.7	16.7)
金融業・保険業	3.3	2.0	≪	6.5	(10	20.0	10.0)
宿泊業、飲食サービス業	9.2	1.3	≫	3.9	(6	33.3	16.7)
教育、学習支援業	15.0	5.9	≪	22.9	(35	45.7	22.9)
医療、福祉	27.5	15.7	≪	31.4	(48	66.7	39.6)
サービス業（他に分類されないもの）	9.2	1.3	≫	6.5	(10	50.0	10.0)
合計	100.0	40.5		100.0	(153	43.8	21.6)
N	153			153			

⑦女性、大学・大学院卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先の業種・構成比			初めての正社員勤務先の業種・構成比	初めての正社員勤務先の業種から同業種に転職した割合		
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同業種 割合	同業種 正社員 転職者
建設業	3.4	2.0		3.7	(11	18.2	18.2)
製造業	9.1	4.1	≫	6.8	(20	45.0	30.0)
情報通信業（マスコミ除く）	5.7	3.7		5.7	(17	29.4	17.6)
卸売業	3.0	1.4	≪	5.1	(15	20.0	13.3)
小売業	7.8	3.0	≪	11.8	(35	17.1	2.9)
金融業・保険業	4.4	3.0	≪	8.8	(26	19.2	11.5)
学術研究、専門・技術サービス業	4.7	2.7	≫	1.7	(5	60.0	0.0)
宿泊業、飲食サービス業	3.4	0.3		4.4	(13	7.7	0.0)
生活関連サービス業、娯楽業	1.4	1.0	≪	3.4	(10	10.0	10.0)
教育、学習支援業	7.8	2.4	≫	5.4	(16	43.8	12.5)
医療、福祉	19.6	8.8	≫	17.9	(53	73.6	34.0)
サービス業（他に分類されないもの）	10.8	3.7		12.2	(36	27.8	8.3)
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	4.7	3.4	≫	3.0	(9	22.2	11.1)
合計	100.0	45.3		100.0	(296	34.1	15.5)
N	296			296			

注：≪、≫の記号は初めての正社員勤務先業種と現在の勤務先業種の割合で、1.5ポイント以上の差があるもの。初めての正社員勤務先業種、現在の勤務先業種のいずれもが10ケース未満の業種は掲載を省いた。また、初めての正社員勤務先での業種が「その他」である者は同業種であるかの判定から除いた。表側の表記は、一部例示を省いた。

「正社員転職者」は各区分の対象数（N）に対する正社員で転職した者の割合である。

女性の短大・高専卒においては医療・福祉業と教育・学習支援業から離職する者が多いが、前者の3分の2（うち6割が正社員として）、後者の約半数（うち半数が正社員として）が同業種内で転職している。他業界からこれらの業種に参入する者は少なく、現在の就業者の構成比では減少している。全体としての正社員での再就職者は40%程度で2016年の35%よりやや多いが、全体として2016年調査とほとんど変わらない。

女性の大学・大学院卒では、医療・福祉業、サービス業（他に分類されないもの）、小売業などからの離職者が多い。医療・福祉業の離職者のうち7割は同業種内での転職でその約半数が正社員である。医療・福祉には他業界からの参入も多い。一方、小売業は2016年には同業種内での転職は2割以下で正社員もわずかである。これらの業種の特徴は2016年調査と変わらない。金融・保険業は2016年には離職者に占める割合が小売業と並んだが、今回は少ない。参入者数が離職者よりかなり少ない点は変わらない。また、再就職者のうちの正社員の割合は45%程度でこれは2016年と変わらない。

全体として、業種間の移動の方向性に大きな変化は見られないが、医療・福祉業への参入の度合いが増し、また、高卒男性においては正社員での参入者が増えていることなど2016年調査の結果とはいくつかの相違がみられた。

次に再就職に伴う職種の変化をみよう。表の各数値の意味は、業種の表と同様である。まず性別に示したものが図表8-1-6である。

男性の場合、その他の専門・技術職の離職者が多いが、その6割以上が同職内での移動であり、またうち8割以上が正社員である。また、同職には他職種からの参入も多い。次いで営業職の離職者が多いが、同職で再就職するのは3分の1程度（大半が正社員）で、他職種からの参入はあっても全体としては減少している。増加が大きいのは事務職である。他職種からの参入も多いが、事務職離職者の半数以上が同職内での移動でその大半は正社員である。医療・福祉分野の専門・技術職も同じ職種で再就職していることが多い。2016年調査では職種区分がより大括りであったため詳しい比較はできないが、ほぼ同じ傾向だったと思われる。また、2016年調査では営業・販売職が最も離職者が多く、かつ再就職者が少ない職種だったが、今回これを分離したことで、再就職者が減るのは営業職であることが明らかになった。

女性の場合は、離職者で多いのは事務職と医療・福祉分野の専門・技術職である。いずれも同職で再就職した者が3分の2程度、かつその半数以上が正社員であった。事務職には他の職種からの流入も多く、現職では事務職に就く人が全体の4割近い。ただし正社員はその6割程度である。営業職は、同職での再就職が最も少ない職種で、他職種からの参入も少ない。販売職は同職での再就職は3割程度だが、大半が正社員以外の雇用である。2016年調査とは職種区分が異なるが、おおむねは同じ傾向だといえよう。

図表 8-1-6 初めての正社員勤務先での職種と現在の勤務先での職種の構成比、および同職種内での転職・正社員での転職割合（性別）

①男性

単位：%、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比		初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合		
	転職者	正社員転職者		（ N 割合	同職種 割合	同職種 正社員 転職者
医療・福祉分野の専門・技術職（看護師など）	10.1	8.5	9.0	(87	77.0	65.5)
教育分野の専門・技術職（教員など）	1.9	1.2	2.7	(26	38.5	23.1)
その他の専門・技術職	22.3	17.3	21.8	(210	62.9	51.4)
管理的職業	3.5	2.5	2.5	(24	25.0	16.7)
事務職	14.3	11.5	8.7	(84	54.8	46.4)
営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ）	9.8	9.1	15.1	(146	34.2	32.9)
販売職（買い物に訪れた客に対応する）	5.2	2.5	4.6	(44	25.0	15.9)
接客・給仕サービス職（飲食店店長など）	4.2	2.1	5.4	(52	26.9	11.5)
その他のサービス職（調理師、ビル管理人など）	4.8	2.3	6.3	(61	27.9	14.8)
保安職（警備員など）	2.2	1.7	2.7	(26	19.2	19.2)
生産工程従事者（自動車整備など）	8.5	6.1	9.0	(87	42.5	32.2)
輸送・機械運転従事者	3.0	2.4	2.5	(24	25.0	12.5)
建設・採掘従事者	3.3	2.7	5.2	(50	26.0	20.0)
運搬・清掃・包装等従事者	4.2	2.0	3.1	(30	33.3	20.0)
合計	100.0	73.1	100.0	(965	44.0	34.9)
N	965		965			

②女性

単位：%、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比		初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合		
	転職者	正社員転職者		（ N 割合	同職種 割合	同職種 正社員 転職者
医療・福祉分野の専門・技術職（看護師など）	17.8	9.8	20.9	(184	66.3	37.0)
教育分野の専門・技術職（教員など）	1.9	0.9	4.2	(37	24.3	10.8)
その他の専門・技術職	7.3	3.2	8.3	(73	42.5	19.2)
管理的職業	1.2	0.2	1.1	(10	10.0	0.0)
事務職	35.6	18.4	23.0	(203	61.6	34.5)
営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ）	3.4	1.9	8.5	(75	9.3	5.3)
販売職（買い物に訪れた客に対応する）	10.1	1.1	11.2	(99	30.3	3.0)
家事・介護・保健医療・福祉のサービス職	1.2	0.7	1.6	(14	14.3	7.1)
接客・給仕サービス職（飲食店店長など）	10.4	0.8	8.5	(75	26.7	1.3)
その他のサービス職（調理師、ビル管理人など）	4.8	0.6	7.8	(69	27.5	5.8)
生産工程従事者（自動車整備など）	2.5	0.6	2.0	(18	16.7	0.0)
運搬・清掃・包装等従事者	2.3	0.2	1.1	(10	30.0	0.0)
合計	100.0	39.0	100.0	(882	42.4	19.3)
N	882		882			

注：《、》の記号は初めての正社員勤務先での職種と現在の勤務先での職種の割合で、1.5ポイント以上の差があるもの。

初めての正社員勤務先での職種、現在の勤務先での職種のいずれもが10ケース以下の職種は掲載を省いた。また、初めての正社員勤務先での職種が「その他」である者は同職であるかの判定から除いた。「うち正社員」は各区分の対象数（N）に対する正社員就職者の割合である。

図表 8-1-7 では、さらにこれを学歴別にみた。男性の高卒者の場合、その他の専門技術職と生産工程の仕事からの離職者が多いが、いずれも同職種内での再就職が半数前後で、その7～8割は正社員だった。他職種からの流入が多いのが事務職と運搬・清掃・包装等従事者である。2016年調査と大まかなところは変わらないだろう。

男性の短期高等教育卒業者の場合、医療・福祉分野の専門・技術職とその他の専門・技術職からの離職者が多いが、同職内での再就職が大半で、かつ正社員での移動が多い。おそらく教育機関で得た専門職業資格を生かせる分野での転職だと思われる。2016年調査では専門・技術職離職者の割合が若干低い、同職内での正社員移動が多い傾向は変わらない。

男性の大学・大学院卒は営業職とその他の専門・技術職からの離職が多く、次いで事務職も多い。専門・技術職と事務職は同職間移動が多く、かつ正社員が多い。事務職は他職種からの流入も多い。営業職は同職での再就職は4割弱にとどまり、他職種から参入も少ない。全体傾向で見た特徴はほぼ大学・大学院卒の移動の特徴と重なる。2016年調査でもほぼ同じ傾向が見られた。

女性の高卒者では事務職、販売職、接客・給仕サービス職からの離職者が多い。事務職は同職での再就職者が6割、うち6割強が正社員である。事務職には他職種からも流入があり、現職の事務職割合は35.2%と多い。販売職、接客・給仕サービス職は同職での再就職が4割弱であるが正社員はほとんどいない。

図表 8-1-7 初めての正社員勤務先での職種と現在の勤務先での職種の構成比、および同職種内での転職・正社員での転職割合（性別・学歴別）

①男性、高卒

単位：%、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比		初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合		
	転職者	正社員 転職者		(N)	同職種 割合	同職種 正社員 転職者
医療・福祉分野の専門・技術職	4.6	4.0	3.2	(12	58.3	50.0)
その他の専門・技術職	18.5	13.1	19.6	(73	56.2	41.1)
管理的職業	2.7	1.3	2.7	(10	10.0	10.0)
事務職	8.3	4.6	5.4	(20	45.0	20.0)
営業職	6.7	6.2	5.6	(21	28.6	28.6)
販売職	5.1	1.9	4.6	(17	17.6	11.8)
接客・給仕サービス職	5.1	2.1	7.0	(26	23.1	7.7)
その他のサービス職	4.6	2.9	8.8	(33	27.3	18.2)
保安職	3.5	2.7	4.6	(17	29.4	29.4)
生産工程従事者	16.6	12.3	16.9	(63	44.4	34.9)
輸送・機械運転従事者	5.4	4.0	4.0	(15	20.0	6.7)
建設・採掘従事者	7.0	5.6	8.6	(32	34.4	25.0)
運搬・清掃・包装等従事者	8.6	4.0	5.9	(22	45.5	27.3)
合計	100.0	66.8	100.0	(373	37.5	26.8)
N		373	373			

②男性、専門・短大・高専卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比			初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合			
	転職者	正社員 転職者			(N	同職種 割合	同職種 正社員 転職者	
医療・福祉分野の専門・技術職	25.0	20.1		23.8	(39	87.2	71.8)
その他の専門・技術職	26.8	20.7	》	20.7	(34	67.6	55.9)
事務職	6.7	4.9		7.9	(13	38.5	38.5)
営業職	3.7	3.7		4.9	(8	0.0	0.0)
販売職	5.5	3.0		4.3	(7	14.3	0.0)
その他のサービス職	7.9	2.4	《	11.6	(19	36.8	15.8)
輸送・機械運転従事者	1.8	1.2		1.8	(3	33.3	0.0)
合計	100.0	69.5		100.0	(164	48.8	37.2)
N		164		164				

③男性、大学・大学院卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比			初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合			
	転職者	正社員 転職者			(N	同職種 割合	同職種 正社員 転職者	
医療・福祉分野の専門・技術職	9.1	7.9		8.4	(36	72.2	63.9)
教育分野の専門・技術職	3.3	2.1		4.7	(20	45.0	25.0)
その他の専門・技術職	23.8	19.6		24.1	(103	66.0	57.3)
管理的職業	3.7	3.3		2.1	(9	55.6	33.3)
事務職	22.4	20.1	》	11.9	(51	62.7	58.8)
営業職	15.0	13.8	《	27.3	(117	37.6	35.9)
販売職	5.1	2.8		4.7	(20	35.0	25.0)
接客・給仕サービス職	3.3	1.6		4.7	(20	30.0	15.0)
その他のサービス職	3.7	1.6		2.1	(9	11.1	0.0)
生産工程従事者	2.8	1.9		2.1	(9	44.4	33.3)
合計	100.0	79.9		100.0	(428	47.9	41.1)
N		428		428				

④女性、高卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比			初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合			
	転職者	正社員 転職者			(N	同職種 割合	同職種 正社員 転職者	
医療・福祉分野の専門・技術職	5.7	2.3		6.9	(18	38.9	5.6)
その他の専門・技術職	6.5	1.9	《	8.0	(21	33.3	9.5)
事務職	35.2	16.9	》	27.2	(71	59.2	36.6)
営業職	3.8	2.3		5.0	(13	15.4	7.7)
販売職	13.8	1.5	《	16.5	(43	39.5	4.7)
接客・給仕サービス職	17.2	1.5	》	14.2	(37	35.1	0.0)
その他のサービス職	4.2	0.0	《	6.9	(18	16.7	0.0)
生産工程従事者	4.6	1.1		5.0	(13	23.1	0.0)
運搬・清掃・包装等従事者	4.6	0.8	》	2.7	(7	28.6	0.0)
合計	100.0	30.7		100.0	(261	37.5	12.6)
N		261		261				

⑤女性、専門学校卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比			初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合			
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同職種 割合	同職種 正社員 転職者
医療・福祉分野の専門・技術職	29.7	20.3	≪	37.8	(65	70.8	47.7)
その他の専門・技術職	6.4	1.7	≪	10.5	(18	33.3	5.6)
事務職	21.5	11.6	≫	11.6	(20	45.0	30.0)
販売職	9.3	1.2		7.0	(12	25.0	8.3)
接客・給仕サービス職	12.2	0.0	≫	8.1	(14	28.6	0.0)
その他のサービス職	12.2	1.7	≪	16.3	(28	46.4	10.7)
合計	100.0	39.5		100.0	(172	47.7	24.4)
N	172			172				

⑥女性、短大・高専卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比			初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合			
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同職種 割合	同職種 正社員 転職者
医療・福祉分野の専門・技術職	30.1	15.7	≪	32.0	(49	65.3	38.8)
教育分野の専門・技術職	3.9	2.0	≪	12.4	(19	26.3	10.5)
その他の専門・技術職	3.9	1.3	≪	6.5	(10	20.0	10.0)
事務職	29.4	16.3	≫	26.1	(40	65.0	37.5)
販売職	9.2	0.0		9.2	(14	28.6	0.0)
接客・給仕サービス職	9.2	0.7	≫	0.7	(1	0.0	0.0)
合計	100.0	40.5		100.0	(153	46.4	24.8)
N	153			153				

⑦女性、大学・大学院卒

単位：％、太字は実数

	現在の勤務先での職種・構成比			初めての正社員勤務先での職種・構成比	初めての正社員勤務先での職種と同職種で転職した割合			
	転職者	正社員 転職者			(転職者 N	同職種 割合	同職種 正社員 転職者
医療・福祉分野の専門・技術職	15.2	7.1	≪	17.6	(52	71.2	32.7)
その他の専門・技術職	10.1	6.1	≫	8.1	(24	66.7	41.7)
事務職	47.3	24.7	≫	24.3	(72	66.7	31.9)
営業職	4.1	2.4	≪	17.2	(51	9.8	5.9)
販売職	7.8	1.4	≪	10.1	(30	20.0	0.0)
接客・給仕サービス職	4.1	0.7	≪	7.8	(23	13.0	4.3)
その他のサービス職	1.4	0.0	≪	4.7	(14	7.1	0.0)
合計	100.0	45.3		100.0	(296	41.6	19.3)
N	296			296				

注：≪、≫の記号は初めての正社員勤務先での職種と現在の勤務先での職種の割合で、1.5ポイント以上の差があるもの。

初めての正社員勤務先での職種、現在の勤務先での職種のいずれもが10ケース以下の職種は掲載を省いた。また、初めての正社員勤務先での職種が「その他」である者は同職であるかの判定から除いた「正社員転職者」は各区分の対象数（N）に対する正社員で転職した者の割合である。

女性の専門学校卒では医療・福祉分野の専門・技術職、その他のサービス職、事務職などからの離職者が多い。医療・福祉分野の専門・技術職では同職での再就職が7割、かつその7割弱が正社員である。他職種からの参入は少ない。事務職は同職での再就職は半数弱でやはり7割弱は正社員である。事務職には他職種からの流入が多い。2016年調査ではサービス職からの離職者も比較的多かったが、今回はこれが少ない点が異なる¹ものの、移動の方向性はほぼ変わらないとっていいだろう。

女性の短大・高専卒でも、医療・福祉分野の専門・技術職の離職者が多く、次いで事務職からの離職者が多い。いずれも3分の2程度は同職で再就職しており、その6割程度は正社員である。やはり事務職には他職種からの流入も多い。2016年調査では専門学校卒と同じく、サービス職からの離職が多かった。この点が異なるものの、やはり移動の方向性は、変わらないとっていいだろう。

女性の大学・大学院卒も医療・福祉分野の専門・技術職の離職者と事務職からの離職者が多い。どちらも7割程度が同職種で再就職しており、その半数は正社員である。そして事務職への流入者はかなりいて、再就職者の約半数は現在事務職に就いている。離職者は営業職でも多く、これは男性の営業職同様、同じ職種での再就職者は少ない。営業職から事務職へという移動が少なからずありそうである。

初めての正社員勤務先からの離職から現職への移動を、職種から見ると、高等教育で得た職業資格などをいかした専門・技術職の同職内移動、事務職での同職内移動と営業職などから事務職への移動、そして生産工程の職業での同職内移動などが多く見られ、またこれらの移動は比較的正社員での再就職となっていることが多かった。一方、販売職やサービス職への移動は男女とも全ての学歴で見られるが、多くの人々が集中する移動でなく、また、特に女性では正社員以外の雇用形態となることが多い移動であった。

第2節 現在の勤務先における労働時間、収入

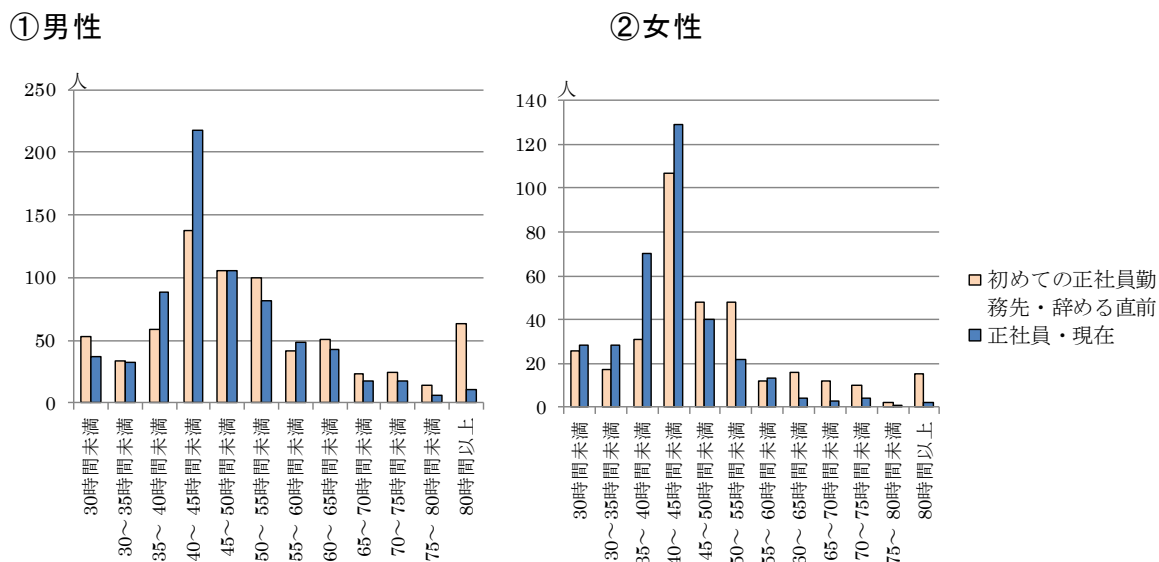
この節では、現在の勤務先における労働時間と収入について記述する。労働時間と月収については、同様の形式で、初めての正社員勤務先における離職直前の状況を尋ねているので、それとの比較の形で整理する。なお、労働時間にしても収入にしても、正社員と正社員以外の雇用形態では大きく異なることは周知のことであるので、ここでは現在の勤務先で正社員として雇用されているケースを中心に記述する。

まず、図表8-2-1は現在正社員である離職者の「初めての正社員勤務先」を辞め

¹ 2016年調査では、選択肢に「サービス職（介護職など）」を設ける一方、専門・技術職はひとくくりで「専門的・技術的職業（福祉相談指導専門員など）」としていた。これに対して今回調査では、「医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）」という選択肢を設けた。こうした選択肢の違いから、2016年調査においては、介護福祉士がサービス職を選択してしまった可能性がある。

る直前の週平均労働時間と現在の週平均労働時間を比較したものである。辞める直前の労働時間も現在の労働時間も「40～45 時間未満」が最も多いが、現在の労働時間のほうが、男女とも「40～45 時間未満」に集中している。これに対して、初めての正社員勤務先の労働時間については、男性では 60 時間以上、女性では 50 時間以上に少なからぬ人が該当しており、こうした職場では残業が恒常化していたことがうかがわれる。すなわち、この転職によって、多くの人々が、長時間労働の職場からより労働時間の短い職場への移動していることが分かる。2016 年調査でも、同様に労働時間の短い方への移動が多かったことが確認されている。

図表 8-2-1 現在正社員である離職者の現在、および「初めての正社員勤務先」を辞める直前の週平均労働時間



注：休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。

図表 8-2-2 現在有業である離職者の週平均労働時間（正社員の現在、および「初めての正社員勤務先」をやめる直前、正社員以外の雇用者の現在） 単位：％、太字は実数

	30時間未満	30～35時間未満	35～40時間未満	40～45時間未満	45～50時間未満	50～55時間未満	55～60時間未満	60～65時間未満	65～70時間未満	70～75時間未満	75～80時間未満	80時間以上	N
正社員・現在	5.2	4.5	12.5	30.9	14.9	11.6	6.8	6.1	2.4	2.4	0.9	1.6	705
男 初めての正社員勤務先・辞める直前	7.5	4.7	8.4	19.4	15.0	14.2	6.0	7.2	3.3	3.4	2.0	8.9	705
正社員以外・現在	19.8	14.2	17.3	24.4	14.2	3.6	0.5	2.5	1.0	0.0	0.0	2.5	197
正社員・現在	8.1	8.1	20.3	37.5	11.6	6.4	3.8	1.2	0.9	1.2	0.3	0.6	344
女 初めての正社員勤務先・辞める直前	7.6	4.9	9.0	31.1	14.0	14.0	3.5	4.7	3.5	2.9	0.6	4.4	344
正社員以外・現在	49.4	14.4	13.6	15.6	3.6	1.2	1.2	0.4	0.0	0.4	0.0	0.2	506

注：休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。

図表 8-2-2 はこれを構成比にして表にしたものだが、合わせて現在正社員以外の雇用者のケースについても掲載している。正社員以外の雇用者では労働時間が短い者が多く、女性の場合は 30 時間未満という人がほぼ半数である。男性も相対的には短時間であるが、40 時間以上の人を合わせると 44.9%にも上っており、短時間勤務ではない正社員以外の雇用者である人も少なくない。

次の図表 8-2-3 では、それぞれの時間区分の中央値を各区分の値に置き換えて、平均値を求めたものである。これを用いて、性・学歴別に 2 時点の労働時間を比較すると、いずれの区分においてもやめる直前の労働時間は長く、男性では 50 時間を超えている。これに対して現在は 4～5 時間程度短くなっている。2016 年調査でも同様の比較から、学歴別にみても転職により平均的労働時間が短くなっていることが確認されている。違いは「初めての正社員勤務先」での労働時間が、今回調査より押しなべて長かったことである。長時間労働の改善が全体としてすでに進んでいる結果かもしれない。

図表 8-2-3 現在正社員である離職者の「初めての正社員勤務先」を辞める直前と現在の週平均労働時間（性・学歴別の平均値） 単位：時間

		学歴計		高卒		専門・短大・高専卒		大学・大学院卒	
		平均値(中央値)	N	平均値(中央値)	N	平均値(中央値)	N	平均値(中央値)	N
男性	正社員・現在	46.6 (42)	705	47.5 (47)	249	47.1 (42)	114	45.8 (42)	342
	初めての正社員勤務先・辞める直前	50.6 (47)	705	50.1 (47)	249	50.6 (47)	114	51.0 (47)	342
女性	正社員・現在	41.9 (42)	344	41.4 (42)	80	41.8 (42)	130	42.2 (42)	134
	初めての正社員勤務先・辞める直前	47.2 (42)	344	45.0 (42)	80	46.3 (42)	130	49.2 (47)	134

注：それぞれの時間区分の中央値を各区分の値とし、その平均値、中央値を求めた。なお区分の上限、下限については「30 時間未満」については 27、「80 時間以上」については 82 をその値とした。

休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。

長時間労働の職場からの移動であることがより鮮明になるのは、離職の理由として労働時間の問題を挙げて離職した人であろう。そこで、図表 8-2-4 では、「初めての正社員勤務先」を辞めた理由として「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかった」を挙げた人と、これを理由としなかった人とに分けて、辞めた時点と転職後の労働時間の違いをみた。「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかった」の理由に該当する場合、辞める直前の週平均労働時間は男性では 57.2 時間、女性で 52.5 時間と長い。これに対して、転職後の現在は、10 時間ほど労働時間は短くなっている。この理由を挙げていない非該当の人の場合の差は 1～3 時間程度であり、該当者の労働時間の改善幅は大きい。同理由を挙げた人は、現在正社員である転職者の 3 分の 1 近くを占める。2016 年調査でもほぼ同じ結果を得たが、辞める前の労働時間は、今回調査よりさらに長く、男性では 60 時間を超えていた。長時間労働の改善は進んでいるのかもしれないが、それでもまだ長時間労働が早期離職の大きな要因であることは変わらない。

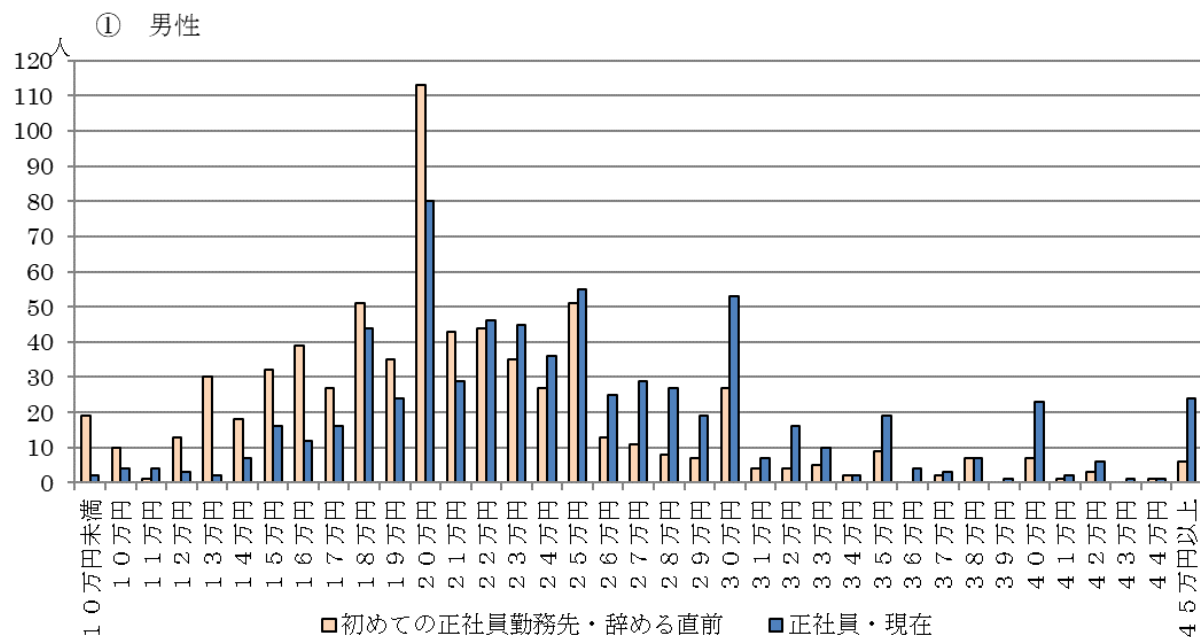
図表 8-2-4 「初めての正社員勤務先」を辞めた理由が「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかった」に該当する者と該当しない者の辞める直前と現在の週平均労働時間

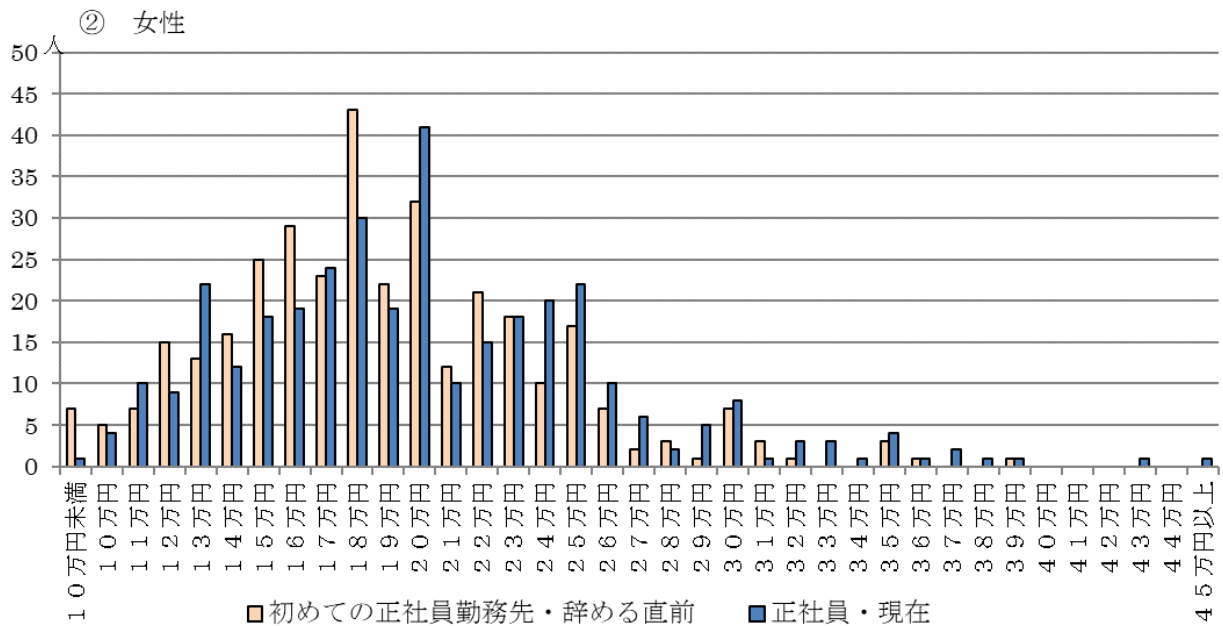
単位：時間

	該当		非該当	
	平均値 (中央値)	N	平均値 (中央値)	N
男性	正社員・現在	47.0 (42) 219	46.4 (42) 486	
	初めての正社員勤務先・辞める直前	57.2 (52) 219	47.6 (47) 486	
女性	正社員・現在	42.0 (42) 111	41.8 (42) 233	
	初めての正社員勤務先・辞める直前	52.5 (52) 111	44.6 (42) 233	

収入についても、同様に初めての正社員勤務先を辞める直前の月収（税込）と現在（2018年8月）の月収（税込）を比較できる。調査では、10万円未満から45万円以上まで、1万円刻みで答えてもらっているのので、まず、図表8-2-5には実数でその分布を示した。これを見ると、男女とも、初めての正社員勤務先を辞める直前の月収の分布より、現在の月収の分布の方が右寄りであり、全体として転職後の現在の方が月収が高いことが分かる。また、図表8-2-6は、これを数カテゴリーにまとめた上で構成比を示したものであり、こちらでも現在の月収の方が高いことは明らかである。

図表 8-2-5 現在正社員である離職者の「初めての正社員勤務先」を辞める直前と現在の月収(2018年8月：税込)





図表 8-2-6 現在正社員である離職者の「初めての正社員勤務先」を辞める直前と現在の月収(2018年8月:税込)の構成比

単位:%、太字は実数

	10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上25万円未満	25万円以上30万円未満	30万円以上35万円未満	35万円以上40万円未満	40万円以上	計	
		%	%	%	%	%	%	%	%	N
正社員・現在	0.3	2.8	15.9	33.5	22.0	12.5	4.8	8.1	100.0	705
初めての正社員勤務先・辞める直前	2.7	10.2	26.1	37.2	12.8	6.0	2.6	2.6	100.0	705
正社員以外・現在	14.2	28.4	25.9	17.8	7.1	1.5	1.5	3.6	100.0	197
正社員・現在	0.3	16.6	32.0	30.2	13.1	4.7	2.6	0.6	100.0	344
初めての正社員勤務先・辞める直前	2.0	16.3	41.3	27.0	8.7	3.2	1.5	0.0	100.0	344
正社員以外・現在	42.9	25.7	18.2	9.1	3.2	0.4	0.4	0.2	100.0	506

ただし、給与は勤続年数や年齢などの時間的要素も影響するので、初めての正社員勤務先を辞めた時点の月収と現在を比較しただけで、単純に増えているとは言い難い。そこで、次の図表 8-2-7 では、初めての正社員勤務先を 2018 年に辞めたケースのみを選んで、この 2 時点の月収の平均値を比較してみた。ケース数はわずかで統計的には有意な差ではないが、やめる直前と比べて、やや高いか同等の水準となっている。転職によって企業規模の上ではより小規模企業に勤める者が増えているが、直近でとらえることのできる給与については、少なくとも低下していることはないのではないだろうか。一般には大規模企業の方が、勤続に伴う給与の上昇率は高いので、先々、逆転することは十分考えられる。

図表 8-2-7 「初めての正社員勤務先」を 2018 年中に辞めて転職した人の辞める直前と現在の月収(2018年8月：税込) 単位：万円

	平均値 (中央値) N
正社員・現在	24.3 (23) 44
初めての正社員勤務先・辞める直前	23.4 (22) 44
正社員・現在	20.8 (20) 21
初めての正社員勤務先・辞める直前	20.2 (20) 21

注：「10万円未満」については9万円、「45万円以上」については45万円として計算している。

次に学歴を分けて検討をする。図表 8-2-8 は、性・学歴別に月収の平均値、中央値を算出したものである。いずれの学歴においても現在の月収の方が辞める前の月収より高い。特に高卒の男性、専門・短大・高専卒の男性で差が大きい。

図表 8-2-8 現在正社員である離職者の「初めての正社員勤務先」を辞める直前と現在の月収(2018年8月：税込)の平均値(性・学歴別) 単位：万円

	学歴計		高卒		専門・短大・高専卒		大学・大学院卒	
	平均値 (中央値) N		平均値 (中央値) N		平均値 (中央値) N		平均値 (中央値) N	
男性	正社員・現在	25.4 (24) 705	24.4 (23) 249		24.9 (23) 114		26.3 (25) 342	
	初めての正社員勤務先・辞める直前	21.1 (20) 705	18.7 (18) 249		19.5 (19) 114		23.3 (22) 342	
女性	正社員・現在	20.2 (20) 344	17.4 (17) 80		19.5 (18) 130		22.5 (22) 134	
	初めての正社員勤務先・辞める直前	18.8 (18) 344	16.5 (16) 80		17.9 (18) 130		21.1 (20) 134	

注：「10万円未満」については9万円、「45万円以上」については45万円として計算している。

収入に関しても、賃金への不満を離職理由として挙げた人とこれを挙げなかった人とで、転職による賃金の面での改善度が異なるかを確認しておきたい。図表 8-2-9 では、「初めての正社員勤務先」を辞めた理由に「賃金の条件がよくなかったため」を挙げたか(該当)、挙げなかったか(非該当)に分けて、平均月収を示した。辞める直前の平均月収は、賃金に不満があった男性では平均 19.9 万円、同女性では 17.3 万円と、これを離職理由に挙げなかった非該当の人より低い。この人たちの転職後の月収は、男性で 26.5 万円、女性で 20.7 万円とかなりの幅で上昇し、またこれは非該当の人の現在の収入より高い²。離職の理由となった問題を転職によって改善させているということだろう。

² 現在と辞める直前の月収の差について、統計的に検定(対応サンプルの差の検定)を行うと、女性の非該当は有意差がないが、他は 0.1%水準で有意であった。

図表 8-2-9 「初めての正社員勤務先」を辞めた理由が「賃金の条件がよくなかったため」に該当する人と該当しない人の辞める直前と現在の月収の平均値

単位：万円

		該当		非該当	
		平均値(中央値) N		平均値(中央値) N	
男性	正社員・現在	26.5	(25) 225	24.9	(23) 480
	初めての正社員勤務先・辞める直前	19.9	(20) 225	21.6	(20) 480
女性	正社員・現在	20.7	(20) 102	20.0	(19) 242
	初めての正社員勤務先・辞める直前	17.3	(20) 102	19.5	(19) 242

注：「10万円未満」については9万円、「45万円以上」については45万円として計算している。

第3節 現在の勤務先に対する評価

この節では、有業の離職者の現在の職場に対する様々な側面の満足度と現在の勤務先への勤続の意志を取り上げる。

分析対象のケースは、初めての正社員勤務先を離職した人のうち、現在は就業している1,847人（男性965人、女性882人）である。

まず、現在の職業生活に対する満足度について11の側面から検討する。調査で尋ねた満足度の11の側面は、図表8-3-1の表側の通り「仕事の内容・やりがい」「人事評価・処遇のあり方」「職場の人間関係、コミュニケーション」「賃金」「労働時間・休日等の労働条件」「職場の環境（照明、空調、騒音等）」「雇用の安定性」「福利厚生」「教育訓練・能力開発のあり方」「家庭・個人としての生活との両立」「職業生活全体」である。この同じ項目について、現在の勤務先についてと、初めての正社員勤務先でのやめる直前の状況として尋ねているので、図表8-3-1ではこれを対比する形で示している（図表8-3-2はこれを図示したもの）。なお、調査は、11の各項目について「満足」から「不満」までの5段階で答える形式であり、ここではその結果を「満足」の5点から「不満」の1点までとなるよう点数化して、その平均値（満足感点数と呼ぶ）を示している。

「現在の勤務先」に対する満足感点数と「初めての正社員勤務先」に対する満足感点数の間に差があるかどうかは重要な点なので、ここでは差の検定を行い、統計的に有意であるかどうかを確認した。結果は表に示す通り、「現在の勤務先」への満足感の方がほとんどの場合高くなっている。有意差のある項目については、すべてそうである。

表には、男性正社員の場合と女性正社員の場合、加えて現在は正社員以外の雇用者である男女それぞれについて、「現在の勤務先」に対する満足感点数と「初めての正社員勤

務先」に対する満足感点数を示してある。現在正社員である男女はともに、今の勤務先のほうがすべての面で有意に満足感が高くなっており、転職結果を肯定的にとらえていることがうかがわれる。ただし、「初めての正社員勤務先」への満足感は振り返りの形であり、現在の自分の行動を合理化しようという暗黙の意識が働いて、離職したかつての勤務先への満足感を当時の感情より低く評価している可能性もある。

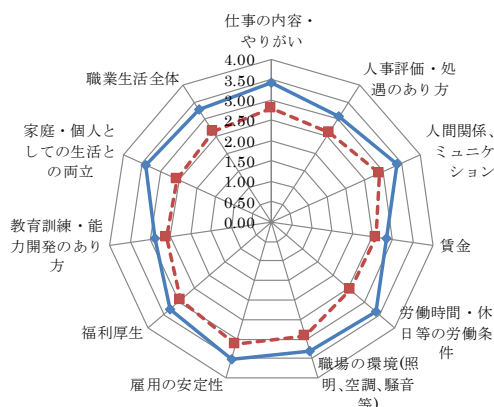
図表 8-3-1 「現在の勤務先」と「初めての正社員勤務先」での職業生活の諸側面に対する満足感（性・現在の就業形態別）

	男性正社員 (N=698)		女性正社員 (N=344)		男性正社員以外 雇用 (N=207)		女性正社員以外 雇用 (N=510)	
	現在の勤務先	初めての正社員勤務先	現在の勤務先	初めての正社員勤務先	現在の勤務先	初めての正社員勤務先	現在の勤務先	初めての正社員勤務先
仕事の内容・やりがい	3.42	2.80 ***	3.53	3.01 ***	3.34	2.68 ***	3.60	3.18 ***
人事評価・処遇のあり方	3.07	2.61 ***	3.20	2.62 ***	3.05	2.57 ***	3.27	2.81 ***
職場の人間関係、コミュニケーション	3.39	2.90 ***	3.56	2.95 ***	3.40	2.57 ***	3.69	2.99 ***
賃金	2.84	2.60 ***	2.93	2.58 ***	2.84	2.56 **	3.09	2.65 ***
労働時間・休日等の労働条件	3.38	2.55 ***	3.51	2.57 ***	3.35	2.40 ***	3.75	2.64 ***
職場の環境(照明、空調、騒音等)	3.31	2.93 ***	3.55	3.27 **	3.27	2.65 ***	3.52	3.21 ***
雇用の安定性	3.51	3.14 ***	3.67	3.39 **	3.12	2.90 *	3.30	3.33
福利厚生	3.30	2.95 ***	3.42	3.14 **	3.02	2.93	3.11	3.17
教育訓練・能力開発のあり方	2.89	2.61 ***	2.99	2.72 **	2.79	2.55 *	2.93	2.76 **
家庭・個人としての生活との両立	3.38	2.55 ***	3.53	2.60 ***	3.32	2.47 ***	3.77	2.70 ***
職業生活全体	3.28	2.63 ***	3.45	2.57 ***	3.17	2.39 ***	3.48	2.75 ***

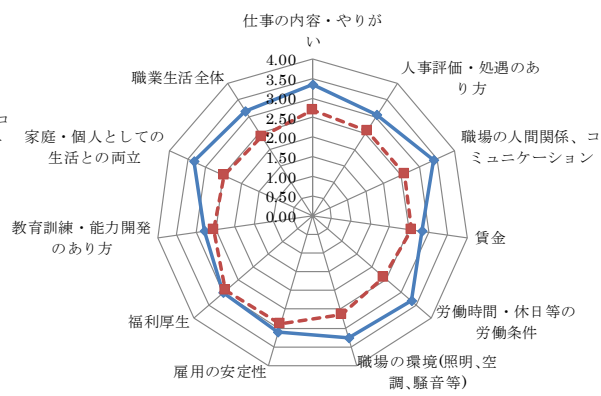
注：満足＝5、やや満足＝4、どちらでもない＝3、やや不満＝2、不満＝1としたときの平均値。
 対応サンプルの差の検定： ***<.001 **<.01 *<.05

図表 8-3-2 「現在の勤務先」と「初めての正社員勤務先」での職業生活の諸側面に対する満足感（図）

男性・正社員

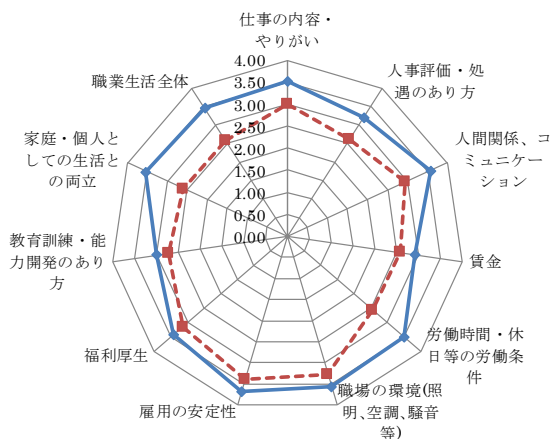


男性・正社員以外

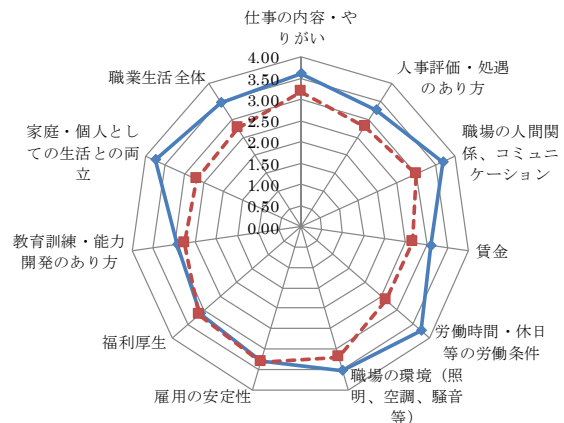


—●— 現在の勤務先 -■- 初めての正社員勤務先

女性・正社員



女性・正社員以外



◆現在の勤務先 ■初めての正社員勤務先

注：満足＝5、やや満足＝4、どちらでもない＝3、やや不満＝2、不満＝1としたときの平均値。

現在正社員以外の雇用者である人も「初めての正社員勤務先」ではもちろん正社員であった。ここでの回答は、その正社員と比べても今の正社員以外の雇用先の方がほとんどの面で満足であるという結果になっている。女性では、「雇用の安定性」「福利厚生」についてのみ「初めの正社員勤務先」のほうが満足度は高くなっているが、これも統計的には有意でない。男性では「福利厚生」については有意差はないものの、これを含めてすべての面で今の正社員以外の雇用のほうが満足度は高い。2016年調査でも同様に現在の勤務先のほうが全般に満足度が高いという結果であったが、今回に比べると、有意差がみられない項目があったり、男性でも「雇用の安定性」「福利厚生」は「初めの正社員勤務先」のほうが満足度が高かったりしていた。2016年調査時以上に、転職への意識が肯定的になっているのではないと思われる。

次に、「初めての正社員勤務先」離職までの勤続期間によって、現在の職場への満足感が異なるのかをみる。職場への満足度は性別や雇用形態によって大きく異なると思われるので、図表8-3-3は男女それぞれ、現在正社員である転職者について「初めての正社員勤務先」離職までの勤続期間と現在の職場への満足度の諸側面との関係を見た。

離職までの勤続期間によって満足度が変わるのかが重要な点なので、ここでは、一元配置分散分析及びその後の検定を行い、統計的に有意な点数の差があるのかを検討した。その結果、男性の正社員については、有意差があったのは、「賃金」と「家庭・個人としての生活との両立」で、これは早期離職者ほど満足度が低い。この2つは2016年調査でも同様に差が確認された項目である。このほか有意水準は落ちるが(10%水準)、「3年超」で離職した人に比べて、「教育訓練・能力開発のあり方」は「1年超3年以内」で離職した人の満足度が低い。「職場の環境(照明、空調、騒音等)」の満足度については特定の対比では差が確認できないが、全体としては差があると考えられる。これらの

項目のほとんどは、2016年調査でも早期離職者ほど満足度が低いことが指摘されていたもので、男性については1年以内や3年以内に離職した場合、3年以上勤続後の転職者に比べて、その後の転職先への満足度が低い傾向があるといえるだろう。

図表 8-3-3 初めての正社員勤続期間別 現在の勤務先への満足感

①男性・現在正社員

	1年以内 (N=158)	1年超3年以 内 (N=267)	3年超 (N=279)
仕事の内容・やりがい	3.34	3.42	3.46
人事評価・処遇のあり方	3.06	3.01	3.15
職場の人間関係、コミュニケーション	3.34	3.35	3.47
賃金	2.65	2.80	2.98 *
労働時間・休日等の労働条件	3.28	3.41	3.40
職場の環境（照明、空調、騒音等）	3.22	3.24	3.43 +
雇用の安定性	3.43	3.49	3.58
福利厚生	3.16	3.28	3.39
教育訓練・能力開発のあり方	2.85	2.80	3.01 +
家庭・個人としての生活との両立	3.19	3.36	3.49 *
職業生活全体	3.20	3.22	3.39

②女性・現在正社員

	1年以内 (N=80)	1年超3年以 内 (N=134)	3年超 (N=131)
仕事の内容・やりがい	3.77	3.57	3.36 *
人事評価・処遇のあり方	3.50	3.24	2.98 **
職場の人間関係、コミュニケーション	3.78	3.60	3.37 *
賃金	2.97	3.04	2.80
労働時間・休日等の労働条件	3.58	3.54	3.44
職場の環境（照明、空調、騒音等）	3.74	3.63	3.36 *
雇用の安定性	3.94	3.67	3.51 *
福利厚生	3.60	3.49	3.23 +
教育訓練・能力開発のあり方	3.24	3.02	2.81 *
家庭・個人としての生活との両立	3.69	3.62	3.35 +
職業生活全体	3.67	3.57	3.20 **

注：一元配置分散分析:**<.01、*<.05 +<.10、太字は有意差の確認された対比。

正社員で転職した女性では、「職場生活全体」「人事評価・処遇のあり方」「仕事の内容・やりがい」「職場の人間関係、コミュニケーション」「職場環境」「雇用の安定性」「教育訓練・能力開発のあり方」で、有意差が確認された。また10%水準ではあるが、「福利厚生」「家庭・個人としての生活との両立」でも差が認められた。いずれも「1年以内」で離職した人のほうが「3年超」で離職した人より高い満足度となっており、男性とは逆の結果となった。2016年調査では女性については有意な差があまり確認できなかった

ものの、「1年超～2年以下」での離職がその後の勤務先への満足度を高める可能性が指摘されていた。今回の結果も同様な方向性を持っており、女性の場合、早く離職した人のほうがむしろ現在の仕事に満足しているという可能性は高い。

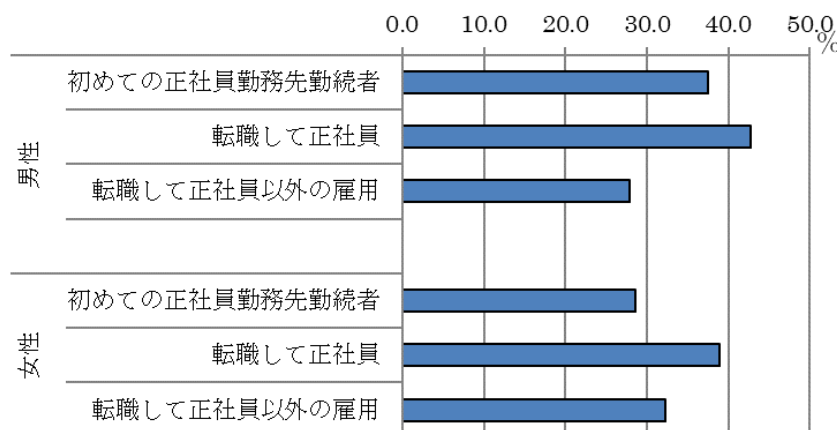
もう一つの職場への評価を測る設問として、勤続意志がある。調査票では「現在の勤め先を、今後、辞めたいと思いますか、いつ頃に辞めたいですか」と問うている。その回答を、初めての正社員勤務先に勤続している人を含めて示したのが図表8-3-4、うち「辞めたいとは思っていない」人の割合のみを図示したのが図表8-3-5である。転職して正社員である人と、初めての正社員勤務先に勤続している人とを比べる。正社員勤続者で「辞めたいとは思っていない」という人は女性では3割を切り、男性でも4割以下と少なく、転職して正社員である人のほうが男女とも「辞めたいとは思っていない」が多い。

図表8-3-4 「現在の勤め先を、今後、辞めたいか、いつ頃に辞めたいか」
(性・勤続・現在の就業形態別) 単位：％、太字は実数

		1年以内に辞めたいと思っている	1年を超えて3年以内に辞めたいと思っている	3年を超えて10年以内に辞めたいと思っている	10年を超えてから辞めたいと思っている	辞めたいと思っているが、時期はわからない	辞めたいとは思っていない	辞めたいかどうか、わからない	計		
										％	N
初めての正社員勤務先勤続者		7.7	9.7	10.2	4.1	15.3	37.5	15.5	100.0	2,036	
男性	正社員	10.6	7.9	6.8	2.0	14.5	42.7	15.3	100.0	705	
	正社員以外の雇用形態	18.8	12.7	4.1	2.5	15.7	27.9	18.3	100.0	197	
	役員、自営、家族従業員他	7.9	4.8	3.2	1.6	9.5	54.0	14.3	100.0	63	
	転職者計	12.1	8.7	6.0	2.1	14.4	40.4	15.9	100.0	965	
初めての正社員勤務先勤続者		13.4	14.6	10.5	2.5	19.2	28.7	11.1	100.0	1,036	
女性	正社員	9.9	12.2	7.8	0.6	20.1	39.0	10.5	100.0	344	
	正社員以外の雇用形態	21.3	14.8	4.9	0.6	11.7	32.2	14.4	100.0	506	
	役員、自営、家族従業員他	3.1	6.3	6.3	0.0	9.4	53.1	15.6	100.0	32	
	転職者計	16.2	13.5	6.1	0.6	14.9	35.6	12.9	100.0	882	

注：「無回答」は掲載を省いた。

図表8-3-5 現在の勤め先を「辞めたいとは思っていない」人の割合



また、転職して正社員である人と転職して正社員以外である人を比べても、正社員である場合は「辞めたいとは思っていない」が多く、1年以内、あるいは3年以内に辞めたいと思っている人も明らかに少ない。転職して正社員になっていれば、現在の職場への評価は高いといえよう。

この転職して正社員である人について、初めての正社員勤務先での勤続期間によってその意思に違いがあるかどうかを見たのが図表8-3-6である。男性の場合、「辞めたいとは思っていない」は「3年超」勤続者で最も多いものの、「1年以内」の勤続で辞めた人との差はあまりない。ただし、「辞めたいと思っているが、時期はわからない」や「1年以内に辞めたいと思っている」は「1年以内」で多く、総合すれば、「3年超」のグループの職場への評価が最も高いと言えよう。

女性について言えば、「3年超」勤続後に辞めた人が、最も「辞めたいとは思っていない」が少なく、「辞めたいと思っているが、時期はわからない」が多い。このグループの現在の職場への評価が低い点は、満足度点数で見られた傾向と一致している。

なお、この設問は2016年とは形式を大きく変えているので比較はできない。

図表8-3-6 現在正社員である転職者が「現在の勤め先を、今後、辞めたいか、いつ頃に辞めたいか」(性・勤続期間別) 単位：%、太字は実数

	1年以内に辞めたいと思っている	1年を超えて3年以内に辞めたいと思っている	3年を超えて10年以内に辞めたいと思っている	10年を超えてから辞めたいと思っている	辞めたいと思っているが、時期はわからない	辞めたいとは思っていない	辞めたかどうか、わからない	計 %	N
男	12.7	4.4	8.2	0.6	18.4	42.4	13.3	100.0	158
性	11.9	8.2	7.5	2.2	15.3	39.9	14.6	100.0	268
	8.2	9.7	5.4	2.5	11.5	45.5	17.2	100.0	279
男性計	10.6	7.9	6.8	2.0	14.5	42.7	15.3	100.0	705
女	9.0	11.5	6.4	0.0	16.7	41.0	15.4	100.0	78
性	9.0	10.4	6.0	1.5	17.9	44.8	10.4	100.0	134
	11.4	14.4	10.6	0.0	24.2	31.8	7.6	100.0	132
女性計	9.9	12.2	7.8	0.6	20.1	39.0	10.5	100.0	344

第9章 離職者（と勤続者）の現在の生活

この章では離職者の生活状況を「初めての正社員勤務先」勤続者との比較を交えて、記述する。したがって、主な分析対象は離職者（2,559人）だが、比較対象を含めれば全数（5,631人、男性3,114人、女性2,517人）を扱う。

離職者については、離職後現在は正社員として働いている人を「転職（正社員）」、現在はアルバイトや契約社員、派遣社員など正社員以外の雇用形態で働いている人を「転職（正社員以外の雇用）」、現在は会社経営者や役員、自営業主、業務委託、内職、家族従業員などとして働いている人を「役員、自営、家族従業員他」、現在はもっぱら就職活動をしている人を「求職者」、もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしていたり、もっぱら勉強をしていたり、あるいはこれらのいずれにも当てはまらないとする人を「非労働力」と区分して、これらの状況別に家族状況などを記述する。なお、初めての正社員勤務先に勤続している人を「勤続者」と呼ぶ。

第1節 現在の家庭状況

まず、居住する地域である。調査では都道府県名を尋ねているが、図表9-1-1には、地域ブロックごとにまとめて示した。北陸地方では男女とも勤続者が多く、北海道地方の女性では離職者が多く特に非労働力化した人が多いなど、若干の地域特性が見られる。

次いで、図表9-1-2は家族形成の状況である。男性の場合、配偶者がいる人が4割強で約3割の人には子どもがいる。転職（正社員）の場合、いずれの割合も最も大きく、勤続者がこれに次いでいる。正社員以外の雇用に就いていたり求職中であったりする男性で配偶者のいる人は少ない。男性の場合、正社員であることと家族形成との間には順相関の関係がある。

女性では、半数の人に配偶者がおり、約4割の人に子どもがいる。最も結婚、出産をした人が多いのは、離職して非労働力化した人で、9割に配偶者がおり、8割に子どもがいる。また、離職して「役員、自営・家族従業員他」「転職（正社員以外の雇用）」となった人がこれに次ぐ。勤続者で配偶者のいる人は3分の1程度にとどまり、「転職（正社員）」を含め、正社員であることとは結婚や出産の有無と逆相関している。性別役割分業観が色濃く反映された結果といえよう。

2016年調査に比べると、今回調査は若干対象年齢が高く設定されていたことがあり、男女とも、有配偶者割合も、有子割合も高いが、おおむねの傾向は一致している。

図表 9-1-1 居住地域別の就業状況（性別）

単位：％、太字は実数

	初めての 正社員勤 務先勤続 者	離職者				求職者	非労働力	合計	N
		転職（正 社員）	転職（正 社員以外 の雇用）	役員、自 営・家族 従業員他					
男性	北海道	68.4	19.1	6.6	1.5	1.5	2.9	100.0	136
	東北	64.0	19.7	7.0	2.6	1.8	4.8	100.0	228
	北関東・甲信	63.3	26.0	6.8	1.1	0.0	2.8	100.0	177
	南関東	64.7	22.9	7.1	1.9	1.1	2.4	100.0	931
	北陸	72.3	16.2	4.6	2.3	0.8	3.8	100.0	130
	東海	65.5	23.8	6.5	1.3	0.9	2.0	100.0	446
	近畿	66.4	23.1	5.0	2.3	1.0	2.3	100.0	524
	中国	68.4	20.3	4.2	1.9	2.4	2.8	100.0	212
	四国	66.3	19.8	7.0	3.5	0.0	3.5	100.0	86
	九州	60.2	27.5	7.4	2.9	0.0	2.0	100.0	244
男性計	65.4	22.6	6.3	2.0	1.0	2.6	100.0	3,114	
女性	北海道	36.2	10.1	20.3	2.9	2.2	28.3	100.0	138
	東北	42.7	14.1	19.8	0.5	0.0	22.9	100.0	192
	北関東・甲信	45.4	9.2	18.4	0.0	0.7	26.2	100.0	141
	南関東	42.6	16.2	18.0	1.3	0.3	21.6	100.0	672
	北陸	54.2	9.4	18.8	1.0	2.1	14.6	100.0	96
	東海	39.7	13.8	18.4	2.2	1.1	24.9	100.0	370
	近畿	38.7	13.6	22.2	1.3	2.2	22.0	100.0	463
	中国	41.8	12.1	26.7	0.0	0.0	19.4	100.0	165
	四国	36.4	15.2	25.8	1.5	0.0	21.2	100.0	66
	九州	38.8	13.1	20.1	0.9	0.9	26.2	100.0	214
女性計	41.2	13.7	20.1	1.3	1.0	22.8	100.0	2,517	

図表 9-1-2 有配偶、有子の状況（性別）

単位：％、太字は実数

	配偶者がい る	子どもがい る	計		
			％	N	
男性	初めての正社員勤務先勤続者	45.6	32.6	100.0	2,036
	転職（正社員）	50.8	37.3	100.0	705
	転職（正社員以外の雇用）	16.2	8.6	100.0	197
	離職者 役員、自営・家族従業員他	33.3	27.0	100.0	63
	求職者	6.5	6.5	100.0	31
	非労働力	8.5	8.5	100.0	82
	男性計	43.3	31.1	100.0	3,114
女性	初めての正社員勤務先勤続者	34.1	25.1	100.0	1,036
	転職（正社員）	41.3	28.2	100.0	344
	転職（正社員以外の雇用）	60.1	42.7	100.0	506
	離職者 役員、自営・家族従業員他	56.3	37.5	100.0	32
	求職者	37.5	29.2	100.0	24
	非労働力	88.9	78.8	100.0	575
女性計	53.1	41.5	100.0	2,517	

次に、離職者について、結婚や子どもを持つタイミングが、初めての正社員勤務先からの離職、および現在の勤務先への就職とどのような関係にあるかを見る。まず図表 9-1-3 は結婚についてである。分析対象は配偶者のいる離職者である。初めての正社

員勤務先から離職した月以前に結婚していた人は、男性離職者の28.1%、女性離職者の37.3%を占める。離職から現職に入職するまでに結婚した人は男性で24.8%、女性で16.1%である。現職へ入職してから結婚した人は男性離職者の45.7%、女性離職者の14.9%である。女性離職者では離職後に結婚しているが現職への入職がない人（現在は無業）が31.8%いる。

離職後現在は正社員である場合は、男女とも、現職への入職後に結婚している人が多い。職業キャリアの安定を得て結婚という順序があったことが推測される。また、結婚の予定が現職への入職の動機となったことも考えられる。

図表9-1-3 離職者のうち結婚した人の初めての正社員勤務先からの離職、現在の勤務先への入職と結婚のタイミング（性・現在の就業形態別） 単位：%、太字は実数

	離職者				計	N
	初めての正社員離職月以前に結婚	初めての正社員離職後、現職入職月以前に結婚	現職入職後に結婚	初めての正社員離職後に結婚・現在無業		
転職（正社員）	28.5	23.7	47.8	0.0	100.0	358
転職（正社員以外の雇用）	21.9	40.6	37.5	0.0	100.0	32
男性 役員、自営・家族従業員他	28.6	28.6	42.9	0.0	100.0	21
男性 求職者	—	—	—	—	100.0	2
男性 非労働力	—	—	—	—	100.0	7
男性計	28.1	24.8	45.7	1.4	100.0	420
転職（正社員）	16.9	21.8	61.3	0.0	100.0	142
転職（正社員以外の雇用）	42.1	39.5	18.4	0.0	100.0	304
女性 役員、自営・家族従業員他	37.5	43.8	18.8	0.0	100.0	16
女性 求職者	—	—	—	—	100.0	9
女性 非労働力	39.5	0.0	0.0	60.5	100.0	511
女性計	37.3	16.1	14.9	31.8	100.0	982

注：現職入職年不明のケースは分析から除いた。

また、第1子である子どもを持った時期との関係を見たのが図表9-1-4で、分析対象は子どものいる（調査時に出産月が予定されている場合も含む）離職者である。初めての正社員勤務先から離職した月以前に子どもを持った人は、男性離職者の20.7%、女性離職者の11.7%で、女性の場合子供を産んだ後に離職した人は少なく、大半が離職後に出産している。妊娠後、出産前に退職を選んだケースもあろう。さらに、現在は無業である人が半数以上を占め、子どもができた後は専業主婦を選んでいる人が多いと思われる。男性の場合は、現在の勤務先に入職後に子どもを持った人が半数以上である。職業キャリアの安定を得てから子どもを持ったということだろうが、また、子どもが生まれる予定が現職への入職を促進した可能性もある。

図表9-1-4 子どもがいる人の初めての勤務先からの離職、現在の勤務先への入職と有子のタイミング（性・現在の就業形態別） 単位：％、太字は実数

	離職者				計	N
	初めての正社員 離職月以前に有子	初めての正社員 離職後、現職入職月以前に有子	現職入職後に有子 （予定含む）	初めての正社員 離職後に有子 （予定含む）・ 現在無業		
転職（正社員）	21.0	20.6	58.4	0.0	100.0	262
転職（正社員以外の雇用）	5.9	41.2	52.9	0.0	100.0	17
男 役員、自営・家族従業員他	23.5	17.6	58.8	0.0	100.0	17
性 求職者	—	—	—	—	100.0	2
非労働力	—	—	—	—	100.0	7
男性計	20.7	21.0	56.4	2.0	100.0	305
転職（正社員）	13.4	18.6	68.0	0.0	100.0	97
転職（正社員以外の雇用）	15.7	52.8	31.5	0.0	100.0	216
女 役員、自営・家族従業員他	10.0	50.0	40.0	0.0	100.0	10
性 求職者	—	—	—	—	100.0	7
非労働力	9.3	0.0	0.0	90.7	100.0	453
女性計	11.7	17.5	17.6	53.1	100.0	783

注：子どもの出生年不明、または現職入職年不明のケースは分析から除いた。

図表9-1-5 配偶者の就業等の状況（性・現在の就業形態別） 単位：％、太字は実数

	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト	雇用以外 （自営など）	もっぱら 就職活動	もっぱら 家族の世話	もっぱら 療養・休養	その他	計	N
	%	%	%	%	%	%	%	%	%		
初めての正社員勤務先勤続者	43.5	3.6	2.5	17.3	2.0	0.9	27.5	2.2	0.5	100.0	928
男 転職（正社員）	38.0	3.6	1.4	20.1	1.4	0.6	29.6	4.7	0.6	100.0	358
離職 転職（正社員以外の雇用）	43.8	12.5	12.5	15.6	0.0	0.0	15.6	0.0	0.0	100.0	32
性 役員、自営・家族従業員他	19.0	0.0	9.5	33.3	14.3	0.0	23.8	0.0	0.0	100.0	21
求職者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	2
非労働力	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	7
男性計	41.5	3.7	2.6	18.2	2.1	0.8	27.6	2.9	0.5	100.0	1,348
初めての正社員勤務先勤続者	91.2	1.7	0.0	1.4	4.2	0.6	0.0	0.8	0.0	100.0	353
女 転職（正社員）	90.8	1.4	1.4	0.0	4.2	0.0	1.4	0.7	0.0	100.0	142
離職 転職（正社員以外の雇用）	88.8	2.6	0.7	3.3	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	304
性 役員、自営・家族従業員他	50.0	0.0	0.0	11.1	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	18
求職者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	9
非労働力	89.8	1.4	0.2	0.8	5.3	0.4	1.2	0.6	0.4	100.0	511
女性計	89.5	1.7	0.4	1.6	5.2	0.3	0.6	0.5	0.1	100.0	1,337

注：「その他」には「学校に通っている」「もっぱら勉強している」を含む。

また、配偶者がいる人については、配偶者の就業等の状況を尋ねた（図表9-1-5）。男性の場合、配偶者の約4割は正社員で、3割弱が専業主婦である。本人が勤続者であるケースや「転職（正社員）」であるケースではほぼ全体と同じ水準であるが、「転職（正社員以外の雇用）」のケースでは配偶者が専業主婦であるケースはわずかで、約4割が配偶者も正社員以外の雇用者であった。女性の場合、配偶者の約9割は正社員である。非

労働力化した人でも、また、勤続者でも「転職（正社員）」でも変わらない。

図表9-1-6は世帯全体の年収である。男性の場合、正社員でない場合に世帯年収が低いケースが多い。特に非労働力や求職者であったり、正社員以外の雇用形態であったりした場合に顕著である。本人が世帯の主な稼ぎ手であるのだろう。女性では、求職者や正社員以外の雇用形態に世帯年収の低いケースが多い。

図表9-1-6 世帯年収の分布（性・現在の就業形態別） 単位：％、太字は実数

	100万 円未満	100～ 200万 円未満	200～ 300万 円未満	300～ 400万 円未満	400～ 600万 円未満	600～ 800万 円未満	800～ 1,000 万円未 満	1,000～ 1,200万 円未満	1,200～ 2,000万 円未満	2,000 万円以 上	収入 はな い	わか らな い	N
男性													
初め	0.1	0.7	5.7	16.3	31.0	20.1	10.3	4.9	3.9	0.5	0.0	6.4	2,036
職	0.3	0.7	6.5	20.3	32.3	16.7	9.5	3.4	2.4	1.3	0.0	6.5	705
離	5.1	8.6	20.3	17.8	13.2	13.2	4.1	2.5	0.0	1.0	0.0	14.2	197
職	4.8	4.8	6.3	12.7	25.4	12.7	7.9	3.2	4.8	1.6	0.0	15.9	63
者	6.5	9.7	9.7	6.5	9.7	3.2	3.2	0.0	9.7	0.0	16.1	25.8	31
求	12.2	6.1	12.2	6.1	13.4	7.3	1.2	2.4	1.2	2.4	6.1	29.3	82
職													
者													
非													
労働													
力													
計	0.9	1.5	7.1	16.8	29.4	18.2	9.4	4.3	3.3	0.8	0.3	7.9	3,114
女性													
初め	0.3	2.5	12.5	15.3	17.6	15.3	11.9	6.5	4.3	1.7	0.0	12.1	1,036
職	0.0	0.6	14.2	15.7	20.6	14.0	8.7	6.7	6.1	0.6	0.0	12.8	344
離	1.8	6.5	14.6	14.4	24.7	14.8	4.7	2.0	1.0	0.0	0.0	15.4	506
職	6.3	0.0	3.1	15.6	18.8	9.4	6.3	3.1	9.4	6.3	0.0	21.9	32
者	0.0	12.5	20.8	4.2	12.5	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	24
求	3.0	1.7	8.5	17.6	34.4	15.0	4.9	2.1	0.7	0.2	0.3	11.7	575
職													
者													
非													
労働													
力													
計	1.2	2.9	12.2	15.6	23.2	14.8	8.3	4.5	3.1	0.9	0.1	13.1	2,517

注：臨時収入、副収入を含む。

第2節 現在の生活全般に対する満足感

調査では、現在の生活全般についてどのように感じているかについて、「満足」から「不満」まで、図表9-2-1の通り5段階の選択肢から選んでもらった。まず男性についてみる。初めての正社員勤務先勤続者と離職者計を比べると、離職者の方が「不満」が多い傾向が見て取れる。離職者の内訳でみると、「不満」が多いのは、「求職者」「非労働力」、「転職（正社員以外の雇用）」の場合であって、正社員として転職している場合は、勤続者とほとんど変わらない。女性の場合は、勤続者と離職者の差ははっきりしない。離職者の内訳で見ると、「求職者」であれば明らかに「不満」が多いが、「役員、自営・家族従業者他」や「非労働力」の場合は、「満足」が多い。

表の右端は、これを満足感が高いほど高くなるように点数化してその平均値を示したものである。この点数の差について統計的な検討を行ったところ、まず、勤続者と離職者の間については、男性の場合は勤続者のほうが点数が高いことが確かめられた（0.1%水準）。一方女性については、統計的に有意な差は認められなかった。

さらに、離職後の状況別の点数を比較したところ、男性の場合「初めての正社員勤務先勤続者」「転職（正社員）」との間に有意差はないが、この2つの類型と「転職（正社

員以外)」「求職者」「非労働力」の間には有意な差があり、この2つの類型の方が点数は高いことが明らかになった(0.1%水準)。女性の場合、この類型間にも統計的に有意な差は認められなかった。

2016年調査結果と比較すると、男性の傾向はほぼ変わらないが、女性については、2016年時には、離職者の方が満足だとする人が多く、満足感点数を求めての統計的な検定においても、「非労働力」は「転職(正社員)」よりも有意に高いという結果であった。今回は「非労働力」が満足感が高いということはなくなり、正社員で転職した人とも、正社員として最初の職場に勤続している人とも生活満足感は変わらない水準となった。

男性は相変わらず正社員であるかどうかが生全般についての満足感を分けているが、女性では離職して非労働力(専業主婦)になることが満足感を高めるとは言えなくなってきたと推測される。

図表9-2-1 現在の生活全般に対する満足感(性・現在の就業形態別)

単位：%、太字は実数

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	N	満足感点数(点)
初めての正社員勤務先勤続者	13.1	42.6	23.6	14.5	6.2	2,036	3.42
転職(正社員)	13.9	37.7	23.1	16.7	8.5	705	3.32
離職者	9.6	24.9	24.4	24.4	16.8	197	2.86
役員、自営・家族従業員他	23.8	30.2	22.2	9.5	14.3	63	3.40
求職者	3.2	16.1	35.5	16.1	29.0	31	2.48
非労働力	7.3	12.2	28.0	22.0	30.5	82	2.44
離職者計	12.9	32.4	24.0	18.1	12.6	1,078	3.15
男性計	13.0	39.0	23.8	15.7	8.4	3,114	3.32
初めての正社員勤務先勤続者	12.5	45.3	21.4	16.0	4.8	1,036	3.44
転職(正社員)	13.4	48.3	21.5	12.8	4.1	344	3.54
離職者	13.6	45.7	18.6	14.6	7.5	506	3.43
役員、自営・家族従業員他	25.0	43.8	25.0	6.3	0.0	32	3.88
求職者	16.7	25.0	25.0	25.0	8.3	24	3.17
非労働力	19.1	42.8	18.1	15.0	5.0	575	3.56
離職者計	16.0	44.8	19.3	14.3	5.6	1,481	3.51
女性計	14.5	45.0	20.2	15.0	5.3	2,517	3.48

注：満足感点数は、満足=5、やや満足=4、どちらでもない=3、やや不満=2、不満=1としたときの平均値。

最後に図表9-2-2では、初めての正社員勤務先勤続期間別の状況を見た。前の章でみた職業生活の諸側面への満足感については、転職して正社員となっている場合、男性では「賃金」や「家庭・個人としての生活との両立」など、いくつかの点で早期離職者ほど現職への満足度が低い傾向があり、女性では「職場生活全体」をはじめ、多くの面で、男性とは逆に、早期離職者ほど満足度が高い傾向がみられた。生活全般への満足感でも同じような傾向が見られるのだろうか。

まず①は、全離職者を対象にした場合である。男性については、「1年以内」に離職し

た場合の「不満」が多い傾向がみられる。満足感点数にして統計的な検討を行うと、「1年以内」は「1年超3年以内」に比べて有意に点数が低いことが確認された。一方、女性については、「1年以内」の場合の「不満」が多いようにも見えるが、統計的には有意な差はみられなかった。

②は離職者のうち、転職して現在正社員である者だけの場合である。前の章と同じ対象ということになる。全離職者を対象とした①と比べて、男性は「満足」「やや満足」の割合が増えているが、女性は「満足」が減って「やや満足」が増えている。

勤続期間別には、対象が正社員に限定されたことで、男性の場合、いずれの勤続期間で離職した人でも「不満」が減っている。その結果、満足感点数でみれば統計的な有意差はみられなくなった。一方女性は「1年以内」「1年超3年以内」で「やや満足」が増え、「3年超」ではそれが減っており、結果、満足度点数でみれば「3年超」で離職した人が、より短期に離職した人より生活満足度が低くなった（5%水準で有意）。

図表9-2-2 現在の生活全般に対する満足感（性・初めての正社員勤続期間別）

①全離職者

単位：％、太字は実数

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	合計	N	満足感点数(点)
1年以内	12.2	27.2	23.7	21.1	15.8	100.0	279	2.99
男 1年超3年以内	13.2	34.6	25.2	15.0	12.0	100.0	393	3.22
性 3年超	13.1	33.7	23.2	19.0	11.1	100.0	406	3.19
男性計	12.9	32.4	24.0	18.1	12.6	100.0	1,078	3.15
1年以内	15.2	44.0	20.5	11.9	8.3	100.0	302	3.46
女 1年超3年以内	16.2	43.7	19.4	16.7	4.0	100.0	581	3.51
性 3年超	16.2	46.2	18.6	13.2	5.9	100.0	598	3.54
女性計	16.0	44.8	19.3	14.3	5.6	100.0	1,481	3.51

②離職者のうち転職して正社員である者

単位：％、太字は実数

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	合計	N	満足感点数(点)
1年以内	15.8	32.3	22.8	19.6	9.5	100.0	158	3.25
男 1年超3年以内	13.4	38.4	25.0	15.3	7.8	100.0	268	3.34
性 3年超	13.3	40.1	21.5	16.5	8.6	100.0	279	3.33
男性計	13.9	37.7	23.1	16.7	8.5	100.0	705	3.32
1年以内	15.4	56.4	17.9	9.0	1.3	100.0	78	3.76
女 1年超3年以内	14.2	53.7	19.4	10.4	2.2	100.0	134	3.67
性 3年超	11.4	37.9	25.8	17.4	7.6	100.0	132	3.28
女性計	13.4	48.3	21.5	12.8	4.1	100.0	344	3.54

注：満足感点数は、満足＝5、やや満足＝4、どちらでもない＝3、やや不満＝2、不満＝1としたときの平均値。

これらの結果から示唆されるのは、男性の場合、「1年以内」での離職がその後のキャリアに対して、個人の主観の面からのマイナスの影響を与える可能性はあるが、それは

特に離職後正社員になっていない場合に強いのではないかということである。

女性については正社員での再就職者の中で、勤続「3年超」で離職した人に満足感が低い傾向がみられた。「3年超」勤続後離職して、正社員で再就職したことが、生活全般への満足や現職への満足につながっていないわけで、男性の同じキャリアの人とはその意味が異なるということだろう。それは家族関係からの負担や制約が大きいといった問題かもしれないし、男性に比べて転職市場で評価されにくい面があって、キャリアアップが図りにくいのかかもしれない。また、現職への満足感は最初の正社員勤務先との相対評価でもあろう。「1年以内」の短期での離職者のほうが満足感が高いのは、最初の勤務先の諸条件が悪かったからであり、一方で「3年超」勤続してきた人は勤務先の諸条件は比較的良い職場であったが、結婚や出産などの理由で離職した後の再就職は、前の勤務先との比較で満足できるだけの職場は得にくいかもしれない。こうした家族形成を巡る男女の現実的な役割の違いが、「3年超」の離職後のキャリアの評価を男女で大きく別っているのではないだろうか。

第10章 第二部のまとめ

第二部では、第7章から第9章にわたって、初めての正社員勤務先を離職後のキャリア形成の状況を見てきた。この検討から明らかになった主な点は次のとおりである。

- ・ 離職後1年間の状況を見ると、男性では正社員として働いた者が半数を超えるが、女性では正社員以外の雇用形態で働いた者が半数近い。高学歴者ほど正社員が多い傾向があり、特に男性では顕著にあった。初めての正社員勤務先での勤続年数の長短が離職後の就業状況へ及ぼす影響を学歴別に検討すると、勤続年数が短いうちに辞めた人ほど離職後に正社員以外の雇用を経験することが多かった。辞めるまでの勤続年数が長い場合、男性では正社員経験が多くなるが、女性では「家族の世話」が多くなり、正社員につながるとは限らなかった。

- ・ 離職後1年間に正社員以外の働き方を選んだ理由としては、男性では正社員として採用されなかったことを挙げる者が多いが、女性では家庭との両立を挙げる者が多い。勤続「1年以内」の場合、男性では特に正社員に採用されなかったという理由が多かったが、女性では「仕事が簡単で、大きな責任を負わなくてよい」などの理由が多かった。「1年以内」離職の女性の4割は離職理由の一つに健康を損ねたことを挙げており、そうした理由の場合に、責任を負わないなどの理由を選ぶことが多い。正社員以外の雇用を選ぶ理由が前職の労働環境にあることも考えられる。

- ・ 離職後1年間に職業能力開発に取り組んだ者は多くなく、「いずれも行っていない」者が男性の6割、女性の7割である。行ったとしても「自宅で一人で勉強した」という者が多い。高卒男性において公的職業訓練を比較的活用している傾向がみられた。

- ・ 離職時の求職活動で最も多いのは、職業安定所の利用（36.3%）とインターネット上の求人サイトの利用（35.1%）であった。学歴別・勤続年数別にみると、大学・大学院卒では男女ともインターネットサイトの利用が多い。高卒男性は勤続期間にかかわらず職業安定所の利用が多く、大学・大学院卒男性は、勤続期間が長くなると、安定所の利用が減り、インターネット上の求人サイトなどが多くなる。一定程度勤続して核となるような知識・技能を身につけていれば、特定の範囲の職業情報を求める傾向がでてくるが、早期離職者ほどそうした核となるような知識・技能がなく、方向を絞った求職活動にはなりにくい可能性がある。

- ・ 調査時点においては、男性離職者の9割、女性離職者の6割が就業していた。男性の場合は離職者の6割強が正社員であるが、女性では2割強にとどまる。正社員割合は学歴による差が大きく、大学・大学院卒男性の72.6%が正社員であるのに対して高卒男性は59.4%であった。ただし、高卒男性の正社員割合は2016年調査より大幅に改善しており、大学・大学院卒との差は縮まっている。

・辞める前の勤続期間の長短によって現職の就業形態が異なるかを学歴別に検討すると、男性では高卒においても大学・大学院卒においても、早期離職者ほど正社員割合が低いことが確認された。女性では、大学・大学院卒については離職前の勤続期間がその後の正社員雇用に一定の影響を及ぼしていたが、それ以外の学歴の場合は、勤続期間の影響はみられなかった。女性の正社員での再就職の有無には勤続期間より学歴の影響が大きいと思われる。

・離職から間を置かずに現在の勤務先に再就職した人は、男性では高学歴であるほど多く、また離職までの勤続期間の長い人が多い。女性では大学・大学院卒で、そうした転職が多いが、男性ほどではなく、勤続期間の長短はほとんど影響しない。

・初めての正社員勤務先と現在の勤務先の関係について、両時点の業種の同一性とその間の移動の方向性の点から見ると、男性は製造業からの離職が、女性は医療・福祉業からの離職が最も多いが、どちらも同一業種内での再就職が多く、正社員で再就職の割合が高い。一方、金融・保険業、卸売業などを離職した男性は同業種での再就職が少ない。これらは 2016 年調査結果とほぼ変わらないが、医療・福祉業への参入の度合いが増したり、高卒男性では正社員での参入が増えるなどの変化も見られた。

・職種についても同様に同一性と移動の方向性から見ると、男女とも専門・技術職からの離職者が多いがその多くは同職種の正社員で再就職している。男性では次いで営業職からの離職が多いが、同職種での再就職は3分の1程度である。他職種からの参入者も同職種間の移動も多いのが事務職である。

・現在正社員である転職者について、初めての正社員勤務先を辞める直前の週平均労働時間と現在の週平均労働時間を比較すると、現在よりも辞める直前のほうが平均して4～5時間長かった。初めての正社員勤務先を辞めた理由に「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかった」を挙げた人の場合、転職後には週労働時間は10時間程度減少していた。2016年調査に比べれば、やめる直前の労働時間は短くなっており、転職による改善の度合いは縮まった。

・月収についても同様に、現在正社員である転職者について、やめる直前と現在の月収を比較すると、全般に現在のほうが高かった。企業規模は初めての正社員勤務先のほうが全体として大きかったが、直近の給与については低下していることはないようである。特に初めての正社員勤務先を辞めた理由に「賃金の条件がよくなかった」を挙げた人の場合、転職後の現在の月収は大幅に上昇していた。

・職業生活に対する満足度を点数化し、現在の勤務先と初めての正社員勤務先に対するそれを比較すると、ほとんどの側面において現在の勤務先への満足感の方が高かった。その傾向は 2016 年調査より強まっていた。また、現職が正社員以外であっても、程度は違い、同様であった。さらに、現在の勤務先を辞めたい気持ちについて尋ねると、「辞めたいと思っていない」人は、転職して正社員になっている人のほうが初めての勤務先

勤続者より多かった。当事者が転職の結果を肯定的にとらえていることが反映されていると思われる。

- ・ 転職して正社員になっている場合に、初めての正社員勤続期間によって転職先の職場への満足感が異なるかをみると、男性の場合は「1年以内」の場合の賃金などの面での満足感が低い傾向があった。女性では逆に「1年以内」で離職した人のほうが、「3年超」勤続後に離職した人より、現在の職場生活の満足度が高かった。

- ・ 家族形成の状況については、男性の場合、離職者のうち正社員として再就職している人が配偶者も子供もいる割合が最も高く、次が初めての正社員勤務先に勤続している人であった。女性では、離職して非労働力化した人の9割に配偶者がおり、8割に子供がいた。正社員である勤続者も転職者も、また求職者も結婚、出産をしている人は少ない。また、離職後現在は正社員である人は、男女とも、現職への入職後に結婚している人が多い。これらは2016年調査結果とほぼ変わらない。

- ・ 現在の生活全般に対する満足感について、離職者と初めての正社員勤務先勤続者とを比べると、男性では離職の有無はともかく正社員であるかどうかで満足感を分けているという2016年と同じ結果であった。女性では2016年調査では、離職して非労働力（専業主婦）になった人が最も満足度が高かったが。今回調査では、女性の間では離職や就業の有無による違いがはっきりしなくなった。

- ・ 初めての正社員勤続期間別に生活全般への満足感をみると、男性については、勤続「1年以内」で離職した人に満足感が低い傾向がみられ、女性については正社員での再就職者の中で、勤続「3年超」で離職した人に満足感が低い傾向がみられた。「3年超」勤続後離職して、正社員で再就職したことが、生活全般への満足や現職への満足につながっておらず、男性の同じキャリアの場合とは異なった。家族関係からの負担や制約、それを前提にした転職市場での評価があって、最初の正社員勤務先と比較すると、再就職先の諸条件に満足しにくいことが考えられる。

以上のファインディングスを基に、今後重要だと思われる政策の方向を考える。

1. 離職後に正社員として再就職していれば、職業生活の満足度は初めての正社員勤務先より高く、また、離職理由となっていた長時間労働などは改善されている人が多い。離職後の就職活動に公共職業安定機関を活用している人は4割と少なくない。特に高卒者や「1年以内」の早期離職者で活用する割合が高いので、キャリアの方向性に迷っているケースも少なくないと思われる。正社員での再就職を促進するために、ハローワークにおいては担当者制などによるきめ細やかな対応が望まれる。

2. 高卒男性の再就職状況は2016年調査時より改善していることがうかがわれたが、それでも学歴間の正社員での再就職状況には差がみられた。正社員以外の雇用を経験した理由に「正社員として採用されなかった」を挙げる者も多い。対象者の状況にもよる

が、公的な職業訓練の活用が効果的ではないか。高卒男性では比較的公的な職業訓練が活用されている面がみられたが、安定的な雇用に移行するためには、より一層の活用が望まれる。

3. 女性の場合、早期離職後に非労働力化したり、正社員以外の雇用に就いたりする人が多く、また 2016 年調査ではこうした人のほうがより生活全般に満足を感じている傾向があった。しかし、今回調査ではそれがみられなくなった。女性の就労への意識の変化が進んでいる可能性もある。一方で「3年超」での離職後正社員で再就職している人で、職業生活についても生活全体についても満足感が低い傾向にあった。「3年超」離職者は、配偶者や子供がいるケースも多く、再就職にも制約があったかもしれない。こうした制約のある人が満足して働ける正社員の環境を整えるために、現在の働き方改革をさらに前進させる必要があると思われる。

4. 1年以内の離職者については、男性の場合は、正社員以外の働き方が多かったり、職業生活についての満足感も生活全体に対する満足感も低い傾向が明らかになった。あるいは、1年以内離職の女性が挙げる離職理由には肉体的・精神的に健康を損ねたためというケースも多く、こうした経験が正社員以外の雇用を選択する理由に繋がっていた。これらの早期離職の課題や背景を考えると、現在進められている、新卒採用にあたって、企業情報の多面的な開示を求める政策(若者雇用促進法に基づく積極的な情報開示など)は大変重要だろう。同時にそうした情報を取得し、判断できる能力を培うことができるよう在学中のキャリア教育を支援していくことも必要だと思われる。

付 表

<付表参照時の注意事項>

※男性の高校卒、専門学校卒、短大・高専卒、女性の短大・高専卒については、回収目標数を達成できていない。これらの属性群の値については参考値とされたい。

※高校卒には専門学校、短大・高専、大学の中途退学者を、大学卒には大学院修士課程の中途退学者を、大学院卒には大学院博士課程中途退学者を含む。

※回答が無いセルは空白で示した。

※パーセンテージを示す際には小数第2位以下を四捨五入した。左記の処理の結果0.05%未満となった場合には「0.0」を示した。

※Nが10以下の場合には、パーセンテージを示さず「-」とした。

※複数回答（MA: Multiple Answer）の設問では、各選択肢のパーセンテージの総計は、「計」に示した値（100.0%）とは一致しない。

SC1 あなたの生年月を教えてください。(2018年4月2日時点の年齢に換算) 単位：%、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
33歳(1984年度生)	12.2	16.0	10.2	17.4	13.8	14.8	10.3	23.1	7.9	14.3	8.4	18.6	10.2
32歳(1985年度生)	11.8	14.9	10.2	14.6	12.4	15.4	12.0	15.4	5.3	14.5	8.8	20.9	11.6
31歳(1986年度生)	11.0	14.0	9.4	14.1	10.4	10.1	7.6	12.8	10.5	15.2	8.9	16.3	10.6
30歳(1987年度生)	8.6	8.4	8.6	9.1	9.9	8.1	7.1	5.1	13.2	7.7	7.8	14.0	9.3
29歳(1988年度生)	10.5	11.4	10.1	11.2	9.7	13.4	6.0	5.1	17.1	11.4	10.2	11.6	11.6
28歳(1989年度生)	10.2	10.4	10.1	7.2	7.5	10.7	10.9	10.3	10.5	13.1	9.8	14.0	17.6
27歳(1990年度生)	8.7	7.8	9.1	7.6	6.5	7.4	9.2	5.1	5.3	8.6	11.2	4.7	7.9
26歳(1991年度生)	6.6	5.5	7.3	5.3	6.5	6.7	7.6	7.7	3.9	5.6	7.8		7.9
25歳(1992年度生)	5.3	4.2	5.9	3.1	2.5	9.4	9.2	5.1	2.6	3.7	6.8		9.3
24歳(1993年度生)	5.6	3.2	6.9	3.1	5.9	2.0	7.1	7.7	3.9	3.7	8.2		4.2
23歳(1994年度生)	4.5	1.9	5.9	2.6	4.8	0.7	4.9	2.6	6.6	1.9	7.9		
22歳(1995年度生)	2.9	0.8	4.0	1.4	4.7	1.3	3.3		7.9	0.2	4.4		
21歳(1996年度生)	1.3	1.1	1.3	2.9	3.0		3.8		3.9				
20歳(1997年度生)	0.6	0.2	0.8	0.5	2.5		1.1		1.3				
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216

すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
33歳(1984年度生)	8.5	10.7	5.5	10.3	6.5	12.1	3.3	11.7	8.0	9.6	5.0	8.3	5.0
32歳(1985年度生)	8.3	10.8	4.6	11.2	4.9	9.3	1.7	15.1	7.3	9.0	3.9	8.3	12.5
31歳(1986年度生)	7.8	9.7	5.1	9.2	4.9	10.4	4.2	10.9	8.7	8.7	4.6	16.7	2.5
30歳(1987年度生)	8.0	9.2	6.3	8.6	5.9	8.9	4.2	9.1	6.7	10.0	5.9	8.3	17.5
29歳(1988年度生)	10.8	12.7	8.2	11.9	7.6	11.1	6.7	11.3	6.7	14.9	8.5	25.0	17.5
28歳(1989年度生)	9.7	9.9	9.5	5.9	7.0	8.9	15.8	10.6	10.0	13.6	8.3	16.7	15.0
27歳(1990年度生)	9.3	9.3	9.2	8.8	6.5	7.9	9.2	9.1	6.0	10.9	11.3	8.3	5.0
26歳(1991年度生)	6.4	5.8	7.1	4.8	5.9	3.9	4.2	4.5	4.0	8.5	8.7	8.3	12.5
25歳(1992年度生)	6.1	5.0	7.6	4.2	4.3	6.4	8.3	4.5	4.7	5.3	9.4		7.5
24歳(1993年度生)	8.0	6.3	10.4	7.0	7.6	8.9	12.5	4.5	9.3	5.1	11.6		5.0
23歳(1994年度生)	8.5	5.5	12.9	7.7	15.7	6.1	6.7	4.9	10.7	3.4	15.0		
22歳(1995年度生)	5.5	3.4	8.5	5.7	9.7	4.6	10.8	2.6	10.0	0.9	7.8		
21歳(1996年度生)	2.2	1.4	3.5	2.9	7.6	1.4	9.2	1.1	7.3				
20歳(1997年度生)	1.0	0.5	1.5	1.8	5.9		3.3		0.7				
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

SC3 あなたの最終学歴は次のどれに当たりますか。あてはまるものをお選びください。中途退学した方は、中退した学校の前に卒業した学校をお答えください。在学中の方は、現在の学校に入る前に卒業した学校をお答えください。 単位：%、太字は実数								
すべての男性	全体	離職者		勤続者	すべての女性	全体	離職者	
		離職者	勤続者				離職者	勤続者
高校卒業(専修学校の高等課程を含む)	0.3		38.9	27.4	高校卒業(専修学校の高等課程を含む)	24.0	29.2	16.6
専門学校卒業	0.1		13.8	9.0	専門学校卒業	16.0	19.6	11.0
高等専門学校卒業	0.0		2.4	2.8	高等専門学校卒業	1.5	1.0	2.3
短期大学卒業	0.0		1.2	0.9	短期大学卒業	13.8	15.8	10.9
大学卒業	0.5		39.7	49.2	大学卒業	42.7	33.5	55.5
大学院修士課程修了	0.1		4.0	10.6	大学院修士課程修了	2.0	0.8	3.7
計	100.0		100.0	100.0	計	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	3,114		1,078	2,036	有効回答数(N)	2,517	1,481	1,036

SC4 あなたがその学校を卒業した年月を教えてください。(年度) 単位：%、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
2002年度	4.0	5.3	3.4	13.6	12.4								
2003年度	4.1	6.2	3.0	16.0	10.9								
2004年度	4.5	6.5	3.4	12.2	9.5	9.4	7.1	12.8	5.3				
2005年度	4.8	6.0	4.1	10.5	10.9	9.4	8.7	17.9	7.9				
2006年度	7.2	9.4	6.0	10.7	9.9	7.4	5.4	12.8	7.9	9.3	5.2		
2007年度	8.2	9.8	7.3	7.9	7.7	8.7	8.2	7.7	10.5	13.3	8.2		
2008年度	8.5	10.7	7.3	7.9	6.1	8.7	3.3	5.1	11.8	15.0	8.5	7.0	6.9
2009年度	7.8	8.2	7.6	6.0	6.8	12.1	8.7	7.7	6.6	8.2	7.7	16.3	8.3
2010年度	8.0	8.3	7.9	3.3	2.9	12.1	9.8	10.3	10.5	11.0	9.9	16.3	8.8
2011年度	8.7	8.2	8.9	3.3	5.9	6.7	9.8	5.1	6.6	12.6	10.6	18.6	9.3
2012年度	8.9	7.7	9.6	3.3	5.9	13.4	11.4	2.6	3.9	10.5	10.7	7.0	14.4
2013年度	6.6	5.3	7.2	1.7	3.8	4.0	7.6	10.3	6.6	7.7	7.7	16.3	13.9
2014年度	5.7	4.2	6.5	2.6	3.6	2.7	5.4	5.1	5.3	5.6	7.5	9.3	11.1
2015年度	5.2	2.5	6.6	0.7	3.0	2.7	6.5		9.2	4.7	8.1		8.3
2016年度	4.6	1.1	6.4		0.5	2.0	5.4	2.6	6.6	1.6	9.4	2.3	8.8
2017年度	3.1	0.6	4.4	0.2	0.2	0.7	2.7		1.3	0.2	6.3	7.0	9.3
2018年度	0.2	0.1	0.3							0.2	0.4		0.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
2002年度	2.0	3.0	1.0	9.0	7.0								
2003年度	2.0	3.0	1.0	11.0	4.0								
2004年度	4.0	5.0	2.0	9.0	4.0	6.0	2.0	9.0	6.0				
2005年度	5.0	7.0	2.0	10.0	5.0	9.0	3.0	14.0	5.0				
2006年度	8.0	10.0	5.0	12.0	7.0	9.0	3.0	11.0	7.0	8.0	4.0		
2007年度	6.0	8.0	4.0	6.0	5.0	9.0	2.0	10.0	7.0	8.0	4.0		
2008年度	8.0	9.0	6.0	9.0	8.0	9.0	5.0	12.0	8.0	9.0	5.0		5.0
2009年度	8.0	9.0	7.0	5.0	7.0	12.0	13.0	11.0	9.0	9.0	5.0		5.0
2010年度	8.0	9.0	7.0	4.0	5.0	10.0	10.0	7.0	5.0	14.0	9.0	17.0	3.0
2011年度	8.0	9.0	7.0	7.0	6.0	4.0	5.0	7.0	7.0	15.0	8.0	17.0	18.0
2012年度	10.0	9.0	11.0	7.0	17.0	6.0	10.0	6.0	5.0	12.0	11.0	25.0	13.0
2013年度	8.0	7.0	9.0	6.0	9.0	10.0	9.0	3.0	10.0	9.0	8.0	25.0	23.0
2014年度	7.0	5.0	9.0	2.0	9.0	7.0	8.0	5.0	9.0	6.0	10.0		3.0
2015年度	7.0	5.0	11.0	2.0	7.0	7.0	13.0	3.0	11.0	6.0	12.0	17.0	15.0
2016年度	6.0	2.0	11.0	0.0	1.0	3.0	10.0	2.0	8.0	3.0	15.0		8.0
2017年度	3.0	1.0	7.0			0.0	8.0		3.0	1.0	9.0		10.0
2018年度	0.0	0.0	0.0	0.0							1.0		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

SC4 あなたがその学校を卒業した年月を教えてください。(月) 単位：%、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
1月	0.1	0.1	0.1			0.7	0.5				0.2		
2月	0.7	0.6	0.7	1.2	1.6	0.7		2.6	1.3		0.4		
3月	92.3	92.9	91.9	91.9	90.1	94.0	90.8	92.3	90.8	93.5	93.1	93.0	92.6
4月	5.0	5.0	5.0	6.7	7.2	4.0	6.5	2.6	2.6	4.0	3.6	4.7	5.1
5月	0.2		0.2		0.2						0.2		0.9
6月	0.2	0.3	0.2		0.2					0.7	0.3		
7月	0.2		0.3		0.2		0.5		1.3		0.4		
8月	0.2	0.2	0.2							0.5	0.4		
9月	0.7	0.6	0.7	0.2	0.4			2.6		1.2	1.1		0.9
10月	0.2		0.3		0.2		1.1		2.6		0.1		
11月	0.0		0.0								0.1		
12月	0.2	0.3	0.2			0.7	0.5		1.3	0.2	0.1	2.3	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
1月	0.1	0.1	0.1	0.2					0.7				
2月	0.8	1.0	0.4	2.0		0.4		0.8	0.7	0.6	0.6		
3月	94.4	94.5	94.1	94.1	94.1	94.3	95.8	96.6	92.7	94.0	94.5	91.7	90.0
4月	3.1	2.6	3.9	2.9	4.3	2.9	2.5	1.9	4.7	2.8	3.7		5.0
5月	0.1		0.3						1.3		0.2		
6月	0.2	0.2	0.3	0.2	0.5	0.4				0.2	0.4		
7月	0.2	0.1	0.2				0.8			0.4	0.2		
8月	0.1	0.1	0.1			0.4	0.8			0.2			
9月	0.8	1.0	0.5	0.2	0.5	1.4		0.4		1.7	0.4	8.3	5.0
10月	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5								
11月													
12月	0.2	0.2	0.1	0.2		0.4		0.4			0.2		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

SC6 現在、どちらの都道府県にお住まいですか。 単位：%、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
北海道	4.4	4.0	4.6	4.8	6.1	6.0	7.6	7.7	7.9	2.6	3.5		1.9
青森県	1.1	0.9	1.2	1.7	1.8		0.5		1.3	0.7	1.3		
岩手県	1.1	1.2	1.0	1.4	1.4	2.0	1.6	2.6	1.3	0.7	0.9		
宮城県	2.0	1.9	2.0	2.6	1.8	2.0	0.5	5.1	5.3	0.9	2.3	2.3	1.4
秋田県	0.9	1.3	0.6	1.4	1.4	2.0	0.5			1.2	0.3		0.5
山形県	0.9	0.8	0.9	0.5	0.7	0.7	1.1		1.3	1.4	1.0		0.9
福島県	1.3	1.4	1.3	2.4	2.7	0.7	2.2	2.6	3.9	0.5	0.5	2.3	
茨城県	1.7	2.1	1.4	2.9	2.9	1.3	2.2	2.6	2.6	1.4	0.5	4.7	0.9
栃木県	1.2	1.4	1.0	1.9	1.1	0.7	1.1	2.6	3.9	0.9	0.9	2.3	0.5
群馬県	1.0	1.5	0.8	1.7	0.9	2.7	1.1		1.3	1.2	0.6		0.9
埼玉県	5.6	5.7	5.5	6.0	5.4	2.7	7.1	2.6	3.9	6.3	5.9	9.3	3.2
千葉県	4.3	5.0	3.9	3.3	3.8	4.7	2.2	2.6	3.9	7.2	4.1	2.3	4.6
東京都	12.3	12.8	12.1	7.9	4.5	8.7	8.7	15.4	2.6	18.2	16.8	18.6	16.2
神奈川県	7.7	7.1	8.1	5.5	5.2	6.7	7.6	5.1	2.6	9.3	9.3	2.3	12.5
新潟県	1.8	1.9	1.8	1.4	2.2	5.4	3.3		1.3	1.4	1.8		
富山県	1.0	0.4	1.3		1.4	1.3	1.6			1.3	0.5	1.0	1.9
石川県	0.9	0.6	1.0	0.7	1.3	1.3	0.5	2.6	2.6	0.2	0.7		1.4
福井県	0.5	0.5	0.5	0.7	0.5	0.7	0.5			2.6	0.2	0.5	
山梨県	0.5	0.2	0.6	0.2	0.5	0.7	0.5		1.3		0.5		1.4
長野県	1.3	0.8	1.6	1.2	0.5	1.3	3.3		1.3	0.5	1.5		3.7
岐阜県	1.9	2.1	1.7	3.6	2.9	1.3	1.1		2.6	1.4	1.4		0.5
静岡県	2.8	3.1	2.7	3.8	3.4	2.7	1.1		3.9	2.8	2.3	2.3	3.2
愛知県	8.2	7.7	8.4	7.4	9.7	7.4	8.2	2.6	6.6	7.5	7.2	18.6	11.6
三重県	1.5	1.4	1.6	1.4	2.3	2.0	0.5		1.3	1.2	1.1	2.3	2.8
滋賀県	1.3	1.2	1.3	0.2	2.2	0.7	0.5	7.7	3.9	1.2	0.8	7.0	0.9
京都府	1.9	1.6	2.0	1.9	0.7	0.7	1.6	5.1	3.9	1.2	2.6	2.3	2.3
大阪府	7.0	7.5	6.8	7.4	5.2	8.7	4.9	7.7	3.9	7.5	8.5	4.7	5.6
兵庫県	4.9	3.9	5.4	4.1	6.3	4.7	1.6	2.6	3.9	4.0	5.3		7.4
奈良県	0.9	1.0	0.9	0.5	0.4	2.7	1.6			1.2	1.0		1.4
和歌山県	0.9	1.1	0.7	1.9	0.9	0.7	1.1		1.3	0.7	0.5		0.9
鳥取県	0.4	0.5	0.3	0.5	0.4		1.6			0.7			0.5
島根県	0.6	0.8	0.5	1.0	0.9		0.5	5.1		0.7	0.4		
岡山県	2.0	1.5	2.2	1.0	2.2		2.7		2.6	2.6	1.9	2.3	3.2
広島県	2.8	2.4	3.0	1.7	3.4	3.4	2.2	2.6	3.9	2.6	2.7	4.7	3.7
山口県	1.1	1.0	1.1	1.7	1.3	0.7	1.6		1.3	0.5	1.1	2.3	0.5
徳島県	0.4	0.1	0.5	0.5	0.5	0.7	0.5					0.6	
香川県	0.7	0.8	0.7	1.0	0.5	1.3	1.1		1.3	0.7	0.6		0.9
愛媛県	1.2	1.3	1.1	1.9	0.9	0.7	2.2	2.6	2.6	0.9	1.0		0.9
高知県	0.5	0.5	0.5	0.2	0.4		0.5		1.3	0.9	0.6		
福岡県	3.2	3.5	3.1	3.3	3.2	2.0	4.3	10.3	1.3	3.5	3.3	4.7	1.4
佐賀県	0.4	0.3	0.5	0.2	1.1	0.7	1.6				0.2	2.3	
長崎県	0.9	1.2	0.7	1.0	0.7	2.0	0.5			1.4	0.9		
熊本県	0.8	0.9	0.8	1.2	1.8	1.3	1.6			0.7	0.3		
大分県	0.7	1.3	0.4	1.7	0.2	1.3	1.1	2.6		0.7	0.5	2.3	
宮崎県	0.4	0.2	0.4	0.5	1.3						0.2		
鹿児島県	0.5	0.6	0.5	1.4	0.7					0.2	0.5		0.5
沖縄県	0.8	0.9	0.8	1.4	0.7	2.7	1.6		1.3		0.8		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216

SC6 現在、どちらの都道府県にお住まいですか。 単位：%、太字は実数													
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
北海道	5.5	5.9	4.8	9.7	7.0	6.1	6.7	3.0	1.3	4.1	5.0		
青森県	1.3	1.4	1.2	2.6	3.2	1.1			2.0	1.1	0.6		
岩手県	1.2	1.2	1.1	1.8	2.2	1.1	1.7	1.9	1.3	0.4	0.6		
宮城県	2.3	2.0	2.9	2.2	2.7	3.2	3.3	1.5	2.7	1.3	3.0		2.5
秋田県	0.6	0.7	0.5	1.1	0.5	0.4	2.5	0.8	0.7	0.6			
山形県	1.0	0.9	1.0	0.9	0.5	1.4		1.1	2.0	0.6	1.1		
福島県	1.3	1.2	1.4	1.5	3.2	1.1	2.5	0.8		1.3	0.7		2.5
茨城県	1.3	0.9	1.8	1.3	3.8	0.7	4.2	0.4		1.1	1.1		2.5
栃木県	1.3	1.6	0.9	2.6	1.6	1.8	0.8	0.8		1.1	0.9		
群馬県	1.1	0.7	1.5	1.1	1.1	0.7	3.3	0.4	2.0	0.6	1.3		
埼玉県	4.8	4.9	4.6	4.0	2.2	5.7	5.8	6.0	4.7	4.7	5.4		2.5
千葉県	4.0	4.8	2.8	3.7	2.2	5.4	1.7	4.9	3.3	5.3	3.0	8.3	5.0
東京都	11.8	10.0	14.5	5.9	8.1	6.4	6.7	9.1	10.0	16.0	18.9	33.3	25.0
神奈川県	6.1	6.4	5.7	3.7	2.2	6.4	10.0	8.3	5.3	8.1	5.7		10.0
新潟県	1.4	1.1	1.6	2.2	1.1	0.7		1.1	3.3	0.4	1.3		7.5
富山県	1.0	0.9	1.3	0.9	2.2	0.7		0.8	2.0	1.1	1.1		
石川県	1.0	0.7	1.4	0.7	1.6		1.7	1.9	1.3	0.4	1.3		2.5
福井県	0.4	0.3	0.7			0.7	0.8	0.8	1.3		0.7		
山梨県	0.6	0.7	0.6	0.9	1.1	0.4		0.8	0.7	0.6	0.6		
長野県	1.3	1.2	1.4	0.4	1.6	1.8		3.0	3.3	0.6	0.9		2.5
岐阜県	1.7	1.6	1.7	2.2	0.5	1.1	1.7	1.9	3.3	1.3	1.5		5.0
静岡県	2.9	3.4	2.1	4.2	2.7	5.0	2.5	1.5	2.0	2.8	2.0	8.3	
愛知県	8.4	8.0	9.1	7.7	9.7	8.6	6.7	7.9	8.7	7.7	10.0	16.7	2.5
三重県	1.7	2.0	1.3	2.4	1.6	1.8	3.3	1.9	2.0	1.9	0.6		
滋賀県	0.8	0.9	0.6	0.9		0.4	0.8	1.1	1.3	1.3	0.6		
京都府	1.9	1.7	2.2	1.5	1.6	1.8	3.3	2.3	2.7	1.3	2.2	8.3	
大阪府	8.3	8.6	7.9	5.7	4.9	8.2	5.8	13.2	9.3	9.2	8.7	8.3	12.5
兵庫県	5.2	5.3	5.0	4.4	5.4	4.6	3.3	4.2	4.0	7.2	5.4	8.3	7.5
奈良県	1.4	1.5	1.4	0.9		1.8	1.7	1.1	2.0	2.1	1.7		
和歌山県	0.7	1.1	0.2	1.3	0.5	1.1		1.5		0.6	0.2		
鳥取県	0.5	0.3	0.8	0.2	2.2	0.4	2.5	0.8	0.7	0.2			
島根県	0.6	0.5	0.7	0.2	0.5	1.4	0.8	0.8	1.3	0.2	0.6		
岡山県	1.5	1.3	1.7	2.2	2.7	0.4	2.5	0.8	1.3	1.3	1.5		
広島県	2.9	3.1	2.6	2.6	2.7	3.9	0.8	1.9	0.7	3.8	3.5		2.5
山口県	1.1	1.2	0.9	1.5	1.1	1.4	1.7	1.1	2.7	0.9	0.2		
徳島県	0.3	0.2	0.5		1.6	0.4				0.2	0.4	8.3	
香川県	0.6	0.5	0.8	0.7	2.2	0.7		0.4	0.7	0.4	0.6		
愛媛県	1.5	2.0	0.8	3.7	1.1	1.4	0.8	0.4	0.7	1.5	0.7		
高知県	0.2	0.1	0.3		0.5	0.7	0.8				0.2		
福岡県	4.0	4.2	3.8	3.3	4.3	4.3	1.7	6.0	5.3	4.1	3.5		5.0
佐賀県	0.4	0.3	0.5	0.4	1.1	0.4	0.8		0.7	0.4	0.2		
長崎県	0.8	0.8	0.7	0.9	0.5	1.1	1.7	1.1	0.7	0.4	0.4		2.5
熊本県	0.6	0.7	0.4	0.9		0.7	0.8	0.4	0.7	0.9	0.4		
大分県	0.5	0.4	0.6	0.7		0.7		0.4	1.3		0.7		
宮崎県	0.8	0.9	0.7	1.3	1.6	1.1	1.7	1.1		0.2	0.4		
鹿児島県	0.9	0.9	0.9	1.8	2.2	0.4	1.7	1.1		0.4	0.6		
沖縄県	0.6	0.5	0.6	1.1	0.5	0.7	0.8		0.7	0.2	0.6		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q1-1 あなたは高校（専修学校高等課程含む）で何を専攻していましたか。						
単位：%、太字は実数						
高校卒業者	男性			女性		
		離職者	勤続者		離職者	勤続者
普通科	44.2	48.7	40.9	44.8	46.4	41.1
工業科	34.8	27.4	40.3	5.6	5.3	6.5
商業科	10.7	11.2	10.4	27.7	27.0	29.2
総合学科	4.0	4.3	3.8	8.6	7.9	10.3
農業学科	4.2	5.3	3.4	5.2	5.5	4.3
家庭学科	0.5	1.0	0.2	4.7	4.2	5.9
看護・福祉学科	0.2	0.5		1.4	1.5	1.1
その他	1.3	1.7	1.1	2.0	2.2	1.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	977	419	558	640	455	185

Q1-2 あなたは専門学校で何を専攻していましたか。 単位：%、太字は実数						
専門学校卒業者	男性			女性		
		離職者	勤続者		離職者	勤続者
工業関係	28.5	26.2	30.4	3.8	3.6	4.2
農業関係	0.9	0.7	1.1	0.5	0.4	0.8
医療関係	25.8	23.5	27.7	45.8	41.8	55.0
衛生関係	6.6	10.7	3.3	18.8	22.1	10.8
教育・社会福祉関係	9.9	11.4	8.7	6.3	7.5	3.3
商業実務関係	14.4	14.8	14.1	7.5	6.1	10.8
服飾・家政関係	1.8	1.3	2.2	4.8	4.6	5.0
文化・教養関係	11.4	10.7	12.0	12.8	13.9	10.0
その他	0.6	0.7	0.5			
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	333	149	184	400	280	120

Q1-3 あなたは高等専門学校で何を専攻していましたか。 単位：%、太字は実数						
高等専門学校卒業者	男性			女性		
		離職者	勤続者		離職者	勤続者
機械、材料系	26.5	15.4	31.6	4.8	12.5	
電気、電子系	28.9	34.6	26.3	16.7	12.5	19.2
情報系	13.3	23.1	8.8	21.4	25.0	19.2
化学・生物系	8.4		12.3	21.4	18.8	23.1
建設、建築系	9.6	7.7	10.5	19.0	18.8	19.2
その他工業（総合、複合等）	10.8	19.2	7.0	16.7	12.5	19.2
商船	2.4		3.5			
その他						
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	83	26	57	42	16	26

Q1-4 あなたは短大で何を専攻していましたか。 単位：%、太字は実数						
短期大学卒業生	男性	男性		女性	女性	
		離職者	勤続者		離職者	勤続者
人文（文学 史学 哲学 外国語など）	9.4	15.4	5.3	11.2	10.8	12.1
社会（商学 経済学 社会学 心理学 社会福祉 ビジネスなど）	12.5	7.7	15.8	13.1	10.8	17.7
教養（国際教養 生活教養 文化教養 情報文化学 現代教養学 生活創造など）				5.3	5.2	5.6
工業（機械、電気、建築、情報など）	28.1	38.5	21.1	2.4	2.4	2.4
農業	12.5	7.7	15.8	0.5	0.4	0.8
医療・保健・看護学	28.1	15.4	36.8	13.6	12.8	15.3
家政				15.2	16.0	13.7
教育	6.3	7.7	5.3	33.4	36.4	27.4
芸術	3.1	7.7		4.8	4.8	4.8
その他				0.3	0.4	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	32	13	19	373	249	124

Q1-5 あなたは大学・大学院で何を専攻していましたか。 単位：%、太字は実数						
大学卒業生	男性	男性		女性	女性	
		離職者	勤続者		離職者	勤続者
社会科学（法学、経済学、商学、社会学、福祉など）	48.3	50.0	47.5	31.4	32.4	30.5
人文科学（文学、哲学、史学、心理学、外国語など）	10.7	13.1	9.7	25.7	28.8	23.1
教育	4.5	4.2	4.6	9.8	7.9	11.5
工学（機械、電気、建築、情報など）	21.7	22.2	21.6	3.8	2.8	4.6
農学	3.1	2.3	3.4	3.3	3.6	3.0
理学	3.8	2.3	4.4	3.2	2.8	3.5
医療、保健、看護	6.6	4.4	7.6	15.2	13.9	16.5
家政	0.3	0.2	0.3	4.4	4.5	4.3
芸術	0.7	0.9	0.6	2.7	2.8	2.6
その他	0.3	0.2	0.4	0.6	0.6	0.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,430	428	1,002	1,010	469	541

Q1-5 あなたは大学・大学院で何を専攻していましたか。 単位：%、太字は実数						
大学院修士課程修了者	男性	離職者		女性	勤続者	
		離職者	勤続者		離職者	勤続者
社会科学（法学、経済学、商学、社会学、福祉など）	9.7	16.3	8.3	15.4	16.7	15.0
人文科学（文学、哲学、史学、心理学、外国語など）	2.3	2.3	2.3	15.4	16.7	15.0
教育	2.7		3.2	9.6	25.0	5.0
工学（機械、電気、建築、情報など）	51.0	46.5	51.9	21.2	16.7	22.5
農学	8.9	7.0	9.3	5.8	8.3	5.0
理学	13.5	7.0	14.8	17.3	8.3	20.0
医療、保健、看護	12.0	20.9	10.2	9.6	8.3	10.0
家政				3.8		5.0
芸術				1.9		2.5
その他						
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	259	43	216	52	12	40

Q2 あなたの、最終学歴の学校に入学してから「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めるまでの行動として、以下の事柄はどの程度あてはまりますか。														
単位：％、太字は実数														
すべての男性		全学歴			高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
卒業後につきたい仕事を考慮して、入学する学校を決めた	あてはまる	18.8	15.5	20.6	7.6	14.2	40.3	49.5	23.1	27.6	13.6	18.3	18.6	20.8
	ややあてはまる	22.3	20.9	23.0	11.5	19.4	24.8	19.6	38.5	34.2	25.5	23.8	37.2	28.2
	どちらでもない	19.3	18.1	19.9	20.5	20.1	19.5	20.1	17.9	19.7	15.9	20.6	11.6	16.7
	ややあてはまらない	10.2	9.6	10.5	7.4	8.6	6.7	4.3	5.1	7.9	12.4	12.1	18.6	13.9
	あてはまらない	29.4	35.9	26.0	53.0	37.8	8.7	6.5	15.4	10.5	32.7	25.3	14.0	20.4
学校での学業成績は優秀な方であった	あてはまる	14.5	12.2	15.7	11.5	15.9	16.1	15.8	7.7	11.8	10.5	14.1	25.6	23.6
	ややあてはまる	23.9	21.2	25.3	16.5	20.1	23.5	23.4	25.6	21.1	24.5	27.4	20.9	31.9
	どちらでもない	30.3	30.1	30.4	27.2	30.5	32.9	39.1	28.2	31.6	33.4	29.4	18.6	26.4
	ややあてはまらない	14.2	13.8	14.4	11.7	13.6	15.4	12.0	15.4	14.5	14.0	16.2	25.6	10.2
	あてはまらない	17.2	22.7	14.3	33.2	19.9	12.1	9.8	23.1	21.1	17.5	12.9	9.3	7.9
アルバイトに熱心であった	あてはまる	15.1	16.1	14.5	14.6	12.7	19.5	12.0	10.3	10.5	16.8	16.7	18.6	12.5
	ややあてはまる	22.2	21.3	22.7	16.0	14.2	22.8	25.5	20.5	22.4	25.7	26.5	25.6	24.5
	どちらでもない	22.9	22.0	23.4	21.2	17.7	23.5	29.9	25.6	26.3	21.3	25.6	27.9	20.8
	ややあてはまらない	13.8	11.6	15.0	10.0	11.1	10.1	11.4	15.4	15.8	13.8	16.4	7.0	21.3
	あてはまらない	26.0	28.9	24.5	38.2	44.3	24.2	21.2	28.2	25.0	22.4	14.8	20.9	20.8
課外活動（部活・サークル・ボランティアなど）に熱心であった	あてはまる	19.2	15.7	21.0	14.6	27.6	7.4	7.1	5.1	14.5	20.1	21.1	20.9	18.1
	ややあてはまる	18.7	16.0	20.1	13.4	17.7	9.4	9.8	10.3	21.1	20.8	22.8	23.3	22.2
	どちらでもない	20.2	18.9	20.9	19.6	18.1	25.5	26.1	17.9	31.6	17.3	20.9	7.0	19.9
	ややあてはまらない	13.9	15.0	13.4	13.8	9.9	16.8	19.0	17.9	11.8	14.7	14.4	20.9	13.4
	あてはまらない	28.0	34.3	24.7	38.7	26.7	40.9	38.0	48.7	21.1	27.1	21.0	27.9	26.4
就職したい業界や職業について調べた	あてはまる	15.9	12.8	17.6	8.4	12.0	22.1	23.9	5.1	9.2	14.3	18.1	16.3	27.3
	ややあてはまる	30.3	26.4	32.4	16.2	24.7	32.2	28.8	38.5	38.2	31.5	35.4	44.2	39.4
	どちらでもない	25.5	25.0	25.7	26.3	26.5	25.5	31.0	23.1	30.3	24.1	24.9	23.3	21.8
	ややあてはまらない	13.3	15.2	12.3	15.5	13.6	13.4	10.3	15.4	7.9	16.1	13.0	9.3	8.8
	あてはまらない	14.9	20.5	12.0	33.7	23.1	6.7	6.0	17.9	14.5	14.0	8.7	7.0	2.8
自分の興味関心や「やりたいこと」について深く考えた	あてはまる	16.7	16.1	16.9	12.2	14.5	27.5	26.1	7.7	7.9	16.8	16.5	16.3	20.8
	ややあてはまる	28.3	24.4	30.4	18.6	21.7	25.5	28.8	25.6	42.1	27.3	32.0	46.5	42.6
	どちらでもない	28.2	27.6	28.5	27.4	30.8	29.5	28.8	28.2	28.9	27.1	28.4	25.6	22.2
	ややあてはまらない	13.6	14.7	13.0	12.9	13.8	11.4	8.2	20.5	9.2	18.2	14.6	4.7	9.3
	あてはまらない	13.2	17.2	11.1	28.9	19.2	6.0	8.2	17.9	11.8	10.5	8.5	7.0	5.1
学校の先生・職員や公的機関（ハローワーク等）の職員に、個別に就職活動の相談をした	あてはまる	10.6	9.3	11.2	7.6	11.5	15.4	16.3	7.7	11.8	8.6	10.8	11.6	8.3
	ややあてはまる	20.6	21.0	20.3	15.8	19.4	30.2	27.7	20.5	18.4	22.2	19.9	27.9	19.4
	どちらでもない	23.1	23.0	23.1	24.3	24.7	23.5	27.7	35.9	31.6	21.0	21.6	16.3	19.4
	ややあてはまらない	15.0	14.2	15.4	12.2	12.7	12.1	8.2	12.8	18.4	16.6	18.1	18.6	15.3
	あてはまらない	30.8	32.6	29.9	40.1	31.7	18.8	20.1	23.1	19.7	31.5	29.7	25.6	37.5
就職したい会社の経営者や従業員に個人的に話を聞きに行った	あてはまる	7.2	6.6	7.5	4.5	5.2	12.8	10.3	5.1	1.3	6.8	8.3	4.7	9.3
	ややあてはまる	11.6	9.8	12.5	5.7	7.2	15.4	9.2	7.7	15.8	12.1	15.0	9.3	16.2
	どちらでもない	20.1	17.7	21.4	18.4	21.1	19.5	28.8	23.1	25.0	16.6	20.8	11.6	17.1
	ややあてはまらない	12.6	13.3	12.2	9.1	10.9	16.8	10.9	7.7	11.8	15.2	13.3	27.9	11.6
	あてはまらない	48.6	52.6	46.5	62.3	55.6	35.6	40.8	56.4	46.1	49.3	42.7	46.5	45.8
職場での実務を伴う学習（インターンシップや職場体験など）を経験した	あてはまる	13.3	12.4	13.8	10.7	10.8	24.2	23.4	15.4	17.1	9.3	13.4	16.3	13.9
	ややあてはまる	15.4	13.5	16.3	8.8	12.9	24.2	19.0	15.4	23.7	14.7	16.4	9.3	19.9
	どちらでもない	17.8	16.1	18.7	19.1	19.7	14.1	23.4	25.6	19.7	13.8	18.5	9.3	13.0
	ややあてはまらない	11.2	11.5	11.1	9.3	10.9	12.8	9.2	7.7	9.2	13.6	11.6	11.6	11.6
	あてはまらない	42.3	46.4	40.1	52.0	45.7	24.8	25.0	35.9	30.3	48.6	40.2	53.5	41.7
働くためのルール（労働法など）について学んだ	あてはまる	8.6	8.3	8.8	4.8	5.7	18.1	20.1	5.1	10.5	8.4	8.8	9.3	6.9
	ややあてはまる	17.1	15.5	17.9	10.5	13.1	17.4	17.4	20.5	19.7	18.9	20.3	18.6	19.0
	どちらでもない	26.3	25.7	26.7	28.9	26.7	23.5	33.7	30.8	28.9	23.4	26.6	20.9	19.9
	ややあてはまらない	16.8	17.0	16.7	14.3	14.7	21.5	13.0	17.9	15.8	18.0	17.0	16.3	23.6
	あてはまらない	31.2	33.6	30.0	41.5	39.8	19.5	15.8	25.6	25.0	31.3	27.3	34.9	30.6
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216

Q2 あなたの、最終学歴の学校に入学してから「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めるまでの行動として、以下の事柄はどの程度あてはまりますか。														
単位：%、太字は実数														
すべての女性		全学歴			高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
卒業後につきたい仕事のことを考慮して、入学する学校を決めた	あてはまる	31.4	31.3	31.7	11.9	11.9	63.2	60.8	46.8	44.7	22.6	28.3	16.7	32.5
	ややあてはまる	20.3	19.7	21.0	15.8	12.4	17.1	15.8	20.8	23.3	24.1	24.4	33.3	22.5
	どちらでもない	11.1	10.8	11.6	11.2	14.1	7.1	8.3	11.7	12.7	11.9	11.6	16.7	5.0
	ややあてはまらない	10.2	10.1	10.2	9.0	11.4	3.9	9.2	8.7	5.3	15.8	10.5	8.3	22.5
	あてはまらない	27.0	28.1	25.5	52.1	50.3	8.6	5.8	12.1	14.0	25.6	25.1	25.0	17.5
学校での学業成績は優秀な方であった	あてはまる	15.9	14.3	18.1	12.7	13.5	20.4	23.3	16.6	20.7	10.4	17.4	33.3	25.0
	ややあてはまる	27.7	25.7	30.5	20.2	22.7	26.4	30.8	28.7	28.0	29.2	32.5	16.7	47.5
	どちらでもない	28.3	30.4	25.3	30.1	20.5	29.6	26.7	32.1	28.7	30.3	26.6	25.0	12.5
	ややあてはまらない	14.0	14.4	13.3	12.5	16.2	11.4	10.0	13.6	12.7	18.6	13.3	16.7	12.5
	あてはまらない	14.1	15.1	12.7	24.4	27.0	12.1	9.2	9.1	10.0	11.5	10.2	8.3	2.5
アルバイトに熱心であった	あてはまる	24.4	23.4	25.8	20.4	17.3	24.6	24.2	23.8	30.0	25.6	28.1	8.3	22.5
	ややあてはまる	30.2	30.8	29.4	25.5	25.9	31.1	23.3	35.8	32.0	32.4	30.7	50.0	37.5
	どちらでもない	16.4	16.4	16.4	13.2	11.9	17.1	19.2	18.1	14.7	18.3	17.6	8.3	20.0
	ややあてはまらない	10.5	10.5	10.5	8.6	9.7	8.9	10.0	10.2	8.0	13.6	12.0	8.3	5.0
	あてはまらない	18.5	18.9	17.9	32.3	35.1	18.2	23.3	12.1	15.3	10.0	11.6	25.0	15.0
課外活動（部活・サークル・ボランティアなど）に熱心であった	あてはまる	14.0	12.5	16.1	15.2	20.0	6.8	10.0	10.2	11.3	14.7	17.4	8.3	17.5
	ややあてはまる	18.8	17.2	20.9	15.6	19.5	8.6	5.8	17.4	14.7	23.2	26.1	41.7	27.5
	どちらでもない	15.3	15.5	14.9	16.0	10.8	17.9	17.5	17.0	13.3	13.0	15.7	8.3	20.0
	ややあてはまらない	15.2	14.8	15.7	10.8	15.1	17.5	16.7	14.3	20.7	17.5	14.6	8.3	12.5
	あてはまらない	36.8	40.0	32.3	42.4	34.6	49.3	50.0	41.1	40.0	31.6	26.2	33.3	22.5
就職したい業界や職業について調べた	あてはまる	21.8	21.3	22.5	11.6	9.2	38.2	35.8	25.7	30.7	18.1	21.8	16.7	22.5
	ややあてはまる	35.0	34.2	36.2	25.3	24.9	36.8	25.8	33.6	31.3	41.2	41.6	50.0	65.0
	どちらでもない	16.4	16.4	16.3	19.3	16.8	13.2	20.0	15.1	16.7	16.4	16.3	8.3	2.5
	ややあてはまらない	12.3	12.5	12.1	13.8	20.5	5.7	6.7	14.0	11.3	14.5	10.9	8.3	7.5
	あてはまらない	14.5	15.7	12.9	29.9	28.6	6.1	11.7	11.7	10.0	9.8	9.4	16.7	2.5
自分の興味関心や「やりたいこと」について深く考えた	あてはまる	20.8	20.4	21.4	11.4	10.8	36.8	31.7	21.5	25.3	18.3	21.3	33.3	27.5
	ややあてはまる	33.3	31.6	35.7	23.3	29.2	30.4	31.7	32.1	32.7	39.7	38.8	50.0	47.5
	どちらでもない	21.5	22.5	20.2	27.3	22.7	18.9	18.3	24.2	24.7	19.4	18.5	8.3	20.0
	ややあてはまらない	13.4	14.0	12.5	16.5	15.1	9.3	10.0	13.6	8.0	14.9	14.0	8.3	5.0
	あてはまらない	10.9	11.5	10.1	21.5	22.2	4.6	8.3	8.7	9.3	7.7	7.4		
学校の先生・職員や公的機関（ハローワーク等）の職員に、個別に就職活動の相談をした	あてはまる	17.6	16.9	18.4	14.1	13.5	22.1	20.0	20.4	28.0	14.5	17.2	25.0	17.5
	ややあてはまる	25.8	26.1	25.4	20.7	28.6	27.9	25.8	30.9	26.0	27.5	24.4	33.3	20.0
	どちらでもない	14.3	14.9	13.6	16.9	11.9	17.9	19.2	13.2	16.7	12.4	12.6		7.5
	ややあてはまらない	14.5	13.6	15.9	13.0	14.6	7.1	14.2	14.7	12.0	17.5	17.9	8.3	15.0
	あてはまらない	27.7	28.5	26.6	35.4	31.4	25.0	20.8	20.8	17.3	28.1	27.9	33.3	40.0
就職したい会社の経営者や従業員に個人的に話を聞きに行った	あてはまる	8.9	8.8	9.2	4.8	3.2	13.2	13.3	10.6	13.3	8.5	9.4	25.0	5.0
	ややあてはまる	11.5	10.3	13.3	5.9	6.5	14.3	16.7	11.3	12.7	11.1	14.0	25.0	27.5
	どちらでもない	12.7	13.3	11.9	13.4	8.1	16.4	11.7	15.8	16.7	10.2	11.8		12.5
	ややあてはまらない	13.6	12.7	14.9	8.8	12.4	12.5	17.5	14.7	10.7	15.6	15.9	8.3	20.0
	あてはまらない	53.2	55.0	50.8	67.0	69.7	43.6	40.8	47.5	46.7	54.6	48.8	41.7	35.0
職場での実務を伴う学習（インターンシップや職場体験など）を経験した	あてはまる	25.0	23.3	27.5	14.7	17.8	37.9	40.8	29.8	32.0	19.2	26.4	25.0	30.0
	ややあてはまる	14.9	14.7	15.1	11.9	13.5	16.4	11.7	17.0	17.3	14.7	15.3	33.3	20.0
	どちらでもない	10.2	10.4	9.9	12.1	9.2	11.4	12.5	10.6	12.0	8.1	9.4	8.3	5.0
	ややあてはまらない	7.9	7.4	8.6	9.7	9.2	4.3	8.3	8.3	9.3	6.6	7.6		17.5
	あてはまらない	42.0	44.2	38.9	51.6	50.3	30.0	26.7	34.3	29.3	51.4	41.2	33.3	27.5
働くためのルール（労働法など）について学んだ	あてはまる	10.8	10.3	11.4	6.8	12.4	21.8	20.0	13.2	18.0	5.3	7.8	8.3	5.0
	ややあてはまる	20.9	20.7	21.2	19.1	16.8	21.1	30.8	19.2	18.0	23.0	21.1	16.7	27.5
	どちらでもない	22.4	23.3	21.1	21.8	20.0	25.7	19.2	26.4	25.3	21.3	20.7	33.3	22.5
	ややあてはまらない	16.6	14.8	19.2	13.2	12.4	12.9	11.7	17.0	18.0	16.6	22.4		35.0
	あてはまらない	29.3	30.9	27.0	39.1	38.4	18.6	18.3	24.2	20.7	33.7	28.1	41.7	10.0
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q3 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めた直前の主な状況として、最も近いものをお答えください。 単位：％、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
学校で学んでいた（学校を卒業してまもなく「初めての正社員勤務先」へ就職した）	67.1	62.8	69.4	53.5	67.4	67.1	68.5	61.5	75.0	69.2	68.2	76.7	79.6
「初めての正社員勤務先」で、正社員以外の労働者として働いていた	7.2	8.1	6.7	10.5	8.6	9.4	6.5	12.8	7.9	5.4	6.1	2.3	4.6
他の会社で契約社員として働いていた	2.9	2.7	3.0	3.8	2.9		4.9	5.1	5.3	2.1	3.0	4.7	0.9
他の会社で派遣社員として働いていた	1.8	2.0	1.6	2.4	2.3	2.7	1.6	5.1		0.9	1.6	4.7	0.5
他の会社でパート・アルバイトとして働いていた	7.7	10.0	6.4	16.5	9.7	6.7	4.3	5.1	2.6	6.3	6.4		1.4
雇用以外の形態で働いていた（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など）	0.8	0.4	1.0	0.2	1.3	0.7	2.7			0.5	0.8		
もっぱら就職活動をしていた	7.1	7.8	6.7	5.5	3.8	8.1	6.5	5.1	6.6	10.0	8.3	9.3	6.9
もっぱら勉強をしていた（在学していた場合を除く）	2.7	2.7	2.7	3.3	1.3	2.7	3.8	2.6		2.1	3.0	2.3	5.1
もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしていた	0.4	0.6	0.3	0.7	0.5	0.7			1.3	0.5	0.2		
もっぱら療養・休養していた	2.3	2.9	2.1	3.3	2.3	2.0	1.1	2.6	1.3	3.0	2.4		0.9
その他	0.1	0.1	0.0	0.2							0.1		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
学校で学んでいた（学校を卒業してまもなく「初めての正社員勤務先」へ就職した）	69.7	69.4	70.1	58.9	56.2	77.9	65.0	73.2	66.0	72.3	77.1	75.0	70.0
「初めての正社員勤務先」で、正社員以外の労働者として働いていた	7.4	7.5	7.2	8.4	10.3	8.2	9.2	7.2	12.7	6.2	4.6	16.7	2.5
他の会社で契約社員として働いていた	2.6	2.1	3.4	3.1	5.4	1.8	2.5	3.4	2.7	0.6	2.4		12.5
他の会社で派遣社員として働いていた	1.4	1.1	1.7	2.2	2.7	0.4	0.8	1.9	2.7	0.2	1.3		2.5
他の会社でパート・アルバイトとして働いていた	10.3	11.3	9.0	19.1	15.1	6.8	11.7	7.9	10.7	8.3	5.9	8.3	7.5
雇用以外の形態で働いていた（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など）	0.5	0.5	0.5	0.2	0.5	1.1	0.8	0.4	1.3	0.4	0.2		
もっぱら就職活動をしていた	4.7	4.7	4.7	3.3	3.2	2.1	5.0	4.2	2.7	8.1	6.1		
もっぱら勉強をしていた（在学していた場合を除く）	1.3	0.9	1.8	1.1	2.7	0.4	2.5	0.4	1.3	1.5	1.7		
もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしていた	0.7	0.8	0.6	1.3	1.6	1.4	1.7	0.4		0.2	0.2		
もっぱら療養・休養していた	1.4	1.6	1.0	2.4	2.2		0.8	1.1		2.1	0.6		5.0
その他													
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q4 あなたは「初めての正社員勤務先」へどのような方法で応募しましたか。 単位：%、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
学校（先生、就職部、キャリアセンター）の紹介で	39.2	38.4	39.6	50.4	59.9	60.4	57.1	61.5	71.1	18.7	24.1	20.9	33.8
職業安定所（ハローワーク・インターネットサービスを含む）の紹介で	7.3	11.3	5.1	16.7	6.6	8.7	5.4	7.7	2.6	7.9	5.1	4.7	1.9
民間の職業紹介サービスを利用した	8.2	7.4	8.5	1.4	2.7		5.4	5.1	1.3	15.4	12.9	14.0	8.8
インターネット上の求人サイトを利用した	21.4	21.6	21.3	6.4	5.6	10.7	9.2	15.4	3.9	39.3	30.9	37.2	33.8
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	2.9	3.2	2.7	6.9	3.2	1.3	2.7	2.6	5.3	0.2	2.4	4.7	1.4
家族や親戚の紹介で	4.5	3.6	4.9	5.3	8.4	4.0	2.7		9.2	2.6	3.9		0.9
友人・知人の紹介で	4.5	4.5	4.5	5.0	5.9	4.7	8.2	2.6	1.3	4.2	3.8	4.7	1.9
希望する会社に直接問い合わせた（会社のサイトから直接応募したことも含む）	11.3	8.7	12.7	6.4	7.3	9.4	8.2	5.1	5.3	10.5	16.0	14.0	17.6
その他	0.8	1.1	0.7	1.4	0.4	0.7	1.1			1.2	1.0		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
学校（先生、就職部、キャリアセンター）の紹介で	43.6	46.4	39.7	58.5	60.5	60.4	57.5	52.8	53.3	22.8	26.1	41.7	22.5
職業安定所（ハローワーク・インターネットサービスを含む）の紹介で	7.8	8.5	6.8	9.7	9.7	7.5	7.5	10.2	8.7	7.0	5.5	8.3	
民間の職業紹介サービスを利用した	5.2	4.3	6.5	0.9	2.2	0.7	0.8	3.0	4.7	10.4	9.4	8.3	10.0
インターネット上の求人サイトを利用した	20.1	18.4	22.5	9.0	7.6	7.5	8.3	13.6	10.7	36.9	32.0	8.3	50.0
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	3.7	4.3	2.7	6.4	3.8	3.2	1.7	3.8	4.7	3.4	2.0		2.5
家族や親戚の紹介で	3.0	2.5	3.7	3.5	7.6	2.9	5.0	3.0	2.0	1.1	2.8		
友人・知人の紹介で	4.1	4.1	4.2	5.3	4.9	4.3	6.7	3.4	6.7	2.8	2.8	16.7	2.5
希望する会社に直接問い合わせた（会社のサイトから直接応募したことも含む）	11.1	10.0	12.7	5.5	3.2	11.1	11.7	7.9	7.3	14.7	17.7	16.7	12.5
その他	1.5	1.6	1.4	1.3	0.5	2.5	0.8	2.3	2.0	0.9	1.7		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q5 あなたが「初めての正社員勤務先」への就職を決めた理由として、あてはまるものをすべてお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
自分の技能・能力が活かせる	32.6	29.7	34.2	22.0	26.5	41.6	42.9	38.5	46.1	28.7	31.8	65.1	53.2
業種・業界	34.1	29.5	36.5	17.9	21.3	36.2	32.6	23.1	30.3	36.4	42.2	55.8	54.6
仕事の内容・職種	42.6	40.9	43.5	36.3	39.1	49.0	50.0	30.8	46.1	41.6	41.6	60.5	57.4
会社の規模・知名度	23.9	18.6	26.7	14.1	23.8	18.1	14.7	20.5	26.3	20.6	27.9	41.9	38.4
会社の将来性がある	17.3	12.5	19.8	9.3	17.4	18.8	12.0	7.7	23.7	12.4	22.3	27.9	19.9
社会的意義がある	11.7	8.2	13.6	4.3	8.4	12.1	8.2		7.9	10.0	17.1	20.9	17.6
賃金の条件がよい	21.4	18.1	23.1	16.9	26.2	20.1	20.7	23.1	17.1	17.1	22.1	27.9	24.5
労働条件・休日・休暇の条件がよい	24.0	17.1	27.6	14.8	26.5	21.5	22.3	17.9	21.1	16.6	28.8	27.9	31.5
勤務地	31.1	31.3	31.1	31.5	32.8	36.9	31.5	41.0	31.6	29.0	31.0	23.3	26.4
転勤がない・転勤の地域が限定されている	11.1	8.8	12.3	8.1	8.6	10.1	13.6	7.7	11.8	8.4	14.6	16.3	10.2
福利厚生がよい	18.2	12.4	21.3	12.6	18.6	10.7	18.5	5.1	13.2	12.1	22.9	25.6	25.9
若いうちから責任ある仕事を任せてもらえる	5.6	4.6	6.1	3.3	3.4	5.4	3.8	2.6	3.9	5.1	8.0	11.6	7.4
説明会や面接等で出会った社長や社員が魅力的だった	6.9	5.6	7.6	2.9	2.7	6.0	7.1	2.6	3.9	7.9	9.4	9.3	13.9
他に内定を得ることができなかった	12.2	17.7	9.3	17.2	7.7	11.4	9.8	10.3	2.6	21.0	10.9	18.6	7.9
その他	1.5	1.9	1.3	2.6	2.3	0.7	1.6		1.3	1.9	1.0		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
自分の技能・能力が活かせる	30.6	29.9	31.5	24.4	18.9	37.1	35.8	37.0	32.7	26.0	32.5	66.7	57.5
業種・業界	37.4	36.8	38.2	27.5	20.0	43.9	43.3	38.1	35.3	40.7	42.9	41.7	55.0
仕事の内容・職種	54.8	55.2	54.2	51.6	46.5	58.9	54.2	61.1	54.7	53.1	55.8	58.3	65.0
会社の規模・知名度	19.9	16.9	24.1	14.3	16.2	13.6	23.3	16.6	22.0	21.5	27.7	16.7	22.5
会社の将来性がある	13.2	10.3	17.3	9.0	12.4	9.3	15.8	9.1	16.0	13.0	19.4	8.3	20.0
社会的意義がある	8.3	6.4	11.1	3.3	4.9	5.0	8.3	7.2	9.3	9.8	13.9	8.3	17.5
賃金の条件がよい	19.9	18.9	21.2	21.3	21.1	16.4	16.7	16.6	20.7	19.4	21.8	16.7	30.0
労働条件・休日・休暇の条件がよい	30.0	23.4	39.4	22.2	40.5	19.3	29.2	21.9	39.3	27.5	41.0	33.3	42.5
勤務地	43.9	43.3	44.6	38.2	42.7	46.8	44.2	45.7	47.3	45.2	46.0	33.3	25.0
転勤がない・転勤の地域が限定されている	17.4	15.1	20.7	10.8	16.8	12.9	10.0	10.2	21.3	23.0	25.5	25.0	2.5
福利厚生がよい	23.0	17.3	31.3	14.7	25.9	18.9	33.3	15.5	32.0	20.0	31.8	8.3	40.0
若いうちから責任ある仕事を任せてもらえる	6.1	6.3	5.9	4.0	3.8	8.2	7.5	4.9	4.7	8.1	6.1	8.3	12.5
説明会や面接等で出会った社長や社員が魅力的だった	10.3	9.1	12.1	2.6	0.5	9.3	12.5	6.8	12.0	16.4	14.6	16.7	30.0
他に内定を得ることができなかった	8.7	9.3	8.0	8.8	6.5	4.3	1.7	6.8	7.3	14.3	10.4		5.0
その他	2.3	2.5	1.9	4.0	4.9	5.4	0.8	0.8	0.7	0.4	1.7		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q6 あなたは就職活動を始めた当初、「初めての正社員勤務先」への就職をどのくらい志望していましたか。 単位：%、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
当初から第一志望だった	42.2	32.4	47.4	37.5	58.2	40.3	49.5	43.6	48.7	23.4	42.3	34.9	41.2
当初から志望していたが、第一志望ではなかった	27.4	26.3	28.0	18.9	15.8	22.8	24.5	15.4	28.9	35.3	33.2	32.6	38.0
当初は志望していなかった	30.3	41.3	24.6	43.7	26.0	36.9	26.1	41.0	22.4	41.4	24.5	32.6	20.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
当初から第一志望だった	46.3	46.4	46.2	48.6	45.9	56.1	55.8	47.9	52.0	37.7	42.1	41.7	52.5
当初から志望していたが、第一志望ではなかった	24.1	22.9	25.9	18.5	21.1	17.9	20.8	26.8	22.0	28.4	29.2	8.3	32.5
当初は志望していなかった	29.6	30.7	27.9	33.0	33.0	26.1	23.3	25.3	26.0	33.9	28.7	50.0	15.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q7 あなたが、初めて正社員として働き始めた（入社した）のはいつですか。（年度） 単位：％、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
2002年度	0.3	0.4	0.3	1.0	1.1								
2003年度	2.8	3.4	2.5	8.8	9.1								
2004年度	3.2	4.6	2.5	11.9	8.8		1.1						
2005年度	4.0	6.0	2.9	11.0	8.6	9.4	3.3	12.8	6.6				
2006年度	4.1	5.8	3.2	10.3	8.4	10.1	8.2	12.8	5.3				
2007年度	6.8	9.2	5.5	10.5	9.3	6.0	4.9	12.8	5.3	9.6	4.7		
2008年度	7.9	10.4	6.5	9.3	6.6	10.1	6.5	10.3	11.8	12.6	7.5		
2009年度	8.1	10.6	6.7	8.1	6.1	9.4	4.3	5.1	11.8	14.3	7.3	7.0	6.0
2010年度	7.8	7.9	7.7	6.4	7.7	12.8	8.7	5.1	7.9	6.8	7.3	18.6	8.8
2011年度	8.6	8.2	8.8	4.3	4.5	8.7	10.9	7.7	11.8	11.2	10.3	14.0	10.6
2012年度	8.8	9.6	8.4	5.0	6.5	10.1	8.7	7.7	1.3	12.9	9.9	20.9	8.8
2013年度	9.0	8.3	9.4	3.8	6.1	10.1	10.3	2.6	3.9	11.9	10.5	14.0	13.9
2014年度	7.7	6.5	8.3	3.8	6.1	5.4	9.2	17.9	9.2	7.7	8.3	14.0	13.0
2015年度	5.9	3.9	7.0	3.3	3.8	2.7	8.7	5.1	5.3	4.2	8.1	9.3	9.7
2016年度	6.1	3.5	7.5	1.7	4.3	4.0	6.5		10.5	5.6	8.7	2.3	10.2
2017年度	5.4	1.7	7.4	0.7	2.2	1.3	5.4		6.6	3.0	10.4		9.3
2018年度	3.4	0.1	5.2		0.9		3.3		2.6	0.2	7.2		9.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
2002年度	0.2	0.4		1.3									
2003年度	1.6	2.0	1.0	6.6	5.4								
2004年度	1.4	2.0	0.5	5.7	2.2	1.1		0.4	0.7				
2005年度	3.7	5.1	1.5	7.9	3.8	6.4	0.8	8.3	5.3				
2006年度	5.0	7.2	1.7	9.9	3.8	9.3	2.5	12.8	5.3	0.4			
2007年度	6.3	8.2	3.7	9.0	3.8	7.5	2.5	10.9	4.0	6.4	4.1		
2008年度	6.8	8.4	4.3	6.4	7.6	10.4	1.7	9.8	7.3	8.7	3.3		
2009年度	7.5	9.0	5.3	7.9	5.9	8.2	5.0	13.2	6.0	8.3	5.0	8.3	5.0
2010年度	7.1	8.8	4.5	6.6	4.9	12.1	8.3	9.4	6.7	9.0	3.0		5.0
2011年度	8.8	9.9	7.3	6.6	5.4	8.9	10.8	7.9	6.0	14.7	7.9	8.3	2.5
2012年度	8.3	8.9	7.4	7.0	8.1	4.6	5.0	6.4	8.0	14.7	7.2	8.3	12.5
2013年度	9.5	8.6	10.6	9.5	14.1	6.1	12.5	5.7	6.7	10.9	10.0	16.7	12.5
2014年度	8.8	8.6	9.2	8.1	7.0	9.3	6.7	4.5	6.7	10.2	10.2	33.3	22.5
2015年度	7.4	5.5	10.0	3.1	10.8	8.2	10.0	5.7	10.7	6.2	10.0	8.3	5.0
2016年度	7.9	4.5	12.8	3.3	7.0	5.0	15.0	3.8	14.0	5.5	13.3	16.7	22.5
2017年度	6.4	1.9	12.7	0.9	6.5	2.5	11.7	0.8	10.7	3.2	16.3		5.0
2018年度	3.4	0.7	7.2	0.2	3.8	0.4	7.5	0.4	2.0	1.7	9.8		7.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q7 あなたが、初めて正社員として働き始めた（入社した）のはいつですか。（月） 単位：％、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
1月	1.0	1.2	0.9	1.4	1.3	2.7	1.1			0.5	0.9	2.3	0.5
2月	1.0	1.4	0.8	2.6	1.4	1.3	1.6			0.5	0.5		
3月	4.6	6.3	3.7	11.2	5.7	5.4	8.2	2.6	3.9	2.8	2.0		2.8
4月	83.0	76.0	86.8	62.8	77.8	79.2	81.5	92.3	88.2	85.0	91.0	88.4	94.4
5月	2.2	3.2	1.6	4.5	2.9	3.4	3.8	2.6	1.3	1.9	0.8	2.3	0.5
6月	1.9	3.2	1.2	5.7	2.0	1.3	1.1			2.1	1.0		0.5
7月	1.3	1.8	1.1	2.9	2.7	1.3	1.1			1.2	0.5		
8月	1.1	1.5	0.8	3.1	1.4		0.5			0.7	0.8		
9月	1.0	1.7	0.6	1.9	1.1	1.3	0.5		1.3	1.9	0.5		
10月	1.7	2.3	1.4	2.4	2.3	1.3	0.5	2.6	2.6	2.3	1.0	4.7	0.9
11月	0.7	0.7	0.6	0.5	0.9	2.7			1.3	0.5	0.7		
12月	0.5	0.7	0.4	1.0	0.5				1.3	0.7	0.3	2.3	0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216

すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
1月	1.2	0.9	1.4	1.3	4.3	1.1	1.7	0.4	1.3	0.9	0.6		
2月	1.4	1.9	0.6	3.3	0.5	1.8		1.5	0.7	0.9	0.6		2.5
3月	7.3	8.5	5.6	13.6	9.7	9.3	10.0	7.2	4.7	3.8	3.9	8.3	
4月	80.4	78.1	83.7	65.3	68.1	79.6	75.0	84.9	85.3	85.9	90.0	75.0	90.0
5月	1.9	2.4	1.3	2.6	3.8	1.8	1.7	1.9		2.6	0.7	8.3	
6月	1.4	1.6	1.1	3.3	2.2	1.8	2.5	0.4	0.7	0.6	0.4		2.5
7月	1.2	1.0	1.4	0.9	2.7	0.7	2.5	1.5	2.7	1.1	0.4		2.5
8月	1.2	1.1	1.2	1.8	2.7	1.1	2.5	0.4	0.7	1.1	0.6		
9月	1.1	1.4	0.7	2.6	1.6	1.1			0.7	1.3	0.6		
10月	1.5	1.5	1.5	2.0	2.2	1.4	1.7	1.1	2.0	1.1	1.1	8.3	2.5
11月	0.8	0.9	0.7	2.0	1.1			0.4	1.3	0.9	0.6		
12月	0.7	0.5	0.9	1.3	1.1	0.4	2.5	0.4			0.7		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q8 あなたは、「初めての正社員勤務先」で正社員として働き続けていますか。 単位：％、太字は実数						
すべての男性	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
現在も正社員として働いている	65.4	57.1	55.3	66.1	70.1	83.4
退社した	33.8	41.8	43.5	32.2	29.5	15.8
「初めての正社員勤務先」で、正社員から「正社員以外の労働者」に転換した	0.8	1.1	1.2	1.7	0.4	0.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	977	333	115	1,430	259

すべての女性	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
現在も正社員として働いている	41.2	28.9	30.0	36.1	53.6	76.9
退社した	56.8	68.8	67.5	62.2	44.6	23.1
「初めての正社員勤務先」で、正社員から「正社員以外の労働者」に転換した	2.0	2.3	2.5	1.7	1.9	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	640	400	415	1,010	52

Q8-1 あなたが「初めての正社員勤務先」を辞めた年月をお答えください。(年度) 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
2003年度	1.2	3.1				
2004年度	1.6	4.1				
2005年度	2.2	5.0	1.3	2.6		
2006年度	3.8	6.4	7.4	7.7		
2007年度	3.4	8.1		2.6	0.5	
2008年度	5.8	7.9	6.0	17.9	3.3	
2009年度	7.4	11.5	5.4	7.7	4.7	2.3
2010年度	7.4	6.0	8.1	5.1	9.3	2.3
2011年度	6.8	7.4	5.4	2.6	7.5	2.3
2012年度	9.2	7.4	9.4	2.6	11.2	11.6
2013年度	9.6	5.7	16.1	12.8	10.5	14.0
2014年度	10.2	8.6	8.1	10.3	11.7	18.6
2015年度	10.4	6.0	13.4	12.8	13.8	7.0
2016年度	8.3	5.7	7.4	5.1	11.2	11.6
2017年度	9.7	5.3	8.1	10.3	13.3	23.3
2018年度	2.8	1.9	4.0		3.0	7.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
2003年度	0.4	1.3				
2004年度	0.6	2.0				
2005年度	1.5	4.2	0.7	0.4		
2006年度	2.4	4.4	3.2	2.3		
2007年度	4.1	5.3	7.1	5.3	0.6	
2008年度	5.5	8.1	6.4	6.0	2.1	
2009年度	5.6	6.8	4.6	6.4	4.7	
2010年度	5.3	5.5	6.1	7.2	3.6	
2011年度	6.7	5.3	7.5	8.7	6.6	
2012年度	6.5	7.5	6.8	6.8	5.3	8.3
2013年度	10.5	9.5	10.0	14.7	9.4	8.3
2014年度	11.7	10.3	9.3	9.8	15.8	8.3
2015年度	11.5	8.6	11.1	9.4	15.6	25.0
2016年度	11.7	9.7	8.9	9.4	16.4	25.0
2017年度	11.7	7.7	14.6	10.9	14.1	16.7
2018年度	4.3	4.0	3.6	2.6	5.8	8.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12

Q8-1 あなたが「初めての正社員勤務先」を辞めた年月をお答えください。(月) 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1月	6.6	5.5	8.7	12.8	7.0	
2月	5.4	5.7	4.7	2.6	5.6	4.7
3月	21.7	18.1	24.2	15.4	24.8	23.3
4月	8.8	8.8	6.7	17.9	8.9	7.0
5月	9.4	10.7	7.4	5.1	9.6	4.7
6月	7.2	6.9	9.4		7.0	11.6
7月	6.1	6.4	5.4	2.6	6.5	4.7
8月	8.2	9.1	5.4	10.3	8.4	4.7
9月	8.0	8.6	9.4	12.8	5.6	16.3
10月	7.7	7.9	8.7	10.3	7.0	7.0
11月	3.6	3.6	2.7	2.6	3.3	11.6
12月	7.3	8.6	7.4	7.7	6.3	4.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1月	4.2	5.5	2.9	3.4	4.3	
2月	4.9	4.8	6.1	3.8	4.9	
3月	26.8	19.1	27.1	37.4	27.1	66.7
4月	7.1	9.0	7.5	4.2	6.8	
5月	6.1	5.5	5.7	5.3	7.2	8.3
6月	7.6	6.8	8.6	4.5	9.6	
7月	9.0	9.2	8.2	10.6	8.3	8.3
8月	8.1	9.9	8.6	6.8	7.0	
9月	6.4	6.8	7.5	5.3	6.0	8.3
10月	7.4	7.0	8.2	7.9	7.0	
11月	4.3	5.3	3.6	4.2	3.8	
12月	8.3	11.0	6.1	6.8	7.9	8.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12

Q9 あなたが正社員として働き始めた当初、その会社の本社はどこにありましたか。 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
北海道	3.8	5.2	5.4	7.9	3.0	1.4
青森県	1.0	0.9	0.5	1.3	1.2	0.5
岩手県	0.7	0.7	1.6	1.3	0.7	
宮城県	1.4	1.8	1.1	2.6	1.5	
秋田県	0.5	0.9		1.3	0.3	0.5
山形県	0.7	0.4	1.1	1.3	0.7	1.4
福島県	1.0	1.8	1.6	5.3	0.4	
茨城県	1.0	1.8	2.2	1.3	0.3	0.9
栃木県	0.5	0.4	0.5		0.7	
群馬県	0.5	0.5	0.5		0.7	
埼玉県	2.2	2.7	4.3		1.9	1.4
千葉県	2.0	2.7	2.7	2.6	1.7	0.5
東京都	32.7	22.0	21.2	26.3	38.7	44.0
神奈川県	4.6	3.8	5.4	1.3	5.1	4.6
新潟県	1.4	1.4	3.8	1.3	1.3	
富山県	1.2	0.9	1.6	2.6	1.1	1.4
石川県	0.9	1.3	1.1	1.3	0.7	0.5
福井県	0.5	0.5	0.5	2.6	0.5	
山梨県	0.4	0.2	0.5		0.5	0.9
長野県	1.0	0.2	2.7		0.8	2.8
岐阜県	1.3	2.2	1.6	1.3	0.9	0.9
静岡県	2.2	3.6	0.5	1.3	1.8	1.9
愛知県	7.2	9.9	7.6	5.3	5.5	8.3
三重県	0.8	1.1		1.3	0.6	1.9
滋賀県	0.5	0.7			0.7	
京都府	1.9	1.3	2.2	2.6	2.0	2.8
大阪府	9.2	9.9	3.8	7.9	9.5	11.6
兵庫県	3.5	4.7	2.2	3.9	3.4	2.3
奈良県	0.5	0.2	1.6		0.5	0.5
和歌山県	0.6	0.9	0.5	1.3	0.4	0.5
鳥取県	0.1	0.2	1.1			
島根県	0.3	0.4	0.5		0.3	
岡山県	1.3	0.9	2.2	1.3	1.3	1.9
広島県	2.7	3.8	2.2	3.9	2.0	2.8
山口県	1.1	1.1	1.6		1.2	0.5
徳島県	0.5	0.4	0.5		0.7	
香川県	0.7	0.9	1.1	2.6	0.5	0.5
愛媛県	0.8	0.7	2.2	1.3	0.6	0.9
高知県	0.3	0.2	0.5	1.3	0.4	
福岡県	2.9	3.6	4.3	2.6	2.7	1.4
佐賀県	0.4	0.9	1.1		0.1	
長崎県	0.5	0.4	0.5		0.8	
熊本県	0.6	1.1	1.1		0.4	
大分県	0.3		1.1		0.5	
宮崎県	0.3	0.7			0.3	
鹿児島県	0.3	0.4			0.4	0.5
沖縄県	0.6	0.4	1.1	1.3	0.8	
日本以外の国	0.0					0.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216

Q9 あなたが正社員として働き始めた当初、その会社の本社はどこにありましたか。 単位：%、太字は実数						
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
北海道	4.1	5.9	4.2	3.3	3.9	
青森県	0.9	2.7		0.7	0.6	
岩手県	0.9	2.7	0.8	1.3	0.2	
宮城県	2.2	2.7	0.8	3.3	2.2	
秋田県	0.8	1.1	4.2	0.7		
山形県	0.7	0.5		1.3	0.7	
福島県	1.4	3.2	3.3		0.7	2.5
茨城県	1.2	1.6	4.2		0.7	
栃木県	0.8	1.1	0.8		0.9	
群馬県	1.6	2.2	3.3	1.3	1.3	
埼玉県	3.1	1.6	5.0	4.0	3.1	
千葉県	2.2	2.2	0.8	2.0	2.2	7.5
東京都	26.4	14.6	20.0	18.0	33.3	40.0
神奈川県	3.2	1.6	5.0	4.0	3.0	5.0
新潟県	1.4	1.1		2.7	1.1	5.0
富山県	1.2	1.6		1.3	1.3	
石川県	1.4	1.6	0.8	1.3	1.3	2.5
福井県	0.6		0.8	1.3	0.6	
山梨県	0.7	1.1		0.7	0.6	2.5
長野県	1.3	1.1		3.3	0.9	2.5
岐阜県	1.7	1.1	1.7	4.0	1.3	2.5
静岡県	2.3	2.7	2.5	2.0	2.0	5.0
愛知県	8.0	9.7	6.7	7.3	8.1	5.0
三重県	1.2	1.1	3.3	2.0	0.6	
滋賀県	0.4	0.5		0.7	0.4	
京都府	2.0	2.2	3.3	2.7	1.7	
大阪府	9.1	7.0	5.8	10.7	10.0	10.0
兵庫県	3.4	2.7	3.3	2.7	3.9	2.5
奈良県	0.6		1.7		0.7	
和歌山県	0.2	0.5			0.2	
鳥取県	0.7	1.6	1.7	0.7	0.2	
島根県	0.5	0.5	0.8	0.7	0.4	
岡山県	1.6	2.2	2.5	2.0	1.3	
広島県	2.4	3.2		1.3	3.0	2.5
山口県	0.6	0.5	1.7	2.0		
徳島県	0.5	1.6			0.4	
香川県	0.7	1.1		0.7	0.7	
愛媛県	1.0	1.1	0.8	0.7	1.1	
高知県	0.3	0.5	0.8		0.2	
福岡県	3.4	4.9	1.7	6.0	2.4	5.0
佐賀県	0.5	1.6	0.8	0.7		
長崎県	0.5		1.7	0.7	0.4	
熊本県	0.3		0.8		0.4	
大分県	0.5			1.3	0.6	
宮崎県	0.6	1.1	1.7		0.4	
鹿児島県	0.7	1.6	1.7		0.4	
沖縄県	0.6	0.5	0.8	0.7	0.6	
日本以外の国	0.2				0.4	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40

Q9-1 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めた当初、その会社の本社はどこにありましたか。 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
北海道	3.3	4.3	5.4	5.1	1.6	2.3
青森県	0.6	1.0			0.5	
岩手県	0.6	0.7	1.3		0.5	
宮城県	1.6	2.4	1.3	5.1	0.5	2.3
秋田県	1.3	1.9	2.0		0.7	
山形県	0.4	0.2	0.7		0.5	
福島県	1.6	2.1		5.1	1.2	2.3
茨城県	1.1	2.1	1.3		0.2	
栃木県	1.1	1.4			1.4	
群馬県	1.4	1.2	2.0		1.4	2.3
埼玉県	2.7	4.5	2.0		1.6	
千葉県	3.1	2.9	3.4	2.6	3.5	
東京都	28.8	18.1	24.8	17.9	40.9	37.2
神奈川県	4.8	5.3	4.7	7.7	4.4	2.3
新潟県	1.2	1.2	1.3	2.6	1.2	
富山県	0.3		1.3		0.2	
石川県	0.5	0.5	0.7		0.5	
福井県	0.4	0.5	0.7		0.2	
山梨県	0.3	0.2	0.7		0.2	
長野県	1.1	0.5	2.7		1.2	2.3
岐阜県	1.8	2.6	2.0		0.9	2.3
静岡県	2.4	3.1	2.0	2.6	2.1	
愛知県	7.1	8.4	4.7	2.6	6.1	16.3
三重県	1.1	1.0	2.0		1.2	
滋賀県	1.3	1.0	0.7	7.7	1.2	2.3
京都府	2.3	2.9	0.7	5.1	2.1	2.3
大阪府	8.6	8.8	12.1	7.7	7.5	7.0
兵庫県	3.3	3.3	3.4	2.6	3.5	2.3
奈良県	0.6	0.5	1.3		0.2	2.3
和歌山県	0.7	1.0	1.3		0.5	
鳥取県	0.3	0.2			0.5	
島根県	0.3	0.2		2.6	0.2	
岡山県	1.3	0.7			2.6	
広島県	2.1	1.7	2.7	5.1	2.1	2.3
山口県	0.5	0.7			0.5	
徳島県	0.2	0.2		2.6		
香川県	0.5	0.7	0.7		0.2	
愛媛県	1.2	1.9	0.7	2.6	0.7	
高知県	0.2	0.2			0.2	
福岡県	3.2	3.1	3.4	7.7	2.6	4.7
佐賀県	0.1					2.3
長崎県	1.1	1.4	1.3		0.9	
熊本県	1.2	1.9	1.3		0.7	
大分県	0.7	0.7	0.7	5.1	0.2	2.3
宮崎県	0.1	0.2				
鹿児島県	0.6	1.2			0.2	
沖縄県	0.6	0.7	2.0			
日本以外の国	0.6	0.5	0.7		0.7	2.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43

Q9-1 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めた当初、その会社の本社はどこにありましたか。 単位：%、太字は実数						
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
北海道	5.9	9.0	5.7	4.2	4.1	
青森県	1.1	2.0	0.7		1.1	
岩手県	0.8	1.1	0.7	1.1	0.4	
宮城県	1.6	1.8	3.9	1.1	0.2	
秋田県	0.5	0.9	0.7		0.2	
山形県	0.9	0.9	1.1	1.1	0.6	
福島県	0.7	1.1	1.1	0.4	0.4	
茨城県	0.9	1.1	1.1	0.8	0.9	
栃木県	1.1	1.8	1.4	0.8	0.4	
群馬県	0.7	0.9	0.7	0.8	0.4	
埼玉県	3.0	2.4	4.3	3.8	2.6	
千葉県	2.8	3.5	3.2	1.9	2.3	
東京都	22.8	16.9	15.4	16.6	35.4	58.3
神奈川県	3.4	2.2	2.9	5.7	3.6	
新潟県	1.3	2.9	0.4	1.1	0.4	
富山県	0.9	1.1	0.4	1.1	0.9	
石川県	0.7	0.9	0.7	1.1	0.4	
福井県	0.3	0.2	0.4	1.1		
山梨県	0.7	1.1	0.4	0.4	0.6	
長野県	1.1	0.2	1.8	3.0	0.6	
岐阜県	0.9	1.3	0.7	1.5	0.4	
静岡県	2.5	3.7	2.5	1.9	1.7	
愛知県	8.8	7.5	11.1	7.9	9.2	8.3
三重県	1.2	1.8	1.4	1.1	0.6	
滋賀県	0.7	0.9	0.4	1.5	0.4	
京都府	2.0	1.3	1.8	2.3	2.3	8.3
大阪府	9.9	6.6	11.1	14.0	10.0	8.3
兵庫県	4.3	4.4	3.2	3.0	5.3	16.7
奈良県	0.7	0.4	0.7	0.8	1.1	
和歌山県	0.8	1.3	0.4	1.5	0.2	
鳥取県	0.2			0.8	0.2	
島根県	0.4	0.2	0.7	1.1		
岡山県	1.4	2.2	0.7	1.5	1.1	
広島県	3.0	2.4	4.6	1.5	3.6	
山口県	0.7	1.1	0.7	0.4	0.6	
徳島県	0.2		0.4	0.4	0.2	
香川県	0.7	1.1	0.7	0.4	0.4	
愛媛県	1.9	3.1	1.1	0.8	1.9	
高知県	0.1		0.7			
福岡県	3.6	3.1	5.0	6.4	1.7	
佐賀県	0.4	0.2	0.7	0.4	0.4	
長崎県	0.9	0.7	1.4	0.8	0.9	
熊本県	0.7	0.7	0.7	0.4	0.9	
大分県	0.3	0.7		0.4		
宮崎県	0.5	0.9	0.7	0.4		
鹿児島県	1.3	2.0	0.4	2.3	0.6	
沖縄県	0.5	0.7	1.4	0.4		
日本以外の国	0.2			0.4	0.4	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12

Q10 あなたが正社員として働き始めてから、初めて受け取った月あたりのお給料（税込）はいくらでしたか。 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
14万円以下	17.3	35.7	21.2	27.6	8.7	3.2
15～19万円	39.4	47.3	53.3	51.3	36.8	15.3
20～24万円	36.3	12.7	19.6	15.8	47.7	66.2
25万円以上	6.9	4.3	6.0	5.3	6.8	15.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
14万円以下	25.8	64.9	28.3	35.3	10.7	5.0
15～19万円	43.9	29.7	50.0	49.3	47.5	22.5
20～24万円	26.1	3.8	18.3	13.3	36.4	60.0
25万円以上	4.2	1.6	3.3	2.0	5.4	12.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40

Q10-1 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから、初めて受け取った月あたりのお給料（税込）はいくらでしたか。単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
14万円以下	20.9	33.7	16.8	23.1	11.2	4.7
15～19万円	42.1	47.3	55.0	51.3	34.8	11.6
20～24万円	31.4	13.8	28.2	23.1	46.5	69.8
25万円以上	5.7	5.3		2.6	7.5	14.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
14万円以下	31.6	51.9	31.1	34.0	11.3	16.7
15～19万円	46.2	41.1	45.4	54.7	46.7	50.0
20～24万円	18.4	6.4	20.0	8.7	34.8	8.3
25万円以上	3.8	0.7	3.6	2.6	7.2	25.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12

Q12 正社員として働き始めてから約3ヶ月が経過した頃に、あなたは仕事に関連して、以下の行動をどのくらいとることができましたか。 単位：%、太字は実数							
男性・3ヶ月以上勤続者		全体	高校卒	専門卒学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
課題を見つけ出し、目標を持つ	できた	12.5	11.7	12.6	6.6	13.3	12.5
	ややできた	30.4	26.9	31.7	36.8	31.0	32.9
	どちらともいえない	33.1	36.4	38.3	31.6	31.7	27.3
	ややできなかった	12.6	9.7	8.2	14.5	14.7	13.4
	できなかった	11.5	15.3	9.3	10.5	9.3	13.9
具体的な方策を見つけて計画を立てる	できた	11.0	8.6	10.9	5.3	12.0	14.4
	ややできた	27.3	24.8	30.6	36.8	27.5	26.4
	どちらともいえない	35.6	38.4	41.0	36.8	34.2	30.1
	ややできなかった	14.5	12.6	8.2	9.2	16.7	16.2
	できなかった	11.7	15.6	9.3	11.8	9.6	13.0
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	できた	14.0	12.4	15.3	10.5	14.2	17.1
	ややできた	33.1	30.5	30.1	31.6	34.3	37.0
	どちらともいえない	33.6	34.3	41.0	35.5	32.8	28.7
	ややできなかった	10.8	10.2	6.0	13.2	11.9	10.2
	できなかった	8.6	12.6	7.7	9.2	6.8	6.9
最後までやりとげる	できた	21.7	22.6	22.4	22.4	20.5	23.6
	ややできた	36.9	34.3	33.9	28.9	38.7	40.7
	どちらともいえない	28.0	28.0	33.9	31.6	27.7	22.7
	ややできなかった	8.1	7.0	5.5	10.5	9.1	7.4
	できなかった	5.4	8.1	4.4	6.6	4.0	5.6
受身ではなく自分から行動する	できた	12.0	11.0	14.2	9.2	12.1	13.4
	ややできた	29.5	26.8	25.1	30.3	31.3	31.9
	どちらともいえない	35.1	36.1	41.5	42.1	33.5	32.4
	ややできなかった	14.3	14.0	12.6	11.8	14.9	14.8
	できなかった	9.0	12.2	6.6	6.6	8.2	7.4
自分を客観的に認識する	できた	10.4	8.4	9.3	9.2	10.8	15.3
	ややできた	26.9	25.0	29.0	23.7	27.1	30.6
	どちらともいえない	39.0	40.9	44.3	43.4	37.9	33.3
	ややできなかった	14.0	12.9	8.2	14.5	15.5	14.4
	できなかった	9.6	12.7	9.3	9.2	8.7	6.5
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	できた	9.3	8.6	10.9	7.9	9.1	10.6
	ややできた	23.8	20.5	22.4	22.4	25.0	28.7
	どちらともいえない	37.0	39.5	43.7	38.2	36.2	27.8
	ややできなかった	17.2	15.4	13.1	15.8	18.0	22.2
	できなかった	12.7	16.0	9.8	15.8	11.7	10.6
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	できた	9.2	8.3	9.8	6.6	9.5	10.6
	ややできた	26.5	23.0	25.1	26.3	28.5	27.3
	どちらともいえない	37.4	40.0	45.9	36.8	35.3	32.9
	ややできなかった	14.3	12.4	9.3	15.8	15.5	17.1
	できなかった	12.7	16.3	9.8	14.5	11.2	12.0
他者を説得して動かす	できた	7.4	7.4	6.0	5.3	7.4	9.3
	ややできた	17.4	12.6	21.3	19.7	18.9	19.0
	どちらともいえない	37.4	40.8	40.4	39.5	35.8	32.9
	ややできなかった	18.7	15.4	17.5	15.8	20.0	23.1
	できなかった	19.1	23.9	14.8	19.7	17.9	15.7
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	できた	12.7	10.1	12.6	13.2	14.2	13.0
	ややできた	30.3	24.2	27.3	25.0	33.0	37.5
	どちらともいえない	37.2	41.5	39.9	43.4	35.3	30.6
	ややできなかった	10.4	10.6	12.0	7.9	9.9	12.0
	できなかった	9.4	13.6	8.2	10.5	7.6	6.9
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		2,032	557	183	76	1,000	216

Q12 正社員として働き始めてから約3ヶ月が経過した頃に、あなたは仕事に関連して、以下の行動をどのくらいとることができましたか。 単位：%、太字は実数							
女性・3ヶ月以上勤続者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
課題を見つけ出し、目標を持つ	できた	14.6	12.6	12.5	18.0	14.2	22.5
	ややできた	36.8	27.5	43.3	32.0	39.4	42.5
	どちらともいえない	26.7	29.1	31.7	28.7	25.5	10.0
	ややできなかった	12.8	15.4	9.2	13.3	12.2	17.5
	できなかった	9.1	15.4	3.3	8.0	8.7	7.5
具体的な方策を見つけて計画を立てる	できた	9.3	10.0	14.7	11.6	17.5	11.7
	ややできた	24.7	40.8	28.7	34.8	32.5	32.7
	どちらともいえない	34.1	34.2	29.3	30.5	25.0	31.2
	ややできなかった	13.7	9.2	18.0	15.3	17.5	14.8
	できなかった	18.1	5.8	9.3	7.8	7.5	9.6
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	できた	16.9	17.6	15.0	14.0	17.0	30.0
	ややできた	39.7	29.7	41.7	42.0	42.1	37.5
	どちらともいえない	26.8	31.3	31.7	28.0	24.6	17.5
	ややできなかった	10.3	11.0	10.0	10.0	10.4	7.5
	できなかった	6.3	10.4	1.7	6.0	5.9	7.5
最後までやりとげる	できた	25.3	26.9	26.7	28.0	23.7	25.0
	ややできた	44.3	46.2	43.3	42.0	44.7	42.5
	どちらともいえない	21.6	19.2	21.7	23.3	22.0	20.0
	ややできなかった	5.4	3.3	5.8	6.0	5.9	5.0
	できなかった	3.4	4.4	2.5	0.7	3.7	7.5
受身ではなく自分から行動する	できた	14.7	15.9	18.3	16.7	12.6	20.0
	ややできた	38.8	33.5	36.7	28.7	43.3	47.5
	どちらともいえない	25.6	24.7	25.8	32.0	24.8	15.0
	ややできなかった	14.4	17.6	10.8	18.7	13.3	10.0
	できなかった	6.5	8.2	8.3	4.0	6.1	7.5
自分を客観的に認識する	できた	12.6	13.2	14.2	14.7	11.3	15.0
	ややできた	30.3	23.1	33.3	28.0	31.8	42.5
	どちらともいえない	34.6	39.0	33.3	33.3	33.8	32.5
	ややできなかった	14.2	11.0	12.5	18.7	15.3	2.5
	できなかった	8.3	13.7	6.7	5.3	7.8	7.5
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	できた	9.1	8.8	11.7	11.3	8.1	7.5
	ややできた	29.9	27.5	32.5	27.3	30.5	35.0
	どちらともいえない	29.8	30.2	28.3	32.7	29.0	32.5
	ややできなかった	18.6	16.5	19.2	18.7	19.8	10.0
	できなかった	12.6	17.0	8.3	10.0	12.6	15.0
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	できた	9.2	8.8	10.0	10.7	8.1	17.5
	ややできた	32.1	26.9	36.7	30.7	33.3	32.5
	どちらともいえない	30.1	35.2	29.2	28.0	29.8	22.5
	ややできなかった	16.5	13.2	17.5	18.7	16.8	15.0
	できなかった	12.1	15.9	6.7	12.0	12.0	12.5
他者を説得して動かす	できた	6.7	8.2	5.0	10.7	5.0	12.5
	ややできた	18.2	16.5	20.8	18.0	17.7	25.0
	どちらともいえない	27.6	28.6	31.7	24.7	26.8	32.5
	ややできなかった	22.7	17.0	21.7	19.3	26.6	12.5
	できなかった	24.8	29.7	20.8	27.3	23.8	17.5
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	できた	14.3	17.0	11.7	15.3	13.1	22.5
	ややできた	31.0	24.2	28.3	28.0	34.6	32.5
	どちらともいえない	33.3	40.1	38.3	34.7	30.3	22.5
	ややできなかった	11.1	7.1	12.5	10.0	12.8	7.5
	できなかった	10.3	11.5	9.2	12.0	9.2	15.0
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,033	182	120	150	541	40

Q12-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから約3ヶ月が経過した頃に、あなたは仕事に関連して、以下の行動をどのくらいとることができましたか。 単位：%、太字は実数		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
男性・離職者（3ヶ月以上勤務した場合） 課題を見つけ出し、目標を持つ	できた	10.0	9.3	13.7	2.6	9.6	14.3
	ややできた	27.3	19.5	30.1	36.8	32.8	28.6
	どちらともいえない	31.2	36.0	28.8	21.1	29.2	23.8
	ややできなかった	12.3	11.3	13.0	7.9	13.5	11.9
	できなかった	19.2	24.0	14.4	31.6	15.0	21.4
具体的な方策を見つけて計画を立てる	できた	8.8	8.0	10.3	2.6	9.1	14.3
	ややできた	24.0	18.0	26.7	34.2	27.5	28.6
	どちらともいえない	33.7	37.5	30.1	18.4	34.1	19.0
	ややできなかった	14.1	12.0	19.2	13.2	14.0	19.0
	できなかった	19.4	24.5	13.7	31.6	15.4	19.0
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	できた	13.9	10.5	17.8	18.4	15.0	19.0
	ややできた	27.8	26.8	28.1	21.1	28.7	33.3
	どちらともいえない	31.2	33.5	28.1	28.9	31.6	19.0
	ややできなかった	10.5	9.0	13.7	7.9	11.5	7.1
	できなかった	16.5	20.3	12.3	23.7	13.2	21.4
最後までやりとげる	できた	18.3	16.3	18.5	26.3	19.6	16.7
	ややできた	28.7	26.0	34.2	13.2	29.9	38.1
	どちらともいえない	30.6	32.3	30.1	28.9	30.1	21.4
	ややできなかった	8.9	8.8	6.8	10.5	9.6	9.5
	できなかった	13.5	16.8	10.3	21.1	10.8	14.3
受身ではなく自分から行動する	できた	11.2	9.3	11.6	18.4	11.3	21.4
	ややできた	23.2	20.3	25.3	10.5	26.5	23.8
	どちらともいえない	33.8	36.8	34.9	23.7	32.1	26.2
	ややできなかった	16.0	13.8	18.5	23.7	16.7	14.3
	できなかった	15.9	20.0	9.6	23.7	13.5	14.3
自分を客観的に認識する	できた	9.8	8.3	14.4	7.9	8.1	26.2
	ややできた	22.6	18.3	21.2	18.4	27.9	21.4
	どちらともいえない	38.8	40.0	39.0	36.8	38.2	33.3
	ややできなかった	14.0	14.5	14.4	15.8	13.5	11.9
	できなかった	14.8	19.0	11.0	21.1	12.3	7.1
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	できた	8.6	7.0	8.9	7.9	9.3	16.7
	ややできた	20.4	15.3	22.6	13.2	25.0	23.8
	どちらともいえない	33.8	38.0	35.6	26.3	30.6	23.8
	ややできなかった	17.4	15.0	20.5	23.7	17.9	19.0
	できなかった	19.8	24.8	12.3	28.9	17.2	16.7
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	できた	8.8	7.5	11.0	2.6	9.3	14.3
	ややできた	21.4	18.3	21.9	15.8	24.3	26.2
	どちらともいえない	33.5	37.0	30.8	26.3	32.6	23.8
	ややできなかった	16.8	14.3	20.5	13.2	18.1	19.0
	できなかった	19.5	23.0	15.8	42.1	15.7	16.7
他者を説得して動かす	できた	5.3	3.8	8.2	2.6	5.4	11.9
	ややできた	13.4	9.0	15.1	13.2	16.7	19.0
	どちらともいえない	35.9	41.0	34.9	21.1	33.1	31.0
	ややできなかった	17.4	13.0	20.5	21.1	20.6	14.3
	できなかった	27.9	33.3	21.2	42.1	24.3	23.8
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	できた	9.8	7.5	11.0	15.8	10.5	14.3
	ややできた	22.6	20.0	25.3	13.2	24.8	26.2
	どちらともいえない	35.3	39.0	34.2	36.8	32.6	28.6
	ややできなかった	13.4	12.0	11.6	10.5	16.4	7.1
	できなかった	18.9	21.5	17.8	23.7	15.7	23.8
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,034	400	146	38	408	42

Q12-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから約3ヶ月が経過した頃に、あなたは仕事に関連して、以下の行動をどのくらいとることができましたか。 単位：%、太字は実数		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
女性・離職者（3ヶ月以上勤務した場合） 課題を見つけ出し、目標を持つ	できた	15.3	13.3	22.8	16.9	11.7	16.7
	ややできた	37.5	32.0	35.9	38.8	43.0	41.7
	どちらともいえない	25.7	29.0	24.3	29.6	21.7	8.3
	ややできなかった	10.9	12.4	8.3	6.9	13.0	25.0
	できなかった	10.5	13.3	8.7	7.7	10.6	8.3
具体的な方策を見つけて 計画を立てる	できた	13.7	11.0	20.7	14.2	11.3	33.3
	ややできた	33.6	30.3	31.2	35.8	37.1	25.0
	どちらともいえない	28.9	33.3	26.4	33.5	24.1	8.3
	ややできなかった	13.2	12.0	12.7	8.8	16.9	16.7
	できなかった	10.7	13.3	9.1	7.7	10.6	16.7
考えるだけ、言うだけで なく、行動する	できた	19.1	17.0	23.9	23.1	16.1	16.7
	ややできた	38.8	37.5	43.5	36.9	38.0	50.0
	どちらともいえない	25.3	26.9	22.1	28.1	24.7	8.3
	ややできなかった	10.1	10.6	4.3	7.7	14.3	16.7
	できなかった	6.6	8.0	6.2	4.2	6.9	8.3
最後までやりとげる	できた	25.6	23.9	33.7	26.9	21.5	25.0
	ややできた	39.2	39.8	33.7	40.4	41.4	33.3
	どちらともいえない	20.8	21.6	22.5	20.8	19.5	8.3
	ややできなかった	8.6	8.5	5.8	6.2	11.3	25.0
	できなかった	5.8	6.2	4.3	5.8	6.3	8.3
受身ではなく自分から行 動する	できた	18.8	18.6	23.2	21.5	14.5	33.3
	ややできた	33.9	31.5	37.0	35.0	33.6	33.3
	どちらともいえない	26.8	28.3	25.4	25.0	27.5	16.7
	ややできなかった	13.2	12.4	8.7	13.1	16.9	8.3
	できなかった	7.3	9.2	5.8	5.4	7.4	8.3
自分を客観的に認識する	できた	11.8	11.5	13.0	13.5	10.2	25.0
	ややできた	28.3	25.5	28.6	27.3	31.0	33.3
	どちらともいえない	35.7	38.2	35.5	40.0	31.5	16.7
	ややできなかった	15.3	14.3	13.8	12.7	18.4	25.0
	できなかった	8.9	10.6	9.1	6.5	8.9	
目的達成のために周囲の 人々や環境に働きかける	できた	10.9	9.9	14.9	12.7	8.5	8.3
	ややできた	26.4	27.4	25.7	23.5	27.1	41.7
	どちらともいえない	32.1	35.9	31.5	35.4	26.9	33.3
	ややできなかった	17.2	14.0	13.0	17.7	23.0	
	できなかった	13.4	12.9	14.9	10.8	14.5	16.7
会社やチーム全体の目標 を的確に認識し、実行す る	できた	11.8	10.1	16.7	13.8	9.3	16.7
	ややできた	31.2	28.7	30.8	33.8	32.1	33.3
	どちらともいえない	30.0	33.3	29.7	30.4	26.7	33.3
	ややできなかった	15.0	14.0	11.6	13.5	19.3	
	できなかった	12.0	13.8	11.2	8.5	12.6	16.7
他者を説得して動かす	できた	6.4	5.5	6.9	6.9	6.5	8.3
	ややできた	16.1	18.2	14.9	15.4	15.0	25.0
	どちらともいえない	31.4	32.6	30.8	37.7	27.3	16.7
	ややできなかった	21.7	18.6	22.5	18.5	25.8	25.0
	できなかった	24.5	25.1	25.0	21.5	25.4	25.0
他者と他者との間をとり もち良い人間関係を構築 する	できた	14.8	13.3	16.3	15.4	14.8	16.7
	ややできた	33.4	31.5	30.1	34.6	36.0	58.3
	どちらともいえない	28.0	29.0	33.0	26.5	25.4	8.3
	ややできなかった	11.8	12.2	9.1	12.3	12.8	8.3
	できなかった	12.0	14.0	11.6	11.2	11.1	8.3
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,444	435	276	260	461	12

Q13 正社員として働き始めてから3ヶ月後までに、起きたできごととして、あてはまるものをすべてお答えください。(MA)						
単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
業務をせず研修だけを受けている時期があった	55.1	42.5	45.1	42.1	49.6	56.9
特定の上司や先輩社員があなたの「教育係」になった	47.7	42.5	45.1	42.1	49.6	56.9
先輩社員と同等の業務を、はじめからまかせられた	19.1	17.7	20.7	14.5	19.6	20.8
指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいか分からない時期があった	26.3	22.6	25.0	19.7	28.9	27.3
その会社で働く上で従うべき規則や慣習について丁寧に説明してもらった	27.8	25.3	25.0	28.9	28.3	34.3
給与の金額が入社前に聞いていた内容とは異なっていた	6.5	6.6	10.9	10.5	5.7	4.6
労働時間の長さが入社前に聞いていた内容とは異なっていた	11.7	10.6	15.8	13.2	12.6	6.5
仕事内容が入社前に聞いていた内容とは異なっていた	6.7	8.4	6.0	9.2	5.9	5.6
いずれもあてはまらない	11.9	16.5	10.9	6.6	11.0	6.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
業務をせず研修だけを受けている時期があった	52.5	44.3	44.2	48.7	57.7	60.0
特定の上司や先輩社員があなたの「教育係」になった	52.5	44.3	44.2	48.7	57.7	60.0
先輩社員と同等の業務を、はじめからまかせられた	25.6	23.2	21.7	30.7	27.0	10.0
指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいか分からない時期があった	29.8	26.5	28.3	28.7	30.9	40.0
その会社で働く上で従うべき規則や慣習について丁寧に説明してもらった	33.7	30.3	28.3	35.3	35.5	35.0
給与の金額が入社前に聞いていた内容とは異なっていた	8.0	11.9	10.0	9.3	5.5	12.5
労働時間の長さが入社前に聞いていた内容とは異なっていた	14.7	14.6	19.2	16.7	13.5	10.0
仕事内容が入社前に聞いていた内容とは異なっていた	9.7	11.9	10.8	6.7	9.2	12.5
いずれもあてはまらない	9.5	14.6	13.3	11.3	6.5	7.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,036	185	120	150	541	40

Q13-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから3ヶ月後までに、起きたできごととして、あてはまるものをすべてお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
業務をせず研修だけを受けている時期があった	46.8	32.9	34.9	46.2	51.6	67.4
特定の上司や先輩社員があなたの「教育係」になった	46.8	41.1	47.7	35.9	52.1	58.1
先輩社員と同等の業務を、はじめからまかせられた	22.0	19.6	21.5	15.4	24.8	25.6
指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいか分からない時期があった	31.0	25.8	35.6	35.9	32.9	41.9
その会社で働く上で従うべき規則や慣習について丁寧に説明してもらった	19.9	16.7	22.1	17.9	22.9	16.3
給与の金額が入社前に聞いていた内容とは異なっていた	10.9	12.2	14.8	17.9	7.7	11.6
労働時間の長さが入社前に聞いていた内容とは異なっていた	25.3	21.7	30.9	20.5	28.0	18.6
仕事内容が入社前に聞いていた内容とは異なっていた	14.6	14.6	14.8	12.8	14.0	20.9
いずれもあてはまらない	12.7	16.9	11.4	17.9	9.6	2.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
業務をせず研修だけを受けている時期があった	36.7	33.4	31.1	26.4	48.6	50.0
特定の上司や先輩社員があなたの「教育係」になった	49.7	46.4	50.0	42.6	56.9	41.7
先輩社員と同等の業務を、はじめからまかせられた	27.0	24.2	25.4	33.6	26.4	50.0
指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいか分からない時期があった	32.6	29.5	29.3	31.3	38.8	16.7
その会社で働く上で従うべき規則や慣習について丁寧に説明してもらった	30.2	26.4	33.9	29.4	32.0	33.3
給与の金額が入社前に聞いていた内容とは異なっていた	10.6	9.9	12.9	12.5	9.0	8.3
労働時間の長さが入社前に聞いていた内容とは異なっていた	30.0	26.2	36.4	30.6	29.4	33.3
仕事内容が入社前に聞いていた内容とは異なっていた	15.0	16.5	14.3	14.3	14.1	25.0
いずれもあてはまらない	10.9	13.6	12.5	13.6	5.8	8.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,481	455	280	265	469	12

Q14 正社員として働き始めてから3ヶ月後までに、会社の人とあなたとの間で行われたやりとりとして、あてはまるものをすべてお選びください。 (MA) 単位：%、太字は実数							
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
会社の人、あなたに、業務を実際に行う中で仕事を教えてくれた	69.7	68.1	71.2	65.8	70.3	71.3	
会社の人、あなたを、会社内の他の事業所・部署の従業員に紹介してくれた	39.0	33.5	37.5	36.8	39.6	52.3	
会社の人、あなたを、顧客や取引先の人に紹介してくれた	22.4	12.9	19.0	26.3	28.3	20.8	
会社の人、あなたに、歓迎会を開いてくれた	53.3	42.8	49.5	52.6	57.1	66.2	
あなたが、会社の人に、自分が希望する仕事内容や働き方について伝えた	14.9	12.9	9.8	10.5	15.7	22.2	
あなたが、会社の人に、自分の働きぶりについて意見や感想を求めた	10.8	6.6	11.4	5.3	12.8	13.4	
分からないことがあった時に、あなたの方から、会社の人に相談した	35.3	30.5	35.3	30.3	36.2	44.9	
いずれもあてはまらない	12.0	16.7	12.5	7.9	10.4	8.3	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216	
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
会社の人、あなたに、業務を実際に行う中で仕事を教えてくれた	77.3	73.0	79.2	76.7	79.7	62.5	
会社の人、あなたを、会社内の他の事業所・部署の従業員に紹介してくれた	40.3	35.7	31.7	32.7	44.7	55.0	
会社の人、あなたを、顧客や取引先の人に紹介してくれた	23.3	16.2	15.8	23.3	26.6	32.5	
会社の人、あなたに、歓迎会を開いてくれた	63.8	50.8	62.5	61.3	69.3	62.5	
あなたが、会社の人に、自分が希望する仕事内容や働き方について伝えた	14.3	9.2	10.0	12.0	16.8	25.0	
あなたが、会社の人に、自分の働きぶりについて意見や感想を求めた	11.0	8.1	8.3	13.3	11.8	12.5	
分からないことがあった時に、あなたの方から、会社の人に相談した	52.5	45.4	50.8	52.0	56.0	45.0	
いずれもあてはまらない	7.2	10.8	7.5	5.3	6.5	7.5	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40	

Q14-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めてから3ヶ月後までに、会社の人とあなたとの間で行われたやりとりとして、あてはまるものをすべてお選びください。(MA) 単位：%、太字は実数							
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
会社の人、あなたに、業務を実際に行う中で仕事を教えてくれた	65.9	67.3	63.8	61.5	65.4	67.4	
会社の人、あなたを、会社内の他の事業所・部署の従業員に紹介してくれた	31.4	24.3	34.2	30.8	36.0	46.5	
会社の人、あなたを、顧客や取引先の人に紹介してくれた	20.8	13.4	23.5	12.8	27.6	23.3	
会社の人、あなたに、歓迎会を開いてくれた	44.4	32.9	49.0	43.6	52.1	65.1	
あなたが、会社の人に、自分が希望する仕事内容や働き方について伝えた	11.2	9.5	12.1	5.1	11.7	25.6	
あなたが、会社の人に、自分の働きぶりについて意見や感想を求めた	10.0	9.5	7.4	7.7	11.7	9.3	
分からないことがあった時に、あなたの方から、会社の人に相談した	37.9	34.6	49.7	23.1	38.6	37.2	
いずれもあてはまらない	16.4	20.0	12.1	20.5	14.5	11.6	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43	
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
会社の人、あなたに、業務を実際に行う中で仕事を教えてくれた	78.7	78.5	81.8	78.1	77.4	75.0	
会社の人、あなたを、会社内の他の事業所・部署の従業員に紹介してくれた	37.0	32.5	36.8	29.8	45.6	33.3	
会社の人、あなたを、顧客や取引先の人に紹介してくれた	25.3	22.9	25.7	17.4	31.8	33.3	
会社の人、あなたに、歓迎会を開いてくれた	56.9	48.1	57.5	58.1	64.4	50.0	
あなたが、会社の人に、自分が希望する仕事内容や働き方について伝えた	12.9	9.5	13.2	9.8	17.5	25.0	
あなたが、会社の人に、自分の働きぶりについて意見や感想を求めた	9.2	5.5	10.4	10.9	11.1	8.3	
分からないことがあった時に、あなたの方から、会社の人に相談した	53.4	52.1	58.6	50.2	53.7	41.7	
いずれもあてはまらない	8.1	11.0	6.4	7.2	6.6	16.7	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12	

Q15 正社員として働き始めてから現在までに、あなたの担当する業務はどのように変化しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数

男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
業務の全体的な量が増えていった	66.5	60.6	69.0	68.4	67.3	75.0
業務の種類が増えていった	58.8	56.3	52.7	59.2	59.5	67.6
業務の内容が難しくなっていった	55.3	51.6	52.2	56.6	56.5	61.1
責任の重い業務を担当するようになっていった	50.6	47.3	48.4	48.7	51.3	58.8
正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった	21.2	20.1	15.2	15.8	23.4	20.8
自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった	35.9	27.6	30.4	34.2	39.5	45.4
非正社員を指導・管理する立場になっていった	13.0	13.3	11.4	7.9	13.0	15.3
部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった	27.4	29.9	28.3	19.7	25.8	29.6
その他の変化	0.1				0.2	0.5
何も変化していない	10.6	13.1	12.0	11.8	9.3	8.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	2,036	558	184	76	1,002	216

女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
業務の全体的な量が増えていった	70.9	69.2	75.0	70.7	71.2	65.0
業務の種類が増えていった	67.3	63.2	63.3	68.7	69.9	57.5
業務の内容が難しくなっていった	56.6	51.4	47.5	52.0	61.4	60.0
責任の重い業務を担当するようになっていった	52.9	50.8	45.8	53.3	55.6	45.0
正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった	16.9	20.0	10.0	12.7	17.7	27.5
自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった	41.5	37.3	32.5	43.3	44.9	35.0
非正社員を指導・管理する立場になっていった	15.3	23.2	12.5	9.3	14.4	20.0
部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった	32.5	34.6	30.8	31.3	33.1	25.0
その他の変化	0.6	0.5			0.7	2.5
何も変化していない	7.3	8.6	9.2	7.3	6.3	10.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,036	185	120	150	541	40

Q15-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働いている間に、あなたの担当する業務はどのように変化しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数

男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
業務の全体的な量が増えていった	55.5	51.8	57.0	48.7	57.7	69.8
業務の種類が増えていった	47.8	42.2	51.7	41.0	50.5	67.4
業務の内容が難しくなっていった	44.2	38.4	43.0	41.0	49.5	55.8
責任の重い業務を担当するようになっていった	34.4	27.9	38.9	30.8	37.9	51.2
正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった	12.0	10.7	12.8	7.7	13.1	14.0
自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった	21.5	15.3	20.1	10.3	28.0	32.6
非正社員を指導・管理する立場になっていった	10.9	9.1	11.4	7.7	12.4	14.0
部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった	14.3	11.7	18.1	15.4	15.0	18.6
その他の変化	0.7	1.2	1.3		0.2	
何も変化していない	20.7	26.0	16.1	25.6	17.8	9.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,078	419	149	39	428	43

女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
業務の全体的な量が増えていった	66.2	58.9	70.4	68.3	69.9	58.3
業務の種類が増えていった	60.1	55.6	65.4	58.1	62.5	58.3
業務の内容が難しくなっていった	49.4	45.3	50.4	45.7	54.8	58.3
責任の重い業務を担当するようになっていった	46.3	38.7	47.5	46.4	52.7	50.0
正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった	9.3	9.7	6.1	10.2	10.2	8.3
自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった	28.9	24.6	25.7	27.5	35.6	33.3
非正社員を指導・管理する立場になっていった	15.0	15.2	11.1	18.1	15.6	8.3
部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった	26.9	24.0	25.7	31.3	28.4	16.7
その他の変化	0.4	0.4	1.1		0.2	
何も変化していない	12.5	16.5	12.5	12.8	8.1	25.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,481	455	280	265	469	12

Q16 現在のお勤め先での職業生活全体を振り返ると、以下の事柄はどの程度あてはまりますか。 単位：%、太字は実数		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
男性・勤続者							
従業員同士がお互いに助け合って仕事をする	あてはまる	20.0	20.6	25.0	14.5	18.9	21.3
	ややあてはまる	40.7	38.2	34.2	43.4	42.0	45.4
	どちらでもない	25.3	26.2	29.3	28.9	24.8	21.3
	ややあてはまらない	9.5	8.6	7.6	5.3	10.9	8.8
	あてはまらない	4.5	6.5	3.8	7.9	3.5	3.2
「会社全体で、積極的に従業員を育てていこう」という雰囲気がある	あてはまる	11.7	11.6	9.8	6.6	11.8	15.3
	ややあてはまる	30.7	28.1	26.6	39.5	31.7	33.3
	どちらでもない	34.3	36.6	43.5	30.3	33.6	25.0
	ややあてはまらない	14.1	13.3	9.2	14.5	14.7	17.6
	あてはまらない	9.1	10.4	10.9	9.2	8.2	8.8
実力があれば、年齢や勤続期間にかかわらず出世できる	あてはまる	13.1	14.5	14.1	3.9	13.2	11.1
	ややあてはまる	25.1	26.9	21.7	31.6	24.3	25.0
	どちらでもない	32.5	31.4	34.8	38.2	33.1	28.7
	ややあてはまらない	14.3	12.7	15.2	15.8	14.3	17.1
	あてはまらない	15.0	14.5	14.1	10.5	15.2	18.1
男女の区別なく活躍できる	あてはまる	16.9	12.5	20.1	9.2	18.2	22.2
	ややあてはまる	31.0	26.3	27.2	25.0	34.0	34.3
	どちらでもない	32.1	34.9	38.0	46.1	29.4	27.3
	ややあてはまらない	12.5	15.1	7.6	10.5	12.4	11.6
	あてはまらない	7.5	11.1	7.1	9.2	6.0	4.6
社長や役員と、一般従業員との距離が近い	あてはまる	12.9	9.5	15.2	11.8	14.1	14.4
	ややあてはまる	27.3	21.9	32.1	21.1	29.7	27.8
	どちらでもない	30.0	30.8	31.5	36.8	29.1	27.8
	ややあてはまらない	12.9	14.0	9.2	11.8	13.0	13.0
	あてはまらない	17.0	23.8	12.0	18.4	14.1	17.1
「若いうちは失敗が多くても、将来的に会社の役にたてればいい」という雰囲気がある	あてはまる	10.2	9.5	8.7	6.6	10.4	13.4
	ややあてはまる	28.1	24.2	30.4	25.0	29.9	28.7
	どちらでもない	37.0	39.6	39.1	40.8	35.8	32.4
	ややあてはまらない	15.3	14.3	12.5	15.8	16.2	15.7
	あてはまらない	9.5	12.4	9.2	11.8	7.7	9.7
「お金より自分の成長やお客様からの感謝にやりがいを求めるべきだ」という雰囲気がある	あてはまる	9.3	8.4	10.9	9.2	9.5	9.7
	ややあてはまる	23.5	19.2	21.2	22.4	26.2	24.5
	どちらでもない	40.8	42.3	41.8	51.3	40.7	32.9
	ややあてはまらない	15.6	15.4	15.2	9.2	14.9	21.8
	あてはまらない	10.8	14.7	10.9	7.9	8.7	11.1
短期間に何人も従業員が次々と辞めていく	あてはまる	11.0	11.5	15.8	7.9	10.6	8.3
	ややあてはまる	23.8	25.8	22.8	19.7	23.3	23.6
	どちらでもない	32.5	34.6	39.1	40.8	30.1	29.6
	ややあてはまらない	15.0	12.4	6.5	11.8	17.9	17.1
	あてはまらない	17.7	15.8	15.8	19.7	18.2	21.3
短期間に何人も新しい従業員が採用される	あてはまる	7.9	9.1	7.1	6.6	7.9	6.0
	ややあてはまる	19.3	19.9	20.7	18.4	18.5	20.4
	どちらでもない	32.2	33.7	39.1	44.7	30.1	27.3
	ややあてはまらない	18.0	16.5	12.0	9.2	20.0	21.3
	あてはまらない	22.6	20.8	21.2	21.1	23.6	25.0
会社の業務の中で、法律や社会的倫理に反する行為が行われている	あてはまる	6.9	6.5	6.5	5.3	7.4	6.5
	ややあてはまる	14.7	14.2	17.9	11.8	15.1	13.0
	どちらでもない	32.0	35.1	40.2	31.6	30.2	25.0
	ややあてはまらない	15.4	16.7	8.2	19.7	15.4	16.7
	あてはまらない	31.0	27.6	27.2	31.6	31.9	38.9
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		2,036	558	184	76	1,002	216

Q16 現在のお勤め先での職業生活全体を振り返ると、以下の事柄はどの程度あてはまりますか。 単位：%、太字は実数								
女性・勤続者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
従業員同士がお互いに助け合って仕事をする	あてはまる	28.0	31.4	34.2	28.7	26.1	17.5	
	ややあてはまる	45.4	37.8	44.2	46.7	47.7	47.5	
	どちらでもない	15.8	14.1	14.2	16.7	16.6	15.0	
	ややあてはまらない	7.1	9.7	5.8	6.7	6.5	10.0	
	あてはまらない	3.7	7.0	1.7	1.3	3.1	10.0	
「会社全体で、積極的に従業員を育てていこう」という雰囲気がある	あてはまる	14.8	14.1	17.5	14.7	14.6	12.5	
	ややあてはまる	38.9	34.1	39.2	45.3	38.6	40.0	
	どちらでもない	25.9	23.8	27.5	24.0	26.8	25.0	
	ややあてはまらない	12.0	17.3	12.5	8.0	11.5	7.5	
	あてはまらない	8.5	10.8	3.3	8.0	8.5	15.0	
実力があれば、年齢や勤続期間にかかわらず出世できる	あてはまる	15.1	16.8	15.8	10.7	15.3	17.5	
	ややあてはまる	29.0	31.4	28.3	31.3	28.3	20.0	
	どちらでもない	26.2	25.4	30.8	32.7	23.1	32.5	
	ややあてはまらない	15.9	9.7	13.3	8.7	20.7	15.0	
	あてはまらない	13.9	16.8	11.7	16.7	12.6	15.0	
男女の区別なく活躍できる	あてはまる	23.4	22.2	35.0	22.0	21.8	20.0	
	ややあてはまる	32.0	28.6	22.5	31.3	35.7	30.0	
	どちらでもない	25.2	26.5	25.0	30.0	23.5	25.0	
	ややあてはまらない	11.7	9.7	10.0	8.7	13.1	17.5	
	あてはまらない	7.7	13.0	7.5	8.0	5.9	7.5	
社長や役員と、一般従業員との距離が近い	あてはまる	17.0	15.1	20.0	13.3	18.1	15.0	
	ややあてはまる	28.9	26.5	32.5	28.7	29.0	27.5	
	どちらでもない	26.2	27.6	25.8	33.3	23.7	27.5	
	ややあてはまらない	14.3	13.5	13.3	10.7	15.9	12.5	
	あてはまらない	13.7	17.3	8.3	14.0	13.3	17.5	
「若いうちは失敗が多くても、将来的に会社の役にたてればいい」という雰囲気がある	あてはまる	10.7	9.2	12.5	12.0	10.9	5.0	
	ややあてはまる	31.6	27.0	30.0	30.0	32.5	50.0	
	どちらでもない	31.7	33.0	33.3	36.0	29.9	27.5	
	ややあてはまらない	14.9	13.5	13.3	14.7	16.6	2.5	
	あてはまらない	11.2	17.3	10.8	7.3	10.0	15.0	
「お金より自分の成長やお客様からの感謝にやりがいを求めるべきだ」という雰囲気がある	あてはまる	10.9	9.7	12.5	14.7	9.6	15.0	
	ややあてはまる	25.8	21.6	27.5	24.0	27.7	20.0	
	どちらでもない	34.9	33.0	35.0	35.3	35.9	30.0	
	ややあてはまらない	16.1	14.1	15.8	16.0	16.8	17.5	
	あてはまらない	12.3	21.6	9.2	10.0	10.0	17.5	
短期間に何人もの従業員が次々と辞めていく	あてはまる	13.5	18.9	18.3	13.3	11.1	7.5	
	ややあてはまる	26.4	30.8	25.8	28.7	25.1	15.0	
	どちらでもない	26.1	18.9	30.8	25.3	27.4	30.0	
	ややあてはまらない	14.6	13.5	7.5	16.0	16.1	15.0	
	あてはまらない	19.5	17.8	17.5	16.7	20.3	32.5	
短期間に何人もの新しい従業員が採用される	あてはまる	7.5	9.7	5.0	8.7	7.0	7.5	
	ややあてはまる	23.6	27.6	22.5	28.7	20.7	27.5	
	どちらでもない	25.6	23.8	25.8	28.0	26.2	15.0	
	ややあてはまらない	19.9	16.2	17.5	14.0	23.5	17.5	
	あてはまらない	23.5	22.7	29.2	20.7	22.6	32.5	
会社の業務の中で、法律や社会的倫理に反する行為が行われている	あてはまる	5.1	6.5	3.3	6.7	4.4	7.5	
	ややあてはまる	16.2	16.8	16.7	20.0	15.5	7.5	
	どちらでもない	25.2	29.2	27.5	27.3	21.8	37.5	
	ややあてはまらない	17.3	11.9	19.2	15.3	19.6	12.5	
	あてはまらない	36.2	35.7	33.3	30.7	38.6	35.0	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		1,036	185	120	150	541	40	

Q16_1 「初めての正社員勤務先」で正社員として送った職業生活全体を振り返ると、以下の事柄はどの程度あてはまりましたか。							
単位：%、太字は実数							
男性・離職者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
従業員同士がお互いに助け合って仕事をする	あてはまる	10.7	10.0	16.1	7.7	10.3	4.7
	ややあてはまる	34.2	32.9	32.9	25.6	36.0	41.9
	どちらでもない	26.7	30.5	25.5	30.8	23.8	18.6
	ややあてはまらない	13.9	12.4	13.4	7.7	16.4	11.6
	あてはまらない	14.5	14.1	12.1	28.2	13.6	23.3
「会社全体で、積極的に従業員を育てていこう」という雰囲気がある	あてはまる	6.9	6.7	10.7		6.5	4.7
	ややあてはまる	19.8	17.7	16.1	12.8	23.6	20.9
	どちらでもない	34.2	36.0	38.3	38.5	32.0	20.9
	ややあてはまらない	17.2	17.2	13.4	15.4	17.3	30.2
	あてはまらない	22.0	22.4	21.5	33.3	20.6	23.3
実力があれば、年齢や勤続期間にかかわらず出世できる	あてはまる	12.7	10.5	15.4	15.4	14.3	7.0
	ややあてはまる	23.2	24.3	20.8	17.9	23.6	20.9
	どちらでもない	29.9	32.2	30.9	30.8	28.5	16.3
	ややあてはまらない	14.2	11.2	15.4	7.7	15.0	37.2
	あてはまらない	20.0	21.7	17.4	28.2	18.7	18.6
男女の区別なく活躍できる	あてはまる	13.5	10.5	22.1	12.8	14.0	9.3
	ややあてはまる	26.0	20.3	30.9	20.5	29.7	32.6
	どちらでもない	31.3	38.2	25.5	25.6	27.6	25.6
	ややあてはまらない	11.4	11.9	8.7	10.3	11.9	11.6
	あてはまらない	17.8	19.1	12.8	30.8	16.8	20.9
社長や役員と、一般従業員との距離が近い	あてはまる	11.9	11.0	12.1	7.7	12.6	16.3
	ややあてはまる	20.2	19.6	20.1	12.8	20.8	27.9
	どちらでもない	31.7	33.9	35.6	38.5	29.0	18.6
	ややあてはまらない	13.3	10.7	12.8	12.8	16.4	9.3
	あてはまらない	22.9	24.8	19.5	28.2	21.3	27.9
「若いうちは失敗が多くても、将来的に会社の役にたてればいい」という雰囲気がある	あてはまる	6.5	5.7	8.7	5.1	6.8	4.7
	ややあてはまる	17.8	15.5	14.1	17.9	20.6	25.6
	どちらでもない	39.0	43.7	38.9	35.9	36.0	25.6
	ややあてはまらない	15.5	11.2	20.1	10.3	19.2	9.3
	あてはまらない	21.2	23.9	18.1	30.8	17.5	34.9
「お金より自分の成長やお客様からの感謝にやりがいを求めるべきだ」という雰囲気がある	あてはまる	7.6	5.7	12.1	12.8	7.0	11.6
	ややあてはまる	16.3	13.8	19.5	17.9	18.0	11.6
	どちらでもない	39.3	42.0	35.6	35.9	39.5	27.9
	ややあてはまらない	15.9	16.0	16.1	17.9	15.2	18.6
	あてはまらない	20.9	22.4	16.8	15.4	20.3	30.2
短期間に何人も従業員が次々と辞めていく	あてはまる	21.0	18.1	25.5	30.8	20.3	30.2
	ややあてはまる	22.8	19.8	20.1	17.9	26.2	32.6
	どちらでもない	31.1	34.6	32.9	25.6	28.7	18.6
	ややあてはまらない	12.1	12.4	9.4	12.8	13.3	4.7
	あてはまらない	13.1	15.0	12.1	12.8	11.4	14.0
短期間に何人も新しい従業員が採用される	あてはまる	11.3	10.3	12.8	15.4	11.0	16.3
	ややあてはまる	17.6	16.9	18.1	15.4	17.5	25.6
	どちらでもない	33.8	36.5	33.6	33.3	32.0	25.6
	ややあてはまらない	16.7	14.6	18.1	15.4	19.4	7.0
	あてはまらない	20.6	21.7	17.4	20.5	20.1	25.6
会社の業務の中で、法律や社会的倫理に反する行為が行われている	あてはまる	11.4	10.7	12.8	23.1	9.6	20.9
	ややあてはまる	16.7	15.0	18.1	10.3	18.2	18.6
	どちらでもない	33.4	35.8	34.2	28.2	31.8	27.9
	ややあてはまらない	12.5	12.4	11.4	15.4	13.1	9.3
	あてはまらない	26.0	26.0	23.5	23.1	27.3	23.3
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,078	419	149	39	428	43

Q16_1 「初めての正社員勤務先」で正社員として送った職業生活全体を振り返ると、以下の事柄はどの程度あてはまりましたか。								
単位：%、太字は実数								
女性・離職者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
従業員同士がお互いに助け合って仕事をする	あてはまる	22.1	18.7	30.7	26.4	17.7	25.0	
	ややあてはまる	42.9	42.4	37.1	44.2	46.5	25.0	
	どちらでもない	16.5	20.0	16.1	11.7	15.6	33.3	
	ややあてはまらない	9.6	10.1	8.2	9.4	10.0	8.3	
	あてはまらない	9.0	8.8	7.9	8.3	10.2	8.3	
「会社全体で、積極的に従業員を育てていこう」という雰囲気がある	あてはまる	10.9	9.9	12.9	12.8	9.4	16.7	
	ややあてはまる	30.5	29.5	32.9	31.3	29.4	33.3	
	どちらでもない	27.3	29.7	28.2	28.3	24.5	8.3	
	ややあてはまらない	16.1	14.9	12.9	15.1	19.8	16.7	
	あてはまらない	15.2	16.0	13.2	12.5	16.8	25.0	
実力があれば、年齢や勤続期間にかかわらず出世できる	あてはまる	17.6	18.9	18.2	17.4	16.6		
	ややあてはまる	26.0	25.1	27.9	22.3	28.1	16.7	
	どちらでもない	24.3	27.3	20.7	27.5	21.5	33.3	
	ややあてはまらない	14.0	11.9	15.0	13.6	15.6	16.7	
	あてはまらない	18.1	16.9	18.2	19.2	18.1	33.3	
男女の区別なく活躍できる	あてはまる	22.8	19.8	30.4	23.4	20.9	25.0	
	ややあてはまる	28.2	26.6	27.5	28.7	30.1	16.7	
	どちらでもない	22.7	27.0	19.6	23.8	19.6	25.0	
	ややあてはまらない	13.0	13.8	9.3	10.9	15.8	8.3	
	あてはまらない	13.3	12.7	13.2	13.2	13.6	25.0	
社長や役員と、一般従業員との距離が近い	あてはまる	16.0	15.6	18.9	15.5	15.1	8.3	
	ややあてはまる	26.7	24.0	25.0	29.8	28.4	33.3	
	どちらでもない	27.6	32.3	24.3	30.9	23.2	25.0	
	ややあてはまらない	12.8	11.2	14.6	9.4	14.9	16.7	
	あてはまらない	16.9	16.9	17.1	14.3	18.3	16.7	
「若いうちは失敗が多くても、将来的に会社の役にたてればいい」という雰囲気がある	あてはまる	8.1	6.4	7.9	10.9	8.5		
	ややあてはまる	22.6	19.8	21.1	26.4	23.9	33.3	
	どちらでもない	34.2	39.3	35.0	28.3	32.0	33.3	
	ややあてはまらない	16.7	16.3	17.5	15.5	17.7	8.3	
	あてはまらない	18.4	18.2	18.6	18.9	17.9	25.0	
「お金より自分の成長やお客様からの感謝にやりがいを求めるべきだ」という雰囲気がある	あてはまる	11.0	7.5	15.7	11.3	10.9	33.3	
	ややあてはまる	24.1	21.3	27.5	27.2	23.0	25.0	
	どちらでもない	34.3	39.3	31.4	31.3	33.3	16.7	
	ややあてはまらない	14.4	15.4	11.8	14.7	14.9	8.3	
	あてはまらない	16.2	16.5	13.6	15.5	17.9	16.7	
短期間に何人も従業員が次々と辞めていく	あてはまる	24.6	21.8	28.9	18.9	27.5	41.7	
	ややあてはまる	26.8	26.8	22.9	27.9	28.8	16.7	
	どちらでもない	25.5	27.7	26.4	29.1	21.5		
	ややあてはまらない	11.1	10.5	11.8	9.8	12.2	8.3	
	あてはまらない	12.0	13.2	10.0	14.3	10.0	33.3	
短期間に何人も新しい従業員が採用される	あてはまる	12.8	12.3	12.1	10.2	14.5	41.7	
	ややあてはまる	22.0	21.1	22.1	24.2	21.5	25.0	
	どちらでもない	27.4	30.1	27.1	28.7	24.9		
	ややあてはまらない	17.2	16.5	16.8	15.8	19.2	8.3	
	あてはまらない	20.5	20.0	21.8	21.1	19.8	25.0	
会社の業務の中で、法律や社会的倫理に反する行為が行われている	あてはまる	8.2	6.6	10.4	8.3	7.9	25.0	
	ややあてはまる	15.8	13.4	15.0	18.5	16.8	25.0	
	どちらでもない	28.5	31.4	28.6	23.8	28.8	8.3	
	ややあてはまらない	15.7	13.8	15.7	20.0	15.4	8.3	
	あてはまらない	31.8	34.7	30.4	29.4	31.1	33.3	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		1,481	455	280	265	469	12	

Q17 あなたは現在、職業生活についてどのように感じていますか。 単位：%、太字は実数							
男性・勤続者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
仕事の内容・やりがい	満足	14.1	15.1	13.0	10.5	13.5	16.7
	やや満足	37.1	34.2	35.3	48.7	37.5	39.8
	どちらでもない	30.4	33.5	34.8	28.9	29.0	25.0
	やや不満	10.5	9.3	7.6	6.6	12.0	10.2
	不満	8.0	7.9	9.2	5.3	8.0	8.3
人事評価・処遇のあり方	満足	7.9	7.7	4.9	9.2	8.5	7.9
	やや満足	27.6	23.1	27.2	31.6	28.6	32.9
	どちらでもない	35.6	38.9	40.8	28.9	34.3	31.0
	やや不満	17.2	16.7	12.5	18.4	18.4	17.1
	不満	11.7	13.6	14.7	11.8	10.2	11.1
職場の人間関係、コミュニケーション	満足	14.7	14.9	12.0	13.2	15.4	14.4
	やや満足	34.2	29.9	35.9	36.8	34.6	40.7
	どちらでもない	32.7	36.7	33.7	36.8	31.2	26.9
	やや不満	11.2	10.9	11.4	6.6	11.6	11.6
	不満	7.2	7.5	7.1	6.6	7.2	6.5
賃金	満足	8.4	8.4	3.8	7.9	8.6	12.0
	やや満足	24.8	22.9	20.7	19.7	25.3	31.9
	どちらでもない	30.9	32.3	31.0	30.3	31.6	24.1
	やや不満	20.8	20.3	22.8	25.0	20.3	21.3
	不満	15.1	16.1	21.7	17.1	14.2	10.6
労働時間・休日等の労働条件	満足	15.5	13.4	12.5	11.8	16.2	21.3
	やや満足	31.8	28.1	25.0	34.2	33.0	40.3
	どちらでもない	30.3	33.2	37.0	31.6	29.0	22.7
	やや不満	11.9	12.4	11.4	14.5	12.2	9.3
	不満	10.5	12.9	14.1	7.9	9.6	6.5
職場の環境(照明、空調、騒音等)	満足	13.9	12.7	12.0	13.2	14.5	15.7
	やや満足	30.2	23.3	27.7	27.6	33.6	35.2
	どちらでもない	33.2	35.7	38.0	36.8	31.6	28.2
	やや不満	13.5	14.7	11.4	10.5	13.4	13.9
	不満	9.3	13.6	10.9	11.8	6.9	6.9
雇用の安定性	満足	24.7	24.7	20.1	19.7	25.2	27.3
	やや満足	32.3	28.0	29.9	28.9	34.0	38.9
	どちらでもない	32.3	37.1	37.5	40.8	29.6	24.5
	やや不満	6.0	5.9	5.4	5.3	6.5	4.6
	不満	4.8	4.3	7.1	5.3	4.6	4.6
福利厚生	満足	19.4	20.4	17.4	13.2	19.3	20.8
	やや満足	31.5	31.0	26.6	34.2	31.2	37.0
	どちらでもない	32.7	34.8	35.9	35.5	31.9	27.3
	やや不満	9.7	7.9	10.9	7.9	10.2	12.0
	不満	6.7	5.9	9.2	9.2	7.4	2.8
教育訓練・能力開発のあり方	満足	8.9	8.6	10.3	9.2	8.2	11.6
	やや満足	25.1	24.6	22.8	27.6	25.3	26.4
	どちらでもない	40.4	43.2	41.8	42.1	40.3	31.9
	やや不満	16.2	14.5	12.5	10.5	17.1	21.8
	不満	9.4	9.1	12.5	10.5	9.1	8.3
家庭・個人としての生活との両立	満足	11.2	10.4	7.6	11.8	11.6	14.4
	やや満足	30.7	27.2	31.5	28.9	31.2	37.0
	どちらでもない	37.0	39.6	39.7	34.2	36.9	29.6
	やや不満	12.3	13.3	11.4	14.5	11.7	12.5
	不満	8.8	9.5	9.8	10.5	8.6	6.5
職業生活全体	満足	9.7	8.4	7.6	7.9	9.8	14.8
	やや満足	31.9	29.2	28.8	34.2	31.9	40.7
	どちらでもない	40.1	43.7	44.6	40.8	39.3	30.1
	やや不満	11.2	12.0	8.2	7.9	11.9	9.7
	不満	7.1	6.6	10.9	9.2	7.1	4.6
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		2,036	558	184	76	1,002	216

Q17 あなたは現在、職業生活についてどのように感じていますか。 単位：%、太字は実数								
女性・勤続者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
仕事の内容・やりがい	満足	13.6	9.2	13.3	16.0	14.4	15.0	
	やや満足	42.9	39.5	36.7	42.0	45.5	45.0	
	どちらでもない	23.6	23.2	30.0	25.3	21.8	22.5	
	やや不満	12.5	17.3	14.2	13.3	10.9	5.0	
	不満	7.4	10.8	5.8	3.3	7.4	12.5	
人事評価・処遇のあり方	満足	7.8	6.5	10.0	8.0	7.0	17.5	
	やや満足	31.3	30.3	20.0	28.7	35.3	25.0	
	どちらでもない	31.4	23.8	37.5	36.0	32.2	20.0	
	やや不満	18.9	22.7	23.3	17.3	16.8	22.5	
	不満	10.6	16.8	9.2	10.0	8.7	15.0	
職場の人間関係、コミュニケーション	満足	17.0	14.1	16.7	17.3	18.3	12.5	
	やや満足	38.5	37.8	40.0	36.0	39.0	40.0	
	どちらでもない	24.8	28.1	25.0	28.0	23.3	17.5	
	やや不満	12.3	12.4	10.0	8.0	13.5	17.5	
	不満	7.4	7.6	8.3	10.7	5.9	12.5	
賃金	満足	7.3	5.9	5.8	6.0	8.1	12.5	
	やや満足	25.0	23.8	17.5	22.7	27.4	30.0	
	どちらでもない	25.0	23.2	29.2	27.3	24.0	25.0	
	やや不満	26.4	26.5	29.2	26.7	27.0	10.0	
	不満	16.2	20.5	18.3	17.3	13.5	22.5	
労働時間・休日等の労働条件	満足	19.5	18.9	10.8	20.7	21.1	22.5	
	やや満足	30.8	25.9	30.0	29.3	33.1	30.0	
	どちらでもない	21.3	24.9	25.0	19.3	19.8	22.5	
	やや不満	16.5	15.7	19.2	20.0	15.2	17.5	
	不満	11.9	14.6	15.0	10.7	10.9	7.5	
職場の環境(照明、空調、騒音等)	満足	18.5	19.5	19.2	16.7	19.0	12.5	
	やや満足	35.5	30.3	38.3	36.0	36.8	32.5	
	どちらでもない	25.8	27.0	21.7	24.0	26.1	35.0	
	やや不満	14.3	14.1	17.5	16.0	12.9	17.5	
	不満	5.9	9.2	3.3	7.3	5.2	2.5	
雇用の安定性	満足	30.5	24.3	28.3	29.3	33.3	32.5	
	やや満足	37.4	37.3	31.7	35.3	39.2	37.5	
	どちらでもない	23.5	29.2	27.5	26.0	20.3	17.5	
	やや不満	5.5	4.9	9.2	5.3	4.8	7.5	
	不満	3.2	4.3	3.3	4.0	2.4	5.0	
福利厚生	満足	25.4	26.5	21.7	26.7	25.7	22.5	
	やや満足	34.3	33.5	35.8	34.7	33.1	47.5	
	どちらでもない	23.9	23.8	25.8	22.7	24.2	20.0	
	やや不満	10.4	8.6	9.2	9.3	12.0	5.0	
	不満	6.0	7.6	7.5	6.7	5.0	5.0	
教育訓練・能力開発のあり方	満足	11.0	10.8	13.3	12.0	10.5	7.5	
	やや満足	26.5	23.8	20.0	25.3	28.8	32.5	
	どちらでもない	36.4	38.4	35.8	40.0	35.7	25.0	
	やや不満	17.1	16.2	25.8	17.3	15.5	15.0	
	不満	9.0	10.8	5.0	5.3	9.4	20.0	
家庭・個人としての生活との両立	満足	14.8	17.3	7.5	12.7	16.1	15.0	
	やや満足	31.8	28.1	34.2	29.3	33.3	30.0	
	どちらでもない	29.1	27.0	32.5	31.3	29.2	17.5	
	やや不満	15.7	17.8	17.5	18.0	14.0	15.0	
	不満	8.7	9.7	8.3	8.7	7.4	22.5	
職業生活全体	満足	10.8	10.8	8.3	11.3	11.5	7.5	
	やや満足	33.8	33.0	29.2	31.3	36.0	30.0	
	どちらでもない	35.9	35.7	37.5	38.0	35.1	35.0	
	やや不満	12.8	12.4	15.8	13.3	12.0	15.0	
	不満	6.7	8.1	9.2	6.0	5.4	12.5	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		1,036	185	120	150	541	40	

Q17-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、職業生活についてどのように感じていましたか。								
単位：%、太字は実数								
男性・離職者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
仕事の内容・やりがい	満足	8.3	7.4	14.8		7.7	9.3	
	やや満足	22.4	19.1	19.5	30.8	25.7	25.6	
	どちらでもない	30.5	36.3	32.9	33.3	25.5	14.0	
	やや不満	14.7	13.4	11.4	7.7	17.3	20.9	
	不満	23.9	23.9	21.5	28.2	23.8	30.2	
人事評価・処遇のあり方	満足	5.1	3.3	10.1		5.4	7.0	
	やや満足	16.2	14.8	14.8	23.1	17.1	20.9	
	どちらでもない	36.9	43.0	33.6	38.5	32.9	27.9	
	やや不満	16.5	15.8	16.8	12.8	18.2	9.3	
	不満	25.2	23.2	24.8	25.6	26.4	34.9	
職場の人間関係、コミュニケーション	満足	9.4	6.7	12.8	7.7	10.7	11.6	
	やや満足	23.1	20.8	23.5	23.1	24.3	32.6	
	どちらでもない	29.8	33.9	30.2	33.3	26.6	16.3	
	やや不満	14.0	14.8	11.4	10.3	14.7	11.6	
	不満	23.7	23.9	22.1	25.6	23.6	27.9	
賃金	満足	6.7	5.0	8.1	5.1	7.2	14.0	
	やや満足	17.1	15.0	12.1	12.8	21.3	16.3	
	どちらでもない	30.0	30.3	30.2	33.3	30.4	18.6	
	やや不満	21.6	22.2	23.5	23.1	20.1	23.3	
	不満	24.7	27.4	26.2	25.6	21.0	27.9	
労働時間・休日等の労働条件	満足	6.1	4.5	10.1	5.1	5.8	11.6	
	やや満足	17.3	12.6	16.8	12.8	21.3	30.2	
	どちらでもない	27.5	32.5	31.5	33.3	21.5	18.6	
	やや不満	19.4	21.5	15.4	15.4	19.2	18.6	
	不満	29.7	28.9	26.2	33.3	32.2	20.9	
職場の環境(照明、空調、騒音等)	満足	8.5	5.5	11.4	5.1	10.7	9.3	
	やや満足	21.7	14.3	26.2	15.4	26.9	32.6	
	どちらでもない	36.1	39.1	36.9	43.6	33.2	25.6	
	やや不満	15.0	19.3	10.7	12.8	12.6	14.0	
	不満	18.6	21.7	14.8	23.1	16.6	18.6	
雇用の安定性	満足	12.9	10.0	14.8	15.4	14.5	16.3	
	やや満足	22.9	17.2	20.8	25.6	28.0	32.6	
	どちらでもない	37.9	44.4	36.9	28.2	34.3	23.3	
	やや不満	11.3	12.2	12.1	15.4	9.8	11.6	
	不満	14.9	16.2	15.4	15.4	13.3	16.3	
福利厚生	満足	9.8	9.1	14.8	7.7	9.1	9.3	
	やや満足	23.5	19.1	22.1	20.5	27.3	34.9	
	どちらでもない	34.9	40.3	31.5	35.9	31.5	25.6	
	やや不満	14.7	14.1	12.8	17.9	15.4	16.3	
	不満	17.2	17.4	18.8	17.9	16.6	14.0	
教育訓練・能力開発のあり方	満足	4.8	5.0	6.7	2.6	4.2	4.7	
	やや満足	14.9	11.7	15.4	25.6	16.4	20.9	
	どちらでもない	37.5	42.2	36.9	30.8	34.8	25.6	
	やや不満	19.4	18.9	17.4	12.8	21.5	16.3	
	不満	23.4	22.2	23.5	28.2	23.1	32.6	
家庭・個人としての生活との両立	満足	5.1	5.0	7.4	2.6	4.4	7.0	
	やや満足	14.6	12.2	13.4	15.4	16.6	20.9	
	どちらでもない	35.1	40.1	36.9	33.3	30.6	25.6	
	やや不満	17.8	16.0	14.1	12.8	21.0	20.9	
	不満	27.5	26.7	28.2	35.9	27.3	25.6	
職業生活全体	満足	3.7	3.1	6.7	5.1	3.3	2.3	
	やや満足	15.3	13.1	13.4	12.8	17.8	20.9	
	どちらでもない	37.9	42.5	40.9	30.8	34.1	27.9	
	やや不満	19.2	17.4	17.4	17.9	21.3	23.3	
	不満	23.8	23.9	21.5	33.3	23.6	25.6	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		1,078	419	149	39	428	43	

Q17-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、職業生活についてどのように感じていましたか。								
単位：%、太字は実数								
女性・離職者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
仕事の内容・やりがい	満足	14.0	11.0	16.8	19.2	11.3	50.0	
	やや満足	35.7	33.4	34.6	37.4	38.0	25.0	
	どちらでもない	22.0	26.4	23.6	21.1	17.7	8.3	
	やや不満	14.4	14.5	12.5	12.8	16.8		
	不満	13.8	14.7	12.5	9.4	16.2	16.7	
人事評価・処遇のあり方	満足	7.0	7.3	6.1	7.2	7.0	8.3	
	やや満足	22.1	21.1	21.8	22.3	23.2	25.0	
	どちらでもない	33.4	36.5	37.5	31.7	29.2	16.7	
	やや不満	18.9	17.4	16.8	19.2	21.5	16.7	
	不満	18.6	17.8	17.9	19.6	19.0	33.3	
職場の人間関係、コミュニケーション	満足	12.9	11.0	14.3	13.2	13.9	8.3	
	やや満足	29.0	27.9	27.5	31.7	29.2	33.3	
	どちらでもない	24.0	26.4	23.9	23.8	22.6		
	やや不満	16.3	14.9	18.2	12.1	18.3	41.7	
	不満	17.8	19.8	16.1	19.2	16.0	16.7	
賃金	満足	7.6	7.7	5.0	5.3	10.2	8.3	
	やや満足	21.0	19.6	20.0	18.1	24.1	41.7	
	どちらでもない	25.0	27.5	23.9	25.7	23.5		
	やや不満	22.8	20.9	27.9	22.3	22.2	8.3	
	不満	23.7	24.4	23.2	28.7	20.0	41.7	
労働時間・休日等の労働条件	満足	11.2	12.5	8.6	9.4	12.2	25.0	
	やや満足	19.3	16.5	17.1	21.9	21.3	41.7	
	どちらでもない	20.8	24.2	21.8	20.0	17.9		
	やや不満	21.1	21.5	24.6	20.4	19.4	8.3	
	不満	27.5	25.3	27.9	28.3	29.2	25.0	
職場の環境(照明、空調、騒音等)	満足	15.3	13.4	17.5	13.6	16.4	25.0	
	やや満足	30.0	24.6	31.4	32.1	32.8	50.0	
	どちらでもない	30.7	35.2	28.9	29.8	28.4	8.3	
	やや不満	14.0	14.5	14.6	13.6	13.4	8.3	
	不満	10.1	12.3	7.5	10.9	9.0	8.3	
雇用の安定性	満足	21.2	18.0	23.9	21.5	22.4	25.0	
	やや満足	31.1	26.2	32.5	32.8	34.1	25.0	
	どちらでもない	28.3	38.0	24.6	24.2	23.5	25.0	
	やや不満	9.9	8.8	9.6	9.4	11.5		
	不満	9.6	9.0	9.3	12.1	8.5	25.0	
福利厚生	満足	17.6	18.2	18.6	15.5	17.3	25.0	
	やや満足	27.1	24.2	24.6	29.8	30.5	8.3	
	どちらでもない	28.6	34.1	26.4	25.7	26.0	33.3	
	やや不満	13.6	12.7	13.6	13.6	14.5	16.7	
	不満	13.1	10.8	16.8	15.5	11.7	16.7	
教育訓練・能力開発のあり方	満足	7.8	7.3	12.1	6.8	6.0	16.7	
	やや満足	19.9	17.6	18.9	22.6	21.1	25.0	
	どちらでもない	36.6	40.0	33.9	38.5	34.3	16.7	
	やや不満	18.6	18.2	17.9	15.5	21.5		
	不満	17.2	16.9	17.1	16.6	17.1	41.7	
家庭・個人としての生活との両立	満足	7.4	7.7	7.1	6.0	7.5	25.0	
	やや満足	19.4	18.7	17.5	22.6	19.8		
	どちらでもない	30.1	36.7	31.4	30.6	23.0	16.7	
	やや不満	20.3	18.5	21.8	17.4	22.4	33.3	
	不満	22.9	18.5	22.1	23.4	27.3	25.0	
職業生活全体	満足	5.3	5.9	6.4	4.5	4.1	16.7	
	やや満足	20.9	16.3	18.9	26.0	23.5	25.0	
	どちらでもない	36.8	40.4	40.7	34.7	32.8	8.3	
	やや不満	18.6	17.8	17.9	15.8	21.7	8.3	
	不満	18.4	19.6	16.1	18.9	17.9	41.7	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		1,481	455	280	265	469	12	

Q18 正社員として働き始めてから現在までに、あなたが会社で経験した出来事をすべてお選びください。(MA) 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
残業代が時間通り支払われなかったことがあった	21.2	20.4	29.9	11.8	21.9	16.2
希望した日に有給休暇をとれなかったことがあった	23.8	26.9	32.1	18.4	22.3	18.1
会社から一方的に労働条件(勤務時間、日数、賃金等)を変更された	12.9	15.9	18.5	10.5	11.6	6.9
自分が希望しない配置転換があった	19.4	17.6	22.8	21.1	20.1	17.6
人手不足で一人でも仕事を休むと業務が立ちゆかなくなる状況があった	27.8	33.7	32.6	25.0	25.3	20.4
商品の買い取りや、業務に関わる諸経費(制服・備品・研修費用等)の自己負担を強要された	6.1	5.9	6.5	5.3	6.8	3.7
暴言、暴力、いじめ・嫌がらせ(ハラスメント行為)を受けた	14.0	17.2	16.3	13.2	12.4	12.0
仕事が原因でけがや病気をした	10.9	14.2	13.0	7.9	9.8	6.5
辞職を申し出ても、辞めさせてもらえなかった	2.7	2.3	4.9	3.9	2.9	0.5
結婚、出産、育児、介護を理由に、会社側から辞めるようにいわれた	0.8	0.4	0.5	1.3	1.2	0.5
その他	0.1	0.5				
いずれもない	36.6	33.2	26.1	39.5	38.6	44.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
残業代が時間通り支払われなかったことがあった	23.6	17.3	31.7	22.7	24.2	25.0
希望した日に有給休暇をとれなかったことがあった	24.0	29.2	25.0	25.3	22.0	20.0
会社から一方的に労働条件(勤務時間、日数、賃金等)を変更された	8.8	8.6	10.0	8.7	8.5	10.0
自分が希望しない配置転換があった	18.0	16.2	15.8	20.0	17.9	25.0
人手不足で一人でも仕事を休むと業務が立ちゆかなくなる状況があった	29.2	32.4	34.2	36.7	25.5	22.5
商品の買い取りや、業務に関わる諸経費(制服・備品・研修費用等)の自己負担を強要された	4.9	5.4	3.3	6.0	4.8	5.0
暴言、暴力、いじめ・嫌がらせ(ハラスメント行為)を受けた	17.1	19.5	17.5	21.3	15.0	17.5
仕事が原因でけがや病気をした	9.1	11.4	15.8	11.3	6.3	7.5
辞職を申し出ても、辞めさせてもらえなかった	4.1	7.6	6.7	3.3	2.6	2.5
結婚、出産、育児、介護を理由に、会社側から辞めるようにいわれた	1.2	1.1		2.0	1.1	2.5
その他	0.1				0.2	
いずれもない	35.7	34.6	30.0	27.3	39.0	45.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,036	185	120	150	541	40

Q18-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働いている間に、あなたが会社で経験した出来事をすべてお選びください。(MA) 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
残業代が時間通り支払われなかったことがあった	32.8	29.1	36.9	35.9	35.0	30.2
希望した日に有給休暇をとれなかったことがあった	28.3	26.0	33.6	28.2	28.7	27.9
会社から一方的に労働条件(勤務時間、日数、賃金等)を変更された	16.9	15.3	24.8	23.1	15.0	18.6
自分が希望しない配置転換があった	17.5	13.1	21.5	20.5	19.2	27.9
人手不足で一人でも仕事を休むと業務が立ちゆかなくなる状況があった	30.0	28.9	33.6	33.3	29.4	30.2
商品の買い取りや、業務に関わる諸経費(制服・備品・研修費用等)の自己負担を強要された	7.9	5.0	6.0	7.7	11.7	4.7
暴言、暴力、いじめ・嫌がらせ(ハラスメント行為)を受けた	24.0	20.3	25.5	25.6	26.6	27.9
仕事が原因でけがや病気をした	14.7	14.1	16.8	23.1	14.0	14.0
辞職を申し出ても、辞めさせてもらえなかった	8.4	7.9	13.4	15.4	7.5	
結婚、出産、育児、介護を理由に、会社側から辞めるようにいわれた	0.7	0.5	2.0		0.7	
その他	1.2	1.7			1.2	2.3
いずれもない	28.8	34.8	21.5	33.3	24.8	30.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
残業代が時間通り支払われなかったことがあった	32.3	28.6	35.4	39.2	30.1	33.3
希望した日に有給休暇をとれなかったことがあった	31.4	27.7	35.4	36.6	29.9	25.0
会社から一方的に労働条件(勤務時間、日数、賃金等)を変更された	14.2	12.7	16.8	14.3	14.3	8.3
自分が希望しない配置転換があった	17.6	17.6	15.7	17.0	19.2	16.7
人手不足で一人でも仕事を休むと業務が立ちゆかなくなる状況があった	40.2	36.3	45.0	46.4	38.0	33.3
商品の買い取りや、業務に関わる諸経費(制服・備品・研修費用等)の自己負担を強要された	9.0	5.9	10.0	12.1	10.0	
暴言、暴力、いじめ・嫌がらせ(ハラスメント行為)を受けた	24.4	26.2	26.1	22.6	22.6	33.3
仕事が原因でけがや病気をした	16.7	16.9	21.8	16.2	13.6	25.0
辞職を申し出ても、辞めさせてもらえなかった	12.2	13.4	16.4	9.8	10.2	
結婚、出産、育児、介護を理由に、会社側から辞めるようにいわれた	4.3	4.6	5.0	3.4	4.3	
その他	1.0	1.8	0.7	1.5	0.2	
いずれもない	23.3	27.9	18.2	20.4	23.0	41.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,481	455	280	265	469	12

Q19 正社員として働き始めてから現在までの間に、仕事や働くことについての悩みを相談したことがある相手をすべてお答えください。(MA)						
単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
勤務先の人事労務担当者	10.3	7.9	12.0	6.6	11.7	9.7
勤務先の上司、先輩社員	46.6	46.6	48.4	39.5	47.3	44.4
勤務先の同年代の同僚	37.2	32.3	40.2	15.8	40.9	38.0
勤務先以外の友人・知人	32.0	28.3	35.3	21.1	34.4	31.0
家族や親族	30.6	31.2	28.3	23.7	30.6	33.3
卒業した学校（先生、キャリアセンターの職員など）	4.2	3.4	5.4	3.9	4.2	5.6
行政機関の職員や相談窓口（ハローワーク、ジョブカフェなど）	2.7	2.0	2.2		3.7	1.4
医師・カウンセラー等の専門家（行政機関の職員を除く）	3.8	2.5	2.7	1.3	4.8	4.2
労働組合	2.2	2.2	2.7	1.3	2.2	2.3
その他						
悩みはあったが誰にも相談しなかった	10.4	11.1	10.3	11.8	9.4	12.5
悩みはなかった	18.2	21.7	15.2	25.0	15.6	21.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
勤務先の人事労務担当者	11.9	9.2	15.8	11.3	12.6	5.0
勤務先の上司、先輩社員	56.9	57.8	54.2	61.3	56.2	52.5
勤務先の同年代の同僚	49.3	40.5	45.0	51.3	52.7	50.0
勤務先以外の友人・知人	52.9	39.5	53.3	57.3	56.7	45.0
家族や親族	52.1	50.3	52.5	57.3	51.9	42.5
卒業した学校（先生、キャリアセンターの職員など）	4.2	1.6	9.2	6.0	3.3	7.5
行政機関の職員や相談窓口（ハローワーク、ジョブカフェなど）	1.9	1.6	1.7	3.3	1.5	5.0
医師・カウンセラー等の専門家（行政機関の職員を除く）	5.1	3.8	6.7	8.7	4.3	5.0
労働組合	2.0	2.2	0.8	1.3	2.2	5.0
その他	0.2				0.2	2.5
悩みはあったが誰にも相談しなかった	5.5	7.0	6.7	4.0	5.4	2.5
悩みはなかった	8.9	9.2	8.3	6.7	9.2	12.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,036	185	120	150	541	40

Q19-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働いている間に、仕事や働くことについての悩みを相談したことがある相手をすべてお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
勤務先の人事労務担当者	8.3	7.9	6.7	7.7	9.6	7.0
勤務先の上司、先輩社員	39.1	33.9	44.3	23.1	41.8	60.5
勤務先の同年代の同僚	28.1	18.6	28.2	20.5	35.3	55.8
勤務先以外の友人・知人	27.4	21.0	30.2	10.3	32.2	46.5
家族や親族	32.8	27.2	46.3	33.3	33.2	37.2
卒業した学校（先生、キャリアセンターの職員など）	4.3	3.8	10.7	2.6	2.6	4.7
行政機関の職員や相談窓口（ハローワーク、ジョブカフェなど）	1.6	1.7	1.3		1.6	2.3
医師・カウンセラー等の専門家（行政機関の職員を除く）	3.5	3.3	4.7	7.7	2.6	7.0
労働組合	0.6	0.2	0.7		1.2	
その他	0.1				0.2	
悩みはあったが誰にも相談しなかった	19.7	23.9	14.8	28.2	17.8	7.0
悩みはなかった	12.6	16.7	11.4	15.4	9.6	4.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
勤務先の人事労務担当者	9.7	10.1	6.8	7.5	12.4	8.3
勤務先の上司、先輩社員	55.6	48.8	59.3	53.6	61.2	58.3
勤務先の同年代の同僚	45.7	39.6	45.0	47.2	51.4	41.7
勤務先以外の友人・知人	46.0	38.2	47.1	49.4	50.7	58.3
家族や親族	49.7	45.7	52.5	50.6	51.4	50.0
卒業した学校（先生、キャリアセンターの職員など）	4.5	2.4	5.4	7.5	4.1	8.3
行政機関の職員や相談窓口（ハローワーク、ジョブカフェなど）	2.1	0.9	1.8	1.5	3.8	
医師・カウンセラー等の専門家（行政機関の職員を除く）	4.0	2.9	4.6	3.0	4.9	16.7
労働組合	0.9	0.7	0.4	1.5	1.1	
その他	0.2	0.4		0.4		
悩みはあったが誰にも相談しなかった	8.0	10.8	6.8	7.2	6.2	16.7
悩みはなかった	5.7	7.9	4.3	4.9	4.7	8.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,481	455	280	265	469	12

Q20 あなたのお勤め先の、現在の従業員は何人くらいですか。 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門卒学校	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1～9人	2.8	5.6	4.3	5.3	1.1	1.4
10～29人	5.9	8.1	8.7	7.9	4.7	2.8
30～99人	12.2	12.5	17.9	22.4	11.7	5.1
100～299人	14.0	13.4	20.7	13.2	14.0	10.6
300～999人	14.7	10.4	17.4	17.1	16.0	17.1
1000人以上	37.4	35.7	18.5	28.9	38.3	56.9
官公庁・公営事業所	12.9	14.3	12.5	5.3	14.3	6.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1～9人	4.3	7.0	12.5	4.7	1.8	
10～29人	8.4	12.4	16.7	9.3	5.4	2.5
30～99人	14.8	12.4	17.5	26.0	12.4	7.5
100～299人	16.2	22.2	16.7	11.3	15.7	12.5
300～999人	16.5	14.1	15.8	14.0	17.7	22.5
1000人以上	30.7	23.8	18.3	26.7	35.5	50.0
官公庁・公営事業所	9.1	8.1	2.5	8.0	11.5	5.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40

Q20-1 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前の、その会社の従業員は何人くらいでしたか。 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1～9人	7.4	10.7	10.1		4.2	4.7
10～29人	13.6	18.4	17.4	17.9	8.2	4.7
30～99人	18.5	21.7	23.5	10.3	15.7	4.7
100～299人	20.4	21.0	16.1	30.8	21.0	14.0
300～999人	15.8	7.9	17.4	17.9	22.0	23.3
1000人以上	19.6	15.5	10.7	20.5	24.3	41.9
官公庁・公営事業所	4.7	4.8	4.7	2.6	4.7	7.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1～9人	11.1	13.2	20.7	10.6	3.8	8.3
10～29人	15.7	15.6	17.5	24.5	9.8	8.3
30～99人	19.2	21.5	14.6	25.7	16.2	8.3
100～299人	18.0	18.9	16.1	16.2	19.2	16.7
300～999人	16.9	13.4	18.9	10.2	23.0	16.7
1000人以上	16.3	14.3	10.7	11.7	24.3	16.7
官公庁・公営事業所	2.8	3.1	1.4	1.1	3.6	25.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12

Q21 あなたのお勤め先の、現在の事業内容（業種）は何ですか。 単位：％、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
鉱業、採石業、砂利採取業	0.7	0.4	1.1		0.9	0.9
建設業	4.4	5.0	3.3	9.2	3.9	4.2
製造業	27.7	41.8	8.7	34.2	18.2	49.5
電気・ガス・熱供給・水道業	2.9	3.2	0.5	6.6	2.5	4.6
情報通信業（マスコミ除く）	7.5	2.5	9.8	3.9	9.9	8.8
運輸業、郵便業	7.0	12.7	8.2	6.6	4.6	2.8
卸売業	3.3	2.2	2.2	1.3	4.8	0.9
小売業	4.1	4.1	4.9	7.9	4.4	0.5
金融業・保険業	5.5	1.1	1.6		10.1	0.9
不動産業、物品賃貸業	1.3	0.5	0.5		2.1	0.9
学術研究、専門・技術サービス業（コンサルティング・広告業除く）	1.3	0.5	2.2		1.4	2.8
宿泊業、飲食サービス業	1.5	1.8	3.3	2.6	1.3	
生活関連サービス業、娯楽業（理容、クリーニング、旅行など）	0.5	0.7	1.1		0.4	
教育、学習支援業	3.4	0.4	1.1	1.3	5.0	6.5
医療、福祉	8.5	1.3	29.3	13.2	8.9	6.0
複合サービス事業（郵便局・協同組合など）	0.4	0.4		1.3	0.6	
コンサルティング・広告業	0.6	0.4			0.8	1.4
マスコミ（新聞・出版・テレビ・ラジオ等）	0.6	0.2	0.5		0.9	0.5
サービス業（他に分類されないもの）	6.4	6.1	9.8	7.9	6.4	4.2
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	11.9	14.2	11.4	3.9	12.9	4.6
その他	0.3	0.7	0.5		0.2	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
鉱業、採石業、砂利採取業					0.3	
建設業	3.6	3.8	2.5	4.7	3.5	2.5
製造業	12.8	28.6	1.7	13.3	8.1	35.0
電気・ガス・熱供給・水道業	1.2	2.2	0.8	1.3	0.7	2.5
情報通信業（マスコミ除く）	4.4	4.3	0.8	1.3	5.9	7.5
運輸業、郵便業	2.7	4.3	1.7	2.7	2.4	2.5
卸売業	2.9	1.1		2.7	4.4	
小売業	6.2	8.1	5.8	6.7	5.4	7.5
金融業・保険業	9.7	5.4	0.8	10.0	13.5	2.5
不動産業、物品賃貸業	2.3	2.7		2.7	2.8	
学術研究、専門・技術サービス業（コンサルティング・広告業除く）	2.0	1.6	2.5	1.3	2.0	5.0
宿泊業、飲食サービス業	2.6	3.2	4.2	2.0	2.4	
生活関連サービス業、娯楽業（理容、クリーニング、旅行など）	2.9	2.2	6.7	1.3	2.8	2.5
教育、学習支援業	6.9	1.6		12.7	8.9	5.0
医療、福祉	24.9	10.8	62.5	26.7	21.6	15.0
複合サービス事業（郵便局・協同組合など）	0.3	1.1			0.2	
コンサルティング・広告業	0.9	1.6	0.8		0.9	
マスコミ（新聞・出版・テレビ・ラジオ等）	0.6		0.8	0.7	0.7	
サービス業（他に分類されないもの）	5.8	9.2	5.8	4.7	5.0	5.0
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	7.1	7.6	2.5	5.3	8.7	5.0
その他	0.2	0.5				2.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,036	185	120	150	541	40

Q21-1 あなたが「初めての正社員勤務先」を辞める直前の、その会社の事業内容（業種）は何でしたか。 単位：％、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
鉱業、採石業、砂利採取業	0.2				0.5	
建設業	7.0	8.8	4.0	7.7	5.8	9.3
製造業	24.7	35.1	13.4	10.3	18.7	34.9
電気・ガス・熱供給・水道業	2.7	3.6	1.3	2.6	2.1	4.7
情報通信業（マスコミ除く）	7.6	3.3	9.4	7.7	11.7	2.3
運輸業、郵便業	3.8	6.2		7.7	2.8	
卸売業	3.3	1.9	1.3	5.1	5.4	2.3
小売業	5.8	4.8	2.7	10.3	8.2	
金融業・保険業	3.7	1.4	1.3	2.6	7.2	
不動産業、物品賃貸業	1.7	1.2	0.7		2.8	
学術研究、専門・技術サービス業（コンサルティング・広告業除く）	1.9	0.7	0.7	10.3	1.9	9.3
宿泊業、飲食サービス業	4.9	6.4	6.7	5.1	3.3	
生活関連サービス業、娯楽業（理容、クリーニング、旅行など）	1.9	2.1	3.4	2.6	1.2	2.3
教育、学習支援業	2.9	0.5	1.3	2.6	5.1	9.3
医療、福祉	9.2	3.3	28.9		8.2	16.3
複合サービス事業（郵便局・協同組合など）	0.4	0.5	0.7		0.2	
コンサルティング・広告業	0.9	0.2	0.7		1.9	
マスコミ（新聞・出版・テレビ・ラジオ等）	1.0	0.5			2.1	
サービス業（他に分類されないもの）	12.2	14.3	18.8	25.6	7.2	7.0
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	3.9	4.3	4.7		3.7	2.3
その他	0.3	0.7				
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
鉱業、採石業、砂利採取業	0.2	0.2			0.4	
建設業	2.2	1.8	1.4	1.9	3.0	8.3
製造業	8.8	16.0	2.5	6.8	6.8	8.3
電気・ガス・熱供給・水道業	1.1	1.3	0.4	0.8	1.5	
情報通信業（マスコミ除く）	2.8	2.9	0.4	1.1	5.3	
運輸業、郵便業	1.4	2.9		0.4	1.3	
卸売業	3.8	4.4	0.7	3.4	5.3	
小売業	10.5	13.8	6.1	5.3	13.0	8.3
金融業・保険業	5.7	4.8		4.5	10.7	
不動産業、物品賃貸業	0.9	0.9	0.4	0.4	1.7	
学術研究、専門・技術サービス業（コンサルティング・広告業除く）	1.7	1.8	2.5	0.8	1.5	8.3
宿泊業、飲食サービス業	6.3	10.1	5.7	5.7	3.6	
生活関連サービス業、娯楽業（理容、クリーニング、旅行など）	5.3	5.1	11.8	2.3	3.2	8.3
教育、学習支援業	7.1	0.7	2.1	24.5	6.0	25.0
医療、福祉	25.5	15.2	48.6	30.6	19.0	16.7
複合サービス事業（郵便局・協同組合など）	0.9	0.7	0.4	0.4	1.9	
コンサルティング・広告業	0.7	0.2	0.7		1.5	
マスコミ（新聞・出版・テレビ・ラジオ等）	0.7	0.2	0.4	0.4	1.5	
サービス業（他に分類されないもの）	11.5	13.0	14.3	9.1	10.0	8.3
公務（学校・病院・福祉施設を除く）	2.2	3.1	1.1	1.1	2.6	8.3
その他	0.7	1.1	0.7	0.8	0.2	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,481	455	280	265	469	12

Q22 あなたのお勤め先の、現在の従業員構成をお答えください。 単位：%、太字は実数							
男性・勤続者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
その会社で働く人全体に占める、正社員の割合	10%未満	4.0	5.6	3.8	6.6	3.2	2.8
	10%～30%未満	8.3	8.4	10.3	9.2	8.6	5.1
	30%～50%未満	16.1	16.7	18.5	15.8	16.3	12.0
	50%～70%未満	23.0	24.0	21.2	15.8	22.3	28.2
	70%以上	48.5	45.3	46.2	52.6	49.7	51.9
その会社の正社員に占める、女性の割合	10%未満	19.9	30.1	19.6	30.3	14.6	14.8
	10%～30%未満	38.2	43.4	31.5	38.2	34.2	49.1
	30%～50%未満	26.7	18.5	27.2	15.8	32.9	22.7
	50%～70%未満	10.5	4.7	10.9	6.6	13.8	11.1
	70%以上	4.7	3.4	10.9	9.2	4.5	2.3
その会社の正社員に占める、若者（15～34歳）の割合	10%未満	6.7	9.1	7.1	7.9	6.2	2.3
	10%～30%未満	33.3	34.9	24.5	38.2	32.2	39.4
	30%～50%未満	45.2	43.9	49.5	35.5	45.4	47.2
	50%～70%未満	11.4	9.1	13.6	14.5	12.6	9.3
	70%以上	3.4	2.9	5.4	3.9	3.6	1.9
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
その会社で働く人全体に占める、正社員の割合	10%未満	4.5	5.4	5.8	5.3	3.9	2.5
	10%～30%未満	9.4	11.4	8.3	7.3	9.1	15.0
	30%～50%未満	16.7	17.3	15.0	24.7	15.3	7.5
	50%～70%未満	30.0	18.4	27.5	29.3	34.0	40.0
	70%以上	39.4	47.6	43.3	33.3	37.7	35.0
その会社の正社員に占める、女性の割合	10%未満	7.7	11.4	5.0	6.0	6.8	17.5
	10%～30%未満	17.9	22.7	9.2	17.3	17.7	25.0
	30%～50%未満	31.6	29.7	16.7	31.3	35.7	30.0
	50%～70%未満	22.8	17.3	30.0	16.7	24.6	25.0
	70%以上	20.1	18.9	39.2	28.7	15.2	2.5
その会社の正社員に占める、若者（15～34歳）の割合	10%未満	7.2	10.8	9.2	8.0	5.5	5.0
	10%～30%未満	29.2	34.1	19.2	34.7	28.1	32.5
	30%～50%未満	38.8	35.7	35.8	36.7	40.7	45.0
	50%～70%未満	16.9	11.4	23.3	11.3	18.9	17.5
	70%以上	7.8	8.1	12.5	9.3	6.8	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,036	185	120	150	541	40

Q22-1 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前の、その会社の従業員構成をお答えください。							
単位：％、太字は実数							
男性・離職者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
その会社で働く人全体に占める、正社員の割合	10％未満	5.8	8.1	10.1	5.1	2.8	
	10％～30％未満	9.6	9.5	8.1	15.4	9.3	11.6
	30％～50％未満	17.4	18.4	15.4	17.9	18.5	4.7
	50％～70％未満	19.2	19.6	22.8	5.1	18.5	23.3
	70％以上	48.0	44.4	43.6	56.4	50.9	60.5
その会社の正社員に占める、女性の割合	10％未満	26.7	40.6	17.4	35.9	15.9	23.3
	10％～30％未満	32.8	28.4	32.2	33.3	37.6	30.2
	30％～50％未満	26.3	20.5	22.8	28.2	31.8	37.2
	50％～70％未満	9.7	6.2	18.8	2.6	11.0	7.0
	70％以上	4.5	4.3	8.7		3.7	2.3
その会社の正社員に占める、若者（15～34歳）の割合	10％未満	10.6	15.8	8.7	2.6	7.5	4.7
	10％～30％未満	32.1	29.4	30.9	43.6	32.7	46.5
	30％～50％未満	35.6	35.8	37.6	35.9	35.7	25.6
	50％～70％未満	14.7	12.2	16.1	12.8	16.4	20.9
	70％以上	7.0	6.9	6.7	5.1	7.7	2.3
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
その会社で働く人全体に占める、正社員の割合	10％未満	4.6	4.2	6.4	7.5	2.3	
	10％～30％未満	12.2	15.4	6.8	12.5	12.4	8.3
	30％～50％未満	18.5	21.5	15.0	17.7	18.3	8.3
	50％～70％未満	22.7	19.1	26.8	23.0	23.0	41.7
	70％以上	42.0	39.8	45.0	39.2	43.9	41.7
その会社の正社員に占める、女性の割合	10％未満	7.2	8.8	5.4	4.9	8.3	
	10％～30％未満	16.7	21.1	7.1	12.5	20.5	25.0
	30％～50％未満	24.8	27.5	15.0	20.0	30.1	50.0
	50％～70％未満	21.5	20.0	25.0	14.7	25.2	8.3
	70％以上	29.7	22.6	47.5	47.9	16.0	16.7
その会社の正社員に占める、若者（15～34歳）の割合	10％未満	7.6	12.3	5.4	6.4	4.9	16.7
	10％～30％未満	24.4	28.1	15.7	21.1	27.9	25.0
	30％～50％未満	34.0	32.7	33.6	32.1	36.7	33.3
	50％～70％未満	19.5	16.5	23.9	18.9	20.3	16.7
	70％以上	14.4	10.3	21.4	21.5	10.2	8.3
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,481	455	280	265	469	12

Q23 あなたが、現在主に従事している仕事内容をお答えください。 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）	9.1	2.7	31.0	14.5	8.8	6.5
教育分野の専門・技術職（学校や幼稚園の教員など）	4.1	1.1	2.2		5.8	6.9
その他の専門・技術職	27.7	28.7	22.3	36.8	20.2	61.1
管理的職業	4.0	4.3	2.7	5.3	4.1	3.7
事務職	17.9	10.8	9.8	9.2	25.6	10.6
営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）	11.3	3.8	1.6	7.9	19.1	4.6
販売職（買い物に訪れた客に対応する仕事）	2.8	3.4	2.7	3.9	2.9	0.5
家事・介護・保健医療・福祉のサービス職（介護職、看護助手、学童保育指導員など）	0.3	0.2	0.5		0.4	
接客・給仕サービス職（飲食店の店長、娯楽施設のホール係など）	1.8	2.0	2.7	3.9	1.6	0.5
その他のサービス職（調理師、美容師、ビル管理人など）	2.6	3.2	4.3	1.3	2.2	1.4
保安職（警備員など）	2.7	5.6	4.3		1.6	
農林漁業従事者	0.4	1.1	0.5		0.1	
生産工程従事者（自動車整備など）	7.7	17.2	7.6	9.2	3.4	2.8
輸送・機械運転従事者	3.1	7.0	2.7	2.6	1.6	0.5
建設・採掘従事者	2.2	3.9	1.6	2.6	1.6	0.5
運搬・清掃・包装等従事者	2.2	4.7	3.3	1.3	1.0	0.5
その他	0.2	0.5		1.3	0.1	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）	22.1	4.9	50.8	27.3	20.9	12.5
教育分野の専門・技術職（学校や幼稚園の教員など）	5.6	0.5		11.3	7.0	5.0
その他の専門・技術職	10.6	8.6	10.8	6.0	10.2	42.5
管理的職業	1.3	2.2		0.7	1.1	5.0
事務職	33.8	40.5	18.3	29.3	37.7	12.5
営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）	7.9	5.9	1.7	7.3	10.2	7.5
販売職（買い物に訪れた客に対応する仕事）	6.5	10.3	4.2	4.0	6.5	5.0
家事・介護・保健医療・福祉のサービス職（介護職、看護助手、学童保育指導員など）	1.2	1.1	1.7	2.7	0.7	
接客・給仕サービス職（飲食店の店長、娯楽施設のホール係など）	2.3	2.7	2.5	2.7	2.0	2.5
その他のサービス職（調理師、美容師、ビル管理人など）	2.3	2.2	8.3	2.7	1.1	
保安職（警備員など）	1.1	3.2			0.9	
農林漁業従事者						
生産工程従事者（自動車整備など）	3.1	13.0		2.7	0.4	5.0
輸送・機械運転従事者	0.7	2.2			0.6	
建設・採掘従事者	0.5	0.5	0.8	0.7	0.4	
運搬・清掃・包装等従事者	0.9	2.2	0.8	2.0	0.2	
その他	0.3			0.7	0.2	2.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40

Q23-1 あなたが、「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、主に従事していた仕事内容をお答えください。						
単位：％、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）	8.3	2.9	27.5		7.0	16.3
教育分野の専門・技術職（学校や幼稚園の教員など）	2.6	0.5	2.0	2.6	4.4	7.0
その他の専門・技術職	22.1	19.6	19.5	23.1	22.0	55.8
管理的職業	2.6	2.9	3.4	2.6	1.9	4.7
事務職	8.8	6.0	10.1	5.1	11.7	7.0
営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）	14.7	5.7	4.7	7.7	28.3	7.0
販売職（買い物に訪れた客に対応する仕事）	4.5	4.3	1.3	12.8	5.1	2.3
家事・介護・保健医療・福祉のサービス職（介護職、看護助手、学童保育指導員など）	0.9	1.2	1.3		0.7	
接客・給仕サービス職（飲食店の店長、娯楽施設のホール係など）	5.1	6.7	3.4	2.6	4.9	
その他のサービス職（調理師、美容師、ビル管理人など）	6.3	8.4	10.1	15.4	2.8	
保安職（警備員など）	2.5	4.3			2.1	
農林漁業従事者	0.6	1.4			0.2	
生産工程従事者（自動車整備など）	9.5	17.2	8.7	10.3	3.0	
輸送・機械運転従事者	2.5	4.3	0.7	5.1	1.4	
建設・採掘従事者	5.3	8.1	5.4	10.3	2.6	
運搬・清掃・包装等従事者	3.6	6.4	2.0	2.6	1.9	
その他	0.1	0.2				
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）	21.3	8.4	41.1	30.9	16.8	16.7
教育分野の専門・技術職（学校や幼稚園の教員など）	5.1	0.7	2.5	16.2	4.3	16.7
その他の専門・技術職	7.4	7.0	8.2	4.5	8.7	16.7
管理的職業	1.4	1.3	0.7	1.5	1.7	
事務職	24.0	28.4	12.1	22.3	27.3	41.7
営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）	7.5	3.7	1.8	3.4	17.1	
販売職（買い物に訪れた客に対応する仕事）	11.1	16.3	7.1	8.3	10.4	
家事・介護・保健医療・福祉のサービス職（介護職、看護助手、学童保育指導員など）	1.8	2.9	2.5	1.1	0.9	
接客・給仕サービス職（飲食店の店長、娯楽施設のホール係など）	7.6	13.2	5.7	2.6	6.2	
その他のサービス職（調理師、美容師、ビル管理人など）	7.6	6.8	16.8	5.7	4.1	
保安職（警備員など）	0.5	0.7		0.8	0.6	
農林漁業従事者	0.2	0.4	0.4			
生産工程従事者（自動車整備など）	2.0	4.4	1.1	1.1	0.6	
輸送・機械運転従事者	0.4	1.3				
建設・採掘従事者	0.4	0.9		0.4		8.3
運搬・清掃・包装等従事者	1.4	3.3		0.8	0.9	
その他	0.3	0.4		0.4	0.4	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,481	455	280	265	469	12

Q24 現在あなたが、受け取っている月あたりのお給料（税込）はいくらですか。 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
14万円以下	4.2	6.5	4.3	14.5	2.8	1.4
15～19万円	16.7	18.6	26.1	23.7	15.9	4.6
20～24万円	30.9	29.6	33.7	18.4	33.6	24.1
25～29万円	19.7	16.8	17.4	22.4	20.6	24.1
30万円以上	28.5	28.5	18.5	21.1	27.1	45.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
14万円以下	12.4	26.5	18.3	20.7	4.4	5.0
15～19万円	34.1	42.7	36.7	39.3	30.5	15.0
20～24万円	33.1	22.7	27.5	26.7	39.0	42.5
25～29万円	13.0	4.9	12.5	9.3	16.3	22.5
30万円以上	7.4	3.2	5.0	4.0	9.8	15.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40

Q24-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、あなたが受け取った月あたりのお給料（税込）はいくらでしたか。 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
14万円以下	17.0	27.4	14.1	23.1	8.4	4.7
15～19万円	29.0	34.4	37.6	43.6	21.7	7.0
20～24万円	33.2	25.3	37.6	15.4	41.1	32.6
25～29万円	11.2	6.7	6.0	10.3	16.6	20.9
30万円以上	9.6	6.2	4.7	7.7	12.1	34.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
14万円以下	24.6	42.6	25.7	21.9	8.3	8.3
15～19万円	39.1	37.4	42.1	52.8	30.9	50.0
20～24万円	25.6	16.3	20.0	19.2	42.0	8.3
25～29万円	7.4	2.9	8.9	3.4	13.0	16.7
30万円以上	3.3	0.9	3.2	2.6	5.8	16.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12

Q25 現在あなたは1週間あたり平均して何時間働いていますか（休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。30分単位切り上げ）。単位：%、太字は実数

男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
30時間未満	8.2	9.5	6.5	15.8	7.0	9.3
30時間以上35時間未満	4.9	6.1	6.0	5.3	3.9	5.1
35時間以上40時間未満	11.2	12.5	9.8	11.8	11.4	7.9
40時間以上45時間未満	27.7	27.4	35.9	30.3	26.8	24.5
45時間以上50時間未満	19.2	16.8	16.3	18.4	20.3	23.1
50時間以上55時間未満	12.3	11.3	9.2	9.2	13.5	13.4
55時間以上60時間未満	5.4	5.0	8.7	1.3	5.1	6.5
60時間以上65時間未満	3.9	3.4	3.8		4.7	2.8
65時間以上70時間未満	2.0	3.0	1.1	2.6	1.2	3.2
70時間以上75時間未満	1.8	0.9	0.5		2.7	1.9
75時間以上80時間未満	0.8	1.1	1.6	1.3	0.5	0.9
80時間以上	2.6	2.9	0.5	3.9	3.0	1.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216

女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
30時間未満	10.7	12.4	12.5	10.0	10.2	7.5
30時間以上35時間未満	5.9	9.7	6.7	8.0	3.7	7.5
35時間以上40時間未満	16.7	16.8	17.5	20.0	16.1	10.0
40時間以上45時間未満	34.0	33.5	35.8	31.3	34.4	35.0
45時間以上50時間未満	15.9	14.1	12.5	14.7	17.4	20.0
50時間以上55時間未満	6.8	4.9	3.3	6.7	8.1	7.5
55時間以上60時間未満	3.2	3.8	4.2	4.7	2.4	2.5
60時間以上65時間未満	2.9	2.2	2.5	2.0	3.5	2.5
65時間以上70時間未満	0.7	0.5		0.7	0.7	2.5
70時間以上75時間未満	1.3	1.1	1.7	0.7	1.5	
75時間以上80時間未満	0.6		0.8	0.7	0.6	2.5
80時間以上	1.4	1.1	2.5	0.7	1.5	2.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40

Q25-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、あなたは1週間あたり平均して何時間働いていましたか（休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。30分単位切り上げ）。単位：%、太字は実数

男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
30時間未満	7.7	8.6	10.1	15.4	5.4	7.0
30時間以上35時間未満	4.8	5.0	5.4	5.1	4.7	2.3
35時間以上40時間未満	8.5	9.3	5.4	10.3	8.4	11.6
40時間以上45時間未満	20.0	20.3	22.1	15.4	19.6	18.6
45時間以上50時間未満	14.6	16.5	9.4	12.8	15.2	9.3
50時間以上55時間未満	13.8	12.4	11.4	12.8	15.2	23.3
55時間以上60時間未満	6.1	5.7	8.1	2.6	5.8	9.3
60時間以上65時間未満	6.5	6.4	6.7	2.6	7.2	2.3
65時間以上70時間未満	3.4	3.1	5.4	5.1	3.0	2.3
70時間以上75時間未満	3.3	2.4	3.4	2.6	4.2	4.7
75時間以上80時間未満	1.9	1.9	4.0	2.6	1.2	
80時間以上	9.3	8.4	8.7	12.8	10.0	9.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43

女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
30時間未満	8.0	11.0	6.8	6.0	6.6	16.7
30時間以上35時間未満	5.5	6.2	5.0	7.9	3.6	8.3
35時間以上40時間未満	11.1	13.8	10.7	8.3	10.2	8.3
40時間以上45時間未満	27.0	25.7	27.5	27.2	27.9	25.0
45時間以上50時間未満	13.8	13.8	12.9	15.1	13.6	16.7
50時間以上55時間未満	12.4	11.4	11.8	13.2	13.4	
55時間以上60時間未満	5.5	4.8	3.6	5.7	7.2	
60時間以上65時間未満	5.8	4.4	8.2	7.2	5.1	
65時間以上70時間未満	3.4	2.9	3.9	2.6	3.8	8.3
70時間以上75時間未満	2.7	2.2	2.5	3.4	2.8	8.3
75時間以上80時間未満	1.0	1.8	0.7	1.1	0.4	
80時間以上	3.9	2.0	6.4	2.3	5.1	8.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12

Q26 現在あなたは、主にどのような労働時間の制度の下で働いていますか。 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
通常の勤務時間制度（以下のいずれにも該当しない場合）	62.2	53.9	58.7	53.9	70.4	51.4
フレックスタイム制度（一定の時間内で、始業・終業時刻を自分で調整できる）	14.7	8.6	7.1	22.4	13.8	38.4
変形労働時間制度（繁忙期など、一定の期間だけ勤務時間が異なる）	5.0	7.3	6.0	6.6	4.1	1.4
交代制（昼シフト、夜シフトなど）	12.6	24.2	23.9	13.2	6.5	1.4
裁量労働制・みなし労働時間制（あらかじめ決められた時間を働いたと見なされる）	3.1	2.0	1.6	1.3	3.8	5.1
時間管理なし（裁量労働制・見なし労働時間制以外で、管理・監督者などの場合）	2.4	3.9	2.7	2.6	1.5	2.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
通常の勤務時間制度（以下のいずれにも該当しない場合）	67.9	69.2	61.7	68.7	69.7	52.5
フレックスタイム制度（一定の時間内で、始業・終業時刻を自分で調整できる）	7.4	6.5	5.8	7.3	6.7	27.5
変形労働時間制度（繁忙期など、一定の期間だけ勤務時間が異なる）	5.2	8.1	2.5	4.0	5.2	5.0
交代制（昼シフト、夜シフトなど）	14.4	10.8	20.8	16.7	14.0	7.5
裁量労働制・みなし労働時間制（あらかじめ決められた時間を働いたと見なされる）	3.6	4.3	5.0	2.7	3.1	5.0
時間管理なし（裁量労働制・見なし労働時間制以外で、管理・監督者などの場合）	1.5	1.1	4.2	0.7	1.3	2.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,036	185	120	150	541	40

Q26-1 「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、あなたは主にどのような労働時間の制度の下で働いていましたか。 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
通常の勤務時間制度（以下のいずれにも該当しない場合）	59.6	56.8	59.1	59.0	62.9	55.8
フレックスタイム制度（一定の時間内で、始業・終業時刻を自分で調整できる）	6.1	2.9	4.7	5.1	8.2	23.3
変形労働時間制度（繁忙期など、一定の期間だけ勤務時間が異なる）	5.3	7.6	3.4	5.1	4.0	2.3
交代制（昼シフト、夜シフトなど）	15.7	20.0	22.8	15.4	10.0	4.7
裁量労働制・みなし労働時間制（あらかじめ決められた時間を働いたと見なされる）	6.5	3.6	2.7	7.7	10.0	11.6
時間管理なし（裁量労働制・見なし労働時間制以外で、管理・監督者などの場合）	6.9	9.1	7.4	7.7	4.9	2.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
通常の勤務時間制度（以下のいずれにも該当しない場合）	55.9	56.0	50.7	55.1	58.6	83.3
フレックスタイム制度（一定の時間内で、始業・終業時刻を自分で調整できる）	3.9	4.2	3.2	3.8	3.8	16.7
変形労働時間制度（繁忙期など、一定の期間だけ勤務時間が異なる）	6.2	7.3	7.1	6.4	4.7	
交代制（昼シフト、夜シフトなど）	24.0	20.0	30.4	26.0	23.5	
裁量労働制・みなし労働時間制（あらかじめ決められた時間を働いたと見なされる）	4.9	4.6	5.0	3.8	5.8	
時間管理なし（裁量労働制・見なし労働時間制以外で、管理・監督者などの場合）	5.1	7.9	3.6	4.9	3.6	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,481	455	280	265	469	12

Q27 あなたの、現在の労働条件としてあてはまるものをすべてお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
原則として管理職にはならないことになっている	8.9	12.2	11.4	9.2	8.1	2.3
職種が特定されている(職種が変わることはない)	24.7	25.4	32.6	27.6	23.7	19.9
配置転換(所属部門の変更)はないことになっている	8.0	7.9	8.2	11.8	8.1	6.5
国内での転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	15.6	16.7	21.7	14.5	15.3	9.7
海外への転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	21.1	21.9	31.5	15.8	21.4	11.1
残業はしないことになっている	4.1	4.1	2.7	2.6	4.5	3.7
土曜・日曜・祝日は勤務しないことになっている	15.7	7.3	4.3	10.5	20.2	27.8
宿泊を伴う出張はないことになっている	4.9	4.7	9.2	2.6	5.1	1.9
夜勤はないことになっている	18.1	12.9	16.3	10.5	20.2	25.9
いずれもあてはまらない	38.0	42.1	32.6	40.8	35.6	42.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
原則として管理職にはならないことになっている	10.3	17.3	9.2	8.0	9.1	7.5
職種が特定されている(職種が変わることはない)	36.5	31.9	49.2	40.7	35.1	22.5
配置転換(所属部門の変更)はないことになっている	10.2	10.3	18.3	9.3	8.5	12.5
国内での転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	30.3	27.6	30.0	29.3	32.7	15.0
海外への転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	37.9	41.6	40.0	40.7	37.0	17.5
残業はしないことになっている	6.6	7.0	5.0	6.0	6.8	7.5
土曜・日曜・祝日は勤務しないことになっている	20.9	14.6	8.3	21.3	25.1	30.0
宿泊を伴う出張はないことになっている	15.2	22.7	25.0	15.3	10.7	10.0
夜勤はないことになっている	36.9	36.8	33.3	42.7	35.9	40.0
いずれもあてはまらない	22.3	23.8	23.3	17.3	22.4	30.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,036	185	120	150	541	40

Q27-1 あなたが、「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前の、労働条件としてあてはまるものをすべてお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
原則として管理職にはならないことになっている	8.6	10.5	8.1	15.4	7.0	2.3
職種が特定されている(職種が変わることはない)	23.7	25.1	31.5	23.1	19.2	27.9
配置転換(所属部門の変更)はないことになっている	9.7	10.5	11.4	15.4	7.9	9.3
国内での転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	15.9	17.2	18.1	15.4	14.5	9.3
海外への転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	19.0	20.5	20.1	25.6	16.8	16.3
残業はしないことになっている	6.6	6.7	6.0	7.7	6.1	11.6
土曜・日曜・祝日は勤務しないことになっている	11.4	6.4	10.7	5.1	15.0	32.6
宿泊を伴う出張はないことになっている	8.7	11.0	9.4	12.8	6.8	
夜勤はないことになっている	17.6	14.8	19.5	17.9	19.4	20.9
いずれもあてはまらない	43.1	46.8	34.2	38.5	44.2	32.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
原則として管理職にはならないことになっている	11.1	11.0	10.0	12.8	11.1	
職種が特定されている(職種が変わることはない)	39.9	31.2	49.3	49.1	37.7	33.3
配置転換(所属部門の変更)はないことになっている	12.3	11.6	13.9	14.3	10.7	16.7
国内での転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	26.6	25.1	29.6	29.1	24.7	33.3
海外への転勤(転居を伴う勤務地の変更)はないことになっている	35.9	33.4	36.8	35.5	38.0	33.3
残業はしないことになっている	5.0	5.9	3.6	7.9	3.4	
土曜・日曜・祝日は勤務しないことになっている	11.4	9.5	5.0	10.9	17.3	16.7
宿泊を伴う出張はないことになっている	20.1	20.4	23.2	22.3	16.8	8.3
夜勤はないことになっている	33.2	29.9	31.8	35.1	36.2	25.0
いずれもあてはまらない	26.1	31.4	25.0	21.1	24.1	41.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,481	455	280	265	469	12

Q28 あなたの、現在の、理想とするキャリアコースをお答えください。 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門卒学校	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
いくつかの会社を経験して、だんだん管理的な地位になっていくコース	15.6	14.5	16.3	13.2	16.6	14.4
1つの会社に長く勤め、だんだん管理的な地位になっていくコース	33.6	28.1	26.6	34.2	37.8	33.8
いくつかの会社を経験して、ある仕事の専門家になるコース	10.4	8.1	16.3	9.2	10.4	11.6
1つの会社に長く勤め、ある仕事の専門家になるコース	15.8	20.4	17.4	19.7	12.3	17.6
最初は雇われて働き、後に独立して仕事をするコース	5.8	5.4	7.6	1.3	5.8	6.9
1つの会社に長く勤め、自分の生活に合わせた働き方が選択できるコース	18.3	22.8	15.8	21.1	16.7	15.7
その他	0.2	0.2			0.3	
理想のコースはない	0.3	0.5		1.3	0.2	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
いくつかの会社を経験して、だんだん管理的な地位になっていくコース	9.4	9.2	7.5	7.3	10.9	2.5
1つの会社に長く勤め、だんだん管理的な地位になっていくコース	20.3	17.3	11.7	21.3	22.6	25.0
いくつかの会社を経験して、ある仕事の専門家になるコース	13.7	10.3	17.5	10.7	14.6	17.5
1つの会社に長く勤め、ある仕事の専門家になるコース	12.5	9.7	15.0	16.7	11.3	20.0
最初は雇われて働き、後に独立して仕事をするコース	4.5	4.3	6.7	4.0	4.3	5.0
1つの会社に長く勤め、自分の生活に合わせた働き方が選択できるコース	37.4	47.0	39.2	38.0	34.0	30.0
その他	1.5	0.5	2.5	1.3	1.8	
理想のコースはない	0.7	1.6		0.7	0.6	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40

Q28-1 あなたが、「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、理想としていたキャリアコースをお答えください。 単位：%、太字は実数						
男性・離職者	全体	高校卒	専門卒学校	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
いくつかの会社を経験して、だんだん管理的な地位になっていくコース	15.1	13.4	14.1	7.7	18.2	11.6
1つの会社に長く勤め、だんだん管理的な地位になっていくコース	29.6	27.2	19.5	20.5	36.7	25.6
いくつかの会社を経験して、ある仕事の専門家になるコース	12.6	9.8	19.5	10.3	13.1	14.0
1つの会社に長く勤め、ある仕事の専門家になるコース	15.2	13.8	15.4	20.5	14.3	32.6
最初は雇われて働き、後に独立して仕事をするコース	7.7	9.3	13.4	12.8	4.2	2.3
1つの会社に長く勤め、自分の生活に合わせた働き方が選択できるコース	17.9	23.6	16.8	25.6	12.6	11.6
その他	0.7	0.7	0.7		0.7	2.3
理想のコースはない	1.1	2.1	0.7	2.6	0.2	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,078	419	149	39	428	43
女性・離職者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
いくつかの会社を経験して、だんだん管理的な地位になっていくコース	8.9	10.3	8.6	10.2	7.0	8.3
1つの会社に長く勤め、だんだん管理的な地位になっていくコース	28.0	27.5	23.2	34.0	28.4	16.7
いくつかの会社を経験して、ある仕事の専門家になるコース	9.7	5.7	12.5	8.7	12.2	16.7
1つの会社に長く勤め、ある仕事の専門家になるコース	15.1	13.0	21.1	15.1	13.2	25.0
最初は雇われて働き、後に独立して仕事をするコース	3.6	3.7	5.4	2.6	3.0	8.3
1つの会社に長く勤め、自分の生活に合わせた働き方が選択できるコース	32.3	36.7	25.7	28.3	34.5	25.0
その他	1.6	2.0	2.9	0.4	1.1	
理想のコースはない	0.8	1.1	0.7	0.8	0.6	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,481	455	280	265	469	12

Q29 あなたは現在、仕事に関連して下記の行動をどの程度とることができますか。 単位：％、太字は実数							
男性・勤続者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
課題を見つけ出し、目標を持つ	できる	17.2	16.1	16.3	18.4	16.6	23.1
	ややできる	42.5	40.0	37.5	43.4	44.0	46.3
	どちらともいえない	29.2	31.7	35.3	31.6	27.7	23.6
	ややできない	7.2	7.7	5.4	2.6	7.8	6.0
	できない	3.9	4.5	5.4	3.9	3.9	0.9
具体的な方策を見つけて計画を立てる	できる	15.8	13.3	15.8	15.8	15.5	23.6
	ややできる	42.3	40.9	39.1	42.1	42.8	46.8
	どちらともいえない	31.2	33.7	37.0	32.9	30.3	23.6
	ややできない	6.6	7.0	3.3	5.3	7.4	5.1
	できない	4.1	5.2	4.9	3.9	4.0	0.9
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	できる	20.3	22.0	17.9	14.5	18.4	28.7
	ややできる	39.6	31.0	34.8	39.5	44.6	43.1
	どちらともいえない	29.8	35.7	37.0	34.2	26.8	20.4
	ややできない	6.6	6.5	6.0	7.9	6.7	6.9
	できない	3.7	4.8	4.3	3.9	3.5	0.9
最後までやりとげる	できる	27.1	28.0	24.5	25.0	26.0	32.4
	ややできる	36.3	32.4	36.4	31.6	38.7	37.0
	どちらともいえない	26.6	29.4	31.0	36.8	24.3	22.7
	ややできない	7.0	7.2	3.3	3.9	7.9	6.5
	できない	3.0	3.0	4.9	2.6	3.1	1.4
受身ではなく自分から行動する	できる	19.1	19.7	15.2	19.7	18.6	23.1
	ややできる	38.7	36.0	37.0	36.8	40.7	38.0
	どちらともいえない	31.9	31.7	39.1	35.5	31.1	28.7
	ややできない	6.5	7.7	3.8	3.9	6.1	8.3
	できない	3.8	4.8	4.9	3.9	3.5	1.9
自分を客観的に認識する	できる	15.7	17.2	12.5	10.5	15.0	19.9
	ややできる	36.4	33.9	36.4	35.5	37.3	39.4
	どちらともいえない	35.7	37.6	38.6	46.1	34.7	28.7
	ややできない	8.3	6.8	6.5	5.3	9.2	11.1
	できない	3.8	4.5	6.0	2.6	3.8	0.9
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	できる	14.6	16.7	9.8	14.5	14.0	16.7
	ややできる	34.6	31.7	35.9	42.1	34.6	38.0
	どちらともいえない	35.5	35.7	39.1	35.5	35.4	32.4
	ややできない	10.4	9.7	10.3	3.9	11.2	10.6
	できない	4.9	6.3	4.9	3.9	4.8	2.3
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	できる	15.8	17.2	15.2	10.5	15.3	17.1
	ややできる	36.3	31.7	30.4	46.1	36.9	46.8
	どちらともいえない	35.9	38.4	42.9	35.5	34.5	30.1
	ややできない	7.7	7.2	6.5	2.6	9.1	5.1
	できない	4.3	5.6	4.9	5.3	4.2	0.9
他者を説得して動かす	できる	12.7	14.5	12.5	9.2	11.4	15.3
	ややできる	31.9	25.8	29.9	32.9	34.6	36.6
	どちらともいえない	38.4	42.1	42.4	46.1	36.0	33.8
	ややできない	11.1	10.9	7.6	6.6	12.0	12.0
	できない	5.9	6.6	7.6	5.3	6.0	2.3
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	できる	15.5	13.4	16.8	13.2	16.6	15.3
	ややできる	35.6	31.2	34.2	39.5	36.3	43.1
	どちらともいえない	37.1	40.3	39.1	39.5	35.4	34.3
	ややできない	7.1	8.6	2.2	3.9	7.5	6.5
	できない	4.8	6.5	7.6	3.9	4.2	0.9
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		2,036	558	184	76	1,002	216

Q29 あなたは現在、仕事に関連して下記の行動をどの程度とることができますか。 単位：％、太字は実数							
女性・勤続者		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
課題を見つけ出し、目標を持つ	できる	15.3	11.4	15.0	20.7	14.4	25.0
	ややできる	43.1	37.8	37.5	39.3	47.9	32.5
	どちらともいえない	30.3	36.8	31.7	32.7	27.0	32.5
	ややできない	7.3	7.6	9.2	6.7	7.4	2.5
	できない	4.1	6.5	6.7	0.7	3.3	7.5
具体的な方策を見つけて計画を立てる	できる	15.7	14.6	16.7	17.3	14.6	27.5
	ややできる	43.3	34.6	40.8	47.3	46.4	35.0
	どちらともいえない	30.1	35.1	29.2	30.7	28.7	27.5
	ややできない	7.9	11.4	8.3	4.7	7.8	5.0
	できない	2.9	4.3	5.0		2.6	5.0
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	できる	20.7	20.5	21.7	20.0	20.0	30.0
	ややできる	44.4	39.5	38.3	46.0	47.5	37.5
	どちらともいえない	26.2	27.0	27.5	30.0	24.4	27.5
	ややできない	6.1	8.6	7.5	4.0	5.9	
	できない	2.7	4.3	5.0		2.2	5.0
最後までやりとげる	できる	31.9	35.7	38.3	28.0	30.5	27.5
	ややできる	43.4	38.4	34.2	46.7	46.4	42.5
	どちらともいえない	19.8	19.5	20.0	22.0	18.9	25.0
	ややできない	3.5	3.2	7.5	2.7	3.1	
	できない	1.4	3.2		0.7	1.1	5.0
受身ではなく自分から行動する	できる	21.6	25.4	22.5	22.0	19.8	25.0
	ややできる	40.3	32.4	35.8	46.7	42.7	32.5
	どちらともいえない	27.4	29.7	32.5	23.3	26.4	30.0
	ややできない	8.8	9.2	7.5	8.0	9.1	10.0
	できない	1.9	3.2	1.7		2.0	2.5
自分を客観的に認識する	できる	15.6	14.6	17.5	16.7	14.6	25.0
	ややできる	40.8	39.5	35.0	39.3	43.4	35.0
	どちらともいえない	33.1	37.8	35.8	35.3	30.3	32.5
	ややできない	8.3	5.4	9.2	8.7	9.2	5.0
	できない	2.1	2.7	2.5		2.4	2.5
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	できる	14.6	16.2	18.3	17.3	11.8	22.5
	ややできる	41.8	38.9	33.3	40.7	45.1	40.0
	どちらともいえない	29.2	28.1	33.3	33.3	27.7	25.0
	ややできない	10.6	10.3	11.7	6.7	11.6	10.0
	できない	3.9	6.5	3.3	2.0	3.7	2.5
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	できる	14.5	16.2	14.2	16.0	13.3	17.5
	ややできる	39.9	30.3	37.5	42.7	42.7	42.5
	どちらともいえない	31.6	35.7	31.7	32.7	30.3	25.0
	ややできない	10.2	10.3	13.3	5.3	10.9	10.0
	できない	3.9	7.6	3.3	3.3	2.8	5.0
他者を説得して動かす	できる	9.0	13.0	9.2	10.0	6.8	15.0
	ややできる	32.4	30.3	30.0	34.7	33.5	27.5
	どちらともいえない	35.7	33.5	39.2	34.7	35.7	40.0
	ややできない	15.7	13.5	15.0	14.0	17.6	10.0
	できない	7.1	9.7	6.7	6.7	6.5	7.5
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	できる	18.2	18.9	19.2	14.7	18.1	27.5
	ややできる	39.5	34.6	28.3	40.0	44.0	32.5
	どちらともいえない	30.1	29.7	32.5	36.0	28.1	30.0
	ややできない	8.4	9.7	15.0	6.7	7.2	5.0
	できない	3.8	7.0	5.0	2.7	2.6	5.0
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,036	185	120	150	541	40

Q29-1 あなたは「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、仕事に関連して下記の行動をどの程度とることができましたか。 単位：%、太字は実数		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
男性・離職者	課題を見つけ出し、目標を持つ	できる	10.5	9.5	13.4	2.6	10.7	14.0
		ややできる	25.7	17.2	24.8	25.6	33.2	37.2
		どちらともいえない	34.6	39.9	34.9	30.8	30.8	23.3
		ややできない	13.2	14.3	13.4	7.7	12.6	11.6
		できない	16.0	19.1	13.4	33.3	12.6	14.0
具体的な方策を見つけて計画を立てる	できる	10.2	8.8	12.8		11.2	14.0	
	ややできる	24.9	17.2	26.2	28.2	30.8	32.6	
	どちらともいえない	37.1	42.0	34.2	30.8	34.8	27.9	
	ややできない	11.4	11.7	14.8	10.3	10.0	11.6	
	できない	16.4	20.3	12.1	30.8	13.1	14.0	
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	できる	13.9	11.9	14.1	12.8	15.2	20.9	
	ややできる	27.0	21.0	28.2	20.5	31.8	39.5	
	どちらともいえない	34.2	38.2	36.9	23.1	32.2	16.3	
	ややできない	10.7	12.6	11.4	12.8	8.4	9.3	
	できない	14.2	16.2	9.4	30.8	12.4	14.0	
最後までやりとげる	できる	17.6	16.7	18.1	23.1	17.8	18.6	
	ややできる	28.0	23.2	30.9	15.4	32.0	37.2	
	どちらともいえない	30.8	34.1	28.9	35.9	29.0	18.6	
	ややできない	10.4	10.0	13.4	5.1	9.8	14.0	
	できない	13.2	16.0	8.7	20.5	11.4	11.6	
受身ではなく自分から行動する	できる	14.0	11.7	16.1	5.1	15.9	18.6	
	ややできる	24.0	19.6	28.2	28.2	25.9	30.2	
	どちらともいえない	35.3	38.9	32.2	28.2	34.6	25.6	
	ややできない	12.2	11.7	12.8	12.8	12.4	11.6	
	できない	14.5	18.1	10.7	25.6	11.2	14.0	
自分を客観的に認識する	できる	12.5	9.8	16.8	10.3	13.3	18.6	
	ややできる	23.4	17.4	24.2	17.9	28.3	34.9	
	どちらともいえない	40.0	45.1	37.6	28.2	38.1	27.9	
	ややできない	10.6	11.0	12.8	20.5	8.6	9.3	
	できない	13.5	16.7	8.7	23.1	11.7	9.3	
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	できる	11.1	9.5	13.4	12.8	11.4	14.0	
	ややできる	21.0	14.3	22.1	12.8	26.9	30.2	
	どちらともいえない	36.3	41.5	35.6	30.8	32.5	30.2	
	ややできない	14.0	14.6	14.8	10.3	14.0	9.3	
	できない	17.6	20.0	14.1	33.3	15.2	16.3	
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	できる	9.6	6.2	11.4	5.1	12.4	11.6	
	ややできる	22.1	18.1	18.8	20.5	25.9	34.9	
	どちらともいえない	38.7	44.6	40.3	35.9	34.3	20.9	
	ややできない	13.3	12.9	13.4	7.7	13.8	16.3	
	できない	16.4	18.1	16.1	30.8	13.6	16.3	
他者を説得して動かす	できる	8.3	6.7	11.4	7.7	8.2	14.0	
	ややできる	17.4	11.2	15.4	15.4	23.6	25.6	
	どちらともいえない	38.0	42.5	42.3	28.2	34.3	25.6	
	ややできない	16.0	16.2	14.1	23.1	15.2	20.9	
	できない	20.3	23.4	16.8	25.6	18.7	14.0	
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	できる	11.0	9.1	14.1	10.3	11.9	11.6	
	ややできる	21.8	15.5	22.8	25.6	25.7	37.2	
	どちらともいえない	37.2	42.2	36.9	41.0	33.4	23.3	
	ややできない	12.3	13.4	12.1	7.7	11.9	11.6	
	できない	17.6	19.8	14.1	15.4	17.1	16.3	
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		1,078	419	149	39	428	43	

Q29-1 あなたは「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、仕事に関連して下記の行動をどの程度とることができましたか。 単位：%、太字は実数		全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	
女性・離職者	課題を見つけ出し、目標を持つ	できる	14.0	10.3	17.5	17.7	12.6	33.3
		ややできる	37.3	29.5	34.6	38.1	43.7	33.3
		どちらともいえない	29.3	34.5	27.5	26.0	23.5	16.7
		ややできない	9.5	10.8	10.4	11.7	11.5	8.3
		できない	9.9	14.9	10.0	6.4	8.7	8.3
具体的な方策を見つけて計画を立てる	できる	14.0	9.9	16.8	16.6	14.1	41.7	
		ややできる	37.3	32.1	33.6	39.6	43.5	25.0
		どちらともいえない	29.3	34.7	31.4	27.9	23.9	16.7
		ややできない	9.5	9.9	9.6	8.7	9.8	
		できない	9.9	13.4	8.6	7.2	8.7	16.7
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	できる	19.9	16.3	22.9	23.0	19.6	33.3	
		ややできる	37.9	34.7	41.4	37.7	38.8	50.0
		どちらともいえない	26.1	30.5	22.1	26.4	24.5	
		ややできない	8.5	8.1	7.1	7.2	10.7	
		できない	7.6	10.3	6.4	5.7	6.4	16.7
最後までやりとげる	できる	28.6	25.7	31.4	32.1	27.5	41.7	
		ややできる	34.2	34.3	31.1	37.0	34.5	33.3
		どちらともいえない	23.0	25.1	25.7	19.2	22.0	8.3
		ややできない	7.3	5.5	5.7	6.4	10.4	8.3
		できない	6.8	9.5	6.1	5.3	5.5	8.3
受身ではなく自分から行動する	できる	19.6	17.4	23.6	21.9	18.1	25.0	
		ややできる	35.9	32.1	34.3	39.2	38.6	41.7
		どちらともいえない	26.9	30.3	27.5	24.9	24.5	16.7
		ややできない	9.9	9.9	8.6	7.9	11.9	
		できない	7.7	10.3	6.1	6.0	6.8	16.7
自分を客観的に認識する	できる	14.0	12.7	13.9	15.1	14.3	25.0	
		ややできる	31.4	29.5	31.4	33.2	32.4	25.0
		どちらともいえない	35.5	36.0	40.0	35.1	32.8	25.0
		ややできない	11.1	11.0	7.1	11.3	13.2	16.7
		できない	8.0	10.8	7.5	5.3	7.2	8.3
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	できる	12.8	9.9	17.1	14.0	12.4	8.3	
		ややできる	30.2	25.5	27.5	34.3	33.7	41.7
		どちらともいえない	31.9	39.6	30.4	29.4	26.9	25.0
		ややできない	13.3	10.5	15.4	11.7	15.6	16.7
		できない	11.9	14.5	9.6	10.6	11.5	8.3
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	できる	11.5	9.5	13.9	13.6	10.9	16.7	
		ややできる	33.2	28.1	31.1	37.7	36.9	33.3
		どちらともいえない	33.2	38.0	33.2	32.1	29.0	33.3
		ややできない	11.3	11.2	11.8	7.5	13.4	
		できない	10.8	13.2	10.0	9.1	9.8	16.7
他者を説得して動かす	できる	8.7	8.1	10.0	9.8	7.9	8.3	
		ややできる	22.0	21.1	17.9	23.8	24.3	25.0
		どちらともいえない	36.1	35.8	39.3	37.7	33.5	33.3
		ややできない	16.3	15.4	15.0	15.8	18.1	16.7
		できない	16.9	19.6	17.9	12.8	16.2	16.7
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	できる	15.6	13.0	19.3	15.5	15.8	25.0	
		ややできる	33.4	29.9	30.7	38.1	35.2	58.3
		どちらともいえない	29.2	31.6	30.0	25.7	29.0	8.3
		ややできない	9.9	10.1	9.3	10.6	9.8	
		できない	11.9	15.4	10.7	10.2	10.2	8.3
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		1,481	455	280	265	469	12	

Q30 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞めた理由をすべてお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数														
男性・離職者	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
キャリアアップするため		27.0	22.6	34.2	20.1	23.1	26.4	41.9	16.0	35.7	23.9	38.8	28.0	66.7
希望する条件により合った仕事が見つかったため		18.3	14.4	24.6	11.6	16.9	13.8	22.6	8.0	14.3	16.7	33.6	28.0	33.3
仕事が上手くできず自信を失ったため		20.0	22.5	16.0	20.8	12.5	28.7	19.4	36.0	14.3	21.0	17.8	20.0	22.2
学校で学んだことや、自分の技能・能力が活かされなかったため		7.7	8.8	5.9	6.2	2.5	14.9	6.5	16.0	7.1	7.6	7.9	20.0	16.7
自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため		22.4	26.0	16.5	27.0	11.9	32.2	17.7	8.0	28.6	23.2	18.4	44.0	27.8
ノルマや責任が重すぎたため		14.9	15.3	14.3	10.4	10.0	13.8	14.5	16.0	21.4	20.7	17.8	12.0	16.7
会社に将来性がないため		24.7	21.7	29.6	16.2	26.3	20.7	32.3	32.0	50.0	25.7	29.6	28.0	33.3
賃金の条件がよくなかったため		28.2	26.0	31.8	29.3	30.6	26.4	27.4	28.0	35.7	23.6	32.9	16.0	44.4
労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため		29.2	29.3	29.1	29.0	30.0	33.3	21.0	20.0	42.9	29.3	30.9	28.0	22.2
結婚・出産のため		3.6	2.8	4.9	1.2	3.1	6.9	9.7			2.5	5.3	12.0	5.6
介護・看護のため		1.0	1.2	0.7	0.8	0.6	2.3	3.2			1.1		4.0	
人間関係がよくなかったため		24.8	26.8	21.4	27.0	21.3	29.9	22.6	36.0	14.3	25.0	21.1	24.0	27.8
肉体的・精神的に健康を損ねたため		25.9	26.5	24.9	24.7	28.8	29.9	21.0	48.0	21.4	25.4	23.7	24.0	16.7
通勤困難であるため		4.1	3.9	4.4	3.5	5.6	4.6	6.5	4.0		4.0	2.6	4.0	5.6
倒産・整理解雇又は希望退職に応じたため		6.4	6.4	6.4	6.9	8.8	6.9	4.8		7.1	5.4	4.6	16.0	5.6
その他		1.1	1.5	0.5	1.2			1.6	8.0		1.8			5.6
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,078	672	406	259	160	87	62	25	14	276	152	25	18
女性・離職者	初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
キャリアアップするため		13.6	13.7	13.4	8.7	11.7	16.0	10.9	11.2	16.8	17.7	14.1	—	—
希望する条件により合った仕事が見つかったため		12.9	14.3	10.9	12.7	12.8	13.3	8.7	11.9	8.4	17.7	11.5	—	—
仕事が上手くできず自信を失ったため		16.6	19.8	11.9	16.4	17.2	21.8	12.0	17.9	7.6	23.1	9.9	—	—
学校で学んだことや、自分の技能・能力が活かされなかったため		6.5	9.1	2.8	3.3	3.9	15.4	2.2	9.0	0.8	10.1	3.6	—	—
自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため		19.5	23.0	14.4	19.6	18.3	22.9	12.0	19.4	11.5	28.2	14.1	—	—
ノルマや責任が重すぎたため		18.3	20.4	15.2	17.1	16.1	18.1	16.3	19.4	11.5	25.6	16.7	—	—
会社に将来性がないため		15.1	16.3	13.4	10.2	15.0	14.9	14.1	17.2	10.7	22.0	13.5	—	—
賃金の条件がよくなかったため		21.9	24.2	18.6	21.5	20.6	25.5	16.3	29.9	20.6	22.4	16.1	—	—
労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため		27.1	31.0	21.2	25.1	20.0	34.6	17.4	34.3	23.7	32.5	22.4	—	—
結婚・出産のため		33.0	22.9	48.0	22.5	36.1	22.9	53.3	23.1	58.8	23.5	49.5	—	—
介護・看護のため		1.3	1.0	1.7	1.1	1.1	1.1	1.1	0.7	0.8	1.1	3.1	—	—
人間関係がよくなかったため		25.9	29.6	20.4	28.0	27.8	33.0	17.4	35.8	13.0	25.6	19.8	—	—
肉体的・精神的に健康を損ねたため		27.3	31.1	21.6	23.6	21.7	33.5	20.7	32.1	19.1	36.1	23.4	—	—
通勤困難であるため		5.6	4.1	7.9	3.6	5.6	5.3	3.3	3.7	8.4	3.2	11.5	—	—
倒産・整理解雇又は希望退職に応じたため		2.2	2.4	2.0	2.9	2.8	1.1	3.3	3.0	1.5	2.5	1.0	—	—
その他		0.9	0.9	0.8	1.5	1.1	1.1	1.1	1.5	0.8		0.5	—	—
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,481	883	598	275	180	188	92	134	131	277	192	9	3

Q31 「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞めてから1年間の状況として、あてはまるものをすべて選んでください。(MA) 単位：%、太字は実数														
男性・離職者	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
正社員として働いた（正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む）		54.3	47.5	65.5	35.1	60.6	52.9	62.9	32.0	50.0	56.9	71.7	68.0	77.8
契約社員として働いた		10.1	10.6	9.4	11.2	8.1	4.6	11.3	24.0	7.1	10.9	10.5	8.0	5.6
派遣社員として働いた		5.2	6.4	3.2	8.5	5.6	6.9	3.2	8.0		4.3	1.3	4.0	
パート・アルバイトとして働いた		18.8	23.8	10.6	31.7	10.6	20.7	9.7	24.0	21.4	18.1	10.5	16.0	5.6
雇用以外の形態で働いた（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など）		3.6	3.4	3.9	1.5	4.4	5.7	4.8	4.0	7.1	4.7	2.0		11.1
就職活動をした		15.4	14.9	16.3	12.4	18.8	17.2	9.7	8.0	7.1	17.8	17.1	8.0	16.7
学校（高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）に進学した（通信制含む）		2.1	2.4	1.7	2.3	1.3	3.4	1.6			2.2	2.6	4.0	
勉強をした（上記の学校に進学した場合を除く）		6.0	6.4	5.4	4.2	2.5	8.0	8.1		14.3	8.3	6.6	8.0	5.6
家族の世話（家事・育児・介護など）をした		2.1	1.3	3.4	1.2	3.8	3.4	4.8		7.1	1.1	2.6		
療養・休養をしていた		10.7	10.6	10.8	10.8	11.3	13.8	14.5	24.0	21.4	8.7	8.6	4.0	5.6
その他		0.2			0.4									4.0
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,078	672	406	259	160	87	62	25	14	276	152	25	18
女性・離職者	初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
正社員として働いた（正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む）		33.0	35.2	29.6	25.8	28.3	41.0	34.8	38.1	24.4	38.6	30.7	-	-
契約社員として働いた		9.9	11.2	8.0	6.2	8.3	7.4	4.3	15.7	9.9	16.2	8.3	-	-
派遣社員として働いた		8.8	9.5	7.7	9.1	10.0	8.0	1.1	8.2	7.6	11.9	8.9	-	-
パート・アルバイトとして働いた		29.4	30.6	27.8	44.0	32.2	32.4	20.7	26.1	29.8	18.8	26.0	-	-
雇用以外の形態で働いた（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など）		1.7	1.4	2.2	0.4	2.2	2.1	1.1	0.7	0.8	1.8	3.6	-	-
就職活動をした		9.9	8.9	11.4	6.9	14.4	10.1	9.8	11.9	9.9	8.7	10.4	-	-
学校（高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）に進学した（通信制含む）		1.3	1.5	1.0	1.5	1.1	1.6			2.3	1.8	0.5	-	-
勉強をした（上記の学校に進学した場合を除く）		4.4	3.7	5.4	1.5	3.9	3.7	3.3	5.2	6.9	5.1	6.8	-	-
家族の世話（家事・育児・介護など）をした		20.5	16.0	27.3	16.7	19.4	15.4	31.5	14.2	33.6	17.0	28.6	-	-
療養・休養をしていた		8.2	7.7	9.0	6.2	8.9	6.9	12.0	8.2	9.9	9.4	7.3	-	-
その他		0.7	0.3	1.2				2.2	0.7	0.8	0.7	2.1	-	-
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		1,481	883	598	275	180	188	92	134	131	277	192	9	3

Q31-1 なぜ、正社員以外の働き方で働くことにしたのか、あてはまる理由をお答えください。(MA) 単位：%、太字は実数													
男性・離職者・離職後1年間正社員以外の労働者 初職継続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
正社員として働きたかったが、採用されなかったから	32.0	33.8	27.0	30.1	26.2	34.5	23.5	50.0	—	38.3	27.3	—	—
仕事の内容が希望に合っているから	20.1	20.5	19.0	22.0	19.0	13.8	11.8	25.0	—	21.3	21.2	—	—
専門的な資格や技能を活かせるから	11.0	9.1	16.0	7.3	11.9	13.8	11.8	—	—	11.7	24.2	—	—
より収入の多い仕事に従事したかったから	15.4	14.4	18.0	17.1	14.3	10.3	17.6	25.0	—	10.6	15.2	—	—
仕事が簡単で、大きな責任を負わなくてよいから	16.0	17.1	13.0	20.3	7.1	10.3	17.6	25.0	—	12.8	18.2	—	—
転勤(転居を伴う勤務地の変更)を命じられないから	7.7	5.3	14.0	4.1	11.9	—	23.5	16.7	—	7.4	12.1	—	—
家庭生活(家事・育児・介護など)と両立しやすいから	9.6	9.5	10.0	8.9	7.1	13.8	11.8	16.7	—	7.4	15.2	—	—
個人的な活動(趣味・学習・起業準備など)と両立しやすいから	19.8	16.0	30.0	13.0	26.2	17.2	35.3	25.0	—	18.1	33.3	—	—
税金や社会保険料を納める必要がない(=被扶養者でいられる)範囲で働きたかったから	4.4	3.8	6.0	3.3	—	6.9	11.8	8.3	—	3.2	12.1	—	—
勤務日数や一日当たりの労働時間が短いから	8.0	9.1	5.0	10.6	4.8	6.9	5.9	25.0	—	5.3	6.1	—	—
自分の都合の良い時間に働けるから	20.7	19.4	24.0	25.2	23.8	13.8	35.3	16.7	—	13.8	24.2	—	—
その他	5.0	4.6	6.0	6.5	7.1	6.9	5.9	—	—	2.1	6.1	—	—
無回答	1.9	1.5	3.0	0.8	2.4	3.4	—	—	—	2.1	3.0	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	363	263	100	123	42	29	17	12	5	94	33	5	3
女性・離職者・離職後1年間正社員以外の労働者 初職継続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
正社員として働きたかったが、採用されなかったから	12.3	12.4	12.0	12.9	7.0	9.5	8.3	10.9	5.0	14.9	23.8	—	—
仕事の内容が希望に合っているから	29.5	31.4	26.4	32.9	29.1	26.2	16.7	32.8	28.3	31.4	25.0	—	—
専門的な資格や技能を活かせるから	7.5	8.7	5.6	3.2	5.8	9.5	8.3	12.5	3.3	13.2	6.3	—	—
より収入の多い仕事に従事したかったから	12.1	15.0	7.2	20.6	10.5	16.7	—	9.4	10.0	9.1	3.8	—	—
仕事が簡単で、大きな責任を負わなくてよいから	27.8	28.3	26.8	26.5	19.8	23.8	20.8	25.0	36.7	34.7	28.8	—	—
転勤(転居を伴う勤務地の変更)を命じられないから	8.6	8.7	8.4	3.2	9.3	4.8	12.5	6.3	8.3	19.0	6.3	—	—
家庭生活(家事・育児・介護など)と両立しやすいから	34.4	27.2	46.8	23.9	34.9	28.6	50.0	25.0	48.3	30.6	57.5	—	—
個人的な活動(趣味・学習・起業準備など)と両立しやすいから	14.8	15.7	13.2	9.0	12.8	27.4	12.5	10.9	11.7	18.2	15.0	—	—
税金や社会保険料を納める必要がない(=被扶養者でいられる)範囲で働きたかったから	5.6	2.3	11.2	1.9	7.0	4.8	20.8	—	15.0	2.5	10.0	—	—
勤務日数や一日当たりの労働時間が短いから	16.2	14.3	19.6	12.3	12.8	16.7	20.8	10.9	25.0	15.7	22.5	—	—
自分の都合の良い時間に働けるから	27.0	27.4	26.4	29.7	18.6	36.9	29.2	18.8	33.3	22.3	28.8	—	—
その他	4.0	5.4	1.6	5.8	1.2	8.3	4.2	3.1	1.7	4.1	1.3	—	—
無回答	1.2	1.4	0.8	—	1.2	2.4	—	3.1	1.7	1.7	—	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	677	427	250	155	86	84	24	64	60	121	80	3	—

Q32 あなたは「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞めてからの1年間に、以下に示す能力開発を行いましたか。あてはまるものをすべてお答えください。(MA)													
単位：%、太字は実数													
男性・離職者	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内
通学制の学校(高校・大学・専門学校・英会話・パソコンスクール等)に通った	5.8	6.8	4.2	5.0	2.5	9.2	1.6			9.1	7.2		5.6
通信教育を受講した(インターネットを用いた学習を含む)	4.7	4.2	5.7	3.5	4.4	5.7	3.2	8.0		4.0	8.6	4.0	5.6
公共職業訓練機関で学んだ	5.8	5.7	6.2	8.1	8.1	5.7	6.5		7.1	4.0	4.6	4.0	
求職者支援制度を利用した	6.6	6.0	7.6	5.4	8.8	6.9	9.7	4.0	7.1	6.5	5.3	4.0	11.1
自主的な勉強会・交流会に参加した	6.6	5.5	8.4	3.1	5.0	8.0	16.1	8.0	14.3	5.8	7.9	16.0	11.1
自宅で一人で勉強した	22.5	22.2	23.2	14.7	10.6	25.3	29.0	28.0	35.7	26.4	30.9	36.0	38.9
その他の方法で勉強した	0.6	0.6	0.7	0.8	1.9	2.3							
いずれも行っていない	59.2	60.0	57.9	66.8	66.9	51.7	50.0	64.0	64.3	56.5	52.6	52.0	44.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,078	672	406	259	160	87	62	25	14	276	152	25	18
女性・離職者													
女性・離職者	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内
通学制の学校(高校・大学・専門学校・英会話・パソコンスクール等)に通った	3.8	3.6	4.2	1.1	4.4	2.1	2.2	3.7	4.6	6.5	4.7	-	-
通信教育を受講した(インターネットを用いた学習を含む)	3.2	3.3	3.2	2.2	1.1	2.7	3.3	1.5	6.9	5.4	2.6	-	-
公共職業訓練機関で学んだ	5.6	4.9	6.7	4.4	8.3	6.4	4.3	6.0	5.3	4.0	7.3		
求職者支援制度を利用した	5.3	4.3	6.9	2.5	8.3	3.7	10.9	3.0	4.6	7.2	4.7		-
自主的な勉強会・交流会に参加した	3.3	3.1	3.7	1.8	4.4	3.7	1.1	1.5	3.1	4.3	4.7	-	-
自宅で一人で勉強した	14.2	14.8	13.4	9.8	11.1	12.8	10.9	13.4	14.5	21.7	16.1	-	-
その他の方法で勉強した	0.3	0.5	0.2			1.1	1.1			0.7			
いずれも行っていない	70.4	71.0	69.4	80.0	71.7	71.8	71.7	72.4	66.4	61.4	68.2	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,481	883	598	275	180	188	92	134	131	277	192	9	3

Q33 あなたは「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞めた際に、どのようにして次の仕事を探しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。(MA)													
単位：%、太字は実数													
男性・離職者	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内
卒業した学校の先生や職員に相談した	6.5	7.0	5.7	4.2	6.9	14.9	9.7			7.2	3.9	12.0	
職業安定所(ハローワーク・インターネットサービスを含む)を利用した	35.6	36.8	33.7	42.5	41.3	44.8	32.3	28.0	42.9	31.2	28.3	20.0	11.1
民間の職業紹介サービスを利用した	13.6	11.3	17.5	6.2	10.0	6.9	8.1	8.0	7.1	18.1	28.3	8.0	33.3
インターネット上の求人サイトを利用した	36.7	33.2	42.6	27.4	34.4	31.0	37.1	36.0	28.6	39.1	52.6	32.0	61.1
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	11.4	12.2	10.1	21.2	12.5	9.2	12.9	12.0	21.4	5.4	6.6	4.0	
家族や親戚に相談した	13.3	11.9	15.5	9.3	15.6	11.5	25.8	16.0	14.3	14.1	11.8	12.0	11.1
友人・知人に相談した	16.6	15.0	19.2	15.4	17.5	18.4	24.2	12.0	21.4	13.4	19.7	20.0	11.1
希望する会社に直接問い合わせた(会社のサイトから直接応募したことも含む)	7.6	7.7	7.4	5.0	5.0	5.7	12.9	4.0		10.1	7.9	20.0	11.1
その他の方法で仕事を探した	0.8	0.4	1.5		1.3	1.1	4.8			0.7	0.7		
仕事は探さなかった	10.5	11.6	8.6	12.7	8.8	10.3	9.7	8.0	14.3	11.2	7.2	12.0	11.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,078	672	406	259	160	87	62	25	14	276	152	25	18
女性・離職者													
女性・離職者	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内
卒業した学校の先生や職員に相談した	4.1	4.3	3.7	2.5	2.2	4.3	6.5	6.7	4.6	4.0	3.1	-	-
職業安定所(ハローワーク・インターネットサービスを含む)を利用した	36.8	36.1	37.8	33.8	40.6	36.2	34.8	39.6	40.5	37.2	34.9	-	-
民間の職業紹介サービスを利用した	10.1	9.6	10.7	1.8	7.2	6.9	10.9	8.2	9.9	19.5	14.6	-	-
インターネット上の求人サイトを利用した	34.0	35.6	31.6	27.3	31.7	34.0	31.5	32.1	29.0	46.6	33.3	-	-
新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した	16.2	17.4	14.4	22.9	25.0	20.2	12.0	17.2	9.9	10.8	8.9		
家族や親戚に相談した	13.1	14.3	11.4	12.7	7.8	11.2	13.0	14.9	13.7	17.3	12.0	-	-
友人・知人に相談した	14.1	15.5	12.0	14.2	11.1	20.7	20.7	10.4	11.5	14.4	8.9	-	-
希望する会社に直接問い合わせた(会社のサイトから直接応募したことも含む)	6.8	7.5	5.9	5.8	2.8	7.4	8.7	9.0	6.1	7.9	6.8	-	-
その他の方法で仕事を探した	0.7	0.5	1.2	0.4	1.1	0.5	1.1	0.7	0.8	0.4	1.6		
仕事は探さなかった	17.2	14.6	20.9	17.1	17.8	16.0	19.6	17.9	21.4	10.1	24.5		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数(N)	1,481	883	598	275	180	188	92	134	131	277	192	9	3

Q34 あなたは「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞めてから、現在までいくつの会社等で「正社員」を経験しましたか。「初めての正社員勤務先」を除いた数をお答えください。 単位：％、太字は実数													
男性・離職者	初職勤務期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内
0社（正社員経験は「初めての正社員勤務先」のみ）													
1社（正社員経験は「初めての正社員勤務先」と「もう1つの会社」の計2社）													
2社													
3社													
4社以上													
計													
有効回答数 (N)													
女性・離職者													
女性・離職者	初職勤務期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内
0社（正社員経験は「初めての正社員勤務先」のみ）													
1社（正社員経験は「初めての正社員勤務先」と「もう1つの会社」の計2社）													
2社													
3社													
4社以上													
計													
有効回答数 (N)													

Q35 現在のあなたの主な状況について、最も近いものをお答えください。 単位：％、太字は実数													
男性・離職者	初職勤務期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内
正社員として働いている（正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む）													
契約社員として働いている													
派遣社員として働いている													
パート・アルバイトとして働いている													
雇用以外の形態で働いている（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など）													
もっぱら就職活動をしている													
学校（高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）で学んでいる（通信制含む）													
もっぱら勉強をしている（上記の学校に在学している場合を除く）													
もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしている													
もっぱら療養・休養をしている													
その他													
計													
有効回答数 (N)													
女性・離職者													
女性・離職者	初職勤務期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内
正社員として働いている（正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む）													
契約社員として働いている													
派遣社員として働いている													
パート・アルバイトとして働いている													
雇用以外の形態で働いている（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など）													
もっぱら就職活動をしている													
学校（高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）で学んでいる（通信制含む）													
もっぱら勉強をしている（上記の学校に在学している場合を除く）													
もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしている													
もっぱら療養・休養をしている													
その他													
計													
有効回答数 (N)													

Q36 将来的には、再び働くことを考えていますか。考えている場合は、いつから働きはじめたいですか。 単位：%、太字は実数													
男性・離職者・現在非就業者		全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
初職勤続期間	全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
1年以内に働き始めたい	53.1	60.0	43.8	65.4	50.0	—	—	—	—	52.2	50.0	—	—
1年を超えて3年以内に働き始めたい	5.3	4.6	6.3	—	5.0	—	—	—	—	8.7	—	—	—
3年を超えて5年以内に働き始めたい	1.8	1.5	2.1	3.8	—	—	—	—	—	—	5.6	—	—
5年を超えてから働き始めたい	0.9	1.5	—	—	—	—	—	—	—	4.3	—	—	—
再び働き始めたいが、いつからかはわからない	24.8	23.1	27.1	26.9	25.0	—	—	—	—	17.4	27.8	—	—
再び働くことは考えていない	14.2	9.2	20.8	3.8	20.0	—	—	—	—	17.4	16.7	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	113	65	48	26	20	10	6	4	4	23	18	2	0
女性・離職者・現在非就業者		全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
初職勤続期間	全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
1年以内に働き始めたい	29.9	32.1	26.8	33.1	35.5	29.2	30.6	33.3	16.4	33.0	24.1	—	—
1年を超えて3年以内に働き始めたい	26.0	24.4	28.4	25.4	25.0	29.2	33.3	21.1	36.4	20.0	24.1	—	—
3年を超えて5年以内に働き始めたい	12.0	9.5	15.6	12.7	13.2	6.9	13.9	7.0	18.2	9.0	16.9	—	—
5年を超えてから働き始めたい	2.7	2.9	2.4	1.7	3.9	—	2.8	5.3	—	5.0	2.4	—	—
再び働き始めたいが、いつからかはわからない	23.7	22.6	25.2	17.8	22.4	30.6	16.7	26.3	27.3	21.0	30.1	—	—
再び働くことは考えていない	5.7	8.6	1.6	9.3	—	4.2	2.8	7.0	1.8	12.0	2.4	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	599	349	250	118	76	72	36	57	55	100	83	2	0

Q37 現在の勤務先で働き始めた（入社した）のはいつですか。（年度） 単位：％、太字は実数														
男性・離職者・現職あり	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
2002年度														
2003年度		0.1	0.1		0.4									
2004年度		0.1	0.1		0.4									
2005年度		0.3	0.3		0.9		1.3							
2006年度		0.8	0.8		3.0		1.3							
2007年度		1.0	1.0	0.8	2.6	2.1	1.3							
2008年度		1.5	1.5	1.1	2.6	2.1	2.6	1.8	4.8		0.4			
2009年度		2.2	2.2	1.1	4.3	2.9			14.3		1.6			
2010年度		3.3	3.3	2.8	3.0	5.0	6.5		4.8		3.2	2.2	4.3	
2011年度		5.4	5.4	3.1	7.7	4.3	7.8		4.8		6.3	3.7		
2012年度		4.9	4.9	3.6	6.0	5.0	3.9	1.8		－	6.3	3.0	4.3	
2013年度		7.0	7.0	6.7	6.9	5.0	6.5	8.9			8.3	8.2	8.7	5.6
2014年度		9.4	9.4	10.1	10.3	10.7	5.2	7.1	9.5		8.3	11.2	17.4	11.1
2015年度		11.3	11.3	11.7	9.0	10.7	13.0	14.3	9.5	－	12.6	11.9	8.7	
2016年度		16.8	16.8	17.9	15.5	15.0	14.3	25.0	14.3	－	17.4	17.9	17.4	16.7
2017年度		21.5	21.5	25.1	17.6	20.0	19.5	26.8	33.3	－	18.6	26.9	30.4	50.0
2018年度		14.0	14.0	15.9	9.9	17.1	13.0	14.3	4.8	－	16.6	14.9	8.7	16.7
無回答		0.4	0.4				3.9				0.4			
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		965	607	358	233	140	77	56	21	10	253	134	23	18
女性・離職者・現職あり	初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
			3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
2002年度														
2003年度														
2004年度														
2005年度		0.3	0.6		1.9									
2006年度		0.1	0.2						1.3					
2007年度		0.3	0.6		1.9									
2008年度		1.1	1.7	0.3	0.6	1.0	2.6		6.5					
2009年度		1.4	1.9	0.6	1.3	1.9	0.9		1.3		3.4			
2010年度		2.4	3.2	1.1	5.1	1.9	3.4	1.8	2.6	1.3	1.7			
2011年度		1.9	2.1	1.7	0.6	1.9	3.4	3.6	3.9	1.3	1.7	0.9		
2012年度		2.0	3.0	0.6	1.3	1.0	6.9	1.8	3.9		1.7			
2013年度		5.4	6.6	3.7	8.3	2.9	4.3	5.4	7.8	2.6	6.2	4.6		
2014年度		7.8	6.7	9.5	7.6	9.6	6.0	10.7	3.9	11.8	7.9	7.3		
2015年度		12.4	12.4	12.4	12.1	16.3	14.7	12.5	10.4	10.5	12.4	9.2		－
2016年度		17.9	15.9	21.0	15.3	16.3	16.4	17.9	10.4	19.7	18.1	27.5	－	－
2017年度		24.4	24.0	25.0	23.6	22.1	21.6	25.0	24.7	26.3	26.0	26.6	－	－
2018年度		22.2	21.2	23.9	19.7	25.0	19.8	19.6	23.4	26.3	20.9	23.9	－	－
無回答		0.2	0.2	0.3	0.6			1.8						
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)		882	534	348	157	104	116	56	77	76	177	109	7	3

Q37 現在の勤務先で働き始めた（入社した）のはいつですか。（月） 単位：％、太字は実数													
男性・離職者・現職あり													
初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
1月	8.2	8.2	8.1	7.7	7.1	10.4	5.4	14.3		8.3	10.4		11.1
2月	6.4	7.1	5.3	8.2	5.0	6.5	3.6	9.5	—	6.7	6.0		
3月	6.6	6.8	6.4	7.7	7.1	9.1	3.6	19.0		4.3	7.5	4.3	5.6
4月	23.7	23.2	24.6	15.5	20.0	14.3	33.9	9.5	—	33.6	26.9	30.4	11.1
5月	6.9	6.3	8.1	7.3	7.9	5.2	8.9	9.5	—	5.1	8.2	8.7	5.6
6月	6.8	6.9	6.7	8.2	8.6	10.4	8.9			5.1	5.2	8.7	
7月	8.5	8.4	8.7	8.6	10.7	10.4	3.6	4.8	—	7.9	7.5	8.7	11.1
8月	6.8	6.1	8.1	6.0	8.6	6.5	5.4			6.7	9.7	4.3	5.6
9月	5.6	5.8	5.3	8.6	5.0	2.6	7.1	4.8		4.3	5.2	4.3	5.6
10月	9.0	8.1	10.6	8.6	12.1	6.5	12.5	9.5	—	7.5	7.5	13.0	11.1
11月	5.3	5.3	5.3	6.0	4.3	5.2	5.4	19.0		3.2	5.2	8.7	16.7
12月	5.6	7.2	2.8	7.7	3.6	9.1	1.8			6.7	0.7	8.7	16.7
無回答	0.4	0.7				3.9				0.4			
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	965	607	358	233	140	77	56	21	10	253	134	23	18
女性・離職者・現職あり													
初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
1月	6.0	5.6	6.6	7.0	6.7	4.3	1.8	3.9	3.9	6.2	11.0		
2月	5.9	6.4	5.2	8.9	10.6	5.2	5.4	3.9	3.9	6.2	0.9		
3月	7.4	7.5	7.2	8.9	1.9	8.6	16.1	7.8	7.9	5.6	7.3		
4月	21.5	21.2	22.1	17.2	18.3	16.4	16.1	20.8	22.4	26.0	28.4	—	—
5月	9.0	9.0	8.9	8.3	8.7	9.5	5.4	11.7	11.8	8.5	9.2		
6月	9.8	9.0	10.9	8.9	12.5	10.3	16.1	11.7	10.5	7.3	7.3		
7月	10.9	9.2	13.5	10.8	12.5	11.2	14.3	3.9	15.8	9.0	12.8		
8月	7.1	7.1	7.2	4.5	5.8	8.6	5.4	11.7	6.6	6.2	9.2	—	—
9月	5.9	6.6	4.9	8.3	3.8	8.6	7.1	2.6	3.9	5.6	5.5		
10月	6.5	7.5	4.9	7.0	9.6	6.9	1.8	11.7	2.6	6.2	2.8	—	—
11月	6.0	6.0	6.0	5.1	6.7	5.2	5.4	9.1	7.9	6.2	4.6		
12月	3.9	4.9	2.3	4.5	2.9	5.2	3.6	1.3	2.6	6.8	0.9		
無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8						
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	882	534	348	157	104	116	56	77	76	177	109	7	3

Q38 現在の勤務先で雇われている従業員は、会社全体で何人くらいですか。支店や営業所等の事業所が複数ある場合は、あなたが勤務している事業所だけでなく会社全体の従業員数をお選びください。 単位：％、太字は実数													
男性・離職者・現職あり													
初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
1～9人	6.6	6.9	6.1	9.0	9.3	9.1	8.9			5.5	3.0		
10～29人	11.3	11.2	11.5	11.6	17.1	11.7	12.5	23.8	—	9.5	6.7	13.0	
30～99人	16.4	16.3	16.5	18.9	18.6	24.7	19.6	9.5	—	12.6	14.2	8.7	
100～299人	17.2	17.3	17.0	16.7	17.1	23.4	16.1	14.3	—	17.4	19.4	4.3	5.6
300～999人	14.0	12.7	16.2	11.6	12.1	5.2	19.6	19.0	—	15.4	16.4	13.0	38.9
1000人以上	19.9	19.6	20.4	23.2	15.7	10.4	10.7	23.8	—	17.8	26.1	30.4	38.9
官公庁・公営事業所	7.6	8.1	6.7	2.6	6.4	2.6	1.8			13.8	10.4	26.1	
雇用以外の形態で働いている（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業員など）	6.5	7.2	5.3	6.0	3.6	11.7	10.7	9.5	—	7.1	3.0	4.3	16.7
無回答	0.5	0.7	0.3	0.4		1.3				0.8	0.7		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	965	607	358	233	140	77	56	21	10	253	134	23	18
女性・離職者・現職あり													
初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
1～9人	9.8	9.0	10.9	12.7	18.3	11.2	7.1	7.8	9.2	5.1	7.3		
10～29人	14.3	16.1	11.5	22.9	10.6	12.9	14.3	14.3	18.4	12.4	6.4	—	—
30～99人	20.1	20.0	20.1	18.5	15.4	25.0	21.4	26.0	23.7	16.4	20.2		
100～299人	15.5	15.5	15.5	14.6	22.1	14.7	10.7	19.5	14.5	15.8	12.8		
300～999人	13.7	13.1	14.7	10.2	12.5	17.2	16.1	11.7	17.1	12.4	14.7	—	—
1000人以上	18.4	19.3	17.0	17.2	13.5	12.9	21.4	15.6	13.2	26.6	21.1	—	—
官公庁・公営事業所	3.6	3.2	4.3	1.3	2.9			2.6	1.3	7.3	9.2		—
雇用以外の形態で働いている（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業員など）	3.6	2.8	4.9	1.9	3.8	4.3	7.1	2.6	1.3	2.8	7.3		
無回答	1.0	0.9	1.1	0.6	1.0	1.7	1.8		1.3	1.1	0.9		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	882	534	348	157	104	116	56	77	76	177	109	7	3

Q39 現在の勤務先の事業内容(業種)は何ですか。 単位：%、太字は実数															
男性・離職者・現職あり	初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		
			3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	
鉱業、採石業、砂利採取業		0.5	0.3	0.8		0.7					0.8	1.5			
建設業		5.6	5.8	5.3	8.2	10.7	2.6	1.8	4.8		4.3	1.5	8.7	5.6	
製造業		21.8	18.9	26.5	25.8	27.1	10.4	19.6	19.0	—	15.8	26.1	13.0	50.0	
電気・ガス・熱供給・水道業		2.8	2.8	2.8	3.9	3.6		3.6		—	3.2	1.5			
情報通信業(マスコミ除く)		7.2	6.4	8.4	6.4	2.9	7.8	10.7	9.5	—	6.3	13.4		5.6	
運輸業、郵便業		6.0	6.4	5.3	11.2	9.3			4.8	—	4.3	3.0	4.3	5.6	
卸売業		2.4	2.0	3.1	2.1	0.7	1.3			—	2.4	6.0		5.6	
小売業		7.5	9.6	3.9	10.7	3.6	7.8	1.8	4.8	—	9.5	5.2	8.7		
金融業・保険業		1.1	1.0	1.4	0.9			3.6			1.6	2.2			
不動産業、物品賃貸業		2.3	2.0	2.8	0.4	3.6	2.6	1.8			3.6	2.2		5.6	
学術研究、専門・技術サービス業(コンサルティング・広告業除く)		2.0	2.5	1.1	1.3	2.1	3.9		9.5		2.4	0.7	4.3		
宿泊業、飲食サービス業		3.7	3.6	3.9	1.7	6.4	11.7	3.6		—	3.6	1.5			
生活関連サービス業、娯楽業(理容、クリーニング、旅行など)		1.8	2.1	1.1	3.0	1.4	1.3	1.8			2.0	0.7			
教育、学習支援業		2.5	2.8	2.0			2.6	1.8	4.8		4.7	3.7	8.7	5.6	
医療、福祉		11.7	11.4	12.3	5.2	8.6	32.5	33.9	14.3		9.9	8.2	17.4	11.1	
複合サービス事業(郵便局・協同組合など)		0.7	0.5	1.1	1.3	1.4		1.8						0.7	
コンサルティング・広告業		0.9	0.8	1.1				1.8			1.6	2.2	4.3		
マスコミ(新聞・出版・テレビ・ラジオ)		1.0	1.0	1.1			1.3				2.0	3.0			
サービス業(他に分類されないもの)		10.7	11.7	8.9	14.6	10.7	9.1	10.7	28.6	—	8.7	6.7	8.7		
公務(学校・病院・福祉施設を除く)		6.4	6.4	6.4	2.1	6.4	1.3	1.8			11.1	9.7	21.7		
その他		1.0	1.3	0.6	1.3	0.7					2.0			5.6	
無回答		0.4	0.7				3.9				0.4				
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数(N)		965	607	358	233	140	77	56	21	10	253	134	23	18	
女性・離職者・現職あり	初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		
			3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	
鉱業、採石業、砂利採取業															
建設業		3.1	3.0	3.2	5.7	3.8	0.9	3.6	1.3		2.3	4.6	—		
製造業		9.6	9.0	10.6	10.2	16.3	10.3	1.8	7.8	7.9	7.3	10.1	—	—	
電気・ガス・熱供給・水道業		1.1	1.7	0.3	1.3	1.0					3.4		—		
情報通信業(マスコミ除く)		4.2	5.2	2.6	7.0	3.8	3.4		1.3		6.8	4.6			
運輸業、郵便業		3.2	3.4	2.9	5.1	1.9	1.7	1.8	3.9	3.9	2.8	3.7			
卸売業		3.3	2.8	4.0	2.5	3.8	2.6	3.6	5.2	3.9	2.3	4.6			
小売業		10.1	10.9	8.9	13.4	17.3	9.5	7.1	10.4	5.3	10.2	4.6			
金融業・保険業		2.8	2.4	3.4	1.3	2.9	0.9	1.8	2.6	3.9	4.5	4.6			
不動産業、物品賃貸業		2.3	2.2	2.3	1.9	1.0	3.4			3.9	2.8	3.7			
学術研究、専門・技術サービス業(コンサルティング・広告業除く)		2.8	2.8	2.9	2.5	2.9	0.9	1.8	1.3	1.3	5.1	4.6			
宿泊業、飲食サービス業		7.6	8.6	6.0	10.2	6.7	14.7	5.4	10.4	7.9	2.8	4.6			
生活関連サービス業、娯楽業(理容、クリーニング、旅行など)		4.2	3.6	5.2	7.0	4.8	5.2	14.3	1.3	2.6	0.6	2.8			
教育、学習支援業		5.3	5.8	4.6			0.9		16.9	13.2	7.9	5.5	—		
医療、福祉		22.1	21.9	22.4	14.6	11.5	31.9	41.1	26.0	28.9	20.3	19.3	—		
複合サービス事業(郵便局・協同組合など)		0.2		0.6		1.0							0.9		
コンサルティング・広告業		1.7	1.5	2.0		1.9	2.6	1.8		2.6	2.8	1.8			
マスコミ(新聞・出版・テレビ・ラジオ)		0.9	0.9	0.9	0.6	1.0	0.9				1.7	1.8			
サービス業(他に分類されないもの)		11.5	11.0	12.1	14.0	13.5	9.5	14.3	6.5	11.8	11.9	10.1			
公務(学校・病院・福祉施設を除く)		2.3	1.3	3.7	0.6	2.9			1.3	1.3	2.8	7.3	—		
その他		1.5	1.7	1.1	1.3	1.9	0.9		3.9	1.3	1.7	0.9			
無回答		0.2	0.2	0.3	0.6			1.8							
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数(N)		882	534	348	157	104	116	56	77	76	177	109	7	3	

Q40 あなたが現在従事している主な仕事内容をお答えください。 単位：％、大字は実数														
男性・離職者・現職あり	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）	10.1	10.0	10.1	4.3	5.0	31.2	28.6	4.8		8.3	8.2	21.7	11.1	
教育分野の専門・技術職（学校や幼稚園の教員など）	1.9	2.5	0.8	0.4		2.6		4.8		4.0	1.5	4.3	5.6	
その他の専門・技術職	22.3	20.3	25.7	17.6	20.0	18.2	30.4	42.9	—	20.2	22.4	34.8	72.2	
管理的職業	3.5	3.6	3.4	2.6	2.9	3.9	7.1	4.8		4.3	3.0	4.3		
事務職	14.3	13.3	15.9	6.9	10.7	2.6	10.7	14.3		21.7	26.1	21.7	5.6	
営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）	9.8	9.1	11.2	7.3	5.7	3.9	5.4			13.8	20.9		5.6	
販売職（買い物に訪れた客に対応する）	5.2	5.9	3.9	6.0	3.6	7.8	3.6		—	5.9	4.5		4.3	
家事・介護・保健医療・福祉のサービス職（介護職、看護助手、学童保育指導員など）	0.6	0.7	0.6	0.9	1.4	1.3				0.4				
接客・給仕サービス職（飲食店の店長、娯楽施設のホール係など）	4.2	4.8	3.4	5.2	5.0	9.1			—	4.0	3.0			
その他のサービス職（調理師、美容師、ビル管理人など）	4.8	4.4	5.3	4.3	5.0	5.2	7.1	14.3	—	4.0	4.5			
保安職（警備員など）	2.2	2.1	2.2	2.6	5.0	1.3				2.4	0.7			
農林漁業従事者	0.9	1.0	0.8	1.3	1.4					0.8	0.7		4.3	
生産工程従事者（自動車整備など）	8.5	9.4	7.0	18.5	13.6	3.9	5.4	9.5		3.6	2.2			
輸送・機械運転従事者	3.0	3.5	2.2	6.4	3.6	1.3		4.8	—	1.6	1.5			
建設・採掘従事者	3.3	3.6	2.8	7.3	6.4	1.3			—	1.6				
運搬・清掃・包装等従事者	4.2	4.4	3.9	7.7	10.0	2.6				2.4			4.3	
その他	0.7	0.7	0.8	0.9	0.7		1.8			0.8	0.7			
無回答	0.4	0.7				3.9				0.4				
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)	965	607	358	233	140	77	56	21	10	253	134	23	18	
女性・離職者・現職あり	初職勤続期間	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）	17.8	16.7	19.5	5.7	5.8	27.6	33.9	29.9	30.3	13.6	18.3	—	—	
教育分野の専門・技術職（学校や幼稚園の教員など）	1.9	2.1	1.7	0.6		0.9		2.6	5.3	3.4	1.8	—	—	
その他の専門・技術職	7.3	7.5	6.9	7.0	5.8	7.8	3.6	6.5	1.3	7.9	13.8	—	—	
管理的職業	1.2	1.1	1.4			2.6	1.8			1.7	3.7			
事務職	35.6	34.6	37.1	29.9	43.3	23.3	17.9	26.0	32.9	49.7	42.2	—	—	
営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）	3.4	2.6	4.6	3.2	4.8	2.6	1.8	1.3	3.9	2.8	6.4			
販売職（買い物に訪れた客に対応する）	10.1	11.2	8.3	15.3	11.5	8.6	10.7	10.4	7.9	10.2	4.6			
家事・介護・保健医療・福祉のサービス職（介護職、看護助手、学童保育指導員など）	1.2	1.9	0.3	2.5		0.9	1.8	2.6		1.7				
接客・給仕サービス職（飲食店の店長、娯楽施設のホール係など）	10.4	11.0	9.5	19.1	14.4	13.8	8.9	9.1	9.2	3.4	5.5			
その他のサービス職（調理師、美容師、ビル管理人など）	4.8	5.1	4.3	4.5	3.8	9.5	17.9	6.5	1.3	2.3				
保安職（警備員など）	0.1	0.2		0.6										
農林漁業従事者	0.6	0.4	0.9		1.0	0.9			1.3	0.6	0.9			
生産工程従事者（自動車整備など）	2.5	2.1	3.2	2.5	7.7	0.9		3.9	3.9	1.7				
輸送・機械運転従事者	0.3	0.6		1.3						0.6				
建設・採掘従事者	0.2	0.4		0.6									—	
運搬・清掃・包装等従事者	2.3	2.4	2.0	6.4	1.9	0.9		1.3	2.6	0.6	2.8			
その他														
無回答	0.2	0.2	0.3	0.6		1.8								
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)	882	534	348	157	104	116	56	77	76	177	109	7	3	

Q41 現在あなたは1週間あたり平均して何時間働いていますか（休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。30分単位切り上げ）。 単位：%、太字は実数													
男性・離職者・現職あり 初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
30時間未満	9.1	10.9	6.1	10.7	7.1	14.3	5.4	19.0	—	9.5	5.2	8.7	11.1
30時間以上35時間未満	6.7	7.1	6.1	7.3	6.4	5.2	10.7	9.5	—	7.5	3.0	4.3	5.6
35時間以上40時間未満	13.4	14.0	12.3	12.0	15.0	10.4	7.1	28.6	—	15.8	11.9	13.0	5.6
40時間以上45時間未満	28.3	29.0	27.1	27.0	20.0	31.2	30.4	19.0	—	30.8	32.1	30.4	38.9
45時間以上50時間未満	14.9	13.2	17.9	16.3	19.3	6.5	12.5	4.8	—	13.0	18.7	13.0	22.2
50時間以上55時間未満	9.6	8.9	10.9	9.0	10.0	10.4	1.8	9.5	—	7.9	16.4	13.0	5.6
55時間以上60時間未満	5.4	5.6	5.0	5.2	4.3	6.5	3.6	9.5	—	5.1	6.0	8.7	5.6
60時間以上65時間未満	5.4	4.8	6.4	4.7	7.1	6.5	12.5	—	—	4.7	4.5	4.3	—
65時間以上70時間未満	2.2	1.5	3.4	2.6	4.3	—	8.9	—	—	1.2	—	—	—
70時間以上75時間未満	1.9	1.6	2.2	1.7	4.3	1.3	1.8	—	—	2.0	0.7	—	—
75時間以上80時間未満	0.6	0.7	0.6	0.9	0.7	—	1.8	—	—	0.4	—	4.3	—
80時間以上	2.1	2.1	2.0	2.6	1.4	3.9	3.6	—	—	1.6	1.5	—	5.6
無回答	0.4	0.7	—	—	—	3.9	—	—	—	0.4	—	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	965	607	358	233	140	77	56	21	10	253	134	23	18

女性・離職者・現職あり 初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
30時間未満	32.9	29.0	38.8	36.3	39.4	29.3	37.5	27.3	48.7	24.3	32.1	—	—
30時間以上35時間未満	11.7	10.7	13.2	9.6	9.6	14.7	14.3	10.4	11.8	9.6	16.5	—	—
35時間以上40時間未満	16.1	18.7	12.1	18.5	13.5	19.0	10.7	15.6	10.5	19.8	11.9	—	—
40時間以上45時間未満	24.3	26.4	21.0	21.0	25.0	25.9	16.1	26.0	15.8	31.1	23.9	—	—
45時間以上50時間未満	6.7	6.7	6.6	6.4	5.8	6.0	7.1	10.4	7.9	6.2	6.4	—	—
50時間以上55時間未満	3.3	3.6	2.9	3.2	3.8	1.7	3.6	5.2	2.6	4.0	1.8	—	—
55時間以上60時間未満	2.3	2.1	2.6	2.5	1.9	2.6	7.1	1.3	—	1.7	2.8	—	—
60時間以上65時間未満	0.8	0.9	0.6	0.6	—	—	1.8	2.6	—	1.1	0.9	—	—
65時間以上70時間未満	0.3	0.6	—	0.6	—	0.9	—	—	—	0.6	—	—	—
70時間以上75時間未満	0.9	0.7	1.1	—	1.0	—	—	—	2.6	1.7	0.9	—	—
75時間以上80時間未満	0.1	—	0.3	—	—	—	—	—	—	—	0.9	—	—
80時間以上	0.5	0.4	0.6	0.6	—	—	—	1.3	—	—	1.8	—	—
無回答	0.2	0.2	0.3	0.6	—	—	1.8	—	—	—	—	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	882	534	348	157	104	116	56	77	76	177	109	7	3

Q42 現在あなたが受け取っている月あたりのお給料（税込）はいくらですか。 単位：%、太字は実数													
男性・離職者・現職あり 初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
14万円以下	13.2	16.3	7.8	18.9	11.4	20.8	7.1	19.0	—	13.0	4.5	8.7	5.6
15～19万円	17.5	18.8	15.4	23.6	22.1	19.5	14.3	23.8	—	15.0	10.4	4.3	—
20～24万円	28.5	28.8	27.9	23.2	30.7	27.3	35.7	23.8	—	35.6	23.9	21.7	16.7
25～29万円	18.2	16.8	20.7	14.6	14.3	14.3	19.6	9.5	—	19.4	24.6	26.1	33.3
30万円以上	22.2	18.6	28.2	19.7	21.4	14.3	23.2	23.8	—	16.6	36.6	39.1	44.4
無回答	0.4	0.7	—	—	—	3.9	—	—	—	0.4	—	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	965	607	358	233	140	77	56	21	10	253	134	23	18

女性・離職者・現職あり 初職勤続期間	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
14万円以下	47.5	45.3	50.9	61.8	53.8	50.9	55.4	42.9	60.5	29.9	40.4	—	—
15～19万円	23.2	23.6	22.7	21.0	26.0	19.0	19.6	33.8	22.4	25.4	22.0	—	—
20～24万円	17.6	19.5	14.7	11.5	14.4	18.1	16.1	18.2	7.9	27.1	16.5	—	—
25～29万円	7.0	6.9	7.2	3.2	2.9	6.0	5.4	5.2	6.6	11.3	12.8	—	—
30万円以上	4.4	4.5	4.3	1.9	2.9	6.0	1.8	—	2.6	6.2	8.3	—	—
無回答	0.2	0.2	0.3	0.6	—	—	1.8	—	—	—	—	—	—
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	882	534	348	157	104	116	56	77	76	177	109	7	3

Q43 あなたは現在の勤め先を、今後、辞めたいと思いますか。いつ頃に辞めたいですか。 単位：%、太字は実数						
男性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1年以内に辞めたいと思っている	7.7	5.4	11.4	9.2	8.7	5.1
1年を超えて3年以内に辞めたいと思っている	9.7	6.3	12.5	10.5	11.2	9.3
3年を超えて10年以内に辞めたいと思っている	10.2	7.0	8.7	6.6	12.2	12.0
10年を超えてから辞めたいと思っている	4.1	3.8	6.0	3.9	4.5	1.9
辞めたいと思っているが、時期はわからない	15.3	17.7	13.6	19.7	14.3	13.4
辞めたいとは思っていない	37.5	41.0	32.1	31.6	35.5	44.4
辞めたいかどうか、わからない	15.5	18.8	15.8	18.4	13.7	13.9
無回答						
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,036	558	184	76	1,002	216
女性・勤続者	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1年以内に辞めたいと思っている	13.4	17.8	19.2	14.7	10.4	12.5
1年を超えて3年以内に辞めたいと思っている	14.6	8.1	15.8	16.7	15.9	15.0
3年を超えて10年以内に辞めたいと思っている	10.5	7.6	13.3	8.7	11.1	15.0
10年を超えてから辞めたいと思っている	2.5	3.2	1.7	2.7	2.6	
辞めたいと思っているが、時期はわからない	19.2	23.8	18.3	18.0	18.5	15.0
辞めたいとは思っていない	28.7	24.3	21.7	25.3	32.3	32.5
辞めたいかどうか、わからない	11.1	15.1	10.0	14.0	9.2	10.0
無回答						
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,036	185	120	150	541	40
Q43-1 あなたは現在の勤め先を、今後、辞めたいと思いますか。いつ頃に辞めたいですか。 単位：%、太字は実数						
男性・離職者・現職あり	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1年以内に辞めたいと思っている	12.1	12.9	15.0	9.7	11.4	4.9
1年を超えて3年以内に辞めたいと思っている	8.7	8.3	9.0	3.2	9.6	7.3
3年を超えて10年以内に辞めたいと思っている	6.0	4.0	6.8	6.5	6.7	14.6
10年を超えてから辞めたいと思っている	2.1	2.1	2.3		2.1	2.4
辞めたいと思っているが、時期はわからない	14.4	16.1	11.3	16.1	14.2	9.8
辞めたいとは思っていない	40.4	38.9	40.6	41.9	40.6	51.2
辞めたいかどうか、わからない	15.9	17.7	12.8	22.6	15.2	9.8
無回答	0.4		2.3		0.3	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	965	373	133	31	387	41
女性・離職者・現職あり	全体	高校卒	専門学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒
1年以内に辞めたいと思っている	16.2	19.5	18.0	15.7	12.9	
1年を超えて3年以内に辞めたいと思っている	13.5	13.4	12.8	11.8	14.7	—
3年を超えて10年以内に辞めたいと思っている	6.1	5.4	5.2	8.5	6.3	
10年を超えてから辞めたいと思っている	0.6	0.4	1.2	0.7	0.3	
辞めたいと思っているが、時期はわからない	14.9	13.8	12.2	17.6	16.4	
辞めたいとは思っていない	35.6	36.4	37.8	29.4	36.4	—
辞めたいかどうか、わからない	12.9	10.7	12.2	16.3	12.9	—
無回答	0.2	0.4	0.6			
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	882	261	172	153	286	10

Q44 あなたは現在、職業生活についてどのように感じていますか。 単位：％、太字は実数																
男性・離職者・現職あり		初職勤続期間		全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒		
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超
仕事の内容・やりがい	満足	19.4	19.3	19.6	16.7	15.7	16.9	30.4	23.8	-	21.7	18.7	21.7	22.2		
	やや満足	33.6	32.5	35.5	29.2	32.1	36.4	26.8	33.3	-	33.2	42.5	43.5	38.9		
	どちらでもない	26.4	27.3	24.9	30.0	30.7	28.6	19.6	28.6	-	25.7	22.4	13.0	11.1		
	やや不満	11.2	10.9	11.7	11.2	10.0	10.4	16.1	9.5	-	11.1	11.2	8.7	22.2		
	不満	9.0	9.4	8.4	12.9	11.4	3.9	7.1	4.8	-	7.9	5.2	13.0	5.6		
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
人事評価・処遇のあり方	満足	11.5	9.1	15.6	8.6	10.0	10.4	21.4	9.5	-	9.1	17.9	8.7	22.2		
	やや満足	25.5	26.9	23.2	22.7	22.1	31.2	26.8	14.3	-	28.9	20.9	43.5	33.3		
	どちらでもない	35.2	35.6	34.6	35.2	38.6	33.8	26.8	61.9	-	35.6	34.3	21.7	33.3		
	やや不満	15.6	14.8	17.0	17.6	16.4	9.1	14.3	9.5	-	14.2	20.9	17.4	5.6		
	不満	11.7	13.0	9.5	15.9	12.9	11.7	10.7	4.8	-	11.9	6.0	8.7	5.6		
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
職場の人間関係、コミュニケーション	満足	18.2	17.0	20.4	17.6	15.7	19.5	26.8	9.5	-	15.8	20.1	21.7	33.3		
	やや満足	32.3	32.1	32.7	29.2	27.1	37.7	30.4	23.8	-	33.2	39.6	39.1	27.8		
	どちらでもない	29.4	29.7	29.1	33.0	32.9	16.9	32.1	47.6	-	30.0	25.4	17.4	22.2		
	やや不満	11.8	11.9	11.7	10.3	17.1	15.6	10.7	14.3	-	12.3	8.2	8.7	5.6		
	不満	7.8	8.7	6.1	9.9	7.1	6.5		4.8	-	8.3	6.7	13.0	11.1		
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
賃金	満足	8.2	7.2	9.8	6.4	5.0	6.5	17.9	19.0	-	5.9	11.2	21.7	11.1		
	やや満足	24.6	22.2	28.5	21.9	30.7	23.4	19.6	14.3	-	22.1	29.1	30.4	27.8		
	どちらでもない	27.9	28.5	26.8	30.9	29.3	27.3	23.2	42.9	-	26.1	25.4	21.7	27.8		
	やや不満	22.2	22.6	21.5	21.5	18.6	20.8	25.0	14.3	-	25.3	24.6	17.4	16.7		
	不満	16.8	18.8	13.4	19.3	16.4	18.2	14.3	9.5	-	20.2	9.7	8.7	16.7		
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
労働時間・休日等の労働条件	満足	22.4	21.4	24.0	18.9	20.0	20.8	28.6	19.0	-	23.3	26.1	30.4	16.7		
	やや満足	27.9	27.7	28.2	24.9	25.0	35.1	30.4	19.0	-	27.3	31.3	43.5	33.3		
	どちらでもない	26.5	27.7	24.6	28.3	28.6	20.8	19.6	47.6	-	28.9	22.4	13.0	27.8		
	やや不満	11.8	10.2	14.5	11.6	16.4	6.5	14.3	9.5	-	10.3	11.9	8.7	16.7		
	不満	11.0	12.4	8.7	16.3	10.0	13.0	7.1	4.8	-	9.9	8.2	4.3	5.6		
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
職場の環境(照明、空調、騒音等)	満足	16.6	14.7	19.8	8.6	13.6	10.4	26.8	14.3	-	20.9	25.4	21.7	5.6		
	やや満足	29.6	28.3	31.8	26.2	30.0	32.5	28.6	9.5	-	28.1	32.1	56.5	61.1		
	どちらでもない	31.5	32.5	29.9	34.8	36.4	29.9	25.0	57.1	-	30.8	26.1	13.0	22.2		
	やや不満	12.5	12.9	12.0	15.0	12.1	15.6	16.1	4.8	-	11.1	9.0	8.7	11.1		
	不満	9.3	11.0	6.4	15.5	7.9	7.8	3.6	14.3	-	8.7	7.5				
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
雇用の安定性	満足	20.2	19.1	22.1	15.0	17.9	11.7	25.0	19.0	-	24.5	23.1	26.1	27.8		
	やや満足	27.2	25.9	29.3	23.2	25.7	29.9	25.0	19.0	-	26.9	34.3	34.8	27.8		
	どちらでもない	32.8	32.5	33.5	35.2	39.3	32.5	33.9	57.1	-	28.9	29.9	21.7	22.2		
	やや不満	10.2	11.7	7.5	12.9	9.3	14.3	5.4	10.3	-	10.3	6.7	17.4	11.1		
	不満	9.2	10.2	7.5	13.7	7.9	7.8	10.7	4.8	-	9.1	6.0				
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
福利厚生	満足	17.1	16.1	18.7	13.7	17.1	10.4	23.2	9.5	-	20.2	18.7	21.7	11.1		
	やや満足	23.7	22.1	26.5	19.3	27.1	23.4	23.2	33.3	-	22.5	26.9	30.4	33.3		
	どちらでもない	34.2	34.1	34.4	35.2	37.1	27.3	25.0	47.6	-	34.8	35.8	26.1	33.3		
	やや不満	12.2	13.3	10.3	16.3	9.3	19.5	12.5	4.8	-	9.5	10.4	13.0	11.1		
	不満	12.3	13.7	10.1	15.5	9.3	15.6	16.1	4.8	-	12.6	8.2	8.7	11.1		
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
教育訓練・能力開発のあり方	満足	8.9	6.9	12.3	7.3	9.3	9.1	21.4	4.8	-	5.1	11.2	17.4	16.7		
	やや満足	17.8	17.6	18.2	15.9	13.6	14.3	7.1	19.0	-	19.8	25.4	21.7	27.8		
	どちらでもない	41.3	41.2	41.6	41.2	45.7	31.2	44.6	57.1	-	43.5	40.3	34.8	22.2		
	やや不満	16.2	17.0	14.8	17.6	17.9	24.7	14.3	9.5	-	14.6	10.4	17.4	16.7		
	不満	15.3	16.6	13.1	18.0	13.6	16.9	12.5	9.5	-	16.6	12.7	8.7	16.7		
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
家庭・個人としての生活との両立	満足	20.7	19.1	23.5	15.5	16.4	14.3	33.9	23.8	-	22.1	26.9	34.8	16.7		
	やや満足	26.8	26.0	28.2	22.7	20.7	29.9	26.8	14.3	-	28.1	33.6	34.8	44.4		
	どちらでもない	31.6	32.3	30.4	34.8	37.1	28.6	26.8	42.9	-	31.2	25.4	21.7	27.8		
	やや不満	10.9	11.0	10.6	12.9	15.7	13.0	7.1	4.8	-	9.9	8.2	4.3	5.6		
	不満	9.5	10.9	7.3	14.2	10.0	10.4	5.4	14.3	-	8.3	6.0	4.3	5.6		
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
職業生活全体	満足	13.1	11.5	15.6	9.0	10.0	14.3	23.2	4.8	-	13.0	19.4	17.4	5.6		
	やや満足	29.2	28.8	29.9	27.5	19.3	20.8	30.4	33.3	-	28.9	38.1	65.2	44.4		
	どちらでもない	37.8	38.6	36.6	41.2	45.0	36.4	28.6	47.6	-	38.7	31.3	8.7	33.3		
	やや不満	10.5	9.7	11.7	9.9	16.4	13.0	10.7	9.5	-	8.7	7.5	8.7	16.7		
	不満	9.0	10.7	6.1	12.4	9.3	11.7	7.1	4.8	-	10.3	3.7				
	無回答	0.4	0.7					3.9			0.4					
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		965	607	358	233	140	77	56	21	10	253	134	23	18		

Q44 あなたは現在、職業生活についてどのように感じていますか。 単位：％、太字は実数																	
女性・離職者・現職あり		初職勤続期間			全学歴			高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		全体	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	3年以内	3年超	
仕事の内容・やりがい	満足	19.3	19.5	19.0	16.6	17.3	22.4	25.0	14.3	14.5	20.9	21.1	-	-	-	-	
	やや満足	41.3	42.7	39.1	43.3	40.4	33.6	35.7	59.7	38.2	40.7	39.4	-	-	-	-	
	どちらでもない	23.1	22.8	23.6	24.8	26.0	26.7	23.2	18.2	26.3	21.5	20.2	-	-	-	-	
	やや不満	10.5	10.5	10.6	10.2	7.7	10.3	7.1	6.5	14.5	13.0	11.9	-	-	-	-	
	不満	5.6	4.3	7.5	4.5	8.7	6.9	7.1	1.3	6.6	4.0	7.3	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
人事評価・処遇のあり方	満足	14.4	14.4	14.4	14.6	15.4	15.5	19.6	16.9	9.2	11.9	14.7	-	-	-	-	
	やや満足	29.9	30.5	29.0	26.8	27.9	26.7	28.6	48.1	35.5	28.8	25.7	-	-	-	-	
	どちらでもない	31.3	30.1	33.0	31.8	36.5	31.0	32.1	19.5	30.3	32.8	32.1	-	-	-	-	
	やや不満	15.1	16.3	13.2	18.5	10.6	15.5	8.9	13.0	14.5	16.4	16.5	-	-	-	-	
	不満	9.1	8.4	10.1	7.6	9.6	11.2	8.9	2.6	10.5	10.2	11.0	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
職場の人間関係、コミュニケーション	満足	24.8	25.8	23.3	29.3	24.0	27.6	37.5	23.4	13.2	22.0	22.9	-	-	-	-	
	やや満足	36.1	36.1	35.9	30.6	30.8	28.4	35.7	40.3	35.5	44.1	40.4	-	-	-	-	
	どちらでもない	22.3	21.3	23.9	24.8	29.8	25.0	12.5	20.8	27.6	16.4	21.1	-	-	-	-	
	やや不満	10.9	10.7	11.2	8.3	9.6	11.2	8.9	14.3	18.4	11.3	9.2	-	-	-	-	
	不満	5.7	5.8	5.5	6.4	5.8	7.8	3.6	1.3	5.3	6.2	6.4	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
賃金	満足	12.7	12.4	13.2	10.8	12.5	12.9	19.6	14.3	9.2	11.9	13.8	-	-	-	-	
	やや満足	26.9	27.3	26.1	24.2	28.8	27.6	16.1	35.1	27.6	26.0	28.4	-	-	-	-	
	どちらでもない	24.7	23.2	27.0	26.8	32.7	20.7	17.9	19.5	25.0	23.7	27.5	-	-	-	-	
	やや不満	22.4	23.4	21.0	21.7	18.3	22.4	25.0	23.4	26.3	26.0	17.4	-	-	-	-	
	不満	13.0	13.5	12.4	15.9	7.7	16.4	19.6	7.8	11.8	12.4	12.8	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
労働時間・休日等の労働条件	満足	29.5	29.2	29.9	26.1	23.1	31.0	33.9	22.1	23.7	33.3	37.6	-	-	-	-	
	やや満足	32.5	31.5	34.2	28.0	41.3	22.4	12.5	41.6	34.2	35.6	38.5	-	-	-	-	
	どちらでもない	19.3	19.5	19.0	26.1	24.0	22.4	19.6	13.0	22.4	15.3	11.9	-	-	-	-	
	やや不満	11.2	11.8	10.3	9.6	8.7	14.7	17.9	19.5	11.8	9.0	7.3	-	-	-	-	
	不満	7.3	7.9	6.3	9.6	2.9	9.5	14.3	3.9	7.9	6.8	4.6	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
職場の環境(照明、空調、騒音等)	満足	22.0	23.4	19.8	22.9	20.2	24.1	23.2	24.7	11.8	22.6	22.9	-	-	-	-	
	やや満足	34.8	36.5	32.2	26.8	22.1	34.5	32.1	44.2	46.1	42.9	32.1	-	-	-	-	
	どちらでもない	24.3	22.5	27.0	31.8	35.6	19.0	17.9	14.3	26.3	19.8	23.9	-	-	-	-	
	やや不満	12.5	11.2	14.4	11.5	12.5	10.3	19.6	16.9	11.8	9.6	15.6	-	-	-	-	
	不満	6.2	6.2	6.3	6.4	9.6	12.1	5.4		3.9	5.1	5.5	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
雇用の安定性	満足	21.0	22.7	18.4	19.7	13.5	20.7	23.2	27.3	21.1	24.3	18.3	-	-	-	-	
	やや満足	30.6	31.1	29.9	27.4	31.7	23.3	26.8	40.3	34.2	35.6	26.6	-	-	-	-	
	どちらでもない	28.3	26.6	31.0	31.8	36.5	30.2	17.9	19.5	31.6	22.6	33.0	-	-	-	-	
	やや不満	12.0	12.2	11.8	11.5	11.5	18.1	19.6	11.7	7.9	9.0	10.1	-	-	-	-	
	不満	7.8	7.3	8.6	8.9	6.7	7.8	10.7	1.3	5.3	8.5	11.9	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
福利厚生	満足	17.1	18.7	14.7	15.3	15.4	21.6	19.6	22.1	13.2	18.1	11.0	-	-	-	-	
	やや満足	25.4	25.7	25.0	22.9	27.9	17.2	19.6	31.2	30.3	31.1	22.0	-	-	-	-	
	どちらでもない	31.0	28.8	34.2	31.8	40.4	37.1	21.4	26.0	31.6	22.0	37.6	-	-	-	-	
	やや不満	14.9	15.2	14.4	17.2	3.8	12.1	25.0	13.0	15.8	16.4	18.3	-	-	-	-	
	不満	11.5	11.4	11.5	12.1	12.5	12.1	12.5	7.8	9.2	12.4	11.0	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
教育訓練・能力開発のあり方	満足	9.8	10.7	8.3	10.2	10.6	9.5	10.7	10.4	5.3	11.3	7.3	-	-	-	-	
	やや満足	18.5	19.7	16.7	17.2	16.3	18.1	16.1	22.1	22.4	22.6	12.8	-	-	-	-	
	どちらでもない	41.8	39.1	46.0	39.5	50.0	40.5	39.3	36.4	44.7	37.9	47.7	-	-	-	-	
	やや不満	17.0	18.7	14.4	19.7	10.6	19.0	19.6	24.7	13.2	15.8	14.7	-	-	-	-	
	不満	12.7	11.6	14.4	12.7	12.5	12.9	12.5	6.5	14.5	12.4	17.4	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
家庭・個人としての生活との両立	満足	25.3	28.3	29.3	26.8	23.1	31.0	33.9	23.4	22.4	29.9	36.7	-	-	-	-	
	やや満足	27.2	32.0	29.9	26.8	27.9	21.6	19.6	45.5	38.2	37.9	31.2	-	-	-	-	
	どちらでもない	33.0	24.7	25.0	30.6	36.5	31.0	14.3	18.2	23.7	18.1	21.1	-	-	-	-	
	やや不満	9.6	9.9	8.3	11.5	6.7	10.3	14.3	10.4	7.9	7.9	7.3	-	-	-	-	
	不満	4.6	4.9	7.2	3.8	5.8	6.0	16.1	2.6	7.9	6.2	3.7	-	-	-	-	
	無回答	0.4	0.2	0.3	0.6			1.8									
職業生活全体	満足	15.3	16.9	12.9	14.0	12.5	20.7	17.9	16.9	7.9	16.4	14.7	-	-	-	-	
	やや満足	36.5	36.3	36.8	30.6	32.7	24.1	23.2	46.8	43.4	43.5	41.3	-	-	-	-	
	どちらでもない	33.9	33.0	35.3	39.5	42.3	37.9	30.4	23.4	34.2	29.4	33.0	-	-	-	-	
	やや不満	8.7	8.8	8.6	10.2	5.8	10.3	12.5	10.4	10.5	6.2	8.3	-	-	-	-	
	不満	5.3	4.9	6.0	5.1	6.7	6.9	14.3	2.6	3.9	4.5	2.8	-	-	-	-	
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.6			1.8									
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
有効回答数 (N)		882	534	348	157	104	116	56	77	76	177	109	7	3			

Q45 現在のご自身の生活全般についてどのように感じていますか。 単位：％、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
満足	13.0	12.9	13.1	9.3	12.0	10.7	12.0	12.8	18.4	16.4	12.6	20.9	17.1
やや満足	39.0	32.4	42.6	25.1	41.9	37.6	32.6	35.9	38.2	36.0	44.2	46.5	46.8
どちらでもない	23.8	24.0	23.6	26.0	24.2	24.8	25.5	30.8	21.1	21.0	23.8	25.6	20.8
やや不満	15.7	18.1	14.5	23.4	14.9	17.4	21.7	10.3	14.5	15.4	13.4	2.3	12.5
不満	8.4	12.6	6.2	16.2	7.0	9.4	8.2	10.3	7.9	11.2	6.1	4.7	2.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216

すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
満足	14.5	16.0	12.5	14.3	14.1	17.5	10.0	15.5	10.7	16.6	13.3	33.3	7.5
やや満足	45.0	44.8	45.3	41.1	40.0	41.1	42.5	49.8	48.0	47.8	48.1	41.7	30.0
どちらでもない	20.2	19.3	21.4	21.8	20.0	16.1	28.3	17.4	22.7	20.0	19.2	16.7	32.5
やや不満	15.0	14.3	16.0	15.4	21.1	20.0	15.8	12.5	14.7	11.3	14.2	—	22.5
不満	5.3	5.6	4.8	7.5	4.9	5.4	3.3	4.9	4.0	4.3	5.2	8.3	7.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q46 配偶者はいますか。 単位：％、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
いない	56.7	61.0	54.4	63.0	49.5	53.7	49.5	71.8	53.9	61.7	57.3	51.2	58.3
いる	43.3	39.0	45.6	37.0	50.5	46.3	50.5	28.2	46.1	38.3	42.7	48.8	41.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216

すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
いない	46.9	33.6	65.9	34.9	64.3	31.1	65.0	24.5	64.0	38.4	68.2	50.0	52.5
いる	53.1	66.4	34.1	65.1	35.7	68.9	35.0	75.5	36.0	61.6	31.8	50.0	47.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q46-1 ご結婚されたのはいつですか（事実婚含む）。 単位：％、太字は実数													
男性・有配偶者	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
～19歳	0.9	0.5	1.1	1.3	2.1	—	—	2.9	—	0.5	—	1.1	—
20歳～24歳	24.3	25.5	23.8	39.4	34.0	24.6	38.7	45.5	37.1	14.6	16.8	—	4.4
25歳～29歳	59.9	54.0	62.6	43.9	51.8	59.4	50.5	36.4	45.7	62.8	70.8	52.4	76.7
30歳以上	14.8	20.0	12.5	15.5	12.1	15.9	10.8	18.2	14.3	22.6	11.9	47.6	17.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,348	420	928	155	282	69	93	11	35	164	428	21	90

女性・有配偶者	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
～19歳	1.8	1.6	2.3	4.1	7.6	0.5	2.4	1.0	3.7	0.3	—	—	—
20歳～24歳	32.9	34.0	29.7	42.6	54.5	47.2	38.1	33.5	25.9	17.6	22.1	—	5.3
25歳～29歳	54.5	52.8	59.2	40.2	34.8	43.0	52.4	52.5	55.6	72.3	68.6	—	84.2
30歳以上	10.8	11.5	8.8	13.2	3.0	9.3	7.1	13.0	14.8	9.7	9.3	—	10.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	1,337	984	353	296	66	193	42	200	54	289	172	6	19

Q47 配偶者の主なお仕事をお選びください。 単位：％、太字は実数													
男性・有配偶者	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
正社員として働いている（正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む）	41.5	37.1	43.5	34.2	33.0	30.4	47.3	18.2	22.9	43.9	50.5	38.1	47.8
契約社員として働いている	3.7	4.0	3.6	3.2	3.5	1.4	1.1		5.7	5.5	4.0	9.5	3.3
派遣社員として働いている	2.6	2.9	2.5	3.9	2.1	1.4	1.1	9.1	5.7	1.8	2.6	4.8	3.3
パート・アルバイトとして働いている	18.2	20.2	17.3	26.5	19.9	33.3	23.7	9.1	22.9	11.0	14.0	9.5	16.7
雇用以外の形態で働いている（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など）	2.1	2.1	2.0	3.2	1.8	2.9			5.7	0.6	2.3	4.8	2.2
もっぱら就職活動をしている	0.8	0.7	0.9	0.6	1.1	1.4	1.1	9.1			0.9		
学校（高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）で学んでいる（通信制含む）	0.3	0.2	0.3		0.4	1.4					0.5		
もっぱら勉強をしている（上記の学校に在学している場合を除く）	0.2	0.2	0.2							0.6	0.5		
もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしている	27.6	27.9	27.5	24.5	35.8	21.7	23.7	27.3	34.3	32.9	22.7	33.3	25.6
もっぱら療養・休養をしている	2.9	4.5	2.2	3.9	2.5	5.8	2.2	27.3	2.9	3.7	2.1		1.1
その他													
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,348	420	928	155	282	69	93	11	35	164	428	21	90

女性・有配偶者	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
正社員として働いている（正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む）	89.5	88.9	91.2	84.8	92.4	91.7	85.7	89.5	92.6	91.0	92.4	-	84.2
契約社員として働いている	1.7	1.7	1.7	2.4	1.5	2.1	4.8	0.5	1.9	1.7	1.2		
派遣社員として働いている	0.4	0.5		1.4						0.3			
パート・アルバイトとして働いている	1.6	1.7	1.4	1.7		1.0		2.5	1.9	1.7	1.7		5.3
雇用以外の形態で働いている（会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業者など）	5.2	5.5	4.2	7.8	6.1	4.7	7.1	4.0	1.9	4.5	3.5	-	5.3
もっぱら就職活動をしている	0.3	0.2	0.6	0.3			2.4	0.5					5.3
学校（高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）で学んでいる（通信制含む）													
もっぱら勉強をしている（上記の学校に在学している場合を除く）													
もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしている	0.6	0.8		1.4		0.5		1.0		0.3			
もっぱら療養・休養をしている	0.5	0.4	0.8					1.5	1.9	0.3	1.2		
その他	0.1	0.2		0.3				0.5					
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,337	984	353	296	66	193	42	200	54	289	172	6	19

Q48 あなたにはお子さんがいますか。 単位：％、太字は実数													
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
いない	68.9	71.6	67.4	71.1	58.6	61.7	62.5	79.5	65.8	74.8	71.3	72.1	76.9
いる（あなた・配偶者が妊娠中の場合を含む）	31.1	28.4	32.6	28.9	41.4	38.3	37.5	20.5	34.2	25.2	28.7	27.9	23.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002	43	216

すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
いない	58.5	47.0	74.9	41.8	67.6	44.3	75.0	40.8	73.3	56.5	77.8	75.0	75.0
いる（あなた・配偶者が妊娠中の場合を含む）	41.5	53.0	25.1	58.2	32.4	55.7	25.0	59.2	26.7	43.5	22.2	25.0	25.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541	12	40

Q48-1 一人目のお子さん生まれたのはいつですか。 単位：％、太字は実数													
男性・有子者	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
～19歳	1.3	1.0	1.5	0.8	1.7	3.5	1.4				1.7		
20歳～24歳	18.0	19.3	17.5	30.6	26.4	17.5	27.5	—	23.1	8.3	9.7		4.0
25歳～29歳	55.1	52.0	56.5	49.6	51.5	50.9	47.8	—	61.5	58.3	63.5	33.3	48.0
30歳以上	25.2	27.5	24.1	18.2	20.3	28.1	21.7	—	15.4	33.3	24.3	66.7	48.0
無回答	0.4	0.3	0.5	0.8			1.4				0.7		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	970	306	664	121	231	57	69	8	26	108	288	12	50

女性・有子者	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
～19歳	1.3	1.0	2.3	2.3	8.3	0.6				0.5	0.8		
20歳～24歳	25.6	27.6	19.6	41.9	45.0	32.7	30.0	19.7	10.0	11.8	9.2		
25歳～29歳	54.1	52.9	57.7	40.8	40.0	50.0	60.0	61.8	67.5	64.2	64.2	—	40.0
30歳以上	18.8	18.5	19.6	15.1	6.7	16.7	10.0	18.5	22.5	23.5	25.0	—	50.0
無回答	0.2		0.8								0.8		10.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数（N）	1,045	785	260	265	60	156	30	157	40	204	120	3	10

Q49 あなたのお宅全体の年収（税込）はどのくらいですか。臨時収入、副収入も含めてお答えください。単位：％、太字は実数											
すべての男性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
100万円未満	0.9	2.5	0.1	2.9		2.7		5.1		2.1	0.2
100～200万円未満	1.5	3.1	0.7	2.9	0.7	4.7	1.1		1.3	2.8	0.8
200～300万円未満	7.1	9.6	5.7	14.3	5.6	8.7	10.9	15.4	7.9	5.4	5.5
300～400万円未満	16.8	17.9	16.3	19.6	16.7	17.4	20.7	15.4	21.1	18.0	15.5
400～600万円未満	29.4	26.3	31.0	23.4	33.7	29.5	28.3	17.9	30.3	28.5	29.6
600～800万円未満	18.2	14.7	20.1	13.4	22.0	13.4	20.1	7.7	23.7	16.1	17.5
800～1000万円未満	9.4	7.6	10.3	6.2	7.3	6.0	8.2	5.1	5.3	8.6	12.6
1000～1200万円未満	4.3	3.1	4.9	3.3	3.4	1.3	1.6	2.6	5.3	3.7	6.0
1200～2000万円未満	3.3	2.2	3.9	1.0	2.5	2.7	1.6	5.1	1.3	2.6	5.3
2000万円以上	0.8	1.3	0.5	1.0		0.7	0.5			2.1	0.7
収入はない	0.3	0.9		0.7		1.3		2.6		0.9	
わからない	7.9	10.8	6.4	11.5	8.1	11.4	7.1	23.1	3.9	9.1	6.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	3,114	1,078	2,036	419	558	149	184	39	76	428	1,002
すべての女性	全体	全学歴		高校卒		専門学校卒		短大・高専卒		大学院卒	
		離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者	離職者	勤続者
100万円未満	1.2	1.9	0.3	2.9		0.7	0.8	0.8		2.3	0.4
100～200万円未満	2.9	3.2	2.5	5.1	3.2	4.6	5.8	2.3	2.0	1.1	1.8
200～300万円未満	12.2	12.0	12.5	17.1	17.3	11.1	13.3	10.9	13.3	8.5	11.1
300～400万円未満	15.6	15.8	15.3	17.1	14.6	14.6	15.8	12.8	14.0	17.1	15.2
400～600万円未満	23.2	27.2	17.6	24.8	14.1	27.9	20.0	35.8	16.0	24.3	18.5
600～800万円未満	14.8	14.4	15.3	10.1	17.3	16.8	15.0	14.7	14.7	17.1	15.3
800～1000万円未満	8.3	5.8	11.9	4.2	9.7	5.4	10.8	6.4	14.0	7.5	12.0
1000～1200万円未満	4.5	3.1	6.5	1.3	4.9	2.9	2.5	2.3	8.0	5.3	7.0
1200～2000万円未満	3.1	2.2	4.3	0.7	1.6	2.1	2.5	1.9	2.7	3.4	6.3
2000万円以上	0.9	0.3	1.7	0.4	0.5		1.7		0.7	0.4	2.4
収入はない	0.1	0.1				0.4		0.4			
わからない	13.1	13.8	12.1	16.3	16.8	13.6	11.7	11.7	14.7	13.0	10.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有効回答数 (N)	2,517	1,481	1,036	455	185	280	120	265	150	469	541

調 査 要 旨

あなたご自身についてのアンケート

モニターの皆様へお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。
アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- SNSやブログ、掲示板等に書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。（システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。）
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づいて取り扱います。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押し、アンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

SC1 必須 あなたの生年を教えてください。

西暦

選択してください

選択してください

生まれ

次へ

SC2 必須

あなたは、これまでに、正社員として働いたことがありますか。

※「正社員」には、官公庁・病院・学校等で「正職員」として雇用される労働者や、「短時間正社員」「地域限定正社員」、正社員に移行することを予定した「試用期間」中の労働者を含みます。

- はい、正社員として働いたことがあります
- いいえ、正社員として働いたことはありません

次へ

SC3 必須

あなたの最終学歴は次のどれにあたりますか。あてはまるものをお選びください。中途退学した方は、中退した学校の前に卒業した学校をお答え下さい。在学中の方は、現在の学校に入る前に卒業した学校をお答え下さい。

※大学・短大・高等専門学校を卒業後、専修学校（専門課程）に進まれた方は、大学・短大・高等専門学校を最終学歴として下さい。
※専修学校（一般課程）や各種学校（自動車教習所等）は除きます。

- 中学校卒業
- 高校卒業（専修学校の高等課程を含む）
- 専修学校（専門課程）卒業
- 高等専門学校卒業
- 短期大学卒業
- 大学卒業
- 大学院 修士課程修了
- 大学院 博士後期課程修了（満期退学を含む）
- その他 具体的に：

次へ

SC4 必須 あなたがその学校を卒業した年月を教えてください。

西暦

選択してください

年

選択してください

卒業

次へ

SC5 必須 あなたの性別をお答えください

男性

女性

次へ

SC6 必須 現在、どちらの都道府県にお住まいですか。

選択してください

次へ

SC7 必須 あなたはこれまで正社員として働いていた会社を退職したことがありますか。または、同じ会社で正社員から正社員以外の労働者に転換したことがありますか。

ある

ない

次へ

本調査は、厚生労働省所管の独立行政法人労働政策研究・研修機構（http://www.jil.go.jp/）から委託を受けて、株式会社サーベイリサーチセンターが実施しております。

労働政策研究・研修機構では、若者の就業や能力開発への支援の充実について検討するため、このたび「若者のキャリア形成と職場状況に関する調査」を実施致します。つきましては、あなたがこれまでに働いてきた中でご経験された事例やご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

ご回答は「△△は〇%」というように統計的に処理いたしますので、調査の後にご迷惑をおかけすることはありません。本調査の趣旨にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本調査では、あなたのお仕事の経歴をくわしくお尋ねします。履歴書などをおもちでしたら、ご用意いただきませすようお願い申し上げます。

なお、本調査の最後に、ヒアリング調査へのご協力をお願いする画面が表示されます。ご協力頂いた方には別途お礼をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

全50問中、残り約50問 です

必須 あなたが最終学歴の学校を卒業するまでの状況についてうかがいます。

※中途退学した方は、中退した学校の前に卒業した学校についてお答え下さい。

※在学中の方は、現在の学校に入る前に卒業した学校についてお答え下さい。

Q1-1 必須 あなたは高校（専修学校高等課程含む）で何を専攻していましたか

普通科

工業科

商業科

総合学科

農業学科

家庭学科

看護・福祉学科

その他 具体的に：

Q1-2 必須 あなたは専修学校（専門課程）で何を専攻していましたか

- 工業関係
- 農業関係
- 医療関係
- 衛生関係
- 教育・社会福祉関係
- 商業実務関係
- 服飾・家政関係
- 文化・教養関係
- その他 具体的に：

Q1-4 必須

あなたは短大で何を専攻していましたか

- 人文（文学、史学、哲学、外国語など）
- 社会（商学、経済学、社会学、心理学、社会福祉、ビジネスなど）
- 教養（国際教養、生活教養、文化教養、情報文化学、現代教養学、生活創造など）
- 工学（機械、電気、建築、情報など）
- 農業
- 医療、保健、看護学
- 家政
- 教育
- 芸術
- その他 具体的に：

Q1-3 必須 あなたは高等専門学校で何を専攻していましたか

- 機械、材料系
- 電気、電子系
- 情報系
- 化学・生物系
- 建設、建築系
- その他工業（総合、複合等）
- 商船
- その他 具体的に：

Q1-5 必須

あなたは大学・大学院で何を専攻していましたか

- 社会科学（法学、経済学、商学、社会学、福祉など）
- 人文科学（文学、哲学、史学、心理学、外国語など）
- 教育
- 工学（機械、電気、建築、情報など）
- 農学
- 理学
- 医療、保健、看護
- 家政
- 芸術
- その他 具体的に：

次へ

全50問中、残り約49問です

必須 あなたが、初めて正社員として働き始めるまでの状況についてうかがいます。

※以下では、あなたが初めて正社員として働いた会社を「初めての正社員勤務先」とよびます。
 ※「正社員」には「正職員」や「短時間正社員」「地域限定正社員」「地域限定正社員」、正社員に移行することを予定した「試用期間」中の労働者を含みます。

Q2 必須 あなたの、最終学歴の学校に入学してから「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めるまでの行動として、以下の事例はどの程度あてはまりますか。(矢印方向に一つずつ)

	ほとんどあてはまる	ややあてはまる	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	ほとんどあてはまらない
卒業後に「好きな仕事」を志望して、入学する学校を決めた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校での学業成績は優秀な方であった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アルバイトに熱心であった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課外活動(部活・サークル・ボランティアなど)に熱心であった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
就職したい業界や職業について調べた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の興味関心や「やりたいこと」について深く考えた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校の先生・職員や公的機関(ハローワーク等)の職員に、個別に就職活動の相談をした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
就職したい会社の経営者や従業員に個人的に話を聞きに行った	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場での実務を伴う学習(インターンシップや職場体験など)を経験した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
働くためのルール(労働法など)について学んだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



Q3 必須 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めた直前の主な状況として、最も近いものを答え下さい。

- 学校で学んでいた(学校を卒業してまもなく「初めての正社員勤務先」へ就職した)
- 「初めての正社員勤務先」で、正社員以外の労働者として働いていた
- 他の会社で契約社員として働いていた
(「契約社員」=正社員以外で、連の所定勤務時間が通常の労働者と同じ労働者)
- 他の会社で派遣社員として働いていた
(「派遣社員」=労働者派遣法にもとづく派遣会社から派遣される労働者)
- 他の会社でパート・アルバイトとして働いていた
(「パート・アルバイト」=通常の労働者より連の所定勤務時間が短い労働者。学生をのぞくアルバイトは除く)
- 雇用以外の形態で働いていた
(会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業員など)
- もっぱら就職活動をしていた
- もっぱら勉強をしていた(在学していた場合を除く)
- もっぱら家族の世話(家事・育児・介護)をしていた
- もっぱら療養・休養していた
- その他 具体的に：

次へ

次へ

Q4 必須 あなたは「初めての正社員勤務先」へどのような方法で応募しましたか。

- 学校（先生、就職部、キャリアセンター）の紹介で
- 職業安定所（ハローワーク・インターネットサービスを含む）の紹介で
- 民間の職業紹介サービスを利用した
- インターネット上の求人サイトを利用した
- 新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した
- 家族や親戚の紹介で
- 友人・知人の紹介で
- 希望する会社に直接問い合わせた（会社のサイトから直接応募したことも含む）
- その他 具体的に：

次へ

Q5 必須 あなたが「初めての正社員勤務先」への就職を決めた理由として、あてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも）

- 自分の技能・能力が活かせる
- 業種・業界
- 仕事の内容・職種
- 会社の規模・知名度
- 会社の将来性がある
- 社会的意義がある
- 賃金の条件がよい
- 労働条件・休日・休暇の条件がよい
- 勤務地
- 転動がない・転勤の地域が限られている
- 福利厚生がよい
- 若いうちから責任ある仕事を任せてもらえる
- 説明会や面接等で出会った社長や社員が魅力的だった
- 他に内定を得ることができなかった
- その他 具体的に：

次へ

Q6 必須 あなたは就職活動を始めた当初、「初めての正社員勤務先」への就職をどのくらい志望していましたか

- 当初から第一志望だった
- 当初から志望していたが、第一志望ではなかった
- 当初は志望していなかった

次へ

全50問中、残り約44問です

Q8 必須 あなたが、初めて正社員として働いた会社（「初めての正社員勤務先」）で経験した事柄について
 うちがいます。

※本調査では、病院や学校、公的団体など通常「会社」とはよばない勤め先もすべて「会社」と呼
 びます。

次へ

Q7 必須 あなたが、初めて正社員として働き始めた（入社した）のはいつですか。
 ※同じ会社の中で、正社員以外の労働者から正社員へ転換した場合は、正社員として働き始めた時
 期をお答え下さい
 ※学生時代のアルバイトや家業を卒業後も続けた場合や、在学中から働き始めた場合、卒業後に正
 社員として働きはじめた年・月をお答えください。
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月をお答えください。

西暦

選択してください ▶ 年

選択してください ▶ 入社

次へ

Q8 必須 あなたは、「初めての正社員勤務先」で**正社員として働き続けていますか**。

※出産・育児・介護・療養等のために一時的に休職している方は「働いている」と答えて下さい。
 ※「正社員」には、「正職員」や「短時間正社員」「地域限定正社員」、正社員に移行することを
 予定した「試用期間」中の労働者を含みます。

- 現在も正社員として働いている
- 退社した
- 「初めての正社員勤務先」で、正社員から「正社員以外の労働者」に転換した

次へ

Q8-1 必須 あなたが「初めての正社員勤務先」を辞めた年月をお答えください。
 ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換した年月を「辞めた時期」
 としてお答え下さい

西暦

選択してください ▶ 年

選択してください ▶ に退社

次へ

Q9 必須 あなたが正社員として働き始めた当初、その会社の本社はどこにありましたか。

Q9-1 必須 あなたが「初めての正社員勤務先」で正社員として働き始めた当初、その会社の本社はどこにあ
 りましたか。

選択してください ▶

次へ

Q10 必須 あなたが**正社員**として働き始めてから、初めて受け取った月あたりのお給料（税込）はいくらでしたか。
 ※年俸制だった方は賞与を除く1ヶ月あたりの金額をお答え下さい
 ※千円以下は切り上げてください

Q10-1 必須 あなたが「初めての正社員勤務先」で**正社員**として働き始めてから、初めて受け取った月あたりのお給料（税込）はいくらでしたか。
 ※年俸制だった方は賞与を除く1ヶ月あたりの金額をお答え下さい
 ※千円以下は切り上げてください

選択してください ▼

次へ

Q11 必須 あなたは「初めての正社員勤務先」に、正社員として、3ヶ月以上働いていますか

※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から3ヶ月以上働いているかどうかお答えください。

- まだ3ヶ月働いていない
- 3ヶ月以上働いている

次へ

Q11-1 必須 あなたは「初めての正社員勤務先」で3ヶ月間以上働いてから辞めましたか、あるいは、3ヶ月間以上働いてから「正社員以外の労働者」に転換しましたか

※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から3ヶ月以上働いたかどうかお答えください。

- 3ヶ月働いていないうちに辞めた
- 3ヶ月働いていないうちに「正社員以外の労働者」に転換した
- 3ヶ月以上働いてから辞めた
- 3ヶ月以上働いてから「正社員以外の労働者」に転換した

次へ

Q12 必須 **正社員として働き始めてから約3ヶ月が経過した頃に、あなたは仕事に関連して、以下の行動をどのくらいとることができましたか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）**
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から3ヶ月後の状況についてお答えください。

Q12-1 必須 「初めての正社員勤務先」で**正社員として働き始めてから約3ヶ月が経過した頃に、あなたは仕事に関連して、以下の行動をどのくらいとることができましたか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）**
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から3ヶ月後の状況についてお答えください。

	とても	やや	どちらでもない	やや	とても
課題を見つけ出し、目標を持つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
具体的な方策を見つけて計画を立てる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最後までやりとげる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
受身ではなく自分から行動する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分を客観的に認識する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他者を説得して動かす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他者と他者との間をとりもち良い人間関係を構築する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



Q13 必須 **正社員として働き始めてから3ヶ月後までに、起きたできごととして、あてはまるものをすべてお答え下さい（いくつでも）。**
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から3ヶ月後までの状況についてお答えください。

Q13-1 必須 「初めての正社員勤務先」で**正社員として働き始めてから3ヶ月後までに、起きたできごととして、あてはまるものをすべてお答え下さい（いくつでも）。**
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から3ヶ月後までの状況についてお答えください。

- 業務をせず研修だけを受けている時期があった
- 特定の上司や先輩社員があなただの「教育係」になった
- 先輩社員と同等の業務を、はじめからまかされた
- 指示が曖昧なまま放置され、何をしたらよいか分からない時期があった
- その会社で働く上で従うべき規則や慣習について丁寧に説明してもらった
- 給与の金額が入社前に聞いていた内容とは異なっていた
- 労働時間の長さが入社前に聞いていた内容とは異なっていた
- 仕事内容が入社前に聞いていた内容とは異なっていた
- いずれもあてはまらない

次へ

次へ

Q14 必須 **正社員として働き始めてから3ヶ月後までに、会社の人とあなたとの間で行われたやりとりとして、あてはまるものをすべてお選びください** (いくつでも)
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から3ヶ月後までの状況についてお答えください。

Q14-1 必須 「初めての正社員勤務先」で**正社員として働き始めてから3ヶ月後までに、会社の人とあなたとの間で**行われたやりとりとして、あてはまるものをすべてお選びください (いくつでも)
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から3ヶ月後までの状況についてお答えください。

- 会社の人、あなたに、業務を実際に行う中で仕事を教えてくれた
- 会社の人、あなたが、あなたを、会社内の他の事業所・部署の従業員に紹介してくれた
- 会社の人、あなたが、あなたを、顧客や取引先の人に紹介してくれた
- 会社の人、あなたが、あなたに、歓迎会を開いてくれた
- あなたが、会社の人に、自分が希望する仕事内容や働き方について伝えた
- あなたが、会社の人に、自分の働きぶりについて意見や感想を求めた
- 分からないことがあった時に、あなたの方から、会社の人に相談した
- いずれもあてはまらない

次へ

Q15 必須 **正社員として働き始めてから現在までに、あなたの担当する業務はどのように変化しましたか。**
 あてはまるものをすべてお答えください (いくつでも)
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から現在までの状況についてお答えください。

Q15-1 必須 「初めての正社員勤務先」で**正社員として働いている間に、あなたの担当する業務はどのように**変化しましたか。あてはまるものをすべてお答えください (いくつでも)
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から離職するまでの状況についてお答えください。
 ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者に転換した方は、転換するまでに生じた変化についてお答えください。

- 業務の全体的な量が増えた
- 業務の種類が増えた
- 業務の内容が難しくなった
- 責任の重い業務を担当するようになった
- 正社員として働き始めた当初とは全く違う職種(業務内容)になった
- 自分で業務の手順やスケジュールを決められるようになっていった
- 非正社員を指導・管理する立場になっていった
- 部下・後輩の正社員を指導・管理する立場になっていった
- その他の変化 具体的に：
- 何も変化していない

次へ

Q16 必須 現在のお勤め先での職業生活全体を振り返ると、以下の事柄はどの程度あてはまりますか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）。

Q16-1 必須 「初めての正社員勤務先」で送った職業生活全体を振り返ると、以下の事柄はどの程度あてはまりましたか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）。

※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者に転換した方は、転換するまでの期間についてお答えください。

	ほとんどない	やや少ない	ちょうど	やや多い	ほとんど多い
従業員同士がお互いに助け合って仕事をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「会社全体で、積極的に従業員を育てていく」という雰囲気がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
重労働であれば、年齢や勤続期間にかかわらず出世できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
男女の区別なく活躍できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社長や役員と、一般従業員との距離が近い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「若いうちは失敗が多くても、将来的に会社の役にたてればいい」という雰囲気がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「お金より自分の成長やお客様からの感謝にやりがいを感じるべきだ」という雰囲気がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
短期間に何人も従業員が次々と辞めていく	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
短期間に何人も新しい従業員が採用される	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
会社の業務の中で、法律や社会的倫理に反する行為が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q17 必須 あなたは現在、職業生活についてどのように感じていますか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

Q17-1 必須 「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、職業生活についてどのように感じていましたか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者に転換した方は、転換する直前についてお答えください。

	満足	やや満足	ちょうど	やや不満	不満
仕事の内容・やりがい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人事評価・処遇のあり方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場の人間関係、コミュニケーション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
賃金	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
労働時間・休日等の労働条件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場の環境(照明、空調、騒音等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
雇用の安定性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
福利厚生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教育訓練・能力開発のあり方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家庭・個人としての生活との両立	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職業生活全体	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q18 必須 **正社員として働き始めてから現在までに、あなたが会社で経験した出来事をすべてお選びください** (いくつでも)
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から現在までの状況についてお答えください。

Q18-1 必須 「初めての正社員勤務先」で**正社員として**働いている間に、あなたが会社で経験した出来事をすべてお選びください (いくつでも)
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から離職するまでの状況についてお答えください。
 ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者に転換した方は、転換するまでに経験した出来事をお答えください。

- 残業代が時間通り支払われなかったことがあった
- 希望した日に有給休暇をとれなかったことがあった
- 会社から一方的に労働条件 (勤務時間、日数、賞金等) を変更された
- 自分が希望しない配置転換があった
- 人手不足で一人で仕事を休むと業務が立ちゆかなくなる状況があった
- 商品の買い取りや、業務に関わる諸経費 (制服・備品・研修費用等) の自己負担を強要された
- 暴言・暴力、いじめ・嫌がらせ (ハラスメント行為) を受けた
- 仕事が原因でけがや病気をした
- 辞職を申し出ても、認めさせてもらえなかった
- 結婚、出産、育児、介護を理由に、会社側から辞めるようにいわれた
- その他 具体的に
- いずれもない

次へ

Q19 必須 **正社員として働き始めてから現在までの間に、仕事や働くことについての悩みを相談したことがある相手をすべてお答え下さい** (いくつでも)
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から現在までの状況についてお答えください。

Q19-1 必須 「初めての正社員勤務先」で**正社員として**働いている間に、仕事や働くことについての悩みを相談したことがある相手をすべてお答え下さい (いくつでも)
 ※「試用期間」があった方は、「試用期間」が始まった年・月から離職するまでの状況についてお答えください。
 ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換するまでに相談した相手をお答えください。

- 勤務先の人事労務担当者
- 勤務先の上司、先輩社員
- 勤務先の同年代の同僚
- 勤務先以外の友人・知人
- 家族や親族
- 卒業した学校 (先生、キャリアセンターの職員など)
- 行政機関の職員や相談窓口 (ハローワーク、ジョブカフェなど)
- 医師・カウンセラー等の専門家 (行政機関の職員を除く)
- 労働組合
- その他 具体的に
- 悩みはあったが誰にも相談しなかった
- 悩みはなかった

次へ

Q22 必須 あなたのお勤め先の、現在の従業員構成をお答えください（矢印方向にそれぞれひとつだけ）。

Q22-1 必須 あなたが「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞める直前の、その会社の従業員構成をお答えください（矢印方向にそれぞれひとつだけ）。

※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換する直前の従業員構成をお答えください。

1 0%未満	1 0%未満	3 0%未満	5 0%未満	7 0%以上
↑	↑	↑	↑	↑
その会社で働く人全体に占める、正社員の割合	その会社の正社員に占める、女性の割合	その会社の正社員に占める、若者（15～34歳）の割合		

次へ

No./分類	勤め先の事業内容
1. 採掘業、採石業、砂利採取業	金属、石灰、重炭、原油・天然ガス、薬業原料用鉱物の採掘業、採石業、砂・砂利、玉石の採取業など
2. 建設業	施工管理業、土木、舗装、建築、リフォーム、土石工・コンクリート、鉄骨・鉄筋、石工・れんが・タイル・ブロック、左官、板金、金物、塗装、床・内装、電気・通信、ガス・水道管、機械器具設置などの工事業など
3. 製造業	食料品、飲料、たばこ、飼料、繊維、木材・木製品、家具、装飾品、パルプ・紙、紙加工品、印刷物、化学製品、石油・石炭製品、プラスチック製品、ゴム製品、なめし革・同製品・毛皮、皮革業、土石製品、鉄鋼業、非鉄金属、金属製品、電子部品、情報通信機器、輸送用機械、その他の製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	発電所、変電所、ガス製造工場、ガス供給所、熱供給業、上水道業、工業用水道業、下水道業など
5. 情報通信業（マスコミ除く）	通信業、情報サービス業（ソフトウェア開発など）、インターネット関連サービス業、など
6. 運輸業、郵便業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運送業、倉庫業、運輸に付帯するサービス業、郵便業など
7. 卸売業	各種商品卸売業、繊維・衣類等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業、機械器具卸売業、その他の卸売業など
8. 小売業	各種商品小売業、衣類・身の回り品小売業、飲食料品小売業、機械器具小売業、その他の小売業、無店舗小売業など
9. 金融業・保険業	銀行業、協同相済金融業、貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関、金融商品取引業、商品先物取引業、補助的金融業者、保険業、保険媒介代理業、保険サービス業など
10. 不動産業、物品賃貸業	土地・建物売買業、不動産代理業・仲介業、不動産賃貸業、駐車場業、不動産管理業、機械器具・自動車・スポーツ用品、その他物品の賃貸業など
11. 学術研究、専門・技術サービス業（コンサルティング・広告業除く）	学術・開発研究機関、公証人役場、法律・特許・司法書士・土地家屋調査士・行政書士・公認会計士・税理士・社会保険労務士などの事務所、デザイン業、書写・芸術業、特許特許会社、獣医療業、土木建築サービス業、機械設計業、商品・非破壊検査業、計量証明業、写真業など
12. 宿泊業、飲食サービス業	旅館・ホテル、前泊所、下宿業、食卓・レストラン、専門料理店、そば・うどん店、すし店、酒場、ピザホール、バー・キャバレー・ナイトクラブ、喫茶店、現業店、持ち帰り飲食サービス業、配達飲食サービス業、その他の飲食店など
13. 生活関連サービス業、娯楽業	洗濯業、美容業、公衆浴場業、旅行業、家事サービス業、衣服縫製修理業、物品預り業、火葬・墓地管理業、冠婚葬祭業、映画館、興行団、競輪場、競馬場、競技団、スポーツ施設提供業、公園・遊園地、遊戯場など
14. 教育、学習支援業	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、高等教育機関、専修学校、各種学校、学校教育支援機関、幼児通達型認定こども園、公民館、図書館、博物館、美術館、動物園・植物園、水族館、青少年教育施設、社会通達教育、職業教育施設・文庫業、職業訓練施設、職業・教育支援施設、学習塾、教養・技能教育業など
15. 医療、福祉	病院、診療所、歯科診療所、助産・看護業、療養院、保健所、健康相談施設、社会保険事業団体、福祉事務所、児童福祉事業、老人福祉・介護事業、障害者福祉事業など
16. 複合サービス事業	郵便局、簡易郵便局、農業協同組合、漁業協同組合、水産加工業協同組合、森林組合、事業協同組合など
17. コンサルティング・広告業	経営コンサルティング事業、広告代理店（広告の制作のみを行う場合は「18. マスコミ（発注）」など
18. マスコミ（新聞・出版・テレビ・ラジオ）	放送業、映像・音声・文字情報制作業（新聞・出版物・広告物の制作）
19. サービス業（他に分類されないもの）	清掃・洗車・自動車洗車、機械等修理業、職業紹介・労働者派遣業、運記・ワープロ入力・複写業、建物サービス業、警備業、その他のサービス業、政治・経済・文化団体、教会、宗教事務所、外国公務、その他のサービス業
20. 公務（学校・病院・福祉施設を除く）	立法機関、司法機関、行政機関、都道府県機関、市町村機関
21. その他（具体的に）	上記に該当しない事業

【画像を拡大】

次へ

Q23 必須 あなたが、現在主に従事している仕事内容をお答え下さい。
 ※どれに該当するかわからない方は、画面下の表を参照し、最も近いものが分類されている番号をお選びください。

Q23-1 必須 あなたが、「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞める直前に、主に従事していた仕事内容をお答え下さい。
 ※どれに該当するかわからない方は、画面下の表を参照し、最も近いものが分類されている番号をお選びください。
 ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換する直前に従事していた仕事内容をお答えください。

- 医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）
- 教育分野の専門・技術職（学校や幼稚園の教員など）
- その他の専門・技術職
- 管理的職業
- 事務職
- 営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）
- 販売職（買い物物に訪れた客に対応する仕事）
- 家事・介護・保健医療・福祉のサービス職（介護職、看護助手、学童保育指導員など）
- 接客・給仕サービス職（飲食店の店長、娯楽施設のホール係など）
- その他のサービス職（調理師、美容師、ビル管理人など）
- 保安職（警備員など）
- 農林漁業従事者
- 生産工程従事者（自動車整備など）
- 輸送・機械運転従事者
- 建設・採掘従事者
- 運輸・清掃・包装従事者
- その他 具体的に：

No.	分類	あなただけの仕事内容
1.	医療・福祉分野の専門・技術職	医師、看護師、薬剤師、保育士、福祉相談指導専門員、栄養士など
2.	教育分野の専門・技術職	教師（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援校など）
3.	その他の専門・技術職	研究者、製造技術、技術開発、SE、編集者、法務、経営コンサルタントなど
4.	管理的職業	会社・団体役員、課長以上の管理職、議員、市区町村長など
5.	事務職	庶務、受付、秘書、重宝、検計、営業事務、経理事務、企画事務、パソコン操作員など
6.	営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）	対法人営業、セールスマン、MR、金融商品仲立人、不動産仲介人、保険代理人など
7.	販売職（買い物物に訪れた顧客に対応する仕事）	小売店主、販売店員、中古品買い取り、商品仕入れ外交員など
8.	家事・介護・保健医療・福祉サービス職	ホームヘルパー、介護職、看護助手、学童保育指導員など
9.	接客・給仕サービス職	娯楽施設の接客員、飲食店の店長、ホール係など
10.	その他のサービス職	調理師、美容師、バーテンダー、ビル管理人、ピラティスインストラクター、クリーニング職など
11.	保安職	警備員、自衛官、消防員、警備員など
12.	農林漁業従事者	農業、畜産、養殖、漁業、種木職など
13.	生産工程従事者	組立工、印刷、CADオペレーター、自動車整備、塗装、組入組立など
14.	輸送・機械運転従事者	運転手、バスガイド、ホライマン、発電員など
15.	建設・採掘従事者	大工、とび職、左官、電気工事従事者、土木作業従事者、探鉱従事者など
16.	運輸・清掃・包装等従事者	倉庫作業従事者、配達員、清掃員、産業廃棄物処理従事者、包装従事者など

[画像を拡大]

次へ

Q24

必須

現在あなたが、受け取っている月あたりのお給料（税込）はいくらですか。

- ※月ごとに異なる場合は平均的な金額をお答えください。
- ※年俸制の方は賞与を除く1ヶ月あたりのお給料をお答え下さい
- ※千円以下は切り上げてください

Q24-1

必須

「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞める直前に、あなたが受け取った月あたりのお給料（税込）はいくらでしたか。

- ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換する直前のお給料についてお答えください。
- ※月ごとに異なる場合は平均的な金額をお答えください。
- ※年俸制の方は賞与を除く1ヶ月あたりのお給料をお答え下さい
- ※千円以下は切り上げてください

選択してください



次へ

Q25

必須

現在あなたは1週間あたり平均して何時間働いていますか（休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。30分単位切り上げ）。

Q25-1

必須

「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞める直前に、あなたは1週間あたり平均して何時間働いていましたか（休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む。30分単位切り上げ）。

- ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換する直前のお給料をお答えください。

選択してください



次へ

Q26

必須

現在あなたは、主にどのような労働時間の制の下で働いていますか。

Q26-1

必須

「初めての正社員勤務先」で正社員として働くことを辞める直前に、あなたは主にどのような労働時間の制の下で働いていましたか。

※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換する直前の労働時間制度をお答えください。

- 通常の勤務時間制度（以下のいずれにも該当しない場合）
- フレックスタイム制度（一定の時間内で、始業・終業時刻を自分で調整できる）
- 変形労働時間制度（繁忙期など、一定の期間だけ勤務時間が異なる）
- 交代制（昼シフト、夜シフトなど）
- 裁量労働制・みなし労働時間制（あらかじめ決められた時間を働いたと見なされる）
- 時間管理なし（裁量労働制・みなし労働時間制以外で、管理・監督者などの場合）

次へ

Q27 必須 あなたの、現在の労働条件としてあてはまるものをすべてお答え下さい（いくつでも）。

Q27-1 必須 あなたが、「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞める直前の、労働条件としてあてはまるものをすべてお答え下さい（いくつでも）。
 ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換する直前の労働条件をお答えください。

- 原則として管理職にはならないことになっている
- 職種が特定されている（職種が変わることはない）
- 配置転換（所属部門の変更）はないことになっている
- 国内での転勤（転居を伴う勤務地の変更）はないことになっている
- 海外への転勤（転居を伴う勤務地の変更）はないことになっている
- 残業はしないことになっている
- 土曜・日曜・祝日は勤務しないことになっている
- 宿泊を伴う出張はないことになっている
- 夜勤はないことになっている
- いずれもあてはまらない

次へ

Q28 必須 あなたの、現在の、理想とするキャリアコースをお答えください

Q28-1 必須 あなたが、「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞める直前に、理想としていたキャリアコースをお答えください
 ※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換する直前の理想のコースをお答えください。

- いくつかの会社を経験して、だんだん管理的な地位になっていくコース
- 1つの会社に長く勤め、だんだん管理的な地位になっていくコース
- いくつかの会社を経験して、ある仕事の専門家になるコース
- 1つの会社に長く勤め、ある仕事の専門家になるコース
- 最初は雇われて働き、後に独立して仕事をやるコース
- 1つの会社に長く勤め、自分の生活に合わせた働き方が選択できるコース
- その他 具体的に：

次へ

Q29 必須 あなたは現在、仕事に関連して下記の行動をどの程度とることができますか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

Q29-1 必須 あなたは、「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞める直前に、仕事に関連して下記の行動をどの程度とることができましたか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）
※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換する直前の状況についてお答えください。

	とても	やや	どちらか	やや	とても
課題を見つけ出し、目標を持つ	↑	○	○	○	○
具体的な方策を見つけて計画を立てる	↑	○	○	○	○
考えるだけ、言うだけでなく、行動する	↑	○	○	○	○
最後までやりとげる	↑	○	○	○	○
受身ではなく自分から行動する	↑	○	○	○	○
自分を客観的に認識する	↑	○	○	○	○
目的達成のために周囲の人々や環境に働きかける	↑	○	○	○	○
会社やチーム全体の目標を的確に認識し、実行する	↑	○	○	○	○
他者を説得して動かす	↑	○	○	○	○
他者と他者との間をとりもつ良い人間関係を構築する	↑	○	○	○	○



全50問中、残り約21問です

必須 「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞めてからの状況について、次の質問にお答えください。

次へ

Q30 必須 あなたが「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞めた理由をすべてお答えください。（いくつでも）
※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換した理由をお答えください。

- キャリアアップするため
- 希望する条件により合った仕事が見つかったため
- 仕事が上手くてさす自信を失ったため
- 学校で学んだことや、自分の技能・能力が活かされなかったため
- 自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため
- ノルマや責任が重すぎたため
- 会社に将来性がないため
- 資金の条件がよくなかったため
- 労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため
- 結婚・出産のため
- 介護・看護のため
- 人間関係がよくなかったため
- 肉体的・精神的に健康を損ねたため
- 通勤困難であるため
- 倒産、整理廃業又は希望退職に応じたため
- その他 具体的に：

次へ

次へ

Q31 必須 「初めての正社員勤務先」で**正社員として働く**ことを辞めてから1年間の状況として、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換してから1年間の状況をお答えください。

- 正社員として働いた
(正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む)
- 契約社員として働いた
(「契約社員」=正社員以外で連の所定勤務時間が通常の労働者と同じ労働者)
- 派遣社員として働いた
(「派遣社員」=労働者派遣法にもとづく派遣会社から派遣される労働者)
- パート・アルバイトとして働いた
(「パート・アルバイト」=通常の労働者より連の所定勤務時間が短い労働者)
- 雇用以外の形態で働いた
(会社経営者・役員、自営業・業務委託・内職・家族従業員など)
- 就職活動をした
- 学校(高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院)に進学した(通信制含む)
- 勉強をした(上記の学校に進学した場合を除く)
- 家族の世話(家事・育児・介護など)をした
- 療養・休養していた
- その他 具体的に：

次へ

Q31-1 必須 なぜ、正社員以外の働き方で働くことにしたのか、あてはまる理由をお答えください。(いくつでも)。

- 正社員として働きたかったが、採用されなかったから
- 仕事の内容が希望に合っているから
- 専門的な資格や技能を活かせるから
- より収入の多い仕事に従事したかったから
- 仕事が簡単で、大きな責任を負わなくてよいから
- 転勤(転居を伴う勤務地の変更)を命じられないから
- 家庭生活(家事・育児・介護など)と両立しやすいから
- 個人的な活動(趣味・学習・起業準備など)と両立しやすいから
- 税金や社会保障料を納める必要がない(=被扶養者でいられる)範囲で働きたかったから
- 勤務日数や一日当たりの労働時間が短いから
- 自分の都合の良い時間に働けるから
- その他 具体的に：

次へ

Q32 必須 あなたは「初めての正社員勤務先」で「正社員として働くことを辞めてからの1年間に、以下に示す能力開発を行いましたか。あてはまるものをすべてお答え下さい（いくつでも）。
※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換してから1年間に行ったことをお答えください。

- 通学制の学校（高校・大学・専門学校・英会話・パソコンスクール等）に通った
- 通信教育を受講した（インターネットを用いた学習を含む）
- 公共職業訓練期間で学んだ
- 求職者支援制度を利用した
- 自主的な勉強会・交流会に参加した
- 自宅で一人で勉強した
- その他の方法で勉強した 具体的に：
- いずれも行っていない

次へ

Q33 必須 あなたは「初めての正社員勤務先」で「正社員として働くことを辞めた際に、どのようにして次の仕事を探しましたか。あてはまるものをすべてお答え下さい（いくつでも）。
※同じ会社で、正社員から正社員以外の労働者へ転換した方は、転換することをお答えください。

- 卒業した学校の先生や職員に相談した
- 職業安定所（ハローワーク・インターネットサービスを含む）を利用した
- 民間の職業紹介サービスを利用した
- インターネット上の求人サイトを利用した
- 新聞、雑誌、フリーペーパーなどの求人広告を利用した
- 家族や親戚に相談した
- 友人・知人に相談した
- 希望する会社に直接問い合わせた（会社のサイトから直接応募したことも含む）
- その他の方法で仕事を探した 具体的に：
- 仕事は探さなかった

次へ

Q34 必須 あなたは「初めての正社員勤務先」で「正社員として働くことを辞めてから、現在までにいくつの会社等で「正社員」を経験しましたか。「初めての正社員勤務先」を除いた数をお答え下さい。
※「正社員」には「正職員」や「短時間正社員」「地域限定正社員」、正社員に移行することを予定した「試用期間」中の労働者を含みます。

- 0社（正社員経験は「初めての正社員勤務先」のみ）
- 1社（正社員経験は「初めての正社員勤務先」と「もう1つの会社」の計2社）
- 2社
- 3社
- 4社以上

次へ

全50問中、残り約16問です

必須 現在の状況について、次の質問にお答えください。

次へ

Q35 必須 現在のあなたの主な状況について、最も近いものをお答え下さい。

- 正社員として働いている
(正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む)
- 契約社員として働いている
(「契約社員」=正社員以外で連の所定勤務時間が通常の労働者と同じ労働者)
- 派遣社員として働いている
(「派遣社員」=労働者派遣法にもとづく派遣会社から派遣される労働者)
- パート・アルバイトとして働いている
(「パート・アルバイト」=通常の労働者より連の所定勤務時間が短い労働者。学生をしながらのアルバイトは除く)
- 雇用以外の形態で働いている
(会社経営者、役員、自営業、業務委託・内職・家族従業員など)
- もっぱら就職活動をしている
- 学校(高校、専修学校、短大、高等専門学校、大学、大学院)で学んでいる(通信制含む)
- もっぱら勉強をしている(上記の学校に在学している場合を除く)
- もっぱら家族の世話(家事・育児・介護)をしている
- もっぱら療養・休養している
- その他: 具体的に

次へ

Q36 必須 将来的には、再び働くことを考えていますか。考えている場合は、いつから働きはじめたいですか。

- 1年以内に働き始めたい
- 1年を超えて3年以内に働き始めたい
- 3年を超えて5年以内に働き始めたい
- 5年を超えてから働き始めたい
- 再び働き始めたいが、いつからかはわからない
- 再び働くことは考えていない

次へ

全50問中、残り約14問です

必須 あなたの現在のお仕事について伺います。**主な勤務先1つでの仕事**についてお答えください。
複数の勤務先で仕事をしている方は、**主な勤務先1つでの仕事**についてお答えください。
※派遣社員として働いている方は、主な1つの派遣先での仕事についてお答え下さい

次へ

Q37 必須 現在の勤務先で働き始めた(入社した)のはいつですか。

※同じ会社の中で、雇用形態が変わった場合(例:正社員→アルバイト)は、現在の雇用形態で働き始めた時期をお答え下さい

西暦

選択してください ▼

選択してください ▼ に入社

次へ

Q38 必須 現在の勤務先で雇われている従業員は、会社全体で何人くらいですか。支店や営業所等の事業所が複数ある場合は、あなたが勤務している事業所だけでなく会社全体の従業員数をお選びください。

1~9人

10~29人

30~99人

100~299人

300~999人

1000人以上

官公庁・公営事業所

雇用以外の形態で働いている(会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業員など)

次へ

Q39 必須 現在の勤務先の事業内容(業種)は何ですか。

※どの業種に該当するかわからない方は、画面下の表を参照し、最も近いものが分類されている番号をお選び下さい。
※複数の事業を行う会社の場合は、あなたの業務に最も関連しているものをお選びください。

鉱業、採石業、砂利採取業

建設業

製造業

電気・ガス・熱供給・水道業

情報通信業(マスコミを除く)

運輸業、郵便業

卸売業

小売業

金融業・保険業

不動産業、物品賃貸業

学術研究、専門・技術サービス業(コンサルティング・広告業を除く)

宿泊業、飲食サービス業

生活関連サービス業、娯楽業(理容、クリーニング、旅行など)

教育、学習支援業

医療、福祉

複合サービス業(郵便局・協同組合など)

コンサルティング・広告業

マスコミ(新聞・出版・テレビ・ラジオ)

サービス業(他に分類されないもの)

公務(学校・病院・福祉施設を除く)

その他 具体的に:

No.	分類	動の事業内容
1.	採掘業、採石業、砂利採取業	金、石、重灰、原油・天然ガス、産業原料用鉱物の採掘業、採石業、砂・砂利・玉石の採取業など
2.	建設業	施工管理業、土木、舗装、建築、リフォーム・土工・コンクリート、鉄骨・鉄筋、石工・れんが・タイル・ブロック、左官、板金、金物、塗装、床・内装、電気・通信、ガス・水道管、機械器具設置などの工業業など
3.	製造業	食料品、飲料、たばこ・飼料、繊維、木材・木製品、家具・家具用品、パルプ・紙、紙加工品、印刷物、化学製品、石油・石化製品、プラスチック製品、ゴム製品、なめ革・同製品・毛皮、皮革業、土石製品、鉄鋼業、非鉄金属、金属製品、電子部品、情報通信機器、輸送用機械、その他の製造業
4.	電気・ガス・熱供給・水道業	発電所、変電所、ガス製造工場、ガス供給所、熱供給業、上水道業、工業用水道業、下水道業など
5.	情報通信業（マスコミ除く）	通信業、情報サービス業（ソフトウェア開発など）、インターネット情報サービス業、など
6.	運輸業、郵便業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運送業、倉庫業、運輸に付帯するサービス業、郵便業など
7.	卸売業	各種商品卸売業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業、機械器具卸売業、その他の卸売業など
8.	小売業	各種商品小売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、機械器具小売業、その他の小売業、無店舗小売業など
9.	金融業・保険業	銀行業、協同相済金融業、貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関、金融商品取引業、商品先物取引業、補助的金融業等、保険業、保険媒介代理業、保険サービス業など
10.	不動産業、物品賃貸業	土地・建物売買業、不動産代理業・仲介業、不動産賃貸業、駐車場業、不動産管理業、機械器具・自動車・スポーツ用品・その他物品の賃貸業など
11.	学術研究、専門・技術サービス業（コンサルティング(広告業除く)）	学術・開発研究機関、公証人役場、法律・特許・司法書士・土地家屋調査士・行政書士・公認会計士・税理士・社会保険労務士などの事務所、アライアンス、審査・芸術家、特許株式会社、獣医業、土木建築サービス業、機械設計業、商品・非破壊検査業、許容証明業、写真業など
12.	宿泊業、飲食サービス業	旅館・ホテル、簡易宿所、下宿業、食堂・レストラン、専門料理店、そば・うどん店、よし店、蕎麦・ピザホール、バー・キャバレー・ナイトクラブ、喫茶店、持ち帰り飲食サービス業、配達飲食サービス業、その他の飲食店など
13.	生活関連サービス業、娯楽業	洗濯業、理容業、美容業、公衆浴場業、飛行業、家事サービス業、衣服縫製修理業、物品修理業、火葬・墓地管理業、冠婚葬祭業、映画館、興行場・興行団、競輪・競馬場、競技団、スポーツ施設管理業、供養・公園・遊園地、遊藝場など
14.	教育、学習支援業	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、高等教育機関、専修学校、各種学校、学校教育支援機関、幼児遊戯型認定こども園、公民館、図書館、博物館、美術館、動物園・植物園・水族館、青少年教育施設、社会福祉教育、職業教育施設・文庫業、職業訓練施設、職業・教育支援施設、学習塾、教養・技能教育業など
15.	医療、福祉	病院、診療所、歯科診療所、助産・看護業、療養院、保健所、健康相談施設、社会保険事業団体、福祉事務所、児童福祉事業、老人福祉・介護事業、障害者福祉事業など
16.	複合サービス事業	郵便局、簡易郵便局、農業協同組合、漁業協同組合、水産加工業協同組合、森林組合、事業協同組合など
17.	コンサルティング・広告業	経営コンサルティング業、広告代理店（広告の制作のみを行う場合は「18. マスコミ(巻選択)」など
18.	マスコミ（新聞・出版・テレビ・ラジオ）	放送業、映像・音声・文字情報制作業（新聞・出版物・広告物の制作）
19.	サービス業（他に分類されないもの）	廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者派遣業、速記・ワープロ入力・複写業、建物サービス業、警備業、その他のサービス業、政治・経済・文化団体、教会、宗教学務所、外国公務、その他のサービス業
20.	公務（学校・病院・福祉施設を除く）	立法機関、司法機関、行政機関、都道府県機関、市町村機関
21.	その他（具体的に）	上記に該当しない事業

【図表を拡大】

次へ

Q40 あなたが現在従事している主な仕事内容をお答え下さい。

必須 ※どれに該当するか分からない場合は、画面下の表を参照し、最も近いものが分類されている番号をお選びください。

- 医療・福祉分野の専門・技術職（看護師、介護福祉士、保育士など）
- 教育分野の専門・技術職（学校や幼稚園の教員など）
- その他の専門・技術職
- 管理的職業
- 事務職
- 営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）
- 販売職（買い物に訪れた客に対応する）
- 家事・介護・保健医療・福祉のサービス職（介護職、看護助手、学童保育指導員など）
- 接客・給仕サービス職（飲食店の店長、喫茶店のホール係など）
- その他のサービス職（調理師、美容師、ビル管理人など）
- 保安職（警備員など）
- 農林漁業従事者
- 生産工程従事者（自動車整備など）
- 輸送・機械運転従事者
- 建設・探鉱従事者
- 運搬・清掃・包装等従事者
- その他 具体的に：

No.	分類	あなたの仕事内容
1.	医療・福祉分野の専門・技術職	医師、看護師、薬剤師、保育士、福祉相談指導専門員、栄養士など
2.	教育分野の専門・技術職	教師（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援校など）
3.	その他の専門・技術職	研究者、製造技術、技術開発、SE、編集者、法務、経営コンサルタントなど
4.	管理的職業	会社・団体役員、課長以上の管理職、議員、市区町村長など
5.	事務職	庶務、受付、秘書、集金、総計、営業事務、経理事務、企画事務、パソコン操作員など
6.	営業職（自ら顧客に働きかけ販売契約を結ぶ仕事）	対法人営業、セールスエンジニア、MR、金融商品仲立人、不動産仲介人、保険代理人など
7.	販売職（買い物に訪れた顧客に対応する仕事）	小売店主、販売店員、中古品買い取り、商品仕入れ外交員など
8.	家事・介護・保健医療・福祉サービス職	ホームヘルパー、介護職、看護助手、学童保育指導員など
9.	接客・給仕サービス職	娯楽施設の接客員、飲食店の店長・ホール係など
10.	その他のサービス職	調理師、美容師、バーテンダー、ビル管理人、ピアノ、クリーニング職など
11.	保安職	警備員、自衛官、消防員、警備員など
12.	農林漁業従事者	農業、畜産、養殖、漁業、畜木職など
13.	生業工種従事者	組立工、印刷、CADオペレーター、自動車整備、塗装、婦人職仕立てなど
14.	輸送・機械運転従事者	運転手、バスガイド、乗り手、充電員など
15.	建設・採掘従事者	大工、どび職、左官、電気工事従事者、土木作業従事者、採掘従事者など
16.	運搬・清掃・包装等従事者	倉庫作業従事者、配達員、清掃員、荷役員、産業廃棄物処理従事者、包装従事者など

[画像を拡大]

次へ

Q41 必須 現在あなたは1週間あたり平均して何時間働いていますか（休日出勤、早朝勤務、残業時間を含む、30分単位切り上げ）。

選択してください

次へ

Q42 必須 現在あなたが受け取っている月あたりのお給料（税込）はいくらですか。

- ※月ごとに異なる場合は平均的な金額をお答え下さい
- ※年俸制の方は賞与を除く1ヶ月あたりの金額をお答え下さい
- ※時給・日給・週給制の方は1ヶ月間に受け取った金額の合計をお答えください
- ※千円以下は切り上げてください

選択してください

次へ

Q43 必須 あなたは現在の勤め先を、今後、辞めたいと思いますか。いつ頃に辞めたいですか。

Q43-1 必須 あなたは現在の勤め先を、今後、辞めたいと思いますか。いつ頃に辞めたいですか。

- 1年以内に辞めたいと思っている
- 1年を超えて3年以内に辞めたいと思っている
- 3年を超えて10年以内に辞めたいと思っている
- 10年を超えてから辞めたいと思っている
- 辞めたいと思っているが、時期はわからない
- 辞めたいとは思っていない
- 辞めたいかどうか、わからない

次へ

Q44 必須 あなたは現在、職業生活についてどのように感じていますか（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
↑ 仕事の内容・やりがい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 人事評価・処遇のあり方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 職場の人間関係、コミュニケーション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 賃金	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 労働時間・休日等の労働条件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 職場の環境(照明、空調、騒音等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 雇用の安定性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 福利厚生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 教育訓練・能力開発のあり方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 家庭・個人としての生活との両立	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↑ 職業生活全体	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

必須 最後に、あなたご自身の現在についてお伺いします。

次へ

Q45 必須 現在のご自身の生活全般についてどのように感じていますか。

- 満足
- やや満足
- どちらでもない
- やや不満
- 不満

次へ

Q46 配偶者がいますか（事実婚含む）。

必須

- いる
- いない

次へ

Q46-1 ご結婚されたのはいつですか（事実婚含む）。

必須

西暦

選択してください ▶ 年

選択してください ▶ に結婚

次へ

Q47

配偶者の主なお仕事を教えてください。

必須

- 正社員として働いている
(正職員、短時間正社員、地域限定正社員、正社員への移行を予定した「試用期間」中の労働者を含む)
- 契約社員として働いている
(「契約社員」＝正社員以外で連の所定勤務時間が通常の労働者と同じ労働者)
- 派遣社員として働いている
(「派遣社員」＝労働者派遣法にもとづく派遣会社から派遣される労働者)
- パート・アルバイトとして働いている
(「パート・アルバイト」＝通常の労働者より連の所定勤務時間が短い労働者。学生をしながらのアルバイトは除く)
- 雇用以外の形態で働いている
(会社経営者・役員・自営業・業務委託・内職・家族従業員など)
- もっぱら就職活動をしている
- 学校（高校、専門学校、短大、高等専門学校、大学、大学院）で学んでいる（通信制含む）
- もっぱら勉強をしている(上記の学校に在学している場合を除く)
- もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしている
- もっぱら遊業・休養している
- その他：具体的に

次へ

Q49 必須 あなたのお宅全体の年収（税込）はどのくらいですか。臨時収入、副収入も含めてお答えください。

- 100万円未満
- 100～200万円未満
- 200～300万円未満
- 300～400万円未満
- 400～600万円未満
- 600～800万円未満
- 800～1000万円未満
- 1000～1200万円未満
- 1200～2000万円未満
- 2000万円以上
- 収入はない
- わからない

次へ

Q48 必須 あなたにはお子さんがいますか。

- いる（あなた・配偶者が妊娠中の場合を含む）
- いない

次へ

Q48-1 必須 一人目のお子さんが生まれたのはいつですか。

西暦

選択してください ▼ 年

選択してください ▼ に誕生（予定）

次へ

『注意事項』

- ・当該インタビュー調査は、調査会社である株式会社サーパーベリリサーチセンター、研修政策研究・研修機構が実施するものであり、当社は当事者とはならず、その運営、実施等に関して一切責任を負いません。
- ・万が一株式会社サーパーベリリサーチセンターや労働政策研究・研修機構との間でトラブルが生じたとしても、同社との間で直接交渉、解決していただきます。
- ・インタビュー調査にご応募いただいた会員様の登録項目の情報（性別、年齢、お住まいの都道府県）は、アンケートの回答内容とあわせて、当社から株式会社サーパーベリリサーチセンター、労働政策研究・研修機構に対してセキュリティに配慮した方法で提供されます。
- ・インタビュー調査にご参加いただいた場合、当該インタビュー調査の内容を録音させていただく場合があります。
- ・録音した音声につきましては、労働政策研究・研修機構に限り共有する場合があります。また、音声は調査の目的以外には一切利用しないことをお約束いたします。
- ・当社は、株式会社サーパーベリリサーチセンターに対して提供される個人情報について、当社が適切に取扱うことを契約で義務付けており、株式会社サーパーベリリサーチセンターから労働政策研究・研修機構に対してセキュリティに配慮した方法で提供されます。
- ・当選された会員様には、株式会社サーパーベリリサーチセンターから直接お電話、もしくはメールにてご連絡させていただきます。なお、当選結果の個別の問い合わせには応じかねます。
- ・会員の皆様には、当アンケートで知り得た全ての情報について、その一切を外部に口外しない様、ご協力をお願いします。
- ・楽天グループ社員および関係者の応募はご遠慮ください。
- ・特に指定がない限り、会場には同伴者の方は入場できません。（お子様や付添いの方のみの待合室・託児所などはありません）
- ・やむを得ない理由がある場合を除き、調査への参加が確定した後のキャンセルや参加日時を変更することは出来ません。キャンセル・日時変更に関するご連絡は、ご連絡時にお伝えする連絡先にご連絡ください。遅刻や無断欠席をした場合は、今後開催する調査に参加できなくなる場合があります。（参加できなかった場合は、謝礼をお返しできません。）
- ・当選連絡後、自然災害、その他やむを得ない理由により調査が中止となる場合がございます。予めご了承ください。尚、調査の履行・中止については、調査参加者の安全を十分考慮のうえ、主催者または当社が判断をいたします。
- ・服装につきましては、スマートカジュアルに準ずる服装でご参加ください。ジーンズは可、ジャケット・ネクタイの着用は不要です。

『参加者募集』

株式会社サーパーベリリサーチセンター、労働政策研究・研修機構（<http://www.jil.go.jp/>）が実施するインタビュー調査への参加者を募集しています。

- ・今回、アンケートにお答えいただいた方の中から、何名かの方々にご協力いただき、「若者のキャリア形成と職場状況に関するインタビュー調査」を行う予定です。
- ・参加いただける会員様は下記内容・注意事項をご確認・ご同意の上、お申込ください。

【日程】 2018年9月～12月 平日・土・日・日の昼間
(後程ご都合の良い日程をお選びいただけます)

【会場】 東京都内の会場（日本橋・上石神井）
(詳細はご参加いただく方へ別途ご連絡致します)

【謝礼】 楽天スーパーポイント 12,400ポイント
(交通費含む)

・**プライバシーを守るため、一度に一人ずつ個別にインタビューをさせていただきます。**
＜お尋ねしたい内容＞

- ・初めての就職活動
- ・初めて正社員としてお勤めになった会社等でのご経験
- ・初めてお勤めになった会社等を辞めた経緯
- ・現在の仕事と生活の状況
- ・将来にむけての見通し
- ・その他

- ・ご応募いただいた方の中から、選考・抽選にてお願いますの方を決定します。
(選ばれなかった方への連絡は致しておりません。ご了承ください)
- ・インタビュー調査は、約120分程度を予定しております。
- ・開始時間10分前にはご来場いただき受付を行ってください。

Q50 必須 上記募集内容・注意事項をご確認・ご同意の上、参加いただけるスケジュールを以下の中からすべてお選びください。(いくつでも)

※上記募集内容・注意事項の全てにご同意いただけない場合、参加可能な日程がない場合は、「いずれの日程も参加できない」をお選びください。
 ※参加可能な日程をお選びいただいた場合は、上記募集内容・注意事項の全てにご同意いただいたものとさせていただきます。

- 9月 (平日昼間)
- 9月 (土曜・日曜・祝日)
- 10月 (平日昼間)
- 10月 (土曜・日曜・祝日)
- 11月 (平日昼間・土曜日・日曜日・祝日のいずれか)
- 12月 (平日昼間・土曜日・日曜日・祝日のいずれか)
- いずれの日程も参加できない

次へ

Q51 必須 9月中旬～10月中旬の以下の日程について伺います。ご参加可能な日時をすべてお選びください。(いくつでも)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 9月 | <input type="checkbox"/> 9月22日 (土) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月22日 (土) 午後 | <input type="checkbox"/> 9月23日 (日) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月23日 (日) 午後 | <input type="checkbox"/> 9月24日 (祝) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月24日 (祝) 午後 | <input type="checkbox"/> 9月25日 (火) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月25日 (火) 午後 | <input type="checkbox"/> 9月26日 (水) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月26日 (水) 午後 | <input type="checkbox"/> 9月27日 (木) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月27日 (木) 午後 | <input type="checkbox"/> 9月28日 (金) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月28日 (金) 午後 | <input type="checkbox"/> 9月29日 (土) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月29日 (土) 午後 | <input type="checkbox"/> 9月30日 (日) 午前 | <input type="checkbox"/> 9月30日 (日) 午後 | | | | |
| 10月 | <input type="checkbox"/> 10月1日 (月) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月1日 (月) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月2日 (火) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月2日 (火) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月3日 (水) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月3日 (水) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月4日 (木) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月4日 (木) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月5日 (金) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月5日 (金) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月6日 (土) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月6日 (土) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月7日 (日) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月7日 (日) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月8日 (祝) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月8日 (祝) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月9日 (火) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月9日 (火) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月10日 (水) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月10日 (水) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月11日 (木) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月11日 (木) 午後 |
| | <input type="checkbox"/> 10月12日 (金) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月12日 (金) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月13日 (土) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月13日 (土) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月14日 (日) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月14日 (日) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月15日 (月) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月15日 (月) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月16日 (火) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月16日 (火) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月17日 (水) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月17日 (水) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月18日 (木) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月18日 (木) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月19日 (金) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月19日 (金) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月20日 (土) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月20日 (土) 午後 | <input type="checkbox"/> 10月21日 (日) 午前 | <input type="checkbox"/> 10月21日 (日) 午後 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> この中にはない |

次へ

以下のボタンをクリックして、参加規約をご確認ください。

「特殊調査参加規約」

Q52 「特殊調査参加規約」に同意して参加いただけますか。

- 規約に同意して参加する
- 同意しない/参加しない

次へ

【守秘義務】

- ・調査内容、質問内容、提示される資料については機密情報とし、あなた以外の人に情報を漏らさないこと。
 - ・試作品をあなた以外の人に渡したり、試作品の特徴などの情報をあなた以外の人に漏らさないこと。
 - ・上記については、ホームページ、ブログ、SNS、Twitterなどへの書き込み、家族・友人を含む第三者へのメール等による送信、その他これに類する開示、漏洩を行わないものとする。
- ※違反した場合、モニター規約に依り損害賠償義務を負うことがあります。



Q53 「守秘義務」に同意して参加いただけますか。

- 守秘義務に同意して参加する
- 同意しない/参加しない

次へ

Q54
必須

■募集内容・注意事項の全てにご同意いただいた方にお伺いします■
 ご応募には、連絡先のご記入が必要となります。必ずご記入ください。
 携帯電話のみを所持している方は、「電話番号」の欄に「携帯電話番号」を入力し、「携帯電話番号」は空白にしてください。
 ※尚、お知らせいただきました個人情報については、今回予定されているインタビュー調査以外の目的には、使用いたしません。
 ※個人情報情報を正しくご入力されていない場合、お問い合わせ等に対する適切な対応を行えない場合がございますので、ご了承ください。
 ※以下でお答えいただく登録内容と本アンケートの回答内容は、株式会社サーベイリサーチセンター、および労働政策研究・研修機構の担当に開示されます。ご了承ください。

氏名 必須	姓 調査	名 太郎
氏名 (フリガナ) 必須	セイ チョウサ	メイ タロウ
郵便番号 必須	郵便番号から住所を自動入力します 0000 - 0000 <半角数字>	
都道府県 必須	郵便番号による住所検索 郵便番号から住所を自動入力します 東京都	
それ以外の住所 必須	番地、建物名まで入力してください 港区六本木1-2-3 調査タワー307号室	
連絡がしやすい時間帯 必須	連絡がしやすい時間帯以外にもご連絡させていただく場合がございます、ご了承ください 10:00~12:00	
携帯電話番号	000	- 1234
電話番号 必須	000	- 1234
メールアドレス 必須	あなたのメールアドレスを正確にご記入ください sample@example.com <半角英数>	
メールアドレス (確認用)	確認の為もう一度入力してください sample@example.com <半角英数>	
携帯メールアドレス	あなたのメールアドレスを正確にご記入ください sample@example.com <半角英数>	
携帯メールアドレス (確認用)	確認の為もう一度入力してください sample@example.com <半角英数>	

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。

【あなたご自身についてのアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

